

科学研究費助成事業 研究成果報告書



令和4年 月 日現在

機関番号：12601  
研究種目：新学術領域研究（研究領域提案型）『学術研究支援基盤形成』  
研究期間：平成28年度～令和3年度  
課題番号：16H06276  
研究課題名（和文） 先端モデル動物支援プラットフォーム  
  
研究課題名（英文） Advanced Animal Model Support  
  
研究代表者  
井上 純一郎（INOUE, Jun-ichiro）  
東京大学・医科学研究所・特任研究員  
研究者番号：70176428  
交付決定額（研究期間全体）：（直接経費）1,850,260,000円

研究成果の概要（和文）：

細胞レベルの研究成果を高度に組織化された個体において実証することは極めて重要である。当該プラットフォームでは、研究者の要望に応じて先進的なモデル動物を作製・提供するとともに、それらの病理学的、生理学的解析に加えて化合物や遺伝子の働きを明らかにする分子プロファイリング解析を支援することで研究の進展を加速させた。実際のべ3,857件の科研費研究課題を支援し、1494報の論文発表に貢献した。また、若手技術講習会や成果発表会を毎年開催し、異分野連携及び若手育成を促進した。これらの活動を通じて、我が国の生命科学研究の盤石な発展と、国際的なプレゼンスを向上させる役割を果たした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

当該プラットフォームによる支援の利用を多くの研究者に促すため支援説明会・成果シンポジウムやホームページ等で支援内容や申請方法を紹介するとともに、関連学会でパネル展示による説明や相談会等を実施した。コロナ禍には、支援活動紹介動画を作成して、ホームページ、YouTube等に掲載するとともに学会の特設サイト等から紹介動画にリンクさせた。また、市民公開シンポジウム等で国民に科研費研究の社会福祉における重要性を紹介した。このような活動を通じて本支援活動の学術的、社会的意義を明確にした。

研究成果の概要（英文）：

It is extremely important to demonstrate the results of research at the cellular level in highly organized individuals. The platform has accelerated research progress by producing and providing advanced animal models in response to researchers' requests and supporting molecular profiling analysis to clarify the function of compounds and genes in addition to pathological and physiological analysis of these animals. In fact, we supported 3,857 (cumulative total number) Grant-in-Aid research projects and contributed to the publication of 1,494 papers. In addition, we held young researchers' technical seminars and presentations of research results every year to promote collaboration among different fields and the development of young researchers. Through these activities, we played a role in the solid development of life science research in Japan and the enhancement of its international presence.

研究分野：

シグナル伝達 がん生物学

キーワード：

モデル動物作製、ゲノム編集、病理形態解析、生理機能解析、分子プロファイリング

※科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

## 様式 C-19、F-19-1、Z-19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

平成 22 年度～27 年度まで実施されてきた文部科学省科研費新学術領域研究『生命科学系 3 分野 (がん、ゲノム、脳) 支援活動』を発展強化させ、平成 28 年度より、新学術領域研究の枠組みに新たに『学術研究支援基盤形成』が創設された。これは、科研費により助成されている「学術研究」に関し、研究者の多様なニーズに効果的に対応するため、大学共同利用機関、共同利用・共同研究拠点を中核機関とする関係機関の緊密な連携の下、学術研究支援基盤の形成を図る制度である。その中で、我々はモデル動物の生命科学研究における重要性を鑑み「先端モデル動物支援プラットフォーム」の新設を申請し、「先端技術基盤支援プログラム」の一つとして採択された。このプログラムは、複数の施設や設備を組み合わせることにより、幅広い研究分野・領域の研究者への最先端の技術支援を行うというものである。当プラットフォームでは、中核機関 (東大医科研) ならびに連携機関の施設・設備や、それぞれの機関が持つ高度に専門的で先進的な技術を組み合わせることで実施される、先端的で学術的価値の高いモデル動物作製・解析支援及び分子プロファイリング支援を行うこととなった。

### 2. 研究の目的

モデル動物を用いた生命科学研究は、ヒトへの応用の前段階として、細胞レベルの研究で得られた成果を高度に組織化された個体において実証するためや、遺伝子改変動物においては個体としてどのような表現型を示すかを検証する上で極めて重要である。従って、世界的水準の研究成果を挙げるためには、的確かつ迅速な遺伝子改変技術と胚操作技術を使ったモデル動物作製と、出来上がったモデル動物の表現型の高水準な技術での解析は必須である。本プラットフォームは、遺伝子改変動物を初

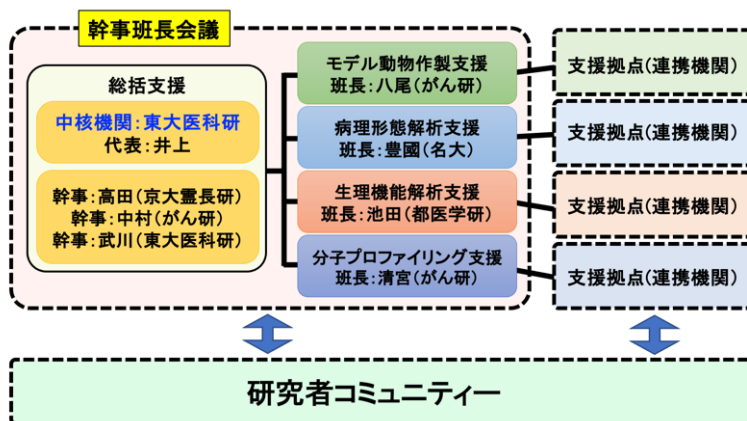


図 先端モデル動物支援プラットフォーム(AdAMS)の実施体制

めとする先進的なモデル動物を作製し、その病理形態解析や生理機能解析を支援すること、およびこれまでに構築した先進的な分子プロファイリング技術・資源を利用し、個体レベルの研究の端緒となる分子・細胞レベルの研究支援を行うことを目的とした。また、目的達成のため代表の井上が所属する東大医科研を中核機関とし、本プラットフォームの事務局をおいた。総括支援から井上、高田(京大霊長研)、中村(がん研)、武川(東大医科研)が幹事として本プラットフォームの運営の中心的な役割を担い、モデル動物作製支援の班長八尾(がん研)、病理形態解析支援の班長豊國(名大)、生理機能解析支援の班長池田(都医学研)、分子プロファイリング支援の班長清宮(がん研)と幹事4名で「幹事班長会議」を組織しプラットフォーム運営に関する諸問題を検討し方向性を決定した(図)。

### 3. 研究の方法

#### (1) 総括支援活動

支援説明会・シンポジウム・講習会を開催し、国内の研究者との情報共有を目指した。ホームページでの広報や一元化した窓口において利用者に対するサービスの向上を図った。若手研究者の育成やネットワークを形成するため、技術講習会・ワークショップを開催した。技術講習会ではモデル動物作製解析技術の基本的知識の取得、若手研究者相互の交流促進や共同研究を推進した。支援活動の成果発表シンポジウムを生命科学連携推進協議会とともに開催し、生命科学分野の国内外の相互交流を促進し、新たな支援を考案した。さらに、COVID-19の感染拡大による研究者交流や情報交換の停滞を打破する目的で、本支援活動の内容を広く紹介した書籍、マウス・ラットモデル作製・解析プロフェッショナル、を出版した。

#### (2) モデル動物作製支援

科研費でサポートされる国内の学術研究の推進を目的として、研究者の個別の要望に応じて、相同組換えやゲノム編集を用いて遺伝子改変マウスおよび遺伝子改変ラットを作製し、提供した。年に二回、公募を行い、公平な審査に基づき採否を決定した。採択課題は、被支援者との直接面談を行い立案された最適化された戦略に基づき、研究目的に応じてカスタム化された遺伝子改変動物を作製した。通常の遺伝子改変に加え、支援拠点が独自に開発したリソースを用いた遺伝子改変動物やヒト疾患モデルマウスの提供、さらに本事業により作製された遺伝子改変動物などへの追加の変異導入を行った。期間中は、最新のゲノム編集技術を導入することに加え、独自に改良・開発を行い、先端的な遺伝子改変動物を迅速かつ効率的に作製した。動物実験の経験が少ない研究者に対しては、動物の維持・

管理に関して指導を行った。また、被支援者の要望に応じて、手技や解析に関するアドバイスや論文作成に関するサポートを行った。作製された遺伝子改変動物は、公的リソースセンターに寄託することにより、国内の動物実験基盤の充実に貢献した。

### (3) 病理形態解析支援

支援応募の評価を外部委員も含む 2 段階で実施し適切な支援例を選択し、その後、被支援者の希望を面接等で十分に考慮しながら専門性の合う班員（すべて病理専門医）が支援を実施した。遺伝子改変や薬物投与を受けたマウスやラットなどの高等動物個体で示す形態・機能異常を、ヘマトキシリン・エオジン染色・免疫組織染色・fluorescent in situ hybridization など主として光学顕微鏡を用いた解析技術を駆使して支援活動を実施し、その病態を良性・悪性腫瘍、発生異常（奇形）、神経疾患、感染性疾患、自己免疫疾患などに分類し、最終診断を行った。免疫染色の多くは定量性・再現性の得られやすい自動免疫染色機を使用した。病理標本の whole slide デジタル化や、病勢、タンパク量、mRNA 量などの定量化も ImageJ をはじめとするソフトウェアを使用しながら実施し、論文が受理されるまで図の作成なども含め積極的にサポートを行った。

### (4) 生理機能解析支援

マウス等動物モデルにおける病態・生理学的基盤の解明を推進するための支援活動を実施した。年に三回、プレコンサルテーションを推奨した公募を行い、有意義で実施可能な支援課題が申請されるように、多くの場合で申請予定者との事前検討を入念に実施した。申請課題に関しては、2 段階および 3 段階の外部審査員も含む公平な審査に基づき採否を決定した。採択課題は、被支援者と密に連携を取り、研究目的に応じてカスタム化された支援を実施した。行動学的解析支援では遺伝子改変マウス等の行動異常等を網羅的に解析するための支援活動を行った。薬理的解析支援では、規制薬物感受性に関する臨床データ・ゲノム試料等に基づく疾患解析やモデル動物等における規制薬物の反応性解析を支援した。光技術による操作解析支援では、光遺伝学の in vitro から in vivo 解析に資する最先端技術の支援・普及を行った。多機能電極・計測データ解析支援では、多機能電極を駆使し組織深部の生理機能解析を支援した。

### (5) 分子プロファイリング支援

上述のモデル動物・個体関連支援の分子的側面を補強するため、化合物や遺伝子の働きを分子・細胞のレベルで解明するための支援活動を実施した。化合物評価支援については年に三回、分子探索支援については年に四～五回公募を行い、外部審査員を含む公平な審査に基づき、採否を決定した。化合物評価支援では、細胞パネル増殖、細胞形態・表現型、トランスクリプトーム、プロテオームの連携解析により評価依頼化合物の生理活性および作用点を予測するとともに、精度向上のためのデータベースを拡充した。分子探索支援では、標準阻害剤キット・標準 miRNA キットの配付、寄託化合物ライブラリーの拡充と配付、目的別 siRNA の配列デザインと合成、バーコード shRNA ライブラリーによる化合物の標的遺伝子経路の探索・技術支援、分子間相互作用解析を実施した。さらに、必要に応じて in silico バイオインフォマティクス解析支援を実施した。また被支援者からの要望に応じた高次解析、実地指導、動物実験に向けたコンサルティング等を実施し、成果の取りまとめを積極的に支援した。

## 4. 研究成果

### (1) 総括支援活動

#### ① ホームページの活用による公募のワンストップ化促進

総括支援班としてホームページを作成・運営し、各支援班の公募活動を促進した。英語化も進めて科学研究費で支援される幅広い研究領域の研究者からの支援要請を、各班における審査に迅速に進めるように毎年度更新を加えながら整備した。

#### ② 若手支援技術講習会

毎年開催した。平成 28 年度～令和元年度は 9 月初旬に長野県茅野市蓼科において 2 泊 3 日の日程で約 90 名が参加し、支援班班員によるモデル動物の作製や解析技術の指導を受けるとともに、若手参加者自身による発表と相互のディスカッションを行った。コロナ感染が深刻だった令和 2、3 年度は Web 開催としたが、若手研究者の司会によるセッションの進行と情報交換が好評を博した。

#### ③ 成果発表会

毎年開催した。令和 2 年度を除いて 1 月下旬～2 月初旬に滋賀県大津市において 80～100 名が参加して本支援活動による研究成果をワークショップ形式と個別の口頭・ポスター発表形式とで行った。年度が進むにしたがって支援の成果の充実が示され、支援班員とユーザーとの相互理解も進んだ。令和 2 年度は Web 開催形式で行った。

#### ④ 出版物

「マウス・ラットモデル作製・解析プロフェッショナル」を出版した。この書籍では、支援班員全員がモデル動物の作製と解析の各項目を担当するとともに、ユーザー側からの視点での研究内容も取り入れた。現在またこれからモデル動物を使った生命科学研究を志す若手研究者の研究活動に資する内容となっている。

### (2) モデル動物作製支援

初年度は、107 件の応募に対し、54 課題が採択され、採択率は 50.4%であった。これに対し、採択率が他の支援活動に比べ低いという指摘があったため、新技術導入による効率化や運搬費・検疫費用等の

受益者負担を含めた経費運用を見直すことにより、採択課題を、年間83課題まで増やすことができた。6年間の平均採択率は64.7%となり、総計で466課題を支援することができた。動物別の内訳は、遺伝子改変マウス作製支援は421件、遺伝子改変ラット作製支援は、45件である。

作製されたモデル動物は、全て依頼者に無償提供され、それぞれの施設で、解析が進められた。分野横断的な支援により、がん、神経、発生、生殖など幅広い研究領域で、個体レベルの生命研究が推進された。特に近年の次世代シーケンサーの普及により、ヒト疾患を再現する遺伝子変異導入の需要が高まっており、本支援活動で作製されたモデルマウスは、疾病モデル動物として、今後のヒト疾病の病態解明に貢献することが期待される。また、実験の指導やサポートを行うことにより、動物実験を行う研究者を育成した。

作製されたモデル動物は、各施設で行われる系統維持に加え、公的リソースバンクへの寄託を進めることにより、国内の研究リソース構築に貢献した。

### (3) 病理形態解析支援

6年間に渡り、支援件数189件、合計876項目に渡る支援を実施し、その総解析動物個体数は1万匹以上、作製標本は6万ブロック以上になる。支援応募の評価を2段階で実施し適切な支援例を選択し、その後、被支援者の希望を十分に考慮しながら専門性のある班員が支援を実施した。マウスやラットなどの遺伝子改変動物の解析においては、どのような表現系が現れるのかが研究の方向性を決める上で極めて重要であるが、各支援例に関してその病理形態学的评价を実施し報告書を送付した。遺伝子改変によっては予想外の表現系が出る場合があり、病理医による総合的な判定を必要とした。例えば、若年週齢で脳に変性が発生してんかん様発作を起こした後、成獣では脳組織も正常と区別がつかなくなり、最後には糸球体や尿細管傷害で腎不全にいたる例があった。また、種々の前臨床治療モデルにおいては、標的以外の臓器に副作用が見られないのも重要な所見であり、そのような解析も全臓器に渡って複数実施した。さらに、生直後の死因が心肺の奇形によることもあり、このような場合には胎児切片を連続的に数百枚薄切するような解析も実施した。このような病理形態解析の成果は最終的に、以下にリスト化されている査読のあるハイレベルの国際誌に多数報告されており、支援は国際的にも高いレベルであることを示している。また、本支援においてもAIによる定量解析や高感度mRNA ISHなど常に新しい手法を取り入れるように努めた。

### (4) 生理機能解析支援

行動学的解析支援では、大規模行動解析実験施設を用いたハイスループットで網羅的な行動解析が220以上のマウス系統に対して行われ、モデル動物の表現型が明らかとなった。また、神経科学のみならず、がん研究、毒性学等の幅広い分野を専門とする研究者の支援を実施し、学際的な研究成果が得られた。このような支援の結果得られたデータをデータベースとして公開するなど個別支援に限らない当該学術領域全般の研究基盤整備、オープンサイエンスに貢献した。

薬理学的解析支援では、メタンフェタミン、モルヒネ、ケタミンなど一般研究者が取り扱うことが難しい規制薬物の反応性に関する解析支援が動物およびヒトレベルでなされ、モデル動物の病態やヒト疾患との関連に関する多くの知見が得られた。

光技術による操作解析支援では、世界最高速のCa<sup>2+</sup>インディケータR-CaMP2の開発・実用化に成功しており、支援の成果がCellなど一流誌に発表され、最先端技術支援により成果が得られた。

多機能電極・計測データ解析支援拠点が実施する生体からの生理的な信号を多角的に計測操作する装置と手法を支援することにより、最新の生理学研究成果が得られた。例えば脳深部機能イメージングをはじめとする生体深部細胞機能イメージング、オプトジェネティクス用の光刺激、細胞応答の電気的光学的イメージング、組織中の単一がん細胞の可視化、毛細血管中の血流の可視化等がなされた。

### (5) 分子プロファイリング支援

分子プロファイリング支援は、本プラットフォームが分子から細胞、動物・個体へと一貫通貫した支援を展開するためのハブとして機能し、以下の成果を得た。

化合物評価支援では、のべ1,723件の支援を行った。新規化合物の生理活性・作用点の解明に成功するなど、多くの成果が得られた。これらの成果は、生理イベントを選択的に検出・制御・再現する優れたバイオプローブの創出例として、一流誌を含む多くの学術誌に論文発表された。一部の成果は創薬シーズの発見と位置づけられ、特許出願や応用開発プロジェクトに繋がった。分子探索支援では、のべ1,112件の支援を行った。制御機構が明らかでない生理イベントに影響を与える化合物・遺伝子を同定するためのリソース・技術支援を行い、多くの成果を得た。これらの成果は、幅広い領域にわたる生命現象の分子基盤を理解する契機となり、一流誌を含む多くの学術誌への論文発表に繋がった。さらに、寄託化合物ライブラリーの配付を通じ、生物系研究者と化学系研究者の異分野連携を推進した。要望に応じて実地指導も行い、解析技術の普及に貢献した。

本支援の前身となる「がん支援・化学療法基盤支援活動」では、被支援者の専門が腫瘍学と理工系にほぼ限定されていたが、現体制ではこれらの領域への支援は全体の約3割となり、総計で約60領域(科研費審査区分)の幅広い分野を支援し、分野特化型から分野横断型への転換を果たした。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計 1,494 件（うち査読付論文 1,451 件／うち国際共著 327 件／うちオープンアクセス 767 件）

1. 著者名 Sakamoto M, Inoue M, Takeuchi A, Kobari S, Yokoyama T, Horigane S, Takemoto-Kimura S, Abe M, Sakimura K, Kano M, Kitamura K, Fujii H, Bito H.	4. 巻 2
2. 論文標題 A Flp-dependent G-CaMP9a transgenic mouse for neuronal imaging in vivo	5. 発行年 2022 年
3. 雑誌名 Cell Reports Methods	6. 最初と最後の頁 100168
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.crmeth.2022.100168	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shinji Kishimoto, Yuya Matsubara, Kenji Watanabe	4. 巻 144
2. 論文標題 Alkaloid biosynthetic enzyme generates diastereomeric pair via two distinct mechanisms	5. 発行年 2022 年
3. 雑誌名 Journal of the American Chemical Society	6. 最初と最後の頁 5485-5493
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/jacs.1c13621	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Akihito Yokosuka, Tatsuya Shimomura, Shohei Yokogawa, Airi Oguro, Katsunori Miyake, Yoshihiro Mimaki	4. 巻 70
2. 論文標題 Chemical components from Hedera rhombea leaves and their cytotoxicity	5. 発行年 2022 年
3. 雑誌名 Chemical and Pharmaceutical Bulletin	6. 最初と最後の頁 175-181
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1248/cpb.c21-00907	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nae Saito, Makoto Itakura, Toshikuni Sasaoka*	4. 巻 16
2. 論文標題 D1 receptor mediated dopaminergic neurotransmission facilitates remote memory of contextual fear conditioning	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Frontiers in Behavioral Neuroscience	6. 最初と最後の頁 751053
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnbeh.2022.751053	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 齊藤奈英、板倉誠、田井中一貴, Tom Macpherson, 疋田貴俊、山口瞬、佐藤朝子、大久保直、知見聡美、南部篤、笹岡俊邦	4. 巻 33
2. 論文標題 D1 および D2 ドーパミン受容体を介する神経伝達による運動制御と学習記憶の仕組みの理解	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本生物学的精神医学会誌	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Saegusa J, Osada Y, Miura K, Sasazawa Y, Ogura A, Takao KI, Simizu S.	4. 巻 60
2. 論文標題 Elucidation of structure-activity relationship of humulanolides and identification of humulanolide analog as a novel HSP90 inhibitor	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Bioorg Med Chem Lett	6. 最初と最後の頁 128589
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bmcl.2022.128589	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Miura K, Kobayashi T, Zhang Z, Prasoon P, Hirose Y, Ishikawa H, Takizawa K, Sakata J, Miura S, Sasaoka T, Wakai T	4. 巻 54
2. 論文標題 Establishment of a Long-Term Survival Swine Model for the Observation of Transplanted Islets: a Preliminary Step in an Allogeneic Transplant Experiment	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Transplantation Proceedings	6. 最初と最後の頁 507-512
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.transproceed.2021.10.029	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Koji Kuraoka, Kae Nakamura	4. 巻 175
2. 論文標題 Facial temperature and pupil size as indicators of internal state in primates	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Neuroscience research	6. 最初と最後の頁 25-37
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2022.01.002	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Tanno N, Takemoto K, Takada-Horisawa Y, Shimada R., Fujimura S, Tani N., Takeda N., Araki K, Ishiguro K	4. 巻 25
2. 論文標題 FBX047 is essential for preventing the synaptonemal complex from premature disassembly in mouse male meiosis	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 iScience	6. 最初と最後の頁 104008
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2022.104008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kazuhiro Okumura, Megumi Saito, Eriko Isogai, Yurika Tokunaga, Yoshinori Hasegawa, Kimi Araki, Yuichi Wakabayashi	4. 巻 -
2. 論文標題 Functional polymorphism in Pak1-3' UTR alters skin tumor susceptibility by alternative polyadenylation	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Investigative Dermatology	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jid.2022.02.009	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yun-Wei Xue, Hiroaki Itoh, Shingo Dan, Masayuki Inoue	4. 巻 -
2. 論文標題 Gramicidin A Accumulates in Mitochondria, Reduces ATP Levels, Induces Mitophagy, and Inhibits Cancer Cell Growth	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Chemical Science	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/D2SC02024F	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Wang, X.-H., Abe, I., Morita, H., Tu, P.-F., Shi, S.-P. et al.	4. 巻 13
2. 論文標題 Identification of a diarylpentanoid-producing polyketide synthase revealing an unusual biosynthetic pathway of 2-(2-phenylethyl)chromones in agarwood	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Nature Commun.	6. 最初と最後の頁 348
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-022-27971-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する



1. 著者名 Yoshioka H, Kawamura T, Muroi M, Kondoh Y, Honda K, Kawatani M, Aono H, Waldmann H, Watanabe N, Osada H.	4. 巻 17
2. 論文標題 Identification of a small molecule that enhances ferroptosis via inhibition of ferroptosis suppressor protein 1 (FSP1).	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 ACS Chem Biol	6. 最初と最後の頁 483-491
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acscchembio.2c00028	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Apostolopoulos A and Iwasaki S	4. 巻 -
2. 論文標題 Into the matrix: current methods for mitochondrial translation studies.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 J Biochem.	6. 最初と最後の頁 mvac005.
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jb/mvac005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sasaki L, Hamada Y, Daisuke Yarimizu D, Suzuki T, Nakamura H, Shimada A, Nguyen Pham KT, Shao X, Yamamura K, (12名中略) Okamura H, Yamaguchi Y, Miyake T, Doi M	4. 巻 2
2. 論文標題 Intracrine activity involving NAD-dependent circadian steroidogenic activity governs age-associated meibomian gland dysfunction	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Nature Aging	6. 最初と最後の頁 105-114
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s43587-021-00167-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kohda Y, Sakamoto S, Umekita M, Kimura T, Kubota Y, Arisaka R, Shibuya Y, Muramatsu H, Sawa R, Dan S, Kawada M, Igarashi M.	4. 巻 75
2. 論文標題 Isolation of new derivatives of the 20-membered macrodiolide bispolide from Kitasatospora sp. MG372-hF19	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 The Journal of Antibiotics	6. 最初と最後の頁 77-85
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41429-021-00492-5	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Sonja Thölmann, Jochen Seebach, Tetsuhisa Otani, Luise Florin, Hans Schnittler, Volker Gerke, Mikio Furuse, Klaus Ebnet	4. 巻 79
2. 論文標題 JAM-A interacts with $\alpha 3 \beta 1$ integrin and tetraspanins CD151 and CD9 to regulate collective cell migration of polarized epithelial cells	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Cellular and Molecular Life Sciences	6. 最初と最後の頁 1-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00018-022-04140-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Okada M, Kawagoe Y, Takasugi T, Nozumi M, Ito Y, Fukusumi H, Kanemura Y, Fujii Y, Igarashi M	4. 巻 -
2. 論文標題 JNK1-dependent phosphorylation of GAP-43 Serine 142 is a novel molecular marker for axonal growth	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Neurochem Res	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11064-022-03580-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Riki Furuhata, R., Imasaka, M., Sugimoto, M., Yoshinobu, K., Araki, M. and Araki, K.	4. 巻 27
2. 論文標題 LincRNA-p21 exon 1 expression correlates with Cdkn1a expression in vivo	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Genes to Cells	6. 最初と最後の頁 14-24
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/gtc.12906	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Liu N, Iijima A, Iwata Y, Ohashi K, Fujisawa N, Sasaoka T, Hasegawa I.	4. 巻 12
2. 論文標題 Mental construction of object symbols from meaningless elements by Japanese macaques ( <i>Macaca fuscata</i> )	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-022-07563-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tao, H., # Mori, T., # Chen, H., Lyu, S., Nonoyama, A., Lee, S., Abe, I. (#equall contribution)	4. 巻 13
2. 論文標題 Molecular insights into the unusually promiscuous and catalytically versatile Fe(II)/ $\alpha$ -ketoglutarate-dependent oxygenase SptF	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Nature Commun	6. 最初と最後の頁 95
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-021-27636-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sayaka Saijo, Mikiko Ohno, Hirotaka Iwasaki, Shintaro Matsuda, Kiyoto Nishi, Yoshinori Hiraoka, Natsuki Ide, Takeshi Kimura, Eiichiro Nishi	4. 巻 12
2. 論文標題 Nardilysin in adipocytes regulates UCP1 expression and body temperature homeostasis	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 3449
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-022-07379-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 N Kondo, Y Sakurai, T Takata, K Kano, K Kume, M Maeda, N Takai, S Suzuki et al.,	4. 巻 12
2. 論文標題 Persistent elevation of lysophosphatidylcholine promotes radiation brain necrosis with microglial recruitment by P2RX4 activation	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 scientific reports	6. 最初と最後の頁 8718
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-022-12293-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Miyajima K, Sudo Y, Sanechika S, Hara S, Inoue K, Takada M, Yoshioka N, Takebayashi H, Sugimoto M, Sumi-Ichinose C, Takao K, Miyakawa T, Ichinose H, et al.	4. 巻 -
2. 論文標題 Perturbation of monoamine metabolism and enhanced fear responses in mice defective in the regeneration of tetrahydrobiopterin	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Neurochemistry	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jnc.15600	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Mishima Y, Han P, Ishibashi K, Kimura S, and Iwasaki S	4. 巻 41(5)
2. 論文標題 Ribosome slowdown triggers codon-mediated mRNA decay independently of ribosome quality control.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 EMBO J.	6. 最初と最後の頁 e109256
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15252/embj.2021109256	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Miyake T, Doi M	4. 巻 74
2. 論文標題 Roles of the Circadian Clock Mechanism in the Regulation of Daily Rhythms of Body Temperature	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Brain and nerve	6. 最初と最後の頁 159-166
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1416202001	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Wu Q, Shichino Y, Abe T, Suetsugu T, Omori A, Kiyonari H, Iwasaki S, and Matsuzaki F	4. 巻 13(1)
2. 論文標題 Selective translation of epigenetic modifiers affects the temporal pattern and differentiation of neural stem cells.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Nat Commun.	6. 最初と最後の頁 470
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-022-28097-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ishiguro K	4. 巻 -
2. 論文標題 Sexually dimorphic properties in meiotic chromosome	5. 発行年 2022 年
3. 雑誌名 Sexual Development	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000520682	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fujita T, Yokoyama T, Shirouzu M, Taguchi H, Ito T, and Iwasaki S	4. 巻 28 (3)
2. 論文標題 The landscape of translational stall sites in bacteria revealed by monosome and disome profiling.	5. 発行年 2022 年
3. 雑誌名 RNA	6. 最初と最後の頁 290-302
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1261/rna.078188.120	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Hiramatsu Y, Suzuki K, Nishida T, Onoda N, Satoh T, Akira S, Ikawa M, Ikeda H, Kamei J, Derouiche S, Tominaga M, Horiguchi Y	4. 巻 13
2. 論文標題 The mechanism of pertussis cough revealed by the mouse-coughing model	5. 発行年 2022 年
3. 雑誌名 mBio	6. 最初と最後の頁 e0319721
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mbio.03197-21	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Danjo Y, Shinozaki Y, Natsubori A, Kubota Y, Kashiwagi K, Tanaka KF, Koizumi S.	4. 巻 11
2. 論文標題 The Mlcl promotor directs Müller cell-specific gene expression in the retina	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 translational vision science & technology	6. 最初と最後の頁 25
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1167/tvst.11.1.25	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Morimoto y, Tokumitsu A, . , Shigeki Ohta	4. 巻 -
2. 論文標題 TPT1 Supports Proliferation of Neural Stem/Progenitor Cells and Brain Tumor Initiating Cells Regulated by Macrophage Migration Inhibitory Factor (MIF)	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Neurochem Res	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11064-022-03629-6	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Masai, H.	4. 巻 -
2. 論文標題 TT-pocket/HIRAN: binding to 3' -terminus of DNA for recognition and processing of stalled replication forks.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 J. Biochem.	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jb/mvac042	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Naoto Hori, Yuki Takakura, Ayumi Sugino, Shuto Iwasawa, Kota Nomizo, Naoto Yamaguchi, Hiroyuki Takano, Noritaka Yamaguchi	4. 巻 26
2. 論文標題 Vestigial-like family member 3 (VGLL3) stimulates cell motility by inducing High mobility group AT-hook 2 (HMGA2) expression in cancer cells	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Cellular and Molecular Medicine	6. 最初と最後の頁 2686-2697
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jcmm.17279	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Chhipi Shrestha JK, Schneider-Poetsch T, Suzuki T, Mito M, Khan K, Dohmae N, Iwasaki S, and Yoshida M	4. 巻 29
2. 論文標題 Splicing modulators elicit global translational repression by condensate-prone proteins translated from introns	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Cell Chem Biol.	6. 最初と最後の頁 259-275
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.chembiol.2021.07.015	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kawakami T, Fujisawa H, Nakayama S, Yoshino Y, Hattori S, Seino Y, Takayanagi T, Miyakawa T, Suzuki A, Sugimura Y.	4. 巻 68
2. 論文標題 Vasopressin escape and memory impairment in a model of chronic syndrome of inappropriate secretion of antidiuretic hormone in mice.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Endocrine Journal	6. 最初と最後の頁 31-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1507/endocrj.EJ20-0289	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 松本真司	4. 巻 93
2. 論文標題 上皮管腔形態形成の分子機構とその異常による腫瘍形成	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Japanese Biochemical Society	6. 最初と最後の頁 733-748
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14952/SEIKAGAKU.2021.930733	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Katsuya Uchida and Mao Suzuki	4. 巻 -
2. 論文標題 "Congenital Hypothyroidism and Brain Development: Association with Other Psychiatric Disorders"	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Neuroscience	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2021.772382	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 K. Hikita, Y. Yamakage, H. Okunaga, Y. Motoyama, H. Matsuyama, K. Matsuoka, T. Murata, T. Nakayoshi, A. Oda, K. Kato, H. Tanaka, N. Asao, S. Dan and N. Kaneda	4. 巻 30
2. 論文標題 (S)-erypogin K, an isoflavone isolated from Erythrina poeppigiana, is a novel inhibitor of topoisomerase II $\alpha$ : Induction of G2 phase arrest in human gastric cancer cells	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Bioorg. Med. Chem.	6. 最初と最後の頁 115904
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bmc.2020.115904	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 中村 加枝, 石井 宏憲, 安田 正治	4. 巻 39(8)
2. 論文標題 【意思決定と行動選択の神経科学】セロトニンと意思決定	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 979-983
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Lauren C Briere, Melissa A Walker, Frances A High, Cynthia Cooper, ....., Masaaki Komatsu (19人中18番目), David A Sweetser	4. 巻 7
2. 論文標題 A description of novel variants and review of phenotypic spectrum in UBA5-related early epileptic encephalopathy	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cold Spring Harb Mol Case Stud	6. 最初と最後の頁 a005827
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/mcs.a005827	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Jin Lee, Xiaoxi Chen, Yuming Wang, Tatsunori Nishimura, Mengjiao Li, Satoko Ishikawa, Takiko Daikoku, Junya Kawai, Arinobu Tojo, Noriko Gotoh	4. 巻 584
2. 論文標題 A novel oral inhibitor for one-carbon metabolism and checkpoint kinase 1 inhibitor as a rational combination treatment for breast cancer	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun	6. 最初と最後の頁 7-14
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2021.11.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Miyanishi H, Nitta A	4. 巻 14
2. 論文標題 A role of BDNF in the depression pathogenesis and a potential target as antidepressant: the modulator of stress sensitivity "Shati/Nat81-BDNF system" in the dorsal striatum	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Pharmaceuticals	6. 最初と最後の頁 889
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ph14090889	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kawai, F., Ohkuma, M., Horiguchi, M., Ichinose, H., and Miyachi, E. I.	4. 巻 202
2. 論文標題 A subset of cone bipolar cells expresses the Na(+) channel SCN2A in the human retina.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Exp. Eye Res.	6. 最初と最後の頁 108299
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.exer.2020.108299	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kazuhiro Okumura(責任著者), Megumi Saito, Yuichi Wakabayashi	4. 巻 70(3)
2. 論文標題 A wild-derived inbred mouse strain, MSM/Ms, provides insights into novel skin tumor susceptibility genes	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Experimental Animals	6. 最初と最後の頁 272-283
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1538/expanim.21-0017	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fukushima, H., Zhang, Y., Kida, S.*	4. 巻 41
2. 論文標題 Active transition of fear memory phase from reconsolidation to extinction through ERK-mediated prevention of reconsolidation	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J. Neurosci.	6. 最初と最後の頁 1288-1300
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.1854-20.2020	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka, M., Shigetomi, E., Parajuli, B., Nagatomo, H., Lee, JH., Kim, SK., Nabekura, J., Koizumi, S. et al.	4. 巻 69
2. 論文標題 Adenosine A2B receptor down-regulates metabotropic glutamate receptor 5 in astrocytes during postnatal development	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 GLIA	6. 最初と最後の頁 2546-2558
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/glia.24006	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Mizuno M, Khaledian B, Maeda M, Hayashi T, Mizuno S, Kono S, Okada S, Suzuki M, Takao S, Minami H, Asai N, Sugiyama F, Takahashi S, Shimono Y, et al.	4. 巻 13
2. 論文標題 Adipsin-Dependent Secretion of Hepatocyte Growth Factor Regulates the Adipocyte-Cancer Stem Cell Interaction	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cancers	6. 最初と最後の頁 e4238
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/cancers13164238	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hirai I, Funakoshi T, Kamijuku H., Ohta S, Fujita T, Tanosaki R, Handa M, Okamoto S, Amagai M, Kawakami Y.	4. 巻 112
2. 論文標題 Adoptive cell therapy using tumor-infiltrating lymphocytes for melanoma refractory to immune-checkpoint inhibitors	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cancer Sci	6. 最初と最後の頁 3163-3172
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.15009	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Jingushi K, Aoki M, Kawahara K, Furukawa T, Tsujikawa K et al.	4. 巻 11
2. 論文標題 ALKBH4 promotes tumourigenesis with a poor prognosis in non-small-cell lung cancer	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 8677-8677
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-87763-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shun Hamada, Masashi Nagase, Tomohiko Yoshizawa, Akari Hagiwara, Yoshikazu Isomura, Ayako M Watabe, Toshihisa Ohtsuka.	4. 巻 4
2. 論文標題 An engineered channelrhodopsin optimized for axon terminal activation and circuit mapping	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Communications Biology	6. 最初と最後の頁 461
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-021-01977-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Taichi Sugawara, Kyoko Furuse, Tetsuhisa Otani, Tomohiko Wakayama, Mikio Furuse	4. 巻 220
2. 論文標題 Angulin-1 seals tricellular contacts independently of tricellulin and claudins	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Cell Biology	6. 最初と最後の頁 e202005062
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1083/jcb.202005062	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Shutoh F, Masuda T, Sasaki T, Takei Y.	4. 巻 -
2. 論文標題 Anomalous atrium associated with persistent left superior vena cava	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Anatomical Science International.	6. 最初と最後の頁 1-5
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12565-021-00604-z	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yusuke Murakami, Ryutaro Fukui, Reika Tanaka, Yuji Motoi, Atsuo Kanno, Ryota Sato, Kiyoshi Yamaguchi, Yoichi Furukawa, Naomi Yamashita, Kensuke Miyake	4. 巻 12
2. 論文標題 Anti-TLR7 Antibody Protects Against Lupus Nephritis in NZBWF1 Mice by Targeting B Cells and Patrolling Monocytes	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Immunology	6. 最初と最後の頁 777197
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2021.777197. eCollection 2021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Asano T, Teh DBL, Yawo H.	4. 巻 1293
2. 論文標題 Application of Optogenetics for Muscle Cells and Stem Cells.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Adv Exp Med Biol.	6. 最初と最後の頁 359-375
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-15-8763-4_23	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Shinichi Nakagawa, Tomohiro Yamazaki, Taro Mannen, Tetsuro Hirose	4. 巻 -
2. 論文標題 ArcRNAs and the formation of nuclear bodies	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Mammalian Genomes	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00335-021-09881-5	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 M. Sumiyoshi, Y. Kotani, Y. Ikuta, K. Suzue, M. Ozawa, T. Katakai, T. Yamada, T. Abe, K. Bando, S. Koyasu, Y. Kanaho, T. Watanabe and S. Matsuda	4. 巻 206
2. 論文標題 Arf1 and Arf6 Synergistically Maintain Survival of T Cells during Activation	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Journal of Immunology	6. 最初と最後の頁 366-375
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4049/jimmunol.2000971	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ishida A, Igarashi K, Ruike Y, Ishiwata K, Naito K, Kono S, Deguchi H, Fujimoto M, Shiga A, Suzuki S, Yoshida T, Tanaka T, Tatsuno I, Yokote K, Koide H.	4. 巻 94
2. 論文標題 Association of urinary free cortisol with bone formation in patients with mild autonomous cortisol secretion	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Clin Endocrinol (Oxf).	6. 最初と最後の頁 544-550
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cen.14385. Epub 2020 Dec 17	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Bunno, T., Awakawa, T., Mori, T., Abe, I.	4. 巻 60
2. 論文標題 Aziridine formation by a Fe(II)/ $\alpha$ -ketoglutarate dependent oxygenase and 2-aminoisobutyrate biosynthesis in fungi	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Angew. Chem. Int. Ed.	6. 最初と最後の頁 15827-15831
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/anie.202104644	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Fujihara K, Sato T, Higeta K, Miyasaka Y, Mashimo T, Yanagawa Y.	4. 巻 12
2. 論文標題 Behavioral consequences of a combination of Gad1 haplo deficiency and adolescent exposure to NMDA receptor antagonist in Long-Evans rat	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Front Pharmacol.	6. 最初と最後の頁 646088
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fphar.2021.646088	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Toshiyuki Nagata, Kentaro Minami, Masatatsu Yamamoto, Tsubasa Hiraki, ..... Masaaki Komatsu (16人中13番目), Akihide Tanimoto, Tatsuhiko Furukawa and Masami Sato	4. 巻 22
2. 論文標題 BHLHE41/DEC2 Expression Induces Autophagic Cell Death in Lung Cancer Cells and Is Associated with Favorable Prognosis for Patients with Lung Adenocarcinoma	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Int. J. Mol. Sci.	6. 最初と最後の頁 11509
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms222111509	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nakajima K, Ishiwata M, Weitemier AZ, Shoji H, Monai H, Miyamoto H, Yamakawa K, Miyakawa T, McHugh TJ, Kato T	4. 巻 30
2. 論文標題 Brain-specific heterozygous loss-of-function of ATP2A2, endoplasmic reticulum Ca <sup>2+</sup> pump responsible for Darier's disease, causes behavioral abnormalities and a hyper-dopaminergic state	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Human Molecular Genetics	6. 最初と最後の頁 1762-1772
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/hmg/ddab137.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshida T, Yamagata A, Imai A, Kim J, Izumi H, Maenaka K, Shimada T, Fukata M, Nishijo H, Takao K, Okabe S, Tabuchi K, Mishina M, Mori H, Fukai S.	4. 巻 12
2. 論文標題 Canonical versus non-canonical transsynaptic signaling of neuroligin 3 tunes development of sociality in mice	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 1848
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-021-22059-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Komeno M, Pang X, Shimizu A, ..., Ogita H.	4. 巻 296
2. 論文標題 Cardio- and reno-protective effects of dipeptidyl peptidase III in diabetic mice	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Biol Chem	6. 最初と最後の頁 100761
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jbc.2021.100761	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sato A, Rahman NIA, Shimizu A, Ogita H.	4. 巻 112
2. 論文標題 Cell-to-cell contact-mediated regulation of tumor behavior in the tumor microenvironment	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cancer Sci	6. 最初と最後の頁 4005-4012
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.15114	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mori, T., Abe, I., Toshiya, S., Kobayashi, M. et al.	4. 巻 12
2. 論文標題 C-Glycoside metabolism in the gut and in nature: Identification, characterization, structural analyses and distribution of C-C bond-cleaving enzymes	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nature Commun.	6. 最初と最後の頁 6294
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-021-26585-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Masashi Kawami, Shinnosuke Takenaka, Mizuki Akai, Ryoko Yumoto, Mikihiisa Takano	4. 巻 11
2. 論文標題 Characterization of miR-34a-induced epithelial-mesenchymal transition in Non-small lung cancer cells focusing on p53	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Biomolecules	6. 最初と最後の頁 1853
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/biom11121853	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Chukai Y, Iwamoto T, Itoh K, Tomita H, Ozaki T	4. 巻 1868 (5)
2. 論文標題 Characterization of mitochondrial calpain-5	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Biochim Biophys Acta Mol Cell Res	6. 最初と最後の頁 118989
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbamcr.2021.118989	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yasushi Takemoto, Shin Kadota, Itsunari Minami, Shinya Otsuka, Satoshi Okuda, Masahiro Abo, Louvy Lynn Punzalan, Yan Shen, Yuji Shiba, Motonari Uesugi	4. 巻 60
2. 論文標題 Chemical Genetics Reveals a Role of Squalene Synthase in TGF $\beta$ Signaling and Cardiomyogenesis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Angewandte Chemie International Edition	6. 最初と最後の頁 21824-21831
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/anie.202100523	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Seimiya H, Nagasawa K, Shin-Ya K	4. 巻 74
2. 論文標題 Chemical targeting of G-quadruplexes in telomeres and beyond for molecular cancer therapeutics	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Antibiot	6. 最初と最後の頁 617-628
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41429-021-00454-x	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Adhikara IM, Yagi K, Mayasari DS, Suzuki Y, Ikeda K, Ryanto GRT, Sasaki N, Rikitake Y, Nadanaka S, Kitagawa H, Miyata O, Igarashi M, Hirata K, Emoto N	4. 巻 41(3)
2. 論文標題 Chondroitin Sulfate N-acetylgalactosaminyltransferase-2 Impacts Foam Cell Formation and Atherosclerosis by Altering Macrophage Glycosaminoglycan Chain	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Arterioscler Thromb Vasc Biol	6. 最初と最後の頁 1076-1091
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/ATVBAHA.120.315789	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Haryono A, Ikeda K, Nugroho D, Ogata T, Tsuji Y, Matoba S, Moriwaki K, Kitagawa H, Igarashi M, Hirata K, Emoto N	4. 巻 -
2. 論文標題 Chondroitin sulfate N-acetylgalactosaminyltransferase-2 plays a cardioprotective role in heart failure caused by acute pressure overload	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Am Heart Assoc	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Inada R, Miyamoto K, Tanaka N, Moriguchi K, Kadomatsu K, Takeuchi K, Igarashi M, Kusunoki S	4. 巻 31(3)
2. 論文標題 Chondroitin sulfate N-acetylgalactosyltransferase-1 knockout shows milder phenotype in experimental autoimmune encephalomyelitis than in wild type	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Glycobiology.	6. 最初と最後の頁 260-265
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/glycob/cwaa072	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Hou X*, Nozumi M, Nakamura H, Igarashi M, Sugiyama S*	4. 巻 9
2. 論文標題 Coactosin Promotes F-actin Protrusion in Growth Cones under Cofilin-related Signaling Pathway	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Front Cell Dev Biol	6. 最初と最後の頁 660349
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fcell.2021.660349	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ichihara K, Matsumoto A, Nishida H, Kito Y, Shimizu H, Shichino Y, Iwasaki S, Imami K, Ishihama Y, and Nakayama KI.	4. 巻 -
2. 論文標題 Combinatorial analysis of translation dynamics reveals eIF2 dependence of translation initiation at near-cognate codons	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nucleic Acids Res	6. 最初と最後の頁 gkab549
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/nar/gkab549	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Fumito Ishibashi, Tsutomu Fukuda, Shijiao Zha, Aya Hashirano, Shotaro Hirao, Masatomo Iwao	4. 巻 85
2. 論文標題 Concise synthesis and in vitro anticancer activity of benzo[g][1]benzopyrano[4,3-b]indol-6(13H)-ones (BBPIs), topoisomerase I inhibitors based on the marine alkaloid lamellarin	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry	6. 最初と最後の頁 181-191
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/bbb/zbaa028	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Sasaki T, Takei Y.	4. 巻 32(2)
2. 論文標題 Constitutive increase of IL-17A in serum affects microglial activity in the hippocampal dentate gyrus	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Jap J Biol Psych.	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kuriyama Y, Shimizu A, Kanai S, Oikawa D, Motegi SI, Tokunaga F, Ishikawa O.	4. 巻 11
2. 論文標題 Coordination of retrotransposons and type I interferon with distinct interferon pathways in dermatomyositis, systemic lupus erythematosus and autoimmune blistering disease	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 23146
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-02522-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Miyashita H, Oikawa D, Terawaki S, Kabata D, Shintani A, Tokunaga F.	4. 巻 12
2. 論文標題 Crosstalk Between NDP52 and LUBAC in Innate Immune Responses, Cell Death, and Xenophagy	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Front Immunol.	6. 最初と最後の頁 635475
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2021.635475	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Simankova A, Bizen N, Saitoh S, Shibata S, Ohno N, Abe M, Sakimura K, Takebayashi H.	4. 巻 69
2. 論文標題 Ddx20, DEAD box helicase 20, is essential for the differentiation of oligodendrocyte and maintenance of myelin gene expression	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Glia	6. 最初と最後の頁 2559-2574
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/glia.24058	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Murakami R, Sumiyoshi T, Negishi L, Siomi MC.	4. 巻 22
2. 論文標題 DEAD - box polypeptide 43 facilitates piRNA amplification by actively liberating RNA from Ago3 - piRISC	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 EMBO Rep.	6. 最初と最後の頁 e51313
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15252/embr.202051313	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Naniwa, K. and Aonuma H.	4. 巻 8
2. 論文標題 Descending and ascending signals that maintain rhythmic walking pattern in the cricket	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Robotics and AI	6. 最初と最後の頁 625094
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/frobt.2021.625094	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takahiro Shimizu, Norihito Takahashi, Vincent J. Huber, Yukiko Muramatsu, Hiroyuki Seimiya, Hiroyuki Kouji, Hiroyuki Nakamura, Hiroki Oguri* et al.	4. 巻 30
2. 論文標題 Design and synthesis of 14 and 15-membered macrocyclic scaffolds exhibiting inhibitory activities of hypoxia-inducible factor 1 $\alpha$	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Bioorg. Med. Chem.	6. 最初と最後の頁 115949
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bmc.2020.115949	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Daikuzono H, Yamazaki M, Sato Y, Takahashi T, Yamagata K	4. 巻 -
2. 論文標題 Development of a DELFIA method to detect oncofetal antigen ROR1-positive exosomes	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun.	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -



1. 著者名 Kogaki T, Ohshio I, Kawahara K, Furukawa T, Jingushi K, Tsujikawa K et al.	4. 巻 197
2. 論文標題 Development of a highly sensitive method for the quantitative analysis of modified nucleosides using UHPLC-UniSpray-MS/MS	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Pharm Biomed Anal	6. 最初と最後の頁 113943-113943
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jpba.2021.113943	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Doi H, Parajuli B, Horio T, Shigetomi E, Shinozaki Y, Noda T, Takahashi K, Hattori T, Koizumi S, Sawada K	4. 巻 335
2. 論文標題 Development of a label-free ATP image sensor for analyzing spatiotemporal patterns of ATP release from biological tissues	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Sensors and Actuators B: Chemical	6. 最初と最後の頁 129686
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.snb.2021.129686	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe Y, Sugano E, Tabata K, Hatakeyama A, Sakajiri T, Fukuda T, Ozaki T, Suzuki T, Sayama T, Tomita H	4. 巻 6(1)
2. 論文標題 Development of an optogenetic gene sensitive to daylight and its implications in vision restoration	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 npj Regenerative Medicine	6. 最初と最後の頁 64
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41536-021-00177-5	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Tsuji, R., Inoue, H., Uehara, M., Kida, S.*	4. 巻 41
2. 論文標題 Dietary magnesium deficiency induces the expression of neuroinflammation-related genes in mouse brain	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Neuropsychopharmacol Rep.	6. 最初と最後の頁 230-236
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/npr2.12167	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki T, Ogita H, Sato A, Minamidate N, Hachiro K.	4. 巻 62
2. 論文標題 Differences between atherosclerotic and non-atherosclerotic patients in expression levels of inflammatory mediators in the adipose tissue around the coronary artery	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Int Heart J	6. 最初と最後の頁 390-395
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1536/ihj.20-585	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Irie, T., Asami, T., Sawa, A., Uno, Y., Taniyama, C., Funakoshi, Y., Masai, H., Sawa, M.	4. 巻 64
2. 論文標題 Discovery of AS-0141, a Potent and Selective Inhibitor of CDC7 Kinase for the Treatment of Solid Cancers	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J. Med. Chem.	6. 最初と最後の頁 14153-14164.
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.jmedchem.1c01319	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Katagiri T, Ushiki T, Nakajima-Takagi Y, Oshima M, Mikami T, Kawasaki A, Ishiguro H, Tanaka T, Sone H, Kitagawa H, Igarashi M, Iwama A, Masuko M	4. 巻 96
2. 論文標題 Distinct effects of chondroitin sulfate on hematopoietic cells and the stromal microenvironment in bone marrow hematopoiesis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Exp Hematol	6. 最初と最後の頁 52-62. e5
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.exphem.2021.02.003	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yuta Arai, Hiroki Oguri*	4. 巻 78
2. 論文標題 Divergent synthesis of functionalized dihydropyridines and pyrroles via metal-free one-pot domino reactions of a gem-disubstituted propargyl amine and an alkynyl sulfone	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Tetrahedron Lett. 2021	6. 最初と最後の頁 153283
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Tsutomu Fukuda, Seiya Okutani, Mayu Sumi, Kazuhito Miyagi, Gen Onodera, Masanari Kimura	4. 巻 103
2. 論文標題 Divergent Total Synthesis of Azalamellarins D and N	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Heterocycles	6. 最初と最後の頁 862-877
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3987/COM-20-S(K)53	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kawahata I, Sekimori T, Wang H, Wang Y, Sasaoka T, Bousset L, Melki R, Mizobata T, Kawata Y, Fukunaga K.	4. 巻 9 (1)
2. 論文標題 Dopamine D2 Long Receptors Are Critical for Caveolae-Mediated $\alpha$ -Synuclein Uptake in Cultured Dopaminergic Neurons	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Biomedicines	6. 最初と最後の頁 E49
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/biomedicines9010049	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Toyokuni S, Kong Y, Zheng H, Mi D, Katabuchi M, Motooka Y, Ito F.	4. 巻 26
2. 論文標題 Double-edged Sword Role of Iron-loaded Ferritin in Extracellular Vesicles	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Cancer Prev 26: 244-249, 2021	6. 最初と最後の頁 244-249
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15430/JCP.2021.26.4.244	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ito, N., Riyadh, M., Ahmad, S., Hattori, S., Miyakawa, T. and Ohta, K. et al.	4. 巻 -
2. 論文標題 Dysfunction of the proteoglycan Tsukushi causes hydrocephalus through altered neurogenesis in the subventricular zone in mice.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Science Translational Medicine	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Uchida M, Noda Y, Hasegawa S, Hida H, Taniguchi M, Mouri A, Yoshimi A, Nabeshima T, Yamada K, Aida T, Tanaka K, Ozaki N.	4. 巻 150
2. 論文標題 Early postnatal inhibition of GLAST causes abnormalities of psychobehaviors and neuronal morphology in adult mice	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Neurochem Int.	6. 最初と最後の頁 105177
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuint.2021.105177	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Sasaki T, Nagata R, Takahashi S, Takei Y	4. 巻 -
2. 論文標題 Effects of ROR $\gamma$ t overexpression on the murine central nervous system.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Neuropsychopharmacology Reports	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/NPR2.12162	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kashiwagi K, Shichino Y, Osaki T, Sakamoto A, Nishimoto M, Takahashi M, Mito M, Weber F, Ikeuchi Y, Iwasaki S, and Ito T	4. 巻 12(1)
2. 論文標題 eIF2B-capturing viral protein NSs suppresses the integrated stress response	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nat Commun.	6. 最初と最後の頁 7102
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-021-27337-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yang, P., Tian, H., Zou, Y.R., Chambon, P., Ichinose, H., Honig, G., Diamond, B., and Kim, S.J.	4. 巻 12
2. 論文標題 Epinephrine Production in Th17 Cells and Experimental Autoimmune Encephalitis.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Front Immunol	6. 最初と最後の頁 616583
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2021.616583	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kitakaze, M., Chijimatsu, R., Vecchione, A., Kitagawa, T., Doki, Y., Eguchi, H., Ishii, H.	4. 巻 22
2. 論文標題 Epithelial cell transformation and senescence as indicators of genome aging: current advances and unanswered questions	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Int. J. Mol. Sci.	6. 最初と最後の頁 7544
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms22147544	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Naho Nomura, Chiaki Ito, Takako Ooshiro, ..., Masaaki Komatsu(15人中13番目), Toru Yanagawa, Atsushi Hirao	4. 巻 11
2. 論文標題 Essential role of autophagy in protecting neonatal haematopoietic stem cells from oxidative stress in a p62-independent manner	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 1666
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-81076-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Miura K, Kobayashi T, Zhang Z, Prasoon P, Hirose Y, Ishikawa H, Takizawa K, Sakata J, Miura S, Sasaoka T, Wakai T	4. 巻 -
2. 論文標題 Establishment of a long-term survival swine model for observation of transplanted islets: A preliminary step in an allogeneic transplant experiment	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Transplantation Proceedings	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yusuke Hanaki, Yusuke Araki, Toshio Nishikawa, Ryo C. Yanagita	4. 巻 8
2. 論文標題 Evaluation of the in vitro cytotoxicity of oscillatoxins E and F under nutrient-starvation culture conditions	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Fundamental Toxicological Sciences	6. 最初と最後の頁 69-73
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2131/fts.8.69	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Shepherd S., Jackson C.W., Sharkh S.M., Aonuma H., Oliveira E.E. and Newland P.L.	4. 巻 42
2. 論文標題 Extremely low-frequency electromagnetic fields entrain locust wingbeats	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Bioelectromagnetics	6. 最初と最後の頁 296-308
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/bem.22336	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Ishizaki Y., Higuchi T., Yanagimoto Y., Kobayashi H., Noritake A., Nakamura K., Kaneko K.	4. 巻 15(1)
2. 論文標題 Eye gaze differences in school scenes between preschool children and adolescents with high-functioning autism spectrum disorder and those with typical development	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 BioPsychoSocial medicine	6. 最初と最後の頁 2-2
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13030-020-00203-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hikmawan Wahyu Sulistomo, Takayuki Nemoto, Yohko Kage, Hajime Fujii, Taku Uchida, Kogo Takamiya, Hideki Sumimoto, Hiroaki Kataoka, Haruhiko Bito, Ryu Takeya	4. 巻 31
2. 論文標題 Fhod3 Controls the Dendritic Spine Morphology of Specific Subpopulations of Pyramidal Neurons in the Mouse Cerebral Cortex	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cerebral Cortex	6. 最初と最後の頁 2205-2219
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhaa355	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Grigor Varuzhanyan, Mark S Ladinsky, Shun-Ichi Yamashita, Manabu Abe, Kenji Sakimura, Tomotake Kanki, David C Chan	4. 巻 148
2. 論文標題 Fisl ablation in the male germline disrupts mitochondrial morphology and mitophagy, and arrests spermatid maturation	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Development	6. 最初と最後の頁 dev199686
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1242/dev.199686	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する



1. 著者名 Hoshino C, Konno A, Hosoi N, Kaneko R, Mukai R, Nakai J, Hirai H.	4. 巻 14
2. 論文標題 GABAergic neuron-specific whole-brain transduction by AAV-PHP.B incorporated with a new GAD65 promoter	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Mol Brain.	6. 最初と最後の頁 33
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13041-021-00746-1	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Abe M., Cox T.C., Firulli A.B., Kanai S.M., Dalhka J., Lim K-C., Engel D.J., Clouthier D.E.	4. 巻 -
2. 論文標題 Gata3 is essential for separating patterning domains during facial morphogenesis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Development	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1242/dev.199534	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Iyo Takeda, Masatake Araki, Kei-ichiro Ishiguro, ... Kumiko Yoshinobu and Kimi Araki	4. 巻 26
2. 論文標題 Gene Trapping reveals a new transcriptionally active genome element: The chromosome-specific clustered trap region	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Genes to Cells	6. 最初と最後の頁 874-890
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/gtc.12890	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Fujihara K, Sato T, Miyasaka Y, Mashimo T, Yanagawa Y.	4. 巻 -
2. 論文標題 Genetic deletion of the 67-kDa isoform of glutamate decarboxylase alters conditioned fear behavior in rats	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 FEBS Open Bio.	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2211-5463.13065	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sumitani M, Nishizawa D, Hozumi J, Ikeda K.	4. 巻 -
2. 論文標題 Genetic implications in quality palliative care and preventing opioid crisis in cancer-related pain management	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jnr.24756	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Tsuchida R, Tanabe Y, Nishizawa D, Ikeda K, Abe H, Inoue R, Kurano M, Yatomi Y, Tamura K, Takano T, Shimizu C, Uchida K, Sumitani M	4. 巻 127
2. 論文標題 Genetic polymorphisms of lysophosphatidic acid receptor 1 are associated with the onset of taxane-induced peripheral neuropathy	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 British Journal of Anaesthesia	6. 最初と最後の頁 43-46
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bja.2021.04.014	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Natsumeda M, Miyahara H, Yoshimura J, Okada M, Hirato J, Wataya T, Tateishi K, Rodriguez FJ, Suva ML, Taylor MD, Eberhart CG, Fujii Y, Kakita A	4. 巻 80(2)
2. 論文標題 GLI3 is associated with neuronal differentiation in SHH-activated and WNT-activated medulloblastoma	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Neuropathology and Experimental Neurology	6. 最初と最後の頁 129-136
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jnen/nlaa141	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Miyata S, Kakizaki T, Fujihara K, Obinata H, Hirano T, Nakai J, Tanaka M, Itohara S, Watanabe M, Tanaka KF, Abe M, Sakimura K, Yanagawa Y.	4. 巻 14
2. 論文標題 Global knockdown of glutamate decarboxylase 67 elicits emotional abnormality in mice	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Mol Brain.	6. 最初と最後の頁 5
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13041-020-00713-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamaguchi Y, Murai I, Goto K, Doi S, Zhou H, Setsu G, Shimatani H, Okamura H, Miyake T, Doi M	4. 巻 11
2. 論文標題 Gpr19 is a circadian clock-controlled orphan GPCR with a role in modulating free-running period and light resetting capacity of the circadian clock	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Sci. Rep.	6. 最初と最後の頁 22406
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-01764-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto K, Okamoto K, Okabe S, Fujii R, Ueda K, Ohashi K, Seimiya H.	4. 巻 26
2. 論文標題 G-quadruplex-forming nucleic acids interact with SF3B2 and suppress innate immune gene expression	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Genes Cells	6. 最初と最後の頁 65-82
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/gtc.12824	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okumura, S., Konishi, Y., Narukawa, M., .....Nagayama, S. and Hara, E.	4. 巻 -
2. 論文標題 Gut bacteria identified in colorectal cancer patients promote tumourigenesis via butyrate secretion	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ishino K (第一著者), Hasuwa H, Yoshimura J, Iwasaki YW, Nishihara H, Seki NM, Hirano T, Tsuchiya M, Ishizaki H, Siomi MC (研究代表者), Morishita S, Siomi H (責任著者).	4. 巻 49
2. 論文標題 Hamster PIWI proteins bind to piRNAs with stage-specific size variations during oocyte maturation	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nucl. Acid. Res.	6. 最初と最後の頁 2700-2720
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/nar/gkab059	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kosuge A, Kunisawa K, Arai S, Sugawara Y, Shinohara K, Iida T, Wulaer B, Kawai T, Fujigaki H, Yamamoto Y, Saito K, Nabeshima T, Mouri A.	4. 巻 96
2. 論文標題 Heat-sterilized Bifidobacterium breve prevents depression-like behavior and interleukin-1 $\beta$ expression in mice exposed to chronic social defeat stress	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Brain Behav Immun.	6. 最初と最後の頁 200-211
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbi.2021.05.028	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Li, X., Awakawa, T., Mori, T., Ling, M., Hu, D., Wu, B., Abe, I.	4. 巻 143
2. 論文標題 Heterodimeric Non-heme Iron Enzymes in Fungal Meroterpenoid Biosynthesis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J. Am. Chem. Soc.	6. 最初と最後の頁 21425-21432
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/jacs.1c11548	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Dat NQ, 略 15 名, Tokunaga F, Pinzani M, Kawada N.	4. 巻 73
2. 論文標題 Hexa Histidine-Tagged Recombinant Human Cytoglobin Deactivates Hepatic Stellate Cells and Inhibits Liver Fibrosis by Scavenging Reactive Oxygen Species	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Hepatology	6. 最初と最後の頁 2527-2545
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/hep.31752	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Dat NQ, Oikawa D, Yoishizato K, Tokunaga F, Pinzani M, Kawada M, et al.	4. 巻 -
2. 論文標題 His-Cytoglobin Deactivates Hepatic Stellate Cells and Inhibits Liver Fibrosis by Scavenging Reactive Oxygen Species	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Hepatology.	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Htun Y., Nakamura S., Kusaka T.	4. 巻 89(4)
2. 論文標題 Hydrogen and therapeutic gases for neonatal hypoxic-ischemic encephalopathy: potential neuroprotective adjuncts in translational research	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Pediatric Research	6. 最初と最後の頁 753-759
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41390-020-0998-z	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Wakabayashi, T., Nakamura, S., Nakao, Y., Yamato, S., Htun, Y., Mitsue, T., Morimoto, A., Arioka, M., Koyano, K., Konishi, Y., Miki, T., Ueno, M., Kusaka, T.	4. 巻 -
2. 論文標題 Hypothermia cannot ameliorate renal fibrosis after asphyxia in the newborn piglet	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Pediatric International	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ped.14961	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kumiko Naito, Sawako Suzuki, Chikako Ohwada, Jun-ichiro Ikeda, Tomoaki Tanaka, Koutaro Yokote.	4. 巻 -
2. 論文標題 ICAM1-Negative Intravascular Large B-Cell Lymphoma of the Pituitary Gland: A Case Report and Literature Review	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 AACE Clinical Case Reports	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.aace.2021.01.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kawatani M, Aono H, Hiranuma S, Shimizu T, Muroi M, Ogawa N, Ohishi T, Ohba SI, Kawada M, Nogawa T, Okano A, Hashizume D, Osada H.	4. 巻 16
2. 論文標題 Identification of a small-molecule glucose transporter inhibitor, glutipyrin, that inhibits cancer cell growth	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ACS Chem Biol	6. 最初と最後の頁 1576-1586
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acscchembio.1c00480	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kawatani M, Aono H, Shimizu T, Ohkura S, Hiranuma S, Muroi M, Ogawa N, Ohishi T, Ohba SI, Kawada M, Yamazaki K, Dan S, Osada H.	4. 巻 16
2. 論文標題 Identification of dihydroorotate dehydrogenase inhibitors-indoluidins-that inhibit cancer cell growth	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ACS Chem Biol	6. 最初と最後の頁 2570-2580
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acscchembio.1c00625	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Xiao Min Zhang, Tatsushi Yokoyama, Masayuki Sakamoto	4. 巻 8
2. 論文標題 Imaging Voltage with Microbial Rhodopsins	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Molecular Biosciences	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmolb.2021.738829	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Munirah I, Ozaki T, Sekine A, Morimoto M, Sugawara M, Takada H, Sugano E, Tomita H, Kiyono T, Fukuda T	4. 巻 -
2. 論文標題 Immortalization of cells derived from domestic dogs through expressing mutant cyclin-dependent kinase 4, cyclin D1, and telomerase reverse transcriptase	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cytotechnology	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10616-021-00504-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nagai N, Kudo Y, Aki D, Nakagawa H, Taniguchi K.	4. 巻 22
2. 論文標題 Immunomodulation by Inflammation during Liver and Gastrointestinal Tumorigenesis and Aging	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Int J Mol Sci.	6. 最初と最後の頁 2238
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Jiang W, Kakizaki T, Fujihara K, Miyata S, Zhang Y, Suto T, Saito S, Shibasaki K, Ishizaki Y, Yokoo H, Obinata H, Miyasaka Y, Mashimo T, Yanagawa Y. et al.	4. 巻 -
2. 論文標題 Impact of GAD65 and/or GAD67 deficiency on perinatal development in rats	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 FASEB J	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Takeda, Y., Chijimatsu, R., Vecchione, A., Arai, T., Kitagawa, T., Ofusa, K., Yabumoto, M., Hirotsu, T., Eguchi, H., Doki, Y., Ishii, H.	4. 巻 22
2. 論文標題 Impact of one-carbon metabolism-driving epitranscriptome as a therapeutic target for gastrointestinal cancer	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Int. J. Mol. Sci.	6. 最初と最後の頁 7278
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms22147278	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Mitsuaki Kashiwagi, Mika Kanuka, Kaeko Tanaka, Masayo Fujita, Ayaka Nakai, Chika Tatsuzawa, Kazuto Kobayashi, Kazutaka Ikeda & Yu Hayashi	4. 巻 14
2. 論文標題 Impaired wakefulness and rapid eye movement sleep in dopamine-deficient mice	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Molecular Brain	6. 最初と最後の頁 170
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13041-021-00879-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sato T*, Oda K, Sakai S, Kato R, Yamamori S, Itakura M, Kodera Y, Nishizawa M, Sasaoka T, Onodera O, Yokoyama M	4. 巻 -
2. 論文標題 Importance of the Q/N-rich segment for protein stability and activity of endogenous mouse TDP-43	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21203/rs.3.rs-1113360/v1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kaneko R, Kakinuma T, Sato S, Jinno-Oue A.	4. 巻 67
2. 論文標題 Improvement of short straws for sperm cryopreservation: installing an air-permeable filter facilitates handling	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Reprod Dev.	6. 最初と最後の頁 235-239
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1262/jrd.2021-019	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Aoki H, Abe C, Hara A, Miyazaki T, Morita H, Kunisada T.	4. 巻 26(2)
2. 論文標題 Induced genetic ablation of Rest leads to the alteration of stimulus-induced response of the vagal nerve	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Genes Cells.	6. 最初と最後の頁 45-55.
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/gtc.12819	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Hibino S, Kawazoe T, Kasahara H, Itoh S, Ishimoto T, Sakata-Yanagimoto M, Taniguchi K.	4. 巻 22
2. 論文標題 Inflammation-Induced Tumorigenesis and Metastasis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Int J Mol Sci.	6. 最初と最後の頁 5421
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kinoshita T, Sayem MA, Yaguchi T, Kharma B, Morii K, Kato D, Ohta S, Mashima Y, Asamura H, Kawakami Y.	4. 巻 112
2. 論文標題 Inhibition of vascular adhesion protein-1 enhances the anti-tumor effects of immune checkpoint inhibitors	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cancer sci	6. 最初と最後の頁 1390-1401
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.14812	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Fukushima, H., Zhang, Y., Kida, S.*	4. 巻 14(1)
2. 論文標題 Interactions between the amygdala and medial prefrontal cortex as upstream regulators of the hippocampus to reconsolidate and enhance retrieved inhibitory avoidance memory	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Mol Brain	6. 最初と最後の頁 44
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13041-021-00753-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shimizu K, Gi M, Suzuki S, North BJ, Watahiki A, Fukumoto S, Asara JM, Tokunaga F, Wei W, Inuzuka H.	4. 巻 37
2. 論文標題 Interplay between protein acetylation and ubiquitination controls MCL1 protein stability	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cell Rep.	6. 最初と最後の頁 109988
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2021.109988	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Oka Y, Doi M, Taniguchi M, Tiong YXS, Akiyama H, Yamamoto T, Iguchi T, Sato M.	4. 巻 -
2. 論文標題 Interstitial axon collaterals of callosal neurons form association projections from the primary somatosensory to motor cortex in mice.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cereb. Cortex	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhab153	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Itoh Y., Itoh S., Naruse H., Kagioka T., Abe M., Hayashi M.	4. 巻 -
2. 論文標題 Intracellular density is a novel indicator of different stages of murine osteoblast lineage cells	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Cellular Biochemistry	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jcb.30135	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ito T, Hiramatsu Y, Mouri A, Yoshigai T, Takahashi A, Yoshimi A, Mamiya T, Ozaki N, Noda Y.	4. 巻 171
2. 論文標題 Involvement of PKC $\beta$ I-SERT activity in stress vulnerability of mice exposed to twice-swim stress.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Neurosci Res	6. 最初と最後の頁 83-91
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2021.01.002	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Toshinori Matsuoka, Miwako Yamasaki, Manabu Abe, Yukiko Matsuda, Hiroyuki Morino, Hideshi Kawakami, Kenji Sakimura, Masahiko Watanabe, Kouichi Hashimoto	4. 巻 599
2. 論文標題 Kv11 (ether-à-go-go-related gene) voltage-dependent K <sup>+</sup> channels promote resonance and oscillation of subthreshold membrane potentials	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Physiology (London)	6. 最初と最後の頁 547-569
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1113/JP280342	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mori Y, Mouri A, Kunisawa K, Hirakawa M, Kubota H, Kosuge A, Niijima M, Hasegawa M, Kurahashi H, Murakami R, Hoshi M, Nakano T, Nabeshima T, Saito K.	4. 巻 405
2. 論文標題 Kynurenine 3-monooxygenase deficiency induces depression-like behavior via enhanced antagonism of $\alpha$ 7 nicotinic acetylcholine receptors by kynurenic acid.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Behav Brain Res	6. 最初と最後の頁 113191
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbr.2021.113191	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Naoyuki Nishiya, Yusuke Oku, Tsutomu Fukuda, Shingo Dan, Tetsuo Mashima, Tomoko Sakyō, Hiroyuki Seimiya, Takao Yamori, Masatomo Iwao, Yoshimasa Uehara	4. 巻 112
2. 論文標題 Lamellarin 14, a Derivative of Marine Alkaloids, Inhibits the T790M/C797S Mutant Epidermal Growth Factor Receptor	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 1963-1974
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.14839	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Owaki D., Aonuma H., Sugimoto Y. and Ishiguro A.	4. 巻 11
2. 論文標題 Leg amputation modifies coordinated activation of the middle leg muscles in the cricket <i>Gryllus bimaculatus</i>	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 1327
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-79319-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Penisson M, Jin M, Wang S, Hirotsune S, Francis F, Belvindrah R.	4. 巻 -
2. 論文標題 Lisl mutation prevents basal radial glia-like cell production in the mouse	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Hum Mol Genet.	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/hmg/ddab295.	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Harada, A., Matsumoto, S., Yasumizu, Y., Shojima, K., Akama, T., Eguchi, H., Kikuchi, A.	4. 巻 10
2. 論文標題 Localization of KRAS downstream target ARL4C to invasive pseudopods accelerates pancreatic cancer cell invasion	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 eLife	6. 最初と最後の頁 e66721
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7554/eLife.66721	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshizawa-Sugata, Y., Yamazaki, S., Mita-Yoshida, K., Ono, T., Nishito, Y., and *Masai, H.	4. 巻 297
2. 論文標題 Loss of full-length Rif1 protein in 2-cell embryos is associated with zygotic transcriptional activation	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J. Biol. Chem.	6. 最初と最後の頁 101367.
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jbc.2021.101367	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hamada k, Shinozaki, Y, Namekata, K, Matsumoto, M, Ohno N, Segawa T, Kashiwagi K, Harada T, Koizumi S.	4. 巻 178
2. 論文標題 Loss of P2Y1 receptor triggers glaucoma-like pathology in mice	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 British Journal of Pharmacology	6. 最初と最後の頁 4552-4571
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/bph.15637	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Nishida R, Kawaguchi Y, Matsubayashi J, Ishikawa R, Kida S, Takei K.	4. 巻 11(1)
2. 論文標題 LOTUS, an endogenous Nogo receptor antagonist, is involved in synapse and memory formation	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 5085
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-84106-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tanihira H, Fujiwara T, Kikuta S, Homma N and Osanai M	4. 巻 15
2. 論文標題 Manganese Dynamics in Mouse Brain After Systemic MnCl <sub>2</sub> Administration for Activation-Induced Manganese-Enhanced MRI	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Neural Circuits	6. 最初と最後の頁 787692
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fncir.2021.787692	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ishiguro K, Shimada R.	4. 巻 96
2. 論文標題 MEIOSIN directs initiation of meiosis and subsequent meiotic prophase programs during spermatogenesis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Genes and Genetic Systems	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1266/ggs.21-00054	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Horisawa-Takada Y, Kodera C, Takemoto K, Sakashita A, Horisawa K, Maeda R, Shimada R, Suzuki A, Niwa H, Tachibana M, Namekawa S, Araki K, Ishiguro K	4. 巻 12
2. 論文標題 Meiosis-specific ZFP541 repressor complex promotes developmental progression of meiotic prophase towards completion during mouse spermatogenesis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 3184
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-021-23378-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shimizu T, Kimura K, Sugihara E, Yamaguchi-Iwai S, Nobusue H, Sampetean O, Otsuki Y, Fukuchi Y, Saitoh K, Kato K, Soga T, Muto A, Saya H	4. 巻 39
2. 論文標題 MEK inhibition preferentially suppresses anchorage-independent growth in osteosarcoma cells and decreases tumors in vivo	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Orthopaedic Research	6. 最初と最後の頁 2732-2743
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jor.25023	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Maruyama T, Alam JM, Fukuda T, Kageyama S, Kirisako H, Ishii Y, Shimada I, Ohsumi Y, Komatsu M, Kanki T, Nakatogawa H, Noda, NN	4. 巻 28
2. 論文標題 Membrane perturbation by lipidated Atg8 underlies autophagosome biogenesis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nat Struct Mol Biol	6. 最初と最後の頁 583-593
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41594-021-00614-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tomofumi Watanabe, Kazuhiro Sakamoto	4. 巻 170
2. 論文標題 Meta-analysis of cognitive and behavioral tests in leptin- and leptin receptor-deficient mice	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 217-235
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2020.11.002	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Asada-Utsugi M, Uemura K, Noda Y, 他8名, Takahashi R, Hattori S, Miyakawa T, Ageta-Ishihara N, Kobayashi K, Kinoshita M, Kinoshita A.	4. 巻 14(1)
2. 論文標題 Mice with a cleavage-resistant N-cadherin exhibit synapse anomaly in the hippocampus and outperformance in spatial memory tasks	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Molecular Brain	6. 最初と最後の頁 23
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13041-021-00738-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tesshu Hori, Shohei Ikuta, Satoko Hattori, Keizo Takao, Tsuyoshi Miyakawa, Chieko Koike	4. 巻 14
2. 論文標題 Mice with mutations in Trpm1, a gene within the locus of 15q13.3 microdeletion syndrome, display pronounced hyperactivity and decreased anxiety-like behavior.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Molecular Brain	6. 最初と最後の頁 61
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13041-021-00749-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Roberts, L.B., ... Araki, M., Araki, K., Kasturiarachchi, J., James, C., Enver, T., Nimmo, R., Reis, R., Howard, J.K., Neves J.F. and Lord, G.M.	4. 巻 206
2. 論文標題 MicroRNA-142 Critically Regulates Group 2 Innate Lymphoid Cell Homeostasis and Function	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J. Immunol.	6. 最初と最後の頁 2725-2739
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4049/jimmunol.org.2000647	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Nakabayashi O, 略 10 名, Tokunaga F, Sawasaki T, Nakano H.	4. 巻 19
2. 論文標題 MIND bomb 2 prevents RIPK1 kinase activity-dependent and -independent apoptosis through ubiquitylation of cFLIP L	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Commun. Biol.	6. 最初と最後の頁 80
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-01603-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 J. Yoshida and M. Kawada (全 24 名)	4. 巻 24
2. 論文標題 Mitochondrial complex I inhibitors suppress tumor growth through concomitant acidification of the intra- and extracellular environment	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 iScience	6. 最初と最後の頁 103497
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2021.103497	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishida M, Yamashita N, Ogawa T, Koseki K, Warabi E, Ohue T, Komatsu M, Matsushita H, Kakimi K, Kawakami E, Shiroguchi K, Uono H	4. 巻 9
2. 論文標題 Mitochondrial reactive oxygen species trigger metformin-dependent antitumor immunity via activation of Nrf2/ mTORC1/p62 axis in tumor-infiltrating CD8T lymphocytes	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Immunother Cancer	6. 最初と最後の頁 e002954
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/jitc-2021-002954	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mori, T., Zhai, R., Ushimaru, R., Matsuda, Y., Abe, I.	4. 巻 12
2. 論文標題 Molecular insights into the endoperoxide formation by Fe(II)/ $\alpha$ -KG-dependent oxygenase NvfI	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nature Commun.	6. 最初と最後の頁 4417
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-021-24685-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Mushiake H, Ohshiro T, Osawa SI, Hosaka R, Katayama N, Tanaka T, Yawo H, Osanai M.	4. 巻 1293
2. 論文標題 Multimodal Functional Analysis Platform: 4. Optogenetics-Induced Oscillatory Activation to Explore Neural Circuits	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Adv Exp Med Biol.	6. 最初と最後の頁 501-509
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-15-8763-4_34	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Noda Y, Soeda K, Uchida M, Goto S, Ito T, Kitagaki S, Mamiya T, Yoshimi A, Ozaki N, Mouri A.	4. 巻 408
2. 論文標題 Multiple nicotinic acetylcholine receptor subtypes regulate social or cognitive behaviors in mice repeatedly administered phencyclidine.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Behav Brain Res	6. 最初と最後の頁 113284
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbr.2021.113284	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Arima Y, Nakagawa Y, Takeo T, Ishida T, Yamada T, Hino S, Yamagata K, Nakamura T, Nakagata N, Tsujita K	4. 巻 3
2. 論文標題 Murine neonatal ketogenesis preserves mitochondrial energetics by preventing protein hyperacetylation	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nature Metabolism	6. 最初と最後の頁 196-210
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42255-021-00342-6	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kudo T., Aonuma H. and Hasegawa E.	4. 巻 11
2. 論文標題 Mutual selfish manipulation enhances mutualism in an aphid-ant symbiosis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 18569
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-97666-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Iguchi T, Oka Y, Yasumura M, Omi M, Kuroda K, Yagi H, Xie MJ, Taniguchi M, Bastmeyer M, Sato M.	4. 巻 2;41 (22)
2. 論文標題 Mutually repulsive EphA7-EfnA5 organize region-to-region corticopontine projection by inhibiting collateral extension	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J. Neurosci	6. 最初と最後の頁 4795-4808
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.0367-20.2021	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Chadani Y, Sugata N, Niwa T, Ito Y, Iwasaki S, and Taguchi H	4. 巻 40 (23)
2. 論文標題 Nascent polypeptide within the exit tunnel stabilizes the ribosome to counteract risky translation	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 EMBO J.	6. 最初と最後の頁 e108299
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15252/embj.2021108299	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Amy Cheung, Aya Matsui, Manabu Abe, Kenji Sakimura, Toshikuni Sasaoka, Takeshi Uemura, Yuka Imamura Kawasawa and Kensuke Futai	4. 巻 -
2. 論文標題 Neurexins in serotonergic neurons regulate serotonin release and complex mouse behaviors	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 bioRxiv	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2021.12.09.471904	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Aki Takahashi, Hossein Aleyasin, Tetsuya Sasaki, Sonoko Ogawa, Bruce S. McEwen, Scott J. Russo et al	4. 巻 25
2. 論文標題 Neuromodulatory effect of interleukin 1 in the dorsal raphe nucleus on individual differences in aggression	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Molecular Psychiatry	6. 最初と最後の頁 2563-2579
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41380-021-01110-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Atsushi Chiba, Kazunori Morita, Ken-ichi Oshio, Masahiko Inase	4. 巻 11
2. 論文標題 Neuronal activity in the monkey prefrontal cortex during a duration discrimination task with visual and auditory cues	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 17520
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-97094-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ishikawa K, Yamamoto S, Hattori S, Nishimura N, Matsumoto H, Miyakawa T, Nakada K.	4. 巻 163
2. 論文標題 Neuronal degeneration and cognitive impairment can be prevented via the normalization of mitochondrial dynamics	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Pharmacol Res.	6. 最初と最後の頁 105246
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.phrs.2020.105246	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Mashima T, Wakatsuki T, Kawata N, Jang MK, Nagamori A, Yoshida H, Nakamura K, Migita T, Seimiya H, Yamaguchi K	4. 巻 11
2. 論文標題 Neutralization of the induced VEGF-A potentiates the therapeutic effect of an anti-VEGFR2 antibody on gastric cancer in vivo	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 15125
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-94584-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Izuo N, Nitta A	4. 巻 11
2. 論文標題 New Insights regarding diagnosis and medication for schizophrenia based on neuronal synapse-microglia interaction	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Pers Med	6. 最初と最後の頁 371
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/jpm11050371	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tatsuya Yamahira, Gen Onodera, Tsutomu Fukuda, Masanari Kimura	4. 巻 50
2. 論文標題 Ni-catalyzed direct carboxylation of propargylic alcohols with carbon dioxide	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Chemistry Letters	6. 最初と最後の頁 853-855
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1246/cl.210008	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -



1. 著者名 Ying Luo, Bun Chan, Tsutomu Fukuda, Gen Onodera, Masanari Kimura	4. 巻 32
2. 論文標題 Nickel-Catalyzed Carboxylation of Conjugated Dienes with Carbon Dioxide and DIBAL-H for the Synthesis of $\beta, \gamma$ -Unsaturated Carboxylic Acids	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Synlett	6. 最初と最後の頁 1551-1554
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1055/a-1336-8034	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Izumi S, Domoto M, Esaki H, Sasase H, Nishitani N, Deyama S, Kaneda K	4. 巻 44
2. 論文標題 Nicotine enhances firing activity of layer 5 pyramidal neurons in the medial prefrontal cortex through inhibition of Kv7 channels	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Biological and Pharmaceutical Bulletin	6. 最初と最後の頁 724-731
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1248/bpb.b21-00137	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Esaki H, Izumi S, Fukao A, Nishitani N, Deyama S, Kaneda K	4. 巻 147
2. 論文標題 Nicotine enhances object recognition memory through inhibition of voltage-dependent potassium 7 channels in the medial prefrontal cortex of mice	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Pharmacological Sciences	6. 最初と最後の頁 58-61
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jphs.2021.05.009.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Esaki H, Izumi S, Fukao A, Ito S, Nishitani N, Deyama S, Kaneda K	4. 巻 44
2. 論文標題 Nicotine enhances object recognition memory via stimulating $\alpha 4\beta 2$ and $\alpha 7$ nicotinic acetylcholine receptors in the medial prefrontal cortex of mice	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Biological and Pharmaceutical Bulletin	6. 最初と最後の頁 1007-1013
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1248/bpb.b21-00314	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mori T, Kido A, Kawahara I, Nukaga S, Miyagawa Y, Goto K, Mori S, Kishi S, Fujii K, Fujiwara-Tani R, Kuniyasu H	4. 巻 5(1)
2. 論文標題 Nutritional intervention for cancer sarcopenia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Ann Musculoskeletal Med	6. 最初と最後の頁 001-004
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.17352/amm.000024	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Akira C Saito, Tomohito Higashi, Yugo Fukazawa, Tetsuhisa Otani, Masashi Tauchi, Atsuko Y Higashi, Mikio Furuse, Hideki Chiba	4. 巻 32
2. 論文標題 Occludin and tricellulin facilitate formation of anastomosing tight-junction strand network to improve barrier function	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Molecular biology of the cell	6. 最初と最後の頁 722-738
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1091/mbc.E20-07-0464	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Tao, H., Mori, T., Wei, X., Matsuda, Y., Abe, I.	4. 巻 60
2. 論文標題 One polyketide synthase, two distinct products: trans-acting enzyme-controlled product divergence in calbistrin biosynthesis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Angew. Chem. Int. Ed.	6. 最初と最後の頁 8851-8858
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/anie.202016525	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Yusuke Hanaki, Yusuke Araki, Toshio Nishikawa, Ryo C. Yanagita	4. 巻 102
2. 論文標題 Oscillatoxin E and its C7 epimer show distinct growth inhibition profiles against several cancer cell lines	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Heterocycles	6. 最初と最後の頁 2353-2362
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3987/COM-21-14538	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Eskelinen EL, Kageyama S, Komatsu M	4. 巻 8
2. 論文標題 p62/SQSTM1 droplets initiate autophagosome biogenesis and oxidative stress control	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Mol Cell Oncol	6. 最初と最後の頁 1890990
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/23723556.2021.1890990	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shun Kageyama, Sigurdur Runar Gudmundsson, ... Satoshi Waguri, Eeva-Liisa Eskelinen, Masaaki Komatsu	4. 巻 12
2. 論文標題 p62/SQSTM1-droplet serves as a platform for autophagosome formation and anti-oxidative stress response	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 1-16
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-020-20185-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ando S, Fukamachi K, Yoshimoto E, Matsumoto H, Iinuma M and Suzui M.	4. 巻 58
2. 論文標題 Palmitoyl piperidinopiperidine, a novel derivative of 10-hydroxy-2-decenoic acid, as a potent and selective anticancer agent against human colon carcinoma cell lines	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Int J Oncol	6. 最初と最後の頁 251-265
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/ijo.2020.5160	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Miyata K, Imai Y, Hori S, Toyokuni S, Sakata T, Shirahige K, Kojima R, Nakayama M, Oshima M, Nagayama S, Seimiya H, Hirota T, Saya H, Hara E, Takahashi A et al.	4. 巻 118
2. 論文標題 Pericentromeric noncoding RNA changes DNA binding of CTCF and inflammatory gene expression in senescence and cancer	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Proc Natl Acad Sci U S A	6. 最初と最後の頁 e2025647118
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.2025647118	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Wulaer B, Kunisawa K, Tanabe M, Yanagawa A, Saito K, Mouri A, Nabeshima T.	4. 巻 14
2. 論文標題 Pharmacological blockade of dopamine D1- or D2-receptor in the prefrontal cortex induces attentional impairment in the object-based attention test through different neuronal circuits in mice.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Mol Brain.	6. 最初と最後の頁 43
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13041-021-00760-3	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Megumi Saito, Akane Sada, Masaki Fukuyo, Kiyono Aoki, Kazuhiro Okumura, Yuko Tabata, Yu Chen, Atsushi Kaneda, Yuichi Wakabayashi, Rieko Ohki	4. 巻 S0022-202X(21)
2. 論文標題 PHLDA3 Is an Important Downstream Mediator of p53 in Squamous Cell Carcinogenesis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Investigative Dermatology	6. 最初と最後の頁 02271-5
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jid.2021.09.007	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Okada M, Kawagoe Y, Sato Y, Nozumi M, Ishikawa Y, Tamada A, Yamazaki H, Sekino Y, Kanemura Y, Shinmyo Y, Kawasaki H, Kaneko N, Sawamoto K, Fujii Y, Igarashi M	4. 巻 14
2. 論文標題 Phosphorylation of GAP-43 T172 is a molecular marker of growing axons in a wide range of mammals including primates	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Mol Brain	6. 最初と最後の頁 66
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13041-021-00755-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tabata K, Sugano E, Hatakeyama A, Watanabe Y, Suzuki T, Ozaki T, Fukuda T, Tomita H	4. 巻 22(13)
2. 論文標題 Phototoxicities Caused by Continuous Light Exposure Were Not Induced in Retinal Ganglion Cells Transduced by an Optogenetic Gene	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Int J Mol Sci	6. 最初と最後の頁 6732
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms22136732	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kawasaki A, Sakai A, Nakanishi H, Hasegawa J, Taguchi T, Sasaki J, Arai H, Sasaki T, Igarashi M, *Nakatsu F	4. 巻 221
2. 論文標題 PI4P/PS countertransport by ORP10 at ER-endosome membrane contact sites regulates endosome fission	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Cell Biol	6. 最初と最後の頁 e202103141
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1083/jcb.202103141	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 新野由子、川島育夫、井口義信、神田浩明、小倉潔、吉田薫、小野富男、山崎真弥、崎村建司、與五沢里美、吉田清嗣、塩田清二、後藤孝也	4. 巻 16(7)
2. 論文標題 PKC $\delta$ deficiency inhibits fetal development and is associated with heart elastic fiber hyperplasia and lung inflammation in adult PKC $\delta$ knockout mice	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0253912
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0253912	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yuko Nagamura, Makoto Miyazaki, Yoshiko Nagano, Masako Yuki, Kiyoko Fukami, Kazuyoshi Yanagihara, Kazuki Sasaki, Ryuichi Sakai, and Hideki Yamaguchi	4. 巻 10
2. 論文標題 PLEKHA5 regulates the survival and peritoneal dissemination of diffuse-type gastric carcinoma cells with Met gene amplification	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Oncogenesis	6. 最初と最後の頁 25
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41389-021-00314-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ohi K, Nishizawa D, Sugiyama S, Takai K, Kuramitsu A, Hasegawa J, Soda M, Kitaichi K, Hashimoto R, Ikeda K, Shioiri T.	4. 巻 24(7)
2. 論文標題 Polygenic Risk Scores Differentiating Schizophrenia From Bipolar Disorder Are Associated With Premorbid Intelligence in Schizophrenia Patients and Healthy Subjects	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Int J Neuropsychopharmacol	6. 最初と最後の頁 562-569
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ijnp/pyab014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hayashi T	4. 巻 178
2. 論文標題 Post-translational palmitoylation of ionotropic glutamate receptors in excitatory synaptic functions	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 British Journal of Pharmacology	6. 最初と最後の頁 784-797
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/bph.15050	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Shinozaki Y, Koizumi S	4. 巻 145
2. 論文標題 Potential role of astrocytes and Muller cells in the pathogenesis of glaucoma	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Pharmacological Sciences	6. 最初と最後の頁 262-267
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jphs.2020.12.009	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 H. Igata, Y. Ikegaya, T. Sasaki	4. 巻 118
2. 論文標題 Prioritized experience replays on a hippocampal predictive map for learning	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America	6. 最初と最後の頁 e2011266118
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.2011266118	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Scibelli A.E., Caron D.P, Aonuma H., Trimmer B.A.	4. 巻 224
2. 論文標題 Proleg retractor muscles in Manduca sexta larvae are segmentally different suggesting anteroposterior specialization	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Experimental Biology	6. 最初と最後の頁 jeb242508
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1242/jeb.242508	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する



1. 著者名 Muroi M, Osada H.	4. 巻 74
2. 論文標題 Proteomics-based target identification of natural products affecting cancer metabolism	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Antibiot	6. 最初と最後の頁 639-650
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41429-021-00437-y	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ono R.*, Abe M.*, Koike N., Inokawa H., Tuchiya Y., Umemura Y., Sasawaki Y., Yamamoto T., Wakisaka S., Kanamura N., Yagita K.	4. 巻 -
2. 論文標題 Quantitative morphometric analysis of molar teeth and alveolar bone in aged mice using micro-computed tomography	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Oral Bioscience	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.job.2021.07.006	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Shinsuke Fujii, Takuma Ishibashi, Megumi Kokura, Tatsufumi Fujimoto, Shinji Matsumoto, ...Tamotsu Kiyoshima	4. 巻 256
2. 論文標題 RAF1-MEK/ERK pathway-dependent ARL4C expression promotes ameloblastoma cell proliferation and osteoclast formation.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Journal of pathology	6. 最初と最後の頁 119-133
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/path.5814.	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Takahashi H, Asahina R, Fujioka M, Matsui TK, Kato S, Mori E, Hioki H, Yamamoto T, Kobayashi K, Tsuboi A	4. 巻 118
2. 論文標題 Ras-like Gem GTPase induced by Npas4 promotes activity-dependent neuronal tolerance for ischemic stroke	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Proc. Natl. Acad. Sci. USA.	6. 最初と最後の頁 e2018850118
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.2018850118	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kakizaki T, Ohshiro T, Itakura M, Konno K, Watanabe M, Mushiake H, Yanagawa Y.	4. 巻 35(2)
2. 論文標題 Rats deficient in the GAD65 isoform exhibit epilepsy and premature lethality	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 FASEB J.	6. 最初と最後の頁 e21224
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1096/fj.202001935R	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Sano F, Shigetomi E, Shinozaki Y, Tsuzukiyama H, Saito K, Mikoshiba K, Sugita K, Aihara M, Koizumi S.	4. 巻 6
2. 論文標題 Reactive astrocyte-driven epileptogenesis is induced by microglia initially activated following status epilepticus	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 JCI Insight	6. 最初と最後の頁 e135391
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1172/jci.insight.135391	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ryo Ninokata, Riho Korogi, Junya Nakao, Tsutomu Fukuda, Gen Onodera, Masanari Kimura	4. 巻 53
2. 論文標題 Reconstruction of Carbon Bond Frameworks via Oxapalladacycle Promoted by Synergistic Effect of Palladium Catalyst and Triethylborane	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Synthesis	6. 最初と最後の頁 3110-3120
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1055/a-1485-5781	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Oki M, Masai H.	4. 巻 169
2. 論文標題 Regulation of HP1 protein by phosphorylation during transcriptional repression and cell cycle.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J. Biochem.	6. 最初と最後の頁 629-632.
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jb/mvab040. PMID: 33772590	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yoshifumi Okochi, Yasushi Okamura.	4. 巻 22
2. 論文標題 Regulation of neutrophil functions by Hv1/VSOP voltage-gated proton channels	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Molecular Sciences	6. 最初と最後の頁 2620
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms22052620	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kaori Oka (研究代表者、共第一著者), Shusuke Fujioka (共第一著者), Yoshimi Kawamura (共第一著者), Kimi Araki (研究協力者) Kyoko Miura (責任著者) et al.	4. 巻 -
2. 論文標題 Resistance to chemical carcinogenesis induction via a dampened inflammatory response in naked mole-rats	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 bioRxiv	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2021.10.21.465383	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Iwakawa HO, Lam YWA, Mine A, Fujita T, Kiyokawa K, Yoshikawa M, Takeda A, Iwasaki S, and Tomari Y.	4. 巻 35
2. 論文標題 Ribosome stalling caused by the Argonaute-miRNA-SGS3 complex regulates production of secondary siRNA biogenesis in plants	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cell Rep	6. 最初と最後の頁 109300
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2021.109300	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Toyokuni S, Ito F, Motooka Y	4. 巻 1
2. 論文標題 Role of ferroptosis in nanofiber-induced carcinogenesis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Metallomics Res	6. 最初と最後の頁 #MR202102
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hsiao H-W, Yang C-C, Masai H	4. 巻 2
2. 論文標題 Roles of Claspin in regulation of DNA replication, replication stress responses and oncogenesis in human cells.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Genome Instability & Disease	6. 最初と最後の頁 263-280.
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s42764-021-00049-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fukai S, Yoshida T.	4. 巻 288 (24)
2. 論文標題 Roles of type-IIa receptor protein tyrosine phosphatases as synaptic organizers	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 FEBS Journal	6. 最初と最後の頁 6913-6926
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/febs.15666	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Asai, A., Konno, M., Ozaki, M., Kawamoto, K., Chijimatsu, R., Kondo, N., Hirotsu, T., Ishii, H.	4. 巻 12
2. 論文標題 Scent test using caenorhabditis elegans to screen for earlystage pancreatic cancer	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Oncotarget	6. 最初と最後の頁 1687-1696
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/oncotarget.28035	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nitta A, Izuo N, Hamatani K, Inagaki R, Kusui Y, Fu K, Asano T, Torii Y, Habuchi C, Sekiguchi H, Iritani S, Muramatsu SI, Ozaki N, Miyamoto Y.	4. 巻 11
2. 論文標題 Schizophrenia-like behavioral impairments in mice with suppressed expression of Piccolo in the medial prefrontal cortex	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Pers Med.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/jpm11070607	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mohammad Omar Faruk, Yoshinobu Ichimura, Masaaki Komatsu	4. 巻 00
2. 論文標題 Selective autophagy	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 1-7
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.15112	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Makino S, Kawamata T, Iwasaki S, and Ohsumi Y	4. 巻 12(1)
2. 論文標題 Selectivity of mRNA degradation by autophagy.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nat Commun	6. 最初と最後の頁 2316.
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-021-22574-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Saeki N., Inui-Yamamoto C., Kuraki M., Itoh S., Inubushi T., Okamoto M., Akiyama S., Wakisaka S., Abe M.	4. 巻 128
2. 論文標題 Senescence-accelerated mouse prone 8 (SAMP8) mice exhibit reduced entoconid in the lower second molar	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Archives of Oral Biology	6. 最初と最後の頁 105172
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.archoralbio.2021.105172	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Johmura Y, Nakanishi M, et al	4. 巻 371
2. 論文標題 Senolysis by glutaminolysis inhibition ameliorates various age-associated disorders	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Science	6. 最初と最後の頁 265-270
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/science.abb5916	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kimura Y, Izumiya Y, Araki S, Yamamura S, Hanatani S, Onoue Y, Ishida T, Arima Y, Nakamura T, Bober E, Braun T, Kaikita K, Yamagata K, Tsujita K	4. 巻 -
2. 論文標題 Sirt7 deficiency attenuates neointimal formation following vascular injury by modulating vascular smooth muscle cells proliferation.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Circ J.	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1253/circj.CJ-20-0936	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Akter F, Tsuyama T, Yoshizawa T, Sobuz SU, Yamagata K	4. 巻 12
2. 論文標題 SIRT7 regulates lipogenesis in adipocytes through deacetylation of PPAR $\gamma$ 2.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Diabetes Investig	6. 最初と最後の頁 1765-1774
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jdi.13567	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kaiwen Liu, Ryota Sato, Takuma Shibata, Ryosuke Hiranuma, Tatjana Reuter, Takeshi Ichinohe, Manabu Ozawa, Nobuaki Yoshida, Eicke Latz, Kensuke Miyake	4. 巻 33(9)
2. 論文標題 Skewed endosomal RNA responses from TLR7 to TLR3 in RNase T2-deficient macrophages	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Immunology	6. 最初と最後の頁 479-490
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/intimm/dxab033	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yoshimoto R, Chhipi Shrestha JK, ... Iwasaki S, and Yoshida M	4. 巻 28
2. 論文標題 Spliceostatin A interaction with SF3B1 limits U1 snRNP availability and causes premature cleavage and polyadenylation.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cell Chem Biol	6. 最初と最後の頁 1356-1365
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.chembiol.2021.03.002	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -



1. 著者名 Ryo Ishikawa, Mizuho Yasuda, Shogo Sasaki, Yue Ma, Kazuo Nagasawa, Masayuki Tera	4. 巻 57
2. 論文標題 Stabilization of telomeric G-quadruplex by ligand binding increases susceptibility to S1 nuclease	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Chem. Commun.,	6. 最初と最後の頁 7236-7239
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/D1CC03294A	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Shimo, S., Ushimaru, R., Engelbrecht, A., Harada, M., Miyamoto, K., Andreas, K., Uchiyama, M., Kaysser, L., Abe, I.	4. 巻 143
2. 論文標題 Stereodivergent nitrocyclopropane formation during biosynthesis of belactosins and hormaomycins	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J. Am. Chem. Soc.	6. 最初と最後の頁 18413-18418
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/jacs.1c10201	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Rahman NIA, Sato A, Tsevelnorov K, Shimizu A, Komeno M, Ahmat Amin MKB, Molla MR, Soh JEC, Nguyen LKC, Wada A, Kawauchi A, Ogita H.	4. 巻 81
2. 論文標題 Stomatin-mediated inhibition of the Akt signaling axis suppresses tumor growth	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cancer Res	6. 最初と最後の頁 2318-2331
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/0008-5472.CAN-20-2331	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Miyanishi H, Muramatsu SI, Nitta A	4. 巻 14
2. 論文標題 Striatal Shati/Nat81-BDNF pathways determine the sensitivity to social defeat stress in mice through epigenetic regulation	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Neuropsychopharmacology	6. 最初と最後の頁 1594-1605
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41386-021-01033-2	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yang, J., Mori, T., Wei, X., Matsuda, Y., Abe, I.	4. 巻 60
2. 論文標題 Structural basis for isomerization reactions in fungal tetrahydroxanthone biosynthesis and diversification	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Angew. Chem. Int. Ed.	6. 最初と最後の頁 19458-19465
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/anie.202107884	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Shepherd S., Lima M.A.P., Oliveira E.E., Sharkh S.M., Aonuma H., Jackson C.W., and Newland P.L.	4. 巻 4
2. 論文標題 Sublethal neonicotinoid exposure attenuates the effects of electromagnetic fields on honey bee flight and learning	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Environmental Advances	6. 最初と最後の頁 100051
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.envadv.2021.100051	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tsutomu Fukuda, Fumito Ishibashi, Yusuke Oku, Naoyuki Nishiya, Yoshimasa Uehara, Masatomo Iwao	4. 巻 34
2. 論文標題 Synthesis and evaluation of azalamellarin N and its A-ring-modified analogues as non-covalent inhibitors of the EGFR T790M/L858R mutant	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Bioorganic & Medicinal Chemistry	6. 最初と最後の頁 116039
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bmc.2021.116039	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Hiroki Oguri*	4. 巻 50
2. 論文標題 Synthesis and Structural Diversification of Artemisinin Towards the Generation of Potent Anti-malarial Agents	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Chem. Lett.	6. 最初と最後の頁 924-937
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kumiko Yoshinobu, Masatake Araki, Ayaka Morita, Miyuki Araki, Shun Kokuba, Naomi Nakagata, Kimi Araki	4. 巻 70
2. 論文標題 Tamoxifen feeding method is suitable for efficient conditional knockout	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Exp Anim	6. 最初と最後の頁 91-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1538/expanim.19-013810.1538/expanim.19-0138	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Iwasaki N, Terawaki S, Shimizu K, Oikawa D, Sakamoto H, Sunami K, Tokunaga F.	4. 巻 70
2. 論文標題 Th2 cell-derived histamine is involved in nasal Th2 infiltration in mice	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Inflamm Res.	6. 最初と最後の頁 539-541
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00011-021-01458-x	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Iwasaki N, Terawaki S, Shimizu K, Oikawa D, Sakamoto H, Sunami K, Tokunaga F.	4. 巻 16
2. 論文標題 Th2 cells and macrophages cooperatively induce allergic inflammation through histamine signaling	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 PLoS One.	6. 最初と最後の頁 e0248158
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0248158	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kimura R, Yoshimura Y	4. 巻 7(48)
2. 論文標題 The contribution of low contrast-preferring neurons to information representation in the primary visual cortex after learning	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Science Advances	6. 最初と最後の頁 eabj9976
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/sciadv.abj9976	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kimura H, Sada R, Takada N, Harada A, Doki Y, Eguchi H, Yamamoto H, Kikuchi A	4. 巻 40
2. 論文標題 The Dickkopf1 and FOXM1 positive feedback loop promotes tumor growth in pancreatic and esophageal cancer	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Oncogene	6. 最初と最後の頁 4486-4502
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41388-021-01860-z	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Hidekazu Sotoyama, Hiroyoshi Inaba, Yuriko Iwakura, Hisaaki Namba, Nobuyuki Takei, Toshikuni Sasaoka, Hiroyuki Nawa	4. 巻 in press
2. 論文標題 The dual role of dopamine in the modulation of information processing in the prefrontal cortex underlying social behavior	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The FASEB Journal	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Hori, H., Itoh, M., Matsui, M., Kamo, T., Saito, T., Nishimatsu, Y, Kito, S., Kida, S., Kim, Y.	4. 巻 12:1
2. 論文標題 The efficacy of memantine in the treatment of civilian posttraumatic stress disorder: an open label trial	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 European Journal of Psychotraumatology	6. 最初と最後の頁 1859821
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/20008198.2020.1859821	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakayama, Jun. Han, Yuxuan. Kuroiwa, Yuka. Azuma, Kazushi. Yamamoto, Yusuke. Semba, Kentaro	4. 巻 22
2. 論文標題 The In Vivo Selection Method in Breast Cancer Metastasis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Molecular Sciences	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms22041886	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kazuhiro Okumura(第一著者), Megumi Saito, Eriko Isogai, and Yuichi Wakabayashi(責任著者)	4. 巻 13(5)
2. 論文標題 The Japanese Wild-Derived Inbred Mouse Strain, MSM/Ms in Cancer Research	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cancers (Basel).	6. 最初と最後の頁 1026
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/cancers13051026	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Taguchi K, Yamamoto M	4. 巻 13
2. 論文標題 The KEAP1-NRF2 system as a molecular target of cancer treatment	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cancers	6. 最初と最後の頁 46
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/cancers13010046	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Michio Sato, ... Kumiko Yoshinobu, Mai Imasaka, Masatake Araki, ... Kimi Araki, Yuichi Oike	4. 巻 12
2. 論文標題 The lncRNA Caren antagonizes heart failure by inactivating DNA damage response and activating mitochondrial biogenesis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nat Commun	6. 最初と最後の頁 2529
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-021-22735-7	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Takeuchi Y, Kimura N, Murayama T, et al, Gotoh N	4. 巻 vol.118
2. 論文標題 The membrane-linked adaptor FRS2beta fashions a cytokine-rich inflammatory microenvironment that promotes breast cancer carcinogenesis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Proc. Natl, Acad, Sci, USA	6. 最初と最後の頁 e2103658118
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.2103658118	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ryo Yoshikawa, Koichiro Abe	4. 巻 39
2. 論文標題 The multi-kinase inhibitor dasatinib suppresses autoinflammation and increases bone density in a mouse model for chronic recurrent multifocal osteomyelitis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cell Biochem Funct.	6. 最初と最後の頁 521-527
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cbf.3617	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Mariko Ito, Masashi Nagase, Suguru Tohyama, Kaori Mikami, Fusao Kato, Ayako M Watabe.	4. 巻 14
2. 論文標題 The parabrachial-to-amygdala pathway provides aversive information to induce avoidance behavior in mice	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Molecular Brain	6. 最初と最後の頁 94
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13041-021-00807-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Higashi H, Kato Y, Fujita T, Iwasaki S, Nakamura M, Nishimura Y, Takenaka M, and Shikanai T.	4. 巻 62
2. 論文標題 The pentatricopeptide repeat protein PGR3 is required for the translation of petL and ndhG by binding their 5'UTRs	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Plant Cell Physiol.	6. 最初と最後の頁 1146-1155
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/pcp/pcaa180	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Nishio N, Hayashi K, Ishikawa AW, Yoshimura Y	4. 巻 599(17)
2. 論文標題 The role of early visual experience in the development of spatial-frequency preference in the primary visual cortex	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Journal of Physiology	6. 最初と最後の頁 4131-4152
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1113/JP281463	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -



1. 著者名 Kuriyama Y, Shimizu A, Kanai S, Oikawa D, Tokunaga F, Tsukagoshi H, Ishikawa O.	4. 巻 84(4)
2. 論文標題 The synchronized gene expression of retrotransposons and type I interferon in dermatomyositis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Am Acad Dermatol.	6. 最初と最後の頁 1103-1105
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jaad.2020.05.051	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Furuya K, Wu T, Orimoto A, Sugano E, Tomita H, Kiyono T, Kurose T, Takai Y, Fukuda T	4. 巻 8(1)
2. 論文標題 The transcriptome of wild-type and immortalized corneal epithelial cells	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Sci Data	6. 最初と最後の頁 126
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41597-021-00908-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shimatani H, Inoue Y, Maekawa Y, Miyake T, Yamaguchi Y, and Doi M	4. 巻 16
2. 論文標題 Thermographic imaging of mouse across circadian time reveals body surface temperature elevation associated with non-locomotor body movements	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0252447
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0252447	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamamura R, Ooshio T & Sonoshita M.	4. 巻 112
2. 論文標題 Tiny Drosophila makes giant strides in cancer research	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cancer Sci	6. 最初と最後の頁 505-514
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.14747	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Miyahara H, Natsumeda M, Kanemura Y, Yamasaki K, Yoshimura J, Fujii Y, Suenobu S, Ihara K, Hara J, Kakita A, Yoshida M, Iwasaki Y	4. 巻 49(3)
2. 論文標題 Topoisomerase II $\beta$ immunoreactivity (IR) co-localizes with neuronal marker-IR but not glial fibrillary acidic protein-IR in GLI3-positive medulloblastomas: an immunohistochemical analysis of 124 medulloblastomas from the Japan Children's Cancer Group	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Brain Tumor Pathol	6. 最初と最後の頁 527-534
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10014-021-00396-0	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yusuke Araki, Yusuke Hanaki, Masaki Kita, Koutaro Hayakawa, Kazuhiro Irie, Yoshihiko Nokura, Atsuo Nakazaki, and Toshio Nishikawa	4. 巻 85
2. 論文標題 Total Synthesis and Biological Evaluation of Oscillatoxin D, E, and F	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry	6. 最初と最後の頁 1371-1382
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/bbb/zbab042	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Hiroyuki Saiga, Masaki Ueno, Takashi Tanaka, Tsuneyasu Kaisho, Katsuaki Hoshino	4. 巻 -
2. 論文標題 Transcription factor MafB-mediated inhibition of type I interferons in plasmacytoid dendritic cells	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Immunology	6. 最初と最後の頁 dxab103
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/intimm/dxab103	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Doi M, Oka Y, Taniguchi M, Sato M.	4. 巻 00
2. 論文標題 Transient expansion of the expression region of Hsd11b1, encoding 11 $\beta$ -hydroxysteroid dehydrogenase type 1, in the developing mouse neocortex	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J. Neurochem	6. 最初と最後の頁 1-11
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jnc.15505.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nguyen LKC, Shimizu A, Soh JEC, Komeno M, Sato A, Ogita H.	4. 巻 -
2. 論文標題 Transmembrane protein 168 mutation reduces cardiomyocyte cell surface expression of Nav1.5 through $\alpha$ B-crystallin intracellular dynamics	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Biochem	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jb/mvab066	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Parajuli B, Saito H, Shinozaki Y, Shigetomi E, Miwa H, Yoneda S, Tanimura M, Omachi S, Asaki T, Takahashi K, Fujita M, Nakashima K, Koizumi S	4. 巻 69
2. 論文標題 Transnasal transplantation of human induced pluripotent stem cell-derived microglia to the brain of immunocompetent mice	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 GLIA	6. 最初と最後の頁 2332-2348
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/glia.23985	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Chikuma S, Yamanaka S, Nakagawa S, Ueda MT, Hayabuchi H, Tokifuji Y, Kanayama M, Okamura T, Arase H, Yoshimura A	4. 巻 206
2. 論文標題 TRIM28 expression on dendritic cells prevents excessive T cell priming by silencing endogenous retrovirus	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Journal of Immunology	6. 最初と最後の頁 1528-1529
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4049/jimmunol.2001003	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Takahashi, S., Fukushima, H., Yu, Z., Tomita, H., Kida, S.*	4. 巻 94
2. 論文標題 Tumor necrosis factor $\alpha$ negatively regulates the retrieval and reconsolidation of hippocampus-dependent memory	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Brain, Behavior, and Immunity	6. 最初と最後の頁 79-88
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbi.2021.02.033	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Iori Ohmori, Mamoru Ouchida, Hirohiko Imai, Saeko Ishida, Shinya Toyokuni, Tomoji Mashimo	4. 巻 -
2. 論文標題 Txnl mutation causes epilepsy associated with vacuolar degeneration in the midbrain	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 bioRxiv	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2021.10.07.463470	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Inukai, S., Hara, S., and Ichinose, H.	4. 巻 589
2. 論文標題 Tyrosine hydroxylase activity is regulated through the modification of the 176th cysteine residue.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Biochem. Biophys. Res. Commun.	6. 最初と最後の頁 209-214
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2021.12.024	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Miyajima, K., Kawamoto, C., Hara, S., Mori-Kojima, M., Ohye, T., Sumi-Ichinose, C., Saito, N., Sasaoka, T., Metzger, D., Ichinose, H.	4. 巻 296
2. 論文標題 Tyrosine hydroxylase conditional knockout mice reveal peripheral tissue-dependent differences in dopamine biosynthetic pathways	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Biological Chemistry	6. 最初と最後の頁 100544
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jbc.2021.100544	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Huizi Keiko Li, Yukie Morokoshi, Satoshi Kodaira, Tamon Kusumoto, Katsuyuki Minegishi, Hiroaki Kanda, Kotaro Nagatsu, and Sumitaka Hasegawa	4. 巻 62
2. 論文標題 Utility of 211At-trastuzumab for the Treatment of Metastatic Gastric Cancer in the Liver: Evaluation of a Preclinical $\alpha$ -Radioimmunotherapy Approach in a Clinically-relevant Mouse Model	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Nuclear Medicine	6. 最初と最後の頁 1468-1474
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2967/jnumed.120.249300	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yuki Takakura, Naoto Hori, Natsumi Terada, Moeka Machida, Naoto Yamaguchi, Hiroyuki Takano, Noritaka Yamaguchi	4. 巻 11
2. 論文標題 VGLL3 activates inflammatory responses by inducing interleukin-1 $\alpha$ secretion	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 FASEB Journal	6. 最初と最後の頁 e21996
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1096/fj.202100679RR	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yue Ma, Yuki Wakabayashi, Naruyuki Watatani, Ryota Saito, Takatsugu Hirokawa, Masayuki Tera, Kazuo Nagasawa	4. 巻 19
2. 論文標題 Vinyl naphthalene-bearing hexaoxazole as a fluorescence turn-on type G-quadruplex ligand	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Org. Biomol. Chem	6. 最初と最後の頁 8035-8040
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/D1OB01500A	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Nakamura E., Hata K., Takahata Y., Kurosaka H., Abe M., et al	4. 巻 4
2. 論文標題 Zfhx4 regulates endochondral ossification as the transcriptional platform of Osterix	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Commun. Biol.	6. 最初と最後の頁 1258
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-021-02793-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Barra, L.,# Awakawa, T.,# Shirai, K., Hu, Z., Bashiri, G., Abe, I. (#equall contribution)	4. 巻 600
2. 論文標題 $\beta$ -NAD as a building block in natural product biosynthesis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nature	6. 最初と最後の頁 754-758
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41586-021-04214-7	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 山中章弘	4. 巻 72(5)
2. 論文標題 オレキシンと情動	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 生体の科学	6. 最初と最後の頁 475-477
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 藤原和之、柿崎利和、姜玮茹、宮田茂雄、柳川右千夫	4. 巻 53
2. 論文標題 ノックアウトラットによる2種類のGABA合成酵素アイソフォームの機能的役割の解明	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 細胞	6. 最初と最後の頁 443-447
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 田口恵子、山本雅之	4. 巻 83
2. 論文標題 環境応答・適応の分子機構	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本体質医学学会誌	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 吉田 香, 魏 民, 藤岡正喜, 寺本 勲	4. 巻 38
2. 論文標題 高脂肪食摂取加齢マウスにおける亜鉛の長期間過剰投与が学習・記憶能に及ぼす影響	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Trace Nutrients Research	6. 最初と最後の頁 7-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 福田茉由, 向井淳	4. 巻 38(2)
2. 論文標題 統合失調症の認知機能障害を改善するエピゲノム治療薬の開発	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 精神科	6. 最初と最後の頁 220-228
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 福田茉由, 向井淳	4. 巻 38(2)
2. 論文標題 統合失調症の認知機能障害を改善するエピゲノム治療薬の開発	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 精神科 38(2)	6. 最初と最後の頁 220-228
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 土田陸平, 住谷昌彦, 阿部博昭, 内田寛治	4. 巻 45
2. 論文標題 疼痛医学における Precision Medicine (精密医療) -P2Y12 受容体と痛み	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 臨床麻酔	6. 最初と最後の頁 137-145
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 冉慶松、周啓亮、小田佳奈子、泰江章博、阿部学、笹岡俊邦、崎村建司、味岡洋一、西條康夫	4. 巻 20
2. 論文標題 胚盤胞補完法と ES 細胞を用いた甲状腺再生	5. 発行年 2021 年
3. 雑誌名 日本再生医療学会総会 (Web)	6. 最初と最後の頁 ROMBUNNO. P-01-03
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 西條康夫、周啓亮、冉慶松、北原哲彦、小田佳奈子、泰江章博、笹岡俊邦、叶許緑、阿部学、崎村建司、土田正則、味岡洋一	4. 巻 10
2. 論文標題 胚盤胞補完法を用いた多能性幹細胞由来肺の作出	5. 発行年 2021 年
3. 雑誌名 日本呼吸器学会誌 (Web) (Annals of the Japanese Respiratory Society (Web)) 増刊号	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kataoka, N., Shima, Y., Nakajima, K., Nakamura, K.	4. 巻 367
2. 論文標題 A central master driver of psychosocial stress responses in the rat	5. 発行年 2020 年
3. 雑誌名 Science	6. 最初と最後の頁 1105-1112
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/science.aaz4639	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kataura T, Tashiro E, Nishikawa S, Onodera M, Shin-ya K, et al Sasazawa Y, Hattori N, Saiki S, and Imoto M	4. 巻 -
2. 論文標題 A chemical genomics-aggrephagy integrated method studying functional analysis of autophagy inducers.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Autophagy	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/15548627.2020.1794590	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 M. Endoh, M. Baba, T. Endoh, A. Hirayama, A. Nakamura-Ishizu, T. Umemoto, M. Hashimoto, K. Nagashima, T. Soga, M. Lang, L.S. Schmidt, W.M. Linehan, T. Suda	4. 巻 30
2. 論文標題 A FLCN-TFE3 Feedback Loop Prevents Excessive Glycogenesis and Phagocyte Activation by Regulating Lysosome Activity	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cell Reports	6. 最初と最後の頁 1823 - 1834
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2020.01.042	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yanagisawa, K., Konno, M., Liu, H., Irie, S., Mizushima, T., Mori, M., Doki, Y., Eguchi, H., Matsusaki, M., Ishii, H.	4. 巻 9
2. 論文標題 A four-dimensional organoid system to visualize cancer cell vascular invasion	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Biology	6. 最初と最後の頁 361
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/biology9110361	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koi H, Takahashi N, Fuchi Y, Umeno T, Muramatsu Y, Seimiya H, Karasawa S, Oguri H.	4. 巻 18
2. 論文標題 A fully synthetic 6-aza-artemisinin bearing an amphiphilic chain generates aggregates and exhibits anti-cancer activities	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Org Biomol Chem.	6. 最初と最後の頁 5339-5343
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/d0ob00919a	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Masumichi Saito(第一著者、責任著者及び研究代表者), Hiroo Hasegawa, Shunsuke Yamauchi, et al.	4. 巻 112(3)
2. 論文標題 A high-throughput detection method for the clonality of Human T-cell leukemia virus type-1-infected cells in vivo	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Hematology	6. 最初と最後の頁 300-306
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12185-020-02935-5	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Macarena Cabrera-Serrano, David Joseph Coote, Dimitar Azmanov, ……., Masaaki Komatsu (15人中11番目), Andrew Kornberg, Monique Ryan, Nigel G Laing, Gina Ravenscroft	4. 巻 57
2. 論文標題 A homozygous UBA5 pathogenic variant causes a fatal congenital neuropathy	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Med Genet	6. 最初と最後の頁 835-842
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/jmedgenet-2019-106496	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Takahashi H, Yamanaka S, Kuwada S, Higaki K, Kido K, Sato Y, Fukai S, Tokunaga F, Sawasaki T.	4. 巻 8
2. 論文標題 A Human DUB Protein Array for Clarification of Linkage Specificity of Polyubiquitin Chain and Application to Evaluation of Its Inhibitors	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Biomedicines	6. 最初と最後の頁 152
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/biomedicines8060152	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Eura N, Matsui TK, ....Kuniyasu H, Nagamori S, Muotri AR, Shin JW, Sugie K, Mori E	4. 巻 14
2. 論文標題 A human neurodevelopmental disease model using human brainstem organoids - Brainstem organoids from human pluripotent stem cells	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Front Neurosci	6. 最初と最後の頁 538
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2020.00538	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Masanori Kawabata, Shogo Soma, Akiko Saiki-Ishikawa, Satoshi Nonomura, Junichi Yoshida, Alain A Ríos, Yutaka Sakai, Yoshikazu Isomura	4. 巻 124
2. 論文標題 A spike analysis method for characterizing neurons based on phase locking and scaling to the interval between two behavioral events.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 1923-1941
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1152/jn.00200.2020	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Tsuboyama K., Osaki T., Matsuura-Suzuki E., Kozuka-Hata H., Okada Y., Oyama M., Ikeuchi Y., Iwasaki S., and Tomari Y.	4. 巻 18(3)
2. 論文標題 A widespread family of heat-resistant obscure (Hero) proteins protect against protein instability and aggregation	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 PLoS Biol.	6. 最初と最後の頁 e3000632
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pbio.3000632	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hamm JP, Shymkiv Y, Mukai J, Gogos JA, Yuste R.	4. 巻 88(3)
2. 論文標題 Aberrant Cortical Ensembles and Schizophrenia-like Sensory Phenotypes in Setd1a+/- Mice	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Biological Psychiatry	6. 最初と最後の頁 215-223
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.biopsych.2020.01.004	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Kobayashi K, Endoh F, Ohmori I, Akiyama T.	4. 巻 42(1)
2. 論文標題 Action of antiepileptic drugs on neurons	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Brain Dev.	6. 最初と最後の頁 2-5
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2019.07.006	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Wada S, Yanagida J, Sasase H, Zhang T, Li X, Kamii H, Domoto M, Deyama S, Hinoi E, Yamanaka A, Nishitani N, Nagayasu K, Kaneko S, Minami M, Kaneda K	4. 巻 166
2. 論文標題 Acute restraint stress augments the rewarding memory of cocaine through activation of $\alpha 1$ adrenoceptors in the medial prefrontal cortex of mice	5. 発行年 2020 年
3. 雑誌名 Neuropharmacology	6. 最初と最後の頁 107968
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuropharm.2020.107968	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ninagawa J, Sumitani M, Nishizawa D, Nagashima M, Mietani K, Abe H, Inoue R, Hozumi J, Tsuchida R, Ikeda K, Yamada Y	4. 巻 5
2. 論文標題 Adiponectin receptor 1 gene is potentially associated with severity of postoperative pain but not cancer pain	5. 発行年 2020 年
3. 雑誌名 Medicine (Baltimore)	6. 最初と最後の頁 e18924
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/MD.00000000000018924	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kawakami R, Mashima T, Kawata N, Kumagai K, Migita T, Sano T, Mizunuma N, Yamaguchi K, Seimiya H.	4. 巻 111
2. 論文標題 ALDH1A3-mTOR axis as a therapeutic target for anticancer drug-tolerant persister cells in gastric cancer	5. 発行年 2020 年
3. 雑誌名 Cancer Sci.	6. 最初と最後の頁 962-973
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.14316	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nagano H, Kono T, Saiga A, Kubota Y, Fujimoto M, Felizola SJA, Suzuki S, Ban T, Yokote K, Nakamura Y, Ichikawa T, Uno T, Tanaka T.	4. 巻 105
2. 論文標題 Aldosterone Reduction Rate After Saline Infusion Test May Be a Novel Prediction in Patients With Primary Aldosteronism	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Clin Endocrinol Metab.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1210/clinem/dgz092	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Gotoh N, Saito Y, Hata S, Saito H, Ojima D, Murayama C, Shigeta M, Abe T, Konno D, Matsuzaki F, Suzuki T, Yamamoto T	4. 巻 295
2. 論文標題 Amyloidogenic processing of amyloid $\beta$ protein precursor (APP) is enhanced in the brains of alcadein $\alpha$ -deficient mice	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Biological Chemistry	6. 最初と最後の頁 9650-9662
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.RA119.012386	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Matsushima S, Shimizu A, Kondo M, Asano H, Ueno N, Nakayama H, Sato N, Komeno M, Ogita H, Kurokawa-Seo M.	4. 巻 10
2. 論文標題 Anosmin-1 activates vascular endothelial growth factor receptor and its related signaling pathway for olfactory bulb angiogenesis	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 188
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-57040-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Mori S, Kishi S, Honoki K, Fujiwara-Tani R, Moriguchi T, Sasaki T, Fujii K, Tsukamoto S, Fujii H, Kido A, Tanaka Y, Luo Y, Kuniyasu H	4. 巻 21
2. 論文標題 Anti-stem cell property of pterostilbene in gastrointestinal cancer cells	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Int J Mol Sci	6. 最初と最後の頁 9347
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms21249347	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tsunematsu T, Arakaki R, Kawai H, Ruppert J, Tsuneyama K, Ishimaru N, Earnshaw WC, Pagano M, Kudo Y.	4. 巻 133(18)
2. 論文標題 APC/C-Cdh1 is required for the termination of chromosomal passenger complex activity upon mitotic exit	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Cell Science	6. 最初と最後の頁 jcs251314
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1242/jcs.251314	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kimura, K., Matsumoto, S. Harada T, Morii E, Nagatomo I, Shintani Y, Kikuchi, A.	4. 巻 111(3)
2. 論文標題 Arl4c is Associated with Initiation and Progression of Lung Adenocarcinoma and Represents A Molecular Target for Lung Cancer Therapy	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancer Sci.	6. 最初と最後の頁 951-961
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.14303	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Tetsuro Kawazoe, Hiroshi Saeki, Eiji Oki, Yoshinao Oda, Yoshihiko Maehara, Masaki Mori, Koji Taniguchi	4. 巻 18
2. 論文標題 Autocrine Leukemia Inhibitory Factor Promotes Esophageal Squamous Cell Carcinoma Progression via Src Family Kinase-Dependent Yes-Associated Protein Activation	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Molecular Cancer Research	6. 最初と最後の頁 1876-1888.
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/1541-7786.MCR-20-0186	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Gemma Aragonés, Kalavathi Dasuri, ..., Masaaki Komatsu(21人中9番目), ..., Eloy Bejarano, Allen Taylor	4. 巻 -
2. 論文標題 Autophagic receptor p62 protects against glycation-derived toxicity and enhances viability	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Aging Cell	6. 最初と最後の頁 1-17
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/accel.13257	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Abe Y, Ikegawa N, Yoshida K, Muramatsu K, Hattori S, Murakami M, Tanaka T, Goda W, Hashimoto T, Miyakawa T, Iwatsubo T, Hata J, Niikura T, Yasui M et al.	4. 巻 8
2. 論文標題 Behavioral and electrophysiological evidence for a neuroprotective role of aquaporin-4 in the 5xFAD transgenic mice model	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Acta Neuropathol. Commun.	6. 最初と最後の頁 67
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40478-020-00936-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tai-Nagara I, Hasumi Y, Kusumoto D, Hasumi H, Okabe K, Ando T, Matsuzaki F, Itoh F, Saya H, Hirashima M, Suzuki Y, Furuya M, Baba M, Kubota Y	4. 巻 11
2. 論文標題 Blood and lymphatic systems are segregated by the FLCN tumor suppressor	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nature Communications volume	6. 最初と最後の頁 6314
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-020-20156-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kariba Y, Yoshizawa T, Sato Y, Tsuyama T, Araki E, Yamagata K	4. 巻 530
2. 論文標題 Brown adipocyte-derived miR-132-3p suppress hepatic Srebf1 expression and thereby attenuate expression of lipogenic genes	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun	6. 最初と最後の頁 500-507
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2020.05.090	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kataura T, Saiki S, Ishikawa K, Akamatsu W, Sasazawa Y, Hattori N, Imoto M.	4. 巻 155
2. 論文標題 BRUP-1, an intracellular bilirubin modulator, exerts neuroprotective activity in a cellular Parkinson's disease model.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J. Neurochemistry	6. 最初と最後の頁 81-97
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jnc.14997	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Toyokuni S, Kong Y, Cheng Z, Sato K, Hayashi S, Ito F, Jiang L, Yanatori I, Okazaki Y, Akatsuka S	4. 巻 12
2. 論文標題 Carcinogenesis as side effects of iron and oxygen utilization: from the unveiled truth toward ultimate engineering	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancers	6. 最初と最後の頁 E3320
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/cancers12113320	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamamura S, Izumiya Y, Araki S, Nakagata N, Bober E, Braun T, Sakamoto K, Kaikita K, Morimoto T, Yamagata K, Tsujita K	4. 巻 75
2. 論文標題 Cardiomyocyte Sirt (Sirt7)7 ameliorates stress-induced cardiac hypertrophy by interacting with and deacetylating GATA4	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Hypertension	6. 最初と最後の頁 98-108
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/HYPERTENSIONAHA.119.13357	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 R Ohashi and N Shiina	4. 巻 10
2. 論文標題 Cataloguing and selection of mRNAs localized to dendrites in neurons and regulated by RNA-binding proteins in RNA granules	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Biomolecules	6. 最初と最後の頁 167
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/biom10020167	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Oikawa D, Hatanaka N, Suzuki T, Tokunaga F.	4. 巻 11
2. 論文標題 Cellular and Mathematical Analyses of LUBAC Involvement in T Cell Receptor-Mediated NF- $\kappa$ B Activation Pathway	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Front Immunol.	6. 最初と最後の頁 601926
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2020.601926	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Saito M, Kagawa N, Okumura K, Munakata H, Isogai E, Fukagawa T, Wakabayashi Y.	4. 巻 111
2. 論文標題 CENP-50 is required for papilloma development in the two-stage skin carcinogenesis model	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancer Science.	6. 最初と最後の頁 2850-2860
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.14533	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takeda K, Miyamoto Y, Yamamoto H, Ishii A, Hirose S, Yamamoto H.	4. 巻 42(1)
2. 論文標題 Clinical features of early myoclonic encephalopathy caused by a CDKL5 mutation.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Brain Dev.	6. 最初と最後の頁 73-76
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2019.08.003	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Nakahata S (第一著者), et al, Saito M (研究協力者), Morishita K (責任著者・研究代表者).	4. 巻 106(2)
2. 論文標題 Clinical significance of soluble CADM1 as a novel marker for adult T-cell leukemia/lymphoma	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Haematologica	6. 最初と最後の頁 532-542
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3324/haematol.2019.234096	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakashima C, Yamamoto K, Kishi S, Sasaki T, Ohmori H, Fujiwara-Tani R, Mori S, Kawahara I, Nishiguchi Y, Mori T, Kondoh M, Luo Y, Kirita T, Kuniyasu H	4. 巻 11
2. 論文標題 Clostridium perfringens enterotoxin induces claudin-4 to activate YAP in oral squamous cell carcinomas	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Oncotarget	6. 最初と最後の頁 309-321
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/oncotarget.27424	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yoshimi K, Oka Y, Miyasaka Y, Kotani Y, Yasumura M, Uno Y, Hattori K, Tanigawa A, Sato M, Oya M, Nakamura K, Matsushita N, Kobayashi K, Mashimo T	4. 巻 140(2)
2. 論文標題 Combi-CRISPR: combination of NHEJ and HDR provides efficient and precise plasmid-based knock-ins in mice and rats	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Human Genetics	6. 最初と最後の頁 277-287
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00439-020-02198-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Noriho Shinagawa, Kentaro Minami, Takayuki Ishida, Hiroshi Hijioka, Masatatsu Yamamoto, Kohichi Kawahara, Tatsuhiko Furukawa, Norifumi Nakamura	4. 巻 -
2. 論文標題 Combination of hydroxyurea and tranilast suppresses gemcitabine resistance induced by ribonucleotide reductase M1 in gemcitabine-resistant cells	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Oral Sci Int	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/osi2.1096	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fukuda T, Furuya K, Takahashi K, Orimoto A, Sugano E, Tomita H, Kashiwagi S, Kiyono T, Ishii T	4. 巻 24(1)
2. 論文標題 Combinatorial expression of cell cycle regulators is more suitable for immortalization than oncogenic methods in dermal papilla cells	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 iScience	6. 最初と最後の頁 101929
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2020.101929	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nukaga S, Mori T, Miyagawa Y, Fujiwara-Tani R, Sasaki T, Fujii K, Mori S, Goto K, Kishi S, Nakashima C, Ohmori H, Kawahara I, Luo Y, Kuniyasu H	4. 巻 111
2. 論文標題 Combined administration of medium-chain fatty chain and glucose improved cancer-derived cardiac atrophy in a mouse cachexia model	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancer Sci	6. 最初と最後の頁 4605-4615
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.14656	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Miyazaki T, Yamasaki M, Tanaka KF, Watanabe M.	4. 巻 2020 May 26:S0306-4522(20)
2. 論文標題 Compartmentalized input-output organization of Lugaro cells in the cerebellar cortex	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuroscience	6. 最初と最後の頁 30322-5.
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2020.05.026.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki Ta., ... Mito M., Iwasaki S., Ma D., Zhao X., Asano K., Lin H., Kirino Y., Sakaguchi Y., and Suzuki Ts.	4. 巻 11(1)
2. 論文標題 Complete chemical structures of human mitochondrial tRNAs	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nat Commun.	6. 最初と最後の頁 4269
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-020-18068-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yanagisawa, K., Toratani, M., Asai, A., Konno, M., Niioka, H., Mizushima, T., Satoh, T., Miyake, J., Ogawa, K., Vecchione, A., Doki, Y., Eguchi, H., Ishii, H.	4. 巻 21
2. 論文標題 Convolutional neural network can recognize drug resistance of single cancer cells	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Int. J. Mol. Sci.	6. 最初と最後の頁 3166
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms21093166	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する



1. 著者名 Kana Aoki, Shinsuke Sato, Shota Harada, Seiichi Uchida, Yoh Iwasa, Junichi Ikenouchi	4. 巻 31(8)
2. 論文標題 Coordinated Changes in Cell Membrane and Cytoplasm During Maturation of Apoptotic Bleb	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Mol Biol Cell	6. 最初と最後の頁 833-844
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1091/mbc.E19-12-0691	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Asai, A., Konno, M., Eguchi, H., Doki, Y., Ishii, H. et al.	4. 巻 21
2. 論文標題 COVID-19 drug discovery using intensive approaches	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Int. J. Mol. Sci.	6. 最初と最後の頁 2839
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms21082839	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fujihara K, Yamada K, Ichitani Y, Kakizaki T, Suto T, Watanabe M, Kajita Y, Ohshiro T, Mushiake H, Miyasaka Y, Mashimo T, Yasuda H, Yanagawa Y.	4. 巻 10
2. 論文標題 CRISPR/Cas9-engineered Gad1 elimination in rats leads to complex behavioral changes: implications for schizophrenia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Transl Psychiatry.	6. 最初と最後の頁 426
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41398-020-01108-6.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Seimiya H.	4. 巻 111
2. 論文標題 Crossroads of telomere biology and anticancer drug discovery	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancer Sci.	6. 最初と最後の頁 3089-3099
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.14540	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamaguchi S, Oe A, Nishida KM, Yamashita K, Kajiya A, Hirano S, Matsumoto N, Dohmae N, Ishitani R, Saito K, Siomi H, Nishimasu H, Siomi MC, Nureki O.	4. 巻 11(1)
2. 論文標題 Crystal structure of Drosophila Piwi	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 858
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-020-14687-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kotaki R, Kawashima M, Yamamoto Y, Higuchi H, Nagashima E, Kurosaki N, Takamatsu M, Kikuti YY, Imadome KI, Nakamura N, Kotani A.	4. 巻 10(1)
2. 論文標題 Dasatinib exacerbates splenomegaly of mice inoculated with Epstein-Barr virus-infected lymphoblastoid cell lines	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 4355
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-61300-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ozaki T, Utsumi S, Iwamoto T, Tanaka M, Tomita H, Sugano E, Ishiyama E, Ishida K	4. 巻 30
2. 論文標題 Data on mitochondrial ultrastructure of photoreceptors in pig, rabbit, and mouse retinas	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Data Brief	6. 最初と最後の頁 105544
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.dib.2020.105544	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takujiro Homma, Yuji Takeda, Shinya Toyokuni, Junichi Fujii. et al.	4. 巻 162
2. 論文標題 Defective biosynthesis of ascorbic acid in Sod1-deficient mice results in lethal damage to lung tissue	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Free Radical Biology & Medicine	6. 最初と最後の頁 255-265
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.freeradbiomed.2020.10.023	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Takeshita N, Kawade N, Suzuki W, Hara S, Horio F, Ichinose H	4. 巻 715
2. 論文標題 Deficiency of ascorbic acid decreases the contents of tetrahydrobiopterin in the liver and the brain of ODS rats.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neurosci Lett	6. 最初と最後の頁 134656
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neulet.2019.134656	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Masai H, Kanoh Y, Kakusho N, Fukatsu R.	4. 巻 531
2. 論文標題 Detection of cellular G-quadruplex by using a loop structure as a structural determinant.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun.	6. 最初と最後の頁 75-83
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2020.05.191	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ageta-Ishihara N and Kinoshita M	4. 巻 170
2. 論文標題 Developmental and postdevelopmental roles of septins in the brain	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neurosci Res	6. 最初と最後の頁 6-12
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2020.08.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fujiwara-Tani R, Sasaki T, Fujii K, Luo Y, Kishi S, Mori S, Matsushima-Otsuka S, Nishiguchi Y, Mori T, Nukaga S, Goto K, Kawahara I, Kondoh M, Sho M, Kuniyasu H	4. 巻 11(31)
2. 論文標題 Diabetes mellitus is associated with liver metastasis of colorectal cancer	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Oncotarget	6. 最初と最後の頁 2982-2994
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/oncotarget.27674	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kazuhiro Sakamoto, Norihiko Kawaguchi, Hajime Mushiake	4. 巻 156
2. 論文標題 Differences in task-phase-dependent time-frequency patterns of local field potentials in the dorsal and ventral regions of the monkey lateral prefrontal cortex	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 41-49
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2019.12.016	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Nakata S, Takemoto M, Song W-J.	4. 巻 386
2. 論文標題 Differential cortical and subcortical projection targets of subfields in the core region of mouse auditory cortex	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Hearing Research	6. 最初と最後の頁 107876
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.heares.2019.107876	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Mukai S, Nakada S, Kamada H, Yaguchi R, Deyama S, Kaneda K	4. 巻 40
2. 論文標題 Differential sensitivity to detect prosocial effects of 3,4-methylenedioxymethamphetamine (MDMA) in different social approach paradigms in mice	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuropsychopharmacology Reports	6. 最初と最後の頁 297-301
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/npr2.12124	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Gen Onodera, Hidenobu Kumagae, Daiki Nakamura, Takuto Hayasaki, Tsutomu Fukuda, Masanari Kimura	4. 巻 61
2. 論文標題 Direct benzylation of amines with benzylic alcohols catalyzed by palladium/phosphine-borane catalyst system	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Tetrahedron Letters	6. 最初と最後の頁 152537
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tetlet.2020.152537	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kawamura T, Futamura Y, Shang E, Muroi M, Janning P, Ueno M, Wilke J, Takeda S, Kondoh Y, Ziegler S, Watanabe N, Waldmann H, Osada H.	4. 巻 84
2. 論文標題 Discovery of small-molecule modulator of heterotrimeric Gi-protein by integrated phenotypic profiling and chemical proteomics	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Biosci Biotechnol Biochem	6. 最初と最後の頁 2484-2490
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/09168451.2020.1812375	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Horie M, Yoshioka N, Kusumi S, Sano H, Kurose M, Watanabe-Iida I, Hossain I, Chiken S, Abe M, Yamamura K, Sakimura K, Nambu A, Shibata M, Takebayashi H.	4. 巻 68
2. 論文標題 Disruption of dystonin in Schwann cells results in late-onset neuropathy and sensory ataxia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 GLIA	6. 最初と最後の頁 2330-2344
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/glia.23843	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Yanagitani N, Uchibori K, Koike S, Tsukahara M, Kitazono S, Yoshizawa T, Horiike A, Ohyanagi F, Tambo Y, Nishikawa S, Fujita N, *Katayama R, *Nishio M.	4. 巻 111
2. 論文標題 Drug resistance mechanisms in Japanese anaplastic lymphoma kinase-positive non-small cell lung cancer and the clinical responses based on the resistant mechanisms	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 932-939
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.14314	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Chen M, Asanuma M, Takahashi M, Shichino Y, Mito M, Fujiwara K, Saito H, Floor SN, Ingolia NT, Sodeoka M, Dodo K, Ito T, and Iwasaki S	4. 巻 28
2. 論文標題 Dual targeting of DDX3 and eIF4A by the translation inhibitor rocaglamide A	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cell Chem Biol.	6. 最初と最後の頁 475-486
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.chembiol.2020.11.008	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Kazuhiro Sakamoto, Naohiro Saito, Shun Yoshida and Hajime Mushiake	4. 巻 40
2. 論文標題 Dynamic Axis-Tuned Cells in the Monkey Lateral Prefrontal Cortex during a Path-Planning Task	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The Journal of Neuroscience	6. 最初と最後の頁 203 - 219
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.2526-18.2019	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Nishimura M, Wang C, Shu R, Song W-J.	4. 巻 10
2. 論文標題 Dynamic changes of timing precision in timed actions during a behavioural task in guinea pigs	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 20079
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-76953-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Saito K., Pérez-de la Fuente R., Arimoto K., Young ah S., Aonuma H., Niiyama N and You Z.	4. 巻 117(30)
2. 論文標題 Earwig fan designing: biomimetic and evolutionary biology applications	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences U.S.A.	6. 最初と最後の頁 17622-17626
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.2005769117	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Sato M., Chou S.-J.	4. 巻 14
2. 論文標題 Editorial: The Earliest-Born Cortical Neurons as Multi-Tasking Pioneers: Expanding Roles for Subplate Neurons in Cerebral Cortex Organization and Function	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Frontiers in Neuroanatomy	6. 最初と最後の頁 43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnana.2020.00043	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する



1. 著者名 Sasaki T, Mori S, Kishi S, Fujiwara-Tani R, Ohmori H, Nishiguchi Y, Kawahara I, Nakashima C, Fujii K, Luo Y, Kuniyasu H	4. 巻 21(11)
2. 論文標題 Effect of proton pump inhibitors on colorectal cancer	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Int J Mol Sci	6. 最初と最後の頁 E3877
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms21113877	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sasaki T, Bao P, Takada T, Takei T	4. 巻 31(3)
2. 論文標題 Effects of IL-17A on activation and localization of microglia in murine cerebral cortex - Aiming to understand cortical abnormalities and ASD pathogenesis by IL-17A	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Jap J Biol Psych.	6. 最初と最後の頁 93-98.
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Atsuko Gonda, Koji Takada, Ryo C. Yanagita, Shingo Dan, and Kazuhiro Irie*	4. 巻 85(1)
2. 論文標題 Effects of side chain length of 10-methyl-aplog-1, a simplified analog of debromoaplysiatoxin, on PKC binding, anti-proliferative, and pro-inflammatory activities	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Bioscience, Biotechnology and Biochemistry	6. 最初と最後の頁 168-180
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/bbb/zbaa024	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Saori Miwa, Ayako M. Watabe, Yohta Shimada, Takashi Higuchi, Hiroshi Kobayashi, Takahiro Fukuda, Fusao Kato, Hiroyuki Ida, Toya Ohashi	4. 巻 130
2. 論文標題 Efficient engraftment of genetically modified cells is necessary to ameliorate 1 central nervous system involvement of murine model of mucopolysaccharidosis type II by hematopoietic stem cell targeted gene therapy	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Molecular Genetics and Metabolism	6. 最初と最後の頁 262-273
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ymgme.2020.06.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Masami Ishido, Eiko Shimaya	4. 巻 7
2. 論文標題 Electromagnetic fields (EMF) facilitate cell migration and BrdU incorporation during an EMF-sensitive phase in a rat neurosphere assay in vitro	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Fund Toxicol Sci	6. 最初と最後の頁 253-257
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2123/fts7.253	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishio M, et al.	4. 巻 111
2. 論文標題 Endogenous YAP1 activation drives immediate onset of cervical carcinoma in situ in mice	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancer Sci.	6. 最初と最後の頁 3576-3587
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.14581	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shinji Hirotsune, Hiroshi Kiyonari, Mingyue Jin, Kanako Kumamoto, Kayo Yoshida, Miki Shinohara, Hitomi Watanabe, Anthony Wynshaw-Boris & Fumio Matsuzaki	4. 巻 10
2. 論文標題 Enhanced homologous recombination by the modulation of targeting vector ends	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 2518
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-58893-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fukabori, R, Iguchi, Y, ..., Benton, R, Kobayashi, K	4. 巻 40
2. 論文標題 Enhanced retrieval of taste associative memory by chemogenetic activation of locus coeruleus norepinephrine neurons	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The Journal of Neuroscience	6. 最初と最後の頁 8367-8385
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/jneurosci.1720-20.2020	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Han Y, Nakayama J, Hayashi Y, Jeong S, Futakuchi M, Ito E, Watanabe S and Semba K	4. 巻 25
2. 論文標題 Establishment and characterization of highly osteolytic luminal breast cancer cell lines by intra-caudal arterial injection	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Genes to Cells	6. 最初と最後の頁 111-123
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/gtc.12743	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 H. Nasser, P. Adhikary, A. Abdel-Daim, O. Noyori, J. Panaampon, R. Kariya, S. Okada, W. Ma, M. Baba, H. Takizawa, M. Yamane, H. Niwa, S. Suzu	4. 巻 6
2. 論文標題 Establishment of bone marrow-derived M-CSF receptor-dependent self-renewing macrophages	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cell death discovery	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41420-020-00300-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Miyagawa Y, Nukaga S, Mori T, Fujiwara-Tani R, Fujii K, Mori S, Goto K, Kishi S, Sasaki T, Nakashima C, Ohmori H, Kawahara I, Luo Y, Kuniyasu H	4. 巻 11
2. 論文標題 Evaluation of cancer-derived myocardial impairments using a mouse model	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Oncotarget	6. 最初と最後の頁 3712-3722
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/oncotarget.27759	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Amodio P., Shigeno, S. Ostojić L.	4. 巻 1
2. 論文標題 Evolution of Intelligence in cephalopods	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 eLS 77 - 84829	6. 最初と最後の頁 77
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/9780470015902.a0029004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Iori Morita, Takahiro Mori,..... Makoto Fujita, Tomohiko Ohwada, Ikuro Abe	4. 巻 59
2. 論文標題 Exploiting aC-N Bond Forming Cytochrome P450Monooxygenase for C-S Bond Formation	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Angew. Chem. Int. Ed.	6. 最初と最後の頁 3988-3993
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/anie.201916269	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Sasaki T, Komatsu Y, Yamamori T.	4. 巻 262(13)
2. 論文標題 Expression patterns of SLIT/ROBO mRNAs reveal a characteristic feature in the entorhinal-hippocampal area of macaque monkeys.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMC Res Notes	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13104-020-05100-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshida K, Ito MA, Sato N, Obayashi K, Yamamoto K, Koizumi S, Tanaka S, Furuta K, Matsuoka I	4. 巻 204
2. 論文標題 Extracellular ATP Augments Antigen-Induced Murine Mast Cell Degranulation and Allergic Responses via P2X4 Receptor Activation.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Immunol	6. 最初と最後の頁 3077-3085
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4049/jimmunol.1900954	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Hirano T, Shinsato Y, Tanabe K, Higa N, Kamil M, Kawahara K, Furukawa T & Shoji Natsugoe et al.	4. 巻 9
2. 論文標題 FARP1 boosts CDC42 activity from integrin $\alpha v \beta 5$ signaling and correlates with poor prognosis of advanced gastric cancer	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Oncogenesis	6. 最初と最後の頁 13
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41389-020-0190-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Toyokuni S, Yanatori I, Kong Y, Zheng H, Motooka Y, Jiang L	4. 巻 111
2. 論文標題 Ferroptosis at the crossroads of infection, aging and cancer	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 2665-2671
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.14496	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoo SM, Yamashita SI, Kim H, Na D, Lee H, Kim SJ, Cho DH, Kanki T, Jung YK.	4. 巻 34(2)
2. 論文標題 FKBP8 LIRL-dependent mitochondrial fragmentation facilitates mitophagy under stress conditions	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 FASEB J.	6. 最初と最後の頁 2944-2957
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1096/fj.201901735R	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Y. Isono, M. Furuya, T. Kuwahara, D. Sano, K. Suzuki, R. Jikuya, T. Mitome, S. Otake, M. Baba, LS Schmidt, WM Linehan, T. Kodama, M. Yao, N. Oridate, H. Hasumi	4. 巻 522
2. 論文標題 FLCN alteration drives metabolic reprogramming towards nucleotide synthesis and cyst formation in salivary gland	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Biochemical and Biophysical Research Communications	6. 最初と最後の頁 931-938
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2019.11.184	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Higa N, Shinsato Y, Kamil M, Hirano T, Takajo T, Shimokawa M, Minami K, Yamamoto M, Kawahara K, Yonezawa H, Hirano H, Furukawa T, Yoshimoto K and Arita K	4. 巻 20
2. 論文標題 Formin-like 1 (FMNL1) Is Associated with Glioblastoma Multiforme Mesenchymal Subtype and Independently Predicts Poor Prognosis.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Int J Mol Sci	6. 最初と最後の頁 6355
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms20246355	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ohira M, Suzuki S, Yoshida T, Koide H, Tanaka T, Tatsuno I.	4. 巻 360
2. 論文標題 Fracture Risk Assessment Tool May Not Indicate Bone Fragility in Women With Type 2 Diabetes	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Am J Med Sci.	6. 最初と最後の頁 552-559
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.amjms.2020.04.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kida, S*.	4. 巻 96
2. 論文標題 Function and mechanisms of memory destabilization and reconsolidation after retrieval	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Proc Jpn Acad Ser B Phys Biol Sci.	6. 最初と最後の頁 95-106
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2183/pjab.96.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Igarashi R, Yamashita SI, Yamashita T, Inoue K, Fukuda T, Fukuchi T, Kanki T.	4. 巻 10(1)
2. 論文標題 Gemcitabine induces Parkin-independent mitophagy through mitochondrial-resident E3 ligase MUL1-mediated stabilization of PINK1	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 1465
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-58315-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Omori S, Wang TW, Johmura Y, Makoto Nakanishi, et al	4. 巻 32
2. 論文標題 Generation of a p16 Reporter Mouse and Its Use to Characterize and Target p16 high Cells In Vivo	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cell Metabolism	6. 最初と最後の頁 814-828
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cmet.2020.09.006	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -



1. 著者名 Yingsong, Lin., Doki, Y., Ishii, Hideshi, Eguchi, H., Mori, Masaki, Matsuo, K.	4. 巻 11(1)
2. 論文標題 Genome-wide association meta-analysis identifies GP2 gene risk variants for pancreatic cancer	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nature Commun.	6. 最初と最後の頁 3175
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-020-16711-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Han P., Shichino Y., Schneider-Poetsch T., Mito M., Hashimoto S., Udagawa T., Kohno K., Yoshida M., Mishima Y., Inada T., and Iwasaki S.	4. 巻 31(5)
2. 論文標題 Genome-wide survey of ribosome collision	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cell Rep.	6. 最初と最後の頁 107610
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2020.107610	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sugano E, Endo Y, Sugai A, Kikuchi Y, Tabata K, Ozaki T, Kurose T, Takai Y, Mitsuguchi Y, Honma Y, Tomita H	4. 巻 883
2. 論文標題 Geranylgeranyl acetone prevents glutamate-induced cell death in HT-22 cells by increasing mitochondrial membrane potential	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Eur J Pharmacol	6. 最初と最後の頁 173193
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ejphar.2020.173193	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hata, M., Kinoshita, H., Hayakawa, Y., (他12名), Kon, S., Tomita, H., Wang, T.C., Koike, K.	4. 巻 158
2. 論文標題 GPR30-Expressing Gastric Chief Cells Do Not Dedifferentiate But Are Eliminated via PDK-Dependent Cell Competition During Development of Metaplasia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Gastroenterology	6. 最初と最後の頁 1650-1666
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1053/j.gastro.2020.01.046	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Alavi S, Ghadiri H, Dabirmanesh B, Moriyama K, Khajeh K, Masai H.	4. 巻 -
2. 論文標題 G-quadruplex binding protein Rif1, a key regulator of replication timing.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Biochem.	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jb/mvaa128	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Masai H, Tanaka T.	4. 巻 531
2. 論文標題 G-quadruplex DNA and RNA: Their roles in regulation of DNA replication and other biological functions.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun.	6. 最初と最後の頁 25-38
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2020.05.132	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Pablo Sanchez-Martin, Masaaki Komatsu	4. 巻 219
2. 論文標題 Heparan sulfate and clusterin: Cleaning squad for extracellular protein degradation	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J. Cell Biology	6. 最初と最後の頁 e202001159
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1083/jcb.202001159	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Asai, A., Konno M., Kawamoto K., Isotani, A., Mori, M., Eguchi H., Doki, Y., Arai, T., Ishii, H.	4. 巻 11(22)
2. 論文標題 Hereditary pancreatitis model by blastocyst complementation in mouse	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Oncotarget	6. 最初と最後の頁 2061-2073
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/oncotarget.27595	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Nakayama J, Saito R, Hayashi Y, Kitada N, Tamaki S, Han Y, Semba K and Maki SA	4. 巻 21
2. 論文標題 High Sensitivity In Vivo Imaging of Cancer Metastasis Using a Near-Infrared Luciferin Analogue seMpai	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Molecular Sciences	6. 最初と最後の頁 1-8
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms21217896	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kanako Maehata, Kimiko Shimizu*, Tomoko Ikeno, Qiuyi Wang, Ayaka Sakurai, Zefeng Wei, Yue Pan, Toshifumi Takao and Yoshitaka Fukada	4. 巻 23(10)
2. 論文標題 Hippocampal 7 $\alpha$ -hydroxylated neurosteroids are raised by training and bolster remote spatial memory with increase of the spine densities	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 iScience	6. 最初と最後の頁 101559
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2020.101559	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sato Y, Rahman MM, Haneda M, Tsuyama T, Mizumoto T, Yoshizawa T, Kitamura T, Gonzalez FJ, Yamamura K, Yamagata K	4. 巻 1866
2. 論文標題 HNF1 $\alpha$ controls glucagon secretion in pancreatic $\alpha$ -cells through modulation of SGLT1	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BBA - Mol Basis Dis	6. 最初と最後の頁 165898
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbadis.2020.165898	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Okochi Y, Umemoto E, Okamura Y.	4. 巻 107
2. 論文標題 Hv1/VSOP regulates neutrophil directional migration and ERK activity by tuning ROS production	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Leukocyte Biology	6. 最初と最後の頁 819-831
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/JLB.2A0320-110RR	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shiori Suzuki#, Shuichi Tsutsumi#, Yu Chen#, Chikako Ozeki, Atsushi Okabe, Tatsuya Kawase, Hiroyuki Aburatani and Rieko Ohki*.	4. 巻 111
2. 論文標題 Identification and characterization of the binding sequences and target genes of p53 lacking the 1st transactivation domain.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 451-466
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.14279	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Wang T, Nakagawa S, Miyake T, Setsu G, Kunisue S, Goto K, Hirasawa A, Okamura H, Yamaguchi Y, and Doi M	4. 巻 10
2. 論文標題 Identification and functional characterisation of N-linked glycosylation of the orphan G protein-coupled receptor Gpr176.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sci. Rep.	6. 最初と最後の頁 4429
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-61370-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nagasawa I, Muroi M, Kawatani M, Ohishi T, Ohba SI, Kawada M, Osada H.	4. 巻 27(2)
2. 論文標題 Identification of a small compound targeting PKM2-regulated signaling using 2D gel electrophoresis-based proteome-wide CETSA	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cell Chemical Biology	6. 最初と最後の頁 186-196. e4
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.chembiol.2019.11.010	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Suvarna K, Honda K, Muroi M, Kondoh Y, Watanabe N, Osada H.	4. 巻 10
2. 論文標題 Identification of target protein for bio-active small molecule using photo-cross linked beads and MALDI-TOF mass spectrometry	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Bio Protoc	6. 最初と最後の頁 e3517
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21769/BioProtoc.3517	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Shimizu A, Zankov DP, Sato A, Komeno M, Toyoda F, ..., Ogita H.	4. 巻 34(5)
2. 論文標題 Identification of Transmembrane Protein 168 Mutation in Familial Brugada Syndrome	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 FASEB J	6. 最初と最後の頁 6399-6417
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1096/fj.201902991R	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Iwata S, Sasaki T, Takei Y.	4. 巻 45(6):
2. 論文標題 Imaging of activity-dependent local translation in dendrite using photoconvertible protein	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Medical Science Digest	6. 最初と最後の頁 64-65
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kawakami Y, Ohta S, Sayem MA, Tsukamoto N, Yaguchi T	4. 巻 25(5)
2. 論文標題 Immune-resistant mechanisms in cancer immunotherapy	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Int J Clin Oncol.	6. 最初と最後の頁 810-817
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10147-019-01611-x	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Takeda, Y., Doki, Y., Eguchi, H., Ishii, H. et al.	4. 巻 9
2. 論文標題 Immuno-surgical management of pancreatic cancer with analysis of cancer exosomes	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cells	6. 最初と最後の頁 1645
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/cells9071645	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Morita Y, Senokuchi T, Yamada S, Wada T, Furusho T, Matsumura T, Ishii N, Murakami-Nishida S, Nisida S, Motoshima H, Komohara Y, Yamagata K, Araki E	4. 巻 8
2. 論文標題 Impact of tissue macrophage proliferation on peripheral and systemic insulin resistance in obese mice with diabetes	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMJ Open Diabetes Research & Care	6. 最初と最後の頁 e001578
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjdr-2020-001578	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Arima-Yoshida F, Raveau M, Shimohata A, Amano K, Fukushima A, Watanave M, Kobayashi S, Hattori S, Usui M, Sago H, Mataga N, Miyakawa T, Yamakawa K, Manabe T.	4. 巻 10
2. 論文標題 Impairment of spatial memory accuracy improved by Cbr1 copy number resumption and GABA B receptor-dependent enhancement of synaptic inhibition in Down syndrome model mice	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Scientific Report	6. 最初と最後の頁 14187
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-71085-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakazawa K. Shichino Y., Iwasaki S., and Shiina N.	4. 巻 295(44)
2. 論文標題 Implications of RNG140 (caprin2)-mediated translational regulation in eye lens differentiation	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Biol Chem.	6. 最初と最後の頁 15029-15044
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.RA120.012715	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kato S., Shirai Y., Motozono, C., Kanzaki, H., Mori, S., Kodama, T.	4. 巻 525(4)
2. 論文標題 In vivo delivery of an exogenous molecule into murine T lymphocytes using a lymphatic drug delivery system combined with sonoporation	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun.	6. 最初と最後の頁 1025-1031
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2020.02.174	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -



1. 著者名 Yasuda D, Ohe T, Takahashi K, Imamura R, Kojima H, Okabe T, Ichimura Y, Komatsu M, Yamamoto M, Nagano T, Mashino T	4. 巻 54
2. 論文標題 Inhibitors of the protein-protein interaction between phosphorylated p62 and Keap1 attenuate chemoresistance in a human hepatocellular carcinoma cell line	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Free Radic Res.	6. 最初と最後の頁 859-871
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/10715762.2020.1732955	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hayashi Y, Takizawa H	4. 巻 61
2. 論文標題 Innate immune signal-mediated regulation and alterations in hematopoiesis	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Rinsho Ketsueki	6. 最初と最後の頁 651- 656
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11406/rinketsu.61.651	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamato, S. H. Nakamura, S. Htun, Y. Nakamura, M. Jinnai, W. Nakao, Y. Mitsue, T. Koyano, K..... Iwase, T. Kondo, S. I. Yasuda, S. Ueno, M. Miki, T. Kusaka, T.	4. 巻 117(6)
2. 論文標題 Intravenous Edaravone plus Therapeutic Hypothermia Offers Limited Neuroprotection in the Hypoxic-Ischaemic Newborn Piglet	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neonatology	6. 最初と最後の頁 713-720
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000511085	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Tetsuya Sasaki, Saki Tome, Yosuke Takei	4. 巻 13(1)
2. 論文標題 Intraventricular IL-17A administration activates microglia and alters their localization in the mouse embryo cerebral cortex.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Molecular Brain	6. 最初と最後の頁 93
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13041-020-00635-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kawahata T, Kawahara K, Shimokawa M, Sakiyama A, Shiraishi T, Minami K, Yamamoto M, Shinsato Y, Arima K, Hamada T, Furukawa T	4. 巻 19
2. 論文標題 Involvement of ribosomal protein L11 expression in sensitivity of gastric cancer against 5-FU	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ONCOLOGY LETTERS	6. 最初と最後の頁 2258-2264
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/ol.2020.11352	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Wei R, Sugiyama A, Sato Y, Nozumi M, Nishino H, Takahashi M, Saito T, Ando K, Fukuda M, Tomomura M, Igarashi M, *Hisanaga S-i	4. 巻 168(1)
2. 論文標題 Isoform-dependent subcellular localization of LMTK1A and LMTK1B, and their roles in axon outgrowth and spine formation.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Biochem	6. 最初と最後の頁 23-32
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jb/mvaa019	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Takeuchi Y., Tatsuta S., Kito A., Fujikawa J., Itoh S., Itoh Y., Akiyama S., Yamashiro T., Wakisaka S., Abe M.	4. 巻 382(2)
2. 論文標題 Kruppel-Like Factor 4 upregulates Matrix Metalloproteinase 13 expression in chondrocytes via mRNA stabilization	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cell Tissue Research	6. 最初と最後の頁 307-319
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00441-020-03228-3	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Tutomu Fukuda, Fumito Ishibashi, Masatomo Iwao	4. 巻 83
2. 論文標題 Lamellarin alkaloids: Isolation, synthesis, and biological activity	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The Alkaloids: Chemistry and Biology	6. 最初と最後の頁 1-112
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/bs.alkal.2019.10.001	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Shuhei Nakamura, Saki Shigeyama, Satoshi Minami,... , Masaaki Komatsu (29人中23番目),... Andrea Ballabio, Tamotsu Yoshimori	4. 巻 22
2. 論文標題 LC3 lipidation is essential for TFEB activation during the lysosomal damage response to kidney injury	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nature Cell Biology	6. 最初と最後の頁 1252-1263
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41556-020-00583-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fracassi A, Masai H, Yamakoshi Y.	4. 巻 44
2. 論文標題 LDL-mimetic lipid nanoparticles prepared by surface KAT ligation for in vivo MRI of atherosclerosis	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Chem Sci	6. 最初と最後の頁 11998-12008
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/D0SC04106H	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shogo Sasaki, Yue Ma, Takumi Ishizuka, Hong-Liang Bao, Takatsugu Hirokawa, Yan Xu, Masayuki Tera, Kazuo Nagasawa	4. 巻 10
2. 論文標題 Linear Consecutive Hexaoxazoles as G4 Ligands Inducing Chair-type Anti-parallel Topology of Telomeric G-Quadruplex	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 RSC Adv.	6. 最初と最後の頁 43319-43323
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/D0RA09413G	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakayama Y, Tsuji K, Ayaki T, Mori M, Tokunaga F, Ito H.	4. 巻 79
2. 論文標題 Linear Polyubiquitin Chain Modification of TDP-43-Positive Neuronal Cytoplasmic Inclusions in Amyotrophic Lateral Sclerosis	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Neuropathol Exp Neurol.	6. 最初と最後の頁 256-265
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jnen/nlz135	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Oikawa D, Sato Y, Ito H, Tokunaga F.	4. 巻 21
2. 論文標題 Linear Ubiquitin Code: Its Writer, Erasers, Decoders, Inhibitors, and Implications in Disorders	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Int J Mol Sci.	6. 最初と最後の頁 3381
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms21093381	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sasaki T, Takei Y.	4. 巻 31(2)
2. 論文標題 Localization Mechanism of Myosin Id, an ASD Risk Gene Product in Dendritic Spines	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Jap J Biol Psych.	6. 最初と最後の頁 93-97
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11249/jsbjpp.31.2_93	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 T. Adachi, K. Yasuda, T. Muto, S. Serada, T. Yoshimoto, K. J. Ishii, E. Kuroda, K. Araki, M. Ohmuraya, T. Naka and K. Nakanishi	4. 巻 32(10)
2. 論文標題 Lung fibroblasts produce IL-33 in response to stimulation with retinoblastoma-binding protein 9 via production of prostaglandin E2	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Immunology	6. 最初と最後の頁 637-652
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/intimm/dxaa031	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakashima C, Kirita T, Yamamoto K, Mori S, Luo Y, Sasaki T, Fujii K, Ohmori H, Kawahara I, Mori T, Goto K, Kishi S, Fujiwara-Tani R, Kuniyasu H	4. 巻 21(19)
2. 論文標題 Malic enzyme 1 is associated with tumor budding in oral squamous cell carcinomas.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Int J Mol Sci	6. 最初と最後の頁 7149
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms21197149	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nobuyuki Sakayori, Kazuki Fujii, Keizo Takao, Kazuto Kobayashi, et al.	4. 巻 3
2. 論文標題 Maternal dietary imbalance between omega-6 and omega-3 fatty acids triggers the offspring's overeating in mice	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Communications Biology	6. 最初と最後の頁 473
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-01209-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hossain MR, Jamal M, Tanoue Y, Ojima D, Takahashi H, Kubota T, Ansary TM, Ito A, Tanaka N, Kinoshita H, Kishimoto Y, Yamamoto T	4. 巻 716
2. 論文標題 MDGA1-deficiency attenuates prepulse inhibition with alterations of dopamine and serotonin metabolism: An ex vivo HPLC-ECD analysis	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neurosci. Lett.	6. 最初と最後の頁 134677
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neulet.2019.134677	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Suvarna K, Honda K, Muroi M, Kondoh Y, Osada H, Watanabe N.	4. 巻 10
2. 論文標題 Measurement of ATPase activity of valosin-containing protein/p97.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Bio Protoc	6. 最初と最後の頁 e3516
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21769/BioProtoc.3516	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ishiguro K (Corresponding), Matsuura K, Tani N, Takeda N, Usuki S, Yamane M, Sugimoto M, Fujimura S, Hosokawa M, Chuma S, Ko S.H.M, Araki K, Niwa H	4. 巻 52(4)
2. 論文標題 MEIOSIN directs the switch from mitosis to meiosis in mammalian germ cells	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Developmental Cell	6. 最初と最後の頁 429-445
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.devcel.2020.01.010	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Takemoto K., Tani N., Takada Y., Fujimura S., Tanno N., Yamane M., Okamura K., Sugimoto M., Araki K., Ishiguro K.	4. 巻 31
2. 論文標題 Meiosis-specific C19orf57/4930432K21Rik/BRME1 modulates localization of RAD51 and DMC1 to DSBs in mouse meiotic recombination	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cell Reports	6. 最初と最後の頁 107686
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2020.107686	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fujiwara Y., Horisawa-Takada Y., Inoue E., Tani N., Shibuya H., Fujimura S., Kariyazono R., Sakata T., Ohta K., Araki K., Okada Y., Ishiguro K.	4. 巻 16(9):
2. 論文標題 Meiotic cohesins mediate initial loading of HORMAD1 to the chromosomes and coordinate SC formation during meiotic prophase	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 PLOS Genetics (2020)	6. 最初と最後の頁 e1009048.
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pgen.1009048	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sugimoto Y., Naniwa K., Aonuma H. and Osuka K.	4. 巻 -
2. 論文標題 Microinjection support system for small biological subject	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 HardwareX	6. 最初と最後の頁 e00103
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ohx.2020.e00103	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Doki C, Nishida K, Saito S, Shiga M, Ogara H, Kuramoto A, Kuragano M, Nozumi M, Igarashi M, Nakagawa H, Kotani S, Tokuraku K.	4. 巻 168(3)
2. 論文標題 Microtubule elongation along actin filaments induced by microtubule-associated protein 4 contributes to the formation of cellular protrusions	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Biochem	6. 最初と最後の頁 295-303
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jb/mvaa046	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -



1. 著者名 Marshall, A., ... Araki, M., Araki, K., Linch, D., Lord, G. M., Enver, T., Nimmo, R.	4. 巻 10
2. 論文標題 Mir142 loss unlocks IDH2(R140)-dependent leukemogenesis through antagonistic regulation of HOX genes	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 19390
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-76218-8	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Oikawa D, Sato Y, 13名略, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F.	4. 巻 3
2. 論文標題 Molecular bases for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Commun Biol.	6. 最初と最後の頁 163
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-0882-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takashi Ueno, Masaaki Komatsu	4. 巻 42
2. 論文標題 Monitoring Autophagy Flux and Activity: Principles and Applications	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BioEssays	6. 最初と最後の頁 2000122
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/bies.202000122	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 R Roy, N Shiina, and D O Wang	4. 巻 168
2. 論文標題 More dynamic, more quantitative, unexpectedly intricate: Advanced understanding on synaptic RNA localization in learning and memory	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neurobiology of Learning and Memory	6. 最初と最後の頁 107149 - 107149
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nlm.2019.107149	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Hitoshi Suzuki, Gohta Kinoshita, Takeru Tsunoi, Mitsuki Noju, Kimi Araki	4. 巻 111
2. 論文標題 Mouse Hair Significantly Lightened Through Replacement of the Cysteine Residue in the N-Terminal Domain of Mc1r Using the CRISPR/Cas9 System	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Heredity	6. 最初と最後の頁 640-645
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jhered/esaa054	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Noritaka Yamaguchi	4. 巻 10
2. 論文標題 Multiple Roles of Vestigial-Like Family Members in Tumor Development	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Frontiers in Oncology	6. 最初と最後の頁 1266
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fonc.2020.01266	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 武山 祐士、加藤 実、清水 保臣、東 由香里、玉田 聡、井口 太郎、山崎 健史、魏 民、鰐渕 英機、仲谷 達也	4. 巻 479
2. 論文標題 Myeloid-derived suppressor cells are essential partners for immune checkpoint inhibitors in the treatment of cisplatin-resistant bladder cancer	5. 発行年 2020 年
3. 雑誌名 Cancer Letters	6. 最初と最後の頁 89-99
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.canlet.2020.03.013	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Sánchez-Martín P, Sou YS, Kageyama S, Koike M, Waguri S, *Komatsu M.	4. 巻 21
2. 論文標題 NBR1-mediated p62-liquid droplets enhance the Keap1-Nrf2 system	5. 発行年 2020 年
3. 雑誌名 EMBO Rep.	6. 最初と最後の頁 e48902
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15252/embr.201948902	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yuichiro Koga, Daisuke Tsuchimoto, Yoshinori Hayashi, Nona Abolhassani, Yasuto Yoneshima, Kunihiro Sakumi, Hiroshi Nakanishi, Shinya Toyokuni, Yusaku Nakabeppu	4. 巻 5(22)
2. 論文標題 Neural stem cell-specific ITPA deficiency causes neural depolarization and epilepsy	5. 発行年 2020 年
3. 雑誌名 JCI Insight	6. 最初と最後の頁 e140229
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1172/jci.insight.140229	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Igarashi M, Honda A, Kawasaki A, Nozumi M	4. 巻 13
2. 論文標題 Neuronal Signaling Involved in Neuronal Polarization and Growth: Lipid Rafts and Phosphorylation	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Front Mol Neurosci	6. 最初と最後の頁 150
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnmol.2020.00150	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kazuhiro Irie	4. 巻 84 (1)
2. 論文標題 New diagnostic method for Alzheimer's disease based on the toxic conformation theory of amyloid $\beta$	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Biosci. Biotechnol. Biochem.	6. 最初と最後の頁 1-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/09168451.2019.1667222	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Shinohara S, Arakaki S, Amano T, Minami M, Kaneda K	4. 巻 40
2. 論文標題 Noradrenaline enhances the excitatory effects of dopamine on medial prefrontal cortex pyramidal neurons in rats	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuropsychopharmacology Reports	6. 最初と最後の頁 348-354
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/npr2.12135	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mori K, Nakamura K, Hashimoto S, Wakida M, Hase K.	4. 巻 163
2. 論文標題 Novel characterization of subjective visual vertical in patients with unilateral spatial neglect	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuroscience research	6. 最初と最後の頁 18-25
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2020.02.005	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Naniwa K., Sugimoto Y., Osuka K. and Aonuma H.	4. 巻 32
2. 論文標題 Novel method for analyzing flexible locomotion patterns of animals by using polar histogram	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Robotics and Mechatronics	6. 最初と最後の頁 812-821
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20965/jrm.2020.p0812	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ikeda H, Muroi M, Kondoh Y, Ishikawa S, Kakeya H, Osada H, Imoto M	4. 巻 15
2. 論文標題 Novel MIC60 Inhibitor, Induces Apoptosis via Mitochondrial Stress in $\beta$ -catenin Mutant Tumor Cells.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ACS Chem. Biol	6. 最初と最後の頁 2195-2204
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acscchembio.0c00381	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Saeki N., Eguchi Y., Kintaka R., Makanae K., Shichino Y., Iwasaki S., Kanno M., Kimura N., and Moriya H.	4. 巻 10(1)
2. 論文標題 N-terminal deletion of Swi3 created by the deletion of a dubious ORF YJL175W mitigates protein burden effect in <i>S. cerevisiae</i>	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 9500
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-66307-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takahashi K, Seto Y, Okada K, Uematsu S, Uchibori K, Tsukahara M, Oh-Hara T, Fujita N, Yanagitani N, Nishio M, Okubo K, *Katayama R.	4. 巻 11
2. 論文標題 Overcoming resistance by ALK compound mutation (I1171S + G1269A) after sequential treatment of multiple ALK inhibitors in non-small cell lung cancer	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Thorac Cancer	6. 最初と最後の頁 581-587
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1759-7714.13299	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yu Chen and Rieko Ohki.	4. 巻 21(11)
2. 論文標題 p53-PHLDA3-Akt Network: The Key Regulators of Neuroendocrine Tumorigenesis.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Int. J. Mol. Sci.	6. 最初と最後の頁 4098
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms21114098	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okumura K, Saito M, Yoshizawa Y, Ito Y, Isogai E, Araki K, Wakabayashi Y	4. 巻 39 (24)
2. 論文標題 Pak1 maintains epidermal stem cells by regulating Langerhans cells and is required for skin carcinogenesis	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Oncogene	6. 最初と最後の頁 4756-4769
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41388-020-1323-3	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Harada, T., Sada, R., Osugi, Y., Matsumoto, S., Matsuda, T., Hayashi-Nishino, M., Nagai, T., Harada, A., Kikuchi, A.	4. 巻 133(21)
2. 論文標題 Palmitoylated CKAP4 regulates mitochondrial functions through an interaction with VDAC2 at ER&[minus]mitochondria contact sites	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Cell Sci.	6. 最初と最後の頁 jcs249045
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1242/jcs.249045	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Takeuchi E, Yamada D, Suzuki S, Saitoh A, Itoh M, Hayashi T, Yamada M, Wada K, Sekiguchi M	4. 巻 15
2. 論文標題 Participation of the nucleus accumbens dopaminergic system in antidepressant-like actions of a diet rich in omega-3 polyunsaturated fatty acids	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0230647
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0230647	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsumura K, Seiriki K, Okada S, Nagase M, Ayabe S, Yamada I, Furuse T, Shibuya H, … Watabe AM, Okano H, Takuma K, Hashimoto R, Hashimoto H, Nakazawa T	4. 巻 11
2. 論文標題 Pathogenic POGZ mutation causes impaired cortical development and reversible autism-like phenotypes	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 859
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-020-14697-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shinozaki Y, Koizumi S	4. 巻 155
2. 論文標題 Pathogenic roles of retinal glia in glaucoma	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nihon Yakurigaku Zasshi	6. 最初と最後の頁 87-92
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1254/fpj.19120	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kawashima M, Carreras J, Higuchi H, et al	4. 巻 34(9)
2. 論文標題 PD-L1/L2 protein levels rapidly increase on monocytes via trogocytosis from tumor cells in classical Hodgkin lymphoma	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Leukemia.	6. 最初と最後の頁 2405-2417
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41375-020-0737-9	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -



1. 著者名 Arai H, Takahashi R, Sakamoto Y, Kitano T, Mashita O, Hara S, Yoshikawa S, Kawasaki K, Ichinose H.	4. 巻 161
2. 論文標題 Peripheral tetrahydrobiopterin is involved in the pathogenesis of mechanical hypersensitivity in a rodent postsurgical pain model	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Pain	6. 最初と最後の頁 2520-2531
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/j.pain.0000000000001946	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kohno S*, Linn P*, Nagatani N, Watanabe Y, Kumar S, Soga T and Takahashi C. * equal contribution	4. 巻 39
2. 論文標題 Pharmacologically targetable vulnerability in prostate cancer carrying RB1-SUCLA2 deletion.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Oncogene	6. 最初と最後の頁 5690-5707
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41388-020-1381-6	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Igarashi M, Kawasaki A, Ishikawa Y, Honda A, Okada M, Okuda S	4. 巻 339
2. 論文標題 Phosphoproteomic and bioinformatic methods for analyzing signaling in vertebrate axon growth and regeneration	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Neurosci Methods	6. 最初と最後の頁 108723
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jneumeth.2020.108723	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Tanno N., Kuninaka S., Fujimura S., Takemoto K., Okamura K., Takeda N., Araki K., Araki M., Saya H. and Ishiguro K.	4. 巻 10
2. 論文標題 Phosphorylation of the Anaphase Promoting Complex activator FZR1/ CDH1 is required for Meiosis II entry in mouse male germ cell	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 10094
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-67116-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Christian Hartmann, Ysabel Alessa Schwietzer, Tetsuhisa Otani, Mikio Furuse, Klaus Ebnet	4. 巻 1862(9)
2. 論文標題 Physiological functions of junctional adhesion molecules (JAMs) in tight junctions	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Biochimica et biophysica acta. Biomembranes	6. 最初と最後の頁 183299-183299
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbmem.2020.183299	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Onishi R, Sato K, Murano K, Negishi L, Siomi H, Siomi MC.	4. 巻 6
2. 論文標題 Piwi suppresses transcription of Brahma-dependent transposons via Maelstrom in ovarian somatic cells	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sci. Adv.	6. 最初と最後の頁 eaaz7420
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/sciadv.aaz7420	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ohi K, Nishizawa D, Shimada T, Kataoka Y, Hasegawa J, Shioiri T, Kawasaki Y, Hashimoto R, Ikeda K	4. 巻 23(3)
2. 論文標題 Polygenetic Risk Scores for Major Psychiatric Disorders Among Schizophrenia Patients, Their First-Degree Relatives, and Healthy Participants	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Int J Neuropsychopharmacol	6. 最初と最後の頁 157-164
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ijnp/pyz073	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ohi K, Nishizawa D, Muto Y, Sugiyama S, Hasegawa J, Soda M, Kitaichi K, Hashimoto R, Shioiri T, Ikeda K	4. 巻 6(1)
2. 論文標題 Polygenic Risk Scores for Late Smoking Initiation Associated with the Risk of Schizophrenia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 NPJ Schizophr	6. 最初と最後の頁 36
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41537-020-00126-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Chen F, Takemoto M, Nishimura M, Tomioka R, Song W-J.	4. 巻 400
2. 論文標題 Postnatal development of subfields in the core region of the mouse auditory cortex	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Hearing Research	6. 最初と最後の頁 108138
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.heares.2020.108138	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Utsumi S, Sakamoto K, Yamashita T, Tomita H, Sugano E, Ishida K, Ishiyama E, Ozaki T	4. 巻 524(3)
2. 論文標題 Presence of ES1 homolog in the mitochondrial intermembrane space of porcine retinal cells	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun	6. 最初と最後の頁 542-548
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2020.01.127	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kuroiwa Y, Nakayama J, Adachi C, Inoue T, Watanabe S and Semba K	4. 巻 12
2. 論文標題 Proliferative Classification of intracranially injected HER2-positive Breast Cancer Cell Lines	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancers	6. 最初と最後の頁 1-18
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/cancers12071811	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kuniyasu H	4. 巻 2020
2. 論文標題 Pterostilbene in Gastrointestinal Cancer Cells.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 MDPI Scholarly Community Encyclopedia-Topic Review	6. 最初と最後の頁 1-3
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Taishi Kobayashi, Takuro Murakami, Yuu Hirose, and Toshihiko Eki	4. 巻 11
2. 論文標題 Purification and characterization of double-stranded nucleic acid-dependent ATPase activities of tagged Dicer-related helicase 1 and its short isoform in <i>Caenorhabditis elegans</i>	5. 発行年 2020 年
3. 雑誌名 Genes	6. 最初と最後の頁 734
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/genes11070734	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Karunakar Reddy, Masato Iwatsuki, Satoshi Ōmura, Nobutaka Kato, Hiroki Oguri*	4. 巻 85
2. 論文標題 Rapid and Systematic Exploration of Chemical Space Relevant to Artemisinins: Anti-malarial Activities of Skeletally Diversified Tetracyclic Peroxides and 6-Aza-artemisinins	5. 発行年 2020 年
3. 雑誌名 J. Org. Chem.	6. 最初と最後の頁 9694-9712
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.joc.0c01017	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Kawai T, Kayama K, Tatsumi S, Akter S, Miyawaki N, Okochi Y, Abe M, Sakimura K, Yamamoto H, Kihara S, Okamura Y	4. 巻 34
2. 論文標題 Regulation of hepatic oxidative stress by voltage-gated proton channels (Hv1/VSOP) in Kupffer cells and its potential relationship with glucose metabolism	5. 発行年 2020 年
3. 雑誌名 FASEB J.	6. 最初と最後の頁 15805-15821
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1096/fj.202001056RRR	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakano Y, Hirooka K, Chiba Y, Ueno M, Ojima D, Hossain MR, Takahashi H, Yamamoto T, Kiuchi Y	4. 巻 11(3)
2. 論文標題 Retinal ganglion cell loss in 1 kinesin-1 cargo Alcadein $\alpha$ deficient mice	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cell Death Dis.	6. 最初と最後の頁 166
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41419-020-2363-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsuki Y, Matsuo Y, Nakano Y, Iwasaki S, Yoko H, Udagawa T, Li S, Saeki Y, Yoshihisa T, Tanaka K, Ingolia NT, and Inada T.	4. 巻 10(1)
2. 論文標題 Ribosomal protein S7 ubiquitination during ER stress in yeast is associated with selective mRNA translation and stress outcome	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 19669.
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-76239-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kunishige H, Migita K, Matsumoto S, Wakatsuki K, Nakade H, Miyao S, Kuniyasu H, Sho M	4. 巻 20
2. 論文標題 Ring box protein-1 is associated with a poor prognosis and tumor progression in esophageal cancer	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Oncol Lett	6. 最初と最後の頁 2919-2927
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/ol.2020.11840	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Chu J, Deyama S, Li X, Motono M, Otoda A, Saito A, Esaki H, Nishitani N, Kaneda K	4. 巻 743
2. 論文標題 Role of 5-HT1A receptor-mediated serotonergic transmission in the medial prefrontal cortex in acute restraint stress-induced augmentation of rewarding memory of cocaine in mice	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuroscience Letters	6. 最初と最後の頁 135555
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neulet.2020.135555	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Fujiwara-Tani R, Fujii K, Mori S, Kishi S, Sasaki T, Ohmori H, Nakashima C, Kawahara I, Nishiguchi Y, Mori T, Sho M, Kondoh M, Luo Y, Kuniyasu H	4. 巻 21
2. 論文標題 Role of Clostridium perfringens enterotoxin on YAP activation in colonic sessile serrated adenoma/polyp with dysplasia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Int J Mol Sci	6. 最初と最後の頁 E3840
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms21113840	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiguchi Y, Oue N, Fujiwara-Tani R, Sasaki T, Ohmori H, Kishi S, Shiori Mori S, Mori T, Ideda N, Matsumoto S, Wakatsuki K, Luo Y, Yasui W, Sho M, Kuniyasu H	4. 巻 21
2. 論文標題 Role of metastasis-related genes in cisplatin chemoresistance in gastric cancer	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Int J Mol Sci	6. 最初と最後の頁 254
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms21010254	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Owari T, Takamitsu Sasaki T, Fujii K, Fujiwara-Tani R, Kishi S, Mori S, Mori T, Goto K, Kawahara I, .....Luo Y, Tanaka N, Kondoh M, Fujimoto K, Kuniyasu H	4. 巻 21
2. 論文標題 Role of nuclear claudin-4 in renal cell carcinoma	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Int J Mol Sci	6. 最初と最後の頁 8340
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms21218340	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yohei Yamagami, Masashi Kawami, Takamichi Ojima, Sora Futatsugi, Ryoko Yumoto, Mikihisaka Takano	4. 巻 525(3)
2. 論文標題 Role of plasminogen activator inhibitor-1 in methotrexate-induced epithelial-mesenchymal transition in alveolar epithelial A549 cells	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun	6. 最初と最後の頁 543-548
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2020.02.131	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ichikawa J, Ando T, Kawasaki T, Sasaki T, Shirai T, Tsukiji N, Kimura Y, Aoki K, Hayakawa K, Suzuki-Inoue K, Saitoh M, Haro H.	4. 巻 35(9)
2. 論文標題 Role of Platelet C-Type Lectin-Like Receptor 2 in Promoting Lung Metastasis in Osteosarcoma.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Bone Miner Res	6. 最初と最後の頁 1738-1750.
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jbmr.4045	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -



1. 著者名 T Nakayama, K Okimura, J Shen, YJ Guh, 中略, K Nakayama, N Shiina, N Yamamoto, AS Loudon, T Nishiwaki-Ohkawa, A Shinomiya, T Nabeshima, Y Nakane and T Yoshimura	4. 巻 117
2. 論文標題 Seasonal changes in NRF2 antioxidant pathway regulates winter depression-like behavior	5. 発行年 2020 年
3. 雑誌名 Proc. Natl. Acad. Sci. U.S.A.	6. 最初と最後の頁 9594 - 9603
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.2000278117	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hitoshi Aonuma	4. 巻 223
2. 論文標題 Serotonergic control in initiating defensive responses to unexpected tactile stimuli in the trap-jaw ant <i>Odontomachus kuroi</i>	5. 発行年 2020 年
3. 雑誌名 Journal of Experimental Biology	6. 最初と最後の頁 jeb228874
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1242/jeb.228874	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yokoi S, Naruse K, Kamei Y, Ansai S, Kinoshita M, Mito M, Iwasaki S., Inoue S, Okuyama T, Nakagawa S, Young LJ, and Takeuchi H.	4. 巻 117(9)
2. 論文標題 Sexually dimorphic role of oxytocin in medaka mate choice	5. 発行年 2020 年
3. 雑誌名 Proc Natl Acad Sci USA.	6. 最初と最後の頁 4802-4808
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1921446117	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Tomita I, Kume S, Sugahara S, ..., Ogita H, Araki SI, Maegawa H.	4. 巻 32
2. 論文標題 SGLT2 inhibition mediates protection from diabetic kidney disease by promoting ketone body-induced mTORC1 inhibition	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cell Metab.	6. 最初と最後の頁 404-419
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cmet.2020.06.020	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishida KM, Sakakibara K, Sumiyoshi T, Yamazaki H, Mannen T, Kawamura T, Kodama T, Siomi MC.	4. 巻 39
2. 論文標題 Siwi levels reversibly regulate secondary piRISC biogenesis by affecting Ago3 body morphology in Bombyx mori	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 EMBO J.	6. 最初と最後の頁 e105130
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15252/embj.2020105130	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Uchigashima M, Konno K, Demchak E, Cheung A, Watanabe T, Keener D G, Abe M, Sakimura K, Sasaoka T, Uemura T, Imamura Karasawa Y, Watanabe M, Futai K.	4. 巻 9
2. 論文標題 Specific Neuroligin3- $\alpha$ Neurexin1 signaling regulates GABAergic synaptic function in mouse hippocampus	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Elife	6. 最初と最後の頁 e59545
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7554/eLife.59545	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Konno, M., Asai, A., Kitagawa, T., Yabumoto, M., Ofusa, K., Arai, T., Hirotsu, T., Doki, Y., Eguchi, H., Ishii, H.	4. 巻 10
2. 論文標題 State-of-the-art technology of model organisms for current human medicine	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Diagnostics (Basel)	6. 最初と最後の頁 E392
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/diagnostics10060392	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tange N, Hayakawa F, Yasuda T, Odaira K, Yamamoto H, Hirano D, Sakai T, Terakura S, Tsuzuki S, Kiyoi H.	4. 巻 128
2. 論文標題 Staurosporine and venetoclax induce the caspase-dependent proteolysis of MEF2D-fusion proteins and apoptosis in MEF2D-fusion (+) ALL cells.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Biomed Pharmacother.	6. 最初と最後の頁 110330-110340
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.biopha.2020.110330	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki S, Minamidate T, Shiga A, Ruike Y, Ishiwata K, Naito K, Ishida A, Deguchi H, Fujimoto M, Koide H, Tatsuno I, Ikeda JI, Yamazaki Y, Sasano H, Yokote K.	4. 巻 20
2. 論文標題 Steroid metabolites for diagnosing and predicting clinicopathological features in cortisol-producing adrenocortical carcinoma	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMC Endocr Disord.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12902-020-00652-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Moe Matsushita, Takanori Nakamura, Hisashi Moriizumi, Hiroaki Miki, Mutsuhiro Takekawa	4. 巻 6(26)
2. 論文標題 Stress-responsive MTK1 SAPKKK serves as a redox sensor that mediates delayed and sustained activation of SAPKs by oxidative stress	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Science Advances	6. 最初と最後の頁 eaay9778
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/sciadv.aay9778	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Wakita M, Yamagata A, Shiroshima T, Izumi H, Maeda A, Sendo M, Imai A, Kubota K, Goto-Ito S, Sato Y, Mori H, Yoshida T, Fukai S.	4. 巻 11
2. 論文標題 Structural insights into selective interaction between type IIa receptor protein tyrosine phosphatases and Liprin- $\alpha$	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 649
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-020-14516-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamanaka S, Sato Y, Oikawa D, Goto E, Fukai S, Tokunag F, Sawasaki T.	4. 巻 524(1)
2. 論文標題 Subquinocin, a small molecule inhibitor of CYLD and USP-family deubiquitinating enzymes, promotes NF- $\kappa$ B signaling	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun.	6. 最初と最後の頁 1-7
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2019.12.049	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Akiko Uyeda, Kohei Onishi, Teruyoshi Hirayama, Satoko Hattori, Tsuyoshi Miyakawa, Takeshi Yagi, Nobuhiko Yamamoto, and Noriyuki Sugo	4. 巻 40(47)
2. 論文標題 Suppression of DNA Double-Strand Break Formation by DNA Polymerase $\beta$ in Active DNA Demethylation Is Required for Development of Hippocampal Pyramidal Neurons	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The Journal of Neuroscience	6. 最初と最後の頁 9012-9027
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.0319-20.2020	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Lin, Z, Nishikawa, H, Iguchi, Y, Iwanami, A, Kikuchi, M, Toda, S	4. 巻 10(1)
2. 論文標題 Sustaining temporal attention prevents habit expression during operant learning in rats	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 10303
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-67304-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takumi Kobayashi, Ryo, C. Yanagita, Kazuhiro Irie	4. 巻 30
2. 論文標題 Synthesis and biological activities of simplified aplysiatoxin analogs focused on the CH/pi interaction	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Bioorganic & Medicinal Chemistry Letters	6. 最初と最後の頁 127657
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bmcl.2020.127657	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ayumi Suzuki, Yuichiro Mutoh, Noriko Tsuchida, Chi-Wai Fung, Shoko Kikkawa, Isao Azumaya, and Shinichi Saito	4. 巻 26
2. 論文標題 Synthesis and Systematic Structural Analysis of Cationic Half-Sandwich Ruthenium Chalcogenocarbonyl Complexes	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Chem. Eur. J.	6. 最初と最後の頁 3795-3802
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/chem.201904600	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Jang MK, Mashima T, Seimiya H	4. 巻 19(3)
2. 論文標題 Tankyrase Inhibitors Target Colorectal Cancer Stem Cells via AXIN-Dependent Downregulation of c-KIT Tyrosine Kinase	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Mol Cancer Ther	6. 最初と最後の頁 765-776
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/1535-7163.MCT-19-0668	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Mizutani A, Seimiya H	4. 巻 522
2. 論文標題 Tankyrase promotes primary precursor miRNA processing to precursor miRNA	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun	6. 最初と最後の頁 945-951
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2019.11.191	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yasuda M, Ma Y, Okabe S, Wakabayashi Y, Su D, Chang YT, Seimiya H, Tera M, Nagasawa K.	4. 巻 56
2. 論文標題 Target identification of a macrocyclic hexaoxazole G-quadruplex ligand using post-target-binding visualization	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Chem Commun	6. 最初と最後の頁 12905-12908
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/d0cc04957c	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Luo Y, Kishi S, Sasaki T, Ohmori H, Fujiwara-Tani R, Mori S, Goto K, Nishiguchi Y, Mori T, Kawahara I, Kondoh M, Kuniyasu H	4. 巻 111(5)
2. 論文標題 Targeting claudin-4 enhances chemosensitivity in breast cancer	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancer Sci	6. 最初と最後の頁 1840-1850
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.14361	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yamamoto, M., Ichinohe, T., Watanabe, A., Kobayashi, A., Zhang, R., Song, J., Kawaguchi, Y., Matsuda, Z. and Inoue, J.	4. 巻 12
2. 論文標題 The antimalarial compound atovaquone inhibits Zika and dengue virus infection by blocking E protein-mediated membrane fusion	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Viruses	6. 最初と最後の頁 1475
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v1212475	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tadashi Nakagawa, Satoko Hattori, Tsuyoshi Miyakawa, Keiko Nakayama	4. 巻 23(4)
2. 論文標題 The Autism-Related Protein SETD5 Controls Neural Cell Proliferation through Epigenetic Regulation of rDNA Expression	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 iScience	6. 最初と最後の頁 101030
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2020.101030	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yukako Oda, Taichi Sugawara, Yuko Fukata, Yasushi Izumi, Tetsuhisa Otani, Tomohito Higashi, Masaki Fukata, Mikio Furuse	4. 巻 295(13)
2. 論文標題 The extracellular domain of angulin-1 and palmitoylation of its cytoplasmic region are required for angulin-1 assembly at tricellular contacts	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Biological Chemistry	6. 最初と最後の頁 4289-4302
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.RA119.010491	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Naka, K., Ochiai, R., Matsubara, E., Kondo, C., Yang, K. M., Hoshii, T., Araki, M., Araki, K., ...	4. 巻 11
2. 論文標題 The lysophospholipase D enzyme Gdpd3 is required to maintain chronic myelogenous leukaemia stem cells	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nature Communication	6. 最初と最後の頁 4681
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-020-18491-9	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する



1. 著者名 Ono D, Mukai Y, Hung CJ, Chowdhury S, Sugiyama T, Yamanaka A.	4. 巻 6
2. 論文標題 The mammalian circadian pacemaker regulates wakefulness via CRF neurons in the paraventricular nucleus of the hypothalamus	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sci Adv	6. 最初と最後の頁 eabd0384
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/sciadv.abd0384	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mugat B, Nicot S, Chavez CV, Jourdan C, Sato K, Basyuk E, Juge F, Siomi MC, Pelisson A, Chambeyron S.	4. 巻 11
2. 論文標題 The Mi-2 nucleosome remodeler and the Rpd3 histone deacetylase are involved in piRNA-guided heterochromatin formation	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nature Com.	6. 最初と最後の頁 2828
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-020-16635-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yoshida S, Aoki K, Fujiwara K, Nakakura T, Kawamura A, Yamada K, Ono M, Yogosawa S, Yoshida K.	4. 巻 9
2. 論文標題 The novel ciliogenesis regulator DYRK2 governs Hedgehog signaling during mouse embryogenesis	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 eLife	6. 最初と最後の頁 e57381
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7554/eLife.57381	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okumura K, Wakabayashi Y	4. 巻 14
2. 論文標題 The role of calcium metabolism in keratinocyte differentiation	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Trends in Cancer Research	6. 最初と最後の頁 45-47
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Aonuma H., Mezheritskiy M., Boldyshev B., Totani Y., Vorontsov D., Zakharov I.S., Ito E. and *Dyakonova V.	4. 巻 11
2. 論文標題 The role of serotonin in the influence of intense locomotion on the behavior under uncertainty in the mollusk <i>Lymnaea stagnalis</i>	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Frontiers in Physiology	6. 最初と最後の頁 221
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fphys.2020.00221	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tetsuhisa Otani, Mikio Furuse	4. 巻 30(10)
2. 論文標題 Tight Junction Structure and Function Revisited	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Trends in Cell Biology	6. 最初と最後の頁 805-817
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tcb.2020.08.004	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Nakagawa S, Nguyen Pham KT, Shao X, and Doi M	4. 巻 21
2. 論文標題 Time-restricted G-protein signaling pathways via GPR176, Gz, and RGS16 set the pace of the master circadian clock in the suprachiasmatic nucleus.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Int J Mol Sci	6. 最初と最後の頁 5055
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms21145055	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yue Ma, Keisuke Iida, Kazuo Nagasawa	4. 巻 531(1)
2. 論文標題 Topologies of G-quadruplex: Biological functions and regulation by ligands	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Biochem. Biophys. Res. Commun.	6. 最初と最後の頁 3-17
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2019.12.103	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ryo Tanifuji, Atsushi Mimami, Hiroki Oguri* and Hideaki Oikawa*	4. 巻 37
2. 論文標題 Total synthesis of alkaloids using both chemical and biochemical methods	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nat. Prod. Rep.	6. 最初と最後の頁 1098-1121
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C9NP00073A	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kurihara Y., Makita Y., Shimohira H., Fujita T., Iwasaki S., and Matsui M.	4. 巻 61(3)
2. 論文標題 Translational landscape of protein-coding and non-protein-coding RNAs upon light exposure in Arabidopsis	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Plant Cell Physiol.	6. 最初と最後の頁 536-545
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/pcp/pcz219	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Toru Miwa, Kunimasa Ohta, Naofumi Ito, Satoko Hattori, Tsuyoshi Miyakawa, Toru Takeo, Naomi Nakagata, Wen-Jie Song & Ryosei Minoda	4. 巻 13(1)
2. 論文標題 Tsukushi is essential for the development of the inner ear	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Molecular Brain	6. 最初と最後の頁 29
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13041-020-00570-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Naoto Hori, Kazuyuki Okada, Yuki Takakura, Hiroyuki Takano, Naoto Yamaguchi, Noritaka Yamaguchi	4. 巻 295
2. 論文標題 Vestigial-like family member 3 (VGLL3), a cofactor for TEAD transcription factors, promotes cancer cell proliferation by activating the Hippo pathway	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Biological Chemistry	6. 最初と最後の頁 8798-8807
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.RA120.012781	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kuboyama K, Shirakawa Y, Kawada K, Fujii N, Ojima D, Kishimoto Y, Yamamoto T, Yamada MK	4. 巻 40
2. 論文標題 Visually cued fear conditioning test for memory impairment related to cortical function	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuropsychopharmacol. Rep.	6. 最初と最後の頁 371-375
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/npr2.12146	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 森 拓也, 川原 勲, 額賀翔太, 宮川良博, 後藤 桂, 大森 斉, 國安弘基	4. 巻 71(1-3)
2. 論文標題 がん性サルコペニアに対する栄養介入	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 奈良医学雑誌	6. 最初と最後の頁 1-5
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 八尾寛, 深沢有吾, 富田浩史, 五十嵐敬幸	4. 巻 80
2. 論文標題 ラットを用いたオプトジェネティクス (光遺伝学)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 LABIO21	6. 最初と最後の頁 5-8
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 及川大輔, 伊東秀文, 徳永文稔.	4. 巻 91
2. 論文標題 直鎖状ユビキチン鎖の神経変性疾患への関与と LUBAC 阻害剤の開発	5. 発行年 2020 年
3. 雑誌名 生化学	6. 最初と最後の頁 28-34
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 土田陸平, 阿部博昭, 井上玲央, 水枝谷和仁, 東賢志, 住谷昌彦.	4. 巻 38
2. 論文標題 疼痛のバイオマーカー探索	5. 発行年 2020 年
3. 雑誌名 実験医学	6. 最初と最後の頁 425-430
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Nishizawa Y, Ikeda R, Yamamoto M, Kawahara K, Shinsato Y, Minami K, Nitta M, Terazono H, Akiyama S, Furukawa T, Takeda Y	4. 巻 39
2. 論文標題 5-Aza-2-deoxycytidine Enhances the Sensitivity of 5-Fluorouracil by Demethylation of the Thymidine Phosphorylase Promoter	5. 発行年 2019 年
3. 雑誌名 Anticancer Res	6. 最初と最後の頁 4129-4136
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21873/anticanres.13571	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Masami Ishido	4. 巻 6
2. 論文標題 A carrier protein is essential for the action of silver nanoparticles in an animal experiment	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Fund. Toxicol Sci	6. 最初と最後の頁 277-279
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2131/fts.6.277	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Wakita D., Kagaya K. and *Aonuma H.	4. 巻 17
2. 論文標題 A general model of locomotion of brittle stars with a variable number of arms	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of the Royal Society Interface	6. 最初と最後の頁 162
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1098/rsif.2019.0374	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Matsushita, K., Noda, T., Kawamoto, K., Gotoh, K., Kobayashi, S., Kasahara, Y., Morihiro, K., Satoh, T., Doki, Y., Mori, M., Ishii, H., Obika, S.	4. 巻 14
2. 論文標題 A hydrogen peroxide-activatable gemcitabine prodrug for the selective treatment of pancreatic ductal adenocarcinoma	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Chem. Med. Chem.	6. 最初と最後の頁 1384-1391
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cmde.201900324	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Hiroaki Tagaya, Kosuke Ishikawa, Shinya Watanabe, Kentaro Semba et al.	4. 巻 21
2. 論文標題 A method of producing genetically manipulated mouse mammary gland	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Breast Cancer Research	6. 最初と最後の頁 1
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13058-018-1086-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Miramontes-Gonzalez JP, Hightower M, Zhang K, Kurosaki H, Schork AJ, Biswas N, Vaingankar S, Mahata M, Lipkowitz MS, Ichinose H, O'Connor DT	4. 巻 9
2. 論文標題 A new common functional coding variant at the DDC gene change renal enzyme activity and modify renal dopamine function	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 5055
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-41504-7	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Subedi A, Muroi M, Futamura Y, Kawamura T, Aono H, Nishi M, Ryo A, Watanabe N, Osada H.	4. 巻 593
2. 論文標題 A novel inhibitor of tumorspheres reveals the activation of the serine biosynthetic pathway upon mitochondrial inhibition	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 FEBS Lett	6. 最初と最後の頁 763-776
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/1873-3468.13361	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -



1. 著者名 Saito M, Okumura K, Isogai E, Araki K, Tanikawa C, Matsuda K, Kamiyo T, Kominami R, Wakabayashi Y.	4. 巻 139(7)
2. 論文標題 A Polymorphic Variant in p19Arf Confers Resistance to Chemically Induced Skin Tumors by Activating the p53 Pathway	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Investigative Dermatology	6. 最初と最後の頁 1459-1469
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jid.2018.12.027	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Suvarna K, Honda K, Muroi M, Kondoh Y, Osada H, Watanabe N.	4. 巻 294
2. 論文標題 A small-molecule ligand of valosin-containing protein/p97 inhibits cancer cell-accelerated fibroblast migration	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Biol Chem	6. 最初と最後の頁 2988-2996
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.RA118.004741	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Hiroshi Fukamachi, Seon-Kyu Kim, Yasuhito Yuasa, Shinji Tanaka, et al.	4. 巻 38
2. 論文標題 A subset of diffuse-type gastric cancer is susceptible to mTOR inhibitors and checkpoint inhibitors	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Experimental & Clinical Cancer Research	6. 最初と最後の頁 127
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13046-019-1121-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shigetomi E, Saito K, Sano F, Koizumi S.	4. 巻 20
2. 論文標題 Aberrant Calcium Signals in Reactive Astrocytes: A Key Process in Neurological Disorders.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Int J Mol Sci	6. 最初と最後の頁 996
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms20040996	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koki Mimura, Tomofumi Oga, Tetsuya Sasaki, Koichi Saito, Izuru Miyawaki, Tetsuya Suhara, Ichio Aoki, Noritaka Ichinohe.	4. 巻 195
2. 論文標題 Abnormal axon guidance signals and reduced interhemispheric connection via anterior commissure in neonates of marmoset ASD model	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neuroimage	6. 最初と最後の頁 243-251
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2019.04.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ishikawa K, Yamamoto S, Hattori S, Nishimura N, Tani H, Mito T, Matsumoto H, Miyakawa T, Nakada K.	4. 巻 39(9)
2. 論文標題 Acquired Expression of Mutant Mitofusin 2 Causes Progressive Neurodegeneration and Abnormal Behavior	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Neuroscience	6. 最初と最後の頁 1588-1604
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.2139-18.2018	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Sasase H, Izumi S, Deyama S, Hinoi E, Kaneda K	4. 巻 42
2. 論文標題 Acute cocaine reduces excitatory synaptic transmission in pyramidal neurons of the mouse medial prefrontal cortex	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Biological Pharmaceutical Bulletin	6. 最初と最後の頁 1433-1436
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1248/bpb.b19-00318	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kurosaki H, Yamaguchi K, Man-Yoshi K, Muramatsu SI, Hara S, Ichinose H	4. 巻 125
2. 論文標題 Administration of tetrahydrobiopterin restored the decline of dopamine in the striatum induced by an acute action of MPTP	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neurochemistry International	6. 最初と最後の頁 16-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuint.2019.02.005	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Saitoh, S. I., Y. M. Saitoh, K. Kontani, K. Sato, and K. Miyake.	4. 巻 31(4)
2. 論文標題 ADP-ribosylation factor-like 8b is required for the development of mouse models of systemic lupus erythematosus	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Int Immunol.	6. 最初と最後の頁 225-237
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/intimm/dxy084	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 T. Yamada, A. Tanaka, T. Nehira, T. Nishii, T. Kikuchi	4. 巻 17
2. 論文標題 Altercrasins A-E, decalin derivatives, from a sea-urchin-derived <i>Alternaria</i> sp.: isolation and structural analysis including stereochemistry	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Marine Drugs	6. 最初と最後の頁 218
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/md17040218	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 林 崇	4. 巻 37
2. 論文標題 AMPA 受容体の分子修飾変化とてんかん	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 1268-1270
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Huber J, Obata M, Gruber J, Akutsu M, L?hr F, Rogova N, G?ntert P, Dikic I, Kirkin V, Komatsu M, D?tsch V, Rogov VV.	4. 巻 16
2. 論文標題 An atypical LIR motif within UBA5 (ubiquitin like modifier activating enzyme 5) interacts with GABARAP proteins and mediates membrane localization of UBA5	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Autophagy	6. 最初と最後の頁 256-270.
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/15548627.2019.1606637	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Egawa R, Yawo H.	4. 巻 87(1)
2. 論文標題 Analysis of Neuro-Neuronal Synapses Using Embryonic Chick Ciliary Ganglion via Single-Axon Tracing, Electrophysiology, and Optogenetic Techniques.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Curr Protoc Neurosci.	6. 最初と最後の頁 e64
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cpns.64	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ikeda K, Kaneko R Yanagawa Y, Ogawa M, et al.	4. 巻 144
2. 論文標題 Analysis of the neuronal network of the medullary respiratory center in transgenic rats expressing archaerhodopsin-3 in Phox2b-expressing cells	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Brain Res Bull	6. 最初と最後の頁 39-45
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.brainresbull.2018.11.005	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yamashiro H, Negishi M, Kinoshita T, Ishizu H, Ohtani H, Siomi MC.	4. 巻 21(2)
2. 論文標題 Armitage determines Piwi-piRISC processing from precursor formation and quality control to inter-organelle translocation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 EMBO Report	6. 最初と最後の頁 e48769
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15252/embr.201948769	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mori T, Oku K, Miyagawa Y, Nukaga S, Kanto S, Kudo E, Imagita H, Kawahara I	4. 巻 31(5)
2. 論文標題 Association between changes in subcutaneous fat mass and heart failure-induced cachexia: a case report	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Phys Ther Sci	6. 最初と最後の頁 462-465
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1589/jpts.31.462	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Khan KN, Yamamoto K, Fujishita A, Koshiba A, Kuroboshi H, Sakabayashi S, Teramukai S, Nakashima M, Kitawaki J.	4. 巻 38
2. 論文標題 Association between FOXP3(+) regulatory T-cells and occurrence of peritoneal lesions in women with ovarian endometrioma and dermoid cysts	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Reproductive Biomedicine Online	6. 最初と最後の頁 857-869
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rbmo.2019.01.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hashiguchi S, Doi H, Kunii M, Sasaoka T, Ishikawa K, Matsumoto N, Ishikawa T, Tanaka F, et al.	4. 巻 130
2. 論文標題 Ataxic phenotype with altered Ca(V)3.1 channel property in a mouse model for spinocerebellar ataxia 42	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neurobiol Dis.	6. 最初と最後の頁 104516
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nbd.2019.104516	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Matsumura K, Nakazawa T, et al.	4. 巻 519
2. 論文標題 Autism-associated protein kinase D2 regulates embryonic cortical neuron development	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun.	6. 最初と最後の頁 626-632
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2019.09.048	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nam SA, Kim WY, Kim JW, Park SH, Kim HL, Lee MS, Komatsu M, Ha H, Lim JH, Park CW, Yang CW, Kim J, Kim YK.	4. 巻 10(2)
2. 論文標題 Autophagy attenuates tubulointerstitial fibrosis through regulating transforming growth factor- $\beta$ and NLRP3 inflammasome signaling pathway	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cell Death Dis.	6. 最初と最後の頁 535-540
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41419-019-1356-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Saito T., Komatsu M. (19人中19番目)	4. 巻 10
2. 論文標題 Autophagy regulates lipid metabolism through selective turnover of NCoR1	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nat. Commun.	6. 最初と最後の頁 1567
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-019-08829-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hashimoto K, Sato S, Ochi H, Takeda S, Futakuchi M	4. 巻 9(3)
2. 論文標題 Calvarial Bone Implantation and in vivo Imaging of Tumor Cells in Mice	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Bio Protoc	6. 最初と最後の頁 e3151
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21769/BioProtoc.3151	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Akichika S., Hirano S., Shichino Y., Suzuki T., Nishimasu H., Ishitani R., Sugita A., Hirose Y., Iwasaki S., Nureki O., Suzuki T.	4. 巻 363(6423)
2. 論文標題 Cap-specific terminal N6-methylation of RNA by an RNA polymerase ?-associated methyltransferase	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Science	6. 最初と最後の頁 eaav0080
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/science.aav0080	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Saitoh F, Hagiwara H, Wakatsuki S, Araki T.	4. 巻 139
2. 論文標題 Carboxymethylation of CRMP2 is associated with decreased Schwann cell myelination efficiency	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neuroscience Resarch	6. 最初と最後の頁 58-62
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2018.08.015	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -



1. 著者名 Toshihiro Yamaguchi, Tomokazu Sumida, Toshikuni Sasaoka, Matthew Taylor, Haruhiro Toko, Eiki Takimoto, Atsuhiko Naito, Issei Komuro, et al.	4. 巻 11(1)
2. 論文標題 Cardiac Dopamine D1 Receptor Triggers Ventricular Arrhythmia in Chronic Heart Failure	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nature Communication	6. 最初と最後の頁 4364
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-020-18128-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ohta K, Aoyama E, Ahmad SAI, Ito N, Anam MB, Kubota S, Takigawa M.	4. 巻 13(1)
2. 論文標題 CCN2/CTGF binds the small leucine rich proteoglycan protein Tsukushi	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Cell Commun Signal.	6. 最初と最後の頁 113-118
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12079-018-0487-x	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yang, C-C., Kato, H., Shindo, M. and *Masai. H.	4. 巻 8
2. 論文標題 Cdc7 activates replication checkpoint by phosphorylating the Chk1 binding domain of Claspin in human cells	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 E-life	6. 最初と最後の頁 pii: e50796.
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7554/eLife.50796	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ito, S., Goto, H., Kuniyasu, K., Shindo, M., Yamada, M., Tanaka, K., Toh, G-K., Sawa, S., Inagaki, M., Bartek, B., and *Masai. H.	4. 巻 9
2. 論文標題 Cdc7 kinase stimulates Aurora B kinase in M-phase	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 18622
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-54738-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishimura K, Johmura Y, Deguchi K, Jiang Z, Uchida KSK, Suzuki N, Shimada M, Chiba Y, Hirota T, Yoshimura SH, Kono K, Nakanishi M.	4. 巻 10 (1)
2. 論文標題 Cdk1-mediated DIAPH1 phosphorylation maintains metaphase cortical tension and inactivates the spindle assembly checkpoint at anaphase	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nautre communications	6. 最初と最後の頁 981
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-019-08957-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Goto A, Ishii A, Shibata M, Ihara Y, Cooper EC, Hirose S.	4. 巻 60(9)
2. 論文標題 Characteristics of KCNQ2 variants causing either benign neonatal epilepsy or developmental and epileptic encephalopathy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 1870-1880
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.16314	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Takeshi Harada, Shinji Matsumoto, Suguru Hirota, Hirokazu Kimura, Shinsuke Fujii, Yuuya Kasahara,...Akira Kikuchi	4. 巻 18
2. 論文標題 Chemically modified antisense oligonucleotide against ARL4C inhibits primary and metastatic liver tumor growth	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Molecular Cancer Therapeutics	6. 最初と最後の頁 602-612
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/1535-7163.MCT-18-0824	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Harada, T., Matsumoto, S., Hirota, S., Kimura, H., Fujii, S., Kasahara, Y., Gon, H., Yoshida, T., Itoh, T., Haraguchi, N., Mizushima, T., Noda, T., Eguchi, H., Nojima, S., Morii, E., Fukumoto, T., Obika, S., Kikuchi, A.	4. 巻 18
2. 論文標題 Chemically modified antisense oligonucleotide against ARL4C inhibits primary and metastatic liver tumor growth.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Mol. Cancer Ther.	6. 最初と最後の頁 602-612
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/1535-7163.MCT-18-082	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Orimo, T., I. Sasaki, H. K. Miyake, M. Yamamoto, T. Satoh, K. Furukawa, E. Kuroda, K. J. Ishii, K. Takeda, T. Kaisho, et al.	4. 巻 31(10)
2. 論文標題 Cholera toxin B induces interleukine-1 $\beta$ production from resident peritoneal macrophages through pyrin as well as NLRP3 inflammasome	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Int Immunol.	6. 最初と最後の頁 657-668
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/intimm/dxz004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Adhikara IM, *Yagi K, Mayasari DS, Ikeda K, Kitagawa H, Miyata O, Igarashi M, Hatakeyama K, Asada Y, Hirata K, Emoto N	4. 巻 509
2. 論文標題 Chondroitin sulfate N-acetylgalactosaminyltransferase-2 deletion alleviates lipoprotein retention in early atherosclerosis and attenuates aortic smooth muscle cell migration	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Biochem Biophys res Commun	6. 最初と最後の頁 89-95
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2018.12.068	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Osugi, Y., Fumoto, K., Kikuchi, A.	4. 巻 39(16)
2. 論文標題 CKAP4 Regulates Cell Migration via the Interaction with and Recycling of Integrin	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Mol. Cell Biol.	6. 最初と最後の頁 e00073-19
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/MCB.00073-19	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kimura H, Yamamoto H, Harada T, Fumoto K, Osugi Y, Sada R, Maehara N, Hikita H, Mori S, Eguchi H, Ikawa M, Takehara T, Kikuchi A.	4. 巻 25
2. 論文標題 CKAP4, a DKK1 Receptor, Is a Biomarker in Exosomes Derived from Pancreatic Cancer and a Molecular Target for Therapy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Clin Cancer Res.	6. 最初と最後の頁 1936-1947
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/1078-0432.CCR-18-2124	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Tetsuhisa Otani, Thanh Phuong Nguyen, Shinsaku Tokuda, Kei Sugihara, Taichi Sugawara, Kyoko Furuse, Takashi Miura, Klaus Ebnet, Mikio Furuse	4. 巻 218
2. 論文標題 Claudins and JAM-A coordinately regulate tight junction formation and epithelial polarity	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Cell Biology	6. 最初と最後の頁 3372-3396
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1083/jcb.201812157	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Hia F., Yang SF., Shichino Y., Yoshinaga M., Murakawa Y., Vandebon A., Fukao A., Fujiwara T., Landthaler M., Natsume N., Adachi S., Iwasaki S., and Takeuchi O.	4. 巻 20
2. 論文標題 Codon bias confers stability to human mRNAs	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 EMBO. Rep.	6. 最初と最後の頁 e48220
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15252/embr.201948220	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Bando Y*, Sakamoto M* (Co-first and corresponding author), Kim S, Ayzenshtat I, Yuste R.	4. 巻 26(3)
2. 論文標題 Comparative evaluation of genetically encoded voltage indicators	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cell Reports	6. 最初と最後の頁 802-813
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2018.12.088	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fujiwara-Tani R, Sasaki T, Ohmori H, Luo Y, Goto K, Nishiguchi Y, Mori S, Nakashima C, Mori T, Miyagawa Y, Kawahara I, Fujii K, Kishi S, Tatsumoto N, Kuniyasu H	4. 巻 86
2. 論文標題 Concurrent expression of CD47 and CD44 in colorectal cancer promotes malignancy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Pathobiology	6. 最初と最後の頁 182-189
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000496027	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Hirabayashi K, Uehara DT, Abe H, Ishii A, Moriyama K, Hirose S, Inazawa J.	4. 巻 64(11)
2. 論文標題 Copy number variation analysis in 83 children with early-onset developmental and epileptic encephalopathy after targeted resequencing of a 109-epilepsy gene panel	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Hum Genet	6. 最初と最後の頁 1097-1106
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s10038-019-0661-x	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Wilar G, Shinoda Y, Sasaoka T, Fukunaga K.	4. 巻 56(12)
2. 論文標題 Crucial Role of Dopamine D2 Receptor Signaling in Nicotine-Induced Conditioned Place Preference.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Mol Neurobiol.	6. 最初と最後の頁 7911-7928
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12035-019-1635-x	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Takemoto M, Song W-J.	4. 巻 26
2. 論文標題 Cue-dependent safety and fear learning in a discriminative auditory fear conditioning paradigm in the mouse	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Learning & Memory	6. 最初と最後の頁 284-290
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/lm.049577.119	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Furusho, K., T. Shibata, R. Sato, R. Fukui, Y. Motoi, Y. Zhang, S. I. Saitoh, T. Ichinohe, M. Moriyama, S. Nakamura, and K. Miyake.	4. 巻 31
2. 論文標題 Cytidine deaminase enables Toll-like receptor 8 activation by cytidine or its analogs	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Int Immunol.	6. 最初と最後の頁 167-173
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/intimm/dxy075	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kano T., Kanauchi D., Aonuma H., Clark E.G. and IshiguroA.	4. 巻 13
2. 論文標題 Decentralized control mechanism for determination of moving direction in brittle stars with penta-radially symmetric body	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Frontiers in Neurorobotics	6. 最初と最後の頁 66
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnbot.2019.00066	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Naniwa K., Sugimoto Y., Osuka K. and Aonuma H.	4. 巻 112
2. 論文標題 Defecation initiates walking in the cricket <i>Gryllus bimaculatus</i>	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Insect Physiol.	6. 最初と最後の頁 117-122
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jinsphys.2018.11.004	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Sashida G, Oshima M, Iwama A.	4. 巻 110(2)
2. 論文標題 Deregulated Polycomb functions in myeloproliferative neoplasms	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Int J Hematol	6. 最初と最後の頁 170-178
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12185-019-02600-6	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yuki R, Tatewaki T, Yamaguchi N, Aoyama K, Honda T, Kubota S, Morii M, Manabe I, Kuga T, Tomonaga T, Yamaguchi N	4. 巻 38
2. 論文標題 Desuppression of TGF- $\beta$ signaling via nuclear c-Abl-mediated phosphorylation of TIF1 $\gamma$ /TRIM33 at Tyr-524, -610, and -1048	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Oncogene	6. 最初と最後の頁 635-655
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41388-018-0481-z	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -



1. 著者名 Kano M, Watanabe T.	4. 巻 8
2. 論文標題 Developmental synapse remodeling in the cerebellum and visual thalamus	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 F1000Res.	6. 最初と最後の頁 F1000 Faculty Rev-1191
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.12688/f1000research.18903.1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ishikawa R, Fukushima H, Nakakita Y, Kado, H, Kida, S*.	4. 巻 39(2)
2. 論文標題 Dietary heat-killed Lactobacillus brevis SBC8803 (SBL88TM) improves hippocampus-dependent memory performance and adult hippocampal neurogenesis.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neuropsychopharmacol Rep.	6. 最初と最後の頁 140-145
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/npr2.12054	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Serita, T., Miyahara, M., Tanimizu, T., Takahashi, S., Oishi, S., Nagayoshi, T., Tsuji, R., Inoue, H., Uehara, M., Kida, S*.	4. 巻 144
2. 論文標題 Dietary magnesium deficiency impairs hippocampus-dependent memories without changes in the spine density and morphology of hippocampal neurons in mice	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Brain Res Bull.	6. 最初と最後の頁 149-157
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.brainresbull.2018.11.019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Wakita D, Hayase Y and Aonuma H.	4. 巻 9
2. 論文標題 Different synchrony in rhythmic movement caused by morphological difference between five- and six-armed brittle stars	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 8298
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-44808-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshitomi S, Takahashi Y, Imai K, Koshimizu E, Miyatake S, Nakashima M, Saitsu H, Matsumoto N, Kato M, Fujita T, Ishii A, Hirose S, Inoue Y.	4. 巻 65
2. 論文標題 Different types of suppression-burst patterns in patients with epilepsy of infancy with migrating focal seizures (EIMFS)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Seizure	6. 最初と最後の頁 118-123
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.seizure.2019.01.009	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Rios A, Soma S, Yoshida J, Nonomura S, Kawabata M, Sakai Y, Isomura Y	4. 巻 6(4)
2. 論文標題 Differential changes in the lateralized activity of identified projection neurons of motor cortex in hemiparkinsonian rats.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 eNeuro	6. 最初と最後の頁 ENEURO.0110-19.2019
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/ENEURO.0110-19.2019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Khan KN, Yamamoto K, Fujishita A, Muto H, Koshiba A, Kuroboshi H, Saito S, Teramukai S, Nakashima M, Kitawaki J.	4. 巻 104
2. 論文標題 Differential levels of regulatory T-cells and T-helper-17 cells in women with early and advanced endometriosis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Journal of Clinical Endocrinology & Metabolism	6. 最初と最後の頁 4715-4729
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1210/jc.2019-00350	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Muto Y., Moroishi T., Ichihara K., Nishiyama M., Shimizu H., Eguchi H., Moriya K., Koike K., Mimori K., Mori M., Katayama Y., Nakayama KI.	4. 巻 216
2. 論文標題 Disruption of FBXL5-mediated cellular iron homeostasis promotes liver carcinogenesis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Exp. Med.	6. 最初と最後の頁 950-965
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1084/jem.20180900	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Chowdhury S, Hung CJ, Izawa S, Inutsuka A, Kawamura M, Kawashima T, Bito H, Imayoshi I, Abe M, Sakimura K, *Yamanaka A	4. 巻 8
2. 論文標題 Dissociating orexin-dependent and -independent functions of orexin neurons using novel Orexin-Flp knock-in mice	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 eLife	6. 最初と最後の頁 e44927
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7554/eLife.44927	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ishizu H, Kinoshita T, Hirakata S, Komatsuzaki C, Siomi MC.	4. 巻 27(6)
2. 論文標題 Distinct and Collaborative Functions of Yb and Armitage in Transposon-Targeting piRNA Biogenesis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cell Report	6. 最初と最後の頁 1822-1835
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2019.04.029	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Konno, M., Mizushima, T., Eguchi, H., Takiguchi, S., Satoh, T., Mimori, K., Ochiya, T., Doki, Y., Ofusa, K., Mori, M., Ishii, H.	4. 巻 10(1)
2. 論文標題 Distinct methylation levels of mature microRNAs in gastrointestinal cancers	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nature Commun.	6. 最初と最後の頁 3888
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-019-11826-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shioda N, Imai Y, Yabuki Y, Sugimoto W, Yamaguchi K, Wang Y, Hikida T, Sasaoka T, Mieda M, Fukunaga K.	4. 巻 39(38)
2. 論文標題 Dopamine D(2L) Receptor Deficiency Causes Stress Vulnerability through 5-HT(1A) Receptor Dysfunction in Serotonergic Neurons	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Neurosci.	6. 最初と最後の頁 7551-7563
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.0079-19.2019	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Nakamura T, Rios LC, Yagi T, Sasaoka T, Kitsukawa T.	4. 巻 156
2. 論文標題 Dopamine D1 and muscarinic acetylcholine receptors in dorsal striatum are required for high speed running.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neurosci Res.	6. 最初と最後の頁 50-57
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2019.12.001	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Kanemaru Y, Natsumeda M, Okada M, Saito R, Watanabe J, Saito S, Tsukamoto Y, Oishi M, Saito H, Nagahashi M, Sasaki T, Hashizume R, Kakita A, Fujii Y, et.al.	4. 巻 7
2. 論文標題 Dramatic response of BRAF V600E-mutant epithelioid glioblastoma to combination therapy with BRAF and MEK inhibitor: establishment and xenograft of a cell line to predict clinical efficacy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Acta Neuropathologica Communications	6. 最初と最後の頁 119
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40478-019-0774-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 H. Horiguchi, T. Kadomatsu, R. Kurahashi, C. Hara, K. Miyata, M. Baba, H. Osumi, K. Terada, K. Araki, T. Takai, T. Kamba, WM Linehan, T. Moroishi, Y. Oike	4. 巻 33
2. 論文標題 Dual functions of angiopoietin-like protein 2 signaling in tumor progression and anti-tumor immunity	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Genes & development	6. 最初と最後の頁 1641-1656
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/gad.329417.119	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sada, R., Kimura, H., Fukata, Y., Fukata, M., Yamamoto, H., Kikuchi, A.	4. 巻 12(608)
2. 論文標題 Dynamic palmitoylation determines microdomain localization of two DKK1 receptors, CKAP4 and LRP6, and regulates DKK1 signaling	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Science Signaling	6. 最初と最後の頁 eaat9519
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/scisignal.aat9519	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ito S, Deyama S, Domoto M, Zhang T, Sasase H, Fukao A, Esaki H, Hinoi E, Kaneko S, Kaneda K	4. 巻 236
2. 論文標題 Effects of the synthetic cannabinoid 5F-AMB on anxiety and recognition memory in mice	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Psychopharmacology (Berl)	6. 最初と最後の頁 2235-2242
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00213-019-05222-2	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yoshitomi S, Takahashi Y, Yamaguchi T, Imai K, Ishii A, Hirose S, Inoue Y.	4. 巻 154
2. 論文標題 Efficacy and tolerability of peramppanel in pediatric patients with Dravet syndrome	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Epilepsy Res.	6. 最初と最後の頁 34-38
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.eplepsyres.2019.02.014	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Takanori NOZAWA, Masayasu OKADA, Manabu NATSUMEDA, Takeyoshi EDA, Hideaki ABE, Yoshihiro TSUKAMOTO, Kouichirou OKAMOTO, Makoto OISHI, Hitoshi TAKAHASHI, Yukihiro FUJII, and Akiyoshi KAKITA	4. 巻 59(3)
2. 論文標題 EGFRvIII is Expressed in Cellular Areas of Tumor in a Subset of Glioblastoma	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neurologia medico-chirurgica (Tokyo)	6. 最初と最後の頁 89-97
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2176/nmc.oa.2018-0078	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tome S, Sasaki T, Takahashi S, Takei Y.	4. 巻 68(4)
2. 論文標題 Elevated maternal retinoic acid-related orphan receptor- $\gamma$ t enhances the effect of polyinosinic-polycytidylic acid in inducing fetal loss.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Experimental Animals	6. 最初と最後の頁 491-497
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1538/expanim.19-0038	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Noritake A, Nakamura K.	4. 巻 121(2)
2. 論文標題 Encoding prediction signals during appetitive and aversive Pavlovian conditioning in the primate lateral hypothalamus	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of neurophysiology	6. 最初と最後の頁 396-417
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1152/jn.00247.2018	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Fukabori, R., Iguchi, Y., Kato, S.,..., Benton, R., & Kobayashi, K.	4. 巻 -
2. 論文標題 Enhanced emotional memory retrieval by chemogenetic activation of locus coeruleus norepinephrine neurons	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 bioRxiv. Advance online publication.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/831313	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Osumi K, Sato K, Murano K, Siomi H, Siomi MC.	4. 巻 20(12)
2. 論文標題 Essential roles of Wndei and nuclear monoubiquitination of Eggless/SETDB1 in transposon silencing	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 EMBO Report	6. 最初と最後の頁 e48296
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15252/embr.201948296	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ohmori H, Kawahara I, Mori T, Nukaga S, Luo Y, Kishi S, Fujiwara-Tani R, Mori S, Goto K, Sasaki T, Kuniyasu H	4. 巻 86
2. 論文標題 Evaluation of parameters for cancer-induced sarcopenia in patients autopsied after death from colorectal cancer	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Pathobiology	6. 最初と最後の頁 306-314
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000503037	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する



1. 著者名 *Igarashi M, Okuda S	4. 巻 12
2. 論文標題 Evolutionary analysis of proline-directed phosphorylation sites in the mammalian growth cone identified using phosphoproteomics	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Mol Brain	6. 最初と最後の頁 53
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13041-019-0476-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 All AH, Zeng X, Teh DBL, Yi Z, Prasad A, Ishizuka T, Thakor N, Hiromu Yawo, Liu X	4. 巻 31
2. 論文標題 Expanding the Toolbox of Upconversion Nanoparticles for In Vivo Optogenetics and Neuromodulation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Advanced Materials	6. 最初と最後の頁 e1803474
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/adma.201803474	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Nakamoto C, Konno K, Miyazaki T, Nakatsukasa E, Natsume R, Abe M, Kawamura M, Fukazawa Y, Shigemto R, Yamasaki M, Sakimura K, Watanabe M.	4. 巻 528
2. 論文標題 Expression mapping, quantification, and complex formation of GluD1 and GluD2 glutamate receptors in adult mouse brain	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Comp Neurol.	6. 最初と最後の頁 1003-1027
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cne.24792	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Tanaka S, Ishihara N, Suzuki S, Watanabe Y, Nagayama D, Yamaguchi T, Ohira M, Saiki A, Tanaka T, Tatsuno I.	4. 巻 9
2. 論文標題 Fatty acid desaturase 2 is up-regulated by the treatment with statin through geranylgeranyl pyrophosphate-dependent Rho kinase pathway in HepG2 cells	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 10009
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-46461-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kano T., Kanauchi D., Ono T, Aonuma H and Ishiguro A.	4. 巻 13
2. 論文標題 Flexible coordination of flexible limbs: decentralized control scheme for inter- and intra-limb coordination in brittle stars' locomotion	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Frontiers in Neurorobotics	6. 最初と最後の頁 104
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnbot.2019.00104	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Julita A Ramirez, Terri Iwata, Heon Park, Mark Tsang, Janella Kang, Katy Cui, Winnie Kwong, Richard G James, Masaya Baba, Laura S Schmidt, Brian M Iritani	4. 巻 203
2. 論文標題 Folliculin Interacting Protein 1 Maintains Metabolic Homeostasis during B Cell Development by Modulating AMPK, mTORC1, and TFE3	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Journal of Immunology	6. 最初と最後の頁 2899-2908
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4049/jimmunol.1900395	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hirata K, Takakura Y, Shibazaki M, Morii M, Honda T, Oshima M, Aoyama K, Iwama A, Nakayama Y, Takano H, Yamaguchi N, Yamaguchi N	4. 巻 120
2. 論文標題 Forkhead box protein A1 confers resistance to transforming growth factor- $\beta$ -induced apoptosis in breast cancer cells through inhibition of Smad3 nuclear translocation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Cell Biochem.	6. 最初と最後の頁 2259-2270
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jcb.27551	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Hirayama H., Matsuda T., Tsuchiya Y., Oka R., Seino J., Huang C., Nakajima K., Noda Y., Shichino Y., Iwasaki S., Suzuki T.	4. 巻 294(44)
2. 論文標題 Free glycans derived from O-mannosylated glycoproteins suggest the presence of an O-glycoprotein degradation pathway in yeast	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Biol Chem.	6. 最初と最後の頁 15900-15911
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.RA119.009491	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Koizumi K, Inoue M, Chowdhury S, Bito H, Yamanaka A, Ishizuka T, Yawo H.	4. 巻 69
2. 論文標題 Functional emergence of a column-like architecture in layer 5 of mouse somatosensory cortex in vivo	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Physiol Sci.	6. 最初と最後の頁 65-77
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12576-018-0618-4	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Chowdhury S, Matsubara T, Miyazaki T, Ono D, Fukatsu N, Abe M, Sakimura K, Sudo Y, *Yamanaka A.	4. 巻 8
2. 論文標題 GABA neurons in the ventral tegmental area regulate non-rapid eye movement sleep in mice	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 eLife	6. 最初と最後の頁 e44928
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7554/eLife.44928	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murata K, Kinoshita T, Fukazawa Y, Kobayashi Ke, Kobayashi Ka, Miyamichi K, Okuno H, Bito H, Sakurai Y, Yamaguchi M, Mori K, Manabe H.	4. 巻 9
2. 論文標題 GABAergic neurons in the olfactory cortex projecting to the lateral hypothalamus in mice	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific reports	6. 最初と最後の頁 7132
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-43580-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koichiro Abe, Allison Cox, Nobuhiko Takamatsu, ... , Alexander Bassuk, Helmut Fuchs, Polly Ferguson, Martin Hrabe de Angelis	4. 巻 116
2. 論文標題 Gain-of-function mutations in a member of the Src family kinases cause autoinflammatory bone disease in mice and humans	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 PNAS	6. 最初と最後の頁 11872-11877
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1819825116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ryo Tanifuji, Kaori Tsukakoshi, Kazunori Ikebukuro, Hideaki Oikawa, Hiroki Oguri	4. 巻 29
2. 論文標題 Generation of C5-desoxy analogs of tetrahydroisoquinoline alkaloids exhibiting potent DNA alkylating ability	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Bioorg. Med. Chem. Lett.	6. 最初と最後の頁 1807-1811
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bmc1.2019.05.009	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kitahara A, Ran Q, Oda K, Yasue A, Abe M, Ye X, Sasaoka T, Tsuchida M, Sakimura K, Ajioka Y, Saijo Y, Zhou Q	4. 巻 31(6)
2. 論文標題 Generation of Lungs by Blastocyst Complementation in Apneumic Fgf10-Deficient Mice	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cell Rep.	6. 最初と最後の頁 107626
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2020.107626	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mori T, Ohmori H, Luo Y, Mori S, Miyagawa Y, Nukaga S, Goto K, Fujiwara-Tani R, Kishi S, Sasaki T, Fujii K, Kawahara I, Kuniyasu H	4. 巻 110
2. 論文標題 Giving combined medium-chain fatty acids and glucose protects against cancer-associated skeletal muscle atrophy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cancer Sci	6. 最初と最後の頁 3391-3399
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.14170	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Chernyshova K, Inoue K, Yamashita SI, Fukuchi T, Kanki T.	4. 巻 60(10)
2. 論文標題 Glaucoma-Associated Mutations in the Optineurin Gene Have Limited Impact on Parkin-Dependent Mitophagy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Invest Ophthalmol Vis Sci.	6. 最初と最後の頁 3625-3635
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1167/iovs.19-27184	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Zhang T, Yanagida J, Kamii H, Wada S, Domoto M, Sasase H, Deyama S, Takarada T, Hinoi E, Sakimura K, Yamanaka A, Maejima T, Mieda M, Sakurai T, Nishitani N, Nagayasu K, Kaneko S, Minami M, Kaneda K.	4. 巻 25(1)
2. 論文標題 Glutamatergic neurons in the medial prefrontal cortex mediate the formation and retrieval of cocaine-associated memories in mice	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Addict Biol	6. 最初と最後の頁 e12723
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/adb.12723	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto, S., Yamamichi, T., Shinzawa, K., Kasahara, Y., Nojima, S., Kodama, T., Obika, S., Takehara, T., Morii, E., Okuyama, H., and Kikuchi, A.	4. 巻 10(1)
2. 論文標題 GREB1 induced by Wnt signaling promotes development of hepatoblastoma by suppressing TGF $\beta$ signaling	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nat. Commun.	6. 最初と最後の頁 3882
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-019-11533-x	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Nakashima T, Yasuda K, Kobayashi M, Wada H, Ishii A, Hirose S.	4. 巻 8(2)
2. 論文標題 Heart rate variability in a patient with alternating hemiplegia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Intractable Rare Dis Res.	6. 最初と最後の頁 134-137
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5582/irdr.2019.01060	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsuzaka T, Kuba M, Koyasu S, Takeuchi Y, Yahagi N, Miyamoto T, Sekiya M, Nakagawa Y, Ema M, Takahashi S, Tokiwa H, Shimano H.	4. 巻 71(5)
2. 論文標題 Hepatocyte ELOVL Fatty Acid Elongase 6 Determines Ceramide Acyl-Chain Length and Hepatic Insulin Sensitivity in Mice	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Hepatology	6. 最初と最後の頁 1609-1625
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/hep.30953	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Jun Watanabe, Manabu Natsumeda, Masayasu Okada, Daiki Kobayashi, Yu Kanemaru, Yoshihiro Tsukamoto, Makoto Oishi, Akiyoshi Kakita, Yukihiko Fujii	4. 巻 -
2. 論文標題 High detection rate of MYD88 mutations in cerebrospinal fluid from patients with central nervous system lymphomas	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 JCO Precision Oncology	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kamil M, Shinsato Y, Higa N, Hirano T, Idogawa M, Takajo T, Minami K, Shimokawa M, Yamamoto M, Kawahara K, Yonezawa H, Hirano H, Furukawa T, Yoshimoto K, Arita K.	4. 巻 120(8)
2. 論文標題 High filamin-C expression predicts enhanced invasiveness and poor outcome in glioblastoma multiforme	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 British Journal of Cancer	6. 最初と最後の頁 819-826
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41416-019-0413-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hasegawa S, Fukushima H, Hosoda H, Serita T, Ishikawa R, Rokukawa T, Kawahara-Miki R, Zhang Y, Ohta M, Okada S, Tanimizu T, Josselyn SA, Frankland, PW, Kida, S*.	4. 巻 10(1)
2. 論文標題 Hippocampal clock regulates memory retrieval via Dopamine and PKA-induced GluA1 phosphorylation.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 5766
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-019-13554-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nagatsu T, Nakashima A, Ichinose H, Kobayashi K	4. 巻 126
2. 論文標題 Human tyrosine hydroxylase in Parkinson's disease and in related disorders	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Neural Transm	6. 最初と最後の頁 397-409
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00702-018-1903-3	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -



1. 著者名 Fukuda T, Gouko R, Eitsuka T, Suzuki R, Takahashi K, Nakagawa K, Sugano E, Tomita H, Kiyono T	4. 巻 10
2. 論文標題 Human-Derived Corneal Epithelial Cells Expressing Cell Cycle Regulators as a New Resource for in vitro Ocular Toxicity Testing	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Front Genet	6. 最初と最後の頁 587
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fgene.2019.00587	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sato, D. X., Y. Ishii T. Nagai, K. Ohashi and M. Kawata	4. 巻 19
2. 論文標題 Human-specific mutations in VMAT1 confer functional changes and multi-directional evolution in the regulation of monoamine circuits	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 BMC Evolutionary Biology	6. 最初と最後の頁 220
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12862-019-1543-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Htun Y, Nakamura S, Nakao Koyano K, Ohta K, Morimoto A, Wakabayashi T, Sugino M, Fujioka K, Kato I, Kondo S, Yasuda S, Miki T, Ueno M, Kusaka T	4. 巻 9
2. 論文標題 Hydrogen ventilation combined with mild hypothermia improves short-term neurological outcomes in a 5-day neonatal hypoxia-ischaemia piglet model	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 4088
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-40674-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tamura N, Kageyama S, Komatsu M, Waguri S.	4. 巻 39
2. 論文標題 Hyperosmotic Stress Induces Unconventional Autophagy Independent of the Ulk1 Complex	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Mol Cell Biol.	6. 最初と最後の頁 e00024-19
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/MCB.00024-19	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hasegawa T, Kikuta J, Sudo T, Matsuura Y, Matsui T, Simmons S, Ebina K, Hirao M, Okuzaki D, Yoshida Y, Hirao A, Kalinichenko VV, Yamaoka K, Takeuchi T, Ishii M.	4. 巻 20
2. 論文標題 Identification of a Novel Arthritis-Associated Osteoclast Precursor Macrophage Regulated by FoxM1	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nat Immunol	6. 最初と最後の頁 1631-1643
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41590-019-0526-7	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Ishihara E, Takahashi S, Fukaya R, Ohta S, Yoshida K, Toda M	4. 巻 41(11)
2. 論文標題 Identification of KLRC2 as a candidate marker for brain tumor-initiating cells	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neurol Res.	6. 最初と最後の頁 1043-1049
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/01616412.2019.1672390	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Nakayama Y, Sakamoto S, Tsuji K, Ayaki T, Tokunaga F, Ito H.	4. 巻 703
2. 論文標題 Identification of linear polyubiquitin chain immunoreactivity in tau pathology of Alzheimer's disease	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neurosci Lett.	6. 最初と最後の頁 3-57
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neulet.2019.03.017	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Nagai Y, Nishitani N, Yasuda M, Ueda Y, Fukui Y, Andoh C, Shirakawa H, Nakagawa T, Inoue KI, Nagayasu K, Kasparov S, Nakamura K, Kaneko S.	4. 巻 518(4)
2. 論文標題 Identification of neuron-type specific promoters in monkey genome and their functional validation in mice	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Biochemical and biophysical research communications	6. 最初と最後の頁 614-624
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2019.08.101	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Umehara T, Mori R, Mace K, Murase T, Abe Y, Yamamoto T, Ikematsu K	4. 巻 68(3)
2. 論文標題 Identification of specific microRNAs in neutrophils of type 2 diabetic mice: overexpression of microRNA-129-2-3p accelerates diabetic wound healing.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Diabetes	6. 最初と最後の頁 617-630
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1124/jpet.118.253922	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Keisuke Otake, Kana Yamada, Kazuki Miura, Yukiko Sasazawa, So Miyazaki, Yuki Niwa, Akihiro Ogura, Ken-ichi Takao, Siro Simizu	4. 巻 27
2. 論文標題 Identification of topoisomerases as molecular targets of cytosporolide C and its analog	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Bioorganic & Medicinal Chemistry	6. 最初と最後の頁 3334-3338
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bmc.2019.06.014	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Tatsuya Kawase, Yu Chen, Rieko Ohki*.	4. 巻 17
2. 論文標題 IER5 Is a p53-Regulated Activator of HSF1 That Contributes to Promotion of Cancer.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Heat Shock Proteins	6. 最初と最後の頁 253-272
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-3-030-03952-3_13	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ishikawa R, Uchida C, Kitaoka S, Furuyashiki T, Kida, S*.	4. 巻 12(1)
2. 論文標題 Improvement of PTSD-like behavior by the forgetting effect of hippocampal neurogenesis enhancer memantine in a social defeat stress paradigm	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Mol Brain.	6. 最初と最後の頁 68
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13041-019-0488-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mashima T, Iwasaki R, Kawata N, Kawakami R, Kumagai K, Migita T, Sano T, Yamaguchi K, Seimiya H.	4. 巻 121
2. 論文標題 In silico chemical screening identifies epidermal growth factor receptor as a therapeutic target of drug-tolerant CD44v9-positive gastric cancer cells	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Br J Cancer	6. 最初と最後の頁 846-856
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41416-019-0600-9	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Sonoko Chikamatsu, Ken Saijo, Hiroo Imai, Koichi Narita, Yoshifumi Kawamura, Tadashi Katoh, Chikashi Ishioka	4. 巻 8(12)
2. 論文標題 In Vitro and in Vivo antitumor activity and the mechanism of siphonodictyal B in human colon cancer cells	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cancer Medicine	6. 最初と最後の頁 5662-5672
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cam4.2409	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koizumi A, Narita S, Nakanishi H, Ishikawa M, Eguchi S, Kimura H, Takasuga S, Huang M, Inoue T, Sasaki J, Yoshioka T, Habuchi T, Sasaki T.	4. 巻 9(1)
2. 論文標題 Increased fatty acyl saturation of phosphatidylinositol phosphates in prostate cancer progression	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 13257
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-49744-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Katahira Y, Higuchi H, Matsushita H, Yahata T, Yamamoto Y, Koike R, Ando K, Sato K, Imadome KI, Kotani A.	4. 巻 9(1)
2. 論文標題 Increased Granulopoiesis in the Bone Marrow following Epstein-Barr Virus Infection	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 13445
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-49937	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Numata-Uematsu Y, Wakatsuki S, Nagano S, Shibata M, Sakai K, Ichinohe N, Mikoshiba K, Ohshima T, Yamashita N, Goshima Y, Araki T.	4. 巻 139
2. 論文標題 Inhibition of collapsin response mediator protein-2 phosphorylation ameliorates motor phenotype of ALS model mice expressing SOD1G93A	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 63-68
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2018.08.016	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ihara T, Nakamura Y, Mitsui T, Tsuchiya S, Kanda M, Kira S, Nakagomi H, Sawada N, Nakao A, Koizumi S, Takeda M 他	4. 巻 11
2. 論文標題 Intermittent restraint stress induces circadian misalignment in the mouse bladder, leading to nocturia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 10069
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-46517-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takamura, S., Kato, S., Motozono, C., Shimaoka, T., Ueha, S., Matsuo, K., Miyauchi, K., Nakayama, T., Tomura, M., Matsushima, K., Kubo, M., Miyazawa, M.	4. 巻 216
2. 論文標題 Interstitial-resident memory CD8+ T cells sustain frontline epithelial memory in the lung	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Exp Med.	6. 最初と最後の頁 2736-2747
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1084/jem.20190557	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Yosuke Takei, Saki Tome, Tetsuya Sasaki	4. 巻 -
2. 論文標題 Intracellular transport of NMDA receptors and Schizophrenia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Biological Psychiatry	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Toyokuni S	4. 巻 133
2. 論文標題 Iron Addiction with Ferroptosis-resistance in Asbestos-induced Mesothelial Carcinogenesis: Toward the Era of Mesothelioma Prevention	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Free Radical Biology & Medicine	6. 最初と最後の頁 206-215
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.freeradbiomed.2018.10.401	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Nakanishi K, Niida H, Tabata H, Ito T, Hori Y, Hattori M, Johmura Y, Yamada C, Ueda T, Takeuchi K, Yamada K, Nagata KI, Wakamatsu N, Kishi M, Pan YA, Ugawa S, Shimada S, Sanes JR, Higashi Y, Nakanishi M.	4. 巻 29(9)
2. 論文標題 Isozyme-Specific Role of SAD-A in Neuronal Migration During Development of Cerebral Cortex	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cerebral Cortex	6. 最初と最後の頁 3738-3751
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhy253	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Takei Y, Tome S, Sasaki T.	4. 巻 30(3)
2. 論文標題 KIF17-mediated transport of NMDA receptors and schizophrenia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Jap J Biological Psych.	6. 最初と最後の頁 101-104
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11249/jsbjpp.30.3_101	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Tutomu Fukuda, Yusuke Nanjo, Masahiro Fujimoto, Kenyu Yoshida, Yuko Natsui, Fumito Ishibashi, Fumiyasu Okazaki, Hideto To, Masatomo Iwao	4. 巻 27 (2)
2. 論文標題 Lamellarin-inspired potent topoisomerase I inhibitors with the unprecedented benzo[g][1]benzopyrano[4,3-b]indol-6(13H)-one scaffold	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Bioorganic and Medicinal Chemistry	6. 最初と最後の頁 265-277
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bmc.2018.11.037	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Miyazaki T, Chowdhury S, Yamashita T, Matsubara T, Yawo H, Yuasa H, Yamanaka A.	4. 巻 26(4)
2. 論文標題 Large Timescale Interrogation of Neuronal Function by Fiberless Optogenetics Using Lanthanide Micro-particles	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cell Rep.	6. 最初と最後の頁 1033-1043. e5.
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2019.01.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 N Shiina	4. 巻 294
2. 論文標題 Liquid- and solid-like RNA granules form through specific scaffold proteins and combine into biphasic granules	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Biol. Chem.	6. 最初と最後の頁 107149 - 107149
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.RA118.005423	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yasuo Higurashi, Marc A. Maier, Katsumi Nakajima, Kazunori Morita, Soichiro Fujiki, Shinya Aoi, Futoshi Mori, Akira Murata, Masahiko Inase	4. 巻 122
2. 論文標題 Locomotor kinematics and EMG activity during quadrupedal versus bipedal gait in the Japanese macaque	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Neurophysiol	6. 最初と最後の頁 398-412
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1152/jn.00803.2018	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Yoshida K, Gi M, Fujioka M, Teramoto I, Wanibuchi H	4. 巻 44(10)
2. 論文標題 Long-term administration of excess zinc impairs learning and memory in aged mice	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Toxicological Sciences	6. 最初と最後の頁 681-691
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2131/jts.44.681	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Takahashi SS, Sou YS, Saito T, Kuma A, Yabe T, Sugiura Y, Lee HC, Suematsu M, Yokomizo T, Koike M, Terai S, Mizushima N, Waguri S, Komatsu M.	4. 巻 3
2. 論文標題 Loss of autophagy impairs physiological steatosis by accumulation of NCoR1	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Life Sci Alliance.	6. 最初と最後の頁 e201900513.
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.26508/lisa.201900513	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Horigome Y, Ida-Yonemochi H, Waguri S, Shibata S, Endo N, Komatsu M.	4. 巻 16
2. 論文標題 Loss of autophagy in chondrocytes causes severe growth retardation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Autophagy	6. 最初と最後の頁 501-511
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/15548627	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Sato M, Miyata K, Tian Z, Kadomatsu T, Ujihara Y, Morinaga J, Horiguchi H, Endo M, Zhao J, Zhu S, Sugizaki T, Igata K, Muramatsu M, Minami T, Ito T, and Oike Y	4. 巻 83(2)
2. 論文標題 Loss of Endogenous HMGB2 Promotes Cardiac Dysfunction and Pressure Overload-Induced Heart Failure in Mice	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Circ J	6. 最初と最後の頁 368-378
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1253/circj.CJ-18-0925	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kawahara I, Goto K, Kodama K, Luo Y, Fujiwara-Tani R, Mori T, Miyagawa Y, Tanaka H, Kodama H, Hirayama A, Hosoi N, Taniguchi Y, Miki Y, Kuniyasu H	4. 巻 86
2. 論文標題 Magnetic hyperthermia using self-controlled heating elements consisting of Fe-Al milling alloy induces cancer cell apoptosis while preserving skeletal muscle	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Pathobiology	6. 最初と最後の頁 254-262
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000501524	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Saori Shinoda, Sho Kitagawa, Shinichi Nakagawa, Fan-Yan Wei, Kazuhito Tomizawa, Kimi Araki, Masatake Araki, Takeo Suzuki and Tsutomu Suzuki,	4. 巻 47
2. 論文標題 Mammalian NSUN2 introduces 5-methylcytidines into mitochondrial tRNAs	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nuc. Acids Res.	6. 最初と最後の頁 8734-8745
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/nar/gkz575	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Iwatani Y, Ogawa, H, Shidara H, Sakura M, Sato T, Hojo MK, Honma A, Tsurui K	4. 巻 -
2. 論文標題 Markerless visual servo control of a servosphere for behavior observation of a variety of wandering animals	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Advanced Robotics	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Jane S. Weng, Takanori Nakamura, Hisashi Moriizumi, Hiroshi Takano, Ryoji Yao & Mutsuhiro Takekawa	4. 巻 2
2. 論文標題 MCRIP1 promotes the expression of lung-surfactant proteins in mice by disrupting CtBP-mediated epigenetic gene silencing	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Communications Biology	6. 最初と最後の頁 227
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-019-0478-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ueno T, Komatsu M	4. 巻 1880
2. 論文標題 Measuring Nonselective and Selective Autophagy in the Liver	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Methods Mol Biol.	6. 最初と最後の頁 535-540
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-1-4939-8873-0_34	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Fujikawa A, Noda Y, Yamamoto H, Tanga N, Sakaguchi G, Hattori S, Song W-J, Sora I, Nabeshima T, Katsuura G, Noda M.	4. 巻 14
2. 論文標題 Mice deficient in protein tyrosine phosphatase receptor type Z (PTPRZ) show reduced responsivity to methamphetamine despite an enhanced response to novelty	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 PLoS ONE	6. 最初と最後の頁 e0221205
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0221205	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Shinozaki Y, Danjo Y, Koizumi S.	4. 巻 151
2. 論文標題 Microglial ROCK is essential for chronic methylmercury-induced neurodegeneration	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Neurochem	6. 最初と最後の頁 64-78
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jnc.14817	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 R. Kurahashi, T. Kadomatsu, M. Baba, C. Hara, H. Itoh, K. Miyata, M. Endo, J. Morinaga, K. Terada, K. Araki, M. Eto, LS Schmidt, T. Kamba, WM. Linehan, Y. Oike	4. 巻 110
2. 論文標題 MicroRNA-204-5p: A novel candidate urinary biomarker of Xp11.2 translocation renal cell carcinoma	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 1897-1908
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.14026	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Keisuke Iida, Yamato Tsushima, Yue Ma, Shadi Sedghi Masoud, Mai Sakuma, Tomomi Yokoyama, Wataru Yoshida, Kazunari Ikebukuro, Kazuo Nagasawa	4. 巻 27
2. 論文標題 Model studies for isolation of G-quadruplex-forming DNA sequences through a pull-down strategy with macrocyclic polyoxazole	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Bioorg. Med. Chem.	6. 最初と最後の頁 1742-1746
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bmc.2019.02.056	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 *Igarashi M	4. 巻 95
2. 論文標題 Molecular basis of the functions of the mammalian neuronal growth cone revealed using new methods	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proc Japan Acad Ser B Phys Biol Sci	6. 最初と最後の頁 358-377
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2183/pjab.95.026	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Okamura Y, Okochi Y	4. 巻 95
2. 論文標題 Molecular mechanisms of coupling to voltage sensors in voltage-evoked cellular signals	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proc Jpn Acad Ser B Phys Biol Sci.	6. 最初と最後の頁 111-135
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2183/pjab.95.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sakayori N, Kato S, Sugawara M, Setogawa S, Fukushima H, Ishikawa R, Kida S, Kobayashi K.	4. 巻 12
2. 論文標題 Motor skills mediated through cerebellothalamic tracts projecting to the central lateral nucleus	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Mol Brain	6. 最初と最後の頁 13
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13041-019-0431-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kawase H, Ago Y, Naito M, Higuchi M, Hara Y, Hasebe S, Tsukada S, Kasai A, Nakazawa T, Mishina T, Kouji H, Takuma K, Hashimoto H.	4. 巻 176
2. 論文標題 mS-11, a mimetic of the mSin3-binding helix in NRSF, ameliorates social interaction deficits in a prenatal valproic acid-induced autism mouse model	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Pharmacol Biochem Behav.	6. 最初と最後の頁 1-5
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.pbb.2018.11.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hikosaka, O., Yasuda, M., Nakamura, K., Isoda, M., Kim, H. F., Terao, Y., Amita, H., Maeda, K.	4. 巻 116 (52)
2. 論文標題 Multiple neuronal circuits for variable object-action choices based on short- and long-term memories	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America	6. 最初と最後の頁 26313-26320
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1902283116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamada N, ..., Zankov DP, Shimizu A, ..., Ogita H, ..., Takashima S.	4. 巻 139
2. 論文標題 Mutant KCNJ3 and KCNJ5 potassium channels as novel molecular targets in bradyarrhythmias and atrial fibrillation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Circulation	6. 最初と最後の頁 2157-2169
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/CIRCULATIONAHA.118.036761	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kanetake T, Sassa T, Nojiri K, Sawai M, Hattori S, Miyakawa T, Kitamura T, Kihara A	4. 巻 33
2. 論文標題 Neural symptoms in a gene knockout mouse model of Sjögren-Larsson syndrome are associated with a decrease in 2-hydroxygalactosylceramide	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 FASEB Journal	6. 最初と最後の頁 928-941
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1096/fj.201800291R	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kurose T, Sugano E, Sugai A, Shiraiwa R, Kato M, Mistsuguchi Y, Takai Y, Honma Y, Tomita H	4. 巻 12(8)
2. 論文標題 Neuroprotective effect of a dietary supplement against glutamate-induced excitotoxicity in retina	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Intl J Ophthalmol	6. 最初と最後の頁 1231-1237
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18240/ijo.2019.08.01	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Nae Saito, Kazuki Tainaka, Tom Macpherson, Takatoshi Hikida, Shun Yamaguchi, Toshikuni Sasaoka.	4. 巻 156
2. 論文標題 Neurotransmission through dopamine D1 receptor is required for aversive memory formation and Arc activation in the cerebral cortex.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neurosci Res.	6. 最初と最後の頁 58-65
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2020.04.006	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 T. Yamada, A. Fujii, T. Kikuchi	4. 巻 17
2. 論文標題 New diterpenes with a fused 6-5-6-6 ring system isolated from the marine sponge-derived fungus <i>Trichoderma harzianum</i>	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Marine Drugs	6. 最初と最後の頁 480
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/md17080480	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Momosaki K, Kido J, Yoshida S, Sugawara K, Miyamoto T, Inoue T, Okumiya T, Matsumoto S, Endo F, Hirose S, Nakamura K.	4. 巻 64(8)
2. 論文標題 Newborn screening for Pompe disease in Japan: report and literature review of mutations in the GAA gene in Japanese and Asian patients	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Hum Genet.	6. 最初と最後の頁 741-755
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s10038-019-0603-7	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Sugano E, Tabata K, Takezawa T, Shiraiwa R, Muraoka H, Metoki T, Kudo A, Iwama Y, Nakazawa M, Tomita H	4. 巻 -
2. 論文標題 N-Methyl-N-Nitrosourea-Induced Photoreceptor Degeneration Is Inhibited by Nicotinamide via the Blockade of Upstream Events before the Phosphorylation of Signalling Proteins	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 BioMed Res Intl	6. 最初と最後の頁 3238719
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1155/2019/3238719	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Doi M, Shimatani H, Atobe Y, Murai I, Hayashi H, Takahashi Y, Fustin JM, Yamaguchi Y, Kiyonari H, Koike N, Yagita K, Lee C, Abe M, Sakimura K, Okamura H	4. 巻 10
2. 論文標題 Non-coding cis-element of Period2 is essential for maintaining organismal circadian behaviour and body temperature rhythmicity	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nature Commun. ,	6. 最初と最後の頁 2563
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-019-10532-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Park S, Nayantai E, Komatsu T, Hayashi H, Mori R, Shimokawa I	4. 巻 75(6)
2. 論文標題 NPY deficiency prevents postmenopausal adiposity by augmenting estradiol-mediated browning	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Gerontol A Biol Sci Med Sci.	6. 最初と最後の頁 1042-1049
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/gerona/gly282	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hosoda, H., *Kida, S	4. 巻 71
2. 論文標題 NSP-C contributes to the upregulation of CLOCK/BMAL1-mediated transcription	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cytotechnology	6. 最初と最後の頁 453-460
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10616-018-0266-9	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Shotaro Yamano, Makoto Kimura, Yu Chen, Naoko Imamoto* and Rieko Ohki*.	4. 巻 386(1)
2. 論文標題 Nuclear import of IER5 is mediated by a classical bipartite nuclear localization signal and is required for HSF1 full activation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Experimental Cell Research	6. 最初と最後の頁 111686
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.yexcr.2019.111686	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Murano K, Iwasaki YW, Ishizu H, Mashiko A, Shibuya A, kondo S, Adachi S, Suzuki S, Saito K, Natsume T, Siomi MC, Siomi H	4. 巻 38(17)
2. 論文標題 Nuclear RNA export factor variant initiates piRNA-guided co-transcriptional silencing	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 EMBO J	6. 最初と最後の頁 e102870
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15252/embj.2019102870	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murata K, Kinoshita T, Fukazawa Y, Kobayashi K, Yamanaka A, Hikida T, Manabe H, Yamaguchi M.	4. 巻 13
2. 論文標題 Opposing roles of dopamine receptor D1- and D2-expressing neurons in the anteromedial olfactory tubercle in acquisition of place preference in mice	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Front Behav Neurosci	6. 最初と最後の頁 50
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnbeh.2019.00050	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Liu Y, Ohshiro T, Sakuragi S, Koizumi K, Mushiake H, Ishizuka T, Yawo H.	4. 巻 9
2. 論文標題 Optogenetic study of the response interaction among multi-afferent inputs in the barrel cortex of rats	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 3917
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-40688-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ghandour K, Ohkawa N, Chung C, Fung A, Asai H, Saitoh Y, Takekawa T, Okubo-Suzuki R, Soya S, Nishizono H, Matsuo M, Osanai M, 他 7 名, Inokuchi K	4. 巻 10
2. 論文標題 Orchestrated ensemble activities constitute a hippocampal memory engram	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 2637
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-019-10683-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sugano E, Edwards G, Saha S, Wilmott LA, Grambergs RC, Mondal K, Qi H, Stiles M, Tomita H, Mandal N	4. 巻 60(1)
2. 論文標題 Overexpression of acid-Ceramidase (ASAHL) Protects Retinal Cells (ARPE19) from Oxidative Stress	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Lipid Res	6. 最初と最後の頁 30-43
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1194/jlr.M082198	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Nagase, M., Mikami, K., and Watabe, A.M.# (#責任著者)	4. 巻 -
2. 論文標題 Parabrachial-to-amygdala control of aversive learning	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Current Opinion in Behavioral Sciences	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cobeha.2018.08.005	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Fujii T, Chiba Y, Nakayama-Imaohji H, Onishi S, Tanaka A, Katami H, Kaji T, Ieiri S, Miki T, Ueno M, Kuwahara T, Shimono R	4. 巻 54(12)
2. 論文標題 Partially hydrolyzed guar gum alleviates small intestinal mucosal damage after massive small bowel resection along with changes in the intestinal microbiota	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Pediatr Surg	6. 最初と最後の頁 2514-2519
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jpedsurg.2019.08.048	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Itoh M, Okuno H, Yamada D, Yamashita M, Abe M, Natsume R, Kaizuka T, Sakimura K, Hoshino M, Mishina M, Wada K, Sekiguchi M, Hayashi T	4. 巻 39
2. 論文標題 Perturbed expression pattern of the immediate early gene Arc in the dentate gyrus of GluA1 C-terminal palmitoylation deficient mice	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neuropsychopharmacology Reports	6. 最初と最後の頁 61-66
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/npr2.12044	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kojima T, Funato Y, Miki H.	4. 巻 476
2. 論文標題 Phosphatase of regenerating liver sensitizes MET to functional activation by hepatocyte growth factor	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Biochem J.	6. 最初と最後の頁 1419-1431
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1042/BCJ20190071	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ishikawa Y, Okada M, Honda A, Ito Y, Tamada A, Endo N, *Igarashi M	4. 巻 12
2. 論文標題 Phosphorylation sites of microtubule-associated protein 1B (MAP1B) involved in axon growth and regeneration.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Mol Brain	6. 最初と最後の頁 93
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13041-019-0510-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sánchez-Martín P, Komatsu M.	4. 巻 432
2. 論文標題 Physiological Stress Response by Selective Autophagy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Mol Biol.	6. 最初と最後の頁 53-62
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jmb.2019.06.013	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kawai T, Miyata H, Nakanishi H, Sakata S, Morioka S, Sasaki J, Watanabe M, Sakimura K, Fujimoto T, Sasaki T, Ikawa M, Okamura Y	4. 巻 116
2. 論文標題 Polarized PtdIns(4,5)P2 distribution mediated by a voltage-sensing phosphatase (VSP) regulates sperm motility.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America	6. 最初と最後の頁 26020-26028
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1916867116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Toshiyama, R., Konno, M., Eguchi, H., Kobayashi, S., Satoh, T., Doki, Y., Nishiyama, N., Mori, M. et al.	4. 巻 38
2. 論文標題 Poly(ethylene glycol)-poly(lysine) block copolymer-ubenimex conjugate targets aminopeptidase N and exerts an antitumor effect in hepatocellular carcinoma stem cells.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Oncogene	6. 最初と最後の頁 244-260
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41388-018-0406-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe T, Suzuki H, Kano M	4. 巻 12
2. 論文標題 Postnatal Development of Cerebellar Neural Circuits	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Brain Nerve.	6. 最初と最後の頁 1373-1383
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1416201457	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Okada, K., Araki, M., Sakashita, T., Ma, B., Kanda, R., Yanagitani, N., Horiike, A., Koike, S., Oh-Hara, T., Watanabe, K., Tamai, K., Maemondo, M., Nishio, M., Ishikawa, T., Okuno, Y., Fujita, N. and *Katayama, R.	4. 巻 41
2. 論文標題 Prediction of ALK mutations mediating ALK-TKIs resistance and drug re-purposing to overcome the resistance	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 EBioMedicine	6. 最初と最後の頁 105-119
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ebiom.2019.01.019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sasaki T, Komatsu Y, Yamamori T.	4. 巻 30(2).
2. 論文標題 Prefrontal-Enriched SLIT1 Expression in Primate Cortex and its Alteration during Cortical Development.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Jap J Biological Psych.	6. 最初と最後の頁 81-85
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11249/jsbjpp.30.2_81	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -



1. 著者名 Macpherson T, Mizoguchi H, Yamanaka A, Hikida T.	4. 巻 126
2. 論文標題 Preproenkephalin-expressing ventral pallidal neurons control inhibitory avoidance learning.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neurochem Int	6. 最初と最後の頁 11-18
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuint.2019.02.011	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Shimizu H., Takeishi S., Nakatsumi H., Nakayama KI.	4. 巻 4
2. 論文標題 Prevention of cancer dormancy by Fbxw7 ablation eradicates disseminated tumor cells	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 JCI Insight	6. 最初と最後の頁 pii-125138
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1172/jci.insight.125138	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Muroi M, Osada H.	4. 巻 1888
2. 論文標題 Proteomic profiling for target identification of biologically active small molecules using 2D DIGE	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Systems Chemical Biology	6. 最初と最後の頁 127-139
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-1-4939-8891-4_7	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Mito M, Mishima Y, and Iwasaki S	4. 巻 1(3)
2. 論文標題 Protocol for disome profiling to survey ribosome collision in humans and zebrafish	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 STAR Protoc.	6. 最初と最後の頁 100168
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.xpro.2020.100168	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Padrón A., Iwasaki S., and Ingolia NT.	4. 巻 75(4)
2. 論文標題 Proximity RNA labeling by APEX-Seq reveals the organization of translation initiation complexes and repressive RNA granules	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Mol. Cell.	6. 最初と最後の頁 875-887
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.molcel.2019.07.030	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Okumura A, Shimojima K, Kurahashi H, Numoto S, Shimada S, Ishii A, Hirose S, Yamamoto T et al.	4. 巻 71
2. 論文標題 PRRT2 mutations in Japanese patients with benign infantile epilepsy and paroxysmal kinesigenic dyskinesia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Seizure	6. 最初と最後の頁 1-5
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.seizure.2019.05.017	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Baba M, Nakazawa T, et al.	4. 巻 44
2. 論文標題 Psychiatric-disorder-related behavioral phenotypes and cortical hyperactivity in a mouse model of 3q29 deletion syndrome	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neuropsychopharmacology	6. 最初と最後の頁 2125-2135
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41386-019-0441-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshitomi S, Takahashi Y, Yamaguchi T, Oboshi T, Horino A, Ikeda H, Imai K, Okanishi T, Nakashima M, Saitsu H, Matsumoto N, Yoshimoto J, Fujita T, Ishii A, Hirose S, Inoue Y.	4. 巻 21(1)
2. 論文標題 Quinidine therapy and therapeutic drug monitoring in four patients with KCNT1 mutations	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Epileptic Disorders	6. 最初と最後の頁 48-54
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1684/epd.2019.1026	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Koso H, Tshako A, Matsubara D, Fujita Y, Watanabe S.	4. 巻 180
2. 論文標題 Ras activation in retinal progenitor cells induces tumor formation in the eye	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Exp. Eye Res.	6. 最初と最後の頁 39-42
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.exer.2018.11.025	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Inoue M, Takeuchi A, Manita S, Horigane SI, Sakamoto M, ... , Bito H.	4. 巻 177
2. 論文標題 Rational engineering of XCaMPs, a multicolor GECI suite for in vivo imaging of complex brain circuit dynamics	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cell	6. 最初と最後の頁 1-15
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cell.2019.04.007	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Ikuma Kato, Mitsuko Furuya, Masaya Baba, Toshio Takagi, Tsunenori Kondo, Yoji Nagashima, et al.	4. 巻 75(2)
2. 論文標題 RBM10 - TFE3 Renal Cell Carcinoma Characterized by Paracentric Inversion with Consistent Closely Split Signals in Break-apart Fluorescence in situ Hybridization: Study of Ten Cases and a Literature Review	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Histopathology	6. 最初と最後の頁 254-265
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/his.13866	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mukai J, Cannav? E, Crabtree GW, Sun Z, Diamantopoulou A, Thakur P, Chang CY, Cai Y, Lomvardas S, Takata A, Xu B, Gogos JA.	4. 巻 104
2. 論文標題 Recapitulation and Reversal of Schizophrenia-Related Phenotypes in Setdla-Deficient Mice	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neuron	6. 最初と最後の頁 471-487
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuron.2019.09.014	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Imanishi, T., M. Unno, W. Kobayashi, N. Yoneda, S. Matsuda, K. Ikeda, T. Hoshii, A. Hirao, K. Miyake, G. N. Barber, M. Arita, K. J. Ishii, S. Akira, and T. Saito.	4. 巻 2(1)
2. 論文標題 Reciprocal regulation of STING and TCR signaling by mTORC1 for T-cell activation and function	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Life Sci Alliance	6. 最初と最後の頁 e201800282
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.26508/lisa.201800282	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kida, S	4. 巻 236
2. 論文標題 Reconsolidation/Destabilization, Extinction and Forgetting of Fear Memory as Therapeutic Targets for PTSD	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Psychopharmacology	6. 最初と最後の頁 49-57
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00213-018-5086-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Miyake T, and Doi M	4. 巻 30
2. 論文標題 Reconstitution of Organismal Liver Clock Function Requires Light	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Trends Endocrinol Metab	6. 最初と最後の頁 569-571
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tem.2019.07.017	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Isokawa M, Sassa T, Hattori S, Miyakawa T, Kihara A	4. 巻 1
2. 論文標題 Reduced chain length in myelin sphingolipids and poorer motor coordination in mice deficient in the fatty acid elongase Elovl1	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 FASEB BioAdvances	6. 最初と最後の頁 747-759
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1096/fba.2019-00067	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ishifune, C., Tsukumo, SI., Maekawa Y., Hozumi, K., Chung, DH., Motozono, C., Yamasaki, S., Nakano, H., Yasutomo, K.	4. 巻 17
2. 論文標題 Regulation of membrane phospholipid asymmetry by Notch-mediated flippase expression controls the number of intraepithelial TCR $\alpha$ $\beta$ +CD8 $\alpha$ $\alpha$ + T cells	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 PLoS Biol.	6. 最初と最後の頁 e3000262
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pbio.3000262	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Izawa S, Chowdhury S, Miyazaki T, Mukai Y, Ono D, Inoue R, Ohmura Y, Mizoguchi H, Kimura K, Yoshioka M, Terao A, Kilduff TS, Yamanaka A*	4. 巻 365(6459)
2. 論文標題 REM sleep-active MCH neurons are involved in forgetting hippocampus-dependent memories.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Science	6. 最初と最後の頁 1308-1313
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/science.aax9238	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Kasahara Y, Sakakibara Y, Hiratsuka T, Moriya Y, Lesch KP, Hall FS, Uhl GR, Sora I	4. 巻 39
2. 論文標題 Repeated methamphetamine treatment increases spine density in the nucleus accumbens of serotonin transporter knockout mice	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neuropsychopharmacology Reports	6. 最初と最後の頁 130-133
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/npr2.12049	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Gurumurthy, CB., Ishii, H., Iwama, M., Jonasch, E., Karolak, M., Keavney, B., Liaw, L., Miano, JM., Burgio, G.	4. 巻 20(1)
2. 論文標題 Reproducibility of CRISPR-Cas9 methods for generation of conditional mouse alleles: a multi-center evaluation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Genome. Biol.	6. 最初と最後の頁 171
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13059-019-1776-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hirakata S, Ishizu H, Fujita A, Tomoe Y, Siomi MC.	4. 巻 20(7)
2. 論文標題 Requirements for multivalent Yb body assembly in transposon silencing in Drosophila	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 EMBO Rep.	6. 最初と最後の頁 e47708
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15252/embr.201947708	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hara S, Fukumura S, Ichinose H	4. 巻 294
2. 論文標題 Reversible S-glutathionylation of human 6-pyruvoyl tetrahydropterin synthase protects its enzymatic activity	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Biol Chem	6. 最初と最後の頁 1420-1427
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.RA118.005280	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Takahashi N, Nobusue H, Shimizu T, Sugihara E, Yamaguchi-Iwai S, Onishi N, Kunitomi H, Kuroda T, Saya H	4. 巻 79(12)
2. 論文標題 ROCK Inhibition Induces Terminal Adipocyte Differentiation and Suppresses Tumorigenesis in Chemoresistant Osteosarcoma Cells	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cancer Research	6. 最初と最後の頁 3088-3099
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/0008-5472.CAN-18-2693	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Nakajo H, Ishibashi K, Aoyama K, Kubota S, Hasegawa H, Yamaguchi N, Yamaguchi N	4. 巻 511
2. 論文標題 Role for tyrosine phosphorylation of SUV39H1 histone methyltransferase in enhanced trimethylation of histone H3K9 via neuregulin-1/ErbB4 nuclear signaling	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun.	6. 最初と最後の頁 765-771
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2019.02.130	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -



1. 著者名 Maho Tsubota, ...Shuji Wakatsuki,..., Atsufumi Kawabata	4. 巻 16
2. 論文標題 Role of non-macrophage cell-derived HMGB1 in oxaliplatin-induced peripheral neuropathy and its prevention by the thrombin/thrombomodulin system in rodents: negative impact of anticoagulants	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Neuroinflamm	6. 最初と最後の頁 199
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12974-019-1581-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nie X, Kitaoka S, Shinohara M, Kakizuka A, Narumiya S, Furuyashiki T.	4. 巻 9
2. 論文標題 Roles of Toll-like receptor 2/4, monoacylglycerol lipase, and cyclooxygenase in social defeat stress-induced prostaglandin E2 synthesis in the brain and their behavioral relevance	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 17548
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-54082-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kensuke Yamamoto, Yusei Mohara, Yuichiro Mutoh, and Shinichi Saito	4. 巻 141
2. 論文標題 Ruthenium-Catalyzed (Z)-Selective Hydroboration of Terminal Alkynes with Naphthalene-1,8-diaminoborane	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J AM CHEM SOC	6. 最初と最後の頁 17042-17047
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/jacs.9b06910	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Sugiyama S., Yumimoto K., Inoue I., Nakayama KI.	4. 巻 24
2. 論文標題 SCF(Fbxw7) ubiquitylates KLF7 for degradation in a manner dependent on GSK-3 $\beta$ -mediated phosphorylation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Genes Cells	6. 最初と最後の頁 354-365
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/gtc.12680	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tatsukawa T, Raveau M, Ogiwara I, Hattori S, Miyamoto H, Mazaki E, Itohara S, Miyakawa T, Montal M, Yamakawa K*	4. 巻 10
2. 論文標題 Scn2a haploinsufficient mice display a spectrum of phenotypes affecting anxiety, sociability, memory flexibility and amphetamine CX516 rescues their hyperactivity	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Mol Autism	6. 最初と最後の頁 15
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13229-019-0265-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Gong B., Kiyotani K., Sakata S., Nagano S., Kumehara S., Baba S., Besse B., Yanagitani N., Friboulet L., Nishio M., Takeuchi K., Kawamoto H., Fujita N., *Katayama R.	4. 巻 216(4)
2. 論文標題 Secreted PD-L1 variants mediate resistance to PD-L1 blockade therapy in non-small cell lung cancer	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Exp Med.	6. 最初と最後の頁 982-1000
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1084/jem.20180870	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tomomi Sanagi, Tetsuya Sasaki, Takafumi Minamimoto, Shin-ichi Kohsaka, and Noritaka Ichinohe	4. 巻 13
2. 論文標題 Segmented Iba1-positive processes of microglia in autism model marmosets	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Front Cell Neurosci, section Cellular Neuropathology	6. 最初と最後の頁 344-350
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fncel.2019.00344	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Toshio Fujino and Tetsuya Mitsudomi	4. 巻 14
2. 論文標題 Sensitivity and Resistance of MET Exon 14 Mutations in Lung Cancer to Eight MET Tyrosine Kinase Inhibitors In Vitro	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of thoracic oncology	6. 最初と最後の頁 1753, 1765
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtho.2019.06.023	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Sobuz SU, Sato Y, Yoshizawa T, Karim MF, Ono K, Sawa T, Miyamoto Y, Oka Y, Yamagata K	4. 巻 1866
2. 論文標題 SIRT7 regulates the nuclear export of NF- $\kappa$ B p65 by deacetylating Ran.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 BBA - Mol Cell Res	6. 最初と最後の頁 1355-1367
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbamcr.2019.05.001	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Katsuya K, Oikawa D, Iio K, Obika S, Hori Y, Urashima T, Ayukawa K, Tokunaga F.	4. 巻 509(3)
2. 論文標題 Small-molecule inhibitors of linear ubiquitin chain assembly complex (LUBAC), HOIPINs, suppress NF- $\kappa$ B signaling	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Biochemical and Biophysical Research Communications	6. 最初と最後の頁 700-706
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2018.12.164	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Nakamura Y, Sasaki T, Mochizuki C, Ishimaru K, Koizumi S, Shinbori H, Suzuki-Inoue K and Nakao A	4. 巻 9
2. 論文標題 Snake venom rhodocytin induces plasma extravasation via toxin-mediated interactions between platelets and mast cell.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 15958
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-52449-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Numa C, Nagai H, Taniguchi M, Nagai M, Shinohara R, Furuyashiki T.	4. 巻 9
2. 論文標題 Social defeat stress-specific increase in c-Fos expression in the extended amygdala in mice: Involvement of dopamine D1 receptor in the medial prefrontal cortex	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 16670
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-52997-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Mitsuhiro Wada, Hiroyuki Suzuki, Mitsuyasu Kato, Hideaki Oikawa, Akira Tsubouchi, Hiroki Oguri	4. 巻 20(10)
2. 論文標題 Stereo-Divergent Synthesis of Bispyrrolidinoindoline Alkaloidal Scaffolds and Generation of a Lead Candidate with Stereospecific Anti-proliferative Activity	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ChemBioChem	6. 最初と最後の頁 1273-1281
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cbic.201800815	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kikuta S, Iguchi Y, Kakizaki T, Kobayashi K, Yanagawa Y, Takada M, Osanai M	4. 巻 13
2. 論文標題 Store-operated calcium channels are involved in spontaneous slow calcium oscillations in striatal neurons	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Frontiers in Cellular Neuroscience	6. 最初と最後の頁 547
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fncel.2019.00547	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shinohara, F., Asaoka, Y., Kamii, H., Minami, M., Kaneda, K.	4. 巻 24
2. 論文標題 Stress augments the rewarding memory of cocaine via the activation of brainstem-reward circuitry	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Addiction Biology	6. 最初と最後の頁 509-521
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/adb.12617	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Hoshino, S., Mitsuhashi, T., Kikuchi, T., Wong, C. P., Morita, H., Awakawa, T., Fujita, M., Abe, I.	4. 巻 21
2. 論文標題 Structural elucidation of tenebrathin: cytotoxic C-5-substituted $\gamma$ -pyrone with nitroaryl side chain from <i>Streptoalloteichus tenebrarius</i>	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Org. Lett.	6. 最初と最後の頁 6519-6522
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.orglett.9b02443	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yu Buchin, Yuka Sakemi, Ruriko Hamashima, Yuko Morioka, Daisuke Yamanaka, Fumihiko Hakuno, Shin-ichiro Takahashi, Kazutoshi Shindo	4. 巻 30
2. 論文標題 Structures and biological activities of new carnosic acid- and carnosolrelated compounds generated by heat treatment of rosemary	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Phytochemistry Letters	6. 最初と最後の頁 43-48
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.phytol.2019.01.005	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yuichiro Mutoh, Kensuke Yamamoto, Shinichi Saito	4. 巻 10
2. 論文標題 Suzuki-Miyaura Cross-Coupling of 1,8-Diaminonaphthalene (dan)-Protected Arylboronic Acids	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ACS CATAL	6. 最初と最後の頁 352-357
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acscatal.9b03667	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Tsutomu Fukuda, Yuri Matsuo, Fuyuki Matsuoka, Naoki Yoshioka, Gen Onodera, Masanari Kimura, Fumito Ishibashi, Masatomo Iwao	4. 巻 99
2. 論文標題 Synthesis and evaluation of topoisomerase I inhibitors possessing the 5,13-dihydro-6H-benzo[6,7]indolo[3,2-c]quinolin-6-one scaffold	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Heterocycles	6. 最初と最後の頁 1032-1052
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3987/COM-18-S(F)70	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Chi-Wai Fung, Go Fukada, Yuichiro Mutoh, Noriko Tsuchida, Shinchi Saito	4. 巻 49
2. 論文標題 Synthesis and properties of anionic ruthenium thionitrosyl and selenonitrosyl complexes that contain tetraanionic 2-hydroxybenzamidobenzene ligands	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 DALTON TRANSACTIONS	6. 最初と最後の頁 613-624
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C9DT04219A	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yue Ma, Keisuke Iida, Shogo Sasaki, Takatsugu Hirokawa, Heddi Brahim, Anh Tuan Phan, Kazuo Nagasawa	4. 巻 24
2. 論文標題 Synthesis and telomeric G-quadruplex-stabilizing ability of macrocyclic hexaoxazoles bearing three side chains	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Molecules	6. 最初と最後の頁 263
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/molecules24020263	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yamazaki, Y.; Mizuma, R.; Abe, H.; Aoki, R.; Mutoh, Y.; Saito, S.	4. 巻 49
2. 論文標題 Synthesis of Helical 3,3'-Bridged-2,2'-bibenzo[g]quinolines	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 CHEMISTRY LETTERS	6. 最初と最後の頁 133-136
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1246/cl.190803	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Takuma Watanabe, Yuichiro Mutoh, and Shinichi Saito	4. 巻 18
2. 論文標題 Synthesis of lactone-fused pyrroles by ruthenium-catalyzed 1,2-carbon migration-cycloisomerization	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ORG BIOMOL CHEM	6. 最初と最後の頁 81-85
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C9OB02363A	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ashida, Y., Yanagita, R. C., Kawanami, Y., Okamura, M., Dan, S. and Irie, K.	4. 巻 99(2)
2. 論文標題 Synthesis, conformation, and biological activities of a des-A-ring analog of 18-deoxy-aplog-1, a simplified analog of debromoaplysiatoxin	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Heterocycles	6. 最初と最後の頁 942-957
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3987/COM-18-S(F)60	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -



1. 著者名 Nishiguchi Y, Fujiwara-Tani R, Sasaki T, Luo Y, Ohmori H, Kishi S, Mori S, Goto K, Yasui W, Sho M*, Kuniyasu H	4. 巻 10
2. 論文標題 Targeting claudin-4 enhances CDDP-chemosensitivity of gastric cancer	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Oncotarget	6. 最初と最後の頁 2189-2202
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/oncotarget.26758	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sasaki T, Fujiwara-Tani R, Kishi S, Mori S, Luo Y, Ohmori H, Goto K, Nishiguchi Y, Mori T, Sho M, Kondo M, Kuniyasu H	4. 巻 8
2. 論文標題 Targeting claudin-4 enhances chemosensitivity of pancreatic ductal carcinomas	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cancer Med	6. 最初と最後の頁 6700-6708
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cam4.2547	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Mito M., Kadota M., Nakagawa S.*, Iwasaki S.*	4. 巻 143
2. 論文標題 tChIP-Seq: cell-type-specific Eepigenome profiling	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Vis. Exp	6. 最初と最後の頁 e58298
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3791/58298	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Masaya Baba, Mitsuko Furuya, Luh Ade Wilan Krisna, Kimi Araki et al.	4. 巻 17
2. 論文標題 TFE3 Xp11.2 translocation renal cell carcinoma mouse model reveals novel therapeutic targets and identifies GPNMB as a diagnostic marker for human disease	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Molecular Cancer Research	6. 最初と最後の頁 1613-1626
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/1541-7786.MCR-18-1235	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Uematsu A, Kido K, Takahashi H, (10名略), Tokunaga F, Sawasaki T.	4. 巻 294
2. 論文標題 The E3 ubiquitin ligase MIB2 enhances inflammation by degrading the deubiquitinating enzyme CYLD	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Biol. Chem.	6. 最初と最後の頁 14135-14148
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.RA119.010119	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Braganza, CD., Shibata, K., Fujiwara, A., Motozono, C., Sonoda, KH., Yamasaki, S., Stocker, BL., Timmer, MSM	4. 巻 17
2. 論文標題 The effect of MR1 ligand glycol-analogues on mucosal-associated invariant T (MAIT) cell activation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Org Biomol Chem.	6. 最初と最後の頁 8992-9000
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/c9ob01436e	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Yuki Aoki, Hideyoshi Igata, Yuji Ikegaya, Takuya Sasaki	4. 巻 27
2. 論文標題 The integration of goal-directed signals onto spatial maps of hippocampal place cells	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cell Reports	6. 最初と最後の頁 1516-1527
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2019.04.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 *Katayama R, Gong B, Togashi N, Kamai Y, Seto Y, Oh-hara T, Koike S, Nakao N, Hanzawa H, Yoda S, Hata A, Shaw AT, Nishio M, Fujita N, *Isoyama T. et al	4. 巻 10
2. 論文標題 The new-generation selective ROS1/NTRK Inhibitor DS-6051b overcomes crizotinib resistant ROS1-G2032R mutation in preclinical models.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 3604
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-019-11496-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kondo T, Ando M, Nagai N, Tomisato W, Srirat T, Liu B, Mise-Omata S, Ikeda M, Chikuma S, Yoshimura A et al	4. 巻 80(3)
2. 論文標題 The NOTCH-FOXM1 Axis Plays a Key Role in Mitochondrial Biogenesis in the Induction of Human Stem Cell Memory-like CAR-T Cells	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cancer Res	6. 最初と最後の頁 471-483
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/0008-5472.CAN-19-1196	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ahmat Amin MKB, Shimizu A, Ogita H.	4. 巻 11
2. 論文標題 The pivotal roles of the epithelial membrane protein family in cancer invasiveness and metastasis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cancers	6. 最初と最後の頁 E1620
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/cancers11111620	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fujita T., Kurihara Y., and Iwasaki S.	4. 巻 60(9)
2. 論文標題 The plant translome surveyed by ribosome profiling	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Plant Cell Physiol.	6. 最初と最後の頁 1917-1926
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/pcp/pcz059	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Iwasaki S.*, Iwasaki W., Takahashi M., Sakamoto A., Watanabe C., Shichino Y., Floor SN., Fujiwara K., Mito M., Dodo K., Sodeoka M., Imataka H., Honma T., Fukuzawa K., Ito T.*, and Ingolia NT.*	4. 巻 73(4)
2. 論文標題 The translation inhibitor Rocaglamide targets a bimolecular cavity between eIF4A and polypurine RNA	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Mol. Cell	6. 最初と最後の頁 738-748
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.molcel.2018.11.026	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Rajput SK, Kumar M, Quan X, Morita M, Furuyashiki T, Awatsuji Y, Tajahuerce E, Matoba O.	4. 巻 25
2. 論文標題 Three-dimensional fluorescence imaging using the transport of intensity equation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Biomed Opt	6. 最初と最後の頁 1-7
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1117/1.JBO.25.3.032004	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Hirao N, Iwata T, Tanaka K, Nishio H, Nakamura M, Morisada T, Morii K, Maruyama N, Katoh Y, Yaguchi T, Ohta S, Kukimoto I, Aoki D, Kawakami Y	4. 巻 155(2)
2. 論文標題 Transcription factor homeobox D9 is involved in the malignant phenotype of cervical cancer through direct binding to the human papillomavirus oncogene promoter	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Gynecol Oncol	6. 最初と最後の頁 340-348
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ygyno.2019.08.026	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Williams RH, Tsunematsu T, Thomas AM, Bogyo K, Yamanaka A*, Kilduff TS*.	4. 巻 39(47)
2. 論文標題 Transgenic Archaelhodopsin-3 Expression in Hypocretin/Orexin Neurons Engenders Cellular Dysfunction and Features of Type 2 Narcolepsy.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Neurosci	6. 最初と最後の頁 9435-9452
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.0311-19.2019	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Liang L, Teh D, Dinh ND, Chen W, Chen Q, Wu Y, Chowdhury S, Yamanaka A, Sum TC, Chen CH, Thakor N, All A, Liu X	4. 巻 10
2. 論文標題 Upconversion Amplification through Dielectric Superlensing Modulation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nat Commun	6. 最初と最後の頁 1391
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-019-09345-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hamano Y, Ito F, Suzuki O, Koura M, Matsuoka S, Hino O, Suzuki S, Sugamata R, Yoshizawa H, Yumura W, Maruyama N, Kameoka Y, Noda Y, Suzuki K	4. 巻 52(5-6)
2. 論文標題 Vasculitis and crescentic glomerulonephritis in a newly established congenic mouse strain derived from ANCA-associated vasculitis-prone SCG/Kj mice	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Autoimmunity	6. 最初と最後の頁 208-219
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/08916934.2019.1658191	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Inami C, Tanihira H, Kikuta S, Ogasawara O, Sobue K, Kume K, Osanai M, Ohsawa M	4. 巻 13
2. 論文標題 Visualization of brain activity in a neuropathic pain model using quantitative activity-dependent manganese magnetic resonance imaging	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Frontiers in Neural Circuits	6. 最初と最後の頁 74
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fncir.2019.00074	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sadaiwa Yorimoto, Akira Tsubouchi, Haruki Mizoguchi, Hideaki Oikawa, Yoshiaki Tsunekawa, Tomoya Ichino, Satoshi Maeda and Hiroki Oguri	4. 巻 10
2. 論文標題 Zn(OTf) <sub>2</sub> -mediated annulations of N-propargylated tetrahydrocarbolines: divergent synthesis of four distinct alkaloidal scaffolds	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Chemical Science	6. 最初と最後の頁 5686-5698
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C9SC01507H	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小泉修一	4. 巻 35
2. 論文標題 アストロサイトと精神疾患	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 精神科	6. 最初と最後の頁 350-354
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 阿部健太, 八尾寛	4. 巻 59
2. 論文標題 オプトジェネティクス触覚モデルによる異種感覚間可塑性の定量的解析	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 生物物理	6. 最初と最後の頁 317-319
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2142/biophys.59.317	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小泉修一	4. 巻 13
2. 論文標題 てんかんとグリア	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Epilepsy	6. 最初と最後の頁 6-8
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 平石哲也、棗田学、岡田正康、大石誠、藤井幸彦	4. 巻 2(1)
2. 論文標題 悪性髄膜腫における個別化医療の可能性	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Precision Medicine	6. 最初と最後の頁 54-58
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 佐藤信吾	4. 巻 34(9)
2. 論文標題 骨転移とマイクロ RNA	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 BIO Clinica	6. 最初と最後の頁 794-798
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 -



1. 著者名 小泉修一	4. 巻 40
2. 論文標題 附子による慢性疼痛のグリア性制御メカニズム	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ペインクリニック	6. 最初と最後の頁 907-915
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 山本一男	4. 巻 36(13)
2. 論文標題 "サイズ"で斬る生物学への誘い	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 実験医学	6. 最初と最後の頁 2168-2173
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Mizotani Y, Suzuki M, Hotta K, Watanabe H, Shiba K, Inaba K, Tashiro E, Oka K and Imoto M.	4. 巻 115
2. 論文標題 14-3-3 $\epsilon$ directs the pulsatile transport of basal factors towards the apical domain for lumen growth in tubulogenesis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Proc. Natl. Acad. Sci. USA	6. 最初と最後の頁 E8873-E8881
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1808756115	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Gong, B., Oh-Hara, T., Fujita, N. and *Katayama, R.	4. 巻 501
2. 論文標題 3D culture system containing gellan gum restores oncogene dependence in ROS1 rearrangements non-small cell lung cancer	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biochem. Biophys. Res. Commun.,	6. 最初と最後の頁 527-533
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2018.05.031	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yamada T, Imamachi N, Onoguchi-Mizutani R, Imamura K, Suzuki Y, Akimitsu N	4. 巻 1720
2. 論文標題 5' -Bromouridine IP Chase (BRIC)-Seq to Determine RNA Half-Lives	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Methods Mol Biol	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-1-4939-7540-2_1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kano T., Sato E., Ono T., Aonuma H., Matsuzaka Y. and Ishiguro A.	4. 巻 4
2. 論文標題 A brittle star-like robot capable of immediately adapting to unexpected physical damage	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Royal Soc. Open Sci.	6. 最初と最後の頁 171200
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1098/rsos.171200	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Horai T, Hishimoto A, Otsuka I, So T, Mouri K, Shimmyo N, Boku S, Okishio N, Sora I.	4. 巻 14
2. 論文標題 A cross-sectional study exploring useful indicators for low bone mineral density in male alcoholic patients	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neuropsychiatr Dis Treat	6. 最初と最後の頁 663-669
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/NDT.S153360	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kosuke Ishikawa, Yuta Kobayashi, Yutaro wakabayashi, Shinya Watanabe and Kentaro Semba	4. 巻 3
2. 論文標題 A highly sensitive trap vector system for isolating reporter cells and identification of responsive genes	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biology Methods and Protocols	6. 最初と最後の頁 bpy003
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/biomethods/bpy003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakajima C, Kamimoto K, Miyajima K, Matsumoto M, Okazaki Y, Kobayashi-Hattori K, Shimizu M, Yamane T, Oishi Y, Iwatsuki K.	4. 巻 24(8)
2. 論文標題 A new method for identifying mouse pancreatic ducts	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Tissue Eng.	6. 最初と最後の頁 480-485
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/ten.tec.2018.0127	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Inoue D, Fujino T, Sheridan P, Xu M, Yang FC, Oyama M, Kitamura T, et al.	4. 巻 32(6)
2. 論文標題 A novel ASXL1?OGT axis plays roles in H3K4 methylation and tumor suppression in myeloid malignancies	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Leukemia	6. 最初と最後の頁 1327-1337
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41375-018-0083-3	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Kamijo Y, Kawahara K, Yoshinaga T, Kurata H, Arima K, Furukawa T.	4. 巻 5
2. 論文標題 A novel isolation method for cancer prognostic factors via the p53 pathway by a combination of in vitro and in silico analyses	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Oncoscience.	6. 最初と最後の頁 88-98
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/oncoscience.411	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Meikui Wu, Makoto Takemoto, Huan Luo, Jian-Jun Xu, Mei-Hong Lu, Masaki Kameyama, Toru Takumi, Wen-Jie Song.	4. 巻 824
2. 論文標題 A novel role of the antitumor agent tricyclodecan-9-yl-xanthogenate as an open channel blocker of KCNQ1/KCNE1	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Eur J Pharmacology	6. 最初と最後の頁 99-107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ejphar.2018.02.013	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Okumura A, Maruyama K, Shibata M, Kurahashi H, Ishii A, Numoto S, Hirose S, Kawai T, Iso M, Kataoka S, Okuno Y, Muramatsu H, Kojima S.	4. 巻 40(10)
2. 論文標題 A patient with a GNAO1 mutation with decreased spontaneous movements, hypotonia, and dystonic features	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Brain & Development	6. 最初と最後の頁 926-930
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2018.06.005	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ito T, Oti T, Takanami K, Satoh K, Ueda Y, Sakamoto T, Sakamoto H.	4. 巻 56(1)
2. 論文標題 A sexually dimorphic peptidergic system in the lower spinal cord controlling penile function in non-human primates	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Spinal cord	6. 最初と最後の頁 57-62
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/sc.2017.105	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Zhang Y, Nakano D, Guan Y, Hitomi H, Masaki T, Kobara H, Sugaya Y, Nishiyama A.	4. 巻 94(3)
2. 論文標題 A sodium-glucose cotransporter 2 inhibitor attenuates renal capillary injury and fibrosis by a vascular endothelial growth factor-dependent pathway after renal injury in mice.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Kidney Int.	6. 最初と最後の頁 524-535.
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.kint.2018.05.002	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Yabe R, Tsuji S, Mochida S, Ikehara T, Usui T, Ohama T*, Sato K	4. 巻 8(9)
2. 論文標題 A stable association with PME-1 may be dispensable for PP2A demethylation ? implications for the detection of PP2A methylation and immunoprecipitation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 FEBS Open Bio	6. 最初と最後の頁 1486-1496
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2211-5463.12485	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Toratani, M., Konno, M., Asai, A., Koseki, J., Kawamoto, K., Tamari, K., Li, Z., Sakai, D., Kudo, T., Satoh, T., Sato, K., Motooka, D., Okuzaki, D., Doki, Y., Mori, M., Ogawa, K., Ishii, H.	4. 巻 78
2. 論文標題 Ability of a convolutional neural network to differentiate between mouse and human cell lines and their radioresistant clones using microscopic images	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cancer Res	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/0008-5472	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takahashi Y, Hamasaki M, Aoki M, Koga K, Koshikawa N, Miyamoto S, Nabeshima K.	4. 巻 38
2. 論文標題 Activated EphA2 processing by MT1-MMP is involved in malignant transformation of ovarian tumours in vivo	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Anticancer Res	6. 最初と最後の頁 4257-4266
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21873/anticancerres.12722	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Zhang T, Deyama S, Domoto M., Wada S, Yanagida J, Sasase H, Hinoi E, Nishitani N, Nagayasu K, Kaneko S, Kaneda K	4. 巻 41
2. 論文標題 Activation of GABAergic neurons in the nucleus accumbens mediates the expression of cocaine-associated memory	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biological Pharmaceutical Bulletin	6. 最初と最後の頁 1084-1088
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1248/bpb.b18-00221	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ichimura Y, Komatsu M.	4. 巻 8
2. 論文標題 Activation of p62/SQSTM1-Keap1-Nuclear Factor Erythroid 2-Related Factor 2 Pathway in Cancer	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Front Oncol.	6. 最初と最後の頁 210
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fonc.2018.00210	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shinno, N., Kimura, H., Sada, R., Takiguchi, S., Mori, M., Fumoto, K., Doki, Y., and Kikuchi, A.	4. 巻 37
2. 論文標題 Activation of the Dickkopf1-CKAP4 pathway is associated with poor prognosis of esophageal cancer and anti-CKAP4 antibody may be a new therapeutic drug	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Oncogene	6. 最初と最後の頁 6107-6120
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41388-018-0179-2	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe M, Narita M, Hamada Y, Yamashita A, Tamura H, Ikegami D, Kondo T, Shinzato T, Shimizu T, Fukuchi Y, Muto A, Okano H, Yamanaka A, Tawfik VL, Kuzumaki N, Navratilova E, Porreca F, *Narita M.	4. 巻 14
2. 論文標題 Activation of ventral tegmental area dopaminergic neurons reverses pathological allodynia resulting from nerve injury or bone cancer	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Molecular Pain	6. 最初と最後の頁 1744806918756406
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1744806918756406	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Moriya S, Yamashita A, Kawashima S, Nishi R, Yamanaka A, Kuwaki T.	4. 巻 386
2. 論文標題 Acute aversive stimuli rapidly increase the activity of ventral tegmental area dopamine neurons in awake mice	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neuroscience	6. 最初と最後の頁 16-23
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2018.06.027	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ueno H, Takao K, Suemitsu S, Murakami S, Kitamura N, Wani K, Okamoto M, Aoki S, Ishihara T	4. 巻 112
2. 論文標題 Age-dependent and region-specific alteration of parvalbumin neurons and perineuronal nets in the mouse cerebral cortex	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neurochem Int	6. 最初と最後の頁 59-70
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuint	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -



1. 著者名 Zhao J, Tian Z, Kadomatsu T, Xie P, Miyata K, Sugizaki T, Endo M, Zhu S, Fan H, Horiguchi H, Morinaga J, Terada K, Yoshizawa T, Yamagata K, Oike Y	4. 巻 293
2. 論文標題 Age-dependent increase in angiotensin-like protein 2 accelerates skeletal muscle loss in mice	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Biol Chem	6. 最初と最後の頁 1596-1609
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.M117.814996	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ichinose H, Inoue KI, Arakawa S, Watanabe Y, Kurosaki H, Koshihara S, Hustad E, Takada M, Aasly JO	4. 巻 125
2. 論文標題 Alterations in the reduced pteridine contents in the cerebrospinal fluids of LRRK2 mutation carriers and patients with Parkinson's disease	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Neural Transm	6. 最初と最後の頁 45-52
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00702-017-1784-x	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Tsurumaru, H., Ito, N., Yamazaki, S., Fujita, N., and Harayama, S., et al.	4. 巻 8
2. 論文標題 An extracellular [NiFe] hydrogenase mediating iron corrosion is encoded in a genetically unstable genomic island in Methanococcus maripaludis.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports 8	6. 最初と最後の頁 15149
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-33541-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 M. Ishido*	4. 巻 19
2. 論文標題 An Overview of Development of Quantitative Neurotoxicity Testing In vitro	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J. Applied Life Sci. Intl.	6. 最初と最後の頁 2394-1103
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.9734/JALSI/2018/45377	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fink J, Jackney A, Matsumoto M, Maekawa T, Nakazato K, Horie S.	4. 巻 47(1)
2. 論文標題 Anabolic-androgenic steroids: procurement and administration practices of doping athletes.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Physician. Sportsmedicine 2	6. 最初と最後の頁 10-14.
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/00913847.2018.1526626	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shadi Sedghi Masoud, Yudai Yamaoki, Yue Ma, Adrian Marchand, Fernaldo Richtia Winnerdy, Valerie Gabelica, Anh Tuan Phan, Masato Katahira & Kazuo Nagasawa	4. 巻 19
2. 論文標題 Analysis of Interactions between Telomeric i-Motif DNA and a Cyclic Tetraoxazole Compound	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ChemBioChem	6. 最初と最後の頁 2268-2272
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cbic.201800425	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Hashimoto M, Yamanaka A, Kato S, Tanifuji M, Kobayashi K, Yaginuma H.	4. 巻 12
2. 論文標題 Anatomical Evidence for a Direct Projection from Purkinje Cells in the Mouse Cerebellar Vermis to Medial Parabrachial Nucleus	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Frontiers in Neural Circuit	6. 最初と最後の頁 6
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fncir.2018.00006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shimizu Y, Tamada S, Kato M, Hirayama Y, Takeyama Y, Iguchi T, Sadar MD, Nakatani T.	4. 巻 7(11)
2. 論文標題 Androgen Receptor Splice Variant 7 Drives the Growth of Castration Resistant Prostate Cancer without Being Involved in the Efficacy of Taxane Chemotherapy	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Clin Med	6. 最初と最後の頁 E444
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/jcm7110444	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fujiwara-Tani R, Sasaki T, Luo Y, Ohmori H, Nishiguchi Y, Kishi S, Mori S, Goto K, Kondoh M, Kuniyasu H	4. 巻 9(100)
2. 論文標題 Anti-claudin-4 extracellular domain antibody enhances the antitumoral effects of chemotherapeutic and antibody drugs in colorectal cancer	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Oncotarget	6. 最初と最後の頁 37367-37378
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/oncotarget.26427	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kinoshita M, Hirayama Y, Fujishita K, Shibata K, Shinozaki E, Takeda A, Le HPN, Hayashi H, Hiasa M, Moriyama Y, Ikenaka K, Tanaka KF, Koizumi S	4. 巻 32
2. 論文標題 Anti-Depressant Fluoxetine Reveals its Therapeutic Effect Via Astrocytes	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 E BioMedicine	6. 最初と最後の頁 72-83
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ebiom.2018.05.036	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshida J, Saiki A, Soma S, Yamanaka K, Nonomura S, Ros A, Kawabata M, Kimura M, Sakai Y, *Isomura Y	4. 巻 388
2. 論文標題 Area-specific modulation of functional cortical activity during block-based and trial-based proactive inhibition	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neuroscience	6. 最初と最後の頁 297-316
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2018.07.039	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Sumitani M, Nishizawa D, Ikeda K, Abe H, Kato R, Ueda H, Yamada Y	4. 巻 19
2. 論文標題 Association between polymorphisms in the purinergic P2Y12 receptor gene and severity of both cancer pain and postoperative pain	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Pain Medicine	6. 最初と最後の頁 348-354
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/pm/pnx102	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Sobue A, Ito N, Nagai T, Shan W, Hada K, Nakajima A, Murakami Y, Mouri A, Yamamoto Y, Nabeshima T, Saito K, Yamada K.	4. 巻 66
2. 論文標題 Astroglial major histocompatibility complex class I following immune activation leads to behavioral and neuropathological changes	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Glia	6. 最初と最後の頁 1034-1052
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/glia.23299	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Saika M, Inoue D, Nagase R, Sato N, Tsuchiya A, Yabushita T, Kitamura T, Goyama S.	4. 巻 8(1)
2. 論文標題 ASXL1 and SETBP1 mutations promote leukaemogenesis by repressing TGFb pathway genes through histone deacetylation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Sci. Rep.	6. 最初と最後の頁 15873
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-33881-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kitamura T.	4. 巻 131(3)
2. 論文標題 ASXL1 mutations gain a function	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 274-275
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood-2017-12-816595	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Prabakaran T, Bodda C, Krapp C, Zhang BC, Christensen MH, Sun C, Reinert L, Cai Y, Jensen SB, Skouboe MK, Nyengaard JR, Thompson CB, Lebbink RJ, Sen GC, van Loo G, Nielsen R, Komatsu M, Nejsun LN, Jakobsen MR, Gyrd-Hansen M, Paludan SR.	4. 巻 37
2. 論文標題 Attenuation of cGAS-STING signaling is mediated by a p62/SQSTM1-dependent autophagy pathway activated by TBK1	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 EMBO J.	6. 最初と最後の頁 e97858
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15252/embj.201797858	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Hisashi Hasumi, Mitsuko Furuya, Kenji Tatsuno, Shogo Yamamoto, Masaya Baba, Hiroyuki Aburatani, W Marston Linehan, Masahiro Yao, et al.	4. 巻 27(15)
2. 論文標題 BHD-associated kidney cancer exhibits unique molecular characteristics and a wide variety of variants in chromatin remodeling genes	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Human molecular genetics	6. 最初と最後の頁 2712-2724
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/hmg/ddy181	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Michael S Nahorski, Sateesh Maddirevula, Ryosuke Ishimura, Saud Alsahli, Angela Brady, *C Geoffrey Woods, *Masaaki Komatsu, *Fowzan S Alkuraya, et al.	4. 巻 141
2. 論文標題 Biallelic UFM1 and UFC1 mutations expand the essential role of ufmylation in brain development	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Brain	6. 最初と最後の頁 1934-1945
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/brain/awy135	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Mutoh, H., M. Kato, T. Akita, T. Shibata, H. Wakamoto, H. Ikeda, H. Kitaura, K. Aoto, M. Nakashima, T. Wang, C. Ohba, S. Miyatake, N. Miyake, A. Kakita, K. Miyake, A. Fukuda, N. Matsumoto, and H. Saitu.?	4. 巻 102(2)
2. 論文標題 Biallelic Variants in CNPY3, Encoding an Endoplasmic Reticulum Chaperone, Cause Early-Onset Epileptic Encephalopathy	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Am J Hum Genet	6. 最初と最後の頁 321-329
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ajhg.2018.01.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Moriguchi S, Ishizuka T, Yabuki Y, Shioda N, Sasaki Y, Tagashira H, Yawo H, Yeh JZ, Sakagami H, Narahashi T, Fukunaga K.	4. 巻 23(2)
2. 論文標題 Blockade of the KATP channel Kir6.2 by memantine represents a novel mechanism relevant to Alzheimer's disease therapy	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Mol Psychiatry.	6. 最初と最後の頁 211-221
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/mp.2016.187	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Hayashida T, Saito Y, Ishii A, Yamada H, Itakura A, Minato T, Fukuyama T, Maegaki Y, Hirose S.	4. 巻 40(2)
2. 論文標題 CACNA1A-related early-onset encephalopathy with myoclonic epilepsy: A case report	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Brain & Development	6. 最初と最後の頁 130-133
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2017.08.006	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kondo T, Saito R, Otaka M, Yoshino-Saito K, Yamanaka A, Yamamori T, Watakabe A, Mizukami H, Schnitzer MJ, Tanaka KF, Ushiba J, Okano H.	4. 巻 24(8)
2. 論文標題 Calcium transient dynamics of neural ensembles in the primary motor cortex of naturally behaving monkeys	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cell Rep	6. 最初と最後の頁 2191-2195
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2018.07.057	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tatsunori Nishimura, Asuka Nakata, Naofumi Mukaida, Seiji Yano, Tomoyoshi Soga, Arinobu Tojo, Noriko Gotoh, et al.	4. 巻 38(14)
2. 論文標題 Cancer stem-like properties and gefitinib resistance are dependent on purine synthetic metabolism mediated by the mitochondrial enzyme MTHFD2	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Oncogene	6. 最初と最後の頁 2464-2481
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41388-018-0589-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hashimoto K, Ochi H, Sunamura S, Kosaka N, Mabuchi Y, Fukuda T, Yao K, Kanda H, Ae K, Okawa A, Akazawa C, Ochiya T, Futakuchi M, Takeda S, Sato S	4. 巻 115(9)
2. 論文標題 Cancer-secreted hsa-miR-940 induces an osteoblastic phenotype in the bone metastatic microenvironment via targeting ARHGAP1 and FAM134A	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Proc Natl Acad Sci U S A	6. 最初と最後の頁 2204-2209
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1717363115	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Umeda M, Koga T, Ichinose K, Igawa T, Yamamoto K, Abiru N, Origuchi T, Ueki Y, Kawakami A, et al.	4. 巻 187
2. 論文標題 CD4+ CD52lo T-cell expression contributes to the development of systemic lupus erythematosus	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Clinical Immunology	6. 最初と最後の頁 50-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clim.2017.10.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ageta-Ishihara N, Konno K, Yamazaki M, Abe M, Sakimura K, Watanabe M, Kinoshita M.	4. 巻 119
2. 論文標題 CDC42EP4, a perisynaptic scaffold protein in Bergmann glia, is required for glutamatergic tripartite synapse configuration	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neurochem Int	6. 最初と最後の頁 190-198
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuint.2018.01.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fujiwara C, Muramatsu Y, Nishii M, Tokunaka K, Tahara H, Ueno M, Yamori T, Sugimoto Y, Seimiya H.	4. 巻 8
2. 論文標題 Cell-based chemical fingerprinting identifies telomeres and lamin A as modifiers of DNA damage response in cancer cells	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 e14827
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-33139-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mito M., Kadota M., Tanaka K., Furuta Y., Abe K., Iwasaki S.*, and Nakagawa S.	4. 巻 8
2. 論文標題 Cell-type specific survey of epigenetic modifications by tandem chromatin immunoprecipitation sequencing	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 1143
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-19494-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Morrison, S.F., Nakamura, K.	4. 巻 81
2. 論文標題 Central mechanisms for thermoregulation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Annual Review of Physiology	6. 最初と最後の頁 285-308
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1146/annurev-physiol-020518-114546	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Nakamura, Y., Nakamura, K.	4. 巻 470
2. 論文標題 Central regulation of brown adipose tissue thermogenesis and energy homeostasis dependent on food availability	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Pflügers Archiv - European Journal of Physiology	6. 最初と最後の頁 823-837
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00424-017-2090-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Chiou LC, Lee HJ, Ernst M, Huang WJ, Chou JF, Chen HL, Mouri A, Chen LC, Treven M, Mamiya T, Fan PC, Knutson DE, Witzigmann C, Cook J, Sieghart W, Nabeshima T.	4. 巻 175(12)
2. 論文標題 Cerebellar $\alpha 6$ subunit-containing GABAA receptors: A novel therapeutic target for disrupted prepulse inhibition in neuropsychiatric disorders	5. 発行年 2018 年
3. 雑誌名 Br J Pharmacol.	6. 最初と最後の頁 2414-2427
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/bph.14198	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Tainaka K, Murakami TC, Susaki EA, Shimizu C, Saito R, Sasaoka T, Kobayashi K, Miyazono K, Morii E, Isa T, Fukayama M, Kakita A, Ueda HR, et al.	4. 巻 24
2. 論文標題 Chemical Landscape for Tissue Clearing Based on Hydrophilic Reagents	5. 発行年 2018 年
3. 雑誌名 Cell Reports	6. 最初と最後の頁 2196-2210
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2018.07.056	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ryo Tanifuji, Kento Koketsu, Michiko Takakura, Ryutaro Asano, Atsushi Minami, Hideaki Oikawa, Hiroki Oguri	4. 巻 140(34)
2. 論文標題 Chemo-enzymatic Total Syntheses of Jorunnamycin A, Saframycin A, and N-Fmoc Saframycin Y3	5. 発行年 2018 年
3. 雑誌名 J. Am. Chem. Soc.	6. 最初と最後の頁 10705?10709
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/jacs.8b07161	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Tomoaki Taniguchi, Akira Tsubouchi, Yuki Imai, Junpei Yuasa, Hiroki Oguri	4. 巻 83(24)
2. 論文標題 Chiroptical Inversion of Europium(III) Complexes by Changing a Remote Stereogenic Center of a C <sub>2</sub> -symmetric Bispyrrolidinoindoline Manifold	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J. Org. Chem.	6. 最初と最後の頁 15284-15296
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.joc.8b02550	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Fukui, R., C. Yamamoto, F. Matsumoto, M. Onji, T. Shibata, Y. Murakami, A. Kanno, T. Hayashi, N. Tanimura, N. Yoshida, and K. Miyake.	4. 巻 9
2. 論文標題 Cleavage of Toll-Like Receptor 9 Ectodomain Is Required for In Vivo Responses to Single Strand DNA	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Front Immunol	6. 最初と最後の頁 1491
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2018.01491	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Noguchi K, Konno M, Eguchi H, Kawamoto K, Mukai R, Nishida N, Koseki J, Wada H, Akita H, Satoh T, Marubashi S, Nagano H, Doki Y, Mori M, Ishii H.	4. 巻 16(2)
2. 論文標題 c-Met affects gemcitabine resistance during carcinogenesis in a mouse model of pancreatic cancer	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Oncol Lett	6. 最初と最後の頁 1892-1898
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/ol.2018.8793	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Sato, R., A. Kato, T. Chimura, S. I. Saitoh, T. Shibata, Y. Murakami, R. Fukui, K. Liu, Y. Zhang, J. Arai, G. H. Sun-Wada, Y. Wada, T. Ikenoue, G. N. Barber, T. Manabe, Y. Kawaguchi, and K. Miyake.	4. 巻 19(10)
2. 論文標題 Combating herpesvirus encephalitis by potentiating a TLR3-mTORC2 axis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nat Immunol	6. 最初と最後の頁 1071-1082
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41590-018-0203-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sakai E., Nakayama M., Oshima H., Kouyama Y., Niida A., Fujii S., Ochiai A., Nakayama KI., Mimori K., Suzuki Y., Hong CP., Ock CY., Kim SJ., Oshima M.	4. 巻 78(5)
2. 論文標題 Combined mutation of Apc, Kras and Tgfbr2 effectively drives metastasis of intestinal cancer	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cancer Res.	6. 最初と最後の頁 1334-1346
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/0008-5472.CAN-17-3303	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Kaizuka T, Hayashi T	4. 巻 38
2. 論文標題 Comparative analysis of palmitoylation sites of serotonin (5-HT) receptors in vertebrates	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neuropsychopharmacology Reports	6. 最初と最後の頁 75-85
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/npr2.12011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Aonuma H., Totani Y., Sakakibara M., Lukowiak K. and Ito E.	4. 巻 15
2. 論文標題 Comparison of brain monoamine content in three populations of Lymnaea that correlates with taste-aversive learning ability	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biophys. Physicobiol.	6. 最初と最後の頁 129-135
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2142/biophysico.15.0_129	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Takuro Fukumoto, Emi Ikebe, Masao Ogata, Hiroo Hasegawa, Akira Nishizono, Masumichi Saito*, Hidekatsu Iha*, et al.	4. 巻 6(25)
2. 論文標題 Complete Sequences of the HTLV-1 Proviral Genomes from Newly Established ATL cell-lines in Oita Prefecture, Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Genome Announcements	6. 最初と最後の頁 e00090-18
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/genomeA.00090-18	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ida-Yonemochi H, Morita W, Sugiura N, Kawakami R, Morioka Y, Takeuchi Y, Sato T, Shibata S, Watanabe H, Imamura T, Igarashi M, Ohshima H, Takeuchi K	4. 巻 8
2. 論文標題 Craniofacial abnormality with skeletal dysplasia in mice lacking chondroitin sulfate N-acetylgalactosaminyltransferase-1	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 17134-
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-35412-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hagihara H., Catts VS., Katayama Y., Shoji H., Takagi T., Huang FL., Nakao A., Mori Y., Huang KP., Ishii S., Graef IA., Nakayama KI., Shannon Weickert C., Miyakawa T.	4. 巻 43
2. 論文標題 Decreased brain pH as a shared endophenotype of psychiatric disorders	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neuropsychopharmacology	6. 最初と最後の頁 459-68
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/npp.2017.167	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 *Fakruddin M, *Wei FY, Suzuki T, Asano K, Kaieda T, Omori A, Izumi R, Fujimura A, Kaitzuka T, Miyata K, Araki K, Oike Y, Scorrano L, Suzuki T, Tomizawa K.	4. 巻 22(2)
2. 論文標題 Defective Mitochondrial tRNA Taurine Modification Activates Global Proteostress and Leads to Mitochondrial Disease	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cell Rep	6. 最初と最後の頁 482-496
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2017.12.051	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Itoh M, Yamashita M, Kaneko M, Okuno H, Abe M, Yamazaki M, Natsume R, Yamada D, Kaizuka T, Suwa R, Sakimura K, Sekiguchi M, Wada K, Hoshino M, Mishina M, Hayashi T	4. 巻 38
2. 論文標題 Deficiency of AMPA receptor-palmitoylation aggravates seizure susceptibility	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Neuroscience	6. 最初と最後の頁 10220-10235
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.1590-18.2018	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Nakayama S., Yumimoto K., Kawamura A., Nakayama KI.	4. 巻 293(15)
2. 論文標題 Degradation of the endoplasmic reticulum-anchored transcription factor MyRF by the ubiquitin ligase SCFFbxw7?in a manner dependent on the kinase GSK-3	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J. Biol. Chem.	6. 最初と最後の頁 5705-5714
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.RA117.000741	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Zhou L, Hossain MI, Yamazaki M, Abe M, Natsume R, Konno K, Kageyama S, Komatsu M, Watanabe M, Sakimura K, Takebayashi H.	4. 巻 147
2. 論文標題 Deletion of exons encoding carboxypeptidase domain of Nnal results in Purkinje cell degeneration (pcd) phenotype.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Neurochem	6. 最初と最後の頁 557-572
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jnc.14591	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Karnakar Reddy Bonepally, Takahisa Hiruma, Haruki Mizoguchi, Kyohei Ochiai, Shun Suzuki, Hideaki Oikawa, Aki Ishiyama, Rei Hokari, Masato Iwatsuki, Kazuhiko Otaguro, Satoshi Omura, Hiroki Oguri	4. 巻 20(15)
2. 論文標題 Design and De Novo Synthesis of 6-Aza-artemisinins	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Org. Lett.	6. 最初と最後の頁 4667-4671
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.orglett.8b01987	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -



1. 著者名 Nana Tsuchiya, Yunosuke Ryu, Takahiro Muraoka, Hiroki Oguri	4. 巻 16
2. 論文標題 Design of C2-symmetric alkaloidal chiral amphiphiles and configurational effects on self-assembly	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Org. Biomol. Chem.	6. 最初と最後の頁 9305-9313
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C8OB02287A	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Eisuke Sato, Maho Morita, Haruo Ogawa, Masato Iwatsuki, Rei Hokari, Aki Ishiyama, Satoshi ?mura, Arihiro Iwasaki and Kiyotake Suenaga	4. 巻 28 (3)
2. 論文標題 Design, synthesis and anti-malarial activities of synthetic analogs of biselyngbyolide B, a Ca <sup>2+</sup> pump inhibitor from marine cyanobacteria	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Bioorganic & Medicinal Chemistry Letters	6. 最初と最後の頁 298-301
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bmcl.2017.12.050	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yue Ma, Yamato Tsushima, Mai Sakuma, Shogo Sasaki, Keisuke Iida, Sachiko Okabe, Hiroyuki Seimiya, Takatsugu Hirokawa, Kazuo Nagasawa	4. 巻 16
2. 論文標題 Development of G-quadruplex ligand for selective induction of parallel-type topology	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Org. Biomol. Chem.	6. 最初と最後の頁 7375-7382
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C8OB01702F	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Katsutoshi Imamura, Akiko Takaya, Yutaka Suzuki, Masami Nagahama, Tomoko Yamamoto, Torben Heick Jensen, Nobuyoshi Akimitsu	4. 巻 37
2. 論文標題 Diminished nuclear RNA decay upon Salmonella infection upregulates antibacterial noncoding RNAs	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 EMBO Journal	6. 最初と最後の頁 e97723
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15252/embj.201797723	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hara H, Takeda N, Kondo M, Kubota M, Saito T, Maruyama J, Ueno H, Takimoto E, Akazawa H, Morita H, Aburatani H, Hata Y, Uchiyama M, and Komuro I.	4. 巻 3(5)
2. 論文標題 Discovery of a Small Molecule to Increase Cardiomyocytes and Protect the Heart After Ischemic Injury	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 JACC:Basic to Translational Science	6. 最初と最後の頁 639-653
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jacbts.2018.07.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Brew N, Nakamura S, Hale, N. Azhan, A., Davies, G. I. Nitsos, I., Miller, S. L., Walker, D. W., Wong, F. Y.	4. 巻 84(3)
2. 論文標題 Dobutamine treatment reduces inflammation in the preterm fetal sheep brain exposed to acute hypoxia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Pediatr Res	6. 最初と最後の頁 442-450
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41390-018-0045-5	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Nagai, N., Ohguchi, H., Nakaki, R., Matsumura, Y., Kanki, Y., Sakai, J., Aburatani, H., and Minami, T	4. 巻 14(11)
2. 論文標題 Downregulation of ERG and FLI1 expression in endothelial cells triggers endothelial-to-mesenchymal transition	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 PLoS Genet.	6. 最初と最後の頁 e1007826.
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pgen.1007826	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kikuchihara S, Sugio S, Tanaka KF, Watanabe T, Kano M, Yamazaki Y, Watanabe M, Ikenaka K.	4. 巻 147(3)
2. 論文標題 Ectopic positioning of Bergmann glia and impaired cerebellar wiring in Mlcl-over-expressing mice	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Neurochem	6. 最初と最後の頁 344-360
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jnc.14486	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Suda Y, Kuzumaki N, Narita M, Hamada Y, Shibasaki M, Tanaka K, Tamura H, Kawamura T, Kondo T, Yamanaka A, *Narita M.	4. 巻 496(4)
2. 論文標題 Effect of ghrelin on the motor deficit caused by the ablation of nigrostriatal dopaminergic cells or the inhibition of striatal dopamine receptors	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biochemical and Biophysical Research Communications?	6. 最初と最後の頁 1102-1108
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2018.01.145	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Takayama Y, Ando T, Ichikawa J, Haro H	4. 巻 8(1)
2. 論文標題 Effect of Thrombin-Induced MCP-1 and MMP-3 Production Via PAR1 Expression in Murine Intervertebral Discs	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 11320
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-29669-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kusumoto Y, Okuyama H, Shibata T, Konno K, Takemoto Y, Maekawa D, Kononaga T, Ishii T, Akashi-Takamura S, Saitoh SI, Ikebuchi R, Moriya T, Ueda M, Miyake K, Ono S, Tomura M.	4. 巻 30(2)
2. 論文標題 Emp3 分子による免疫制御の解析	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cell Immunol.	6. 最初と最後の頁 43-51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cellimm.2017.12.001	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ahmat Amin MKB, Shimizu A, Zankov DP, Sato A, Kurita S, Ito M, Maeda T, Yoshida T, Sakaue T, Higashiyama S, Kawauchi A, Ogita H.	4. 巻 37
2. 論文標題 Epithelial membrane protein 1 promotes tumor metastasis by enhancing cell migration via copine-III and Rac1	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Oncogene	6. 最初と最後の頁 5416-5434
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41388-018-0286-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ikenoue T, Terakado Y, Zhu C, Liu X, Ohsugi T, Matsubara D, Fujii T, Kakuta S, Kubo S, Shibata T, Yamaguchi K, Iwakura Y, Furukawa Y.	4. 巻 8(1)
2. 論文標題 Establishment and analysis of a novel mouse line carrying a conditional knockin allele of a cancer-specific FBXW7 mutation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 2021
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-19769-1	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka Y, Higurashi N, Shirasu N, Yasunaga S, Moreira KM, Okano H, Hirose S.	4. 巻 31
2. 論文標題 Establishment of a human induced stem cell line (FU002-A) from Dravet syndrome patient carrying heterozygous R1525X mutation in SCN1A gene	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Stem Cell Research	6. 最初と最後の頁 11-15
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.scr.2018.06.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Arakawa, H., & Iguchi, Y.	4. 巻 135
2. 論文標題 Ethological and multi-behavioral analysis of learning and memory performance in laboratory rodent models	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 1-12
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2018.02.001	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Y. Yamashita, Y. Saito, S. Kikkawa, Y. Mutoh, S. Hosoya, I. Azumaya, S. Saito	4. 巻 2019
2. 論文標題 Evaluation of the Steric Bulk of Substituents Utilizing the Shuttling Behavior of [2]Rotaxanes with N-Arylpyrrole Moieties	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 EUR J ORG CHEM	6. 最初と最後の頁 3412-3420
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ejoc.201801476	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Lucas BA, Lavi E, Shiue L, Cho H, Katzman S, Miyoshi K, Siomi MC, Carmel L, Ares M Jr, Maquat LE.	4. 巻 115
2. 論文標題 Evidence for convergent evolution of SINE-directed Staufen-mediated mRNA decay	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Proc Natl Acad Sci U S A.	6. 最初と最後の頁 968-973
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1715531115	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Yamazaki M, Yamada H, Munetsuna E, Ishikawa H, Mizuno G, Mukuda T, Mouri A, Nabeshima T, Saito K, Suzuki K, Hashimoto S, Ohashi K.	4. 巻 32(5)
2. 論文標題 Excess maternal fructose consumption impairs hippocampal function in offspring via epigenetic modification of BDNF promoter	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 FASEB J.	6. 最初と最後の頁 2549-2562
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1096/fj.201700783RR	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ishikawa AW, Komatsu Y, Yoshimura Y	4. 巻 38(36)
2. 論文標題 Experience-Dependent Development of Feature-Selective Synchronization in the Primary Visual Cortex	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Neurosci.	6. 最初と最後の頁 7852-7869
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.0027-18.2018	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ueno H, Fujii K, Suemitsu S, Murakami S, Kitamura N, Wani K, Aoki S, Okamoto M, Ishihara T, Takao K	4. 巻 4
2. 論文標題 Expression of aggrecan components in perineuronal nets in the mouse cerebral cortex	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 IBRO Reports	6. 最初と最後の頁 22-37
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ibror.2018.01.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakashima C, Yamamoto K, Fujiwara-Tani R, Luo Y, Matsushima S, Fujii K, Ohmori H, Sasahira T, Sasaki T, Kitadai Y, Kirita T, Kuniyasu H	4. 巻 109(6)
2. 論文標題 Expression of cytosolic malic enzyme (ME1) is associated with disease progression in human oral squamous cell carcinoma	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cancer Sci	6. 最初と最後の頁 2036-2045
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13594	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nagase R, Inoue D, Pastore A, Fujino T, Hou HA, Yamasaki N, Goyama S, Saika M, Kanai A, Sera Y, Horikawa S, Ota Y, Asada S, Hayashi Y, Kawabata KC, Takeda R, Tien HF, Honda H, Abdel-Wahab O, Kitamura T.	4. 巻 215(6)
2. 論文標題 Expression of mutant Asxl1 perturbs hematopoiesis and promotes susceptibility to leukemic transformation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Exp Med. ?	6. 最初と最後の頁 1729-1747
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1084/jem.20171151	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Nakashima C, Kishi S, Fujiwara-Tani R, Luo Y, Kawahara I, Goto K, Fujii K, Ohmori H, Kuniyasu H	4. 巻 15(6)
2. 論文標題 Expression of the long-chain fatty acid receptor GPR40 was associated with cancer progression in colorectal cancer	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Oncol Lett	6. 最初と最後の頁 8641-8646
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/ol.2018.8383	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Watanabe M, Sugiura Y, Sugiyama E, Narita M, Navratilova E, Kondo T, Uchiyama N, Yamanaka A, Kuzumaki N, Porreca F, *Narita M.	4. 巻 14
2. 論文標題 Extracellular N-acetylaspartylglutamate released in the nucleus accumbens modulates the pain sensation: Analysis using a microdialysis/mass spectrometry integrated system	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Molecular Pain	6. 最初と最後の頁 1744806918754934
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1744806918754934	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -



1. 著者名 Aoyama K, Oshima M, Koide S, Suzuki E, Mochizuki-Kashio M, Kato Y, Tara S, Shinoda D, Hiura N, Nakajima-Takagi Y, Sashida G, Iwama A.	4. 巻 9
2. 論文標題 Ezh1 Targets Bivalent Genes to Maintain Self-Renewing Stem Cells in Ezh2-Insufficient Myelodysplastic Syndrome	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 iScience	6. 最初と最後の頁 161-174
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2018.10.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Wang C, Oshima M, Sato D, Matsui H, Kubota S, Aoyama K, Nakajima-Takagi Y, Koide S, Matsubayashi J, Mochizuki-Kashio M, Nakano-Yokomizo T, Bai J, Nagao T, Kanai A, Iwama A, Sashida G.	4. 巻 128(9)
2. 論文標題 Ezh2 loss propagates hypermethylation at T-cell differentiation-regulating genes to promote leukemic transformation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Clin Invest	6. 最初と最後の頁 3872-86
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1172/JCI94645	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Johmura Y, Maeda I, Suzuki N, Wu W, Goda A, Morita M, Yamaguchi K, Yamamoto M, Nagasawa S, Kojima Y, Tsugawa K, Inoue N, Miyoshi Y, Osako T, Akiyama F, Maruyama R, Inoue JI, Furukawa Y, Ohta T, Nakanishi M.	4. 巻 128(12)
2. 論文標題 Fbxo22-mediated KDM4B degradation determines selective estrogen receptor modulator activity in breast cancer	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Investigation	6. 最初と最後の頁 5603-5619
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1172/JCI121679	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Li Y, Kobayashi K, Murayama K, Kawahara K, Shima Y, Suzuki A, Tani K, Takahashi A.	4. 巻 23
2. 論文標題 FEAT enhances INSL3 expression in testicular Leydig cells	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Genes to cells	6. 最初と最後の頁 952-962
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/gtc.12644	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Masaya Baba, Mitsuhiro Endoh, Wenjuan Ma, Tomomi Kamba, Takashi Minami, Masaru Ishii, Toshio Suda, et al.	4. 巻 33(10)
2. 論文標題 Folliculin Regulates Osteoclastogenesis Through Metabolic Regulation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Bone and Mineral Research	6. 最初と最後の頁 1785-1798
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jbmr.3477	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sulistomo HW, Nemoto T, Yanagita T, Takeya R.	4. 巻 294
2. 論文標題 Formin homology 2 domain-containing 3 (Fhod3) controls neural plate morphogenesis in mouse cranial neurulation by regulating multidirectional apical constriction	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Biol Chem	6. 最初と最後の頁 2924-2934
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.RA118.005471	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Oka R, Ohira M, Suzuki S, Yoshida T, Koide H, Tanaka T, Tatsuno I.	4. 巻 65(2)
2. 論文標題 Fracture risk assessment tool (FRAX) and for the diagnosis of osteoporosis in Japanese middle-aged and elderly women: Chiba bone survey	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Endocr J	6. 最初と最後の頁 193-202
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1507/endocrj.EJ17-0331	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kaneko R, Kakinuma T, Sato S, Jinno-Oue A.	4. 巻 64(6)
2. 論文標題 Freezing sperm in short straws reduces storage space and allows transport in dry ice	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Reprod Dev.	6. 最初と最後の頁 541-545
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1262/jrd.2018-100	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sasaki T, Shirai T, Tsukiji N, Otake S, Tamura S, Ichikawa J, Osada M, Satoh K, Ozaki Y, Suzuki-Inoue K.	4. 巻 16(5)
2. 論文標題 Functional characterization of recombinant snake venom rhodocytin: rhodocytin mutant blocks CLEC-2/podoplanin-dependent platelet aggregation and lung metastasis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Thromb Haemost	6. 最初と最後の頁 960-972
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jth.13987	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ohtsuka J, Oshima H, Ezawa I, Abe R, Oshima M, Ohki R	4. 巻 8
2. 論文標題 Functional loss of p53 cooperates with the in vivo microenvironment to promote malignant progression of gastric cancers	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 2291
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-20572-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hayashida T, Saito Y, Ishii A, Hirose S, Hiraiwa R, Maegaki Y, Ohno K.	4. 巻 40(7)
2. 論文標題 Further characterization of CAPOS/CAOS syndrome with the Glu818Lys mutation in the ATP1A3 gene: A case report	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Brain & Development	6. 最初と最後の頁 576-581
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2018.03.004	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yokoshima Y, Sumitani M, Nishizawa D, Nagashima M, Ikeda K, Kato R, Hozumi J, Abe H, Azuma K, Tsuchida R, Yamada Y, Japanese TR-Cancer Pain Research Group.	4. 巻 38
2. 論文標題 Gamma-aminobutyric acid transaminase genetic polymorphism is a candidate locus for responsiveness to opioid analgesics in patients with cancer pain: An exploratory study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neuropsychopharmacology Report	6. 最初と最後の頁 175-181
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/npr2.12030	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kuriyama Y, Hattori M, Mitsui T, Nakano H, Oikawa D, Tokunaga F, Ishikawa O, Shimizu A.	4. 巻 45(5)
2. 論文標題 Generalized verrucosis caused by various human papillomaviruses in a patient with GATA2 deficiency	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Dermatology	6. 最初と最後の頁 e108-e109
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1346-8138.14149	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka Y, Sone T, Higurashi N, Sakuma T, Suzuki S, Ishikawa M, Yamamoto T, Mitsui J, Tsuji H, Okano H, Hirose S.	4. 巻 28
2. 論文標題 Generation of D1-1 TALEN isogenic control cell line from Dravet syndrome patient iPSCs using TALEN-mediated editing of the SCN1A gene	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Stem Cell Research	6. 最初と最後の頁 100-104
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.scr.2018.01.036	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shiori Miura, Yoshitaka Maeda, Jun Miyamoto, Ena Nakatsukasa, Nobuyoshi Fujisawa, Miki Miwa, Katsuki Nakamura, Kenji Sakimura and Toshikuni Sasaoka	4. 巻 -
2. 論文標題 Generation of functional oocytes of common marmoset by xenotransplantation of ovarian tissue	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Proceedings of International Symposium on Animal Production and Conservation for Sustainable Development 2018	6. 最初と最後の頁 31-33
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Oikawa D, Shiota M, Wanibuchi H, Tokunaga F.	4. 巻 37(4)
2. 論文標題 Generation of rat monoclonal antibodies against a deubiquitinase, ovarian tumor domain-containing protein 1	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Monoclonal Antibodies in Immunodiagnosis and Immunotherapy	6. 最初と最後の頁 180-184
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/mab.2018.0023	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Oikawa D, Shiota M, Tokunaga F, Wanibuchi H.	4. 巻 37(3)
2. 論文標題 Generation of rat monoclonal antibodies specific for DZIP3	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Monoclonal Antibodies in Immunodiagnosis and Immunotherapy	6. 最初と最後の頁 153-157
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/mab.2018.0005	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Orr? C*, Szydlowska M*, Taguchi K*, Zavattari P, Perra A, Yamamoto M, Columbano A	4. 巻 69
2. 論文標題 Genetic inactivation of Nrf2 prevents clonal expansion of initiated cells in a nutritional model of rat hepatocarcinogenesis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Hepatol	6. 最初と最後の頁 635-643
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jhep.2018.05.010	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Ito-Ishida A, Yamalanchili HK, Shao Y, Baker SA, Heckman LD, Lavery LA, Kim JY, Lombardi LM, Sun Y, Liu Z, Zoghbi HY.	4. 巻 21(6)
2. 論文標題 Genome-wide distribution of linker histone H1.0 is independent of MeCP2	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Neuroscience	6. 最初と最後の頁 794-798
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41593-018-0155-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tamura A, Ogasawara T, Fujii Y, Kaneko H, Suzuki S, Inoshita N, Ogawa S, Tanaka T, et al.	4. 巻 103(7)
2. 論文標題 Glucagonoma With Necrolytic Migratory Erythema: Metabolic Profile and Detection of Biallelic Inactivation of DAXX Gene	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Clin Endocrinol Metab	6. 最初と最後の頁 2417-2423
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1210/jc.2017-02646	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishihara S	4. 巻 592(23)
2. 論文標題 Glycans in stem cell regulation: from Drosophila tissue stem cells to mammalian pluripotent stem cells	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 FEBS Lett.	6. 最初と最後の頁 3773-3790
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/1873-3468.1316	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Honda A, Ito Y, Igarashi M.	4. 巻 128
2. 論文標題 Glycoprotein M6a as a signaling transducer in neuronal lipid rafts	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neurosci Res.	6. 最初と最後の頁 19-24
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2017.11.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kawasaki A, Okada M, Tamada A, Okuda S, Nozumi M, Ito Y, Kobayashi D, Yamasaki T, Yokoyama R, Shibata T, Nishina H, Yoshida Y, Fujii Y, Takeuchi K, *Igarashi M	4. 巻 4
2. 論文標題 Growth Cone Phosphoproteomics Reveals that GAP-43 Phosphorylated by JNK Is a Marker of Axon Growth and Regeneration	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 iScience	6. 最初と最後の頁 190-203
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2018.05.019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Maruzuru, Y., T. Ichinohe, R. Sato, K. Miyake, T. Okano, T. Suzuki, T. Koshiba, N. Koyanagi, S. Tsuda, M. Watanabe, J. Arii, A. Kato, and Y. Kawaguchi.	4. 巻 23(2)
2. 論文標題 Herpes Simplex Virus 1 VP22 Inhibits AIM2-Dependent Inflammasome Activation to Enable Efficient Viral Replication	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cell Host Microbe	6. 最初と最後の頁 254-265
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.chom.2017.12.014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Matsumoto A., Nakayama KI.	4. 巻 43
2. 論文標題 Hidden Peptides Encoded by Putative Noncoding RNAs	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cell Struct. Funct.	6. 最初と最後の頁 75-83
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1247/csf.18005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishida KM, Sakakibara K, Iwasaki YW, Yamada H, Murakami R, Murota Y, Kawamura T, Kodama T, Siomi H, Siomi MC.	4. 巻 555
2. 論文標題 Hierarchical roles of mitochondrial Papi and Zucchini in Bombyx germline piRNA biogenesis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature	6. 最初と最後の頁 260-264
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/nature25788	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Katsuya K, Hori Y, Oikawa D, Yamamoto T, Umetani K, Urashima T, Kinoshita T, Ayukawa K, Tokunaga F, Tamaru M.	4. 巻 23(10)
2. 論文標題 High-Throughput Screening for Linear Ubiquitin Chain Assembly Complex (LUBAC) Selective Inhibitors using Homogenous Time-Resolved Fluorescence (HTRF)-Based Assay System	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 SLAS Discovery	6. 最初と最後の頁 1018-1029
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/2472555218793066	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yamauchi Y., Itoh S. et al.	4. 巻 119(6)
2. 論文標題 HipOP mesenchymal population has high potential for repairing injured peripheral nerves	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J. Cell Biochem.	6. 最初と最後の頁 4836-4844
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jcb.26684	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Nakamura, K., Nakamura, Y.	4. 巻 40
2. 論文標題 Hunger and satiety signaling: Modeling two hypothalamomedullary pathways for energy homeostasis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 BioEssays	6. 最初と最後の頁 1700252
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/bies.201700252	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mori R, Tanaka K, Shimokawa I	4. 巻 60(6)
2. 論文標題 Identification and functional analysis of inflammation-related miRNAs in skin wound repair	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Dev Growth Differ	6. 最初と最後の頁 306-315
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/dgd.12542	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kikuchi K, Kozuka-Hata H, Oyama M, Seiki M & Koshikawa N	4. 巻 1731
2. 論文標題 Identification of proteolytic cleavage sites of EphA2 by membrane type-1 matrix metalloproteinase on the surface of cancer cells	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Methods in Molecular Biology	6. 最初と最後の頁 29-37
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-1-4939-7595-2_3	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe T., Ugajin A. and Aonuma H.	4. 巻 5
2. 論文標題 Immediate-early promoter-driven transgenic reporter system for neuroethological researches in a hemimetabolous insect	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 eNeuro	6. 最初と最後の頁 e0016-18
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/ENEURO.0061-18.2018	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yoshio Goshimaa, Shuya Watanabe, Erika Seki, Motokazu Koga, Daiki Masukawa, Fumio Nakamura, Takashi Komori, Nobutaka Arai	4. 巻 148
2. 論文標題 Immunoreactivity of a G protein-coupled l-DOPA receptor GPR143, in Lewy bodies	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 49-53
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2018.12.004	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Shadi Sedghi Masoud, Kazuo Nagasawa	4. 巻 66
2. 論文標題 i-Motif-binding ligand and their effects on the structure and biological functions of i-motif	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Chem. Pharm. Bull.	6. 最初と最後の頁 1091-1103
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1248/cpb.c18-00720	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takeuchi E, Ito-Ishida A, Yuzaki M, Yanagihara D.	4. 巻 8(1)
2. 論文標題 Improvement of cerebellar ataxic gait by injecting Cbln1 into the cerebellum of cbln1-null mice	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Sci. Rep.	6. 最初と最後の頁 6184
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-24490-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Naruse K., Matsuura-Suzuki E., Watanabe M., Iwasaki S.*, Tomari Y.	4. 巻 24(1)
2. 論文標題 In vitro reconstitution of chaperone-mediated human RISC assembly	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 RNA	6. 最初と最後の頁 6-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1261/rna.063891.117	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Hirofumi Shibata, Shingo Komura, Yosuke Yamada, Nao Sankoda, Akito Tanaka, Tomoyo Ukai, Mio Kabata, Satoko Sakurai, Bunya Kuze, Knut Woltjen, Hironori Haga, Yatsuji Ito, Yoshiya Kawaguchi, Takuya Yamamoto, Yasuhiro Yamada	4. 巻 9
2. 論文標題 In vivo reprogramming drives Kras-induced cancer development	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 2081
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-04449-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ikoma Y, Kusumoto-Yoshida I, Yamanaka A, Otsuka Y, Kuwaki T.	4. 巻 9
2. 論文標題 Inactivation of serotonergic neurons in the rostral medullary raphe attenuates stress-induced tachypnea and tachycardia in mice	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Front Physiol	6. 最初と最後の頁 832
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fphys.2018.00832	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okazaki S, Hishimoto A, Otsuka I, Watanabe Y, Numata S, Boku S, Shimmyo N, Kinoshita M, Inoue E, Ohmori T, Someya T, Sora I.	4. 巻 83
2. 論文標題 Increased serum levels and promoter polymorphisms of macrophage migration inhibitory factor in schizophrenia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry	6. 最初と最後の頁 33-41
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.pnpbp.2018.01.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takizawa H*, Hayashi Y	4. 巻 59
2. 論文標題 Inflammation and early hematopoiesis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Rinsho Ketsueki	6. 最初と最後の頁 1955-1961
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11406/rinketsu.59.1955	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hattori M, Ishikawa O, Oikawa D, Amano H, Yasuda M, Kaira K, Ishida-Yamamoto A, Nakano H, Sawamura D, Terawaki SI, Wakamatsu K, Tokunaga F, Shimizu A.	4. 巻 91(1)
2. 論文標題 In-frame Val216-Ser217 deletion of KIT in mild piebaldism causes aberrant secretion and SCF response	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Dermatological Science	6. 最初と最後の頁 35-42
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jdermsci.2018.03.012	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Mikamo M., Kitagawa K., Sakai S., Uchida C., Ohhata T., Nishimoto K., Niida H., Suzuki S., Nakayama KI., Inui N., Suda T., Kitagawa M.	4. 巻 19
2. 論文標題 Inhibiting Skp2 E3 Ligase Suppresses Bleomycin-Induced Pulmonary Fibrosis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J. Mol. Sci.	6. 最初と最後の頁 E474
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms19020474	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Miyagawa Y, Mori T, Goto K, Fujiwara-Tani R, Kishi S, Sasaki T, Fujii K, Ohmori H, Kawahara I, Kuniyasu H	4. 巻 17
2. 論文標題 Intake of medium-chain fatty acids induces oxidative stress and to atrophy the myocardium	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Lipids in Health and Disease	6. 最初と最後の頁 258
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12944-018-0908-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsuyama S, Kage Y, Fujimoto N, Ushijima T, Tsuruda T, Kitamura K, Shiose A, Asada Y, Sumimoto H, Takeya R.	4. 巻 115(19)
2. 論文標題 Interaction between cardiac myosin-binding protein C and formin Fhod3	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Proc Natl Acad Sci U S A.	6. 最初と最後の頁 E4386-E4395
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1716498115	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kusuoka O, Fujiwara-Tani R, Nakashima C, Fujii K, Ohmori H, Mori T, Kishi S, Miyagawa Y, Goto K, Kawahara I, Kuniyasu H	4. 巻 52
2. 論文標題 Intermittent calorie restriction enhances epithelial-mesenchymal transition through alteration of energy metabolism in a mouse tumor model	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Oncology	6. 最初と最後の頁 413-423
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/ijo.2017.4229	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki K., Yamada T, Yamazaki K, Hirota M, Ishihara N, Sakamoto M, Takahashi D, Iijima H, Hase K.	4. 巻 43 (1)
2. 論文標題 Intestinal epithelial cell-specific deletion of $\alpha$ -mannosidase II ameliorates experimental colitis. Cell Struct. Funct	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cell Struct. Funct.	6. 最初と最後の頁 25-39
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1247/csf.17022	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okada T, Minato N, Kanemoto SY, Zempo N, Saiga K, Namikawa K, Kanno S, Ueno H.	4. 巻 67(8)
2. 論文標題 Intimal regeneration after coronary endarterectomy and onlay grafting in coronary artery bypass grafting	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 General thoracic and cardiovascular surgery	6. 最初と最後の頁 677-683
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11748-019-01083-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shimamura M, Yamamoto K, Kurashige T, Nagayama Y	4. 巻 370(2)
2. 論文標題 Intracellular redox status controls spherogenicity, an?in vitro?cancer stem cell marker, in thyroid cancer cell lines	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Experimental Cell research	6. 最初と最後の頁 699-707
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.yexcr.2018.07.036	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Hirata T ; Hishimoto A ; Otsuka I ; Okazaki S ; Boku S ; Kimura A ; Horai T ; Sora I	4. 巻 14
2. 論文標題 Investigation of chromosome Y loss in men with schizophrenia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neuropsychiatr Dis Treat	6. 最初と最後の頁 2115-2122
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/NDT.S172886	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Futatsuki T, Yamashita A, Ikbar KN, Yamanaka A, Arita K, Kakihana Y, *Kuwaki T	4. 巻 8(1)
2. 論文標題 Involvement of orexin neurons in fasting- and central adenosine-induced hypothermia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific reports	6. 最初と最後の頁 2717
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-21252-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shah A., I., A., Mohammad B., A., Ito I., and Ohta K.	4. 巻 19
2. 論文標題 Involvement of Tsukushi in diverse developmental processes.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Cell Communication and Signaling.	6. 最初と最後の頁 205-210
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12079-018-0452-8	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Soma, S., Yoshida, J., Kato, S., Takahashi, Y., Nonomura, S., Sugimura, Y. K., R?os, A., Kawabata, M., Kobayashi, K., Kato, F., Sakai, Y., Isomura, Y.	4. 巻 39(3)
2. 論文標題 Ipsilateral-dominant control of limb movements in rodent posterior parietal cortex	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The Journal of neuroscience	6. 最初と最後の頁 485-502
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.1584-18.2018	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Mouri A, Ukai M, Uchida M, Hasegawa S, Taniguchi M, Ito T, Hida H, Yoshimi A, Yamada K, Kunimoto S, Ozaki N, Nabeshima T, Noda Y.	4. 巻 133
2. 論文標題 Juvenile social defeat stress exposure persistently impairs social behaviors and neurogenesis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neuropharmacology.	6. 最初と最後の頁 23-37
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuropharm	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe Y, Sugano E, Tabata K, Ozaki T, Saito T, Tamai M, Tomita H	4. 巻 496(3)
2. 論文標題 Kinetic profiles of photocurrents in cells expressing two types of channelrhodopsin genes	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun	6. 最初と最後の頁 814-819
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2018.01.149	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takeuchi Y., Kito A. et al.	4. 巻 371(2)
2. 論文標題 Kruppel-Like Factor 4 represses osteoblast differentiation via ciliary Hedgehog signaling	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Exp. Cell Res.	6. 最初と最後の頁 417-425
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.yexcr.2018.09.002	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Sasaki K ; Hall FS ; Uhl GR ; Sora I	4. 巻 9
2. 論文標題 Larger Numbers of Glial and Neuronal Cells in the Periaqueductal Gray Matter of $\mu$ -Opioid Receptor Knockout Mice	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Front Psychiatry	6. 最初と最後の頁 441
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsy.2018.00441	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Zhang Y ; Hishimoto A ; Otsuka I ; Watanabe Y ; Numata S ; Yamamori H ; Boku S ; Horai T ; Someya T ; Ohmori T ; Hashimoto R ; Sora I	4. 巻 103
2. 論文標題 Longer telomeres in elderly schizophrenia are associated with long-term hospitalization in the Japanese population	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Psychiatr Res	6. 最初と最後の頁 161-166
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jpsychires	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ito T, Narugami M, Egawa K, Yamamoto H, Asahina N, Kohsaka S, Ishii A, Hirose S, Shiraishi H.	4. 巻 40(3)
2. 論文標題 Long-term follow up of an adult with alternating hemiplegia of childhood and a p.Gly755Ser mutation in the ATP1A3 gene	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Brain & Development	6. 最初と最後の頁 226-228
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2017.11.007	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Sato S, Uchihara T, Fukuda T, Noda S, Kondo H, Saiki S, Komatsu M, Uchiyama Y, Tanaka K, Hattori N.	4. 巻 8
2. 論文標題 Loss of autophagy in dopaminergic neurons causes Lewy pathology and motor dysfunction in aged mice	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 2813
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-21325-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kimura A, Hishimoto A, Otsuka I, Okazaki S, Boku S, Horai T, Izumi T, Takahashi M, Ueno Y, Shirakawa O, Sora I.	4. 巻 13(1)
2. 論文標題 Loss of chromosome Y in blood, but not in brain, of suicide completers	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0190667
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0190667	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tsukahara, R., Yamamoto, S., Yoshikawa, K., Gotoh, M., Tsukahara, T., Neyama, H., Ishii, S., Akahoshi, N., Yanagida, K., Sumida, H., Araki, M., Araki, K., Yamamura, K. I., Murakami-Murofushi, K., Ueda, H.	4. 巻 136
2. 論文標題 LPA5 signaling is involved in multiple sclerosis-mediated neuropathic pain in the cuprizone mouse model	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J. Pharmacol.Sci.	6. 最初と最後の頁 93-96
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jpshs.2018.01.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shibuya H, Watanabe R, Maeno A, Ichimura K, Tamura M, Wakana S, Shiroishi T, Ohba K, Takeda K, Tomita H, Shibahara S, Yamamoto H	4. 巻 93(2)
2. 論文標題 Melanocytes contribute to the vasculature of the choroid	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Genes Genet Syst	6. 最初と最後の頁 51-58
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1266/ggs.17-00058	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Hideaki ABE, Manabu NATSUMEDA, Yu KANEMARU, Jun WATANABE, Yoshihiro TSUKAMOTO, Masayasu OKADA, Junichi YOSHIMURA, Makoto OISHI, and Yukihiko FUJII	4. 巻 58
2. 論文標題 MGMT Expression Contributes to Temozolomide Resistance in H3K27M-Mutant Diffuse Midline Gliomas and MGMT Silencing to Temozolomide Sensitivity in IDH-Mutant Gliomas	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neurol Med Chir (Tokyo)	6. 最初と最後の頁 290-295
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2176/nmc.ra.2018-0044	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Pernilla Roswall, ----- Akira Orimo, et al.,	4. 巻 24(4)
2. 論文標題 Microenvironmental control of breast cancer subtype elicited by paracrine platelet derived growth factor-CC signaling.,	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nat. Med	6. 最初と最後の頁 463-473
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/nm.4494	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Takeda A, Shinozaki Y, Kashiwagi K, Ohno N, Eto K, Wake H, Nabekura J, Koizumi S.	4. 巻 66
2. 論文標題 Microglia mediate non-cell autonomous cell death of retinal ganglion cells	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 GLIA	6. 最初と最後の頁 2366-2384
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/glia.23475	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kokuda R, Watanabe R, Okuzaki D, Akamatsu H, Oneyama C.	4. 巻 23(8)
2. 論文標題 MicroRNA-137-mediated Src oncogenic signaling promotes cancer progression	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Genes Cells	6. 最初と最後の頁 688-701
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/gtc.12610	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamaki N ; Otsuka I ; Numata S ; Yanagi M ; Mouri K ; Okazaki S ; Boku S ; Horai T ; Ohmori T ; Shirakawa O ; Sora I ; Hishimoto A	4. 巻 269
2. 論文標題 Mitochondrial DNA copy number of peripheral blood in bipolar disorder: The present study and a meta-analysis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Psychiatry Res	6. 最初と最後の頁 115-117
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.psychres	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Takaoka, Y., Konno, M., Koseki, J., Colvin, H., Asai, A., Tamari, K., Satoh, T., Mori, M., Doki, Y., Ogawa, K., Ishii, H.	4. 巻 110
2. 論文標題 Mitochondrial pyruvate carrier 1 expression controls cancer EMT and radioresistance.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cancer Sci.	6. 最初と最後の頁 1331-1339
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13980	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fink J, Jackney A, Matsumoto M, Maekawa T, Nkazato K, Horie S.	4. 巻 29
2. 論文標題 Mobility and biomechanical functions in the aging male: testosterone and the Locomotive Syndrome.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Aging Male	6. 最初と最後の頁 1-8
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13685538.2018.1504914	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Nonomura S, Nishizawa K, Sakai Y, Kawaguchi Y, Kato S, Uchigashima M, Watanabe M, Yamanaka K, Enomoto K, Chiken S, Sano H, Soma S, Yoshida J, Samejima K, Ogawa M, Kobayashi K, Nambu A, *Isomura Y, *Kimura M	4. 巻 99(6)
2. 論文標題 Monitoring and Updating of Action Selection for Goal-Directed Behavior through the Striatal Direct and Indirect Pathways	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neuron	6. 最初と最後の頁 1302-1314
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuron.2018.08.002	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kano M, Watanabe T, Uesaka N, Watanabe M.	4. 巻 17(6)
2. 論文標題 Multiple Phases of Climbing Fiber Synapse Elimination in the Developing Cerebellum	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cerebellum.	6. 最初と最後の頁 722?734
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12311-018-0964-z	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Someya, M. and Ogawa, H.	4. 巻 120
2. 論文標題 Multisensory enhancement of burst activity in an insect auditory neuron	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Neurophysiol.	6. 最初と最後の頁 139-148.
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1152/jn.00798.2017	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -



1. 著者名 Asada S, Goyama S, Inoue D, Shikata S, Mano H, Kitamura T, et al.	4. 巻 9(1)
2. 論文標題 Mutant ASXL1 cooperates with BAP1 to promote myeloid leukaemogenesis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Commun.	6. 最初と最後の頁 2733
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-05085-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hirotaka Watanabe, et al.	4. 巻 23
2. 論文標題 Mutant p53-Expressing Cells Undergo Necroptosis via Cell Competition with the Neighboring Normal Epithelial Cells	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cell Reports	6. 最初と最後の頁 3721-3729
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2018.05.081	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sakajiri Y, Sugano E, Watanabe Y Sakajiri T, Tabata K, Kikuchi T, Tomita H	4. 巻 503(4)
2. 論文標題 Natronomonas pharaonis halorhodopsin Ser81 plays a role in maintaining chloride ions near the Schiff base	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun	6. 最初と最後の頁 2326-2332
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2018.06.156	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Chen S, Weitemier AZ, Zeng X, He L, Wang X, Tao Y, Huang AJY, Hashimotodani Y, Kano M, Iwasaki H, Parajuli LK, Okabe S, Teh DBL, All AH, Tsutsui-Kimura I, Tanaka KF, Liu X, McHugh TJ.	4. 巻 359
2. 論文標題 Near-infrared deep brain stimulation via upconversion nanoparticle-mediated optogenetics	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Science	6. 最初と最後の頁 679-684
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/science.aag1144	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Kageyama S, Saito T, Obata M, Koide RH, Ichimura Y, *Komatsu M.	4. 巻 38
2. 論文標題 Negative regulation of the Keap1-Nrf2 pathway by a p62/Sqstm1 splicing variant	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Mol Cell Biol.	6. 最初と最後の頁 e00642-17
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/MCB.00642-17	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tamiya Y ; Ouchi A ; Chen R ; Miyazawa S ; Akimoto Y ; Kaneda Y ; Sora I	4. 巻 138
2. 論文標題 Neurocognitive Impairments Are More Severe in the Binge-Eating/Purging Anorexia Nervosa Subtype Than in the Restricting Subtype	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Front Psychiatry	6. 最初と最後の頁 9
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsy.2018.00138	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsui S, Sasaki T, Kohno D, Yaku K, Inutsuka A, Yokota-Hashimoto H, Kikuchi O, Suga T, Kobayashi M, Yamanaka A, Harada A, Nakagawa T, Onaka T, Kitamura T.	4. 巻 9(1)
2. 論文標題 Neuronal sirt1 regulates macronutrient-based diet selection through fgf21 and oxytocin signalling in mice.	5. 発行年 2018 年
3. 雑誌名 Nat Commun	6. 最初と最後の頁 4604
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-07033-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Michihiro Igarashi, Motohiro Nozumi, Ling-Gang Wu, Francesca Cella Zanacchi, István Katona, László Barna, Pingyong Xu, Mingshu Zhang, Fudong Xue and Edward Boyden	4. 巻 38(44)
2. 論文標題 New observations in neuroscience using superresolution microscopy	5. 発行年 2018 年
3. 雑誌名 J Neurosci	6. 最初と最後の頁 9459-9467
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.1678-18.2018	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Sasahira T, Nishiguchi Y, Kurihara-Shimomura M, Nakashima C, Kuniyasu H, Kirita T.	4. 巻 144(5)
2. 論文標題 NIPA-like domain containing 1 is a novel tumor-promoting factor in oral squamous cell carcinoma	5. 発行年 2018 年
3. 雑誌名 J Cancer Res Clin Oncol	6. 最初と最後の頁 875-882
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00432-018-2612-x	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Tel-Karthaus N, Kers-Rebel ED, Looman MW, Ichinose H, de Vries CJ, Ansems M	4. 巻 9
2. 論文標題 Nuclear Receptor Nur77 Deficiency Alters Dendritic Cell Function	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Front Immunol	6. 最初と最後の頁 1797
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2018.01797	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Nakatsumi H., Oka T., Higa T., Shirane M., Nakayama KI.	4. 巻 23
2. 論文標題 Nuclear-cytoplasmic shuttling protein PP2AB56 contributes to mTORC1-dependent dephosphorylation of FOXK1	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Genes Cells	6. 最初と最後の頁 599-605
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/gtc.12597	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Thannickal TC, John J, Shan L, Swaab DF, Wu MF, Ramanathan L, McGregor R, Chew KT, Cornford M, Yamanaka A, Inutsuka A, Fronczek R, Lammers GJ, Worley PF, Siegel JM.	4. 巻 10
2. 論文標題 Opiates increase the number of hypocretin-producing cells in human and mouse brain and reverse cataplexy in a mouse model of narcolepsy	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Sci Transl Med	6. 最初と最後の頁 eaao4953
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/scitranslmed.aao4953	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Tashima R, Koga K, Sekine M, Kanehisa K, Kohro Y, Tominaga K, Matsushita K, Tozaki-Saitoh H, Fukazawa Y, Inoue K, Yawo H, Furue H, Tsuda M.	4. 巻 5(1)
2. 論文標題 Optogenetic Activation of Non-Nociceptive A $\beta$ Fibers Induces Neuropathic Pain-Like Sensory and Emotional Behaviors after Nerve Injury in Rats.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 eNeuro	6. 最初と最後の頁 ENEURO. 0450-17
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/ENEURO.0450-17.2018	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Asano T, Igarashi H, Ishizuka T, Yawo H	4. 巻 12
2. 論文標題 Organelle Optogenetics: Direct Manipulation of Intracellular Ca <sup>2+</sup> Dynamics by Light	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Front Neurosci.	6. 最初と最後の頁 561
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2018.00561	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishimura M, Takemoto M, Song W-J.	4. 巻 223(4)
2. 論文標題 Organization of auditory areas in the superior temporal gyrus of marmoset monkeys revealed by real-time optical imaging	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Brain Structure and Function	6. 最初と最後の頁 1599-1614
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00429-017-1574-0	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto R, Osawa T, Sasaki Y, Yamamoto S et al.	4. 巻 9(12)
2. 論文標題 Overexpression of p54nrb/NONO induces differential EPHA6 splicing and contributes to castration-resistant prostate cancer growth	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Oncotarget	6. 最初と最後の頁 10510-10524
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/oncotarget.24063	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Nagano H, Hashimoto N, Nakayama A, Suzuki S, Miyabayashi Y, Yamato A, Higuchi S, Fujimoto M, Sakuma I, Beppu M, Yokoyama M, Suzuki Y, Sugano S, Ikeda K, Tatsuno I, Manabe I, Yokote K, Inoue S, Tanaka T.	4. 巻 115(33)
2. 論文標題 p53-inducible DPYSL4 associates with mitochondrial supercomplexes and regulates energy metabolism in adipocytes and cancer cells	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Proc Natl Acad Sci U S A.	6. 最初と最後の頁 8370-8375
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1804243115	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sánchez-Martín P, Komatsu M.	4. 巻 131
2. 論文標題 p62/SQSTM1 - steering the cell through health and disease	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Cell Sci.	6. 最初と最後の頁 jcs222836
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1242/jcs.222836	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sánchez-Martín P, Saito T, Komatsu M.	4. 巻 286(1)
2. 論文標題 p62/SQSTM1: 'Jack of all trades' in health and cancer	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 FEBS J.	6. 最初と最後の頁 8-23
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/febs.14712	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kajiwara C, Fumoto K, Kimura H, Nojima S, Asano K, Odagiri K, Yamasaki M, Hikita H, Takehara T, Doki Y, Morii E, Kikuchi A.	4. 巻 78
2. 論文標題 p63-dependent Dickkopf3 expression promotes esophageal cancer cell proliferation via CKAP4	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cancer Res.	6. 最初と最後の頁 3471-3484
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/0008-5472.CAN-18-1749	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Sasahira T, Kurihara M, Nishiguchi Y, Nakashima C, Kirita T, Kuniyasu H	4. 巻 70(4)
2. 論文標題 Pancreatic adenocarcinoma upregulated factor has oncogenic functions in oral squamous cell carcinoma	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Histopathol	6. 最初と最後の頁 539-548
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/his.13097	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Heiss JE, Yamanaka A, Kilduff TS.	4. 巻 5
2. 論文標題 Parallel arousal pathways in the lateral hypothalamus.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 eNeuro	6. 最初と最後の頁 ENEURO. 0228-18
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/ENEURO.0228-18.2018	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Black SW, Sun JD, Santiago P, Laihsu A, Kimura N, Yamanaka A, Bersot R, Humphries PS	4. 巻 41(9)
2. 論文標題 Partial ablation of the orexin field induces a sub-narcoleptic phenotype in a conditional mouse model of orexin neurodegeneration	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Sleep	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/sleep/zsy116	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Hayashi Y, Zhang Y, Yokota A, Yan X, Liu J, Choi K, Li B, Sashida G, Peng Y, Xu Z, Huang R, Zhang L, Freudiger G, Wang J, Dong Y, Zhou Y, Wang J, Wu LY, Bu J, Chen A, Zhao X, Sun X, Chetal K, Olsson A, et al.	4. 巻 8(11)
2. 論文標題 Pathobiologic Pseudohypoxia as a Putative Mechanism Underlying Myelodysplastic Syndromes.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cancer Discovery	6. 最初と最後の頁 1438-57
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/2159-8290.CD-17-1203	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する



1. 著者名 Yukawa T, Iwakura Y, Takei N, Saito M, Watanabe Y, Toyooka K, Igarashi, M, Niizato K, Oshima K, Kunii Y, Yabe H, Matsumoto J, Wada A, Hino M, Iritani S, Niwa S, Takeuchi R, Takahashi H, Kakita A, Someya T, *Nawa H	4. 巻 270
2. 論文標題 Pathological alterations of chondroitin sulfate moiety in postmortem hippocampus of patients with schizophrenia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Psychiatry Res	6. 最初と最後の頁 940-946
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.psychres.2018.10.062	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Liao D, Wang Q, He J, Alexander DB, Abdelgied M, El-Gazzar AM, Futakuchi M, Suzui M, Kanno J, Hirose A, Xu J, Tsuda H	4. 巻 31(10)
2. 論文標題 Persistent Pleural Lesions and Inflammation by Pulmonary Exposure of Multiwalled Carbon Nanotubes	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Chem Res Toxicol	6. 最初と最後の頁 1025-1031
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.chemrestox.8b00067	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Yu Chen, Masahiro Takikawa, Hiroyuki Aburatani, Rieko Ohki, et al.	4. 巻 109
2. 論文標題 PHLDA1, another PHLDA family protein that inhibits Akt.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 3532-3542
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13796	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yashiro R, Murota Y, Nishida KM, Yamashiro H, Fujii K, Ogai A, Yamanaka S, Negishi L, Siomi H, Siomi MC.	4. 巻 23
2. 論文標題 Piwi Nuclear Localization and Its Regulatory Mechanism in Drosophila Ovarian Somatic Cells	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cell Reports	6. 最初と最後の頁 3647-3657
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2018.05.051	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tran HQ, Lee Y, Shin EJ, Jang CG, Jeong JH, Mouri A, Saito K, Nabeshima T, Kim HC.	4. 巻 55(10)
2. 論文標題 PKC $\delta$ Knockout Mice Are Protected from Dextromethorphan-Induced Serotonergic Behaviors in Mice: Involvements of Downregulation of 5-HT1A Receptor and Upregulation of Nrf2-Dependent GSH Synthesis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Mol Neurobiol.	6. 最初と最後の頁 7802-7821
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12035-018-0938-7	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Morita M, Sato T, Nomura M, Sakamoto Y, Inoue Y, Matsumoto M, Nakayama KI, Tanuma N. et. al.	4. 巻 33(3)
2. 論文標題 Pkm1 confers metabolic advantages and promotes cell-autonomous tumor cell growth	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cancer Cell	6. 最初と最後の頁 355-367
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ccell.2018.02.004	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 DiRienzo, N. and Aonuma H.	4. 巻 138
2. 論文標題 Plasticity in extended phenotype increases offspring defense despite individual variation in web structure and behavior	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Animal Behav.	6. 最初と最後の頁 9-17
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.anbehav.2018.01.022	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Saito M, Ichikawa J, Ando T, Schoenecker JG, Ohba T, Koyama K, Suzuki-Inoue K, Haro H.	4. 巻 33(11)
2. 論文標題 Platelet-Derived TGF- $\beta$ Induces Tissue Factor Expression via the Smad3 Pathway in Osteosarcoma Cells	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Bone Miner Res.	6. 最初と最後の頁 2048-2058
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jbmr	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Tamari, K., Konno, M., Asai, A., Koseki., Jun., Hayashi, K., Kawamoto, K., Murai, N., Matsufuji, S., Isohashi, F., Satoh, T., Goto, N., Tanaka, S., Doki, Y., Mori, M., Ogawa, K., Ishii, H.	4. 巻 4
2. 論文標題 Polyamine flux suppresses histone lysine demethylases and enhances ID1 expression in cancer stem cells	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cell Death Discovery	6. 最初と最後の頁 104
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41420-018-0117-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sato, D. X and M. Kawata.	4. 巻 2
2. 論文標題 Positive and balancing selection on SLC18A1 gene associated with psychiatric disorders and human-unique personality traits	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Evolution Letters	6. 最初と最後の頁 499-510
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/evl3.81	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fink J, Matsumoto M, Tamura Y.	4. 巻 161
2. 論文標題 Potential application of testosterone replacement therapy as treatment for obesity and type 2 diabetes in men	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Steroids	6. 最初と最後の頁 161-166.
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.steroids.2018.08.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koide H, Shiga A, Komai E, Yamato A, Fujimoto M, Tamura A, Kono T, Nakayama A, Takiguchi T, Higuchi S, Sakuma I, Nagano H, Hashimoto N, Suzuki S, Takeda Y, Shibuya M, Nishioka H, Yamada S, Inoshita N, Ishiwatari N, Horiguchi K, Yokote K, Tanaka T.	4. 巻 57(3)
2. 論文標題 Prednisolone-responsive Postpartum IgG4-related Hypophysitis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Intern Med	6. 最初と最後の頁 367-375
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Miyazawa, Y., Takahashi, Y., Watabe, A.M. and Kato F.	4. 巻 14
2. 論文標題 Predominant synaptic potentiation and activation of the right central amygdala are independent of bilateral paracrachial activation in the hemilateral trigeminal inflammatory pain model of rats	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Molecular Pain	6. 最初と最後の頁 1744806918807102
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1744806918807102	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ng IK, Lee J, Ng C, Kosmo B, Chiu L, Seah E, Mok MMH, Tan K, Osato M, Chng WJ, Yan B, Tan LK.	4. 巻 6
2. 論文標題 Preleukemic and second-hit mutational events in an acute myeloid leukemia patient with a novel germline RUNX1 mutation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biomark Res.	6. 最初と最後の頁 16
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40364-018-0130-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Iwamoto T, Ishiyama E, Ishida K, Yamashita T, Tomita H, Ozaki T	4. 巻 504(2)
2. 論文標題 Presence of calpain-5 in mitochondria	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun	6. 最初と最後の頁 454-459
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2018.08.144	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kishi S, Fujiwara-Tani R, Luo Y, Kawahara I, Goto K, Fujii K, Ohmori H, Nakashima C, Sasaki T, Kuniyasu H	4. 巻 15
2. 論文標題 Pro-metastatic signaling of elaidic acid, a trans fatty acid, is associated with lipid rafts	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Oncology Letters	6. 最初と最後の頁 4423-4426
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/ol.2018.7817	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Abe K, Yawo H.	4. 巻 13
2. 論文標題 Quantitative study of the somatosensory sensitization underlying cross-modal plasticity	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 PLoS One.	6. 最初と最後の頁 e0208089
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0208089	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tocan V, Ohkubo K, Higashi K, Toda N, Kojima-Ishii K, Nishiyama K, Ishimura M, Takada H, Sakamoto O, Sasaki F, Yoshimura K, Hirose S, Ohga S.	4. 巻 59(4)
2. 論文標題 Reappraising newborn screening for cobalamin C disorder	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Pediatrics & Neonatology	6. 最初と最後の頁 415-417
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.pedneo.2017.11.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Motohiro Kojima, Yu Chen, Koji Ikeda, Yuichiro Tsukada, Daigoro Takahashi, Shingo Kawano, Kota Amemiya, Masaaki Ito, Rieko Ohki, Atsushi Ochiai.	4. 巻 9(1)
2. 論文標題 Recommendation of long-term and systemic management according to the risk factors in rectal NETs patients.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 2404
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-37707-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sakamoto, K., Katayama, R., Asaka, R., Sakata, S., Baba, S., Nakasone, H., Takakuwa, E., Yamazaki, R., Takizawa, J., Maeda, T., Narita, M., Izutsu, K., Kanda, Y., Ohshima, K. and *Takeuchi, K.,	4. 巻 32
2. 論文標題 Recurrent 8q24 rearrangement in blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm: association with immunoblastoid cytology, MYC expression, and drug response	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Leukemia	6. 最初と最後の頁 2590?2603
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41375-018-0154-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe E, Fujita T, Shimono M, Koike H, Yasumoto S, Hirose S.	4. 巻 12
2. 論文標題 Recurrent autonomic and sensory neuropathy in a patient with anti-ganglionic acetylcholine receptor antibodies	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 eNeurologicalSci	6. 最初と最後の頁 36-38
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ensci.2018.08.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shen YC, Sasaki T, Matsuyama T, Yamashita T, Shichida Y, Okitsu T, Yamano Y, Wada A, Ishizuka T, Yawo H, Imamoto Y.	4. 巻 57(38)
2. 論文標題 Red-Tuning of the Channelrhodopsin Spectrum Using Long Conjugated Retinal Analogues	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biochemistry	6. 最初と最後の頁 5544-5556
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.biochem.8b00583	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Mon, E.E., *Wei, F.-Y., Ahmad, R.N.R., Yamamoto, T., Moroishi, T., *Tomizawa, K.	4. 巻 69(2)
2. 論文標題 Regulation of mitochondrial iron homeostasis by sideroflexin 2	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J. Physiol. Sci.	6. 最初と最後の頁 359-373
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12576-018-0652-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kurataka Otsuka, Yusuke Yamamoto, Takahiro Ochiya	4. 巻 9(37)
2. 論文標題 Regulatory role of resveratrol, a microRNA-controlling compound, in HNRNPA1 expression, which is associated with poor prognosis in breast cancer	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Oncotarget	6. 最初と最後の頁 24718-24730
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/oncotarget.25339	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Jinnai, W. Nakamura, S. Koyano, K. Yamato, S. Wakabayashi, T. Htun, Y. Nakao, Y. Iwase, T. Nakamura, M. Yasuda, S. Ueno, M. Miki, T. Kusaka T	4. 巻 40(8)
2. 論文標題 Relationship between prolonged neural suppression and cerebral hemodynamic dysfunction during hypothermia in asphyxiated piglets	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Brain Dev	6. 最初と最後の頁 649-661
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2018.04.010	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Manabu Natsumeda, Kunio Motohashi, Masayasu Okada, Tsutomu Kobayashi, Hiroshi Aoki, Hitoshi Takahashi, Akiyoshi Kakita, Koichiro Okamoto, Tsutomu Nakada, Yukihiko Fujii, et al.	4. 巻 41(2)
2. 論文標題 Reliable diagnosis of IDH-mutant glioblastoma by 2-hydroxyglutarate detection: a study by 3-T magnetic resonance spectroscopy	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neurosurg Rev,	6. 最初と最後の頁 641-647
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10143-017-0908-y	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Awakawa, T., Fujioka, T., Zhang, L., Hoshino, S., Hu, Z., Hashimoto, J., Kozono, I., Ikeda, H., Shin-ya, K., Liu, W., Abe, I.	4. 巻 9
2. 論文標題 Reprogramming of the antimycin NRPS-PKS assembly lines inspired by gene evolution. Nat Commun	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Communication	6. 最初と最後の頁 3534
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-05877-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hozumi J, Sumitani M, Nishizawa D, Nagashima M, Ikeda K, Abe H, Kato R, Kusakabe Y, Yamada Y	4. 巻 128
2. 論文標題 Resistin Is a Novel Marker for Postoperative Pain Intensity	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Anesthesia & Analgesia	6. 最初と最後の頁 563-568
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1213/ANE.0000000000003363	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yuto Yoshida, Mitsuyuki Nakao, Norihiro Katayama	4. 巻 39
2. 論文標題 Resting-state functional connectivity analysis of the mouse brain using intrinsic optical signal imaging of cerebral blood volume dynamics	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Physiological Measurement	6. 最初と最後の頁 54003
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1361-6579/aac033	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Uesaka N, Abe M, Konno K, Yamazaki M, Sakoori K, Watanabe T, Kao TH, Mikuni T, Watanabe M, Sakimura K, Kano M.	4. 巻 97(4)
2. 論文標題 Retrograde Signaling from Progranulin to Sort1 Counteracts Synapse Elimination in the Developing Cerebellum	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neuron	6. 最初と最後の頁 796-805
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuron.2018.01.018	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Miyazaki K, Miyazaki KW, Yamanaka A, Tokuda T, Tanaka KF, Doya K.	4. 巻 9
2. 論文標題 Reward probability and timing uncertainty alter the effect of dorsal raphe serotonin neurons on patience	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nat Commun	6. 最初と最後の頁 2048
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-04496-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ide S ; Ikekubo Y ; Hua J ; Takamatsu Y ; Uhi GR ; Sora I	4. 巻 38
2. 論文標題 Reward-enhancing effect of methylphenidate is abolished in dopamine transporter knockout mice: A model of attention-deficit/hyperactivity disorder	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neuropsychopharmacol Rep	6. 最初と最後の頁 149-153
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/npr2.12020	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ito, N., Katoh, K., Kushige, H., Saito, Y., Umemoto, T., Matsuzaki, Y., Kiyonari, H., Kobayashi, D., Soga, M., Era, T., Araki, N., Furuta, Y., Suda, T., Kida, Y, and *Ohta,	4. 巻 8
2. 論文標題 Ribosome incorporation into somatic cells promotes transdifferentiation towards multipotency	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports,	6. 最初と最後の頁 1634
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-20057-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Morinaga T, Yamaguchi N, Nakayama Y, Tagawa M, Yamaguchi N	4. 巻 19(6)
2. 論文標題 Role of Membrane Cholesterol Levels in Activation of Lyn upon Cell Detachment	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Int J Mol Sci.	6. 最初と最後の頁 E1811
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms19061811	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 *Igarashi M, Takeuchi K, Sugiyama S	4. 巻 119
2. 論文標題 Roles of CSGalNAcT1, a key enzyme in regulation of CS synthesis, in neuronal regeneration and plasticity.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neurochem Int	6. 最初と最後の頁 77-83
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuint.2017.10.001	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Takuma Watanabe, Haruka Abe, Yuichiro Mutoh, and Shinichi Saito	4. 巻 24
2. 論文標題 Ruthenium-Catalyzed Cycloisomerization of 2-Alkynylstyrenes via 1,2-Carbon Migration that Leads to Substituted Naphthalenes	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 CHEMISTRY-A EUROPEAN JOURNAL	6. 最初と最後の頁 11545-11549
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/chem.201802413	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Hashimoto Y, Hata T, Tada M, Iida M, Watari A, Okada Y, Doi T, Kuniyasu H, Yagi K, Kondoh M	4. 巻 117
2. 論文標題 Safety evaluation of a human chimeric monoclonal antibody that recognizes the extracellular loop domain of claudin-2.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Eur J Pharm Sci	6. 最初と最後の頁 161-167
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ejps.2018.02.016	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Koso H, Nishinakamura R, Watanabe S	4. 巻 -
2. 論文標題 Sall1 regulates microglial morphology cell autonomously in the developing retina	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Adv Exp Med Biol	6. 最初と最後の頁 209-215
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-3-319-75402-4_26	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Eguchi N, Sora I, Muguruma K.	4. 巻 498(4)
2. 論文標題 Self-organizing cortex generated from human iPSCs with combination of FGF2 and ambient oxygen	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun.	6. 最初と最後の頁 729-735
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2018.03.049	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tominaga, K., Minato, H., Murayama, T., Sasahara, A., Nishimura, T., Kiyokawa, E., Kanauchi, H., Shimizu, S., Sato, A., Nishioka, K., Tsuji, E., Yano, M., Ogawa, T., Ishii, H., Mori, M., Akashi, K., Okamoto, K., Tanabe, M., Tada, K., Tojo, A., Gotoh, N.	4. 巻 116
2. 論文標題 Semaphorin signaling via MICAL3 induces symmetric cell division to expand breast cancer stem-like cells	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Proc. Natl. Acad. Sci. U. S. A.	6. 最初と最後の頁 625-630
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1806851116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kikusui T, Kajita M, Otsuka N, Hattori T, Kumazawa K, Watarai A, Nagasawa M, Inutsuka A, Yamanaka A, Matsuo N, Covington HE 3rd, *Mogi K.	4. 巻 346
2. 論文標題 Sex differences in olfactory-induced neural activation of the amygdala	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Behavioural Brain Research	6. 最初と最後の頁 96-104
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbr.2017.11.034	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Matsushima-Otsuka S, Fujiwara-Tani R, Sasaki T, Ohmori H, Nakashima C, Kishi S, Nishiguchi Y, Fujii K, Luo Y, Kuniyasu H	4. 巻 9(93)
2. 論文標題 Significance of intranuclear angiotensin-II type 2 receptor in oral squamous cell carcinoma	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Oncotarget	6. 最初と最後の頁 36561-36574
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/oncotarget.26337	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fukuda M, Yoshizawa T, Karim MF, Sobuz SU, Korogi W, Kobayashi D, Okanishi H, Tasaki M, Sawa T, Oike Y, Araki N, Takeda S, Mizuta H, Yamagata K	4. 巻 9
2. 論文標題 SIRT7 has a critical role in bone formation by regulating lysine acylation of SP7/Osterix	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nat. Commun.	6. 最初と最後の頁 2833
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-05187-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Korogi W, Yoshizawa T, Karim MF, Tanoue H, Yugami M, Sobuz SU, Hinoi E, Sato Y, Oike Y, Mizuta H, Yamagata K	4. 巻 496
2. 論文標題 SIRT7 is an important regulator of cartilage homeostasis and osteoarthritis development.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun	6. 最初と最後の頁 891-897
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2018.01.129	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Miyasato Y, Yoshizawa T, Sato Y, Nakagawa T, Miyasato Y, Kakizoe Y, Kuwabara T, Adachi M, Lanni A, Braun T, Komohara Y, Mukoyama M, Yamagata K	4. 巻 8
2. 論文標題 Sirtuin 7 deficiency ameliorates cisplatin-induced acute kidney injury through regulation of the inflammatory responses	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 5927
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-24257-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Islam MS, Wei FY, Ohta K, Shigematsu N, Fukuda T, Tomizawa K, Yoshizawa T, Yamagata K	4. 巻 495
2. 論文標題 Sirtuin 7 is involved in the consolidation of fear memory in mice.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun	6. 最初と最後の頁 261-266
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2017.10.159	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Tsuge M, Osaki M, Sasaki R, Hirahata M, Okada F	4. 巻 19(3)
2. 論文標題 SK-216, a novel inhibitor of plasminogen activator inhibitor-1, suppresses lung metastasis of human osteosarcoma	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Int J Mol Sci	6. 最初と最後の頁 736
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms19030736	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakayama T, Ishii A, Yoshida T, Nasu H, Shimojima K, Yamamoto T, Kure S, Hirose S.	4. 巻 176(3)
2. 論文標題 Somatic mosaic deletions involving SCN1A cause Dravet syndrome	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 American Journal of Medical Genetics	6. 最初と最後の頁 657-662
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ajmg.a.38596	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -



1. 著者名 Mitsuko Furuya, Hironori Kobayashi, Masaya Baba, Takaaki Ito, Reiko Tanaka, Yukio Nakatani	4. 巻 11
2. 論文標題 Splice-site mutation causing partial retention of intron in the FLCN gene in Birt-Hogg-Dub? syndrome: a case report	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 BMC medical genomics	6. 最初と最後の頁 42
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12920-018-0359-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sumiyoshi K, Koso H, Watanabe S.	4. 巻 109(5)
2. 論文標題 Spontaneous development of intratumoral heterogeneity in a transposon-induced mouse model of glioma	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cancer Sci.	6. 最初と最後の頁 1513-1523
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13579	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Enjoji S, Yabe R, Tsuji S, Yoshimura K, Kawasaki H, Sakurai M, Sakai Y, Takenouchi H, Yoshino S, Hazama S, Nagano H, Oshima H, Oshima M, Vitek MP, Matsuura T, Hippo Y, Usui T, Ohama T*, Sato K	4. 巻 16(3)
2. 論文標題 Stemness Is Enhanced in Gastric Cancer by a SET/PP2A/E2F1 Axis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Mol Cancer Res	6. 最初と最後の頁 554-563
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/1541-7786.MCR-17-0393	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 T. Yamada, M. Matsuda, M. Seki, M. Hirose, T. Kikuchi	4. 巻 23
2. 論文標題 Stereopinic acids A-C, new carboxylic acids produced by a marine alga-derived fungus	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Molecules	6. 最初と最後の頁 1336
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/molecules23061336	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shimizu Y1, Tamada S1, Kato M1, Takeyama Y1, Fujioka M2, Kakehashi A2, Nakatani T1, Wanibuchi H2, Gi M2.	4. 巻 16(6)
2. 論文標題 Steroid sulfatase promotes invasion through epithelial-mesenchymal transition and predicts the progression of bladder cancer	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Exp Ther Med	6. 最初と最後の頁 4463-4470
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/etm.2018.6787	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Zhang, Z., U. Ohto, T. Shibata, M. Taoka, Y. Yamauchi, R. Sato, N. M. Shukla, S. A. David, T. Isobe, K. Miyake, and T. Shimizu.	4. 巻 25(12)
2. 論文標題 Structural Analyses of Toll-like Receptor 7 Reveal Detailed RNA Sequence Specificity and Recognition Mechanism of Agonistic Ligands	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cell Rep	6. 最初と最後の頁 3371-3381
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2018.11.081	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ishida, H., U. Ohto, T. Shibata, K. Miyake, and T. Shimizu.	4. 巻 592(15)
2. 論文標題 Structural basis for species-specific activation of mouse Toll-like receptor 9	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 FEBS Lett	6. 最初と最後の頁 2636-2646
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/1873-3468.13176	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kato K, Nishimasu H, Oikawa D, Hirano S, Hirano H, Kasuya G, Ishitani R, Tokunaga F, Nureki O.	4. 巻 9
2. 論文標題 Structural insights into cGAMP degradation by Ecto-nucleotide pyrophosphatase phosphodiesterase 1	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 4424
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-06922-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Miyata S, Nadanaka S, Igarashi M, *Kitagawa H	4. 巻 12
2. 論文標題 Structural variation of chondroitin sulfate chains contributes to molecular heterogeneity of perineuronal nets	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Front Integr Neurosci	6. 最初と最後の頁 3
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnint.2018.00003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki T, Minerva D, Nishiyama K, Koshikawa N, Chaplain MAJ.	4. 巻 109
2. 論文標題 Study on the tumor-induced angiogenesis using mathematical models	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 15-23
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13395	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Akatsuka S, Li GH, Toyokuni S	4. 巻 52
2. 論文標題 Superiority of rat over murine model for studies on the evolution of cancer genome	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Free Radical Research	6. 最初と最後の頁 1323-1327
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/10715762.2018.1467562	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Hashimotodani Y, Karube F, Yanagawa Y, Fujiyama F, Kano M	4. 巻 25
2. 論文標題 Supramammillary Nucleus Afferents to the Dentate Gyrus Co-release Glutamate and GABA and Potentiate Granule Cell Output	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cell Rep.	6. 最初と最後の頁 2704-2715
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2018.11.016	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hayakawa, K., Hanaki, Y., Tokuda, H., Yanagita, R. C., Nakagawa, Y., Okamura, M., Dan, S. and Irie, K.	4. 巻 97(1)
2. 論文標題 Synthesis and biological activities of acetal analogs at position 3 of 10-methyl-aplog-1, a potential anti-cancer lead derived from debromoaplysiatoxin	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Heterocycles	6. 最初と最後の頁 478-492
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3987/COM-18-S(T)37	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Tutomu Fukuda, Minoru Komure, Gen Onodera, Masanari Kimura, Masatomo Iwao	4. 巻 97 (2)
2. 論文標題 Synthesis of 4,5-disubstituted pyrano[3,4-b]pyrrol-7(1H)-ones via Sonogashira/Hagihara cross-coupling of N-benzenesulfonyl-3-bromo-1H-pyrrole-2-carboxylate and subsequent iodine-mediated cyclization	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Heterocycles	6. 最初と最後の頁 916-930
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3987/COM-18-S(T)68	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kuan JW, Su AT, Leong CF, Osato M, Sashida G.	4. 巻 108(5)
2. 論文標題 Systematic review of pre-clinical chronic myeloid leukaemia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Int J Hematol.	6. 最初と最後の頁 465-484
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12185-018-2528-x	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Kai Kitamura, Hiroaki Itoh, Kaori Sakurai, Shingo Dan, Masayuki Inoue	4. 巻 140(38)
2. 論文標題 Target Identification of Yaku' amide B and Its Two Distinct Activities against Mitochondrial FoF1-ATP Synthase	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of the American Chemical Society	6. 最初と最後の頁 12189-12199
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/jacs.8b07339	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Igarashi H, Ikeda K, Onimaru H, Kaneko R, ..., Yawo H.	4. 巻 8
2. 論文標題 Targeted expression of step-function opsins in transgenic rats for optogenetic studies	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 5435
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-23810-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 de Kerckhove M, Tanaka K, Umehara T, Martin P, Shimokawa I, Mori R, et al.	4. 巻 10(10)
2. 論文標題 Targeting miR-223 in neutrophils enhances the clearance of Staphylococcus aureus in infected wounds	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 EMBO Mol Med	6. 最初と最後の頁 e9024
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15252/emmm.201809024	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kana Okada, Kayo Nishizawa, Susumu Setogawa, Kouichi Hashimoto, Kazuto Kobayashi	4. 巻 47(10)
2. 論文標題 Task-dependent function of striatal cholinergic interneurons in behavioural flexibility	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Eur J Neurosci	6. 最初と最後の頁 1174-1183
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ejn.13768	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ushijima T, Fujimoto N, Matsuyama S, Kan-o M, Kiyonari H, Shioi G, Kage Y, Yamasaki S, Takeya R, Sumimoto H.	4. 巻 293
2. 論文標題 The actin-organizing formin protein Fhod3 is required for postnatal development and functional maintenance of the adult heart in mice	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Biol Chem	6. 最初と最後の頁 148-162
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.M117.813931	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kita Y., Katayama Y., Shiraishi T., Oka T., Sato T., Suyama M., Ohkawa Y., Miyata K., Oike Y., Shirane M., Nishiyama M., Nakayama KI.	4. 巻 23
2. 論文標題 The autism-related protein CHD8 cooperates with C/EBP $\beta$ to regulate adipogenesis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cell Rep.	6. 最初と最後の頁 1988-2000
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2018.04.050	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamaguchi T, Suzuki T, Sato T, Takahashi A, Komatsu M, Shimizu S, Ito H, Suzuki Y, Penninger JM, Yamamoto T, Imai Y, Kuba K, et al.	4. 巻 11
2. 論文標題 The CCR4-NOT deadenylase complex controls Atg7-dependent cell death and heart function	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Sci Signal.	6. 最初と最後の頁 eaaan3638
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/scisignal.aan3638	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Pelka, K., D. Bertheloot, E. Reimer, K. Phulphagar, S. V. Schmidt, A. Christ, R. Stahl, N. Watson, K. Miyake, N. Hacohen, A. Haas, M. M. Brinkmann, A. Marshak-Rothstein, F. Meissner, and E. Latz.	4. 巻 48(5)
2. 論文標題 The Chaperone UNC93B1 Regulates Toll-like Receptor Stability Independently of Endosomal TLR Transport.?	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Immunity	6. 最初と最後の頁 911-922
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.immuni.2018.04.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Lorente J, Velandia C, Leal JA, Garcia-Mayea Y, Lyakhovich A, Kondoh H, LLeonart ME.	4. 巻 93(1)
2. 論文標題 The interplay between autophagy and tumorigenesis: exploiting autophagy as a means of anticancer therapy	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biol Rev Camb Philos Soc.	6. 最初と最後の頁 152-165
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/brv.12337	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する



1. 著者名 Utaijaratrasmi P, Vaeteewoottacharn K, Tsunematsu T, Jamjantra P, Wongkham S, Pairojkul C, Khuntikeo N, Ishimaru N, Thuwajit P, Thuwajit C, Kudo Y.	4. 巻 17(1)
2. 論文標題 The microRNA-15a-PAI-2 axis in cholangiocarcinoma-associated fibroblasts promotes migration of cancer cells.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Molecular Cancer	6. 最初と最後の頁 10
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12943-018-0760-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kurihara-Shimomura M, Sasahira T, Nakashima C, Kuniyasu H, Shimomura H, Kirita T.	4. 巻 19(10)
2. 論文標題 The multifarious functions of pyruvate kinase M2 in oral cancer cells	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Int J Mol Sci	6. 最初と最後の頁 2907
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms19102907	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Jin F, Li X, Deng Y, Timilshina M, Huang B, Kim DY, Chang JH, Ichinose H, Baek SH, Murakami M, Lee YJ, Chang HW	4. 巻 74(6)
2. 論文標題 The orphan nuclear receptor NR4A1 promotes FcepsilonRI-stimulated mast cell activation and anaphylaxis by counteracting the inhibitory LKB1/AMPK axis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Allergy	6. 最初と最後の頁 1145-1156
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/all.13702	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Fukuda T, Ishizawa Y, Donai K, Sugano E, Tomita H	4. 巻 42(5)
2. 論文標題 The poly-cistronic expression of four transcriptional factors (CRX, RAX, NEURO-D, OTX2) in fibroblasts via retro- or lentivirus causes partial reprogramming into photoreceptor cells	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cell Biol Int	6. 最初と最後の頁 608-614
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cbin.10942	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto M., Nakayama KI	4. 巻 54
2. 論文標題 The promise of targeted proteomics for quantitative network biology	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Curr. Opin. Biotechnol.	6. 最初と最後の頁 88-97
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.copbio.2018.02.014	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Okumura K, Saito M, and Wakabayashi Y.	4. 巻 5
2. 論文標題 The role of PTH in mouse skin tumorigenesis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Integrative Cancer Science and Therapeutics	6. 最初と最後の頁 2
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15761/ICST.1000271	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kawamura Y, Yamanaka K, Poh B, Kuribayashi H, Koso H, Watanabe S	4. 巻 503(4)
2. 論文標題 The role of Zhx2 transcription factor in bipolar cell differentiation during mouse retinal development	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun	6. 最初と最後の頁 3023-3030
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2018.08.088	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Domoto M, Sasase H, Wada S, Ito S, Deyama S, Hinoi E, Kaneko S, Kaneda K	4. 巻 235
2. 論文標題 The synthetic cannabinoid 5F-AMB changes the balance between excitation and inhibition of layer V pyramidal neurons in the mouse medial prefrontal cortex	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Psychopharmacology (Berl)	6. 最初と最後の頁 2367-2376
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00213-018-4933-5	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 M. Ishido*	4. 巻 5
2. 論文標題 The temporal turning window for rat behavioral phenotypes by rotenone	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Fund. Toxicol. Sci.	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ihara T, Mitsui T, Nakamura Y, Kanda M, Tsuchiya S, Kira S, Nakagomi H, Sawada N, kamiyama M, Shigetomi E, Shinozaki Y, Yoshiyama M, Nakao A, Takeda M, Koizumi S.	4. 巻 37
2. 論文標題 The time-dependent variation of ATP release in mouse primary-cultured urothelial cells is regulated by the clock gene.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neurourol Urodym.	6. 最初と最後の頁 2535-2543
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/nau.23793	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Futakuchi M, Nitanda T, Ando S, Matsumoto H, Yoshimoto E, Fukamachi K, Suzui M	4. 巻 19(3)
2. 論文標題 Therapeutic and Preventive Effects of Osteoclastogenesis Inhibitory Factor on Osteolysis, Proliferation of Mammary Tumor Cell and Induction of Cancer Stem Cells in the Bone Microenvironment	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Int J Mol Sci	6. 最初と最後の頁 888
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms19030888	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tabata S, Yamamoto M, Goto H, Kawahara K, Shinsato Y, Minami K, Saijo A, Toyoda Y, Hanibuchi M, Nishioka Y, Sone S, Esumi H, Tomita M, Soga T, Furukawa T, Akiyama S, et al.	4. 巻 8
2. 論文標題 Thymidine catabolism promotes NADPH oxidase-derived reactive oxygen species (ROS) signalling in KB and yumoto cells	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 6760
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-25189-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Furukawa T, Tabata S, Yamamoto M, Kawahara K, Shinsato Y, Minami K, Shimokawa M, Akiyama SI	4. 巻 132
2. 論文標題 Thymidine phosphorylase in cancer aggressiveness and chemoresistance	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Pharmacol Research	6. 最初と最後の頁 15-20
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.phrs.2018.03.019	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Aoto Y, Okumura K, Hachiya T, Hase S, Wakabayashi Y, Ishikawa F, Sakakibara Y.	4. 巻 8(1)
2. 論文標題 Time-Series Analysis of Tumorigenesis in a Murine Skin Carcinogenesis Model	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 12994
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-31349-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hashimoto Y., Shirane M., Nakayama KI.	4. 巻 23(6)
2. 論文標題 TMEM55B contributes to lysosomal homeostasis and amino acid-induced mTORC1 activation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Genes Cells	6. 最初と最後の頁 418-434
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/gtc.12583	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ohto, U., H. Ishida, T. Shibata, R. Sato, K. Miyake, and T. Shimizu.	4. 巻 48(4)
2. 論文標題 Toll-like Receptor 9 Contains Two DNA Binding Sites that Function Cooperatively to Promote Receptor Dimerization and Activation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Immunity	6. 最初と最後の頁 649-658
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.immuni.2018.03.013	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kurihara Y, Makita Y, Kawashima M, Fujita T, Iwasaki S, and Matsui M.	4. 巻 115(30)
2. 論文標題 Transcripts from downstream alternative transcription start sites evade uORF-mediated inhibition of gene expression in Arabidopsis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Proc Natl Acad Sci USA	6. 最初と最後の頁 7831-7836
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1804971115	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ito N., Mohammad B., A., Shah A., I., A., and Ohta K.	4. 巻 60
2. 論文標題 Transdifferentiation of human somatic cells by ribosome	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Development Growth & Differentiation	6. 最初と最後の頁 241-247
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/dgd.12538	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Mizunoe Y, Kobayashi M, Sudo Y, Watanabe S, Yasukawa H, Natori D, Hoshino A, Negishi A, Okita N, Komatsu M, Higami Y.	4. 巻 15
2. 論文標題 Trehalose protects against oxidative stress by regulating the Keap1-Nrf2 and autophagy pathways	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Redox Biol.	6. 最初と最後の頁 115-124
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.redox.2017.09.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kawasaki, N. Isogaya, K. Dan, S. Yamori, T. Takano, H. Yao, R. Morishita, Y. Taguchi, L. Morikawa, M. Heldin, C. H. Noda, T. Ehata, S. Miyazono, K. Koinuma, D.	4. 巻 4
2. 論文標題 TUF1 interacts with RABGAP1 and regulates mTORC1 signaling	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cell Discov	6. 最初と最後の頁 1
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41421-017-0001-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Momohara Y., Aonuma H. and Nagayama T.	4. 巻 204
2. 論文標題 Tyraminergetic modulation of agonistic outcomes in crayfish	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J. Comp. Physiol.	6. 最初と最後の頁 465-473
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00359-018-1255-3	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ageta H, Ageta-Ishihara N, Hitachi K, Karayel O, Setou M, Tsuchida K, et al.	4. 巻 9
2. 論文標題 UBL3 modification influences protein sorting to small extracellular vesicles	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 3936
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-06197-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Taiwa K, Yokoi S, Mito M2, Fujii K, Kimura Y, Iwasaki S, Nakagawa S.	4. 巻 24(12)
2. 論文標題 UPA-Seq: Prediction of Functional LncRNAs Using Differential Sensitivity to UV Crosslinking	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 RNA	6. 最初と最後の頁 1785-1802.
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1261/rna.067611.118	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Takahashi M, Kitaura H, Kakita A, Kakihana T, Katsuragi Y, Nameta M, Zhang L, Iwakura Y, Nawa H, Higuchi M, Komatsu M, Fujii M.	4. 巻 9
2. 論文標題 USP10 Is a Driver of Ubiquitinated Protein Aggregation and Aggresome Formation to Inhibit Apoptosis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 iScience.	6. 最初と最後の頁 433-450
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2018.11.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Bailey JN, de Nijs L, Bai D, Suzuki T, Hirose S, Osawa M, Oguni H, Fujimoto S, Grisar TM, Stern JM, Yamakawa K, Lakaye B, Delgado-Escueta AV, et al.	4. 巻 378(11)
2. 論文標題 Variant Intestinal-Cell Kinase in Juvenile Myoclonic Epilepsy	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 New England Journal of Medicine	6. 最初と最後の頁 1018-1028
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1056/NEJMoal700175	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Shimizu A, Zankov DP, Kurokawa-Seo M, Ogita H.	4. 巻 19
2. 論文標題 Vascular endothelial growth factor-A exerts diverse cellular effects via small G proteins, Rho and Rap	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Int J Mol Sci	6. 最初と最後の頁 E1203
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms19041203	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Motohiro Nozumi, Michihiro Igarashi	4. 巻 119
2. 論文標題 Vesicular movements in the growth cone	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neurochemistry International	6. 最初と最後の頁 71-76
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuint.2017.09.011	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yeon - Joo Kim, Daniel PS Osborn, Ji - Young Lee, Masatake Araki, Kimi Araki, Lawrence C Layman, Soo - Hyun Kim, et al.	4. 巻 19
2. 論文標題 WDR11-mediated Hedgehog signalling defects underlie a new ciliopathy related to Kallmann syndrome	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 EMBO reports	6. 最初と最後の頁 269-289
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15252/embr.201744632	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kurihara M, Sasahira T, Nakahiro, Nakashima C, Kuniyasu H, Kirita T	4. 巻 71(5)
2. 論文標題 Zinc finger AN1-type containing 4 is a novel marker for predicting metastasis and poor prognosis in oral squamous cell carcinoma	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Clin Pathol	6. 最初と最後の頁 436-441
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/jclinpath-2017-204770	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Huizi Li, Aya Sugyo, Atsushi Tsuji, Yukie Morokoshi, Katsuyuki Minegishi, Kotaro Nagatsu, Hiroaki Kanda, Yosuke Harada, Satoshi Nagayama, Toyomasa Katagiri, Yusuke Nakamura, Tatsuya Higashi, Sumitaka Hasegawa	4. 巻 109(7)
2. 論文標題 $\alpha$ -particle therapy for synovial sarcoma in the mouse using an astatine-211-labeled antibody against frizzled homolog 10	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 2302-2309
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13636	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shintani Y, Hayata-Takano A, Moriguchi K, Nakazawa T, Ago Y, Kasai A, Seiriki K, Shintani N, Hashimoto H.	4. 巻 13(5)
2. 論文標題 $\beta$ -Arrestin1 and 2 differentially regulate PACAP-induced PAC1 receptor signaling and trafficking	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 PLoS ONE	6. 最初と最後の頁 e0196946
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0196946	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 井口善生	4. 巻 18
2. 論文標題 オペラント条件づけ-基礎理論を学ぶ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 臨床心理学 (もっと知りたいあなたのための認知行動療法ガイド)	6. 最初と最後の頁 7-11
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 佐藤信吾	4. 巻 18(3)
2. 論文標題 がん骨転移のメカニズムの新知見と創薬への可能性	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 PHARM STAGE	6. 最初と最後の頁 54-58
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 佐藤信吾	4. 巻 69(11)
2. 論文標題 がん細胞由来分泌型マイクロ RNA が造骨型骨転移を惹起する	5. 発行年 2018 年
3. 雑誌名 臨床雑誌整形外科	6. 最初と最後の頁 1124
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kojiro Ishibashi, Riku Egami, Kazuki Nakai, Shunsuke Kon	4. 巻 43
2. 論文標題 がん変異細胞が産生されたときの代謝変化に関する総説	5. 発行年 2018 年
3. 雑誌名 Cell Structure and Function	6. 最初と最後の頁 171-176
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1247/csf.18018	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Vu HT, Kobayashi M, Hegazy AM, Tadokoro Y, Ueno M, Kasahara A, Takase Y, Nomura N, Peng H, Ito C, Ino Y, Todo T, Nakada M, Hirao A.	4. 巻 109
2. 論文標題 グリオーマ幹細胞の治療抵抗性におけるオートファジーの役割	5. 発行年 2018 年
3. 雑誌名 Cancer Sci	6. 最初と最後の頁 2497-2508
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13695	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 和田裕一, 三浦知志, 窪俊一	4. 巻 24
2. 論文標題 マンガの読みにおける状況モデルの更新	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 マンガ研究	6. 最初と最後の頁 93-114
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 外川 龍之介, 奥畑 大悟, 吉田 侑冬, 中尾 光之, 片山 統裕	4. 巻 -
2. 論文標題 眼位・瞳孔径変動を考慮した内因性光信号イメージングに基づく覚醒時マウス脳視野地図の推定	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 生体医工学	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tadokoro Y, Hoshii T, Yamazaki S, Eto K, Ema H, Kobayashi M Ueno M, Ohta K, Arai Y, Hara E, Harada K, Oshima M, Oshima H, Arai F, Yoshimura A, Nakauchi N, Hirao A	4. 巻 22
2. 論文標題 高脂肪食ストレスによる幹細胞制御の破綻	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cell Stem Cell	6. 最初と最後の頁 713-725
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.stem.2018.04.002	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Zhang Y, Hishimoto A, Otsuka I, Watanabe Y, Numata S, Yamamori H, Boku S, Horai T, Someya T, Ohmori T, Hashimoto R, Sora I	4. 巻 103
2. 論文標題 高齢の統合失調症におけるより長いテロメアと、日本人の長期入院との関連	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Psychiatr Res.	6. 最初と最後の頁 161-166
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jpsychires.2018.05.014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shunsuke Kon.	4. 巻 60
2. 論文標題 細胞競合の生理的、病理的な役割に関する総説	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Development, Growth and Differentiation	6. 最初と最後の頁 14-20
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/dgd.12415	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 岡田正康, 棗田学, 河寄麻実, 大石誠, 藤井幸彦, 五十嵐道弘	4. 巻 814(1)
2. 論文標題 細胞突起形成抑制による膠芽腫治療戦略	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 新潟県医師会報	6. 最初と最後の頁 9-10
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 古瀬 民生, 若菜 茂晴	4. 巻 73
2. 論文標題 胎児期栄養は発達障害の環境要因となりうるのか	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本衛生学雑誌	6. 最初と最後の頁 97-100
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1265/jjh.73.97	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 石堂正美	4. 巻 30
2. 論文標題 超低周波電磁界の神経幹細胞に及ぼす影響評価に関する研究	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 磁気と健康	6. 最初と最後の頁 20-25
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yuichiro Mutoh, Yusei Mohara, Shinichi Saito	4. 巻 19
2. 論文標題 (Z)-Selective Hydrosilylation of Terminal Alkynes with HSiMe(OSiMe <sub>3</sub> ) <sub>2</sub> Catalyzed by a Ruthenium Complex Containing an N-Heterocyclic Carbene	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 ORGANIC LETTERS	6. 最初と最後の頁 5204-5207
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.orglett.7b02477	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 中村加枝, 林和子, 中尾和子	4. 巻 149(1)
2. 論文標題 【予測・意思決定・情動の脳内計算機構-セロトニン研究の新展開-】 背側縫線核による報酬・嫌悪情報処理	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本薬理学雑誌	6. 最初と最後の頁 40-43
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Komatsu M, Sugano E, Tomita H, Fujii N	4. 巻 11
2. 論文標題 A Chronically Implantable Bidirectional Neural Interface for Non-Human Primates	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Front Neurosci	6. 最初と最後の頁 514
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2017.00514	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Saito T, Ishii A, Sugai K, Sasaki M, Hirose S.	4. 巻 92(6)
2. 論文標題 A de novo missense mutation in SLC12A5 found in a compound heterozygote patient with epilepsy of infancy with migrating focal seizures	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinical Genetics	6. 最初と最後の頁 654-658
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cge.13049	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -



1. 著者名 H Muranaka, A Hayashi, K Minami, S Kitajima, S Kohno, Y Nishimoto, N Nagatani, M Suzuki, LAN Kulathunga, N Sasaki, N Okada, T Matsuzaka, H Shimano, H Tada, C Takahashi	4. 巻 6
2. 論文標題 A distinct function of the retinoblastoma protein in the control of lipid composition identified by lipidomic profiling	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Oncogenesis	6. 最初と最後の頁 e350
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/oncsis.2017.51	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Marsman J, Thomas A, Osato M, O'Sullivan JM, Horsfield JA.	4. 巻 7(1)
2. 論文標題 A DNA Contact Map for the Mouse Runx1 Gene Identifies Novel Haematopoietic Enhancers	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 13347
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-13748-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Matsumoto M., Matsuzaki F., Oshikawa K., Goshima N., Mori M., Kawamura Y., Ogawa K., Fukuda E., Nakatsumi H., Natsume T., Fukui K., Horimoto K., Nagashima T., Funayama R., Nakayama K. & Nakayama KI.	4. 巻 14
2. 論文標題 A large-scale targeted proteomics assay resource based on an in vitro human proteome	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nature Methods	6. 最初と最後の頁 251-8
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/nmeth.4116	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 M. Ishido*, R.Usu	4. 巻 4
2. 論文標題 A new insight into proliferative action of bisphenol A at low-dose	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Fund. Toxicol. Sci.	6. 最初と最後の頁 191-193
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2131/fts.4.191	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ishimura R, Obata M, Kageyama S, Daniel J, Tanaka K, *Komatsu M.	4. 巻 591
2. 論文標題 A novel approach to assess the ubiquitin-fold modifier 1-system in cells	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 FEBS Lett.	6. 最初と最後の頁 196-204
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/1873-3468.12518	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kawada, M., Inoue, H., Kajikawa, M., Sugiura, M., Sakamoto, S., Urano, S., Karasawa, C., Usami, I., Futakuchi, M., Masuda, T.	4. 巻 7
2. 論文標題 A novel monoclonal antibody targeting coxsackie virus and adenovirus receptor inhibits tumor growth in vivo.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sci. Rep.	6. 最初と最後の頁 40400
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep40400	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ren, Y., Sekine-Kondo, E., Shibata, R., Kato-Itoh, M., Umino, A., Yanagida, A., Satoh, M., Inoue, K., Yamaguchi, T., Mochida, K., Nakae, S., Van Kaer, L., Iwabuchi, K., Nakauchi, H., Watarai, H.	4. 巻 7 (1)
2. 論文標題 A novel mouse model of iNKT cell-deficiency generated by CRISPR/Cas9 reveals a pathogenic role of iNKT cells in metabolic disease	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sci. Rep.	6. 最初と最後の頁 12765
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-12475-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 You M, Yamane T, Tomita H, Sugano E, Akashi T	4. 巻 12(4)
2. 論文標題 A novel rat head gaze determination system based on optomotor responses	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0176633
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0176633	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto S, Muramatsu M, Azuma E, Ikutani M, Nagai Y, Sagara H, Koo BN, Kita S, O'Donnell E, Osawa T et al.	4. 巻 7(1)
2. 論文標題 A subset of cerebrovascular pericytes originates from mature macrophages in the very early phase of vascular development in CNS	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 3855
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-03994-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Masahiro Takikawa and Rieko Ohki	4. 巻 108(6)
2. 論文標題 A vicious partnership between AKT and PHLDA3 to facilitate neuroendocrine tumors	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 1101-1108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13235	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Liau WS, Tan SH, Ngoc PCT, Wang CQ, Tergaonkar V, Feng H, Gong Z, Osato M, Look AT, Sanda T.	4. 巻 31(8)
2. 論文標題 Aberrant activation of the GIMAP enhancer by oncogenic transcription factors in T-cell acute lymphoblastic leukemia	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Leukemia	6. 最初と最後の頁 1798-1807
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/leu.2016.392	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Otsuka I, Izumi T, Boku S, Kimura A, Zhang Y, Mouri K, Okazaki S, Shiroiwa K, Takahashi M, Ueno Y, Shirakawa O, Sora I, Hishimoto A.	4. 巻 7(1)
2. 論文標題 Aberrant telomere length and mitochondrial DNA copy number in suicide completers	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 3176
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-03599-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Uchida T, Lossin C, Ihara Y, Deshimaru M, Yanagawa Y, Koyama S, Hirose S.	4. 巻 58(8)
2. 論文標題 Abnormal gamma-aminobutyric acid neurotransmission in a Kcnq2 model of early onset epilepsy	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 1430-1439
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.13807	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Yoshioka N, Miyata S, Tamada A, Watanabe Y, Kawasaki A, Kitagawa H, Takao K, Miyakawa T, Takeuchi K, *Igarashi M	4. 巻 10
2. 論文標題 Abnormalities in perineuronal nets and behavior in mice lacking CSGalNAcT1, a key enzyme in chondroitin sulfate synthesis.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Mol Brain	6. 最初と最後の頁 47
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13041-017-0328-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Bayarsaikhan G, Miyakoda M, Yamamoto K, Kimura D, Akbari M, Yuda M and Yui K	4. 巻 66(3)
2. 論文標題 Activation and exhaustion of antigen-specific CD8+ T cells occur in different splenic compartments during infection with Plasmodium berghei	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Parasitology International	6. 最初と最後の頁 227-235
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2017.01.022	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ayumi Hashimoto, Toyohiro Sawada, Itsuki Kageyama, Kiyohisa Natsume	4. 巻 14
2. 論文標題 Activation of the muscarinic receptors induces the transition of the epileptic discharges to beta oscillation in hippocampal slices	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Biophysics_and Physicobiology	6. 最初と最後の頁 137-146
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2142/biophysico.14.0_137	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto Y, Niwa M, Mouri A, Noda Y, Fukushima T, Ozaki N, Nabeshima T.	4. 巻 234
2. 論文標題 Adolescent stress leads to glutamatergic disturbance through dopaminergic abnormalities in the prefrontal cortex of genetically vulnerable mice	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Psychopharmacology (Berl).	6. 最初と最後の頁 3055-3074
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00213-017-4704-8	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Toba S, Jin M, Yamada M, Kumamoto K, Matsumoto S, Yasunaga T, Fukunaga Y, Miyazawa A, Fujita S, Itoh K, Fushiki S, Kojima H, Wanibuchi H, Arai Y, Nagai T, Hirotsune S.	4. 巻 7(1)
2. 論文標題 Alpha-synuclein facilitates to form short unconventional microtubules that have a unique function in the axonal transport	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 e16386
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-15575-3	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Okitsu T, Matsuyama T, Yamashita T, Ishizuka T, Yawo H, Imamoto Y, Shichida Y, Wada A.	4. 巻 65(4)
2. 論文標題 Alternative Formation of Red-Shifted Channelrhodopsins: Noncovalent Incorporation with Retinal-Based Enamine-Type Schiff Bases and Mutated Channelopsin	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Chem Pharm Bull (Tokyo).	6. 最初と最後の頁 356-358
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1248/cpb.c17-00054	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Aikawa T, Watanabe T, Miyazaki T, Mikuni T, Wakamori M, Sakurai M, Aizawa H, Ishizu N, Watanabe M, Kano M, Mizusawa H, Watase K.	4. 巻 26(16)
2. 論文標題 Alternative splicing in the C-terminal tail of Cav2.1 is essential for preventing a neurological disease in mice	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Human Molecular Genetics	6. 最初と最後の頁 3094-3104
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/hmg/ddx193	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ueno K, Iwagawa T, Ochiai G, Koso H, Nakauchi H, Nagasaki M, Suzuki Y, Watanabe S	4. 巻 7(1)
2. 論文標題 Analysis of Muller glia specific genes and their histone modification using Hes1-promoter driven EGFP expressing mouse	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sci. Rep.	6. 最初と最後の頁 3578
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-03874-8	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Tanoue H, Morinaga J, Yoshizawa T, Yugami M, Itoh H, Nakamura T, Uehara Y, Masuda T, Takeda S, Yamagata K, Fukuda T, Mizuta H, Oike Y	4. 巻 26
2. 論文標題 Angiopoietin-like protein 2 promotes chondrogenic differentiation during bone growth as a cartilage matrix factor	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Osteoarthr Cartilage	6. 最初と最後の頁 108-117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.joca.2017.10.011	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto, H., Sato, A., and Kikuchi, A.	4. 巻 162
2. 論文標題 Apical secretion of Wnt1 in polarized epithelial cells is regulated by exocyst-mediated trafficking	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J. Biochem.	6. 最初と最後の頁 317-326
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jb/mvx035	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Shimmyo N, Hishimoto A, Otsuka I, Okazaki S, Boku S, Mouri K, Horai T, Takahashi M, Ueno Y, Shirakawa O, Sora I.	4. 巻 13
2. 論文標題 Association study of MIF promoter polymorphisms with suicide completers in the Japanese population	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Neuropsychiatr Dis Treat.	6. 最初と最後の頁 899-908
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/NDT.S130855	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Yamaguchi J, Suzuki C, Nanao T, Kakuta S, Ozawa K, Tanida I, Saitoh T, Sunabori T, Komatsu M, Tanaka K, Aoki S, Sakimura K, Uchiyama Y.	4. 巻 17
2. 論文標題 Atg9a deficiency causes axon-specific lesions including neuronal circuit dysgenesis	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Autophagy	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/15548627.2017.1314897	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ishihara N, Suzuki S, Tanaka S, Watanabe Y, Nagayama D, Saiki A, Tanaka T, Tatsuno I.	4. 巻 16(4)
2. 論文標題 Atorvastatin increases Fads1, Fads2 and Elovl5 gene expression via the geranylgeranyl pyrophosphate-dependent Rho kinase pathway in 3T3-L1 cells	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Mol Med Rep.	6. 最初と最後の頁 4756-4762
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/mmr.2017.7141	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kwon T*, Sakamoto M* (Co-first author), Peterka DS, Yuste R	4. 巻 20(5)
2. 論文標題 Attenuation of Synaptic Potentials in Dendritic Spines	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cell Reports	6. 最初と最後の頁 1100-1110
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2017.07.012	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 *Ueno T, *Komatsu M.	4. 巻 14
2. 論文標題 Autophagy in the liver: functions in health and disease	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nat Rev Gastroenterol Hepatol.	6. 最初と最後の頁 170-184
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/nrgastro.2016.185	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kuma A, Komatsu M, Mizushima N.	4. 巻 13
2. 論文標題 Autophagy-monitoring and autophagy-deficient mice	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Autophagy	6. 最初と最後の頁 1619-1628
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/15548627.2017.1343770	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sakagami H, Katsumata O, Hara Y, Sasaoka T, Fukaya M	4. 巻 58 (9)
2. 論文標題 BRAG2a, a guanine nucleotide exchange factor for Arf6, is a component of the dystrophin-associated glycoprotein complex at the photoreceptor terminal	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Investigative Ophthalmology and Visual Science (IOVS)	6. 最初と最後の頁 3795-3803
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1167/iovs.17-21746	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Uchibori K, Inase N, Araki M, Kamada M, Sato S, Okuno Y, Fujita N, *Katayama R.	4. 巻 8
2. 論文標題 Brigatinib combined with anti-EGFR antibody overcomes osimertinib resistance in EGFR-mutated non-small-cell lung cancer.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nature communications	6. 最初と最後の頁 14768
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ncomms14768	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Morita N, Yamai I, Takahashi K, Kusumoto Y, Shibata T, Kobayashi T, Nonaka MI, Ichimonji I, Takagi H, Miyake K, Takamura SA	4. 巻 23(1)
2. 論文標題 C4b binding protein negatively regulates TLR1/2 response	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Innate Immun	6. 最初と最後の頁 11-19
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1753425916672312	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Shimizu T, Kamel WA, Yamaguchi-Iwai S, Fukuchi Y, Muto A, Saya H	4. 巻 108 (9)
2. 論文標題 Calcitriol exerts an anti-tumor effect in osteosarcoma by inducing the endoplasmic reticulum stress response	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 1793-1802
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/Cas.13304	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takemoto-Kimura S, Suzuki K, Horigane SI, Kamijo S, Inoue M, Sakamoto M, Fujii H, Bito H	4. 巻 141(6)
2. 論文標題 Calmodulin kinases: essential regulators in health and disease	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of neurochemistry	6. 最初と最後の頁 808-818
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jnc.14020	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Fakruddin M, Wei FY, Emura S, Matsuda S, Yasukawa T, Kang D, Tomizawa K.	4. 巻 45(20)
2. 論文標題 Cdk5rap1-mediated 2-methylthio- N6- isopentenyl adenosine modification is absent from nuclear-derived RNA species	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nucleic Acids Res	6. 最初と最後の頁 11954-11961
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/nar/gkx819	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shunsuke Kon, Kojiro Ishibashi, et al.	4. 巻 19(5)
2. 論文標題 Cell competition with normal epithelial cells promotes apical extrusion of transformed cells through metabolic changes	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nature Cell Biology	6. 最初と最後の頁 530-541
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ncb3509	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Okumura K, Kagawa N, Saito M, Yoshizawa Y, Munakata H, Isogai E, Fukagawa T and Wakabayashi Y.	4. 巻 108(11)
2. 論文標題 CENP-R acts bilaterally as a tumor suppressor and an oncogene in the two-stage skin carcinogenesis model	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 2142-2148
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13348	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shinji Nakamura, Walker DW, Wong FY	4. 巻 595(4)
2. 論文標題 Cerebral haemodynamic response to somatosensory stimulation in fetal sheep	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Physiology	6. 最初と最後の頁 1289-1303
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1113/JP273163	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Shinji Nakamura, Walker DW, Wong FY	4. 巻 595(17)
2. 論文標題 Cerebral haemodynamic response to somatosensory stimulation in neonatal lambs	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Physiology	6. 最初と最後の頁 6007-21
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1113/JP274244	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Black SW, Yamanaka A, *Kilduff TS	4. 巻 152
2. 論文標題 Challenges in the development of therapeutics for narcolepsy	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Progress in Neurobiology	6. 最初と最後の頁 89-113
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.pneurobio.2015.12.002	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Urai M, Aizawa T, Imamura K, Hamamoto H, Sekimizu K	4. 巻 11 (5)
2. 論文標題 Characterization of the chemical structure and innate immune-stimulating activity of an extracellular polysaccharide from <i>Rhizobium</i> sp. strain M2 screened using a silkworm muscle contraction assay	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Drug discoveries & therapeutics	6. 最初と最後の頁 238-245
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5582/ddt.2017.01045	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okuno H, Renault Mihara F, Ohta S, Fukuda K, Kurosawa K, Akamatsu W, Sanosaka T, Kohyama J, Hayashi K, Nakajima K, Takahashi T, Wysocka J, Kosaki K, Okano H.	4. 巻 6
2. 論文標題 CHARGE syndrome modeling using patient-iPSCs reveals defective migration of neural crest cells harboring CHD7 mutations.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Elife	6. 最初と最後の頁 e21114
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7554/eLife.21114	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Sho Wakayama, Shigeki Kiyonaka, Itaru Arai, Wataru Kakegawa, Shinji Matsuda, Keiji Ibata, Yuri L. Nemoto, Akihiro Kusumi, Michisuke Yuzaki & Itaru Hamachi	4. 巻 8
2. 論文標題 Chemical labeling for visualizing native AMPA receptors in live neurons	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 e14850
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ncomms14850	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hou X, Yoshioka N, Tsukano H, Sakai A, Miyata S, Watanabe Y, Yanagawa Y, Sakimura K, Takeuchi K, Kitagawa H, Hensch TK, Shibuki K, *Igarashi M, *Sugiyama S	4. 巻 7
2. 論文標題 Chondroitin sulfate is required for onset and offset of critical period plasticity in visual cortex.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 12646
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-04007-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hashimoto Y, Fukasawa M, Kuniyasu H, Yagi K, Kondoh M	4. 巻 1397(1)
2. 論文標題 Claudin-targeted drug development using anti-claudin monoclonal antibodies to treat hepatitis and cancer	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Annals of New York Academy of Sciences	6. 最初と最後の頁 5-16
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/nyas.13337	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ishii A, Watkins JC, Chen D, Hirose S, Hammer MF.	4. 巻 58(2)
2. 論文標題 Clinical implications of SCN1A missense and truncation variants in a large Japanese cohort with Dravet syndrome	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 282-290
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.13639	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Jun Nakayama, Emi Ito, Jiro Fujimoto, Shinya Watanabe and Kentaro Semba	4. 巻 50(2)
2. 論文標題 Comparative analysis of gene regulatory networks of highly metastatic breast cancer cells established by orthotopic transplantation and intra-circulation injection	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 International Journal of Oncology	6. 最初と最後の頁 497-504
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/ijo.2016.3809	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Luo H, Hasegawa K, Liu MS, Song W-J.	4. 巻 11
2. 論文標題 Comparison of the Upper Marginal Neurons of Cortical Layer 2 with Layer 2/3 Pyramidal Neurons in Mouse Temporal Cortex.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Front Neuroanat	6. 最初と最後の頁 115
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnana.2017.00115	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する



1. 著者名 Umamura M, Ogura T, Matsuzaki A, Nakano H, Takao K, Miyakawa T, Takahashi Y	4. 巻 11
2. 論文標題 Comprehensive Behavioral Analysis of Activating Transcription Factor 5-Deficient Mice	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Frontiers in Behavioral Neuroscience	6. 最初と最後の頁 125
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnbeh	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hayashi T	4. 巻 4
2. 論文標題 Conservation and phylogenetic stepwise changes of aquaporin (AQP) 4 palmitoylation in vertebrate evolution.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Neurotransmitter	6. 最初と最後の頁 e1608
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14800/nt.1608	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe T, Shimazaki T, Oda Y.	4. 巻 1523
2. 論文標題 Coordinated expression of two types of low-threshold K <sup>+</sup> channels establishes unique single-spiking of Mauthner cells among segmentally homologous neurons in the zebrafish hindbrain	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 eNeuro	6. 最初と最後の頁 0249-17
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/ENEURO.0249-17.2017	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Motohiro Nozumi, Fubito Nakatsu, Kaoru Katoh, Michihiro Igarashi	4. 巻 18(9)
2. 論文標題 Coordinated Movement of Vesicles and Actin Bundles during Nerve Growth Revealed by Superresolution Microscopy	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cell Rep.	6. 最初と最後の頁 2203-2216
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2017.02.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fukutomi, M. and Ogawa, H.	4. 巻 7
2. 論文標題 Crickets alter wind-elicited escape strategies depending on acoustic context	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sci. Rep.	6. 最初と最後の頁 15158
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-15276-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sakuma I, Higuchi S, Fujimoto M, Takiguchi T, Nakayama A, Tamura A, Kohno T, Komai E, Shiga A, Nagano H, Hashimoto N, Suzuki S, Mayama T, Koide H, Ono K, Sasano H, Tatsuno I, Yokote K, Tanaka T.	4. 巻 101(3)
2. 論文標題 Cushing Syndrome Due to ACTH-Secreting Pheochromocytoma, Aggravated by Glucocorticoid-Driven Positive-Feedback Loop	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Clin Endocrinol Metab	6. 最初と最後の頁 841-6
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1210/jc.2015-2855	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shiratori C., Suzuki N., Momohara Y., Shiraishi K., Aonuma H., and Nagayama T.	4. 巻 46
2. 論文標題 Cyclic AMP-regulated opposing and parallel effects of serotonin and dopamine on phototaxis in the Marmorkrebs (marbled crayfish)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Europ. J. Neurosci.	6. 最初と最後の頁 1863-1874
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ejn.13632	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Akaike T, *Ida T, *Wei FY, *Nishida M, Kumagai Y, Alam MM, Ihara H, Sawa T, Matsunaga T, Kasamatsu S, Nishimura A, Morita M, Tomizawa K, Nishimura A, Watanabe S, Inaba K, Shima H, Tanuma N, Jung M, Fujii S, Watanabe Y, Ohmuraya M, Nagy P, Feelisch M, Fuku	4. 巻 8
2. 論文標題 Cysteinyl-tRNA synthetase governs cysteine polysulfidation and mitochondrial bioenergetics	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nat Commun.	6. 最初と最後の頁 1177
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-017-01311-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Aoto Y, Hachiya T, Okumura K, Hase S, Sato K, Wakabayashi Y, and Sakakibara Y.	4. 巻 12(11)
2. 論文標題 DEclust: A statistical approach for obtaining differential expression profiles of multiple conditions	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 PLoS ONE	6. 最初と最後の頁 e0188285
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0188285	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto J, Nakanishi H, Kunii Y, Sugiura Y, Yuki D, Wada A, Hino M, Niwa SI, Kondo T, Waki M, Hayasaka T, Masaki N, Akatsu H, Hashizume Y, Yamamoto S, Sato S, Sasaki T, Setou M, Yabe H.	4. 巻 7
2. 論文標題 Decreased 16:0/20:4-phosphatidylinositol level in the post-mortem prefrontal cortex of elderly patients with schizophrenia	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 45050
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep45050	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fujita Y, Masuda K, Bando M, Nakato R, Katou Y, Tanaka T, Nakayama M, Takao K, Miyakawa T, Tanaka T, Ago Y, Hashimoto H, Shirahige K, Yamashita T	4. 巻 214(5)
2. 論文標題 Decreased cohesin in the brain leads to defective synapse development and anxiety-related behavior	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 The Journal of Experiment Medicine	6. 最初と最後の頁 1431-1452
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1084/jem	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Goto E, Tokunaga F.	4. 巻 485(1)
2. 論文標題 Decreased linear ubiquitination of NEMO and FADD on apoptosis with caspase-mediated cleavage of HOIP	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Biochemical and Biophysical Research Communications	6. 最初と最後の頁 152-159
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2017.02.040	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Takano, T., Motozono, C*, Imai, T., Sonoda, KH., Nakanishi, Y., Yamasaki, S*.	4. 巻 292
2. 論文標題 Dectin-1 intracellular domain determines species-specific ligand spectrum by modulating receptor sensitivity.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J. Biol. Chem.	6. 最初と最後の頁 16933-16941
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.M117.800847	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Gen Shiihashi, Daisuke Ito, Itaru Arai, Yuki Kobayashi, Kanehiro Hayashi, Shintaro Otsuka, Kazunori Nakajima, Michisuke Yuzaki, Shigeyoshi Itoharu, Norihiro Suzuki	4. 巻 24
2. 論文標題 Dendritic homeostasis disruption in a novel frontotemporal dementia mouse model expressing cytoplasmic fused in sarcoma	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 EBioMedicine	6. 最初と最後の頁 102-115
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ebiom.2017.09.005	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Piao X, Yamazaki S, Komazawa-Sakon S, Miyake S, Nakabayashi O, Kurosawa T, Mikami T, Tanaka M, Van Rooijen N, Ohmuraya M, Oikawa A, Kojima Y, Kakuta S, Uchiyama Y, Tanaka M, Nakano H.	4. 巻 65(1)
2. 論文標題 Depletion of myeloid cells exacerbates hepatitis and induces an aberrant increase in histone H3 in mouse serum	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Hepatology	6. 最初と最後の頁 237-252
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/hep.28878	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Tsutomu Fukuda, Teppei Umeki, Keiji Tokushima, Gao Xiang, Yuki Yoshida, Fumito Ishibashi, Yusuke Oku, Naoyuki Nishiya, Yoshimasa Uehara, Masatomo Iwao	4. 巻 25 (24)
2. 論文標題 Design, synthesis, and evaluation of A-ring-modified lamellarin N analogues as noncovalent inhibitors of the EGFR T790M/L858R mutant	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Bioorganic and Medicinal Chemistry	6. 最初と最後の頁 6563-6580
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bmc.2017.10.030	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakagawa M, Karashima T, Kamada M, Yoshida E, Yoshimura T, Nojima M, Inoue K, Shuin T, Seiki M	4. 巻 5
2. 論文標題 Development of a fully automated chemiluminescence immunoassay for urine monomeric laminin-gamma2 as a promising diagnostic tool of non-muscle invasive bladder cancer	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 BMC Biomarker Res	6. 最初と最後の頁 29
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40364-017-0109-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Syuji Kurogi, Tomohisa Sekimoto, Taro Funamoto, Tomomi Ota, Shihoko Nakamura, Takuya Nagai, Mai Nakahara, Kumiko Yoshinobu, Kimi Araki, Masatake Araki and Etsuo Chosa	4. 巻 7
2. 論文標題 Development of an efficient screening system to identify novel bone metabolism-related genes using the exchangeable gene trap mutagenesis mouse models	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sci. Rep.	6. 最初と最後の頁 40692
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep40692	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kumamoto K, Iguchi T, Ishida R, Uemura T, Sato M, Hirotsune S.	4. 巻 15
2. 論文標題 Developmental downregulation of LIS1 expression limits axonal extension and allows axon pruning	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Biol Open.	6. 最初と最後の頁 1041-1055
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1242/bio.025999	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kikuchi A., Fumoto K., Kimura H.	4. 巻 174(24)
2. 論文標題 Dickkopf1-cytoskeleton-associated protein 4 axis creates a novel signalling pathway and may represent a molecular target for cancer therapy	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Br. J. Pharmacol	6. 最初と最後の頁 4651-4665
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/bph.13863	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Okubo T, Sato A, Okamoto H, Sato T, Sasaoka T	4. 巻 66
2. 論文標題 Differential behavioral phenotypes of dopamine D1 receptor knockdown mice at the embryonic, postnatal, and adult stages	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 International Journal of Developmental Neuroscience	6. 最初と最後の頁 1-8
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijdevneu.2017.11.004	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Zankov DP, Sato A, Shimizu A, Ogita H.	4. 巻 81
2. 論文標題 Differential effects of myocardial afadin on pressure overload-induced compensated cardiac hypertrophy	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Circ J	6. 最初と最後の頁 1862-1870
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1253/circj.CJ-17-0394	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Jiang F-X, Li K, Archer M, Mehta M, Jamieson E, Charles A, Dickinson JE, Matsumoto M, Morahan G	4. 巻 35
2. 論文標題 Differentiation of Islet Progenitors Regulated by Nicotinamide into Transcriptome-verified $\beta$ Cells that Ameliorate Diabetes	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Stem Cells	6. 最初と最後の頁 1341-1354
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/stem.2567	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Yasuda D, Yuasa A, Obata R, Nakajima M, Takahashi K, Ohe T, Ichimura Y, Komatsu M, Yamamoto M, Imamura R, Kojima H, Okabe T, Nagano T, Mashino T.	4. 巻 27
2. 論文標題 Discovery of benzo[g]indoles as a novel class of non-covalent Keap1-Nrf2 protein-protein interaction inhibitor	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Bioorg Med Chem Lett.	6. 最初と最後の頁 5006-5009
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bmcl.2017.10.008	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -



1. 著者名 Ueda Y, Yamanaka K, Noritake A, Enomoto K, Matsumoto N, Yamada H, Samejima K, Inokawa H, Hori Y, Nakamura K, Kimura M.	4. 巻 11
2. 論文標題 Distinct Functions of the Primate Putamen Direct and Indirect Pathways in Adaptive Outcome-Based Action Selection	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Frontiers in Neuroanatomy	6. 最初と最後の頁 66
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnana.2017.00066	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Soma S, Saiki A, Yoshida J, R?os A, Kawabata M, Sakai Y, Isomura Y	4. 巻 37(45)
2. 論文標題 Distinct laterality in forelimb-movement representations of rat primary and secondary motor cortical neurons with intratelencephalic and pyramidal tract projections	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 The Journal of Neuroscience	6. 最初と最後の頁 10904-10916
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.1188-17.2017	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 M. Ishido*, R. Usu	4. 巻 4
2. 論文標題 Distinct regulation of nuclear localization of caspase-activated DNase during cadmium-induced apoptosis of the target cells	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Fund. Toxicol. Sci.	6. 最初と最後の頁 159-165
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2131/fts.4.159	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ide S, Takahashi T, Takamatsu Y, Uhl GR, Niki H, Sora I, Ikeda K.	4. 巻 20(5)
2. 論文標題 Distinct Roles of Opioid and Dopamine Systems in Lateral Hypothalamic Intracranial Self-Stimulation	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Int J Neuropsychopharmacol.	6. 最初と最後の頁 403-409
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ijnp/pyw113	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shindou H, Koso H, Sasaki J, Nakanishi H, Sagara H, Nakagawa KM, Takahashi Y, Hishikawa D, Iizuka-Hishikawa Y, Tokumasu F, Noguchi H, Watanabe S, Sasaki T, Shimizu T	4. 巻 292(29)
2. 論文標題 Docosahexaenoic acid preserves visual function by maintaining correct disc morphology in retinal photoreceptor cells	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J. Biol. Chem	6. 最初と最後の頁 12054-12064
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.M117.790568	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yamaguchi N, Nakayama Y, Yamaguchi N	4. 巻 292(20)
2. 論文標題 Down-regulation of Forkhead box protein A1 (FOXA1) leads to cancer stem cell-like properties in tamoxifen-resistant breast cancer cells through induction of interleukin-6	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Biol Chem.	6. 最初と最後の頁 8136-8148
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.M116.763276	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kanki, Y., Nakaki, R., Shimamura, T., Matsunaga, T., Yamamizu, K., Katayama, S., Suehiro, J.I., Osawa, T., Aburatani, H., Kodama, , and Minami, T	4. 巻 45(8)
2. 論文標題 Dynamically and epigenetically coordinated GATA/ETS/SOX transcription factor expression is indispensable for endothelial cell differentiation.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nuc. Acids. Res	6. 最初と最後の頁 4344-58
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/nar/gkx159	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nakamoto K, Aizawa F, Miyagi K, Yamashita T, Mankura M, Koyama Y, Kasuya F, Hirasawa A, Kurihara T, Miyata A, Tokuyama S.	4. 巻 12(7)
2. 論文標題 Dysfunctional GPR40/FFAR1 signaling exacerbates pain behavior in mice	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0180610
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0180610	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yuichiro Yoneoka, Masayasu Okada, Naoto Watanabe, Satoru Aoki, Akiyoshi Kakita, Yukihiro Fujii	4. 巻 10
2. 論文標題 Ectopic pituitary null cell adenoma arising from the infundibulum in the third ventricle: A successful endonasal transsphenoidal resection after long-term follow-up MR imaging ? A technical note	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Interdisciplinary Neurosurgery: Advanced Techniques and Case Management	6. 最初と最後の頁 122-125
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.inat.2017.08.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Masatsugu Ohgami, Nobuhiko Takai , Masahiko Watanabe, Koichi Ando, Akiko Uzawa, Ryoichi Hirayama	4. 巻 vol.2
2. 論文標題 EFFECT OF N-METHYL-D-ASPARTATE RECEPTOR ANTAGONIST ON RADIATION-INDUCED GUT INJURIES IN MICE	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 RadProc	6. 最初と最後の頁 6-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21175	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ohta Y, Kubo H, Yashiro K, Ohashi K, Tsuzuki Y, Wada N, Yamamoto Y, Saito K.	4. 巻 67
2. 論文標題 Effect of water-immersion restraint stress on tryptophan catabolism through the kynurenine pathway in rat tissues	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Physiol Sci.	6. 最初と最後の頁 361-372
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12576-016-0467-y	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ohmori H, Fujii K, Kadochi Y, Mori S, Nishiguchi Y, Fujiwara R, Kishi S, Sasaki T, Kuniyasu H	4. 巻 84(3)
2. 論文標題 Elaidic acid, a trans fatty acid, enhances the metastasis of colorectal cancer cells	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Pathobiology	6. 最初と最後の頁 144-151
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000449205	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Shioda N, Yabuki Y, Wang Y, Uchigashima M, Hikida T, Sasaoka T, Mori H, Watanabe M, Sasahara M, Fukunaga K	4. 巻 22 (8)
2. 論文標題 Endocytosis following dopamine D2 receptor activation is critical for neuronal activity and dendritic spine formation via Rabex-5/PDGFR $\beta$ signaling in striatopallidal medium spiny neurons	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Molecular Psychiatry	6. 最初と最後の頁 1205-1222
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/mp.2016.200	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Hattori M, Shimizu A, Oikawa D, Kamei K, Kaira K, Ishida-Yamamoto A, Nakano H, Sawamura D, Tokunaga F, Ishikawa O.	4. 巻 177(4)
2. 論文標題 Endoplasmic reticulum stress in the pathogenesis of pretibial dystrophic epidermolysis bullosa	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 British Journal of Dermatology	6. 最初と最後の頁 e92-e93
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/bjd.15342	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Tatsuyuki Matsudaira, Kojiro Mukai, Taishin Noguchi, Kentaro semba, Takuya Tomita, Shigeo Murata, Hiroyuki Arai, Tomohiko Taguchi, et al.	4. 巻 8
2. 論文標題 Endosomal phosphatidylserine is critical for the YAP signaling pathway in proliferating cells	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 1246
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-017-01255-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Goswami, D., Marz, S., Li, Y. T., Artz, A., Schafer, K., Seelige, R., Pacheco-Blanco, M., Jing, D., Bixel, M. G., Araki, M., Araki, K., Yamamura, K., Vestweber, D.	4. 巻 129(13)
2. 論文標題 Endothelial CD99 supports arrest of mouse neutrophils in venules and binds to neutrophil PILRs	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 1811-1822
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood-2016-08-733394	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Kuki K, Yamaguchi N, Iwasawa S, Takakura Y, Aoyama K, Yuki R, Nakayama Y, Kuga T, Hashimoto Y, Tomonaga T, Yamaguchi N	4. 巻 490(3)
2. 論文標題 Enhancement of TGF- $\beta$ -induced Smad3 activity by c-Abl-mediated tyrosine phosphorylation of its coactivator SKI-interacting protein (SKIP)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun.	6. 最初と最後の頁 1045-1051
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2017.06.163	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Goyama S and Kitamura T.	4. 巻 108(4)
2. 論文標題 Epigenetics in Normal and Malignant Hematopoiesis: An Overview and Update 2017	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cancer Sci.	6. 最初と最後の頁 553-562
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13168	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Shinohara K., Watabe, A.M. # , Nagase M., Okutsu Y., Takahashi Y., Kurihara H., Kato F. (#責任著者)	4. 巻 46(6)
2. 論文標題 Essential Role of Endogenous Calcitonin Gene-Related Peptide in Pain-associated Plasticity in the Central Amygdala.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 European Journal of Neuroscience	6. 最初と最後の頁 2149-2160
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ejn.13662	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Muto Y., Nishiyama M., Nita A., Moroishi T., Nakayama KI.	4. 巻 8
2. 論文標題 Essential role of FBXL5-mediated cellular iron homeostasis in maintenance of hematopoietic stem cells	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nature Commun.	6. 最初と最後の頁 16114
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ncomms16114	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Furuya M, Hasumi H, Baba M, Tanaka R, Iribe Y, Onishi T, Nagashima Y, Nakatani Y, Isono Y, Yao M	4. 巻 97(3)
2. 論文標題 Establishment and characterization of BHD-F59RSVT, an immortalized cell line derived from a renal cell carcinoma in a patient with Birt-Hogg-Dub? syndrome	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Laboratory Investigation	6. 最初と最後の頁 343-351
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/labinvest.2016.137	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kondo A & Osawa T	4. 巻 129
2. 論文標題 Establishment of an extracellular acidic pH culture system	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 JoVE	6. 最初と最後の頁 e56660
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3791/56660	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Itoh M, Kaizuka T, Hayashi T	4. 巻 4
2. 論文標題 Evolutionary acquisition and divergence of vertebrate HCN2 palmitoylation.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Neurotransmitter	6. 最初と最後の頁 e1603
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14800/nt.1603	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yanase T, Matsumoto M, Tanaka T, Mera T, Yasunami Y, Daibo K	4. 巻 -
2. 論文標題 Expansion of transplanted islets in mice by co-transplantation with adipose tissue-derived mesenchymal stem cells	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Heliyon	6. 最初と最後の頁 e00632
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.heliyon.2018.e00632	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Honda A, Ito Y, Takahashi-Niki K, Matsushita N, Nozumi M, Tabata H, Takeuchi K, Igarashi M.	4. 巻 37
2. 論文標題 Extracellular Signals Induce Glycoprotein M6a Clustering of Lipid Rafts and Associated Signaling Molecules	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Neurosci.	6. 最初と最後の頁 4046-4064
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.3319-16.2017	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Huang M, Narita S, Inoue T, Koizumi A, Saito M, Tsuruta H, Numakura K, Satoh S, Nanjo H, Sasaki T, Habuchi T	4. 巻 8(67)
2. 論文標題 Fatty acid binding protein 4 enhances prostate cancer progression by upregulating matrix metalloproteinases and stromal cell cytokine production	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Oncotarget	6. 最初と最後の頁 111780-111794
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/oncotarget.22908	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kawahara I, Mori T, Goto K, Fujii K, Ohmori H, Fujiwara-Tani R, Kuniyasu H	4. 巻 84(5)
2. 論文標題 Fatty acids induce stemness in the stromal cells of a CT26 mouse tumor model	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Pathobiology	6. 最初と最後の頁 237-242
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000471854	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Tanabe E, Kitayoshi M, Fujii K, Ohmori H, Luo Y, Fujiwara R, Kadochi Y, Mori S, Kuniyasu H	4. 巻 14(1)
2. 論文標題 Fatty acids inhibit anti-cancer effect of 5-fluorouracil in mouse cancer cell lines	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Oncology Letters	6. 最初と最後の頁 681-686
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/ol.2017.6190	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamauchi T., Nishiyama M., Moroishi T., Kawamura A., Nakayama KI.	4. 巻 37
2. 論文標題 FBXL5 inactivation in mouse brain induces aberrant proliferation of neural stem-progenitor cells	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Mol. Cell. Biol.	6. 最初と最後の頁 e00470-16
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/MCB.00470-16	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Stockwell BR, Friedmann Angeli JP, Toyokuni S, Woerpel KA, Zhang DD, et al.	4. 巻 171
2. 論文標題 Ferroptosis: a regulated cell death nexus linking metabolism, redox biology, and disease	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cell	6. 最初と最後の頁 273-285
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cell.2017.09.021	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Tanabe K, Shinsato Y, Furukawa T, Kita Y, Hatanaka K, Minami K, Kawahara K, Yamamoto M, Baba K, Mori S, Uchikado Y, Maemura K, Tanimoto A, Natsugoe S	4. 巻 8
2. 論文標題 Filamin C promotes lymphatic invasion and lymphatic metastasis and increases cell motility by regulating Rho GTPase in esophageal squamous cell carcinoma	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Oncotarget	6. 最初と最後の頁 6353-6363
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/oncotarget.14087	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki-Kerr H, Baba Y, Tshako A, Koso H, Dekker JD, Tucker H, Kuribayashi H, Watanabe S.	4. 巻 58
2. 論文標題 Forkhead box protein P1 is essential for lens epithelium transition to the fiber cells during development but does not play roles for retinal development	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Invest. Ophthalmol. Vis. Sci.	6. 最初と最後の頁 1916-1929
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1167/iovs.16-20085	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Anzai E, Hirata K, Shibazaki M, Yamada C, Morii M, Honda T, Yamaguchi N, Yamaguchi N	4. 巻 40(9)
2. 論文標題 FOXA1 Induces E-Cadherin Expression at the Protein Level via Suppression of Slug in Epithelial Breast Cancer Cells	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Biol Pharm Bull.	6. 最初と最後の頁 1483-1489
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1248/bpb.b17-00307	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Saito K, Ohta S, Kawakami Y, Yoshida K, Toda M	4. 巻 132(1)
2. 論文標題 Functional analysis of KIF20A, a potential immunotherapeutic target for glioma	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Neurooncol	6. 最初と最後の頁 63-74
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11060-016-2360-1	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Tsunoda SP, Prigge M, Abe-Yoshizumi R, Inoue K, Kozaki Y, Ishizuka T, Yawo H, Yizhar O, Kandori H.	4. 巻 12(7)
2. 論文標題 Functional characterization of sodium-pumping rhodopsins with different pumping properties.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 PLoS One.	6. 最初と最後の頁 e0179232
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0179232	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ali MAE, Fuse K, Tadokoro Y Hoshii T Ueno M Kobayashi M Nomura N Vu HT, Peng H Hegazy AM, Masuko M, Sone H, Arai F, Tajima A Hirao A.	4. 巻 7(1)
2. 論文標題 Functional dissection of hematopoietic stem cell populations with a stemness-monitoring system based on NS-GFP transgene expression	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Report	6. 最初と最後の頁 11442
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-11909-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sato M, Kokabu S, Enoki Y, Hayashi N, Matsumoto M, Nakahira M, Sugasawa M, Yoda T	4. 巻 31(3)
2. 論文標題 Functional Roles of Netrin-1 in Osteoblast Differentiation	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 In vivo	6. 最初と最後の頁 321-8
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21873/invivo.11062	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ostrovidov S, Ebrahimi M, Bae H, Nguyen HK, Salehi S, Kim SB, Kumatani A, Matsue T, Shi X, Nakajima K, Hidema S, Osanai M, Khademhosseini A	4. 巻 9(49)
2. 論文標題 Gelatin-Polyaniline Composite Nanofibers Enhanced Excitation- Contraction Coupling System Maturation in Myotubes	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 ACS Applied Materials & Interfaces	6. 最初と最後の頁 42444-42458
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsami.7b03979	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishihara S	4. 巻 34(6)
2. 論文標題 Glycans define the stemness of naive and primed pluripotent stem cells	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Glycoconj J.	6. 最初と最後の頁 737-747
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10719-016-9740-9	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Okamoto A, Morinaga T, Yamaguchi N, Yamaguchi N	4. 巻 41(1)
2. 論文標題 Golgi Distribution of Lyn to Caveolin- and Giantin-Positive cis-Golgi Membranes and the Caveolin-Negative, TGN46-Positive trans-Golgi Network	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Biol Pharm Bull.?	6. 最初と最後の頁 142-146
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1248/bpb.b17-00681	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kayama K., Watanabe S., Takafuji T., Tsuji T., Hironaka K., Matsumoto M., Nakayama KI., Enari M., Kohno T., Shiraishi K., Kiyono T., Yoshida K., Sugimoto N., Fujita M.	4. 巻 18
2. 論文標題 GRWD1 negatively regulates p53 via the RPL11-MDM2 pathway and promotes tumorigenesis	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 EMBO Rep.	6. 最初と最後の頁 123-37
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15252/embr.201642444	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Shuji Wakatsuki, Shinji Tokunaga, Megumi Shibata, Toshiyuki Araki	4. 巻 216
2. 論文標題 GSK3B-mediated phosphorylation of MCL1 regulates axonal autophagy to promote Wallerian degeneration	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Cell Biology	6. 最初と最後の頁 477, 493
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1083/jcb.201606020	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Hasumi H, Hasumi Y, Baba M, Nishi H, Furuya M, Vocke CD, Warner AC, Haines DC, Wei MH, Zbar B, Yao M, Metwalli AR, Marston Linehan W, Schmidt LS.	4. 巻 26(2)
2. 論文標題 H255Y and K508R missense mutations in tumour suppressor folliculin (FLCN) promote kidney cell proliferation	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Human Molecular Genetics	6. 最初と最後の頁 354-366
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/hmg/ddw392	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hideko Ohno, Yuichiro Yoneoka, Shinya Jinguji, Naoto Watanabe, Masayasu Okada, Yukihiko Fujii	4. 巻 48
2. 論文標題 Has acromegaly been diagnosed earlier?	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 138-142
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jocn.2017.10.086	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Zhang S., Chen Q., Liu Q., Li Y., Sun X., Hong L., Ji S., Liu C., Geng J., Zhang W., Lu Z., Yin ZY., Zeng Y., Lin KH., Wu Q., Li Q., Nakayama K., Nakayama KI., Deng X., Johnson RL., Zhu L., Gao D., Chen L., Zhou D.	4. 巻 31
2. 論文標題 Hippo signaling suppresses cell ploidy and tumorigenesis through Skp2	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cancer Cell	6. 最初と最後の頁 669-84
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ccell.2017.04.004	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 M. Ishido*, R. Usu	4. 巻 4
2. 論文標題 HSP70-Ran-RCC1 transport system during cadmium-induced apoptosis in porcine kidney LLC-PK1 cells	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Fund. Toxicol. Sci.	6. 最初と最後の頁 187-189
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2131/fts.4.187	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shibata Y, Tokunaga F, Goto E, Komatsu G, Gohda J, Saeki Y, Tanaka K, Takahashi H, Sawasaki T, Inoue S, Oshiumi H, Seya T, Nakano H, Tanaka Y, Iwai K, Inoue J.	4. 巻 13
2. 論文標題 HTLV-1 Tax induces formation of the active macromolecular IKK complex by generating Lys63- and Met1-linked hybrid polyubiquitin chains	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 PLoS Pathogens	6. 最初と最後の頁 e100162
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.ppat.1006162	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Goto A, Yoshimi A, Nagai T, Ukigai M, Mouri A, Ozaki N, Noda Y.	4. 巻 32
2. 論文標題 Human neutrophils show decreased survival upon long-term exposure to clozapine	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Hum Psychopharmacol.	6. 最初と最後の頁 e2629
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/hup.2629	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -



1. 著者名 Ono D, Yamanaka A	4. 巻 118
2. 論文標題 Hypothalamic regulation of the sleep/wake cycle	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 74-81
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2017.03.013	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Sato Y, Tsuyama T, Sato C, Karim MF, Yoshizawa T, Inoue M, Yamagata K	4. 巻 292
2. 論文標題 Hypoxia reduces HNF4 $\alpha$ /MODY1 protein expression in pancreatic $\beta$ -cells by activating AMP-activated protein kinase	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Biol. Chem.	6. 最初と最後の頁 8716-8728
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.M116.767574	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Jinshu Xu, Ueno H, Chelsea Xu, Binglai Chen, Irving Weissman, and Pin-Xian Xu.	4. 巻 8
2. 論文標題 Identification of mouse cochlear progenitors that develop hair and supporting cells in the organ of Corti	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 15046
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ncomms15046	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsuo J, Kimura S, Yamamura A, Koh CP, Hossain MZ, Heng DL, Kohu K, Voon DC, Hiai H, Unno M, So JB, Zhu F, Srivastava S, Teh M, Yeoh KG, Osato M, Ito Y.	4. 巻 152(1)
2. 論文標題 Identification of Stem Cells in the Epithelium of the Stomach Corpus and Antrum of Mice	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Gastroenterology	6. 最初と最後の頁 218-231.e14
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1053/j.gastro.2016.09.018	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Hasegawa N, Oshima M, Sashida G, Matsui H, Koide S, Saraya A, Wang C, Muto T, Takane K, Kaneda A, Shimoda K, Nakaseko C, Yokote K, Iwama A.	4. 巻 31(4)
2. 論文標題 Impact of combinatorial dysfunctions of Tet2 and Ezh2 on the epigenome in the pathogenesis of myelodysplastic syndrome	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Leukemia	6. 最初と最後の頁 861-871
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/leu.2016.268	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Saiki A, Sakai Y, Fukabori R, Soma S, Yoshida J, Kawabata M, Yawo H, Kobayashi K, Kimura M, Isomura Y	4. 巻 28(3)
2. 論文標題 In Vivo Spiking Dynamics of Intra- and Extratelencephalic Projection Neurons in Rat Motor Cortex	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cerebral Cortex	6. 最初と最後の頁 1024-1038
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhx012	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Tsukada M, Ota Y, Wilkinson AC, Becker HJ, Osato M, Nakauchi H, Yamazaki S.	4. 巻 9(4)
2. 論文標題 In Vivo Generation of Engraftable Murine Hematopoietic Stem Cells by Gfilb, c-Fos, and Gata2 Overexpression within Teratoma	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Stem Cell Reports.	6. 最初と最後の頁 1024-1033
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.stemcr.2017.08.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kimura A, Takemura M, Saito K, Serrero G, Yoshikura N, Hayashi Y, Inuzuka T.	4. 巻 305
2. 論文標題 Increased cerebrospinal fluid progranulin correlates with interleukin-6 in the acute phase of neuromyelitis optica spectrum disorder	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Neuroimmunol.	6. 最初と最後の頁 175-181
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jneuroim.2017.01.006	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 DiRienzo, N. and Aonuma H.	4. 巻 71
2. 論文標題 Individual differences are consistent across changes in mating status and mediated by biogenic amine	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Behav. Ecol. Sociobiol.	6. 最初と最後の頁 118
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00265-017-2345-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 T. Hara, T. Kojima, H. Matsuzaki, T. Nakamura, E. Yoshida, Y. Fujiwara, C. Yamamoto, S. Saito, T. Kaji	4. 巻 18
2. 論文標題 Induction of Syndecan-4 by Organic-Inorganic Hybrid Molecules with a 1,10-Phenanthroline Structure in Cultured Vascular Endothelial Cells	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 INTERNATIONAL JOURNAL OF MOLECULAR SCIENCES	6. 最初と最後の頁 352
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms18020352	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Numata T, Tsumoto K, Yamada K, Kurokawa T, Hirose S, Nomura H, Kawano M, Kurachi Y, Inoue R, Mori Y.	4. 巻 7(1)
2. 論文標題 Integrative Approach with Electrophysiological and Theoretical Methods Reveals a New Role of S4 Positively Charged Residues in PKD2L1 Channel Voltage-Sensing	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 9760
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-10357-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yanai H, Atsumi N, Tanaka T, Nakamura N, Komai Y, Omachi T, Tanaka K, Saiga K, Ohsugi H, Tokuyama Y, Ohe S, Hisha H, Yoshida N, Kumano K, Kon M, and Ueno H.	4. 巻 7
2. 論文標題 Intestinal cancer stem cells marked by Bmi1 or Lgr5 expression contribute to tumor propagation via clonal expansion	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 41838
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep41838	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yanai H, Atsumi N, Tanaka T, Nakamura N, Komai Y, Omachi T, Tanaka K, Saiga K, Ohsugi H, Tokuyama Y, Ohe S, Hisha H, Yoshida N, Kumano K, Kon M, and Ueno H.	4. 巻 7
2. 論文標題 Intestinal stem cells contribute to the maturation of the neonatal small intestine and colon independently of digestive activity	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 9891
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-09927-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Toyokuni S, Ito F, Yamashita K, Okazaki Y, Akatsuka S.	4. 巻 108
2. 論文標題 Iron and thiol redox signaling in cancer	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Free Radical Biology & Medicine	6. 最初と最後の頁 610-626
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.freeradbiomed.2017.04.024	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Jin M, Pomp O, Shinoda T, Toba S, Torisawa T, Furuta K, Oiwa K, Yasunaga T, Kitagawa D, Matsumura S, Miyata T, Tan TT, Reversade B, Hirotsune S.	4. 巻 7
2. 論文標題 Katanin p80, NuMA and cytoplasmic dynein cooperate to control microtubule dynamics	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 e39902
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep39902	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Zamani A, Sakuragi S, Ishizuka T, Yawo H.	4. 巻 14
2. 論文標題 Kinetic characteristics of chimeric channelrhodopsins implicate the molecular identity involved in desensitization.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Biophys Physicobiol.	6. 最初と最後の頁 13-22
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2142/biophysico.14.0_13	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fujikawa J., Takeuchi Y. et al.	4. 巻 370(3)
2. 論文標題 Kruppel-like factor 4 regulates matrix metalloproteinase and aggrecanase gene expression in chondrocytes	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cell & Tissue Research	6. 最初と最後の頁 441-449
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00441-017-2674-0	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Kimura R, Saiki A, Fujiwara-Tsukamoto Y, Sakai Y, Isomura Y	4. 巻 595(1)
2. 論文標題 Large-scale analysis reveals populational contributions of cortical spike rate and synchrony to behavioral functions	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 The Journal of Physiology	6. 最初と最後の頁 385-413
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1113/JP272794	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yamashita T, *Yamanaka A	4. 巻 44
2. 論文標題 Lateral hypothalamic circuits for sleep-wake control	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Current Opinion in Neurobiology	6. 最初と最後の頁 94-100
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.conb.2017.03.020	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto, H., Umeda, D., Matsumoto, S., and Kikuchi, A.	4. 巻 130
2. 論文標題 LDL switches the LRP6 internalization route from flotillin dependent to clathrin dependent in hepatic cells	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J. Cell Sci	6. 最初と最後の頁 3542-3556
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1242/jcs.202135	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Masukawa D, Koga M, Sezaki A, Ichinose H, Sakurai T, Umemura S, Tamura K, Ishikawa Y, Goshima Y, et al.	4. 巻 2
2. 論文標題 L-DOPA sensitizes vasomotor tone by modulating the vascular alpha1-adrenergic receptor.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 JCI Insight	6. 最初と最後の頁 e90903
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1172/jci.insight.90903	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Jin Cui, Maho Morita, Osamu Ohno, Tomoyuki Kimura, Toshiaki Teruya, Takumi Watanabe, Kiyotake Suenaga, and Masakatsu Shibasaki:	4. 巻 23 (35)
2. 論文標題 Leptolyngbyolides, Cytotoxic Macrolides from the Marine Cyanobacterium Leptolyngbya sp.: Isolation, Biological Activity, and Catalytic Asymmetric Total Synthesis	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Chemistry An Eurean Journal	6. 最初と最後の頁 8500-8509
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/chem.201701183	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 van Wijk SJL, Fricke F, Herhaus L, Gupta J, H?tte K, Pampaloni F, Grumati P, Kaulich M, Sou YS, Komatsu M, Greten FR, Fulda S, Heilemann M, Dikic I.	4. 巻 2
2. 論文標題 Linear ubiquitination of cytosolic Salmonella Typhimurium activates NF- $\kappa$ B and restricts bacterial proliferation	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nat Microbiol.	6. 最初と最後の頁 17066
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/nmicrobiol.2017.66	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Yanagisawa H, Ishii T, Endo K, Kawakami E, Nagao K, Miyashita T, Akiyama K, Watabe K, Komatsu M, Yamamoto D, Eto Y.	4. 巻 7
2. 論文標題 L-leucine and SPNS1 coordinately ameliorate dysfunction of autophagy in mouse and human Niemann-Pick type C disease	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 15944
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-15305-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Kondo A, Nonaka A, Shimamura T, Yamamoto S, Yoshida T, Kodama T, Aburatani H and Osawa T	4. 巻 37(18)
2. 論文標題 Long non-coding RNA JHDM1D-AS1 promotes tumor growth by regulating angiogenesis in response to nutrient starvation	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Molecular and Cellular Biology	6. 最初と最後の頁 e00125-17
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/MCB.00125-17	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Connor SA, Ammendrup-Johnsen I, Kishimoto Y, Karimi Tari P, Cvetkovska V, Harada T, Ojima D, Yamamoto T, Wang YT, Craig AM.	4. 巻 21
2. 論文標題 Loss of Synapse Repressor MDGA1 Enhances Perisomatic Inhibition, Confers Resistance to Network Excitation, and Impairs Cognitive Function	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cell Rep.	6. 最初と最後の頁 3637-3645
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2017.11.109	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hanaki, Y., Kikumori, M., Tokuda, H., Okamura, M., Dan, S., Adachi, N., Saito, N., Yanagita, R. C., Irie, K.	4. 巻 22(4)
2. 論文標題 Loss of the phenolic hydroxyl group and aromaticity from the side chain of anti-proliferative 10-methyl-aplog-1, a simplified analog of aplysiatoxin, enhances its tumor-promoting and proinflammatory activities	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Molecules	6. 最初と最後の頁 e631
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/molecules22040631	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hashimotodani, Y., Nasrallah, K., Jensen, K.R., Chavez, A.E., Carrera, D., and Castillo, P.E.	4. 巻 95
2. 論文標題 LTP at Hilar Mossy Cell-Dentate Granule Cell Synapses Modulates Dentate Gyrus Output by Increasing Excitation/Inhibition Balance	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Neuron	6. 最初と最後の頁 928-943
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuron.2017.07.028	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Iizuka-Hishikawa Y, Hishikawa D, Sasaki J, Takubo K, Goto M, Nagata K, Nakanishi H, Shindou H, Okamura T, Ito C, Toshimori K, Sasaki T, Shimizu T.	4. 巻 292
2. 論文標題 Lysophosphatidic acid acyltransferase 3 tunes the membrane status of germ cells by incorporating docosahexaenoic acid during spermatogenesis	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Biol Chem.	6. 最初と最後の頁 12065-12076
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.M117.791277	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fuse MJ, Okada K, Oh-hara T, Ogura H, Fujita N, *Katayama R.	4. 巻 16
2. 論文標題 Mechanisms of resistance to NTRK inhibitors and therapeutic strategies in NTRK1-rearranged cancers	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Molecular Cancer Therapeutics	6. 最初と最後の頁 2130-2143
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/1535-7163.MCT-16-0909	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto K, Mak TW	4. 巻 59(1)
2. 論文標題 Mechanistic aspects of mammalian cell size control	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Development Growth and Differentiation	6. 最初と最後の頁 33-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/dgd.12334	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yamamoto S., Hagihara T., Horiuchi H., Okui A., Wani S., Yoshida T., Inoue T., Tanaka A., Ito T., Hirose Y., and Ohkuma Y.	4. 巻 22(3)
2. 論文標題 Mediator Cyclin-dependent kinases upregulate transcription of inflammatory genes in cooperation with NF- $\kappa$ B and C/EBP $\beta$ on stimulation of Toll-like receptor 9	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Genes to Cells	6. 最初と最後の頁 265-276
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/gtc.12475	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Nakamura, Y., Yanagawa, Y., Morrison, S.F., Nakamura, K.	4. 巻 25
2. 論文標題 Medullary reticular neurons mediate neuropeptide Y-induced metabolic inhibition and mastication	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cell Metabolism	6. 最初と最後の頁 322-334
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cmet.2016.12.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yoshida A, Kitajima S, Li F, Cheng C, Takegami Y, Kohno S, Wan YS, Hayashi N, Muranaka H, Nishimoto Y, Nagatani N, Nishiuchi T, Thai TC, Suzuki S, Nakao S, Tanaka T, Hirose O, Barbie DA, Takahashi C.	4. 巻 8(8)
2. 論文標題 MicroRNA-140 mediates RB tumor suppressor function to control stem cell-like activity through interleukin-6	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Oncotarget	6. 最初と最後の頁 13872-13885
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/oncotarget.14681	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ohta S, Kawakami Y, Okano H	4. 巻 8 (29)
2. 論文標題 MIF: functions in brain and glioma	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Oncotarget	6. 最初と最後の頁 46706-4670
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/oncotarget.18489	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka, K., Kim, S. E., Yano, H., Matsumoto, G., Ohuchida, R., Ishikura, Y., Araki, M., Araki, K., Park, S., Komatsu, T., Hayashi, H., Ikematsu, K., Tanaka, K., Hirano, A., Martin, P., Shimokawa, I., Mori, R.	4. 巻 137(4)
2. 論文標題 MiR-142 is required for Staphylococcus aureus clearance at skin wound sites via small GTPase-mediated regulation of the neutrophil actin cytoskeleton	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J. Invest. Dermatol.	6. 最初と最後の頁 931-940
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jid.2016.11.018	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shikata Y, Kiga M, Futamura Y, Aono H, Inoue H, Kawada M, Osada H, and Imoto M.	4. 巻 108
2. 論文標題 Mitochondrial uncoupler exerts a synthetic lethal effect against beta-catenin mutant tumor cells	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 772-784
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13172	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fumoto, K., Takigawa-Imamura, H., Sumiyama, K., Kaneiwa, T., and Kikuchi, A.	4. 巻 144
2. 論文標題 Modulation of apical constriction by Wnt signaling is required for lung epithelial shape transition	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Development	6. 最初と最後の頁 151-162
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1242/dev.141325	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto A., Pasut A., Matsumoto M., Yamashita R., Fung J., Saghatelian A., Nakayama KI., Clohessy JG., Monteleone E., Pandolfi PP.	4. 巻 541
2. 論文標題 mTORC1 and muscle regeneration are regulated by the LINC00961 encoded SPAR polypeptide	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nature	6. 最初と最後の頁 228-32
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/nature21034	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Sashida G, Iwama A.	4. 巻 105(1)
2. 論文標題 Multifaceted role of the polycomb-group gene EZH2 in hematological malignancies	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Int J Hematol	6. 最初と最後の頁 23-30
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12185-016-2124-x	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Takiguchi T, Koide H, Nagano H, Nakayama A, Fujimoto M, Tamura A, Komai E, Shiga A, Kono T, Higuchi S, Sakuma I, Hashimoto N, Suzuki S, Miyabayashi Y, Ishiwatari N, Horiguchi K, Nakatani Y, Yokote K, Tanaka T.	4. 巻 17(1)
2. 論文標題 Multihormonal pituitary adenoma concomitant with Pit-1 and Tpit lineage cells causing acromegaly associated with subclinical Cushing's disease: a case report	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 BMC Endocr Disord.	6. 最初と最後の頁 54-61
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12902-017-0203-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hayashi K, Katanosaka K, Abe M, Yamanaka A, Nosaka K, Mizumura K, *Taguchi T	4. 巻 21(1)
2. 論文標題 Muscular mechanical hyperalgesia after lengthening contractions in rats depends on stretch velocity and range of motion	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 European Journal of Pain	6. 最初と最後の頁 125-139
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ejp.909	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Umeda T, Kimura T, Yoshida K, Takao K, Fujita Y, Matsuyama S, Sakai A, Yamashita M, Yamashita Y, Ohnishi K, Suzuki M, Takuma H, Miyakawa T, Takashima A, Morita T, Mori H, Tomiyama T	4. 巻 5
2. 論文標題 Mutation-induced loss of APP function causes GABAergic depletion in recessive familial Alzheimer's disease: analysis of Osaka mutation-knockin mice	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Acta Neuropathol Commun	6. 最初と最後の頁 59
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40478-017-0461-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Asano T, Ishizuka T, Yawo H.	4. 巻 1668
2. 論文標題 Myogenic Maturation by Optical-Training in Cultured Skeletal Muscle Cells	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Methods Mol Biol.	6. 最初と最後の頁 135-145
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-1-4939-7283-8_10	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Nakamura S, Koyama T, Izawa N, Nomura S, Fujita T, Omata Y, Minami T, Matsumoto M, Nakamura M, Fujita-Jimbo E, Momoi T, Miyamoto T, Aburatani H, Tanaka S	4. 巻 12(4)
2. 論文標題 Negative feedback loop of bone resorption by NFATc1-dependent induction of Cadml	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0175632.
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0175632	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 M. Ishido*, J. Suzuki, Y. Masuo	4. 巻 266
2. 論文標題 Neonatal rotenone lesions cause onset hyperactivity during juvenile and adulthood in the rat	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Toxicol. Lett.	6. 最初と最後の頁 42-48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.toxlet.2016.12.008	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Enoki Y, Sato T, Kokabu S, Hayashi N, Iwata T, Yamato M, Usui M, Matsumoto M, Tomoda T, Ariyoshi W, Nishihara T, Yoda T	4. 巻 31(5)
2. 論文標題 Netrin-4 Promotes Differentiation and Migration of Osteoblasts	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 In vivo	6. 最初と最後の頁 793-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21873/invivo.11132	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Misako Matsushita, Yuhki Nakatake, Itaru Arai, Keiji Ibata, Kazuhisa Kohda, Sravan Goparaju, Miyako Murakami, Miki Sakota, Nana Chikazawa-Nohtomi, Shigeru Ko, Takanori Kanai, Michisuke Yuzaki & Minoru S.H. Ko	4. 巻 490
2. 論文標題 Neural differentiation of human embryonic stem cells induced by the transgene-mediated overexpression of single transcription factors	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Biochemical and Biophysical Research Communications	6. 最初と最後の頁 296-301
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2017.06.039	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -



1. 著者名 Ishisaka N, Shimano S, Miura T, Motomura K, Horii M, Imanaga H, Kishimoto J, Kaneda Y, Sora I, Kanba S.	4. 巻 71(6)
2. 論文標題 Neurocognitive profile of euthymic Japanese patients with bipolar disorder	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Psychiatry Clin Neurosci.	6. 最初と最後の頁 373-382
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.12500	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yuji Sato, Satoko Suzuki, Yoko Iijima, and Takatoshi Iijima.	4. 巻 493
2. 論文標題 Neuroigin-induced presynaptic differentiation through SLM2-mediated splicing modifications of Neurexin in cerebellar cultures	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Biochemical and Biophysical Research Communications.	6. 最初と最後の頁 1030-1036
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2017.09.097	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ishii A, Hirose S.	4. 巻 15(3)
2. 論文標題 New Genes for Epilepsy - Autism Comorbidity	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Pediatric Neurology	6. 最初と最後の頁 105-114
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1055/s-0037-1602822	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Nakatsumi H., Matsumoto M., Nakayama KI.	4. 巻 21
2. 論文標題 Noncanonical pathway for regulation of CCL2 expression by an mTORC1-FOXK1 axis promotes recruitment of tumor-associated macrophages	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cell Rep.	6. 最初と最後の頁 2471-86
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2017.11.014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsuzaka Y, Sato E., Kano T., Aonuma H. and Ishiguro A.	4. 巻 6
2. 論文標題 Non-centralized and functionally localized nervous system of ophiuroids: evidence from topical anesthetic experiments	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Biology Open	6. 最初と最後の頁 425-438
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1242/bio.019836	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yan KS, Janda CY, Chang J, Zheng GXY, Larkin KA, Luca VC, Chia LA, Ueno H, Wong MH, Snyder MP, Weissman IL, Hsueh AJ, Mikkelsen TS, Garcia KC, and Kuo CJ.	4. 巻 545
2. 論文標題 Non-equivalence of Wnt and R-spondin ligands during Lgr5+ intestinal stem-cell self-renewal	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nature	6. 最初と最後の頁 238-242
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/nature22313	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fukushima H., Shimizu K., Watahiki A., Hoshikawa S., Kosho T., Oba D., Sakano S., Arakaki M., Yamada A., Nagashima K., Okabe K., Fukumoto S., Jimi E., Bigas A., Nakayama KI., Nakayama K., Aoki Y., Wei W., Inuzuka H.	4. 巻 68
2. 論文標題 NOTCH2 Hajdu-Cheney mutations escape SCFFBW7-dependent proteolysis to promote osteoporosis	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Mol. Cell	6. 最初と最後の頁 645-58. e5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.molcel.2017.10.018	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kim TS, Shin YH, Lee HM, Kim JK, Choe JH, Jang JC, Um S, Jin HS, Komatsu M, Cha GH, Chae HJ, Oh DC, Jo EK.	4. 巻 7
2. 論文標題 Ohmyungsamycins promote antimicrobial responses through autophagy activation via AMP-activated protein kinase pathway	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 3431
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-03477-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yamaki N, Hishimoto A, Otsuka I, Sasada T, Boku S, Saito T, Yasuda Y, Yamamori H, Ikeda M, Sora I, Iwata N, Hashimoto R	4. 巻 71(4)
2. 論文標題 Optimizing outcomes in clozapine rechallenge following neutropenia using human leukocyte antigen typing: A case report	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Psychiatry Clin Neurosci	6. 最初と最後の頁 289-290
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.12505	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ozaki M, Sano H, Sato S, Ogura M, Mushiake H, Chiken S, Nakano N, Nambu A	4. 巻 27
2. 論文標題 Optogenetic activation of the sensorimotor cortex reveals “local inhibitory and global excitatory” inputs to the basal ganglia	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cerebral cortex	6. 最初と最後の頁 5716-5726
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhx234	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Abe K, Yawo H.	4. 巻 12
2. 論文標題 Optogenetic conditioning of paradigm and pattern discrimination in the rat somatosensory system	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0189439
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0189439	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Dergacheva O, Yamanaka A, Schwartz AR, Polotsky VY, *Mendelowitz D	4. 巻 312(4)
2. 論文標題 Optogenetic identification of hypothalamic orexin neuron projections to paraventricular spinally projecting neurons	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 American journal of physiology. Heart and circulatory physiology	6. 最初と最後の頁 H808-H817
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1152/ajpheart.00572.2016	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 M. Ishido*, R. Usu	4. 巻 4
2. 論文標題 Orally administered p-nitrotoluene causes hyperactivity, concomitant with gliosis and impairment of tyrosine hydroxylase immunoreactivity in the rat substantia nigra	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Fund. Toxicol. Sci.	6. 最初と最後の頁 151-158
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2131/fts.4.151	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mukai S, Oue N, Oshima T, Imai T, Sekino Y, Honma R, Sakamoto N, Sentani K, Kuniyasu H, Egi H, Tanabe K, Yoshida K, Ohdan H, Yasui W	4. 巻 243(1)
2. 論文標題 Overexpression of PCDHB9 promotes peritoneal metastasis and correlates with poor prognosis in patients with gastric cancer	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Pathology	6. 最初と最後の頁 100-110
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/path.4931	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yokose, J., Okubo-Suzuki, R., Nomoto, M., Ohkawa, N., Nishizono, H., Suzuki, A., Matsuo, M., Tsujimura, S., Takahashi, Y., Nagase, M., Watabe, A.M., Sasahara, M., Kato, F., Inokuchi, K.	4. 巻 355(6323)
2. 論文標題 Overlapping memory trace indispensable for linking, but not recalling, individual memories.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Science	6. 最初と最後の頁 398-403
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/science.aal2690	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Nasanbuyan N, Yoshida M, Takayanagi Y, Inutsuka A, Nishimori K, Yamanaka A, *Onaka T.	4. 巻 159(2)
2. 論文標題 Oxytocin-Oxytocin Receptor Systems Facilitate Social Defeat Posture in Male Mice	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Endocrinology.	6. 最初と最後の頁 763-775
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1210/en.2017-00606	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Nakamura K, Ding L	4. 巻 11
2. 論文標題 Parsing Heterogeneous Striatal Activity	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Frontiers in neuroanatomy	6. 最初と最後の頁 43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnana.2017.00043	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sato A, Ogita H.	4. 巻 18
2. 論文標題 Pathophysiological Implications of Dipeptidyl Peptidases	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Curr Protein Pept Sci	6. 最初と最後の頁 843-849
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2174/1389203718666170329104936	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yuichiro Yoneoka, Junichi Yoshimura, Masayasu Okada, Yukihiko Fujii:	4. 巻 52
2. 論文標題 Perifocal Inflammatory Reaction with Volume Fluctuation Caused by Diagnostic Radiation-Induced Reduction in Germinoma Makes Histological Diagnosis Difficult despite Its Disappearance following Treatment: A Significant Pitfall and Countermeasures to It	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Pediatr Neurosurg.	6. 最初と最後の頁 87-92
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000450583	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Naoaki Sakata, Yohko Yamaguchi, Yu Chen, Masayuki Shimoda, Gumpei Yoshimatsu, Michiaki Unno, Shoichiro Sumi, Rieko Ohki.	4. 巻 12(11)
2. 論文標題 Pleckstrin homology-like domain family A, member 3 (PHLDA3) deficiency improves islets engraftment through the suppression of hypoxic damage	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0187927
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0187927	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sato N, Shidara H, Ogawa H.	4. 巻 103
2. 論文標題 Post-molting development of wind-elicited escape behavior in the cricket	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Insect Physiol.	6. 最初と最後の頁 36-46
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jinsphys.2017.10.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sasaki M, Ishii A, Saito Y, Hirose S.	4. 巻 4(3)
2. 論文標題 Progressive Brain Atrophy in Alternating Hemiplegia of Childhood	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Movement Disorders Clinical Practice	6. 最初と最後の頁 406-411
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/mdc3.12451	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Fujii K, Luo Y, Nishiguchi Y, Fujiwara R, Kishi S, He S, Yang S, Sasaki T, Ohmori H, Kuniyasu H	4. 巻 50(1)
2. 論文標題 Pro-metastatic intracellular signaling of elaidic acid, a trans fatty acid	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Int J Oncol	6. 最初と最後の頁 85-92
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/ijo.2016.3797	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Zankov DP, Shimizu A, Tanaka-Okamoto M, Miyoshi J, Ogita H.	4. 巻 7
2. 論文標題 Protective effects of intercalated disk protein afadin on chronic pressure overload-induced myocardial damage	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 39335
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep39335	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Shikata Y, Kiga M, Futamura Y, Aono H, Inoue H, Kawada M, Osada H, and Imoto M.	4. 巻 108
2. 論文標題 Protein kinase A inhibition facilitates the antitumor activity of xanthohumol, a valosin-containing protein inhibitor.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 785-794
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13175	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Furuse T., Miyake K., Kohda T., Kaneda H., Hirasawa T., Yamada I., Kushida T., Kashimura M., Kobayashi K., Ishino F., Kubota T., Wakana S.	4. 巻 12
2. 論文標題 Protein-restricted diet during pregnancy after insemination alters behavioral phenotypes of the progeny	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Genes & Nutrition	6. 最初と最後の頁 1
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12263-016-0550-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ueda H, Sasaki K, Halder SK, Deguchi Y, Takao K, Miyakawa T, Tajima A	4. 巻 141(1)
2. 論文標題 Prothymosin alpha-deficiency enhances anxiety-like behaviors and impairs learning/memory-functions and neurogenesis	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Neurochemistry,	6. 最初と最後の頁 124-136
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jnc.13963	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Mori S, Kadochi Y, Luo Y, Fujiwara-Tani R, Nishiguchi Y, Kishi S, Fujii K, Ohmori H, Kuniyasu H	4. 巻 23
2. 論文標題 Proton pump inhibitor induces-collagen expression in colonocytes is associated with collagenous colitis	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 World J Gastroentrol	6. 最初と最後の頁 1586-1593
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3748/wjg.v23.i9.1586	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kuramitsu M, Sekizuka T, Yamochi T, Firouzi S, Saito M, Watanabe T, Okuma K, Hamaguchi I, et al.	4. 巻 55(9)
2. 論文標題 Proviral Features of Human T Cell Leukemia Virus Type 1 in Carriers with Indeterminate Western Blot Analysis Results	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Microbiology	6. 最初と最後の頁 2838-2849
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JCM.00659-17	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Malek M, Kielkowska A, Chessa T, Sasaki T, Clark J, Hawkins PT, Stephens LR, et al.	4. 巻 68(3)
2. 論文標題 PTEN Regulates PI(3,4)P2 Signaling Downstream of Class I PI3K	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Mol Cell	6. 最初と最後の頁 566-580
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.molcel.2017.09.024	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Koike M, Shibata M, Sunabori T, Yamaguchi J, Sakimura K, Komatsu M, Tanaka K, Uchiyama Y.	4. 巻 187
2. 論文標題 Purkinje Cells Are More Vulnerable to the Specific Depletion of Cathepsin D Than to That of Atg7	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Am J Pathol.	6. 最初と最後の頁 1586-1600
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ajpath.2017.02.020	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Hoya S, Watanabe Y, Hishimoto A, Nunokawa A, Inoue E, Igeta H, Otsuka I, Shibuya M, Egawa J, Sora I, Someya T.	4. 巻 71(8)
2. 論文標題 Rare FBX018 variations and risk of schizophrenia: Whole-exome sequencing in two parent-affected offspring trios followed by resequencing and case-control studies	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Psychiatry Clin Neurosci.	6. 最初と最後の頁 562-568
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.12526	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hoya S, Watanabe Y, Hishimoto A, Nunokawa A, Kaneko N, Muratake T, Shinmyo N, Otsuka I, Okuda S, Inoue E, Igeta H, Shibuya M, Egawa J, Orime N, Sora I, Someya T.	4. 巻 71(11)
2. 論文標題 Rare PDCD11 variations are not associated with risk of schizophrenia in Japan	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Psychiatry Clin Neurosci	6. 最初と最後の頁 780-788
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.12549	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hammer MF, Ishii A, Johnstone L, Tchourbanov A, Lau B, Sprissler R, Hallmark B, Zhang M, Zhou J, Watkins J, Hirose S.	4. 巻 12(7)
2. 論文標題 Rare variants of small effect size in neuronal excitability genes influence clinical outcome in Japanese cases of SCN1A truncation-positive Dravet syndrome	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 PLoS ONE	6. 最初と最後の頁 e0180485
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0180485	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Takahashi N, Wei FY, Watanabe S, Hirayama M, Ohuchi Y, Fujimura A, Kaitzuka T, Ishii I, Sawa T, Nakayama H, Akaike T, Tomizawa K.	4. 巻 45
2. 論文標題 Reactive sulfur species regulate tRNA methylation and contribute to insulin secretion	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nucleic Acids Res.	6. 最初と最後の頁 435-445
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/nar/gkw745	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Morinaga T, Yanase S, Okamoto A, Yamaguchi N, Yamaguchi N	4. 巻 7
2. 論文標題 Recruitment of Lyn from endomembranes to the plasma membrane through calcium-dependent cell-cell interactions upon polarization of inducible Lyn-expressing MDCK cells	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 493
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-00538-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Moriguchi S, Kita S, Fukaya M, Osanai M, Inagaki R, Sasaki Y, Izumi H, Horie K, Takeda J, Saito T, Sakagami H, Saido TC, Iwamoto T, Fukunaga K	4. 巻 131
2. 論文標題 Reduced expression of Na <sup>+</sup> /Ca <sup>2+</sup> exchangers is associated with cognitive deficits seen in Alzheimer's disease model mice	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Neuropharmacology	6. 最初と最後の頁 291-303
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuropharm.2017.12.037	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yamamotoya T, Nakatsu Y, Matsunaga Y, Fukushima T, Yamazaki H, Kaneko S, Fujishiro M, Kikuchi T, Kushiyama A, Tokunaga F, Asano T, Sakoda H.	4. 巻 18
2. 論文標題 Reduced SHARPIN and LUBAC formation may contribute to CCl <sub>4</sub> - or acetaminophen-induced liver cirrhosis in mice	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 International Journal of Molecular Sciences	6. 最初と最後の頁 326
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms18020326	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fukai Y, Ohsawa Y, Ohtsubo H, Nishimatsu S, Hagiwara H, Noda M, Sasaoka T, Murakami T, Sunada Y	4. 巻 492 (2)
2. 論文標題 Redundancy of matrix metalloproteinases cleaving beta-dystroglycan: Implications for the pathogenesis of sarcoglycanopathy	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Biochemical Biophysical Research Communications	6. 最初と最後の頁 199-205
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2017.08.048	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Katow H, Kanaya T, Ogawa T, Egawa R, Yawo H.	4. 巻 59(3)
2. 論文標題 Regulation of axon arborization pattern in the developing chick ciliary ganglion: Possible involvement of caspase 3.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Dev Growth Differ. 59(3):115-128. 2017	6. 最初と最後の頁 115-128
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/dgd.12346	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kadochi Y, Mori S, Fujiwara-Tani R, Luo Y, Nishiguchi Y, Kishi S, Fujii K, Ohmori H, Kuniyasu H	4. 巻 14(1)
2. 論文標題 Remodeling of energy metabolism by a ketone body and medium-chain fatty acid suppressed proliferation of CT26 mouse colon cancer cells	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Oncology Letters	6. 最初と最後の頁 673-680
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/ol.2017.6195	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sato R*, Shibata T*, Tanaka Y, Kato C, Yamaguchi K, Furukawa Y, Shimizu E, Yamaguchi R, Imoto S, Miyano S, Miyake K. (* equally contributed)	4. 巻 29(8)
2. 論文標題 Requirement of glycosylation machinery in TLR responses revealed by CRISPR/Cas9 screening	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Int Immunol	6. 最初と最後の頁 347-355
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/intimm/dxx044	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 *Tamada A, Igarashi M	4. 巻 8
2. 論文標題 Revealing chiral cell motility by 3D Riesz transform-differential interference contrast microscopy and computational kinematic analysis	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 2194
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-017-02193-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kuroda N, Ohe C, Kato I, Furuya M, Baba M, Nagashima Y, Nakatani Y, Murakami I, Zhou M, Michal M, He O, Amin MB	4. 巻 68(4)
2. 論文標題 Review of hereditary leiomyomatosis renal cell carcinoma with focus on clinical and pathobiological aspects of renal tumors	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Polish Journal of Pathology	6. 最初と最後の頁 284-296
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5114/pjp.2017.73920	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ito S, Koso H, Sakamoto K, Watanabe S	4. 巻 117(9)
2. 論文標題 RNA helicase DHX15 acts as a tumour suppressor in glioma	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Br. J. Cancer	6. 最初と最後の頁 1349-1359
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/bjc.2017.273	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 K Nakayama, R Ohashi, Y Shinoda, M Yamazaki, M Abe, A Fujikawa, S Shigenobu, A Futatsugi, M Noda, K Mikoshiba, T Furuichi, K Sakimura, and N Shiina	4. 巻 6
2. 論文標題 RNG105/caprin1, an RNA granule protein for dendritic mRNA localization, is essential for long-term memory formation	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 eLife	6. 最初と最後の頁 e29677
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7554/eLife.29677	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yachie N., Robotic Biology Consortium (incl. Nakayama KI.), Natsume T.	4. 巻 35
2. 論文標題 Robotic crowd biology with Maholo LabDroids	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nature Biotechnol.	6. 最初と最後の頁 310-2
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/nbt.3758	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Honda A, Usui H, Sakimura K, Igarashi M.	4. 巻 292
2. 論文標題 Rufy3 is an adapter protein for small GTPases that activates a Rac guanine nucleotide exchange factor to control neuronal polarity	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Biol Chem.	6. 最初と最後の頁 20936-20946
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.M117.809541	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Wang CQ, Mok MM, Yokomizo T, Tergaonkar V, Osato M.	4. 巻 962(-)
2. 論文標題 Runx Family Genes in Tissue Stem Cell Dynamics	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Adv Exp Med Biol	6. 最初と最後の頁 117-138
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-10-3233-2_9	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Selvarajan V, Osato M, Nah GSS, Yan J, Chung TH, Voon DC, Ito Y, Ham MF, Salto-Tellez M, Shimizu N, Choo SN, Fan S, Chng WJ, Ng SB.	4. 巻 31(10)
2. 論文標題 RUNX3 is oncogenic in natural killer/T-cell lymphoma and is transcriptionally regulated by MYC	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Leukemia	6. 最初と最後の頁 2219-2227
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/leu.2017.40	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 T. Watanabe, Y. Mutoh, S. Saito	4. 巻 139
2. 論文標題 Ruthenium-Catalyzed Cycloisomerization of 2-Alkynylanilides: Synthesis of 3-Substituted Indoles by 1,2-Carbon Migration	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 JOURNAL OF THE AMERICAN CHEMICAL SOCIETY	6. 最初と最後の頁 7749-7752
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/jacs.7b04564	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kubo H, Hoshi M, Matsumoto T, Irie M, Oura S, Tsutsumi H, Hata Y, Yamamoto Y, Saito K.	4. 巻 16
2. 論文標題 Sake lees extract improves hepatic lipid accumulation in high fat diet-fed mice	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Lipids Health Dis.	6. 最初と最後の頁 106
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12944-017-0501-y	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Sumi-Ichinose C, Suganuma Y, Kano T, Ihira N, Nomura H, Ikemoto K, Hata T, Katoh S, Ichinose H, Kondo K	4. 巻 5
2. 論文標題 Sepiapterin reductase gene-disrupted mice suffer from hypertension with fluctuation and bradycardia	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Physiol Rep	6. 最初と最後の頁 e13196
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14814/phy2.13196	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Shibata Y, Hara T, Matsumoto T, Nakamura N, Nakamura H, Ninomiya S, Kitagawa J, Goto N, Nannya Y, Ito H, Kito Y, Miyazaki T, Takeuchi T, Saito K, Seishima M, Takami T, Moriwaki H, Shimizu M, Tsurumi H.	4. 巻 35
2. 論文標題 Serum concentrations of l-kynurenine predict clinical outcomes of patients with peripheral T-cell lymphoma, not otherwise specified	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Hematol Oncol	6. 最初と最後の頁 637-644
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/hon.2318	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kiyokawa H, Yasuda H, Oikawa R, Okuse C, Matsumoto N, Ikeda H, Watanabe T, Yamamoto H, Itoh F, Otsubo T, Yoshimura T, Yoshida E, Nakagawa M, Koshikawa N & Seiki M	4. 巻 108
2. 論文標題 Serum monomeric laminin-gamma2 as a novel biomarker for hepatocellular carcinoma	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 1432-1439
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13261	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nagano H, Nakagawa Y, Ishikawa N, Watanabe Y, Miyabayashi Y, Nakayama A, Fujimoto M, Komai E, Shiga A, Tamura A, Kono T, Takiguchi T, Higuchi S, Sakuma I, Hashimoto N, Suzuki S, Koide H, Yokote K, Tanaka T.	4. 巻 23(11)
2. 論文標題 SEVEN FAMILIAL DYSALBUMINEMIC HYPERTHYROXINEMIA CASES IN THREE UNRELATED JAPANESE FAMILIES AND HIGH-PERFORMANCE LIQUID CHROMATOGRAPHY ANALYSIS OF THE THYROXINE BINDING PROFILE	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Endocr Pract	6. 最初と最後の頁 1325-1332
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4158/EP171964.OR	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yaguchi H., Yabe I., Takahashi H., Watanabe M., Nomura T., Kano T., Matsumoto M., Nakayama KI., Watanabe M., Hatakeyama S.	4. 巻 494
2. 論文標題 Sez6l2 regulates phosphorylation of ADD and neuritogenesis	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Biochem. Biophys. Res. Commun.	6. 最初と最後の頁 234-41
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2017.10.047	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Karim MF, Yoshizawa T, Sobuz SU, Sato Y, Yamagata K	4. 巻 490
2. 論文標題 SIRT7-dependent deacetylation of DDB1 regulates the expression of nuclear receptor TR4	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun	6. 最初と最後の頁 423-428
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2017.06.057	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Satoko Suzuki, Noriko Ayukawa, Chisa Okada, Masami Tanaka, Susumu Takekoshi, Yoko Iijima, and Takatoshi Iijima.	4. 巻 7
2. 論文標題 Spatio-temporal and dynamic regulation of neurofascin alternative splicing in mouse cerebellar neurons	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 11405
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-11319-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Higuchi T, Ishizaki Y, Noritake A, Yanagimoto Y, Kobayashi H, Nakamura K, Kaneko K.	4. 巻 12(5)
2. 論文標題 Spatiotemporal characteristics of gaze of children with autism spectrum disorders while looking at classroom scenes	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 PLoS ONE	6. 最初と最後の頁 e0175912
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0175912	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koshikawa N, Minegishi T, Kiyokawa H, and Seiki M	4. 巻 8
2. 論文標題 Specific detection of soluble EphA2 fragments in blood as a new biomarker for pancreatic cancer	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cell Death Dis	6. 最初と最後の頁 e3134
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/cddis.2017.545	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shuji Wakatsuki, Toshiyuki Araki	4. 巻 17
2. 論文標題 Specific phospholipid scramblases are involved in exposure of phosphatidylserine, an "eat-me" signal for phagocytes, on degenerating axons	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Commun Integr Biol	6. 最初と最後の頁 e1296615
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/19420889.2017.1296615	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Morii M, Kubota S, Honda T, Yuki R, Morinaga T, Kuga T, Tomonaga T, Yamaguchi N, Yamaguchi N	4. 巻 292(5)
2. 論文標題 Src Acts as an Effector for Ku70-dependent Suppression of Apoptosis through Phosphorylation of Ku70 at Tyr-530	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Biol Chem.	6. 最初と最後の頁 1648-1665
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.M116.753202	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ohnishi T., Shirane M., Nakayama KI.	4. 巻 7
2. 論文標題 SRRM4-dependent neuron-specific alternative splicing of protrudin transcripts regulates neurite outgrowth	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sci. Rep.	6. 最初と最後の頁 41130
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep41130	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ryo Watanabe, Haruki Mizoguchi, Hideaki, Oikawa, Hirofumi Ohashi, Koichi Watashi, Hiroki Oguri	4. 巻 25(11)
2. 論文標題 Stereo-controlled synthesis of functionalized tetrahydropyridines based on the cyanomethylation of 1,6-dihydropyridines and generation of anti-hepatitis C virus agents	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Bioorg. Med. Chem.	6. 最初と最後の頁 2851-2855
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bmc.2017.03.011	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kimiko Shimizu and Yoshitaka Fukada	4. 巻 7
2. 論文標題 Stereotaxic Surgery for Suprachiasmatic Nucleus Lesions in Mice	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Bio-protocol	6. 最初と最後の頁 2346
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21769/BioProtoc.2346	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sotoyama H, Iwakura Y, Oda K, Sasaoka T, Takei N, Kakita A, Enomoto H, Nawa H	4. 巻 654
2. 論文標題 Striatal hypodopamine phenotypes found in transgenic mice that overexpress glial cell line-derived neurotrophic factor	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Neuroscience Letters	6. 最初と最後の頁 99-106
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neulet.2017.06.005	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yonehara R., Nada S., Nakai T., Nakai M., Kitamura A., Ogawa A., Nakatsumi H., Nakayama KI., Li S., Standley DM., Yamashita E., Nakagawa A., Okada M.	4. 巻 8
2. 論文標題 Structural basis for the assembly of the Ragulator-Rag GTPase complex	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nature Commun.	6. 最初と最後の頁 1625
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-017-01762-3	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 K. Ito, Y. Mutoh, S. Saito	4. 巻 82
2. 論文標題 Synthesis of [2]Catenanes by Intramolecular Sonogashira-Type Reaction	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 JOURNAL OF ORGANIC CHEMISTRY	6. 最初と最後の頁 6188-6124
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.joc.7b00672	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yamazaki, Y.; Mutoh, Y.; Saito, S.	4. 巻 46
2. 論文標題 Synthesis of Interlocked Compounds by Utilizing Bond-forming Reactions Mediated by Macrocyclic Phenanthroline-Cu Complexes	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 CHEMISTRY LETTERS	6. 最初と最後の頁 904-912
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1246/cl.170031	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 T. Fukuda, T. Katae, I. Harada, M. Iwao	4. 巻 95 (2)
2. 論文標題 Synthesis of Lamellarins via Regioselective Assembly of 1,2-Diarylated [1]Benzopyrano[3,4-b]pyrrol-4(3H)-one Core	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Heterocycles	6. 最初と最後の頁 950-971
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3987/COM-16-S(S)63	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Y. Mochizuki, K. Ikeyatsu, Y. Mutoh, S. Hosoya, S. Saito	4. 巻 19
2. 論文標題 Synthesis of Mechanically Planar Chiral rac-[2]Rotaxanes by Partitioning of an Achiral [2]Rotaxane: Stereoinversion Induced by Shuttling	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 ORGANIC LETTERS	6. 最初と最後の頁 4347-4350
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.orglett.7b02043	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -



1. 著者名 Katamura, T.; Shimizu, T.; Mutoh, Y.; Saito, S.	4. 巻 19(1)
2. 論文標題 Synthesis of Tricyclic Benzazocines by Aza-Prins Reaction	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Organic Letters	6. 最初と最後の頁 266-269
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.orglett.6b03577	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Nakamura T, Okabe S, Yoshida H, Iida K, Ma Y, Sasaki S, Yamori T, Shin-Ya K, Nakano I, Nagasawa K, Seimiya H.	4. 巻 7
2. 論文標題 Targeting glioma stem cells in vivo by a G-quadruplex-stabilizing synthetic macrocyclic hexaoxazole	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 e3605
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-03785-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Aizawa F, Ogaki Y, Kyoya N, Nakamoto K, Kurihara T, Hirasawa A, Miyata A, Tokuyama S,	4. 巻 40(8)
2. 論文標題 The Deletion of GPR40/FFAR1 Signaling Damages Maternal Care and Emotional Function in Female Mice	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Biol Pharm Bull	6. 最初と最後の頁 1255-1259
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1248/bpb.b17-00082	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kimura H, Matsuyama Y, Araki S, Koizumi A, Kariya Y, Takasuga S, Eguchi S, Nakanishi H, Sasaki J, Sasaki T.	4. 巻 7
2. 論文標題 The effect and possible clinical efficacy of in vivo inhibition of neutrophil extracellular traps by blockade of PI3K-gamma on the pathogenesis of microscopic polyangiitis	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Mod Rheumatol	6. 最初と最後の頁 1-12
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/14397595.2017.1367116	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Park S, Mori R, Shimokawa I	4. 巻 9(11)
2. 論文標題 The fat regulator neuropeptide Y and caloric restriction	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Aging (Albany NY)	6. 最初と最後の頁 2243-2244
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/aging.101338	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nobuhiko Takai, Masatsugu Ohgami, Koichi Ando, Akiko Uzawa, Ryoichi Hirayama, Saori Nakamura, Yoshihito Ohba	4. 巻 vol.2
2. 論文標題 THE FOCAL BRAIN IRRADIATION OF PROTON BEAM INSULT IN RATS INDUCED MEMORY DISTURBANCE RELATED CHANGE IN ACETYLCHOLINE RECEPTOR BINDING	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 RadProc	6. 最初と最後の頁 25-29.
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21175	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mouri A, Noda Y, Niwa M, Matsumoto Y, Mamiya T, Nitta A, Yamada K, Furukawa S, Iwamura T, Nabeshima T.	4. 巻 329
2. 論文標題 The involvement of brain-derived neurotrophic factor in 3,4-methylenedioxymethamphetamine-induced place preference and behavioral sensitization	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Behav Brain Res.	6. 最初と最後の頁 157-165
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbr.2017.04.052	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yahiro, T., Kataoka, N., Nakamura, Y., Nakamura, K.	4. 巻 7
2. 論文標題 The lateral parabrachial nucleus, but not the thalamus, mediates thermosensory pathways for behavioural thermoregulation	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 5031
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-05327-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okumura K, Saito M, Yoshizawa Y, Munakata H, Isogai E, Miura I, Wakana S, Yamaguchi M, Shitara H, Taya C, Karaplis AC, Kominami R, and Wakabayashi Y	4. 巻 7(1)
2. 論文標題 The parathyroid hormone regulates skin tumour susceptibility in mice	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 11208
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-11561-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Murakami Y, Fukui R, Motoi Y, Shibata T, Saitoh SI, Sato R, Miyake K.	4. 巻 7
2. 論文標題 The protective effect of the anti-Toll-like receptor 9 antibody against acute cytokine storm caused by immunostimulatory DNA	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 44042
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep44042	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kake S, Tsuji S, Enjoji S, Hanasaki S, Hayase H, Yabe R, Tanaka Y, Nakagawa T, Liu HP, Chang SC, Usui T, Ohama T*, Sato K	4. 巻 27
2. 論文標題 The Role of SET/I2PP2A in canine mammary tumors	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 4279
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-04291-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Takakura Y, Yamaguchi N, Honda T, Morii M, Yuki R, Nakayama Y, Yamaguchi N	4. 巻 40(11)
2. 論文標題 The Truncated Isoform of the Receptor Tyrosine Kinase ALK Generated by Alternative Transcription Initiation (ALK(ATI)) Induces Chromatin Structural Changes in the Nucleus in a Kinase Activity-Dependent Manner	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Biol Pharm Bull.	6. 最初と最後の頁 1968-1975
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1248/bpb.b17-00548	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Li H, Xu C, Li Q, Gao X, Sugano E, Tomita H, Yang L, Shi S	4. 巻 18(9)
2. 論文標題 Thioredoxin 2 offers protection against mitochondrial oxidative stress and hypertrophy induced by hyperglycemia in H9c2	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Int J Mol Sci	6. 最初と最後の頁 E1958
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms18091958	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yuichiro Yoneoka, Junichi Yoshimura, Masakazu Sano, Masayasu Okada, Akiyoshi Kakita, Yukihiko Fujii	4. 巻 53(1)
2. 論文標題 Third Ventricle Germ Cell Tumor Originating from the Infundibulum with Rapidly Expansive Enlargement	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Pediatr Neurosurg.	6. 最初と最後の頁 49-54
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000480021	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Tabata S, Yamamoto M, Goto H, Hirayama A, Ohishi M, Kuramoto T, Mitsunashi A, Ikeda R, Haraguchi M, Kawahara K, Shinsato Y, Minami K, Saijo A, Hanibuchi M, Nishioka Y, Sone S, Esumi H, Tomita M, Soga T, Furukawa T, Akiyama SI.	4. 巻 19(7)
2. 論文標題 Thymidine Catabolism as a Metabolic Strategy for Cancer Survival	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cell Reports	6. 最初と最後の頁 1313-1321
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2017.04.061	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ogura H, Nagatake-Kobayashi Y, Adachi J, Tomonaga T, Fujita N, *Katayama R.	4. 巻 7
2. 論文標題 TKI-addicted ROS1-rearranged cells are destined to survival or death by the intensity of ROS1 kinase activity.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 5519
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-05736-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Saitoh S, Abe F, Kanno A, Tanimura N, Saitoh Y, Fukui R, Shibata T, Sato K, Ichinohe T, Hayashi M, Kubota K, Kozuka-Hata H, Oyama M, Kikko Y, Katada T, Kontani K, and Miyake K	4. 巻 8(1)
2. 論文標題 TLR7 mediated viral recognition results in focal type I interferon secretion by dendritic cells	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nat. Commun.	6. 最初と最後の頁 1592
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-017-01687-x	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Eisuke Sato, Miho Sato, Yurika Tanabe, Naoya Nakajima, Akifumi Ohkubo, Kiyotake Suenaga	4. 巻 82 (13)
2. 論文標題 Total Synthesis of Biselyngbyaside	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 The Journal of Organic Chemistry	6. 最初と最後の頁 6770-6777
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.joc.7b00905	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Wong-Lin K, Wang DH, Moustafa AA, Cohen JY, Nakamura K.	4. 巻 31(9)
2. 論文標題 Toward a multiscale modeling framework for understanding serotonergic function	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of psychopharmacology	6. 最初と最後の頁 1121-1136
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0269881117699612	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Magi S, Iwamoto K, Yumoto N, Hiroshima M, Nagashima T, Ohki R, Garcia-Munoz A, Volinsky N, Kriegsheim AV, Sako Y, Takahashi K, Kimura S, Kholodenko BN, Okada-Hatakeyama M	4. 巻 293
2. 論文標題 Transcriptionally inducible Pleckstrin homology-like domain family A member 1 attenuates ErbB receptor activity by inhibiting receptor oligomerization	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Biol Chem	6. 最初と最後の頁 2206-2218.
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.M117.778399	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nomiyama H, Osada N, Takahashi I, Terao K, Yamagata K, Yoshie O	4. 巻 37
2. 論文標題 Translational repression of a splice variant of cynomolgus macaque CKCL1L by its C-terminal sequence.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Interferon and Cytokine Research	6. 最初と最後の頁 129-138
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/jir.2016.0085	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Shimohata A, Ishihara K, Hattori S, Miyamoto H, Morishita H, Ornthanalai G, Raveau M, Ebrahim AS, Amano K, Yamada K, Sago H, Akiba S, Mataga N, Murphy NP, Miyakawa T, Yamakawa K*.	4. 巻 293
2. 論文標題 TslCje Down syndrome model mice exhibit environmental stimuli-triggered locomotor hyperactivity and sociability concurrent with increased flux through central dopamine and serotonin metabolism	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Exp Neurol	6. 最初と最後の頁 1-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.expneurol.2017.03.009	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Kano M, Watanabe T	4. 巻 6
2. 論文標題 Type-1 metabotropic glutamate receptor signaling in cerebellar Purkinje cells in health and disease	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 F1000Research	6. 最初と最後の頁 416
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.12688/f1000research.10485.1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Peng H, Yang J, Li G, You Q, Han W, Li T, Gao D, Xie X, Lee BH, Du J, Hou J, Zhang T, Rao H, Huang Y, Li Q, Zeng R, Hui L, Wang H, Xia Q, Zhang X, He Y, Komatsu M, Dikic I, Finley D, Hu R.	4. 巻 27
2. 論文標題 Ubiquitylation of p62/sequestosomel activates its autophagy receptor function and controls selective autophagy upon ubiquitin stress	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cell Res.	6. 最初と最後の頁 657-6674
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/cr.2017.40	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する



1. 著者名 Oh Y-M, Karube F...Fujiyama F. et al.	4. 巻 222
2. 論文標題 Using a novel PV-Cre rat model to characterize pallidonigral cells and their terminations	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Brain Struct Funct	6. 最初と最後の頁 2359-2378
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00429-016-1346-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hanaya R, Niantiaro FH, Kashida Y, Hosoyama H, Maruyama S, Otsubo T, Tanaka K, Ishii A, Hirose S, Arita K.	4. 巻 7
2. 論文標題 Vagus nerve stimulation for genetic epilepsy with febrile seizures plus (GEFS+) accompanying seizures with impaired consciousness	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Epilepsy & Behavior Case Reports	6. 最初と最後の頁 16-19
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ebcr.2016.11.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sugimura T, Yamamoto M, Yamada K, Komatsu Y, Yoshimura Y	4. 巻 120
2. 論文標題 Visual experience regulates the development of long-term synaptic modifications induced by low-frequency stimulation in mouse visual cortex.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Neurosci Res.	6. 最初と最後の頁 36-44
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2017.02.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sato M, Sugano E, Tabata K, Sannohe K, Watanabe Y, Ozaki T, Tamai M Tomita H	4. 巻 7
2. 論文標題 Visual Responses of Photoreceptor-Degenerated Rats Expressing Two Different Types of Channelrhodopsin Genes	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 41210
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep41210	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kimura H, Eguchi S, Sasaki J, Kuba K, Nakanishi H, Takasuga S, Yamazaki M, Goto A, Watanabe H, Itoh H, Imai Y, Suzuki A, Mizushima N, Sasaki T.	4. 巻 2(1)
2. 論文標題 Vps34 regulates myofibril proteostasis to prevent hypertrophic cardiomyopathy	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 JCI Insight	6. 最初と最後の頁 e89462
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1172/jci.insight.89462	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Honda T, Morii M, Nakayama Y, Suzuki K, Yamaguchi N, Yamaguchi N	4. 巻 8
2. 論文標題 v- <i>Src</i> -driven transformation is due to chromosome abnormalities but not <i>Src</i> -mediated growth signaling	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 1063
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-19599-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Aonuma H., Kaneda M., Hatakeyama D., Watanabe T., Lukowiak K. and Ito E.	4. 巻 141
2. 論文標題 Weak involvement of octopamine in aversive taste learning in a snail	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Neurobiol. Learn. Mem.	6. 最初と最後の頁 189-198
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nlm.2017.04.010	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Harada, T., Yamamoto, H, Kishida, S., Kishida, M., Awada, C., Takao, T., and Kikuchi, A.	4. 巻 108
2. 論文標題 Wnt5b-associated exosomes promote cancer cell migration and proliferation	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 42-52
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.1310	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 斎藤慎一, 片村友大, 武藤雄一郎	4. 巻 75
2. 論文標題 アジリジン, アゼチジンの環拡大反応を利用した N-ヘテロ環合成法の開発	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 有機合成化学協会誌	6. 最初と最後の頁 340-348
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5059/yukigoseikyokaishi.75.340	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 山中章弘	4. 巻 11(1)
2. 論文標題 オレキシン神経活動操作による機能解明	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 睡眠医療	6. 最初と最後の頁 19-25
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 設楽久志, 小川宏人	4. 巻 71
2. 論文標題 コオロギの音源定位ナビゲーション-神経行動学が迫る動物のナビゲーションメカニズム	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 生物の科学 遺伝	6. 最初と最後の頁 519-525
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Iijima J, Kobayashi S, Kitazume S, Kizuka Y, Fujinawa R, Korekane H, Shibata T, Saitoh SI, Akashi-Takamura S, Miyake K, Miyoshi E, Taniguchi N.	4. 巻 27(11)
2. 論文標題 タンパク質におけるフコース修飾の意義の解析	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Glycobiology	6. 最初と最後の頁 1006-1015
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/glycob/cwx075	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 河原康一、古川龍彦	4. 巻 35
2. 論文標題 核小体による p53 制御とがん治療薬開発の新展開	5. 発行年 2017 年
3. 雑誌名 実験医学	6. 最初と最後の頁 2365-2367
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 山中章弘	4. 巻 262(5)
2. 論文標題 光遺伝学による神経科学研究の新展開	5. 発行年 2017 年
3. 雑誌名 医学のあゆみ	6. 最初と最後の頁 491-495
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 山中章弘	4. 巻 65(5)
2. 論文標題 光遺伝学による睡眠覚醒の制御	5. 発行年 2017 年
3. 雑誌名 生体の科学	6. 最初と最後の頁 484-485
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 山中章弘	4. 巻 263(9)
2. 論文標題 睡眠のマニピュレーション-光遺伝学、薬理遺伝学を用いた睡眠覚醒の操作	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 医学のあゆみ	6. 最初と最後の頁 765-774
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 山中章弘	4. 巻 53(2)
2. 論文標題 睡眠覚醒調節におけるオレキシンの役割	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 医薬ジャーナル	6. 最初と最後の頁 97-100
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 辻敬一郎・井口善生	4. 巻 67
2. 論文標題 動物心理学研究における還元・比較・発生-研究遍歴をめぐる対談をふまえて-	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 動物心理学研究	6. 最初と最後の頁 73-78
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2502/janip.67.2.1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sakata K, Araki K, Nakano H, Nishina T, Komazawa-Sakon S, Murai S, Lee GE, Hashimoto D, Suzuki C, Uchiyama Y, Notohara K, Gukovskaya AS, Gukovsky I, Yamamura KI, Baba H, Ohmuraya M.	4. 巻 6
2. 論文標題 Novel Method to Rescue a Lethal Phenotype Through Integration of Target Gene Onto the X-chromosome	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 37200
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep37200	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hoque MR, Ishizuka T, Inoue K, Abe-Yoshizumi R, Igarashi H, Mishima T, Kandori H, Yawo H.	4. 巻 11(11)
2. 論文標題 A Chimera Na <sup>+</sup> -Pump Rhodopsin as an Effective Optogenetic Silencer.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 PLoS One.	6. 最初と最後の頁 e0166820
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0166820	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ishii A, Kang JQ, Schornak CC, Hernandez CC, Shen W, Watkins JC, Macdonald RL, Hirose S.	4. 巻 54(3)
2. 論文標題 A de novo missense mutation of GABRB2 causes early myoclonic encephalopathy	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Medical Genetics	6. 最初と最後の頁 202-211
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/jmedgenet-2016-104083	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Igarashi H, Koizumi K, Kaneko R, Ikeda K, Egawa R, Yanagawa Y, Muramatsu S, Onimaru H, Ishizuka T, Yawo H	4. 巻 11
2. 論文標題 A Novel Reporter Rat Strain That Conditionally Expresses the Bright Red Fluorescent Protein tdTomato	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0155687
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0155687	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ayumi Suzuki, Takahiro Arai, Kota Ikenaga, Yuichiro Mutoh, Noriko Tsuchida, Scinchi Saito, Youichi Ishii	4. 巻 46
2. 論文標題 A ruthenium tellurocarbonyl (CTe) complex with a cyclopentadienyl ligand: Systematic studies of a series of the chalcogenocarbonyl complexes [CpRuCl(CE)(H2IMes)] (E = O, S, Se, Te)	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 DALTON TRANSACTIONS	6. 最初と最後の頁 44 - 48
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C6DT04440A	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Saitoh Y, Hamano A, Mochida K, Kakeya A, Uno M, Tsuruyama E, Ichikawa H, Tokunaga F, Utsunomiya A, Watanabe T, Yamaoka S.	4. 巻 30(3)
2. 論文標題 A20 targets caspase-8 and FADD to protect HTLV-I-infected cells	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Leukemia	6. 最初と最後の頁 716-727
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/leu.2015.267	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -



1. 著者名 Ohta H, Kohno Y, Arake M, Tamura R, Yukawa S, Sato Y, Morimoto Y, Nishida Y, Yawo H.	4. 巻 112
2. 論文標題 Adrenergic receptor-mediated modulation of striatal firing patterns	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Neurosci Res.	6. 最初と最後の頁 47-56
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2016.05.004	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Hosokawa H., Tanaka T., Endo Y., Kato M., Shinoda K., Suzuki A., Motohashi S., Matsumoto M., Nakayama KI., Nakayama T.	4. 巻 7
2. 論文標題 Akt1-mediated Gata3 phosphorylation controls the repression of IFN $\gamma$ in memory-type Th2 cells	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Nature Commun.	6. 最初と最後の頁 11289
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ncomms11289	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Connor SA, Ammendrup-Johnsen I, Chan AW, Kishimoto Y, Murayama C, Kurihara N, Tada A, Ge Y, Lu H, Yan R, LeDue JM, Matsumoto M, Kiyonari H, Kirino Y, Matsuzaki F, Suzuki T, Murphy TH, Wang YT, Yamamoto T, Craig AM	4. 巻 91
2. 論文標題 Altered cortical dynamics and cognitive function upon haploinsufficiency of the autism linked excitatory synaptic suppressor MDGA2	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Neuron	6. 最初と最後の頁 1052-1068
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuron.2016.08.016	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Yamashita-Sugahara Y, Matsumoto M, Ohtaka M, Nishimura K, Nakanishi M, Mitani K, Okazaki Y	4. 巻 6
2. 論文標題 An inhibitor of Fibroblast Growth Factor Receptor-1 (FGFR1) promotes late-stage terminal differentiation from NGN3+ pancreatic endocrine progenitors	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Scientific Rep.	6. 最初と最後の頁 335908
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep35908	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Saito S, Fujimaki T, Panbangred W, Igarashi Y and Imoto M	4. 巻 55
2. 論文標題 Antaralides, A new-type of Androgen Receptor (AR) Antagonist, that overcomes resistance to AR-targeted Therapy.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Angewandte Chemie Int. Ed.	6. 最初と最後の頁 2728-2732
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/anie.201510079	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Moinuddin FM, Shinsato Y, Komatsu M, Mitsuo R, Minami K, Yamamoto M, Kawahara K, Hirano H, Arita K, Furukawa T	4. 巻 7
2. 論文標題 ATP7B expression confers multidrug resistance through drug sequestration	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Oncotarget	6. 最初と最後の頁 22779-90
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/oncotarget.8059	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Dragich JM, Kuwajima T, Hirose-Ikeda M, Yoon MS, Eenjes E, Bosco JR, Fox LM, Lystad AH, Oo TF, Yarygina O, Mita T, Waguri S, Ichimura Y, Komatsu M, Simonsen A, Burke RE, Mason CA, Yamamoto A.	4. 巻 5
2. 論文標題 Autophagy linked FYVE (Alfy/WDFY3) is required for establishing neuronal connectivity in the mammalian brain	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Elife	6. 最初と最後の頁 e14810
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7554/eLife.14810	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Muona, M., *Lehesjoki, AE., *Komatsu, M (28人中28番目).	4. 巻 99
2. 論文標題 Biallelic Variants in UBA5 Link Dysfunctional UFM1 Ubiquitin-like Modifier Pathway to Severe Infantile-Onset Encephalopathy.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Am. J. Hum. Genet	6. 最初と最後の頁 683-694
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ajhg.2016.06.020	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Tanaka T, Atsumi N, Nakamura N, Yanai H, Komai Y, Omachi T, Tanaka K, Saiga K, Ohsugi H, Tokuyama Y, Hisha H, Yoshida N, Kumano K, Okazaki K, and Ueno H.	4. 巻 6
2. 論文標題 Bmi1-positive cells in the lingual epithelium could serve as cancer stem cells in tongue cancer	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 39386
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep39386	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tuboly E, Futakuchi M, Varga G, Erces D, Tokes T, Meszaros A, Kaszaki J, Suzui M, Imai M, Okada A, Okada N, Boros M, Okada H	4. 巻 60(1)
2. 論文標題 C5a inhibitor protects ischemia/reperfusion injury in rat small intestine	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Microbiol Immunol	6. 最初と最後の頁 35-46
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1348-0421	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Mehanna S, Suzuki C, Shibata M, Sunabori T, Imanaka T, Araki K, Yamamura K, Uchiyama Y, Ohmuraya M	4. 巻 469 (9)
2. 論文標題 Cathepsin D in pancreatic acinar cells is implicated in cathepsin B and L degradation, but not in autophagic activity	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun	6. 最初と最後の頁 405-411
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2015.12.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nomoto, M., Ohkawa, N., Nishizono, H., Yokose, J., Suzuki, A., Matuo, M., Tsujimura, S., Takahashi, Y., Nagase, M., Watabe, A.M., Kato, F., Inokuchi, K.	4. 巻 7(12319)
2. 論文標題 Cellular tagging as a neural network mechanism for behavioral tagging	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 1-11
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ncomms12319	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Hiroshi Yamada , Hitoshi Inokawa , Yukiko Hori , Xiaochuan Pan , Ryuichi Matsuzaki , Kae Nakamura , Kazuyuki Samejima , Munetaka Shidara d, Minoru Kimura , Masamichi Sakagami , Takafumi Minamimoto	4. 巻 105
2. 論文標題 Characteristics of fast-spiking neurons in the striatum of behaving monkeys	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Neuroscience research	6. 最初と最後の頁 2-18
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2015.10.003	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Motojima M, Tanimoto S, Ohtsuka M, Matsusaka T, Kume T, Abe K	4. 巻 201
2. 論文標題 Characterization of Kidney and Skeleton Phenotypes of Mice Double Heterozygous for Foxc1 and Foxc2	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Cells Tissues Organs	6. 最初と最後の頁 380-389
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000445027	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ohta S, Yaguchi T, Okuno H, Chneiweiss H, Kawakami Y, Okano H	4. 巻 13;9(1)
2. 論文標題 CHD7 promotes proliferation of neural stem cells mediated by MIF	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Molecular Brain	6. 最初と最後の頁 96
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13041-016-0275-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Katayama Y., Nishiyama M., Shoji H., Ohkawa Y., Kawamura A., Sato T., Suyama M., Takumi T., Miyakawa T., Nakayama KI.	4. 巻 537
2. 論文標題 CHD8 haploinsufficiency results in autistic-like phenotypes in mice	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Nature	6. 最初と最後の頁 675-9
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/nature19357	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yan M, Audet-Walsh ?, Manteghi S, Rosa Dufour C, Walker B, Baba M, St- Pierre J, Gigu?re V, Pause A	4. 巻 30(9)
2. 論文標題 Chronic AMPK activation via loss of FLCN induces functional beige adipose tissue through PGC-1 $\alpha$ /ERR $\alpha$	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Genes & Development	6. 最初と最後の頁 1034-1046
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/gad.281410.116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kimura, H., Fumoto, K., Shojima, K., Nojima, S., Osugi, Y., Tomihara, H., Eguchi, H., Shintani, Y., Endo, E., Inoue, M., Doki, Y., Okumura, M., Morii, E., and Kikuchi, A	4. 巻 126(7)
2. 論文標題 CKAP4 is a Dickkopf1 receptor and is involved in tumor progression	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Clin. Invest.	6. 最初と最後の頁 2689-2705
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1172/JCI84658	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Motojima M, Ogiwara S, Matsusaka T, Kim SY, Sagawa N, Abe K, Ohtsuka M.	4. 巻 27
2. 論文標題 Conditional knockout of Foxc2 gene in kidney: efficient generation of conditional alleles of single-exon gene by double-selection system	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Mammalian genome	6. 最初と最後の頁 62-69
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00335-015-9610-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Koso H, Tsuchioka A, Lai CY, Baba Y, Otsu M, Ueno K, Nagasaki M, Suzuki Y, Watanabe	4. 巻 64(11)
2. 論文標題 Conditional rod photoreceptor ablation reveals Sall1 as a microglial marker and regulator of microglial morphology in the retina	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Glia	6. 最初と最後の頁 2005-2024
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/glia.23038	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto N, Nishimasu H, Sakakibara K, Nishida KM, Hirano T, Ishitani R, Siomi H, Siomi MC, Nureki O.	4. 巻 167
2. 論文標題 Crystal Structure of Silkworm PIWI-Clade Argonaute Siwi Bound to piRNA	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Cell	6. 最初と最後の頁 484-497
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cell.2016.09.002	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Jayapal SR, Ang HY, Wang CQ, Bisteau X, Caldez MJ, Xuan GX, Yu W, Tergaonkar V, Osato M, Lim B, Kaldis P.	4. 巻 15(22)
2. 論文標題 Cyclin A2 regulates erythrocyte morphology and numbers	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Cell Cycle	6. 最初と最後の頁 3070-3081
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/15384101.2016.1234546	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 T. Hara, H. Matsuzaki, T. Nakamura, E. Yoshida, T. Ohkubo, H. Maruyama, C. Yamamoto, S. Saito, T. Kaji	4. 巻 3
2. 論文標題 Cytotoxicity of zinc, copper and rhodium complexes with 1,10-phenanthroline or 2,9-dimethyl-1,10-phenanthroline in cultured vascular endothelial cells	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Fundamental Toxicological Sciences	6. 最初と最後の頁 109 - 113
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2131/fts.3.109	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Saito A, Taniguchi Y, Kim SH, Selvakumar B, Perez G, Ballinger MD, Zhu X, Sabra J, Jallow M, Yan P, Ito K, Rajendran S, Hirotsune S, Wynshaw-Boris A, Snyder SH, Sawa A, Kamiya A.	4. 巻 27
2. 論文標題 Developmental Alcohol Exposure Impairs Activity-Dependent S-Nitrosylation of NDEL1 for Neuronal Maturation	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Cereb Cortex.	6. 最初と最後の頁 3918-3929.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhw201	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する



1. 著者名 *Dergacheva O, Yamanaka A, Schwartz AR, Polotsky VY, Mendelowitz D	4. 巻 339
2. 論文標題 Direct Projections from Hypothalamic Orexin Neurons to Brainstem Cardiac Vagal Neurons	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Neuroscience	6. 最初と最後の頁 47-53
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2016.09.038	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Naganuma T, Takagi S, Kanetake T, Kitamura T, Hattori S, Miyakawa T, Sassa T, Kihara A	4. 巻 291(22)
2. 論文標題 Disruption of the Sjögren-Larsson Syndrome Gene Aldh3a2 in Mice Increases Keratinocyte Growth and Retards Skin Barrier Recovery	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Biological Chemistry	6. 最初と最後の頁 11676-11688
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.M116.714030	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hengguang Zhao, Rieger S, Abe K, Hewison M, Lisse T.	4. 巻 17
2. 論文標題 DNA Damage-Inducible Transcript 4 Is an Innate Surveillant of Hair Follicular Stress in Vitamin D Receptor Knockout Mice and a Regulator of Wound Re-Epithelialization	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Int. J. Mol. Sci.	6. 最初と最後の頁 1984
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms17121984	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Morita M, Wang Y, Sasaoka T, Okada K, Niwa M, Sawa A, Hikida T.	4. 巻 2 (3)
2. 論文標題 Dopamine D2L receptor is required for visual discrimination learning	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Molecular Neuropsychiatry	6. 最初と最後の頁 124-132
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000447970	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 山中章弘	4. 巻 16 (3)
2. 論文標題 DREADD による神経活動操作と精神医学研究	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 分子精神医学	6. 最初と最後の頁 45 (189)-47 (191)
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Tsuji, M., Takahashi, Y., Watabe, A.M., Kato, F.	4. 巻 57 (3)
2. 論文標題 Enhanced long-term potentiation in mature rats with a history of cryptogenic infantile spasms	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 495-505
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.13315	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Fujii, S., Shinjo, K., Matsumoto, S., Harada, T., Nojima, S., Sato, S., Usami, Y., Toyosawa, S., Morii, E., Kondo, Y., and Kikuchi, A	4. 巻 7
2. 論文標題 Epigenetic upregulation of ARL4C, due to DNA hypomethylation in the 3'-untranslated region, promotes tumorigenesis of lung squamous cell carcinoma	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Oncotarget	6. 最初と最後の頁 81571-81587
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/oncotarget.13147	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tarusawa E, Sanbo M, Okayama A, Miyashita T, Kitsukawa T, Hirayama T, ... Yoshimura Y.	4. 巻 14(1)
2. 論文標題 Establishment of high reciprocal connectivity between clonal cortical neurons is regulated by the Dnmt3b DNA methyltransferase and clustered protocadherins.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 BMC Biol.	6. 最初と最後の頁 103
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12915-016-0326-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kikuta S, Ynagawa Y, Homma N, Osanai M	4. 巻 99(8)
2. 論文標題 Evaluation of the amount of the manganese entry in the neurons for activity-induced manganese-enhanced MRI	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Electronics and Communications in Japan	6. 最初と最後の頁 48-53
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ecj.11838	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Adachi T, Hayashi T	4. 巻 3
2. 論文標題 Evolutionarily conserved phosphorylation and palmitoylation-dependent regulation of dopamine D1-like receptors in vertebrates.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Neurotransmitter	6. 最初と最後の頁 e1434
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14800/nt.1434	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Pei W Tanaka K, Huang SC, Xu L, Liu B, Sinclair J, Idol J, Varshney GK, Huang H, Lin S, Nussenblatt RB, Mori R, Burgess SM	4. 巻 1
2. 論文標題 Extracellular HSP60 triggers tissue regeneration and wound healing by regulating inflammation and cell proliferation	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 NPJ Regen Med	6. 最初と最後の頁 16013
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/npjregenmed.2016.13	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Lee DH, Han DH, Nam KT, Park JS, Kim SH, Lee M, Kim G, Min BS, Cha BS, Lee YS, Sung SH, Jeong H, Ji HW, Lee MJ, Lee JS, Lee HY, Chun Y, Kim J, Komatsu M, Lee YH, Bae SH.	4. 巻 99
2. 論文標題 Ezetimibe, an NPC1L1 inhibitor, is a potent Nrf2 activator that protects mice from diet-induced nonalcoholic steatohepatitis	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Free Radic Biol Med.	6. 最初と最後の頁 520-532
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.freeradbiomed.2016.09.009	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Horigane S*, Ageta-Ishihara N>(*共同筆頭著者), Kamijo S, Fujii H, Okamura M, Kinoshita M, Takemoto-Kimura S, Bito H.	4. 巻 9(1)
2. 論文標題 Facilitation of axon outgrowth via a Wnt5a-CaMKK-CaMKI? pathway during neuronal polarization	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Molecular brain	6. 最初と最後の頁 8
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13041-016-0189-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nomir AG., Takeuchi Y. et al.	4. 巻 54(7)
2. 論文標題 Fate mapping of Trps1 daughter cells during cardiac development using novel Trps1-Cre mice	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Genesis	6. 最初と最後の頁 379-388
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/dvg.22951	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Nita A., Nishiyama M., Muto Y., Nakayama KI.	4. 巻 5
2. 論文標題 FBXL12 regulates T cell differentiation in a cell-autonomous manner	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Genes Cells	6. 最初と最後の頁 517-24
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/gtc.12360	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kitade S., Onoyama I., Kobayashi H., Yagi H., Yoshida S., Kato M., Tsunematsu R., Asanoma K., Sonoda K., Wake N., Hata K., Nakayama KI., Kato K.	4. 巻 107
2. 論文標題 FBXW7 is involved in the acquisition of the malignant phenotype in epithelial ovarian tumors	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Cancer Sci.	6. 最初と最後の頁 1399-405
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13026	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Hadano S, Mitsui S, Pan L, Otomo A, Kubo M, Sato K, Ono S, Onodera W, Abe K, Chen X, Koike M, Uchiyama Y, Aoki M, Warabi E, Yamamoto M, Ishii T, Yanagawa T, Shang H-F, Yoshii F.	4. 巻 25
2. 論文標題 Functional links between SQSTM1 and ALS2 in the pathogenesis of ALS: cumulative impact on the protection against mutant SOD1-mediated motor dysfunction in mice	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Human Molecular Genetics	6. 最初と最後の頁 25
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/hmg/ddw180	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Okamoto M, Nakayama Y, Kakihana A, Yuki R, Yamaguchi N, Yamaguchi N	4. 巻 117(4)
2. 論文標題 Fyn Accelerates M Phase Progression by Promoting the Assembly of Mitotic Spindle Microtubules	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Cell Biochem.	6. 最初と最後の頁 610-623
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jcb.25373	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Taguchi K, Takaku M, Egner PA, Morita M, Kaneko T, Mashimo T, Kensler TW, Yamamoto M.	4. 巻 152
2. 論文標題 Generation of a new model rat: Nrf2 knockout rats are sensitive to aflatoxin B1 toxicity	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Toxicol Sci	6. 最初と最後の頁 40-52
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/toxsci/kfw065	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Ishikawa T, Imamura K, Kondo T, Koshihara Y, Hara S, Ichinose H, Furujo M, Kinoshita M, Oeda T, Takahashi J, Takahashi R, Inoue H	4. 巻 25
2. 論文標題 Genetic and pharmacological correction of aberrant dopamine synthesis using patient iPSCs with BH4 metabolism disorders	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Hum Mol Genet	6. 最初と最後の頁 5188-5197
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/hmg/ddw339	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Furuya M, Yao M, Tanaka R, Nagashima Y, Kuroda N, Hasumi H, Baba M, Matsushima J, Nomura F, Nakatani Y	4. 巻 90(5)
2. 論文標題 Genetic, epidemiologic and clinicopathologic studies of Japanese Asian patients with Birt-Hogg-Dub? syndrome	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Clinical Genetics	6. 最初と最後の頁 403-412
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cge.12807	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Taki K, Ohmuraya M, Tanji E, Komatsu H, Hashimoto D, Semba K, Araki K, Kawaguchi Y, Baba H, Furukawa T.	4. 巻 35(18)
2. 論文標題 GNAS (R201H) and Kras(G12D) cooperate to promote murine pancreatic tumorigenesis recapitulating human intraductal papillary mucinous neoplasm	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Oncogene	6. 最初と最後の頁 2407-2412
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/onc.2015.294	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Futakuchi M, Fukamachi K, Suzui M	4. 巻 99
2. 論文標題 Heterogeneity of tumor cells in the bone microenvironment: mechanisms and therapeutic targets for bone metastasis of prostate or breast cancer	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Adv Drug Deliv Rev	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.addr.2015.11.017	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yoshikawa Y, Emi M, Hashimoto-Tamaoki T, Ohmuraya M, Sato A, Tsujimura T, Hasegawa S, Nakano T, Nasu M, Pastorino S, Szymiczek A, Bononi A, Tanji M, Pagano I, Gaudino G, Napolitano A, Goparaju C, Pass HI, Yang H, Carbone M.	4. 巻 113(47)
2. 論文標題 High-density array-CGH with targeted NGS unmask multiple noncontiguous minute deletions on chromosome 3p21 in mesothelioma	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Proc Natl Acad Sci U S A.	6. 最初と最後の頁 13432-13437
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1612074113	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する



1. 著者名 Wani S., Sugita A., Ohkuma Y., and Hirose Y.	4. 巻 160(2)
2. 論文標題 Human SCP4 is a chromatin-associated CTD phosphatase and exhibits the dynamic translocation during erythroid differentiation	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 The Journal of Biochemistry	6. 最初と最後の頁 111-120
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jb/mvw018	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 *Dergacheva O, Yamanaka A, Schwartz AR, Polotsky VY, Mendelowitz D	4. 巻 116(5)
2. 論文標題 Hypoxia and hypercapnia inhibit hypothalamic orexin neurons in rats	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 2250-2259
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1152/jn.00196.2016	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Kubo H, Shimono R*, Nakamura S, Koyano K, Jinnai W, Yamato S, Yasuda S, Nakamura M, Tanaka A, Fujii T, Kanenishi K, Chiba Y, Miki T, Kusaka T, Ueno M.	4. 巻 111(3)
2. 論文標題 Hypoxic-Ischemic Encephalopathy-Associated Liver Fatty Degeneration and the Effects of Therapeutic Hypothermia in Newborn Piglets.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Neonatology	6. 最初と最後の頁 203-10
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000450721	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Tanaka M., Shiota M., Nakao T., Uemura R., Nishi S., Ohkawa Y., Matsumoto M., Yamaguchi M., Osada-Oka M., Inagaki A., Takahashi K., Nakayama KI., Gi M., Izumi Y., Miura K., Iwao H.	4. 巻 136
2. 論文標題 Identification of low-abundance proteins in serum via the isolation of HSP72 complexes	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J. Proteomics	6. 最初と最後の頁 214-21
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jprot.2016.01.008	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ueno H.	4. 巻 66(8)
2. 論文標題 Identification of normal and neoplastic stem cells by the multicolor lineage tracing method	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Pathology International	6. 最初と最後の頁 423-430
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pin.12425	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koso H, Yi H, Sheridan P, Miyano S, Ino Y, Todo T and Sumiko Watanabe S	4. 巻 76(8)
2. 論文標題 Identification of RNA-binding protein LARP4B as a tumor suppressor in glioma	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Cancer Res.	6. 最初と最後の頁 2254-2264
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/0008-5472.CAN-15-2308	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yoshinori Asano, Tatsuya Kawase, Nakagama, Rieko Ohki, et al.	4. 巻 6
2. 論文標題 IER5 generates a novel hypo-phosphorylated active form of HSF1 and contributes to tumorigenesis	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 19174
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep19174	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tetsuhisa Otani, Yosuke Ogura, Kazuyo Misaki, Takuya Maeda, Akiyo Kimpara, Shigenobu Yonemura, Shigeo Hayashi	4. 巻 143
2. 論文標題 IKK $\epsilon$ inhibits PKC to promote Fascin-dependent actin bundling	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Development	6. 最初と最後の頁 3806-3816
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1242/dev.138495	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tabata K, Sugano E, Murakami F, Yamashita T, Ozaki T, Tomita H	4. 巻 478(4)
2. 論文標題 Improved transduction efficiencies of adeno-associated virus vectors by synthetic cell-permeable peptides	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun	6. 最初と最後の頁 1732-8
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2016.09.014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shibata N, Kashima M, Ishiko T, Nishimura O, Rouhana L, Misaki K, Yonemura S, Saito K, Siomi H, Siomi MC, Agata K.	4. 巻 37
2. 論文標題 Inheritance of a Nuclear PIWI from Pluripotent Stem Cells by Somatic Descendants Ensures Differentiation by Silencing Transposons in Planarian	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Dev. Cell	6. 最初と最後の頁 226-37.
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.devcel.2016.04.009	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ye X, Zhou Q, Matsumoto Y, Moriyama M, Kageyama S, Komatsu M, Satoh S, Tsuchida M, Saijo Y.	4. 巻 36(11)
2. 論文標題 Inhibition of Glutaminolysis Inhibits Cell Growth via Down-regulating Mtorc1 Signaling in Lung Squamous Cell Carcinoma	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Anticancer Res.	6. 最初と最後の頁 6021-6029
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21873/anticancer.11191	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Lee W, Kim D, Rivnay J, Matsuhisa N, Lonjaret T, Yokota T, Yawo H, Sekino M, Malliaras GG, Someya T.	4. 巻 28(44)
2. 論文標題 Integration of Organic Electrochemical and Field-Effect Transistors for Ultraflexible, High Temporal Resolution Electrophysiology Arrays	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Adv Mater.	6. 最初と最後の頁 9722-9728
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/adma.201602237	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Wakaizumi K, Kondo T, Hamada Y, Narita M, Kawabe R, Narita H, Watanabe M, Kato S, Senba E, Kobayashi K, Kuzumaki N, Yamanaka A, Morisaki H, *Narita M	4. 巻 12
2. 論文標題 Involvement of mesolimbic dopaminergic network in neuropathic pain relief by treadmill exercise: A study for specific neural control with Gi-DREADD in mice	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Molecular Pain	6. 最初と最後の頁 1-11
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1744806916681567	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Etsu Tashiro, Shizuka, Henmi, Hiroyuki Odake, Seitaro Ino, Masaya Imoto	4. 巻 477
2. 論文標題 Involvement of the MEK/ERK pathway in EGF-induced E-cadherin down-regulation	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun	6. 最初と最後の頁 801-806
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2016.06.138	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Iizuka K, Yokomizo T, Watanabe N, Tanaka Y, Osato M, Takaku T, Komatsu N.	4. 巻 11(5)
2. 論文標題 Lack of Phenotypical and Morphological Evidences of Endothelial to Hematopoietic Transition in the Murine Embryonic Head during Hematopoietic Stem Cell Emergence	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0156427
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0156427	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Maekawa T, Sasaoka T, Azuma S, Ichikawa T, Melrose HL, Farrer MJ, Obata F;	4. 巻 17 (1)
2. 論文標題 Leucine-rich repeat kinase 2 (LRRK2) regulates alpha-synuclein clearance in microglia	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 BMC Neuroscience	6. 最初と最後の頁 77
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12868-016-0315-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kanda M, Nagai T, Takahashi T, Liu ML, Kondou N, Naito AT, Akazawa H, Sashida G, Iwama A, Komuro I, Kobayashi Y.	4. 巻 11(5)
2. 論文標題 Leukemia Inhibitory Factor Enhances Endogenous Cardiomyocyte Regeneration after Myocardial Infarction.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0156562.
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0156562	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tomita H, Tabata K, Takahashi M, Nishiyama F, Sugano E	4. 巻 473(4)
2. 論文標題 Light induces translocation of NF-kappaB p65 to the mitochondria and suppresses expression of cytochrome c oxidase subunit III (COX III) in the rat retina	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun	6. 最初と最後の頁 1013-8
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2016.04.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakazawa S, Oikawa D, Ishii R, Ayaki T, Takahashi H, Takeda H, Ishitani R, Kamei K, Takeyoshi I, Kawakami H, Iwai K, Hatada I, Sawasaki T, Ito H, Nureki O, Tokunaga F.	4. 巻 7
2. 論文標題 Linear ubiquitination is involved in the pathogenesis of optineurin-associated amyotrophic lateral sclerosis	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 12547
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ncomms12547	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sugano E, Tabata K, Takahashi M, Nishiyama F, Shimizu H, Sato M, Tamai M, Tomita H	4. 巻 23(2)
2. 論文標題 Local and systemic responses following intravitreal injection of AAV2-encoded modified Volvox channelrhodopsin-1 in a genetically blind rat model	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Gene Ther	6. 最初と最後の頁 158-66
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/gt.2015.99	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Baba M, Toyama H, Sun L, Takubo K, Suh H-C, Hasumi H, Nakamura-Ishizu A, Hasumi Y, Klarmann KD, Schmidt LS, Linehan WM, Suda T, Keller JR	4. 巻 34(4)
2. 論文標題 Loss of Folliculin disrupts hematopoietic stem cell quiescence and homeostasis resulting in bone marrow failure	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Stem Cells	6. 最初と最後の頁 1068-1082
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/stem.2293	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sumiyoshi T, Sato K, Yamamoto H, Iwasaki YW, Siomi H, Siomi MC.	4. 巻 30(14)
2. 論文標題 Loss of l(3)mbt leads to acquisition of the ping-pong cycle in Drosophila ovarian somatic cells.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Genes Dev.	6. 最初と最後の頁 1617-1622.
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/gad.283929.116	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ichinose K, Ushigusa T, Nishino A, Nakashima Y, Suzuki T, Horai Y, Koga T, Kawashiri S-Y, Iwamoto N, Tamai M, Arima K, Nakamura H, Obata Y, Yamamoto K, Origuchi T, Nishino T, Kawakami A and Tsokos GC	4. 巻 68(4)
2. 論文標題 Lupus Nephritis IgG Induction of Calcium/Calmodulin-Dependent Protein Kinase IV Expression in Podocytes and Alteration of Their Function	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Arthritis and Rheumatology	6. 最初と最後の頁 944-952
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/art.39499	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tomiyama Y, Fujita K, Nishiguchi KM*, Tokashiki N, Daigaku R, Tabata K, Sugano E, Tomita H, Nakazawa T	4. 巻 11(6)
2. 論文標題 Measurement of Electroretinograms and Visually Evoked Potentials in Awake Moving Mice	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0156927
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0156927	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Saito M, Okumura K, Yoshizawa Y, Munakata H, Isogai E, and Wakabayashi Y.	4. 巻 4(1)
2. 論文標題 Meis1 is required for c-Met inhibition to suppress cell proliferation of skin squamous cell carcinoma cells	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Biosciences and medicines	6. 最初と最後の頁 53-65
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4236/jbm.2016.47007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fukaya R, Ohta S, Yaguchi T, Matsuzaki Y, Sugihara E, Okano H, Saya H, Kawakami Y, Kawase T, Yoshida K, Toda M.	4. 巻 34
2. 論文標題 MIF Maintains the Tumorigenic Capacity of Brain Tumor-Initiating Cells by Directly Inhibiting p53	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Cancer Res.	6. 最初と最後の頁 5667-5677
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/0008-5472.CAN-15-1011	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Baba T, Tanabe Y, Yoshikawa S, Yamanishi Y, Morishita S, Komatsu N, Karasuyama H, Hirao A, Mukaida N.	4. 巻 127(21)
2. 論文標題 MIP-1 $\alpha$ /CCL3-expressing basophil-lineage cells drive the leukemic hematopoiesis of chronic myeloid leukemia in mice	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 2607-2617
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood-2015-10-673087	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Suzui M, Futakuchi M, Fukamachi K, Numano T, Abd Elgied M, Takahashi S, Ohnishi M, Omori T, Tsuruoka S, Hirose A, Kanno J, Sakamoto Y, Alexander DB, Xu J, Tsuda H	4. 巻 107(7)
2. 論文標題 Multiwalled carbon nanotubes intratracheally instilled into the rat lung induce development of pleural malignant mesothelioma and lung tumors	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Cancer Sci	6. 最初と最後の頁 924-935
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.12954	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Inaba H, Goto H, Kasahara K, Kumamoto K, Yonemura S, Inoko A, Yamano S, Wanibuchi H, He D, Goshima N, Kiyono T, Hirotsune S, Inagaki M.	4. 巻 212
2. 論文標題 Ndel1 suppresses ciliogenesis in proliferating cells by regulating the trichoplein-Aurora A pathway	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Cell Biol.	6. 最初と最後の頁 409-423
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1083/jcb.201507046	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Park S, Komatsu T, Kim SE, Tanaka K, Hayashi H, Mori R, Shimokawa I	4. 巻 16(2)
2. 論文標題 Neuropeptide Y resists excess loss of fat by lipolysis in calorie-restricted mice: a trait potential for the life-extending effect of calorie restriction	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Aging Cell	6. 最初と最後の頁 339-348
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/accel.12558	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kuniyoshi K, Muraki-Oda S, Ueyama H, Toyoda F, Sakuramoto H, Ogita H, Irifune M, Yamamoto S, Nakao A, Tsunoda K, Iwata T, Ohji M, Shimomura Y.	4. 巻 60
2. 論文標題 Novel mutations in the gene for $\alpha$ -subunit of retinal cone cyclic nucleotide-gated channels in a Japanese patient with congenital achromatopsia	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Jpn J Ophthalmol	6. 最初と最後の頁 187-197
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10384-016-0424-6	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Muraki S, Ueyama H, Tanabe S, Yamade S, Ogita H, Ohji M.	4. 巻 37
2. 論文標題 Novel mutations in the L visual pigment gene found in Japanese men with protan color-vision defect having a normal order L/M gene array	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Ophthalmic Genet	6. 最初と最後の頁 471-472
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3109/13816810.2015.1120319	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Pang X, Shimizu A, Kurita S, Zankov DP, Takeuchi K, Yasuda-Yamahara M, Kume S, Ishida T, Ogita H.	4. 巻 68
2. 論文標題 Novel therapeutic role for dipeptidyl peptidase III in the treatment of hypertension	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Hypertension	6. 最初と最後の頁 630-641
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/HYPERTENSIONAHA.116.07357	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kitamura, T., Watanabe-Okochi, N., Enomoto, Y., Nakahara, F., Oki, T., Komeno, Y., Kato, N., Doki, N., Uchida, T., Kagiya, Y., Togami, K., Kawabata, K.C., Nishimura, K., Hayashi, Y., Nagase, R., Saika, M., Fukushima, T., Asada, S., Fujino, T., Izawa, Y.	4. 巻 159
2. 論文標題 Novel working hypothesis for pathogenesis of hematological malignancies: combination of mutations-induced cellular phenotypes determines the disease (cMIP-DD)	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Biol Chem.	6. 最初と最後の頁 17-25
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jb/mvv114	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Macpherson T, Morita M, Wang Y, Sasaoka T, Sawa A and Hikida T.	4. 巻 23 (7)
2. 論文標題 Nucleus accumbens dopamine D2-receptor expressing neurons control behavioral flexibility in a place discrimination task in the IntelliCage	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Learning and Memory	6. 最初と最後の頁 359-64
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/lm.042507.116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Muramatsu, M. and Minami, T	4. 巻 2016 5
2. 論文標題 Oncogenic combined calcineurin-NFAT and TLR signals in colon	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Trans. Cancer. Res	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kunii M, Ohara-Imaizumi M, Takahashi N, Ohmuraya M, Sato T, Nagamatsu S, Harada A, et al.	4. 巻 215 (1)
2. 論文標題 Opposing roles for SNAP23 in secretion in exocrine and endocrine pancreatic cells	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Cell Biol.	6. 最初と最後の頁 121-138
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1083/jcb.201604030	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Chowdhury S, *Yamanaka A	4. 巻 6
2. 論文標題 Optogenetic activation of serotonergic terminals facilitates GABAergic inhibitory input to orexin/hypocretin neurons	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Scientific reports	6. 最初と最後の頁 36039
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep36039	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hisha H, and Ueno H.	4. 巻 1576
2. 論文標題 Organoid Culture of Lingual Epithelial Cells in a Three-Dimensional Matrix	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Methods in molecular biology	6. 最初と最後の頁 93-99
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/7651_2016_3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Toyokuni S	4. 巻 595
2. 論文標題 Oxidative stress as an iceberg in carcinogenesis and cancer biology.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Archives of Biochemistry and Biophysics	6. 最初と最後の頁 46-49
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.abb.2015.11.025	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Duquesnes N., Callot C., Jeannot P., Daburon V., Nakayama KI., Manenti S., Davy A., Besson A.	4. 巻 239
2. 論文標題 p57Kip2 knock-in mouse reveals CDK-independent contribution in the development of Beckwith?Wiedemann syndrome	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J. Pathol.	6. 最初と最後の頁 250-61
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/path.4721	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Saito, T., Waguri, S (38人中34番目)., *Komatsu, M (38人中38番目).	4. 巻 7
2. 論文標題 p62/Sqstm1 promotes malignancy of HCV-positive hepatocellular carcinoma through Nrf2-dependent metabolic reprogramming	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Nat Commun	6. 最初と最後の頁 12030
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ncomms12030	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hatano A, Matsumoto M, Nakayama KI.	4. 巻 21
2. 論文標題 Phosphoproteomics analyses show subnetwork systems in T-cell receptor signaling	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Genes Cells	6. 最初と最後の頁 1095-112
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/gtc.12406	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Iwasaki YW, Murano K, Ishizu H, Shibuya A, Iyoda Y, Siomi MC, Siomi H, Saito K.	4. 巻 63
2. 論文標題 Piwi Modulates Chromatin Accessibility by Regulating Multiple Factors Including Histone H1 to Repress Transposons	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Mol. Cell	6. 最初と最後の頁 p1-12
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.molcel.2016.06.008	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Umeda K, Ishizuka T, Yawo H, Shoji W.	4. 巻 6
2. 論文標題 Position- and quantity-dependent responses in zebrafish turning behavior	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 27888
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep27888	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Doi H, Kitajima Y, Luo L, Yan C, Tateishi S, Ono Y, Urata Y, Goto S, Mori R, Masuzaki H, Shimokawa I, Hirano A, Li TS	4. 巻 6
2. 論文標題 Potency of umbilical cord blood- and Wharton's jelly-derived mesenchymal stem cells for scarless wound healing	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 18844
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep18844	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Lim, BC., Matsumoto, S., Yamamoto, H., Mizuno, H., Kikuta, J., Ishii, M., and Kikuchi, A	4. 巻 129
2. 論文標題 Prickle1 promotes focal adhesion disassembly in cooperation with the CLASP-LL5 $\beta$ complex in migrating cells	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J. Cell Sci	6. 最初と最後の頁 3115-3129
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1242/jcs.185439	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Guida V, Cernilogar FM, Filograna A, De Gregorio R, Ishizu H, Siomi MC, Schotta G, Bellenchi GC, Andrenacci D.	4. 巻 204
2. 論文標題 Production of Small Non-coding RNAs from the flamenco Locus Is Regulated by the gypsy Retrotransposon of <i>Drosophila melanogaster</i> .	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Genetics	6. 最初と最後の頁 631-644
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1534/genetics.116.187922	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する



1. 著者名 Honda T, Soeda S, Tsuda K, Yamaguchi C, Aoyama K, Morinaga T, Yuki R, Nakayama Y, Yamaguchi N, Yamaguchi N	4. 巻 6
2. 論文標題 Protective role for lipid modifications of Src-family kinases against chromosome missegregation	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Sci Rep.?	6. 最初と最後の頁 38751
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep38751	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ishikawa E, Kosako H, Yasuda T, Ohmuraya M, Araki K, Kurosaki T, Saito T, Yamasaki S.	4. 巻 7
2. 論文標題 Protein kinase D regulates positive selection of CD4 + thymocytes through phosphorylation of SHP-1	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Nat Commun.	6. 最初と最後の頁 12756
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ncomms12756	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Toda, S., Iguchi, Y., Lin, Z., Nishikawa, H, Nagasawa, T., Watanabe, H., & Minabe, Y.	4. 巻 8
2. 論文標題 Reconsidering animal models of major depressive disorder in the elderly	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Frontiers in Aging Neuroscience	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnagi.2016.00188	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Wu MK, Takemoto M, Taniguchi M, Takumi T, Okazaki T, Song W-J.	4. 巻 311(1)
2. 論文標題 Regulation of membrane KCNQ1/KCNE1 channel density by sphingomyelin synthase 1	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 American Journal of Physiology-Cell Physiology	6. 最初と最後の頁 C15-23
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1152/ajpcell.00272.2015	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Fujieda Y., Amengual O., Matsumoto M., Kuroki K., Takahashi H., Kono M., Kurita T., Otomo K., Kato M., Oku K., Bohgaki T., Horita T., Yasuda S., Maenaka K., Hatakeyama S., Nakayama KI., Atsumi T.	4. 巻 55
2. 論文標題 Ribophorin II is involved in the tissue factor expression mediated by phosphatidylserine-dependent antiprothrombin antibody on monocytes	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Rheumatology	6. 最初と最後の頁 1117-26
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/rheumatology/kew005	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Kuribayashi H, Tshako A, Kikuchi M, Yoshida N, Koso H, Watanabe S	4. 巻 152
2. 論文標題 Role of transcription factor Tgif2 in photoreceptor differentiation in the mouse retina	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Exp. Eye Res.	6. 最初と最後の頁 34-42
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.exer.2016.09.005	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Chin DW, Sakurai M, Nah GS, Du L, Jacob B, Yokomizo T, Matsumura T, Suda T, Huang G, Fu XY, Ito Y, Nakajima H, Osato M.	4. 巻 6
2. 論文標題 RUNX1 haploinsufficiency results in granulocyte colony-stimulating factor hypersensitivity	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Blood Cancer J.	6. 最初と最後の頁 e379
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/bcj.2015.105	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Watabe, A.M., Nagase, M., Hagiwara, A., Hida, Y., Tsuji, M., Ochiai, T., Kato, F., Ohtsuka, T.	4. 巻 136(1)
2. 論文標題 SAD-B Kinase regulates presynaptic vesicular dynamics at hippocampal Schaffer collateral synapses and affects contextual fear memory	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Neurochemistry	6. 最初と最後の頁 36-47
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jnc.13379	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Meisler MH, Helman G, Hirose S, Ishii A, Pearl PL, Vanderver A, Scheffer IE, et al.	4. 巻 57(7)
2. 論文標題 SCN8A encephalopathy: Research progress and prospects	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 1027-1035
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.13422	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kimiko Shimizu, Yodai Kobayashi, Erika Nakatsuji, Maya Yamazaki, Shigeki Shimba, Kenji Sakimura & Yoshitaka Fukada	4. 巻 7
2. 論文標題 SCOP/PHLPP1b mediates circadian regulation of long-term recognition memory	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 12926
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ncomms12926	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Jun J. Nakano, Kimiko Shimizu, Shigeki Shimba & Yoshitaka Fukada	4. 巻 6
2. 論文標題 SCOP/PHLPP1 $\beta$ in the basolateral amygdala regulates circadian expression of mouse anxiety-like behavior	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 33500
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep33500	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yang H, Ni HM, Guo F, Ding Y, Shi YH, Lahiri P, Fröhlich LF, Röllicke T, Smole C, Schmidt VC, Zatloukal K, Cui Y, Komatsu M, Fan J, Ding WX.	4. 巻 291
2. 論文標題 Sequestosome 1/p62 Protein Is Associated with Autophagic Removal of Excess Hepatic Endoplasmic Reticulum in Mice	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Biol Chem.	6. 最初と最後の頁 18663-18674
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.M116.739821	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Takamura, S., Yagi, H., Hakata, Y., Motozono, C., McMaster, SR., Tomura, M., Nakayama, T., Woodland, DL., Kohlmeier, JE., Miyazawa, M.	4. 巻 213
2. 論文標題 Specific niches for lung-resident memory CD8+ T cells at the site of tissue regeneration enable CD69-independent maintenance.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Exp Med.	6. 最初と最後の頁 3057-3073
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1084/jem.20160938	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Habisov, S., Huber, J., Ichimura, Y., Akutsu, M., Rogova, N., Loehr, F., McEwan, D.G., Johansen, T., Dikic, I., Doetsch, V., Komatsu, M., Rogov, V.V., *Kirkin, V.	4. 巻 291
2. 論文標題 Structural and functional analysis of a novel interaction motif within UFM1-activating enzyme 5 (UBA5) required for binding to ubiquitin-like proteins and ufmylation	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Biol Chem	6. 最初と最後の頁 9025-9041
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.100xxx2/ejoc.201601023	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Omura H, Oikawa D, Nakane T, Kato M, Ishii R, Ishitani R, Tokunaga F, Nureki O.	4. 巻 6
2. 論文標題 Structural and functional analysis of DDX41: a bispecific immune receptor for DNA and cyclic dinucleotide	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 34756
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep34756	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sugimura, Y.K., Takahashi, Y., Watabe, A.M., Kato, F.	4. 巻 115
2. 論文標題 Synaptic and network consequences of monosynaptic nociceptive inputs of parabrachial nucleus origin in the central amygdala	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 2721-2739
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1152/jn.00946.2015	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Yasuda D, Nakajima M, Yuasa A, Obata R, Takahashi K, Ohe T, Ichimura Y, Komatsu M, Yamamoto M, Imamura R, Kojima H, Okabe T, Nagano T, Mashino T.	4. 巻 26
2. 論文標題 Synthesis of Keap1-phosphorylated p62 and Keap1-Nrf2 protein-protein interaction inhibitors and their inhibitory activity	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Bioorg Med Chem Lett	6. 最初と最後の頁 5956-5959
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bmcl.2016.10.083	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Katsushima K, Natsume A, Ohka F, Shinjo K, Hatanaka A, Ichimura N, Sato S, Takahashi S, Kimura H, Totoki Y, Shibata T, Naito M, Kim HJ, Miyata K, Kataoka K, Kondo Y.	4. 巻 7
2. 論文標題 Targeting the Notch-regulated non-coding RNA TUG1 for glioma treatment	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Nat Commun	6. 最初と最後の頁 13616-
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ncomms13616	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fuchs H, Sabrautzki S, Przemeck G, Leuchtenberger S, Lorenz-Depiereux B, Becker L, Rathkolb B, Horsch M, Garrett L, O?stereicher M, Hans W, Abe K et al.	4. 巻 6
2. 論文標題 The First Scube3 Mutant Mouse Line with Pleiotropic Phenotypic Alterations	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 G3 • Genes   Genomes   Genetics	6. 最初と最後の頁 4035-4046
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1534/g3.116.033670	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Inutsuka A, Yamashita A, Chowdhury S, Nakai J, Ohkura M, Taguchi T, *Yamanaka A	4. 巻 6
2. 論文標題 The integrative role of orexin/hypocretin neurons in nociceptive perception and analgesic regulation	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Scientific reports	6. 最初と最後の頁 29480
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep29480	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sashida G, Wang C, Tomioka T, Oshima M, Aoyama K, Kanai A, Mochizuki-Kashio M, Harada H, Shimoda K, Iwama A.	4. 巻 213(8)
2. 論文標題 The loss of Ezh2 drives the pathogenesis of myelofibrosis and sensitizes tumor-initiating cells to bromodomain inhibition	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Exp Med	6. 最初と最後の頁 1459-1477
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1084/jem.20151121	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Mizushima W, Takahashi H, Watanabe M, Kinugawa S, Matsushima S, Takada S, Yokota T, Furihata T, Matsumoto J, Tsuda M, Chiba I, Nagashima S, Yanagi S, Matsumoto M, Nakayama KI, Tsutsui H, Hatakeyama S.	4. 巻 100
2. 論文標題 The novel heart-specific RING finger protein 207 is involved in energy metabolism in cardiomyocytes	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J. Mol. Cell. Cardiol.	6. 最初と最後の頁 43-53
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.yjmcc.2016.09.013	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Toyokuni S	4. 巻 66
2. 論文標題 The origin and future of oxidative stress pathology: From the recognition of carcinogenesis as an iron addiction with ferroptosis-resistance to non-thermal plasma therapy	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Pathology International	6. 最初と最後の頁 245-259
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pin.12396	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ozaki T, Yamashita T, Tomita H, Sugano E, Ishiguro SI	4. 巻 478(4)
2. 論文標題 The protection of rat retinal ganglion cells from ischemia/reperfusion injury by the inhibitory peptide of mitochondrial $\mu$ -calpain	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun	6. 最初と最後の頁 1700-5
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2016.09.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Hegazy AM, Yamada D, Kobayashi M, Kohno S, Ueno M, Ali MA, Ohta K, Tadokoro Y, Ino Y, Todo T, Soga T, Takahashi C, Hirao A.	4. 巻 291(41)
2. 論文標題 Therapeutic Strategy for Targeting Aggressive Malignant Gliomas by Disrupting Their Energy Balance	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Biol Chem.	6. 最初と最後の頁 21496-21509
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.M116.734756	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Takeishi S., Nakayama KI.	4. 巻 107
2. 論文標題 To wake up cancer stem cells, or to let them sleep, that is the question	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Cancer Sci.	6. 最初と最後の頁 875-81
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.12958	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Miyamoto D, Hirai D, Fung CC, Inutsuka A, Odagawa M, Suzuki T, Boehringer R, Adaikkan C, Matsubara C, Matsuki N, Fukai T, McHugh TJ, Yamanaka A, *Murayama M	4. 巻 352(6291)
2. 論文標題 Top-down cortical input during NREM sleep consolidates perceptual memory	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Science	6. 最初と最後の頁 1315-1318
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/science.aaf0902	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Eisuke Sato, Yurika Tanabe, Naoya Nakajima, Akifumi Ohkubo, and Kiyotake Suenaga	4. 巻 18 (9)
2. 論文標題 Total Synthesis of Biselyngbyolide B	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Organic Letters	6. 最初と最後の頁 2047-2049
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.orglett.6b00660	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Ju J, Hirose S, Shi XY, Ishii A, Hu LY, Zou LP.	4. 巻 11(1)
2. 論文標題 Treatment with Oral ATP decreases alternating hemiplegia of childhood with de novo ATP1A3 Mutation	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Orphanet Journal of Rare Diseases.	6. 最初と最後の頁 55
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13023-016-0438-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Inoue, D., Nishimura, K., Matsumoto, M., Nagase, R., Saika, M., Fujino, T., Nakayama, K-I. and Kitamura, T	4. 巻 44
2. 論文標題 Truncation mutants of ASXL1 observed in myeloid malignancies are expressed at detectable protein levels	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Experimental Hematology	6. 最初と最後の頁 172 -176
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.exphem.2015.11.011	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Takaori T, Kumakura A, Ishii A, Hirose S, Hata D.	4. 巻 39(1)
2. 論文標題 Two mild cases of Dravet syndrome with truncating mutation of SCN1A	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Brain & Development	6. 最初と最後の頁 72-74
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2016.07.006	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 Takatoshi Iijima, Chiharu Hidaka and Yoko Iijima.	4. 巻 109
2. 論文標題 Update Article: Spatio-temporal regulations and functions of neuronal alternative RNA splicing in developing and adult brains.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Neuroscience Research.	6. 最初と最後の頁 43473
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2016.01.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Abedini, A., Zamberlam, G., Lapointe, E., Tourigny, C., Boyer, A., Paquet, M., Hayashi, K., Honda, H., Kikuchi, A., Price, C., and Boerboom, D	4. 巻 30(4)
2. 論文標題 WNT5a is required for normal ovarian follicle development and antagonizes gonadotropin responsiveness in granulosa cells by suppressing canonical WNT signaling	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 FASEB J	6. 最初と最後の頁 1534-1547
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1096/fj.15-280313	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 該当する

1. 著者名 Matsumoto, S., Kurimoto, T., Taketo, M., Fujii, S., and Kikuchi, A	4. 巻 143(13)
2. 論文標題 Wnt-Myb pathway suppresses KIT expression to control the timing of salivary proacinar differentiation and duct formation	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Development	6. 最初と最後の頁 2311-2324
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1242/dev.134486	査読の有無 有
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 山中章弘	4. 巻 -
2. 論文標題 オレキシンを中心とした睡眠覚醒調節の神経機構	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 高齢者の睡眠とその障害	6. 最初と最後の頁 221-228
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 蛭原功介、山中章弘	4. 巻 34(7)
2. 論文標題 オレキシン受容体の関連物質をターゲットとした臨床応用	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 740-471
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 山中章弘	4. 巻 34(5)
2. 論文標題 オレキシン受容体の種類	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 496-497
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 山下貴之、山中章弘	4. 巻 34(6)
2. 論文標題 オレキシン受容体の生理的および薬理的機能	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 612-613
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 小川宏人	4. 巻 34
2. 論文標題 昆虫の短中距離ナビゲーションを支える神経基盤	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 日本ロボット学会誌	6. 最初と最後の頁 685-689
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7210/jrsj.34.685	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 岡田正康	4. 巻 130(7)
2. 論文標題 軸索再生に対する GAP-43 の機能解明:GAP-43 (Ser96)のリン酸化は軸索再生の分子マーカーとなる	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 新潟医学会雑誌	6. 最初と最後の頁 405-419
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 渡邊 貴樹, 上阪 直史, 狩野 方伸	4. 巻 88(5)
2. 論文標題 生後発達期の小脳におけるシナプス刈り込みのメカニズム	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 生化学	6. 最初と最後の頁 621-629
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14952/SEIKAGAKU.2016.880621	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 -

1. 著者名 山本一男	4. 巻 34(15)
2. 論文標題 哺乳類の細胞サイズを規定する分子基盤	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 実験医学	6. 最初と最後の頁 2615-2620
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス -	国際共著 -

[学会発表] 計 2,691 件 (うち招待講演 760 件/うち国際学会 610 件)

1. 発表者名 柳川右千夫
2. 発表標題 GABA ニューロン研究のための遺伝子改変ラット
3. 学会等名 第 15 回ラットリソース・リサーチ研究会 (招待講演)
4. 発表年 2022 年

1. 発表者名 柳川右千夫
2. 発表標題 GABA 合成酵素の遺伝子機能探索: マウスとラットのノックアウト動物を利用した比較研究
3. 学会等名 先端モデル動物支援プラットフォーム 2021 年度成果発表会 (招待講演)
4. 発表年 2022 年

1. 発表者名 Md Rasel Molla、清水昭男、Nor Idayu A. Rahman、Joanne Ern Chi Soh、Le Kim Chi Nguyen、Mahbubur Rahman Khan、岡本 (田中) 三紀、高島範之、佐藤朗、鈴木友彰、扇田久和
2. 発表標題 Novel protective role of RhoA in vascular smooth muscle cells against aortic aneurysm formation
3. 学会等名 日本循環器学会 (招待講演)
4. 発表年 2022 年

1. 発表者名 Sultana Nahida、深町勝巳、松本晴年、酒々井眞澄
2. 発表標題 Palmitoyl piperidinopiperidine induces selective anticancer activity against human colon carcinoma cell lines
3. 学会等名 第 38 回 日本毒性病理学会 (国際学会)
4. 発表年 2022 年

1. 発表者名 Hiramatsu Y, Suzuki K, Nishida T, Horiguchi Y
2. 発表標題 The mechanism of pertussis cough revealed by the mouse-coughing model
3. 学会等名 13th International Bordetella Symposium (国際学会)
4. 発表年 2022 年

1. 発表者名 丸田豊明、興柁聡志、日高康太郎、越田智広、白阪哲朗、恒吉勇男
2. 発表標題 オプトジェネティクスを用いた光による痛み制御：ナトリウムチャネル NaV1.7・NaV1.8・NaV1.9 を標的とした遺伝子改変マウスの開発と疼痛行動の比較
3. 学会等名 第 69 回日本麻酔科学会
4. 発表年 2022 年



1. 発表者名 小山内 実
2. 発表標題 マルチスケールイメージングによる脳機能発現メカニズムの探求
3. 学会等名 令和3年度 京都大学 霊長類研究所 共同利用研究会 「霊長類の先進的遺伝子改変モデルを用いた神経ネットワークの構造と機能の解明」 (招待講演)
4. 発表年 2022 年

1. 発表者名 鈴木秀明、繁富英治、平山幸歩、高橋由香里、池中一裕、田中謙二、加藤総夫、尾藤晴彦、小泉修一
2. 発表標題 ミクログリアによるニューロン-アストロサイト間情報伝達の制御機構
3. 学会等名 第95回日本薬理学会年会
4. 発表年 2022 年

1. 発表者名 石原由香 川畑拓斗、古川龍彦、河原康一
2. 発表標題 癌抑制因子 P53 を制御する核小体ストレス応答を利用した新たな抗がん剤治療戦略
3. 学会等名 日本薬学会第142年会
4. 発表年 2022 年

1. 発表者名 川淵 公美子, 大川 宜昭, 瀬戸川 将, 増崎 紘平, 田村 篤史, 小山内 実
2. 発表標題 極微細蛍光内視鏡システムによるマウス両側海馬 CA1 の感覚情報入力に対する応答の計測
3. 学会等名 2021 年度 先端モデル動物支援プラットフォーム成果発表会
4. 発表年 2022 年

1. 発表者名 吉田 泉, 吉田 香, 高橋 有志, 藤田 和弘
2. 発表標題 黒ショウガ ( <i>Kaempferia parviflora</i> ) による脳認知機能改善効果の検証
3. 学会等名 日本農芸化学会 2022 年度京都大会
4. 発表年 2022 年

1. 発表者名 繁富英治、小泉修一
2. 発表標題 細胞外 ATP を介したグリア-ニューロン情報伝達の時空間ダイナミクス
3. 学会等名 第 99 回日本生理学会大会
4. 発表年 2022 年

1. 発表者名 齋藤惇、本野芽衣、乙田篤輝、張たん、江崎博仁、村田陽香、西谷直也、出山諭司、金田勝幸
2. 発表標題 社会的敗北観察ストレスによるコカイン欲求増大の脳内メカニズム
3. 学会等名 日本薬学会第 142 年会
4. 発表年 2022 年

1. 発表者名 小山内 実
2. 発表標題 神経生理学におけるメレオロジカルな誤謬を避けるためのマルチスケールイメージング
3. 学会等名 第 99 回 日本生理学会大会 公募シンポジウム「部分と全体学による脳の理解」 (招待講演)
4. 発表年 2022 年

1. 発表者名 石黒啓一郎
2. 発表標題 体細胞分裂型から減数分裂型の細胞周期への切り替え機構
3. 学会等名 先端モデル動物支援プラットフォーム令和 3 年度成果発表会 (大津) (招待講演)
4. 発表年 2022 年

1. 発表者名 Han Yuxuan, Jun Nakayama, Mitsuru Futakuchi, Shinya Watanabe, Kentaro Semba.
2. 発表標題 Characterization of Luminal High-Osteolytic Breast Cancer Cell Lines
3. 学会等名 第44回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小寺優佳、曾我恭花、加藤大貴、品田真央、池田凡子、衛藤翔太郎、吉竹涼平、高橋洋介、橋本裕子、西村亮平、中川貴之
2. 発表標題 “Drug screening of anti-tumor effects on canine urothelial carcinoma cell lines” 犬尿路上皮癌細胞株における抗腫瘍効果を指標とした薬剤スクリーニング
3. 学会等名 第80回 日本癌学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kazuhiro Okumura, Megumi Saito, Eriko Isogai, Yuichi Wakabayashi
2. 発表標題 A functional polymorphism in the 3'UTR of Pak1 regulates alternative polyadenylation and affects skin cancer susceptibility in mice
3. 学会等名 第80回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ageta-Ishihara N, Fukazawa Y, Takao K, Kengaku M, Miyakawa T, Inokuchi K, Bito H, Kinoshita M.
2. 発表標題 A myosin/septin-dependent postsynaptic regulation required for memory consolidation
3. 学会等名 第44回 日本神経科学大会、第1回 CJK 国際会議 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ageta-Ishihara N
2. 発表標題 A new kind of positive feed-back regulation via the organelle extension
3. 学会等名 RIKEN BDR 'Women and Future in Science' Seminar (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 T Asano, K Tokoro, T Horita, N Izuo, S Muramatsu, A Nitta
2. 発表標題 A novel bipolar mice model by Teneurin-4 reduction in the prefrontal cortex
3. 学会等名 A novel bipolar mice model by Teneurin-4 reduction in the prefrontal cortex (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Lee Jin, Chen Xiaoxi, LI Mengjiao, Wang Yuming, 石川聡子、東條有伸、後藤典子
2. 発表標題 A novel inhibitor of one carbon metabolism with Chk1 inhibitor is a rational combination strategy to treat breast cancer
3. 学会等名 第 80 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Tran Thi Thuy Linh、清水 康平、及川 大輔、高橋 宏隆、澤崎 達也、徳永 文稔
2. 発表標題 A novel LUBAC-associated protein plays important roles in inflammatory response through regulation of programmed cell death.
3. 学会等名 第 94 回日本生化学会大会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 清水 康平, Tran Thi Thuy Linh, 及川 大輔, 高橋 宏隆、澤崎 達也、徳永 文稔
2. 発表標題 A novel LUBAC-associated protein regulates NF- $\kappa$ B activation, apoptosis and necroptosis pathway.
3. 学会等名 第 44 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Koji Kikuchi, Mami Nakagawa, Toshihiko Fujimori, Kei-ichiro Ishiguro, Kimi Araki, Akira Nakamura, Makoto Suzuki, and Hiroyuki Nakanishi
2. 発表標題 A novel molecular mechanism regulating chondrocyte cell polarity that is essential for endochondral ossification.
3. 学会等名 第 54 回日本発生物学会年会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 菊池 浩二、中川 真美、藤森 俊彦、石黒 啓一郎、荒木 喜美、中村 輝、鈴木 誠、中西 宏之
2. 発表標題 A novel molecular mechanism regulating chondrocyte cell polarity that is essential for endochondral ossification.
3. 学会等名 第 73 回日本細胞生物学会大会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 グエン ファム カン ティエン、三宅崇仁、土居雅夫
2. 発表標題 A robust and sustained circadian rhythm of Per2::Luc expression in the mouse meibomian gland acinar cells
3. 学会等名 第 28 回日本時間生物学会年会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 岩崎信太郎
2. 発表標題 A specific eIF4A paralog facilitates LARP1-mediated translation repression during mTORC1 inhibition.
3. 学会等名 Mini-symposium on RNA Biology and Therapeutics [Basic Science (IBS) and Seoul National University (SNU), Korea] (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Tetsuya Sasaki, Masae Ohtsuka, Hiroko Suzaki, Yosuke Takei.
2. 発表標題 Abnormalities in cortical architecture caused by modulation of cytokine balance.
3. 学会等名 The 44th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 伊藤洋人、深津紀暁、山中章弘.
2. 発表標題 Activity recording of orexin neurons during sleep and cataplexy.
3. 学会等名 日本睡眠学会第 46 回定期学術集会
4. 発表年 2021 年



1. 発表者名 石堂正美
2. 発表標題 ADHD 関連化学物質の生化学的基盤
3. 学会等名 第 94 回日本生化学会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Masahiro Mizuno, Behnoush Khaledian, Masao Maeda, Shiori Takusagawa, Manaka Yano, Naoya Asai, Yohei Shimono
2. 発表標題 Adipsin-dependent HGF secretion from adipocytes promotes cancer stem cell properties inof breast cancer cells.
3. 学会等名 第 80 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 林 崇
2. 発表標題 AMPA 受容体のパルミトイル化修飾異常に伴うてんかん発作
3. 学会等名 2020 年度生理学研究所研究会 自閉症、てんかんの病態原理に関するシナプス制御・神経回路機構 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 塩崎ゆかり
2. 発表標題 Analysis of DNA damage-induced activation of the SAPK signaling pathways
3. 学会等名 第 80 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Takahiro Anzai, Masahiro Yasunaga, Yasuhiro Matsumura
2. 発表標題 Analysis of the subcellular localization of TMEM180, which is highly expressed in colorectal cancer cells
3. 学会等名 第 80 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 松田碧、中村貴紀、小迫英尊、武川睦寛
2. 発表標題 APEX2 を用いた近位ビオチン標識法と質量分析を活用した熱刺激誘導性液-液相分離顆粒コアタンパク質の探索
3. 学会等名 第 72 回日本電気泳動学会総会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 西川俊夫
2. 発表標題 Aplysiatoxin/oscillatoxin 類の網羅的合成研究
3. 学会等名 反応集積化が導く中分子戦略：高次生物機能分子の創製 令和2年度取りまとめシンポジウム
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Shimono Y, Nishimura T, Kono S, Hayashi T, Watanabe T, Maeda M, Kakeji Y, Kawada K, Asai N, Takao S, Minami H, Kijima Y, Suzuki M, Gotoh N, et al.
2. 発表標題 Application of organoids to breast cancer research.
3. 学会等名 第 80 回日本癌学会学術総会（招待講演）
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 松原有也、岸本真治、渡辺賢二
2. 発表標題 Aspergillus lentulus の生産する新規天然物 lentopeptin A, B の構造決定と生合成解析
3. 学会等名 日本生薬学会第 67 回年会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 永井拓実、岸本真治、渡辺賢二
2. 発表標題 Aspergillus 属糸状菌が産生する免疫抑制化合物 sphingofungin 類の生合成機構の解明
3. 学会等名 日本生薬学会第 67 回年会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Minatohara K, Ohnami S, Okabe S, Bito H, Okuno H.
2. 発表標題 Association of a neutral contextual memory with a fearful experience induces synapse formation selectively in Arc-expressing neurons of the mouse retrosplenial cortex
3. 学会等名 SfN Global Connectome (北米神経科学学会オンライン研究発表) (国際学会)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Tomohiro Iguchi, Sayuri Ito, Naoko Kakusho, Satoshi Yamazaki, Asami Oji, Rino Fukatsu, Ichiro Hiratani, Hiroyuki Sasanuma, Hisao Masai
2. 発表標題 Association of Rif1 with nuclear membrane is essential for genome-wide replication timing regulation
3. 学会等名 第 44 回日本分子生物学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Behnoush Khaledian, Masahiro Mizuno, Masao Maeda, Shiori Takusagawa, Manaka Yano, Naoya Asai, Yohei Shimono
2. 発表標題 Autocrine regulation of adipocytes promotes cancer stem cell properties in breast cancers
3. 学会等名 第 80 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Taisuke Miyazaki, Miwako Yamasaki, Kenji Sakimura , Masahiko Watanabe
2. 発表標題 Carbonic anhydrase related protein Car8 is essential for the establishment of cerebellar neuronal circuit, regulating precise matching of pre and postsynapse in Purkinje cell
3. 学会等名 第 126 回日本解剖学会総会・全国学術集会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Tokunaga F, Terawaki S, Oikawa D, Shimizu K.
2. 発表標題 Cellular functions regulated by complex-type ubiquitination including linear polyubiquitin chain
3. 学会等名 第 44 回日本分子生物学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 柳田 亮、小林巧美、権田敦子、高田晃児、入江一浩
2. 発表標題 CH/ $\pi$ 相互作用に着目した Aplysiatoxin 単純化アナログの分子動力学解析
3. 学会等名 2021 年度日本農芸化学会大会（オンライン開催）
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Yasuaki Arima, Kae Nakamura, Kimihiko Mori, Kimitaka Hase
2. 発表標題 Characteristics of visuospatial analyses during the measure of subjective visual vertical in acute stroke patients.
3. 学会等名 44th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Han Yuxuan, Jun Nakayama, Mitsuru Futakuchi, Emi Ito <sup>5</sup> , Shinya Watanabe, Kentaro Semba.
2. 発表標題 Characterization of Luminal High-Osteolytic Breast Cancer Cell Lines
3. 学会等名 第 80 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 正井久雄
2. 発表標題 Chromatin regulation that involves assembly of protein, lipid and DNA with a special higher-order structure
3. 学会等名 第 94 回日本生化学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Masao Doi
2. 発表標題 Circadian clock: disease etiology and drug target exploration
3. 学会等名 The 5th Asian Forum on Chronobiology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Chi-Chun Yang, Hisao Masai
2. 発表標題 Claspin is required for growth recovery from serum starvation through regulating the PI3K-PDK1-mTOR pathway.
3. 学会等名 Cold Spring Harbor Asia Conference, DNA METABOLISM, GENOMIC STABILITY & HUMAN DISEASE (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Tayo Katano, Manabu Abe, Masahiko Watanabe, Kenji Sakimura and Takuya Kobayashi
2. 発表標題 Comparative analyses of neuronal activation in the spinal dorsal horn for mechanical allodynia after Spared nerve injury between wild-type and BEGAIN-knockout mice
3. 学会等名 第44回日本神経科学学会/CJK 第1回国際会議 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Tetsuhisa Otani, Mikio Furuse
2. 発表標題 Competitive elimination of tight junction deficient cells regulate epithelial barrier homeostasis
3. 学会等名 4th International Tight Junction Conference (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Tetsuhisa Otani, Mikio Furuse
2. 発表標題 Competitive elimination of tight junction deficient cells regulate epithelial barrier homeostasis
3. 学会等名 The 51st NIPS International Symposium (国際学会)
4. 発表年 2021年



1. 発表者名 Murtala Hamza Yahaya, Yuichiro Oka, Makoto Sato
2. 発表標題 Cortical layers receive kcnabl-expressing neurons from the subplate
3. 学会等名 第44回 日本神経科学大会 第1回 CJK 国際会議 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 原怜、佐南谷瑞、立川夏夫、吉村幸浩、宮田順之、佐々木裕明、黒田理佐、上國料千夏、江口智洋、新山修平、垣花泰之、一瀬宏
2. 発表標題 COVID-19患者におけるネオプテリンおよび炎症マーカーレベルの解析
3. 学会等名 第34回日本プテリジン研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Tetsuya Asano, Haruko Nakamura, Fumio Nakamura, Yayoi Kimura, Yoshio Goshima, Hiroshi Takano, Ryoji Yao, Hideyuki Takeuchi, Hiroshi Doi, Fumiaki Tanaka, et al.
2. 発表標題 CRMP1 modulates motor function of amyotrophic lateral sclerosis by phosphorylation at Ser 522
3. 学会等名 Pan-Asia Consortium for Treatment and Research in ALS (PACTALS) 2021 NAGOYA (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 間石 奈湖, 梅山 悠伊, 菊地 央, 古御堂 純, 佐藤 峰嘉, 武田 遼, Dorcas A. Annan, 篠原 信雄, 樋田 泰浩, 樋田 京子
2. 発表標題 Crosstalk of tumor cells and tumor endothelial cells by forming cell clusters promotes tumor metastasis
3. 学会等名 CVMW2020 / 第 28 回日本血管生物医学会学術集会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 笹岡 俊邦, 齊藤 奈英, 田井中 一貴, Macpherson Tom, 疋田 貴俊, 山口 瞬, 板倉 誠, 阿部 学, 崎村 建司
2. 発表標題 D 1 及び D 2 ドーパミン受容体を介する神経伝達による運動制御と学習記憶の仕組みの理解
3. 学会等名 第 43 回日本生物学的精神医学会・第 43 回日本神経精神薬理学会合同大会 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 杉森 祐一郎, 浅野 昂志, 泉尾 直孝, 村松 慎一, 新田 淳美
2. 発表標題 Decreased expression of Teneurin-4 in mouse hippocampus induces depressive-like behavior
3. 学会等名 第 95 回日本薬理学会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 迎恭輔、竹信尚典、神田浩明、大平美紀、遠藤悠紀、春田雅之、杉野 隆一、佐藤俊平、戸口田淳也、長船健二、中畑龍俊、上條岳彦
2. 発表標題 Development of a chondroblastic osteosarcoma model from iPSC-based neural crest cells
3. 学会等名 第 80 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Iguchi, Y., Fukabori, R., Kato, S., Takahashi, K., Eifuku, S., ..., & Kobayashi, K.
2. 発表標題 Development of a new chemogenetic neuronal activation system based on insect Ionotropic Receptors.
3. 学会等名 The 44th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 福田 茉由、Joseph A. Gogos、向井 淳
2. 発表標題 Development of epigenome therapeutic agents and treatments to improve cognitive impairments in schizophrenia
3. 学会等名 日本神経科学会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Satoshi Kida
2. 発表標題 Dietary magnesium deficiency impairs hippocampus-dependent memories and induces neuroinflammation in mouse.
3. 学会等名 International Society for the Development of Research on Magnesium (SDRM) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 鈴木実乃里, 宮嶋克也, 須藤雄介, 実近翔, 原慶賢, 堀口美恵子, 原怜, 鷲見一瀬千穂, 近藤一直, 短田浩一, 高雄啓三, 宮川剛, 一瀬宏
2. 発表標題 Differential reduction of monoamine neurotransmitters and PTSD-like behavior in mice defective in the regeneration of tetrahydrobiopterin.
3. 学会等名 第51回日本神経精神薬理学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 米野雅大、Md Rasel Molla、清水昭男、扇田久和
2. 発表標題 Dipeptidyl peptidase III の糖尿病性腎臓病抑制機序
3. 学会等名 日本生化学会近畿支部例会 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 久保田 裕二、塩崎 ゆかり、武川 睦寛
2. 発表標題 DNA 損傷ストレスにより活性化するシグナル伝達経路と細胞運命決定機構の解析
3. 学会等名 第 15 回 日本臨床ストレス応答学会大会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Koji Kuraoka, Kae Nakamura
2. 発表標題 Dominant processing of social, rather than reward information in the lateral nucleus of primate amygdala.
3. 学会等名 44th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Masaharu Yasuda, Yasumasa Ueda, Kae Nakamura
2. 発表標題 Dynamic interaction between emotional and cognitive signal in primate dorsal raphe nucleus.
3. 学会等名 44th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Tetsuya Sasaki, Aki Takahashi, Satoru Takahashi, Yosuke Takei.
2. 発表標題 Effects of ROR $\gamma$ t overexpression on the central nervous system and behaviors.
3. 学会等名 The 126th Annual Meeting of the Japanese Association of Anatomists. / The 98th Annual Meeting of The Physiological Society of Japan.
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 K Chino, N Izuo, T Kuboyama, C Tohda, S Muramatsu.
2. 発表標題 Effects of Shati/Nat8l overexpression on recovery of cognitive dysfunction in a mouse model of Alzheimer's disease.
3. 学会等名 AsCNP (Asian College of Neuropsychopharmacology) (国際学会)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 岩崎信太郎
2. 発表標題 eIF2B 結合性ウイルスタンパク質 NSs による統合的ストレス応答抑制
3. 学会等名 第 94 回日本生化学大会 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Tetsuya Sasaki, Masae Ohtsuka, Satoru Takahashi, Yosuke Takei.
2. 発表標題 Elevated maternal retinoic acid-related orphan receptor- $\gamma$ t enhances the effect of poly(I:C) in inducing fetal loss.
3. 学会等名 The 45th Annual Meeting of the Japanese Society of Women's Nutrition and Metabolism/ The 10th Japan DOHaD Society Academic Meeting
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Tetsuya Sasaki, Masae Ohtsuka, Satoru Takahashi, Yosuke Takei.
2. 発表標題 Elevated maternal ROR $\gamma$ t enhances the effect of polyinosinic-polycytidylic acid in inducing fetal loss.
3. 学会等名 The 127th Annual Meeting of The Japanese Association of Anatomists.
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 久保田 裕二、藤岡 優子、野田 展生、武川 睦寛
2. 発表標題 Elucidation of the activation and drug-resistance mechanisms of diseases-associated MEK1 mutants 癌・先天性疾患を導く MEK1 遺伝子変異体の異常活性化機構と薬剤耐性獲得機序の解明
3. 学会等名 第 80 回 日本癌学会学術総会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 椎名伸之
2. 発表標題 Emergence of stress tolerance in fear memory by a spliced prion-like domain of ILF3
3. 学会等名 第44回日本神経科学大会・第1回CJK国際会議（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 櫻井文香
2. 発表標題 ERK 活性依存的に発現抑制されるミトコンドリア局在タンパク質の解析
3. 学会等名 第44回日本分子生物学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 高木祐輔
2. 発表標題 ERK 誘導性の発癌を阻害する新規癌抑制遺伝子の同定
3. 学会等名 日本癌学会学術総会
4. 発表年 2021年



1. 発表者名 Yosuke Takei, Peiyi Bao, Masae Ohtsuka, Hiroko Suzaki, Suguru Iwata, Tetsuya Sasaki.
2. 発表標題 Expression of IL-17RA in the cerebral cortex of mice during postnatal development and its alteration by maternal immune activation.
3. 学会等名 The 127th Annual Meeting of The Japanese Association of Anatomists.
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Kawai T, Okamura Y.
2. 発表標題 Functional mechanism of polarized phosphoinositides distribution generated by voltage-sensing phosphatase in sperm flagellum
3. 学会等名 第 126 回日本解剖学会・第 98 回日本生理学会大会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 宮田茂雄、柿崎利和、藤原和之、大日方英、平野瞳子、中井淳一、田中三佳、糸原重美、田中謙二、渡辺雅彦、阿部学、崎村建司、柳川右千夫
2. 発表標題 GAD67 機能不全によるマウス情動行動の変化
3. 学会等名 第 94 回日本薬理学会年会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 岩崎信太郎
2. 発表標題 Genome-wide survey of ribosome traverse
3. 学会等名 R&D 戦略委員会第1回企画シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 鈴木佐和子、田中知明、横手幸太郎.
2. 発表標題 Glutaminolysis の糖尿病および癌における役割解明
3. 学会等名 第58回糖尿病関東甲信越地方会 若手研究者シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Iwasaki S
2. 発表標題 Gravity activates mitochondrial translation through cell adhesion-FAK axis
3. 学会等名 The 44th Annual Meeting of The Molecular Biology Society of Japan (MBSJ 2021) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 新澤康英, 松本真司、種村篤、横井一範、藤本学、二村圭祐、曾我朋義、菊池 章
2. 発表標題 GREB1 isoform 4 はピリミジン合成を介して悪性黒色腫細胞の増殖能を促進する
3. 学会等名 第44回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 清水貴美子、前畑佳納子、池野 知子、Qiuyi Wang、衛 澤峰、櫻井 文香、Pan Yue、高尾 敏文、深田 吉孝
2. 発表標題 Hippocampal 7 $\alpha$ -hydroxylated neurosteroids upregulated in a training-dependent manner are essential for remote memory formation.
3. 学会等名 第44回日本神経科学大会 / CJK 第1回国際会議 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kazuya Yamagata
2. 発表標題 HNF1 $\alpha$ controls both insulin and glucagon secretion in pancreatic islets
3. 学会等名 The 64th Annual Meeting of the Japan Diabetes Society (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 S. Kobayashi, K. Hata, Y. Takahata, T. Murakami, N. Uzawa, R. Nishimura
2. 発表標題 Identification of Chondrocyte-specific Sox9 Enhancers Important for Skeletal Development
3. 学会等名 American Society for Bone and Mineral Research 2021 Annual Meeting
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 Identification of neural pathway which converts circadian rhythm to sleep/wakefulness.
3. 学会等名 2020 Oriental International Sleep Medicine Summit Forum (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Oikawa D, Gi M, Kosako H, Shimizu K, Shiota M, Takahashi H, Sawasaki T, Tokunaga F.
2. 発表標題 Identification of OTUD1 deubiquitinase as a regulator for innate immune responses, cell death, and inflammatory bowel disease
3. 学会等名 第 94 回日本生化学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 安達貴弘
2. 発表標題 IgA-deficiency breaks immunological and neurological homeostasis
3. 学会等名 日本免疫学会 第50回学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Tetsuya Sasaki, Yosuke Takei.
2. 発表標題 IL-17a affects activity and localization of microglia in the embryo cerebral cortex.
3. 学会等名 SfN Global Connectome (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Tetsuo Mashima, Ryuhei Kawakami, Koshi Kumagai, Takeshi Sano, Kensei Yamaguchi, Hiroyuki Seimiya
2. 発表標題 Innate drug resistance of ALDH1A3-enriched cancer cell subpopulation and its plasticity in gastric cancer
3. 学会等名 第80回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Tetsuya Sasaki, Yosuke Takei.
2. 発表標題 Intraventricular Interleukin-17A administration activates microglia and altered their localization in the cerebral cortex of fetal brain.
3. 学会等名 International College of Neuropsychopharmacology 2021 Virtual World Congress. (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 3. Fukabori, R., Iguchi, Y., Kato, S., Takahashi, K., Eifuku, S., ..., & Kobayashi, K.
2. 発表標題 Ionotropic receptor-mediated chemogenetic activation of LC neurons enhances conditioned memory retrieval through adrenergic receptor subtypes in the basolateral amygdala.
3. 学会等名 The 44th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 迎恭輔、竹信尚典、神田浩明、大平美紀、遠藤悠紀、春田雅之、杉野隆一、佐藤俊平、戸口田淳也、長船健二、中畑龍俊、上條岳彦
2. 発表標題 iPS 細胞由来神経堤細胞による軟骨芽細胞型骨肉腫モデル開発
3. 学会等名 第80回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 T Tokutake, T Asano, S Nakaya, N Izuo, A Nitta.
2. 発表標題 Key roles of CB1 receptors in the amygdala: ACPA induced place preference.
3. 学会等名 AsCNP (Asian College of Neuropsychopharmacology) (国際学会)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 第 80 回日本癌学会学術総会
2. 発表標題 Kyosuke Mukae, Hisanori Takenobu, Hiroaki Kanda, Miki Ohira, Masayuki Haruta, Junya Toguchida, Kenji Osafune, Tatsutoshi Nakahata, Takehiko Kamijo
3. 学会等名 第 80 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 岩本和也
2. 発表標題 LINE-1 と精神神経疾患：転移の分子機構と新規解析技術の開発
3. 学会等名 第 43 回生物学的精神医学会・第 51 回日本神経精神薬理学会合同年会 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Tetsuya Sasaki, Suguru Iwata, Yosuke Takei.
2. 発表標題 Localization of Myosin Id, an ASD Risk Gene Product in Dendritic Spines.
3. 学会等名 Joint annual meeting of The 43rd Annual Meeting of JSBP and The 51st Annual Meeting of JSNP
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 松本 有樹修
2. 発表標題 Long non-coding RNA の翻訳と脳の進化
3. 学会等名 第 44 回日本神経科学大会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 寺脇 正剛, 張 強, 及川 大輔, 林 邦忠, 布村 一人, 駒川 晋輔, 臼杵 克之助, 徳永 文稔
2. 発表標題 LUBAC ユビキチンリガーゼと直鎖状ユビキチン鎖が筋萎縮性側索硬化症関連 タンパク質 TDP-43 の細胞質内凝集形成を促進する
3. 学会等名 第 44 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2021 年



1. 発表者名 中村 貴紀、西住(渡海) 紀子、中澤 嵩、森 竜樹、鈴木 貴、武川 睦寛
2. 発表標題 Mathematical modeling of the molecular mechanism underlying the recruitment of centriole biogenesis regulators to mother centrioles
3. 学会等名 第 80 回日本癌学会学術総会 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 松崎 真也, 萩 かれん, 中澤 鈴菜, 尾嶋 大喜, 山本 融, 窪田 剛志, 岸本 泰司
2. 発表標題 MDGA1 ノックアウトマウスの社会性行動に対するD-サイクロセリンの効果
3. 学会等名 日本薬学会 第 141 年会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 江崎博仁、佐々木祐輝、大嶋祥高、釜田ひかり、向井沙和子、中田早音、齊藤隆太郎、西谷直也、出山諭司、金田勝幸
2. 発表標題 MDMA による向社会効果に対する扁桃体基底外側核 5-HT1A 受容体の役割
3. 学会等名 次世代を担う若手のための創薬・医療薬理シンポジウム 2021
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 佐々木祐輝、大嶋祥高、江崎博仁、釜田ひかり、向井沙和子、中田早音、齊藤隆太郎、西谷直也、出山諭司、金田勝幸
2. 発表標題 MDMA による向社会効果誘導における扁桃体基底外側核 5-HT1A 受容体の関与
3. 学会等名 第 139 回日本薬理学会近畿部会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 江崎博仁、佐々木祐輝、大嶋祥高、釜田ひかり、向井沙和子、中田早音、齊藤隆太郎、西谷直也、出山諭司、金田勝幸
2. 発表標題 MDMA の向社会効果における扁桃体基底外側核 5-HT1A 受容体の関与
3. 学会等名 生体機能と創薬シンポジウム 2021
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Kei-ichiro ISHIGURO
2. 発表標題 MEIOSIN directs the switch from mitosis to meiosis
3. 学会等名 The 4th KAIST-KU Workshop and Joint Symposium "Facilitating Collaboration in Biomedical Engineering Research" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 岩崎信太郎
2. 発表標題 METTL18-mediated histidine methylation on RPL3 modulates translation elongation for proteostasis maintenance
3. 学会等名 第15回日本臨床ストレス応答学会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ayumu Suzuki, Yuka Kitamura, Kousuke Uranishi, Yosuke Mizuno, Masazumi Nishimoto, Akihiko Okuda
2. 発表標題 Molecular mechanisms for the initiation of meiosis in mouse germ cells
3. 学会等名 第44回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Tetsuya Sasaki, Masae Ohtsuka, Suguru Iwata, Yosuke Takei.
2. 発表標題 Molecular motor Myosin Id localize to dendritic spines.
3. 学会等名 Japanese Association of Anatomists 109th Kanto Branch Academic Meeting.
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 若林雄一
2. 発表標題 MSM 由来 ES 細胞を用いた発がん抵抗性遺伝子座の解析
3. 学会等名 2020 年度先端モデル動物支援プラットフォーム成果発表会 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Osanai M
2. 発表標題 Multiscale and multimodal Ca <sup>2+</sup> imaging to avoid mereological fallacy in neuroscience.
3. 学会等名 第 64 回日本神経化学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Mariko Saitoh, Yuji Kubota, Mutsuhiro Takekawa
2. 発表標題 Mutual regulation between MAPK phosphatases and the ERK pathway
3. 学会等名 G2 plus Retreat
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 藤原和之、柿崎利和、柳川右千夫
2. 発表標題 Neonatal NMDA receptor blockade and glutamate decarboxylase 67-kDa isoform haplodeficiency synergistically cause behavioral alterations
3. 学会等名 第44回日本神経科学大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 堀尾朋世, 椎名伸之
2. 発表標題 Novel regulation of RNA granule dynamics by neurodegenerative disease-causing gene products
3. 学会等名 第44回日本神経科学大会・第1回CJK国際会議 2021年7月 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 堀尾朋世, 椎名伸之
2. 発表標題 Novel regulation of RNA granule dynamics by neurodegenerative disease-causing gene products
3. 学会等名 第44回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 鈴木秀明、繁富英治、平山幸歩、高橋由香里、池中一裕、田中謙二、加藤総夫、尾藤晴彦、小泉修一
2. 発表標題 P2Y1 受容体を介したニューロンアストロサイト-ミクログリア間情報処理機構
3. 学会等名 第 44 回日本神経科学大会・CJK 第 1 回国際会議 (国際学会)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 大橋愛美, 福田勉, 岡村睦美, 西谷直之, 岩尾正倫, 且慎吾
2. 発表標題 pan-CDK 阻害活性を示す新規合成ラメラリン類縁体 Azalam 4 の細胞特異的なアポトーシス誘導作用
3. 学会等名 第 80 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 豊國伸哉、Hao Zheng, Yingyi Kong, Yaguang Luo、本岡大社
2. 発表標題 Pathologic findings toward the concept of cancer as ferroptosis-resistance 変革する病理学：形態診断から普遍的研究プラットフォームへ
3. 学会等名 第 80 回日本癌学会総会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Masayasu Okada
2. 発表標題 Phosphorylation of GAP-43 T172 is a molecular marker of growing axons in a wide range of mammals including primates
3. 学会等名 第 9 回生理研-霊長研-新潟脳研合同シンポジウム
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 齊藤 まりこ、久保田 裕二、武川 睦寛
2. 発表標題 Phos-tag 電気泳動法を活用した MAPK phosphatase (MKP) と MAPK 経路の相互調節機構の解析
3. 学会等名 第 72 回日本電気泳動学会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 志津怜太
2. 発表標題 PXR 活性化の肝化学発がんへの影響の理解と機序解析
3. 学会等名 第 3 回医薬品毒性機序研究会 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 原田昭和, 松本真司, 菊池章
2. 発表標題 RAS 下流のエフェクター分子 ARL4C を標的とした膵癌の浸潤転移の制御
3. 学会等名 第 80 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 富永みずき、船城桐子、坂本毅治、伊東剛、村上善則
2. 発表標題 Rb1/Trp53 遺伝子改変マウスモデルを用いた小細胞肺がんの悪性化における細胞接着分子 CADM1 の解析
3. 学会等名 第 80 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Kazuya Yamagata
2. 発表標題 Regulation of Metabolism by nuclear factors
3. 学会等名 The Quadruple symposium-2021 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021 年



1. 発表者名 Shogo Sasaki, Yue Ma, Kazunori Ikebukuro, Masayuki Tera, Kazuo Nagasawa
2. 発表標題 Regulation of thrombin activity by a linear hexaoxazole of G-quadruplex ligand with controlling thrombin-binding aptamer topologies
3. 学会等名 The 48th International Symposium on Nucleic Acids Chemistry (国際学会)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 宮西 肇、村松 慎一、新田 淳美
2. 発表標題 Regulatory mechanism of stress sensitivity by Shati/Nat81 in the dorsal striatum
3. 学会等名 第 95 回日本薬理学会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 土居雅夫
2. 発表標題 Research for drug discovery aimed at circadian rhythm regulation by time-restricted gating of G-protein signaling
3. 学会等名 第 85 回日本循環器学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Tetsuya Sasaki, Aki Takahashi, Hiroko Suzaki, Satoru Takahashi, Yosuke Takei.
2. 発表標題 Retinoic acid-related orphan receptor- $\gamma$ t overexpression affect the murine central nervous system and behaviors.
3. 学会等名 The 64th Annual Meeting of the Japanese Society of Neurochemistry.
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Joanne Ern Chi Soh、清水昭男、Md Rasel Molla、米野雅大、扇田久和
2. 発表標題 Rho A protects senescence heart by preserving mitochondrial function via Parkin
3. 学会等名 日本循環器学会基礎研究フォーラム
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Joanne Ern Chi Soh、清水昭男、Md Rasel Molla、米野雅大、扇田久和
2. 発表標題 Rho A rescues senescence heart by maintaining mitochondrial function via Parkin.
3. 学会等名 日本循環器学会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 奥野浩行、石井雄一郎、遠藤俊裕、鈴木祐輔、阿部学、今吉格、掛山正心、崎村建司、尾藤晴彦
2. 発表標題 Role of Arc in regulation of surface AMPA receptors and cognition
3. 学会等名 第44回日本神経科学大会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Toyokuni S
2. 発表標題 Role of ferroptosis in carcinogenesis and tumor biology. AACR-JCA joint symposium on carcinogenesis and DNA damage in memory of Dr. Takashi Sugimura
3. 学会等名 Annual Meeting American Association for Cancer Research（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Iguchi, Y., Fukabori, R., Kato, S., & Kobayashi, K.
2. 発表標題 Role of the locus coeruleus-basolateral amygdalar noradrenergic projection in the retrieval of taste aversion memory in mice: a pharmacological and chemogenetic circuit manipulation study.
3. 学会等名 日本動物心理学会第81回大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Hisao Masai, Yutaka Kanoh, Kaho Takasawa, Daisuke Koida, Seiji Matsumoto
2. 発表標題 Roles of G4 binding and multimerization of Rif1 in S phase regulation in fission yeast cells.
3. 学会等名 Cold Spring Harbor Asia Conference YEAST AND LIFE SCIENCES (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 渡海 紀子, 中村 貴紀, 武川 睦寛
2. 発表標題 SAPK により制御されている miRNA-X は大腸癌のアポトーシスを 抑制する
3. 学会等名 第 80 回 日本癌学会学術総会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 渡海 紀子、中村 貴紀、武川 睦寛
2. 発表標題 SAPK-regulated microRNA-X suppresses apoptosis in colorectal cancer
3. 学会等名 第 80 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Kae Nakamura
2. 発表標題 Serotonin Brain and beyond.
3. 学会等名 筑波大学神経科学先端セミナー（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kei-ichiro Ishiguro
2. 発表標題 Sexually different mechanisms of meiotic cell cycle in mammalian germ cells
3. 学会等名 44th Annual meeting of Molecular Biology Society of Japan,（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 H Miyanishi, S Muramatsu, A Nitta.
2. 発表標題 Shati/Nat81 determine the stress sensitivity via regulation of BDNF expression in the striatum.
3. 学会等名 AsCNP (Asian College of Neuropsychopharmacology)（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Nitta A, Miyanishi H, Muramatsu S.
2. 発表標題 Shati/Nat8l determine the stress sensitivity via regulation of BDNF expression in the striatum
3. 学会等名 60th Annual meeting of the American College of Neuropsychopharmacology (ACNP) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Miyanishi H, Muramatsu S, Nitta A.
2. 発表標題 Shati/Nat8l determine the stress sensitivity via regulation of BDNF expression in the striatum
3. 学会等名 Toyama-Basel Meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Nor Idayu A. Rahman、佐藤朗、清水昭男、米野雅大、Md Rasel Molla、Joanne Ern Chi Soh、Le Kim Chi Nguyen、和田晃典、河内明宏、扇田久和
2. 発表標題 Stomatin possesses tumor-suppressive effect via the PDPK1-Akt signaling axis.
3. 学会等名 日本生化学会近畿支部例会 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ryuki Shimada, Kei-ichiro Ishiguro
2. 発表標題 STRA8 plays multiple roles in gonadal development and meiotic cell cycle in mouse female germ cells
3. 学会等名 International Symposium on the Biology of Vertebrate Sex Determination (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 高橋 晃、泉尾 直孝、浅野 昂志、新田 淳美
2. 発表標題 Suppressive effects of cervical lymph nodes excision on pathology of ischemic cerebral stroke
3. 学会等名 第95回日本薬理学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 玉谷 隆典、泉尾 直孝、中島 卓海、新田 淳美
2. 発表標題 Suppressive effects of glatiramer acetate on the addiction induced by methamphetamine via upregulation of osteopontin in mice
3. 学会等名 第95回日本薬理学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Toyokuni S
2. 発表標題 Symposium 4. Role of Redox-active Metals for the Prevention and Treatment of Cancer in the Era of Precision Medicine. Role of Ferroptosis in carcinogenesis and tumor biology
3. 学会等名 20th Biennial Meeting of Society for Free Radical Research International (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Seimiya H
2. 発表標題 Targeting G-quadruplex nucleic acids for cancer therapeutics
3. 学会等名 第80回日本癌学会学術総会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Haruka Sato
2. 発表標題 Thalamocortical axons control the cytoarchitecture of neocortical layers by area-specific supply of VGF
3. 学会等名 The International Symposium on Development and PLASTICITY of NEURAL SYSTEMS (国際学会)
4. 発表年 2021年



1. 発表者名 小野大輔
2. 発表標題 The central circadian clock regulates wakefulness via CRF neurons in the hypothalamus.
3. 学会等名 第44回日本神経科学大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ageta-Ishihara N, Kosaka Y, Fujiwara R, Fuse N, Suzuki A, Kinoshita I, Mizukami M, Kinoshita M.
2. 発表標題 The coordination of septin cytoskeleton and actomyosin underlying memory consolidation
3. 学会等名 The 80th Fujihara Seminar “Molecular and cellular mechanisms of brain systems generating individuality” (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Noriko Gotoh
2. 発表標題 The cytoplasmic adaptor FRS2beta fashions a cytokine-rich inflammatory microenvironment that promotes breast cancer carcinogenesis
3. 学会等名 American Association for Cancer Research (AACR) Annual Meeting 2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Weiru Jiang, Toshikazu Kakizaki, Goichi Miyoshi, Yuchio Yanagawa
2. 発表標題 The effect of GABA deficiency on embryonic neocortical development
3. 学会等名 第44回日本神経科学大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Weiru Jiang, Toshikazu Kakizaki, Goichi Miyoshi, Masashi Kurachi, Yasuki Ishizaki, Yuchio Yanagawa
2. 発表標題 The effect of GABA on embryonic neocortical development
3. 学会等名 第68回北関東医学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Iguchi, Y., Hikishima, K., & Kobayashi, K.
2. 発表標題 The individual history of reward learning and stress responsibility: resilience induced by contingency learning between action and reward.
3. 学会等名 The 43rd Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Nobuyuki Sakayori, Masanori Katakura, Makoto Sugita, Kazuto Kobayashi
2. 発表標題 The roles of brain polyunsaturated fatty acids in dopamine-dependent ingestive behaviors
3. 学会等名 The 44th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society・The 1st CJK International Meeting (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Sano, H., Nakamura, A., Yamane, M., Niwa, H., Nishimura, T., Araki, K., Takemoto, K., Ishiguro, K., Aoki, H., and Kojima, M.
2. 発表標題 The roles of the polyol pathway in sensing glucose uptake.
3. 学会等名 第14回日本ショウジョウバエ研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Masao Doi
2. 発表標題 Time as medicine and disease etiology
3. 学会等名 The CFBT Summer Showcase, Manchester, UK (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Saeki N. and Abe M.
2. 発表標題 Trps1 hypomorph mice show postnatal skeletal dysplasia.
3. 学会等名 DevDMM online meeting (September 17, 2021) (国際学会)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 扇田久和、佐藤朗
2. 発表標題 Tumor microenvironment-mediated upregulation of stomatin for suppressing the tumor growth by inhibiting the Akt pathway
3. 学会等名 日本癌学会学術総会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 竹馬俊介
2. 発表標題 T細胞寛容におけるクロマチン制御因子 TRIM28 の機能解析
3. 学会等名 第 29 回京都 T 細胞会議
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 齋藤 彩夏、寺井 秀樹、浜本 純子、岡田 真彦、福島 貴大、篠崎 太郎、堀内 康平、杉原 快、光石 彬史、胡谷 俊樹、竹原 朋宏、池村 辰之介、安田 浩之、川田 一郎、副島 研造、福永 興壱
2. 発表標題 UFMylation 経路異常による薬剤感受性の変化に関する検討
3. 学会等名 第 61 回日本呼吸器学会学術講演会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Toshio Nishikawa
2. 発表標題 Unified synthesis of aplysiatoxin/ocillatoxins, Hawaiian marine natural products
3. 学会等名 The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2021(Pacificchem2021) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Osanai M, Hasegawa N, Tanihira H, Kikuta S, Sano H, Kajita Y, Ohshiro T, Nambu A, Homma N, Mushiake H
2. 発表標題 Validation of neural activity measurement by activity-induced manganese-enhanced MRI
3. 学会等名 第 44 回日本神経科学大会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 後藤篤史, 河村真吾, 榎利衣, 岩田直也, 蔵満紀成, 中村寛, 永野昭仁, 野澤聡, 松本和, 田口純平, 山田泰広, 秋山治彦
2. 発表標題 αSMA-CreERT2 BAC トランスジェニックマウスの作製
3. 学会等名 第 36 回 日本整形外科学会基礎学術集会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 角真由, 奥谷浄也, 宮城一仁, 福田勉, 小野寺玄, 木村正成
2. 発表標題 アザラメラリンDおよびNの全合成
3. 学会等名 日本化学会 第 101 春季年会 (2021)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 本間拓二郎, 武田裕司, 赤塚慎也, 斉藤真一, 豊國伸哉, 藤井順逸
2. 発表標題 アスコルビン酸によるスーパーオキシド消去はSOD1欠損マウスの生存に必須である
3. 学会等名 第 74 回日本酸化ストレス学会・第 21 回日本 NO 学会合同学術集会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 木村正成, 末吉巽, 小野寺玄, 福田勉
2. 発表標題 アルキニルボレートを鍵中間体とするオキサボロールの高選択的構築
3. 学会等名 第 67 回有機金属化学討論会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 疋田清美, 村田富保, 仲吉朝希, 小田彰史, 浅尾直樹, 旦慎吾, 金田典雄
2. 発表標題 イソフラボン(S)-Erypoegin K の標的分子の同定 : 新規トポイソメラーゼ II 阻害剤
3. 学会等名 日本薬学会第 141 年会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 副島英伸
2. 発表標題 エピゲノム異常疾患の病態解明と病因再定義
3. 学会等名 AMED 難治性疾患実用化研究事業 G-2 「精緻エピゲノム解析技術開発と IRUD 未解明症例への応用」R2 年度班会議
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 綿谷 成恭、若林 勇樹、寺 正行、馬 悦、長澤 和夫
2. 発表標題 オキサゾール骨格を有するグアニン四重鎖特異的 turn-on 型リガンドの開発
3. 学会等名 日本化学会 第 101 回春季年会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 オレキシンとナルコレプシー症状発現メカニズムの最新研究
3. 学会等名 第 12 回日本臨床睡眠医学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 オレキシン神経活動によるレム睡眠と脱力発作の調節
3. 学会等名 2021 年度生理学研究所研究会 運動・行動から紐解く脳神経回路発達メカニズムの異分野融合研究による解明 (招待講演)
4. 発表年 2021 年



1. 発表者名 船戸洋佑、本田茉莉、山崎大輔、三木裕明
2. 発表標題 がん細胞の酸性環境適応機構「acid addiction」の分子メカニズム解析
3. 学会等名 第 94 回日本生化学会大会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 大山彩, 佐々木捷悟, 寺正行, 長澤和夫
2. 発表標題 グアニン四重鎖を安定化する大環状ヘキサオキサゾールオリゴマーの開発
3. 学会等名 日本化学会第 102 回春季年会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 繁富英治、小泉修一
2. 発表標題 グリア-ニューロン機能連関のマルチモーダルイメージング
3. 学会等名 第 44 回日本神経科学大会・CJK 第 1 回国際会議 (国際学会)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 藤原和之、佐藤匠、宮坂佳樹、真下知士、柳川右千夫
2. 発表標題 グルタミン酸脱炭酸酵素 67kDa アイソフォーム (GAD67) ノックアウトラットが示す恐怖記憶の変化
3. 学会等名 先端モデル動物支援プラットフォーム若手技術講習会 2021 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 服部奈緒子、木村佳那、飯田直子、今井俊夫、小泉美帆、本田浩章、牛島俊和
2. 発表標題 クロモドメインタンパク Cdy12 は幹細胞の多能性維持に重要である
3. 学会等名 第 14 回日本エピジェネティクス研究会年会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 渡部文子
2. 発表標題 ジェンダー平等とダイバーシティ推進への日本神経科学会の取り組みと ALBA の紹介
3. 学会等名 第 40 回日本認知症学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 吉田 愛美, 合田 光寛, 杉本 祐悟, 八木田 ひかり, 神田 将哉, 吉岡 俊彦, 櫻田 巧, 相澤 風花, 濱野 裕章, 岡田 直人, 八木 健太, 石澤 有紀, 座間味 義人, 石澤 啓介
2. 発表標題 シスプラチン誘発腎障害に対する新規予防候補薬の効果
3. 学会等名 第 140 回日本薬理学会近畿部会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 吉田 愛美, 合田 光寛, 杉本 祐悟, 八木田 ひかり, 神田 将哉, 吉岡 俊彦, 櫻田 巧, 石澤 有紀, 相澤 風花, 濱野 裕章, 岡田 直人, 八木 健太, 座間味 義人, 石澤 啓介
2. 発表標題 シスプラチン誘発腎障害に対する新規予防薬の探索
3. 学会等名 第 60 回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会中国四国支部学術大会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 米野雅大、Md Rasel Molla、清水昭男、扇田久和
2. 発表標題 ジペプチジルペプチダーゼ III が糖尿病性腎臓病を抑制する作用機序
3. 学会等名 日本生化学会大会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 大守伊織, 大内田守, 今井宏彦, 豊國伸哉, 真下知士
2. 発表標題 チオレドキシンの機能低下は神経細胞とオリゴデンドロサイトの細胞死を惹起する
3. 学会等名 第44回日本分子生物学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 柳田 和輝, 佐々木 捷悟, 馬 悦, 池袋 一 典, 寺 正行, 長澤 和夫
2. 発表標題 テロメアグアニン四重鎖と選択的に共有結合する光架橋型ヘキサオキサゾール化合物の開発
3. 学会等名 日本ケミカルバイオロジー学会第15回年会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 柳田 和輝, 佐々木 捷悟, 馬 悦, 池袋 一 典, 寺 正行, 長澤 和夫
2. 発表標題 テロメアグアニン四重鎖と選択的に共有結合する光架橋型ヘキサオキサゾール化合物の開発
3. 学会等名 日本化学会第102回春季年会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 青山 愛、藤元次郎、平野弘之、渡辺信元、長田裕之、仙波憲太郎
2. 発表標題 ドーパミン受容体アンタゴニストの受容体非依存的なフォーカス形成抑制能
3. 学会等名 第 80 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 喜田 聡
2. 発表標題 トラウマ記憶の制御基盤の解明と PTSD 治療方法開発への応用
3. 学会等名 生体機能と創薬シンポジウム 2021 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 山平達也, 福田勉, 小野寺玄, 木村正成
2. 発表標題 ニッケル触媒を用いた二酸化炭素によるプロパルギルアルコールの直接的カルボキシル化反応
3. 学会等名 日本化学会 第 101 春季年会 (2021)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 繁富英治、小泉修一
2. 発表標題 ニューロン-グリア間情報伝達の可視化
3. 学会等名 第 64 回日本神経化学学会大会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 井本正哉
2. 発表標題 パーキンソン疾患治療薬シード化合物のケミカルバイオロジー
3. 学会等名 第 94 回日本生化学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 中村萌香, 神崎香穂, 是枝杏佳, 杉山拓朗, 福田勉, 石橋郁人, 川崎則彦, 石原淳, 武田弘資
2. 発表標題 パイロトーシス抑制剤の探索
3. 学会等名 令和 3 年度日本生化学会九州支部例会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 豊國伸哉
2. 発表標題 フェロトーシス抵抗性と発がん
3. 学会等名 第 21 回日本抗加齢医学会 会長企画シンポジウム 5 : メタロミクスと抗加齢医学 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 豊國伸哉
2. 発表標題 フェロトーシス抵抗性と発がん
3. 学会等名 第 29 回日本 Cell Death 学会 シンポジウム III : フェロトーシス研究の最前線 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 豊國伸哉
2. 発表標題 フェロトーシス抵抗性と発がん
3. 学会等名 日本酸化ストレス学会, 第 74 回日本酸化ストレス学会, 第 21 回日本 NO 学会合同集会 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 Hikmawan Wahyu Sulistomo、根本隆行、鹿毛陽子、藤井 哉、尾藤晴彦、武谷 立
2. 発表標題 フォルミン蛋白質 Fhod3 による大脳皮質錐体細胞の樹状突起スパインの形態制御
3. 学会等名 第 94 回日本生化学会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 成瀬智恵、杉原一司、杉山文博、浅野雅秀
2. 発表標題 プロテインデグロンシステムによるがん免疫療法を用いたがん細胞増殖の抑制
3. 学会等名 第 68 回日本実験動物学会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 安藤 康史
2. 発表標題 ペリサイト選択的 ATP 感受性カリウムチャンネルによる中枢特異的な血管平滑筋細胞分化制御メカニズムの解明
3. 学会等名 第 29 回日本血管生物医学会学術集会
4. 発表年 2021 年



1. 発表者名 南歩実、岸本真治、渡辺賢二
2. 発表標題 ベンゾフラン骨格を有する糸状菌由来天然物 fumimycin および lentofuranine の生合成研究
3. 学会等名 第 23 回天然薬物の開発と応用シンポジウム
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 小野寺玄, 桑原麟太郎, 福田勉, Norbert Krause, 木村正成
2. 発表標題 ホスフィン-ボラン配位子と金触媒によるマロン酸エステル誘導体の Conia-Ene 反応
3. 学会等名 第 67 回有機金属化学討論会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 平松征洋、鈴木孝一郎、西田隆司、堀口安彦
2. 発表標題 マウス咳発症モデルを用いた百日咳の咳発作発症機構の解明
3. 学会等名 第 94 回日本細菌学会総会 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 平松征洋、鈴木孝一郎、西田隆司、堀口安彦
2. 発表標題 マウス咳発症モデルを用いた百日咳の咳発症メカニズムの解析
3. 学会等名 第15回細菌学若手コロッセウム
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 宮西肇、村松慎一、新田淳美
2. 発表標題 マウス線条体における Shati/Nat8-BDNF 経路1によるストレス感受性制御
3. 学会等名 第43回日本生物学的精神医学会・第51回日本神経精神薬理学会合同年会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 徳竹伯洸, 浅野昂志, 泉尾直孝, 新田淳美.
2. 発表標題 マウス前頭前皮質 CB1 受容体の認知記憶への関与
3. 学会等名 2021年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 徳竹 伯洸、浅野 昂志、泉尾 直孝、新田 淳美
2. 発表標題 マウス前頭前皮質 CB1 受容体の認知機能への関与
3. 学会等名 第 95 回日本薬理学会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 日比健人、若松馨、柳川右千夫、中川祐子、藤谷与士夫、宮田茂雄
2. 発表標題 マウス臍島が産生する GABA の主要合成酵素の解明
3. 学会等名 第 68 回北関東医学会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 神吉智丈
2. 発表標題 ミトコンドリアオートファジーの誘導機構
3. 学会等名 J-mit 特別 オンラインシンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 永山 晶、海老沢 優弥、武藤 雄一郎、吉越 裕介、斎藤 慎一
2. 発表標題 ヨウ化アリールとアルキニルホウ素化合物のカップリング反応を利用した[2]ロタキサンの合成とその動的挙動
3. 学会等名 日本化学会第 101 春季年会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 田口恵子
2. 発表標題 ラットモデルから紐解く Keap1-Nrf2 システムの新たな役割
3. 学会等名 先端モデル動物支援プラットフォーム成果発表会（招待講演）
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 赤木祐香、高山祐三、木田泰之
2. 発表標題 ラマン分光法を用いた神経活動の非侵襲な評価技術の開発
3. 学会等名 第 44 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 石川 遼、安田 瑞穂、馬 悦、長澤 和夫、寺 正行
2. 発表標題 リガンド相互作用が及ぼすグアニン四重鎖の S1 ヌクレアーゼ活性への影響
3. 学会等名 日本化学会 第 101 回春季年会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 岩崎信太郎
2. 発表標題 リボソームプロファイリングのコツ
3. 学会等名 イルミナウェブセミナープロフェッショナルシリーズ (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 近田 史仁、渡辺 拓真、武藤 雄一郎、吉越 裕介、斎藤 慎一
2. 発表標題 ルテニウム触媒による 2-アルキニルフェニルボロン酸の 1,2-炭素転位を伴う環化異性化反応
3. 学会等名 日本化学会第 101 春季年会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 藤飯慎也、村田唯、文東美紀、仲地ゆたか、荒木喜美、岩本和也
2. 発表標題 レトロトランスポゾン LINE-1 転移モニターマウスの作製
3. 学会等名 第 44 回日本分子生物学会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 山縣和也
2. 発表標題 ワークショップ：NAD 依存性酵素の高次生体機能調節機構-エネルギー代謝を超えて- SIRT7 による加齢関連疾患の発症制御
3. 学会等名 第 44 回日本分子生物学会年会（招待講演）
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 住谷昌彦
2. 発表標題 遺伝子多型から実現する緩和ケア診療最適化
3. 学会等名 第 43 回日本疼痛学会（招待講演）
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 喜田 聡
2. 発表標題 栄養・食糧研究分野において齧歯類を用いた脳科学的手法を活用する 一定量的な行動解析・形態解析を行うには？ー
3. 学会等名 第75回日本栄養・食糧学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 喜田 聡
2. 発表標題 栄養不足による脳内炎症を介した記憶障害機構とその改善方法の開発
3. 学会等名 レドックス R&D 戦略委員会第1回企画シンポジウム「翻訳・アミノ酸代謝調節による生体機能制御」 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 河原 康一、中川 俊輔、岡本 康裕、古川 龍彦
2. 発表標題 核小体ストレス応答による小児腫瘍の新たな治療戦略
3. 学会等名 第59回日本癌治療学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 志津怜太
2. 発表標題 核内受容体を介した肝化学発がん： リスク評価に向けた機序と種差の理解
3. 学会等名 第 48 会日本毒性学会学術年会（招待講演）
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 楠井優香, 宇野恭介, 泉尾直孝, 村松慎一, 新田淳美
2. 発表標題 覚せい剤メタンフェタミンの Maus 行動学的変化に対するプレシナプスタンパク質 Piccolo の作用.
3. 学会等名 第 43 回日本生物学的精神医学会・第 51 回日本神経精神薬理学会合同年会（招待講演）
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 新田淳美
2. 発表標題 覚醒剤メタンフェタミンの依存性および毒性への抑制分子群
3. 学会等名 第 64 回日本神経化学大会
4. 発表年 2021 年



1. 発表者名 黒坂 寛
2. 発表標題 顎顔面形成不全を伴う希少疾患における矯正歯科治療の役割
3. 学会等名 第 80 回日本矯正歯科学会学術大会&第 5 回国際会議 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 服部奈緒子、Liu Yu-Yu, 木村佳那、小泉美帆、本田浩章、牛島俊和
2. 発表標題 幹細胞のエピゲノム記憶に関わるヒストンリーダーの同定
3. 学会等名 第 44 回日本分子生物学会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 河原 康一、川畑拓斗、古川 龍彦
2. 発表標題 癌抑制遺伝子 P53 を活性化する核小体ストレス応答による癌治療感受性の制御
3. 学会等名 第 44 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 上田(石原)奈津実, 木下専
2. 発表標題 記憶の長期化に寄与するスパイン内小胞体の役割
3. 学会等名 第 19 回神経科学研究会 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 乙田篤輝、李雪婷、初金玲、本野芽衣、齋藤惇、江崎博仁、西谷直也、出山諭司、金田勝幸
2. 発表標題 急性拘束ストレスによるコカイン報酬記憶増強における内側前頭前野セロトニン神経伝達の役割
3. 学会等名 日本薬学会第 141 年会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 喜田 聡
2. 発表標題 恐怖記憶の制御基盤の解明と PTSD 治療方法開発への応用
3. 学会等名 第 43 回日本生物学的精神医学会・第 51 回日本神経精神薬理学会 合同年会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 喜田 聡
2. 発表標題 恐怖記憶制御基盤の解明と PTSD 治療方法への応用
3. 学会等名 第 13 回不安症学会学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 川淵公美子, 大川宜昭, 瀬戸川将, 斎藤喜人, 増崎紘平, 小山内実
2. 発表標題 極微細蛍光内視鏡イメージングシステムによるマウス両側海馬 CA1 Ca <sup>2+</sup> イメージング
3. 学会等名 第 113 回近畿生理学談話会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 桑原麟太郎, 小野寺玄, 福田勉, Norbert Krause, 木村正成
2. 発表標題 金/ホスフィン-ボラン触媒系によるアルキン部位を有するマロン酸エステル誘導体の Conia-Ene 反応
3. 学会等名 日本化学会 第 101 春季年会 (2021)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 小林 大地, 渡井 友也, 小澤 まどか, 神田 泰洋, 雑賀 史浩, 木口 倫一, 松崎 伸介, 片貝 智哉
2. 発表標題 苦味物質は ROCK シグナリングを増強させ好中球遊走を促進する
3. 学会等名 第 44 回日本分子生物学会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 石黒啓一郎
2. 発表標題 減数分裂の開始機構
3. 学会等名 第 39 回日本受精着床学会 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 石黒啓一郎
2. 発表標題 減数分裂開始の性差
3. 学会等名 第 93 回日本遺伝学会大会 ワークショップ「非ゲノム情報複製機構による生命現象の制御」 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 住谷昌彦
2. 発表標題 巧いオピオイド・マネジメント
3. 学会等名 第 55 回日本ペインクリニック学会（招待講演）
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 河原 康一、古川 龍彦
2. 発表標題 抗癌剤の治療感受性を左右する核小体ストレス応答機構の解明
3. 学会等名 第 80 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 李 恵子、安康真由香、長谷川 純崇
2. 発表標題 抗体薬抵抗性子宮体部漿液性がん腹膜播種に対する標的アルファ線治療
3. 学会等名 日本放射線影響学会第 64 回大会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 塚野千尋
2. 発表標題 構造活性相関を指向した3次元構造を有するリコポジウムアルカロイドの全合成
3. 学会等名 第5回 京都大学 農学一化学研究所 研究交流会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大橋愛美, 福田勉, 岡村睦美, 西谷直之, 岩尾正倫, 且慎吾
2. 発表標題 高い抗がん選択性を持つ新規合成ラメラリン類縁体 Azalam 4 の抗がん作用様式の解析
3. 学会等名 第25回 日本がん分子標的治療学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 吉田 香, 魏 民, 藤岡正喜, 吉田 泉, 寺本 勲
2. 発表標題 高脂肪食摂取加齢マウスにおける亜鉛の長期間投与が学習・記憶能に及ぼす影響
3. 学会等名 第38回 日本微量栄養素学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 吉田 泉, 吉田 香, 高橋 有志, 藤田 和弘, 五十嵐 友二
2. 発表標題 黒ショウガ ( <i>Kaempferia parviflora</i> ) による脳認知機能改善効果の可能性
3. 学会等名 日本農芸化学会 2021 年度仙台大会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 木村 聖美, 杉原 英志, 山口 さやか, 信末 博行, サンペトラ オルテア, 大槻 雄士, 武藤 章弘, 佐谷 秀行, 清水 孝恒
2. 発表標題 骨肉腫に対する MEK 阻害療法の検証
3. 学会等名 第 80 回日本癌学会学術総会 (国際学会)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 清水孝恒, 木村聖美, 武藤章弘, 佐谷秀行
2. 発表標題 骨肉腫に対する MEK 阻害療法の検証
3. 学会等名 第 53 回日本臨床分子形態学会総会・学術集会 (国際学会)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 佐々木 捷悟、馬 悦、寺 正行、長澤 和夫
2. 発表標題 鎖状型ヘキサオキサゾールを用いたグアニン四重鎖のトポロジー変化による結合タンパク質の活性制御
3. 学会等名 日本ケミカルバイオロジー学会 第15回年会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岡香織
2. 発表標題 最長寿齧歯類ハダカデバネズミにおける炎症抑制と発がん耐性の連関
3. 学会等名 第42回日本基礎老化学会シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山本一男
2. 発表標題 細胞の"大きさ"を調節する仕組みから紐解く疾患の新しい理解
3. 学会等名 第44回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2021年



1. 発表者名 森泉 寿士、中村 貴紀、曹永 旻、河西 通、武田 洋幸、鈴木 貴、武川 睦寛
2. 発表標題 細胞の生き死にを決定するアナログ - デジタル変換システムの解明
3. 学会等名 第 73 回日本細胞生物学会大会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 森泉 寿士、中村 貴紀、曹永 旻、河西 通、武田 洋幸、鈴木 貴、武川 睦寛
2. 発表標題 細胞の生き死にを決定するアナログ-デジタル変換システムの解明
3. 学会等名 第 73 回 日本細胞生物学会大会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 伊東剛、舩城桐子、種井善一、仁木利郎、松原大祐、村上善則
2. 発表標題 細胞接着分子 CADM1 は小細胞肺がんの増殖及び転移を促進する
3. 学会等名 第 30 回日本がん転移学会学術集会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 塚野千尋
2. 発表標題 三次元構造を持つリコポジウムアルカロイドの全合成：活性発現の構造要因の解明を目指して
3. 学会等名 日本農芸化学会 2021 年度大会（仙台・オンライン開催）大会シンポジウム「天然物を基盤とした化学スペース 拡充」（招待講演）
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 李 恵子、安康真由香、長谷川 純崇
2. 発表標題 子宮体部漿液性がん腹膜播種に対する標的アルファ線治療の前臨床研究
3. 学会等名 第 6 1 回日本核医学会学術総会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 松原有也、岸本真治、渡辺賢二
2. 発表標題 糸状菌 <i>Aspergillus lentulus</i> の生産する新規天然物 lentopeptin 類の単離、構造決定および生合成
3. 学会等名 第 23 回天然薬物の開発と応用シンポジウム
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 松原 有也、岸本 真治、渡辺 賢二
2. 発表標題 糸状菌 <i>Aspergillus lentulus</i> 由来新規化合物 lentopeptin 類の単離・構造決定および生合成
3. 学会等名 日本薬学会第 141 年会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 松原 有也、岸本 真治、渡辺 賢二
2. 発表標題 糸状菌 <i>Aspergillus lentulus</i> 由来新規化合物 lentopeptin 類の単離・構造決定および生合成解析
3. 学会等名 日本農芸化学会 2021 年度大会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 南 歩実、岸本 真治、渡辺 賢二
2. 発表標題 糸状菌由来天然物 fumimycin の特異な骨格に関する生合成研究
3. 学会等名 日本農芸化学会 2021 年度大会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 小野大輔
2. 発表標題 視交叉上核による日内休眠調節メカニズム
3. 学会等名 SCN サロン (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 視床下部の特定神経細胞の運命操作、活動操作を用いた睡眠覚醒調節機構の解明
3. 学会等名 第 68 回日本実験動物学会総会 学術集会委員会シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 視床下部神経による睡眠覚醒と記憶の制御
3. 学会等名 千葉不眠症 Web 講演会 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 軟骨細胞における Sox9 遺伝子のエンハンサー領域の同定と機能解析
2. 発表標題 小林 紗知, 波多 賢二, 高畑 佳史, 村上 智彦, 西村 理行
3. 学会等名 第 39 回日本骨代謝学会学術集会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 菊池章
2. 発表標題 上皮形態形成研究を基盤とした新規抗がん剤開発
3. 学会等名 第 51 回日本膵臓学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 渡部文子
2. 発表標題 情動価値の生成と変容を支える神経回路メカニズム
3. 学会等名 第 20 回日本生理学会若手の会 サマースクール (ウインタースクール) (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 渡部文子
2. 発表標題 情動記憶の形成を支える神経回路メカニズム
3. 学会等名 第44回日本神経科学大会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 神経活動操作を用いた睡眠覚醒と記憶の制御機構の解明
3. 学会等名 第145回日本薬理学会関東部会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 土本大介
2. 発表標題 神経幹細胞特異的イノシン三リン酸分解酵素ノックアウトマウスは脳神経細胞脱分極とてんかん発作を示す
3. 学会等名 2020年度先端モデル動物支援プラットフォーム成果発表会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩本和也
2. 発表標題 神経系における LINE-1 の機能と精神疾患
3. 学会等名 第 5 回転移因子研究会（遺伝研研究会）
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 睡眠覚醒調節におけるオレキシンの役割について
3. 学会等名 第 49 回日本頭痛学会総会（招待講演）
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 睡眠覚醒調節におけるオレキシンの役割について
3. 学会等名 不眠症 Web 講演会（招待講演）
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 棗田 学、宮原弘明、吉村淳一、塚本佳広、大石誠、Charles G. Eberhart、柿田明美、藤井幸彦
2. 発表標題 髄芽腫における GLI3 発現および役割 [完結編]
3. 学会等名 第 39 回日本脳腫瘍病理学会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 石黒啓一郎
2. 発表標題 生殖細胞における体細胞分裂から減数分裂への切り替え機構と性差
3. 学会等名 第 126 回日本解剖学会総会 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 高田幸、小寺千聡、竹本一政、坂下陽彦、前田亮、島田龍輝、立花 誠、行川 賢、荒木喜美、石黒啓一郎
2. 発表標題 生殖細胞特異的 ZFP541 複合体は減数分裂前期脱出の転写制御に働く
3. 学会等名 14 回 日本エピジェネティクス研究会年会
4. 発表年 2021 年



1. 発表者名 岩崎亜美・村田康輔・川村名子・中務 胞・阿部 学・夏目里恵・杉村智史・崎村建司・山城秀昭
2. 発表標題 生殖巣特異的 GATA4 欠損マウスの作製と胚盤胞補完法に用いる受容胚としての適用性の検討
3. 学会等名 第 114 回 日本繁殖生物学会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 三宅崇仁、井ノ上雄一、土居雅夫
2. 発表標題 生理的体温変化による体内時計のパラメトリック制御 Parametric entrainment of the circadian clock by body temperature change
3. 学会等名 第 59 回日本生物物理学会年会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 藤原和之
2. 発表標題 精神神経疾患モデルとしてのグルタミン酸脱炭酸酵素 GAD67 ノックアウトラット
3. 学会等名 先端モデル動物支援プラットフォーム成果発表会 2020 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 清宮啓之
2. 発表標題 染色体の終わりから始まるがん創薬
3. 学会等名 日本遺伝学会市民公開講座（招待講演）
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 末岡知己, 田村篤史, 稲垣 良, 小林和人, 小山内実
2. 発表標題 線条体間接路ニューロンの応答特性への D2 受容体活性化の影響
3. 学会等名 第 113 回近畿生理学談話会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 田村 篤史, 小林 和人, 小山内 実
2. 発表標題 線条体投射ニューロンの小胞体依存的なカルシウム振動
3. 学会等名 2021 年度 先端モデル動物支援プラットフォーム若手技術講習会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 浴 俊彦、小林大士、村上匠蔵、広瀬 侑
2. 発表標題 線虫 RIG-I ホモログ DRH-1 の調製と核酸依存性 ATPase 活性評価
3. 学会等名 日本薬学会第 141 年会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 栗山 裕子、清水 晶、金井 早紀、及川 大輔、徳永 文稔、石川 治、茂木 精一郎
2. 発表標題 全身性エリテマトーデス、皮膚筋炎、自己免疫水泡症における協調したレトロトランスポゾンと I 型 IFN 経路の特徴
3. 学会等名 第 68 回北関東医学会総会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 本野芽衣、齋藤惇、乙田篤輝、張たん、江崎博仁、李雪婷、西谷直也、出山諭司、金田勝幸
2. 発表標題 他個体の社会的敗北ストレスの観察はコカインに対する欲求を増大させる
3. 学会等名 次世代を担う若手のための創薬・医療薬理シンポジウム 2021
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 本野芽衣、齋藤惇、乙田篤輝、張たん、江崎博仁、李雪婷、西谷直也、出山諭司、金田勝幸
2. 発表標題 他個体の社会的敗北ストレスの観察はコカインに対する欲求を増大させる
3. 学会等名 生体機能と創薬シンポジウム 2021
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 奥村和弘
2. 発表標題 多段階皮膚発がんマウスモデルを用いたがん修飾因子の同定
3. 学会等名 第 68 回日本実験動物学会総会（招待講演）
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 石黒 啓一郎
2. 発表標題 胎児期メス生殖細胞における減数分裂開始と細胞周期 G1/S 期の同調のメカニズム
3. 学会等名 第 38 回 染色体ワークショップ 第 19 回 核ダイナミクス研究会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 内村康寛、日野広大、木村智子、篠原正和、醍醐弥太郎、宇田川潤
2. 発表標題 胎児期低栄養で発現が増加する SLC22a23 輸送体の機能解析
3. 学会等名 第 126 回日本解剖学会総会・全国学術集会 / 第 98 回日本生理学会大会 合同大会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 正井久雄、田中卓、深津理乃、鷺朋子
2. 発表標題 大腸菌の第二の複製経路から明らかになる 複製様式の多様性と普遍性
3. 学会等名 日本遺伝学会 第 93 回大会 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 清水 佑一、寒河江 陽菜、荒井 誠、張 吉、関根 伶生、内田 あおい、伊藤 亮、松村 欣宏、酒井 寿郎
2. 発表標題 中枢神経系におけるヒストン脱メチル化酵素 JMJD1A を介した環境適応機構の解明
3. 学会等名 第 44 回分子生物学会年会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 清水 佑一、寒河江 陽菜、荒井 誠、張 吉、関根 伶生、内田 あおい、伊藤 亮、松村 欣宏、酒井 寿郎
2. 発表標題 中枢神経系におけるヒストン脱メチル化酵素を介した環境適応機構の解明
3. 学会等名 第44回分子生物学会年会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩崎 誠、長尾 和哉、及川 大輔、小迫 英尊、徳永 文稔、高橋 宏隆、澤崎 達也
2. 発表標題 直鎖状ポリユビキチン鎖デコーダーZnUBPのNF- $\kappa$ Bシグナル制御機構の解明
3. 学会等名 第44回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 及川大輔
2. 発表標題 直鎖状ユビキチン修飾を介した炎症・免疫応答制御機構の研究
3. 学会等名 第67回日本生化学会近畿支部例会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 住谷昌彦
2. 発表標題 痛みなくがん治療を受けるコツ
3. 学会等名 2021年度都医学研第4回都民講座（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 高橋 弘雄, 松井 健, 森 英一朗, 山本 融, 坪井 昭夫
2. 発表標題 転写因子 Npas4 による低分子量 G タンパク質 Gem の発現誘導は神経活動依存的な虚血耐性を引き起こす
3. 学会等名 第44回日本神経科学大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 形見祐人、藤井喬之、田中彩、下野隆一、久保裕之
2. 発表標題 当科で経験した精巣捻転症8例の検討
3. 学会等名 第60回日本小児外科学会中国四国地方会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 福田 茉由、向井 淳
2. 発表標題 統合失調症の認知機能障害を改善するエピゲノム治療薬・治療法の探索
3. 学会等名 日本薬理学会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 喜田 聡
2. 発表標題 動物モデルから理解する心的外傷後ストレス障害とその治療方法
3. 学会等名 第 20 回日本トラウマティック・ストレス学会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 南歩実、岸本真治、渡辺賢二
2. 発表標題 特異なベンゾフラン骨格を有する糸状菌由来天然物の生合成研究
3. 学会等名 日本生薬学会第 67 回年会
4. 発表年 2021 年



1. 発表者名 南 歩実、岸本 真治、渡辺 賢二
2. 発表標題 特異な骨格を有する糸状菌由来天然物 fumimycin の生合成研究
3. 学会等名 日本薬学会第 141 年会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 小林 紗知, 波多 賢二, 高畑 佳史, 村上 智彦, 高野 洋志, 八尾良司, 鷓澤 成一, 西村 理行
2. 発表標題 軟骨細胞における Sox9 遺伝子の発現制御機構の解明
3. 学会等名 第 6 回日本骨免疫学会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 菊池 浩二, 中川 真美, 藤森 俊彦, 石黒 啓一郎, 荒木 喜美, 中村 輝, 鈴木 誠, 中西 宏之
2. 発表標題 軟骨細胞の細胞極性を制御する新たな分子メカニズムとその破綻による骨格形成への影響
3. 学会等名 第 94 回日本生化学大会 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 菊池 浩二、中川 真美、藤森 俊彦、石黒 啓一郎、荒木 喜美、中村 輝、鈴木 誠、中西 宏之
2. 発表標題 軟骨細胞の細胞極性を制御する新たな分子メカニズムとその破綻による骨格形成への影響
3. 学会等名 日本発生物学会第 54 回大会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 岸本真治
2. 発表標題 二次代謝における酵素反応と非酵素反応
3. 学会等名 日本生薬学会第 67 回年会（招待講演）
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 後藤典子
2. 発表標題 乳がんを発症させるサイトカイン豊富な炎症性微小環境は、膜結合アダプターFRS2beta によって構築される
3. 学会等名 第 44 回日本分子生物学会年会（招待講演）
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 酒寄信幸、片倉賢紀、杉田誠、小林和人
2. 発表標題 妊娠中に摂取する多価不飽和脂肪酸の偏りは仔において快楽的摂食を促す
3. 学会等名 第75回日本栄養・食糧学会大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松田碧
2. 発表標題 熱ショック誘導性ストレス顆粒形成を担う新規コアタンパク質の同定
3. 学会等名 日本電気泳動学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松田碧
2. 発表標題 熱ショック誘導性ストレス顆粒形成を担う新規コアタンパク質の同定
3. 学会等名 日本分子生物学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松田 碧, 中村 貴紀, 小迫 英尊, 武川 睦寛
2. 発表標題 熱ショック誘導性ストレス顆粒形成を担う新規コアタンパク質の同定
3. 学会等名 第 44 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 酒寄信幸
2. 発表標題 脳の発生・発達における必須脂肪酸の役割
3. 学会等名 日本脂質栄養学会第 30 回大会 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 増崎紘平, 川淵公美子, 廣瀬くるみ, 田村篤史, 小山内実
2. 発表標題 脳機能イメージングのための極微細蛍光内視鏡イメージングシステムの改良
3. 学会等名 第 113 回近畿生理学談話会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 小山内実, 川淵公美子, 末岡知己, 増崎紘平, 松下知佳, 上村 優輝, 田村篤史
2. 発表標題 脳機能発現メカニズムの解明を目指したマルチスケールイメージングシステム
3. 学会等名 第 113 回近畿生理学談話会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 岩本和也
2. 発表標題 脳神経系における体細胞変異と精神疾患
3. 学会等名 第 66 回日本人類遺伝学会 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 川瀧紗英子
2. 発表標題 発癌ストレスによって誘導される SAPK 経路活性化の分子機構と生理的意義の解析 (ポスター発表)
3. 学会等名 第 44 回分子生物学会年会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 三宅崇仁、井ノ上雄一、土居雅夫
2. 発表標題 微小な温度変化をもたらす mRNA 翻訳速度調節と概日時計制御
3. 学会等名 Biothermology Wokshop - 2021's Annual Workshop (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 平松征洋、鈴木孝一郎、西田隆司、堀口安彦
2. 発表標題 百日咳の咳発作はリポオリゴサッカライド、Vag8、百日咳毒素の協調作用によって起こる
3. 学会等名 第 67 回トキシシンポジウム
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 永井拓実、岸本真治、渡辺賢二
2. 発表標題 病原性アスペルギルス属真菌が産生する免疫抑制化合物 sphingofungin 類の生合成機構の解明
3. 学会等名 第 23 回天然薬物の開発と応用シンポジウム
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 志村武信, 名古-岩下由佳, 森屋由紀, 村松慎一, 原怜, 井手聡一郎, 池田和隆, 一瀬宏
2. 発表標題 腹側被蓋野にチロシン水酸化酵素野生型あるいは S40E 変異体を過剰発現させたマウスにおける生化学的および行動学的変化.
3. 学会等名 第 64 回日本神経化学会大会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 新田淳美
2. 発表標題 物質依存に対する Key 分子の発見
3. 学会等名 生理学研究所研究会 2021「多様な視点から情動を捉え直す」 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 木村梨絵
2. 発表標題 方位弁別学習後のラット一次視覚野に見られる低コントラスト優位な神経活動
3. 学会等名 第 126 回日本解剖学会総会・全国学術集会 / 第 98 回日本生理学会大会 合同大会 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 三宅崇仁、井ノ上雄一、土居雅夫
2. 発表標題 翻訳速度制御を介した体内時計のパラメトリック制御 Parametric entrainment of the circadian clock via altering translational velocity
3. 学会等名 第44回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 藤沢治樹、中山将吾、川上司、上野慎士、浅田陽平、戸松瑛介、吉野寧維、平塚いづみ、清野祐介、四馬田恵、高柳武志、梶村益久、鈴木敦詞
2. 発表標題 慢性の抗利尿ホルモン不適切分泌症候群（SIADH）マウスモデルにおけるバソプレシンエスケープと記憶障害
3. 学会等名 第94回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大内田守、大守伊織、今井宏彦、豊國伸哉、真下知士
2. 発表標題 慢性腎臓病を伴う早発老化モデル動物の発見
3. 学会等名 第44回日本分子生物学会
4. 発表年 2021年



1. 発表者名 岩崎信太郎
2. 発表標題 葉緑体翻訳と細胞質 mRNA 調節のシンクロナイゼーション
3. 学会等名 2021 年度ラン藻ゲノム交流会 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 岩崎信太郎
2. 発表標題 葉緑体翻訳と細胞質 mRNA 調節のシンクロナイゼーション
3. 学会等名 第 62 回日本植物生理学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 山本 融, 尾嶋 大喜, 多田 篤史, 田之上 優, 黒川 直弘, 窪田 剛志, 高橋 弘雄, 岸本 泰司, 富永 貴志
2. 発表標題 抑制性シナプス抑制因子 MDG A 1 のヘミ欠損は海馬 LTP の低下と学習・記憶異常を引き起こすが、サイクロセリンの急性投与により回復する
3. 学会等名 第 44 回日本神経科学大会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 永嶋宇、永瀬将志、三上香織、遠山卓、森島美絵子、渡部文子
2. 発表標題 腕傍核-視床下部経路による嫌悪学習と摂食行動の制御
3. 学会等名 第44回日本神経科学大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 冉慶松, 周啓亮, 小田加奈子, 泰江彰浩, 阿部学, 笹岡俊邦, 崎村健司, 味岡洋一, 西條康夫
2. 発表標題 胚盤胞補完法とES細胞を用いた甲状腺再生
3. 学会等名 第20回日本再生医療学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 冉慶松, 周啓亮, 小田加奈子, 泰江彰浩, 阿部学, 笹岡俊邦, 崎村健司, 味岡洋一, 西條康夫
2. 発表標題 胚盤胞補完法とES細胞を用いた甲状腺再生
3. 学会等名 日本再生医療学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 今野幸太郎、山崎美和子、渡辺雅彦
2. 発表標題 齧歯類および霊長類におけるグルタミン酸受容体 GluD2 の小脳外局在
3. 学会等名 解剖学会 第 67 回 東北・北海道連合支部学術集会
4. 発表年 2021 年

1. 発表者名 *佐藤大気・井上-上野由紀子・森本由起・井上高良・服部聡子・Giovanni Sala・宮川剛・河田雅圭
2. 発表標題 Vmat1 ヒト型改変マウスを用いた網羅的行動解析
3. 学会等名 日本進化学会第 22 回オンライン大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 河原 康一、古川 龍彦
2. 発表標題 腫瘍優先的に P53 応答を引き出す小児白血病の新たな分子標的治療戦略
3. 学会等名 第 58 回日本癌治療学会学術集会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 宮城一仁, 中野悠香, 福田勉, 小野寺玄, 木村正成
2. 発表標題 20 位酸素官能基上の置換基を改変したアザラメラリン N 類縁体の合成
3. 学会等名 日本化学会 第 100 春季年会 (2020)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 室井 誠、永澤 生久子、小川 直子、川谷 誠、大石 智一、大庭 俊一、川田 学、長田 裕之
2. 発表標題 2DE-CETSA を用いた PKM2 制御シグナルに作用する化合物 NPD10084 の同定
3. 学会等名 日本農芸化学会 2020 年度大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Owari T, Kishi S, Mori S, Miyake M, Nakai Y, Tanaka N, Fujimoto K, Kuniyasu H
2. 発表標題 5-Aminolevulinic acid overcomes hypoxia-induced resistance to radiation therapy through increase of mitochondrial reactive oxygen species in prostate cancer
3. 学会等名 79th Annual Meeting of Japanese Association for Cancer, Hiroshima, 2020.10.1-3
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Nakamura, K.
2. 発表標題 A central psychosomatic neural pathway that drives sympathetic and behavioral stress responses
3. 学会等名 virtual 8th International Conference on the Physiology and Pharmacology of Temperature Regulation (vPPTR) 2020 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Abe, Y., Ikegawa, N., Murakami, M., Tanaka, T., Niikura, T., Goda, W., Yoshida, K., Hattori, S., Miyakawa, T., Yasui, M.
2. 発表標題 A neuroprotective role of aquaporin-4 against other than amyloid- $\beta$ deposition or neuroinflammation in the 5xFAD transgenic mice model.
3. 学会等名 The 93rd Annual Meeting of the Japanese Pharmacological Society
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Md Rasel Molla、清水昭男、扇田久和
2. 発表標題 A novel mutation in transmembrane protein 168 causes fatal ventricular arrhythmogenesis in Brugada syndrome.
3. 学会等名 European Society of Cardiology (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Rieko Ohki
2. 発表標題 A novel p53 downstream tumor promotion pathway, p53-IER5- HSF1 pathway, that contributes to stress resistance and tumor progression.
3. 学会等名 第 43 回日本分子生物学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 岩崎信太郎
2. 発表標題 A specific eIF4A paralog facilitates LARP1-mediated translation repression during mTORC1 inhibition
3. 学会等名 第 59 回日本生物物理学学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Ageta-Ishihara N, Asami Y, Fukumasu N, Sakakibara K, Fuse N, Mitsui R, Fukazawa Y, Kengaku M, Takao K, Miyakawa T, Inokuchi K, Bito H, Kinoshita M
2. 発表標題 A synaptic basis of spatial pattern separation in the hippocampal dentate gyrus is activity- and septin-dependent extension of smooth endoplasmic reticulum into dendritic spines
3. 学会等名 第 16 回成体脳のニューロン新生懇談会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 篠崎陽一、行方和彦、柏木賢治、大野伸彦、繁富英治、原田高幸、小泉修一
2. 発表標題 ABCA1 欠損は緑内障発症過程早期でのグリオシスを誘導する
3. 学会等名 第 63 回日本神経化学会大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Kinoshita M, Ageta-Ishihara N, Fukazawa Y, Kengaku M, Takao K, Inokuchi K, Miyakawa T, Bito H.
2. 発表標題 Activity- and septin-dependent extension of smooth ER into dendritic spines as a synaptic basis of memory consolidation
3. 学会等名 第 43 回日本神経科学大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Kimura R, Yoshimura Y
2. 発表標題 Activity of low contrast-preferring neurons in rat primary visual cortex during an orientation discrimination task.
3. 学会等名 UK-Japan Neuroscience Symposium 2020 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名	Yu Chen, Sadahiro Iwabuchi, Tohru Kiyono, Shigeyuki Magi, Yasuhito Arai, Akihiko Yokoyama, Mariko Okada, Shinichi Hashimoto, Kentaro Semba, Rieko Ohki.
2. 発表標題	Akt dysregulation by loss of PHLDA3 is an important determinant of pancreatic neuroendocrine tumor progression.
3. 学会等名	第79回日本癌学会学術総会
4. 発表年	2020年

1. 発表者名	Mori S, Fujiwara-Tani R, Kishi S, Kuniyasu H
2. 発表標題	Alteration of $\rho$ 0 cells in in vivo environment
3. 学会等名	79th Annual Meeting of Japanese Association for Cancer
4. 発表年	2020年

1. 発表者名	Saki Tome, Tetsuya Sasaki, Yosuke Takei.
2. 発表標題	Analysis of the effect of IL17A increase on neurodevelopment in RORgt-overexpression transgenic mice.
3. 学会等名	Inauguration Symposium for the Neuroscience Program (国際学会)
4. 発表年	2020年



1. 発表者名 Toshikuni Sasaoka et al.:
2. 発表標題 Analysis of the role of basal ganglia circuit using dopamine receptor and NMDA receptor mutant mice
3. 学会等名 The 10th BRI International Symposium, ADVANCED BRAIN IMAGING FOR THE FUTURE
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 川村佳史、西條憲、今井源、石岡千加史
2. 発表標題 Anti-proliferative effect of lenvatinib in combination with IRAK1/4 inhibitor I in anaplastic thyroid carcinoma cells
3. 学会等名 日本癌学会 (国際学会)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Goki Tsujimoto, Chiaki Takahashi, Nobuhiro Okada
2. 発表標題 Antitumor effect of gluconeogenesis induced by NFYA
3. 学会等名 第 79 回日本癌学会学術総会 (国際学会)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 丹野 修宏、國仲 慎治、藤村 幸代子、竹本 一政、岡村 佳保、竹田 直樹、荒木 喜美、荒木 正健、佐谷 秀行、石黒 啓一郎
2. 発表標題 APC/C 活性化因子 FZR1 のリン酸化による減数第二分裂移行の制御
3. 学会等名 日本遺伝学会第 92 回大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Haruka Sato, Jun Hatakeyama, Takuji Iwasato, Nobuhiko Yamamoto, Kenji Shimamura
2. 発表標題 Area-specific laminar organization is regulated by thalamocortical axons through axon-derived secretory protein VGF in developing neocortex
3. 学会等名 第 53 回日本発生生物学会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 徳永文稔、伊東秀文、及川大輔
2. 発表標題 Atypical linear ubiquitination-mediated regulation of inflammatory responses and proteinopathies
3. 学会等名 第 43 回日本分子生物学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Tadashi Nakagawa, Satoko Hattori, Tsuyoshi Miyakawa, Keiko Nakayama
2. 発表標題 Autism-related protein SETD5 controls neural proliferation by epigenetic regulation of rDNA expression
3. 学会等名 The 10th Takeda Science Foundation Symposium on PharmaSciences (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大田原有香, 小田亮平, 福田勉, 小野寺玄, 木村正成
2. 発表標題 A環およびF環を改変したラメラリンN誘導体の合成研究
3. 学会等名 2020年日本化学会九州支部秋期研究発表会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大川 宜昭, 小山内 実, 井ノ口 馨
2. 発表標題 Ca <sup>2+</sup> イメージングによる記憶情報の脳内表現様式の観察.
3. 学会等名 2019年度 先端モデル動物支援プラットフォーム 成果発表会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 伊東剛、舩城桐子、種井善一、村上善則
2. 発表標題 CADM1 enhances malignant features of small-cell lung cancer
3. 学会等名 第1回日本癌学会若手の会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小林巧実、入江一浩
2. 発表標題 CH/ $\pi$ 相互作用に着目した aplysiatoxin 単純化アナログの合成と生物活性
3. 学会等名 2020年度日本農芸化学会大会（九州大学、福岡市）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Masayuki Sakamoto, Xiao Min Zhang, Rika Kurihara, Keiichi Kojima, Yuki Sudo, Haruhiko Bito
2. 発表標題 Characterizing and engineering microbial rhodopsins for genetically encoded voltage indicator
3. 学会等名 第43回日本神経科学大会（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Xinyan Shao, Takahito Miyake, and Masao Doi
2. 発表標題 Circadian PER2 protein oscillations do not persist when de novo translation is inhibited in cultured mouse embryonic fibroblasts
3. 学会等名 第43回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Chi-Chun Yang and Hisao Masai
2. 発表標題 Claspin, a key regulator of replication checkpoint, is differentially regulated in cancer and non-cancer cells.
3. 学会等名 11th international symposium on DNA Damage Response & Human Disease (isDDRHD-2020) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Nakashima C, Yamamoto K, Kishi S, Sasaki T, Ohmori H, Fujiwara-Tani R, Mori S, Fujii K, Nishiguchi Y, Kondoh M, Tadaaki K, Kuniyasu H
2. 発表標題 Clostridium perfringens enterotoxin activates YAP in oral squamous cell carcinomas
3. 学会等名 79th Annual Meeting of Japanese Association for Cancer, Hiroshima, 2020.10.1-3
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Taisuke Miyazaki, Miwako Yamasaki, Kenji F. Tanaka, Masahiko Watanabe
2. 発表標題 Compartmentalized input-output organization of cerebellar Lugaro cells, as revealed using knockin-mediated yellowameleon reporter mice
3. 学会等名 第125回日本解剖学会・全国学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Takahashi H, Nagao K, Iwasaki M, Sato Y, Oikawa D, Tokunaga F, Sawasaki T.
2. 発表標題 Comprehensive identification and functional analysis of novel decoder molecules for linear polyubiquitin chain using a wheat cell-free system.
3. 学会等名 第43回日本分子生物学会年会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Tetsuya Sasaki, Peiyi Bao, Yosuke Takei.
2. 発表標題 Cortical abnormality due to interleukin 17A and its involvement in pathophysiology of ASD
3. 学会等名 NPBPPP2020.
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Tetsuya Sasaki, Saki Tome, Yosuke Takei.
2. 発表標題 Cortical dysplasia caused by interleukin 17A and its involvement in pathophysiology of ASD.
3. 学会等名 The 43rd Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society.
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 鈴木佐和子、類家裕太郎、石渡一樹、内藤久美子、出口ハンナ、石田晶子、志賀明菜、田村愛、藤本真徳、小出尚史、横手幸太郎
2. 発表標題 CRH/GRH/TRH/LHH 四者負荷試験の代替としての GHRP2/TRH/LHRH 三者負荷試験の有用性
3. 学会等名 第 93 回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 吉信 公美子、橋本 紘一、甲斐 拓篤、荒木 喜美、荒木 正健
2. 発表標題 CSCT : マウスゲノムの機能領域としての可能性
3. 学会等名 第 43 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 米田 貢, 谷上 颯, 中川 雅嵩, 越後 亮介, 西川 杏子, 笹岡 俊邦, 少作 隆子
2. 発表標題 D2 受容体欠損マウスの 3 レバーオペラント課題の順序学習の障害
3. 学会等名 第 43 回日本神経科学大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 笹岡 俊邦, 齊藤 奈英, 知見 聡美, 阿部 学, 川村 名子, 鍋島 曜子, 鍋島 陽一, 田井中 一貴, 崎村 建司, 南部 篤
2. 発表標題 D2 受容体発現細胞における NMDA 受容体のマグネシウムブロックの減少により引き起こされる運動制御と学習および記憶の変化の分析
3. 学会等名 第 63 回日本神経化学学会大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 権田敦子, 高田晃児, 入江一浩
2. 発表標題 Debromoaplysiatoxin 単純化アナログ・10-Me-Aplog-1 の側鎖長の最適化
3. 学会等名 2020 年度日本農芸化学学会大会 (九州大学、福岡市)
4. 発表年 2020 年



1. 発表者名 Seiji Takashima, Kaito Masaki, Shunta Sakanishi, Shigeru Kyuwa, and Shigeru Kakuta
2. 発表標題 Design of male infertility in mice
3. 学会等名 The 5th Annual Meeting of Living Systems Design Research (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kyosuke Mukae, Hisanori Takenobu, Hiroaki Kanda, Miki Ohira, Yuki Endo, Masayuki Haruta, Junya Toguchida, Kenji Osafune, Tatsutoshi Nakahata, Takehiko Kamijo
2. 発表標題 Development of artificial tumorigenesis model from iPSC-based neural crest cells
3. 学会等名 第62回日本小児血液・がん学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Hirose S
2. 発表標題 Development of novel drugs based on the pathomechanisms of developmental epileptic encephalopathy with disease specific induced pluripotent cells.
3. 学会等名 2020 Educational Seminar of Genetic & Metabolic Diseases for Young Pediatricians (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 米野雅大、清水昭男、扇田久和
2. 発表標題 Dipeptidyl Peptidase III Prevents Cardiac Dysfunction and Nephropathy in Type II Diabetes.
3. 学会等名 日本循環器学会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 塩崎 ゆかり、久保田 裕二、武川 睦寛
2. 発表標題 DNA 損傷に応答する SAPK シグナル伝達機構の解析
3. 学会等名 第 79 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Iwasaki S
2. 発表標題 Dual targeting of DDX3 and eIF4A by the translation inhibitor Rocaglamide A
3. 学会等名 The 93rd Annual Meeting of The Japan Biochemical Society (招待講演)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 與五沢里美、吉田清嗣
2. 発表標題 DYRK2 欠損マウスは先天性奇形症候群の疾患モデルとなる
3. 学会等名 2019 年度先端モデル動物支援プラットフォーム成果発表会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Peiyi Bao, Tetsuya Sasaki, Takuya Takada, Yosuke Takei.
2. 発表標題 Effects of interleukin 17A on cortical architecture and the involvement in ASD pathology.
3. 学会等名 The 63rd Annual Meeting of the Japanese Society for Neurochemistry.
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Nukaga S, Mori T, Luo Y, Kawahara I, Miyagawa Y, Goto K, Fujiwara-Tani R, Kishi S, Mori S, Ohmori H, Kuniyasu H
2. 発表標題 Effects of medium-chain fatty acids on cancer-derived myocardial atrophy
3. 学会等名 79th Annual Meeting of Japanese Association for Cancer
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Nae Saito et al.:
2. 発表標題 Elucidation of motor control and aversive memory formation mechanism by dopamine using dopamine D1 receptor gene modified mice
3. 学会等名 The 10th BRI International Symposium, ADVANCED BRAIN IMAGING FOR THE FUTURE
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Saeko Kawataki, Yuji Kubota, Mitsuhiro Takekawa
2. 発表標題 Elucidation of the molecular mechanism underlying oncogene-induced activation of the p38 and JNK pathways.
3. 学会等名 G2 plus Retreat
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 喜田 聡
2. 発表標題 Enhancing forgetting of traumatic memory by hippocampal neurogenesis enhancers
3. 学会等名 成体脳ニューロン新生懇談会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 高木祐輔、久保田裕二、武川睦寛
2. 発表標題 ERK 経路の異常活性化により発現誘導される新規遺伝子の同定および機能解析
3. 学会等名 第 71 回日本電気泳動学会総会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Masaaki Komatsu
2. 発表標題 ER-phagy mediated by the Ufml-system
3. 学会等名 Keystone eSymposium Autophagy: Mechanisms and Disease (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Kawabata M, ,Nonomura S, Yoshizawa T, Rios A, Sakairi T, Sakai Y, Isomura Y
2. 発表標題 Establishment and demonstration of a novel spike analysis for neuronal activity during sensorimotor transformation.
3. 学会等名 FENS Forum 2020 (Virtual: SEC Centre, Glasgow, UK) (国際学会)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 大平 恵里花、中島 東吾、吉信 公美子、尾池 雄一、松本 志郎、中村 公俊、荒木 喜美、荒木 正健
2. 発表標題 Etfb 遺伝子トラップマウスを利用したグルタル酸血症 2 型の病態解析
3. 学会等名 日本遺伝学会第 92 回大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Sumitaka Hasegawa, Huizi Keiko Li
2. 発表標題 Experimental targeted alpha-particle therapy against liver metastasis of HER2-positive gastric cancer in mice
3. 学会等名 American Association for Cancer Research (AACR) Annual Meeting 2020 (国際学会)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Kohtarou Konno, Taisuke Miyazaki, Miwako Yamasaki, Kenji Sakimura, and Masahiko Watanabe
2. 発表標題 Expression mapping of GluD1 and GluD2 glutamate receptors in adult mouse brain
3. 学会等名 第 43 回神経科学学会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 正井 久雄、田中 卓、鷺 朋子、深津 理乃、関 由美香
2. 発表標題 G4/RNA-DNA ハイブリッドに依存する環状染色体 DNA の複製機構
3. 学会等名 第 43 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 藤原和之、佐藤匠、宮坂佳樹、真下知士、柳川右千夫
2. 発表標題 GABA 合成酵素 GAD67 ハプロ不全と新生仔期 NMDA 型グルタミン酸受容体遮断の組み合わせにより生じる行動学的表現型
3. 学会等名 NPBPPP2020 合同年会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Masayuki Sakamoto
2. 発表標題 Genetically encoded voltage indicators and their application.
3. 学会等名 遺伝研研究会「哺乳類脳の機能的神経回路の構築メカニズム」 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 宮木詩織, 佐竹渉, 戸田達史, 原怜, 一瀬宏
2. 発表標題 GTP シクロヒドロラーゼ I 遺伝子のエンハンサー領域におけるマイクロサテライト多型とパーキンソン病の関連
3. 学会等名 第 63 回日本神経化学会大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Sasaki R, Kishi S, Mori S, Fujiwara-Tani R, Sasaki T, Luo Y, Kuniyasu H
2. 発表標題 HMGB1 regulates mitochondrial transfer from mesenchymal stem cells to cancer cells damaged by 5-fluorouracil
3. 学会等名 79th Annual Meeting of Japanese Association for Cancer
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 佐藤叔史、Md Mostafizur Rahman、羽根田昌樹、水本智也、津山友徳、吉澤達也、北村忠弘、Frank J Gonzalez、山村研一、山縣和也
2. 発表標題 HNF-1 $\alpha$ による膵 $\alpha$ 細胞機能制御メカニズムの解明
3. 学会等名 第 63 回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2020 年



1. 発表者名 青山愛、藤元次郎、仙波憲太郎
2. 発表標題 Identification of lonidamine-binding proteins and its functions
3. 学会等名 第 79 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Masayuki Sakamoto
2. 発表標題 Imaging voltage in neurons with genetically encoded indicators.
3. 学会等名 生理研 記憶研究会 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Chihiro Ueki, Goki Tsujimoto, Susumu Kohno, Chiaki Takahashi, Nobuhiro Okada
2. 発表標題 Impact of fatty acid synthesis regulated by NFYA on malignant progression of breast cancer
3. 学会等名 第 43 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Lee Jin, 西村建徳、後藤典子
2. 発表標題 Inhibition of mitochondrial enzyme MTHFD1L in One carbon metabolism down-regulates cancer stem-like properties in breast cancer
3. 学会等名 第24回日本がん分子標的治療学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Tetsuya Sasaki, Takuya Takada, Yosuke Takei.
2. 発表標題 Interleukin-17A affects the activation status of microglia in the cerebral cortex.
3. 学会等名 TGSW2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Tetsuya Sasaki, Yosuke Takei.
2. 発表標題 Intracerebral expression pattern of ASD risk gene Myosin1d mRNA and localization of the translation products to dendrite spines
3. 学会等名 The 63rd Annual Meeting of the Japanese Society for Neurochemistry.
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 N. Kaneda
2. 発表標題 Isoflavone (S)-erypogin K as a novel topoisomerase II inhibitor
3. 学会等名 第 79 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Toyokuni S
2. 発表標題 Keynote Lecture: Ferroptosis at the crossroads of aging, infection and cancer: Non-thermal plasma as a ferroptosis inducer for cancer cells
3. 学会等名 ISPlasma2021/IC-PLANTS2021 13th International Symposium on Advanced Plasma Science and its Applications for Nitrides and Nanomaterials 14th International Conference on Plasma-Nano Technology & Science (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Ogata R, Mori S, Fujiwara-Tani R, Kishi S, Kuniyasu H
2. 発表標題 Linoleic acid-related signal pathway associated with dormant stemness
3. 学会等名 79th Annual Meeting of Japanese Association for Cancer
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 松本 有樹修
2. 発表標題 lncRNA の翻訳と精神疾患
3. 学会等名 NPBPPP2020 合同年会（第 50 回日本神経精神薬理学会年会、第 42 回日本生物学的精神医学会年会、第 4 回日本精神薬学会総会・学術集会）（招待講演）
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Peiyi Bao, Tetsuya Sasaki, Yosuke Takei.
2. 発表標題 Localization of Myosin Id, an ASD Risk Gene Product in Dendritic Spines.
3. 学会等名 The 43rd Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society.
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 松本 有樹修
2. 発表標題 Long non-coding RNA の翻訳
3. 学会等名 第 93 回日本生化学会（招待講演）
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Shinozaki, Y., Namekata, K., Segawa, T., Ohno, N., Harada, T., Kashiwagi, K., Koizumi, S
2. 発表標題 Loss of astrocytic ABCA1 induces normal tension glaucoma
3. 学会等名 FENS2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kimura R, Yoshimura Y
2. 発表標題 Low-contrast preference of activity in rat primary visual cortex during an orientation discrimination task.
3. 学会等名 The Eighth International Neural Microcircuit Conference -Synaptic Specificity to Circuit Dynamics- (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Natsuko Kondo, Yoshinori Sakurai, Kuniyuki Kano, Takushi Takata, Kyo Kume, Munetoshi Maeda, Mitsutoshi Setou, Junken Aoki, and Minoru Suzuki
2. 発表標題 Lysophosphatidyl acid is involved in radiation brain necrosis through chronic microglial activation
3. 学会等名 Session: Research Front1 「Normal Tissue Protection / Translational Research」, The 33rd Annual Meeting of the Japanese Society for Radiation Oncology
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 清水貴美子
2. 発表標題 Maintenance of Time-dependent Spatial Memory by Neurosteroids in Mice
3. 学会等名 National Institute for Physiological Sciences Conferences Learning & Memory Research Meeting 2020 “Synapse and System Plasticity of Learning and Memory” (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 菊池 浩二、中川 真美、藤森 俊彦、石黒 啓一郎、中村 輝、荒木 喜美、鈴木 誠、中西 宏之
2. 発表標題 Map7D1 の時空間的な制御による細胞極性形成メカニズムとその異常による組織形成の破綻
3. 学会等名 第 43 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Takao Takiyama, Ryoichi Bessho <sup>1</sup> , Kazuki Sawamoto, Yumi Takiyama.
2. 発表標題 Maternal Overnutrition Causes DNA Alkylation in Fetal Liver, Suppresses FasL and Upregulates HIF-1 Signaling Pathway in Neonatal Liver in Non-Alcoholic Steatohepatitis (NASH)/Hepatocellular Carcinoma in Offspring.
3. 学会等名 American Diabetes Association 80th Scientific Sessions. (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Tokunaga F, Oikawa D, Hatanaka N, Suzuki T
2. 発表標題 Mathematical Model of Linear Ubiquitination-mediated NF- $\kappa$ B Activation Pathway
3. 学会等名 JSPS Core-to-Core Program “Establishing International Research Network of Mathematical Oncology” (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Takanori Nakamura, Noriko Nishizumi-Tokai, Takashi Nakazawa, Tatsuki Mori, Takashi Suzuki, Mutsuhiro Takekawa
2. 発表標題 Mathematical modeling of the recruitment of centriole biogenesis regulators to mother centrioles in the S-phase
3. 学会等名 JSPS Core-to-Core Program “Establishing International Research Network of Mathematical Oncology” (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 山本 融, 尾嶋 大喜, 多田 篤史, 田之上 優, 黒川 直弘, 津島 希海, Md. Razib Hossain, 窪田 剛志, 高橋 弘雄, 岸本 泰司
2. 発表標題 MDGA1 の欠失による抑制性シナプスの過剰形成は統合失調症様の認知・行動異常をもたらす
3. 学会等名 第 43 回日本神経科学大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Satoshi Kida
2. 発表標題 mechanisms of transition from fear to extinction after retrieval
3. 学会等名 MCCS workshop (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kei-ichiro Ishiguro
2. 発表標題 MEIOSIN directs the switch from mitosis to meiosis in mammalian germ cells
3. 学会等名 53rd Annual Meeting of JSDB (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石黒啓一郎
2. 発表標題 MEIOSINによる減数分裂のコントロール
3. 学会等名 第65回日本生殖医学会学術講演会・総会 教育講演 (招待講演)
4. 発表年 2020年



1. 発表者名	Yasuhiro Fujiwara, Yuki Horisawa-Takada, Naoki Tani, Hiroki Shibuya, Erina Inoue, Kimi Araki, Yuki Okada, Kei-ichiro Ishiguro
2. 発表標題	MEIOTIC COHESINS MEDIATE INITIAL CHROMATIN LOADING OF HORMAD1 AND COORDINATE SC FORMATION DURING MEIOTIC PROPHASE IN MOUSE
3. 学会等名	Cold Spring Harbor Laboratory Meeting 2020 GERM CELLS (国際学会)
4. 発表年	2020 年

1. 発表者名	Ayako Imai, Mizuki Sendo, Hironori Izumi, Keizo Takao, Hisashi Mori, Tomoyuki Yoshida
2. 発表標題	Microexon splicing of Ptprd gene controls locomotor activity and social behavior
3. 学会等名	第 43 回 日本神経科学大会 (国際学会)
4. 発表年	2020 年

1. 発表者名	森亮一、林洋子、下川功
2. 発表標題	miR-142 欠損マウスの肝臓における代謝及びミトコンドリア形態変化の機能解析
3. 学会等名	第 109 回日本病理学会総会
4. 発表年	2020 年

1. 発表者名 Fujiwara-Tani R, Sasaki T, Mori S, Kishi S, Kuniyasu H
2. 発表標題 Mitochondria metabolism is correlated with gemcitabine resistance in MIA-PaCa-2.
3. 学会等名 79th Annual Meeting of Japanese Association for Cancer, Hiroshima, 2020.10.1-3
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Oikawa D, Tokunaga F.
2. 発表標題 Molecular bases for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.
3. 学会等名 第 93 回日本生化学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Tetsuhisa Otani, Thanh Phuong Nguyen, Taichi Sugawara, and Mikio Furuse
2. 発表標題 Molecular organization of the macromolecule permeability barrier
3. 学会等名 第 72 回日本細胞生物学会大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Osanai M
2. 発表標題 Multiscale Ca <sup>2+</sup> imaging for brain function analysis
3. 学会等名 第 93 回日本薬理学会年会 シンポジウム「Ca <sup>2+</sup> シグナルのマルチスケール解析による脳機能制御機構と新たな治療戦略へのアプローチ」 (招待講演)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 宮下裕久、及川大輔、寺脇正剛、徳永文稔
2. 発表標題 NDP52 のユビキチン結合性を介した炎症応答・細胞死制御と LUBAC 阻害剤の影響
3. 学会等名 第 93 回日本生化学会大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 岡 雄一郎、Murtala Hamza Yahaya、張 永欣 Sheena、佐々木 達也、土井 美幸、谷口 学、猪口 徳一、佐藤 真
2. 発表標題 Neuronal circuit development of subplate neurons
3. 学会等名 日本神経科学大会 (招待講演)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Natsumeda M, Miyahara H, Yoshimura J, Tsukamoto Y, Oishi M, Wataya T, Eberhart CG, Kakita A, Fujii Y
2. 発表標題 Neuronal differentiation is induced by Gli3 in WNT- and SHH- activated medulloblastoma
3. 学会等名 The 19th International Symposium on Pediatric Neuro-Oncology (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Nobuhiro Okada, Goki Tsujimoto, Kiyotsugu Yoshikawa, Chiaki Takahashi
2. 発表標題 NFYA splicing variant regulates the malignant progression of breast cancer
3. 学会等名 第79回日本癌学会学術総会 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Masayasu Okada, A. Kawasaki, A. Tamada, H. Kitaura, Y. Sato, M. Natsumeda, N. Kimura, N. Kaneko, K. Takeuchi, A. Kakita, Y. Fuji, M. Igarashi
2. 発表標題 Novel molecular markers for axon growth and regeneration discovered from the growth cone-phosphoproteomes
3. 学会等名 第43回日本神経科学学会 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Md Rasel Molla、清水昭男、佐藤朗、扇田久和
2. 発表標題 Novel protective effect of vascular smooth muscle RhoA on aortic aneurysm.
3. 学会等名 日本血管生物医学会若手研究会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Tomonaga Ichikawa, Shingo Nakahata, Mitsuru Futakuchi, Ryoji Yamaguchi, Kazuhiro Morishita.
2. 発表標題 Novel tumor suppressor gene NDRG2 deficiency promotes metabolic disorders and liver cancer development.
3. 学会等名 第 79 回日本癌学会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 浦江聖也、張田豊、中山ひとみ、高野洋志、八尾良司、南学正臣、岡明
2. 発表標題 NVL ノックアウトマウス解析による多機能分子 NVL の生体内機能解析
3. 学会等名 2019 年度「先端モデル動物支援プラットフォーム成果発表会」
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 鈴木秀明、繁富英治、平山幸歩、佐野史和、田中謙二、尾藤晴彦、小泉修一
2. 発表標題 P2Y1 受容体を介したニューロン-アストロサイト-ミクログリア間情報処理機構
3. 学会等名 第 63 回日本神経化学会大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Kazuhiro Okumura, Megumi Saito, Yasuhiro Yoshizawa, Eriko Isogai, Yuichi Wakabayashi
2. 発表標題 Pak1 maintains epidermal stem cells by regulating Langerhans cells and is required for skin carcinogenesis
3. 学会等名 第 79 回日本癌学会総会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Mori T, Ohmori H, Luo Y, Kawahara I, Nukaga S, Miyagawa Y, Goto K, Kuniyasu H
2. 発表標題 Parameters for cancer-induced sarcopenia in patients autopsied after death from colorectal cancer
3. 学会等名 79th Annual Meeting of Japanese Association for Cancer, Hiroshima, 2020.10.1-3
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 岸真吾、森汐莉, 谷里奈, 森拓也, 宮川良博, 額賀翔太, 川原勲, 羅奕, 朴木寛容, 國安弘基
2. 発表標題 PDZD8 による小胞体-ミトコンドリアの繫留は骨肉腫細胞においてミトコンドリアの活性を制御する
3. 学会等名 第 109 回日本病理学会総会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Nobuhiro Tanno, Shinji Kuninaka, Sayoko Fujimura, Kaho Okamura, Kimi Araki, Masatake Araki, Hideyuki Saya, Kei-ichiro Ishiguro
2. 発表標題 Phosphorylation of the Anaphase Promoting Complex activator Cdh1 regulates transition from Meiosis I to Meiosis II in mouse male germ cell
3. 学会等名 53rd Annual Meeting of JSDB (Online meeting)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Yamamoto T, Hattori S, Zhou L, Natsume R, Konno K, Chen IS, Watanabe M, Sakimura K, Miyakawa T, Kubo Y
2. 発表標題 Physiological roles of Prrt3, an orphan metabotropic receptor: Comprehensive behavioral test battery analysis using homozygous full gene knock-out mice derived from flox mice
3. 学会等名 The 97th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Yamamoto Tomomi, Hattori Satoko, Zhou Li, Natsume Rie, Konno Kohtarou, Chen I-Shan, Watanabe Masahiko, Sakimura Kenji, Miyakawa Tsuyoshi, Kubo Yoshihiro
2. 発表標題 Physiological roles of Prrt3, an orphan metabotropic receptor: Comprehensive behavioral test battery analysis using homozygous full gene knock-out mice derived from flox mice
3. 学会等名 第 97 回日本生理学会大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 塩見美喜子
2. 発表標題 piRNA biogenesis and function in Drosophila
3. 学会等名 The Virtual ASBMB Annual Meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 大平崇人、久郷裕之
2. 発表標題 PITX1 is a novel suppressor of SOX10 and inhibit melanoma growth
3. 学会等名 第 79 回日本癌学会総会
4. 発表年 2020 年



1. 発表者名 倉岡康治, 中村加枝
2. 発表標題 Preferential processing of social and reward information by positively-, rather than negatively- responsive neurons in primate amygdala.
3. 学会等名 第 43 回日本神経科学大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 浴 俊彦、小林大士、村上匠蔵、広瀬 侑
2. 発表標題 Preparation and characterization of double-stranded nucleic acid-dependent ATPase activities of tagged Dicer-related helicase 1 in <i>C. elegans</i>
3. 学会等名 第 43 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Takaki Watanabe, Honoka Suzuki, Tsubasa Akamatsu, Kazuto Sakoori, Shutaro Inoue, Manabu Abe, Kenji Sakimura, Naofumi Uesaka, Masanobu Kano
2. 発表標題 Protocadherin 10 delays developmental climbing fiber synapse elimination in a subset of aldolase C-positive Purkinje cells in the cerebellum
3. 学会等名 第 97 回日本生理学会大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 喜田 聡
2. 発表標題 PTSD 治療方法開発に向けた基礎と臨床研究連携の重要性
3. 学会等名 第 50 回 日本神経精神薬理学会 NPBPPP2020 (招待講演)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Tetsuhisa Otani, and Mikio Furuse
2. 発表標題 Quest for claudin-independent occluding junctions in vivo
3. 学会等名 第 53 回日本発生生物学会年会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 原田昭和, 松本真司, 菊池章
2. 発表標題 RAS 下流のエフェクター分子である ARL4C の浸潤突起先端部への局在が膀胱癌の浸潤転移を制御する
3. 学会等名 第 79 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 河野晋, Paing Linn, 曾我朋義, 高橋智聡.
2. 発表標題 RB1-SUCLA2 欠損による代謝脆弱性を標的とした前立腺がん治療法の探索.
3. 学会等名 第 79 回日本癌学会学術総会 2020 年 10 月 3 日 (広島市/リーガロイヤルホテル広島 10/1-3 口頭) (国際学会)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Aya Ito-Ishida
2. 発表標題 Regulation of neuronal heterochromatin structure by MeCP2
3. 学会等名 UK-Japan Neuroscience Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Kawai T, Okamura Y
2. 発表標題 Regulation of phosphoinositide distribution by voltage-sensing phosphatase in mouse spermatozoa
3. 学会等名 the 97th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan (第 97 回日本生理学会大会)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Md Rasel Molla、清水昭男、扇田久和
2. 発表標題 RhoA confers protection Against Aortic Aneurysm by Preserving Aortic Smooth Muscle Contractility and Preventing Inflammation.
3. 学会等名 日本循環器学会基礎研究フォーラム
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 深津 理乃、田中 卓、正井 久雄
2. 発表標題 RNA-DNA ハイブリッド/G4 構造に依存する大腸菌 plasmid の複製開始メカニズムの解析
3. 学会等名 第43回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Ikuko Yamamoto, Michiko Sugimoto, Kimi Araki, Yu Suzuki, Takehiko Kobayashi, Shinichi Nakagawa
2. 発表標題 Rodent specific 4.5SH RNA is essential for the early development in mouse
3. 学会等名 25th Annual Meeting of the RNA Society (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Toyokuni S
2. 発表標題 Role of ferroptosis in carcinogenesis and tumor biology.
3. 学会等名 17th Annual Meeting of the Society for Free Radical Research India (SFRR India) and the International Conference on Role and management of Oxidative Stress in Human Disease (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 椎名伸之
2. 発表標題 Role of Intrinsically Disordered Region (IDR) in higher-order brain functions
3. 学会等名 第43回日本分子生物学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Satoshi Kida
2. 発表標題 Roles of hippocampus in fear memory after retrieval
3. 学会等名 第63回日本神経化学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Masaaki Komatsu
2. 発表標題 Selective turnover of p62-bodies through autophagy
3. 学会等名 Autophagy and Lysosomes: function, signaling and diseases (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 森野峻、馬島哲夫、吉田稔、清宮啓之
2. 発表標題 shRNA スクリーニングによる大腸がん幹細胞の新規治療標的分子経路の探索
3. 学会等名 日本がん分子標的治療学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 川上 司、藤沢 治樹、中山 将吾、浅田 陽平、増田 富、戸松 瑛介、吉野 寧維、平塚 いづみ、清野 祐介、四馬田 恵、高柳 武志、相村 益久、鈴木 敦詞
2. 発表標題 SIADH 慢性低ナトリウム (Na) 血症モデルマウスの作製
3. 学会等名 第 93 回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Shunsuke Chikuma
2. 発表標題 Singularity in Immunity: Immune-aging associates with a defect in Chromatin Regulation on Immune Cells.
3. 学会等名 日本生物物理学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Atsushi Yamagata, Tomoyuki Yoshida, Shuya Fukai
2. 発表標題 Structural basis of selective interaction between IIa RPTP and Liprin
3. 学会等名 第 43 回 日本神経科学大会 (国際学会)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Chie Naruse, Kazushi Sugihara, Fumihiro Sugiyama, Masahide Asano
2. 発表標題 Suppression of cancer cell growth in mice with a degron system.
3. 学会等名 第 43 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Kei-ichiro Ishiguro
2. 発表標題 SWITCHING FROM MITOSIS TO MEIOSIS IS REGULATED BY SEXUALLY DIFFERENT MECHANISM IN MAMMALIAN GERM CELLS
3. 学会等名 Cold Spring Harbor Laboratory Meeting 2020 GERM CELLS (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Seimiya H
2. 発表標題 Telomere as the starting point of anticancer drug discovery
3. 学会等名 LyonSE&N - ElyT Workshop 2020 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kishi S, Mori S, Fujiwara-Tani R, Hojo Y, Owar T, Mori T, Nukaga S, Kita M, Sasaki R, Honoki K, Kuniyasu H
2. 発表標題 The creatine kinase is a metabolic vulnerability in Osteosarcoma.
3. 学会等名 79th Annual Meeting of Japanese Association for Cancer
4. 発表年 2020年



1. 発表者名 Jinmin Li, Fumihiro Shutoh, Tetsuya Sasaki, Yosuke Takei.
2. 発表標題 The Developmental Defect of Serotonin Neuron Induced by Maternal immune activation.
3. 学会等名 5th Anatomy Group Meeting (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大浜剛
2. 発表標題 The dual role of PME-1: PP2A inhibitory protein and methyl-esterase
3. 学会等名 The 14th International Conference on Protein Phosphatases (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Naoya Murao, Hideki Nishitoh
2. 発表標題 The Endoplasmic reticulum protein Derlin-1 maintains neural stem cell populations in the adult hippocampus
3. 学会等名 第16回成体脳のニューロン新生懇談会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Weiru Jiang, Toshikazu Kakizaki, Goichi Miyoshi, Yuchio Yanagawa
2. 発表標題 The role of GABA in embryonic cortical development
3. 学会等名 第 67 回北関東医学会総会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 大浜剛
2. 発表標題 The role of PP2A inhibitory protein SET in cancer and its possibility as a drug target.
3. 学会等名 第 43 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Nobuyuki Sakayori, Kazuto Kobayashi
2. 発表標題 The roles of brain essential fatty acids in dopamine-dependent ingestive behaviors
3. 学会等名 第 43 回日本神経科学大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Takahiro Anzai, Masahiro Yasunaga, Yasuhiro Matsumura
2. 発表標題 TMEM180 is involved in proliferation of colorectal cancer cell line SW480 through metabolic pathways
3. 学会等名 第 79 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Kimiko Shimizu, Kanako Maehata, Tomoko Ikeno, Qiuyi WANG, Toshifumi TAKAO and Yoshitaka Fukada
2. 発表標題 Training-induced Neurosteroids Reinforce Remote Spatial Memory in Mice
3. 学会等名 第 43 回日本神経科学大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 清水孝恒、木村聖美、杉原英志、山口さやか、信末博行、武藤章弘、佐谷秀行
2. 発表標題 Trametinib preferentially suppresses anchorage-independent growth in osteosarcoma cells and exerts anti-tumor activity
3. 学会等名 第 79 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 清水孝恒、木村聖美、武藤章弘、佐谷秀行
2. 発表標題 trametinib は骨肉腫細胞に apoptosis を誘導し in vivo で抗腫瘍効果を示す
3. 学会等名 第 52 回日本臨床分子形態学会総会・学術集会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 阿部真土、佐伯直哉、波多賢二、宮崎紗理奈、立田小百合
2. 発表標題 TRPS1 遺伝子の発現制御機構の解析
3. 学会等名 2019 年度先端モデル動物支援プラットフォーム成果発表会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Tayo Katano, Manabu Abe, Masahiko Watanabe, Kenji Sakimura, Seiji Ito, Takuya Kobayashi
2. 発表標題 Visualization of BEGAIN protein-expressed interneurons in the spinal cord
3. 学会等名 第 43 回日本神経科学会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Akira Kikuchi
2. 発表標題 Wnt signaling and molecular target therapy
3. 学会等名 第 79 回日本癌学会学術総会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Akira Kikuchi
2. 発表標題 Wnt5a signaling and Colitis-associated tumor formation
3. 学会等名 第 79 回日本癌学会学術総会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 松本真司, 山道拓, 新沢康英, 奥山宏臣, 菊池章
2. 発表標題 Wnt シグナル標的遺伝子 GREB1 による TGF $\beta$ シグナルの抑制を介した肝芽腫形成の制御
3. 学会等名 第 93 回日本生化学会大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 角真由, 奥谷浄也, 福田勉, 小野寺玄, 木村正成
2. 発表標題 アザラメラリンNの合成法の開発
3. 学会等名 2020年日本化学会九州支部秋期研究発表会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小泉修一
2. 発表標題 アストロサイトによる疼痛回路のスクラップ&ビルド
3. 学会等名 新学術領域研究スクラップ&ビルドによる脳機能の動的制御第5回領域会議
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 平山友里, 小泉修一, 安西尚彦
2. 発表標題 アストロサイト性虚血耐性の分子メカニズム解析
3. 学会等名 第63回日本神経化学会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 阿部陽一郎
2. 発表標題 アルツハイマー病とアクアポリン4
3. 学会等名 第20回 日本抗加齢医学会総会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 富田俊維、稲葉一穂、遠藤治、関本征史
2. 発表標題 インスリン様成長因子1受容体 (IGF1R) /インスリン受容体 (INSR) 阻害剤 AG1024 による AhR 分解機構の解析
3. 学会等名 フォーラム2020 衛生薬学・環境トキシコロジー
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 青山愛、藤元次郎、仙波憲太郎
2. 発表標題 インダゾール誘導体 Lonidamine 結合タンパク質の同定と作用機序の解析
3. 学会等名 第24回日本がん分子標的治療学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 酒井宏治
2. 発表標題 インフルエンザウイルスのHA 開裂部位近傍の糖鎖欠損と新たな宿主プロテアーゼ利用能の獲得機序の解析
3. 学会等名 9th Negative Strand Virus-Japan Symposium
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 小泉修一
2. 発表標題 うつ病分子病態におけるグリア細胞の異常
3. 学会等名 NPBPPP2020 合同年会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 丸田豊明 越田智広 日高康太郎 黒木未央 白阪哲朗 恒吉勇男
2. 発表標題 オプトジェネティクスを用いた末梢神経疼痛モデル動物の開発 : NaV1.7 を標的とした疼痛モデルマウスの紹介
3. 学会等名 第 42 回日本疼痛学会
4. 発表年 2020 年



1. 発表者名 久保田裕二、武川睦寛
2. 発表標題 カスパーゼ依存的な蛋白質切断を介した ERK シグナルの新規活性制御機構
3. 学会等名 第 71 回日本電気泳動学会総会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 久保田裕二、武川睦寛
2. 発表標題 カスパーゼ依存的蛋白質切断による ERK シグナル抑制機構
3. 学会等名 第 79 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 結城雅子、深見希代子、山口英樹
2. 発表標題 がん細胞による浸潤突起形成を指標としたハイスループットスクリーニング系の確立と阻害剤の探索
3. 学会等名 第 93 回日本生化学会大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 船戸洋佑、橋爪脩、吉田篤、本田茉莉、山崎大輔、三木裕明
2. 発表標題 がん細胞の酸性環境への新規適応機構「acid addiction」の発見
3. 学会等名 第 93 回日本生化学会大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 豊國伸哉
2. 発表標題 がん予防への新概念 がん予防におけるフェロトーシスの意義
3. 学会等名 がん予防学術大会 2020 米子 第 27 回日本がん予防学会総会 第 43 回日本がん疫学・分子疫学研究会総会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 綿谷成恭, 若林勇樹, 馬悦, 長澤和夫
2. 発表標題 グアニン四重鎖特異的に蛍光を発するライトアップ型リガンドの創製
3. 学会等名 日本化学会 第 100 回春季年会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 繁富英治、小泉修一
2. 発表標題 グリア研究による脳疾患の解明と創薬を目指して～アストロサイトに魅せられて～
3. 学会等名 第13回日本薬学会関東支部若手シンポジウム
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小泉修一
2. 発表標題 グリア細胞による脳機能の制御
3. 学会等名 第43回日本神経科学大会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石渡一樹，鈴木佐和子，内藤久美子，出口ハンナ，類家裕太郎，石田晶子，藤本真徳，田村愛，志賀明菜，小出尚史，石川崇広，前澤善朗，田中知明，横手幸太郎.
2. 発表標題 グルタミン代謝のフェロトーシスを介した虚血腎障害時の役割
3. 学会等名 第93回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 鈴木佐和子, 石渡一樹, 内藤久美子, 出口ハンナ, 類家裕太郎, 石田晶子, 藤本真徳, 田村愛, 志賀明菜, 小出尚史, 田中知明, 横手幸太郎.
2. 発表標題 グルタミン代謝の破綻はフェロトーシス依存的に肝癌を増悪させる
3. 学会等名 第 93 回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 中島 東吾、大平 恵里花、吉信 公美子、尾池 雄一、松本 志郎、中村 公俊、荒木 喜美、荒木 正健
2. 発表標題 グルタル酸血症 2 型のモデルマウス作製及び病態解析
3. 学会等名 日本遺伝学会第 92 回大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 藤田幸、山下俊英 先生
2. 発表標題 ゲノム高次構造制御の破綻による中枢神経回路形成障害
3. 学会等名 第 43 回日本神経科学大会 (招待講演)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 荒木 喜美、吉信 公美子、山口 友輔、高田 幸基、橋本 紘一、荒木 正健
2. 発表標題 ゲノム編集を用いた 2~3 Mb にもわたる KRAB-ZFP クラスター領域の欠損アレルの作製
3. 学会等名 第 67 回日本実験動物学会総会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 望月 圭, 稲瀬 正彦, 村田 哲
2. 発表標題 サル の 時間 弁別 にお ける 弁別 基準 学習 へ の 自 発 運 動 の 影 響
3. 学会等名 第 43 回日本神経科学大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 岩崎亜美・村田康輔・川村名子・中務 胞・阿部 学・夏目里恵・杉村智史・崎村建司・山城秀昭
2. 発表標題 ジーンターゲット法による GATA4-flox マウスの作製
3. 学会等名 第 113 回 日本繁殖生物学会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 犬飼駿弥, 原怜, 一瀬宏
2. 発表標題 システイン残基への DA 酸化物の修飾が TH の活性を減少させる
3. 学会等名 第 63 回日本神経化学学会大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 犬飼 駿弥, 原 怜, 一瀬 宏
2. 発表標題 システイン残基へのドーパミン酸化物の修飾がチロシン水酸化酵素の活性を減少させる
3. 学会等名 第 43 回日本神経科学大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 多田 篤史, 田之上 優, 黒川 直弘, 窪田 剛志, 津島 希海, 尾嶋 大喜, Razib Hossain, 高橋 弘雄, 岸本 泰司, 山本 融
2. 発表標題 シナプス形成抑制因子 MDGA1 の欠失による精神神経疾患様行動異常と、これを抑止する薬剤の探索
3. 学会等名 日本薬学会第 140 年会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 竹内 力、岩崎 由香、塩見 春彦
2. 発表標題 ショウジョウバエのテロメア構成レトロトランスポゾン <sup>1</sup> はインシュレーター因子である Mod(mdg4)により制御される
3. 学会等名 第43回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 発表・研究代表者：穂坂正博 研究協力者：五味浩司、渡部剛
2. 発表標題 ストレス負荷で顕在化するホルモン輸送不全の謎：生活習慣病の危険因子としてのグラニンタンパク質欠損
3. 学会等名 2019年度先端モデル動物支援プラットフォーム成果発表会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 吉岡 大介、中村 貴紀、武川 睦寛
2. 発表標題 ストレス顆粒の新規構成因子およびその生理機能の解析
3. 学会等名 第43回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山本一男
2. 発表標題 ダウン症患者における早期アルツハイマー病様症状の発症メカニズムの解析
3. 学会等名 成人期ダウン症研究会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 宮木詩織, 原怜, 一瀬宏
2. 発表標題 テトラヒドロビオプテリン生合成律速酵素 GTP シクロヒドロラーゼ I の転写調節機構
3. 学会等名 日本ビタミン学会第72回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 清宮啓之
2. 発表標題 テロメアから始まるがん創薬
3. 学会等名 第24回日本がん分子標的治療学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2020年



1. 発表者名 小泉修一、佐野史和
2. 発表標題 てんかん原性型グリア細胞の視点によるてんかん分子病態研究
3. 学会等名 国立精神・神経医療研究センター「てんかんの病態解明と併存症を含めた先駆的・包括的診断と治療方法の開発」第1回研究会議
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 齊藤 奈英, 田井中 一貴, 知見 聡美, 原 怜, 山口 瞬, 一瀬 宏, 南部 篤, 笹岡 俊邦
2. 発表標題 ドーパミン D1 受容体を介した神経伝達は、運動制御、嫌悪記憶形成および大脳皮質の Arc 活性化に必要である
3. 学会等名 第43回日本神経科学大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 一瀬宏
2. 発表標題 ドーパミン代謝とジストニア・パーキンソニズムの発症機構
3. 学会等名 第18回ジストニア研究会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中村 清志朗、河原 康一、古川 龍彦
2. 発表標題 トポイソメラーゼ阻害剤のがん治療感受性機構の検討
3. 学会等名 日本薬学会 第 141 年会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 指田吾郎
2. 発表標題 トリソミー8 生体モデルによる+8 造血幹細胞機能の解析
3. 学会等名 第 43 回日本分子生物学会 (招待講演)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 松岡 利典, 山崎 美和子, 阿部 学, 松田 由喜子, 森野 豊之, 川上 秀史, 崎村 健司, 渡辺 雅彦, 橋本 浩一
2. 発表標題 ニューロンのレゾナンス特性における Kv11 電位依存性 K <sup>+</sup> チャネルの機能的役割
3. 学会等名 第 43 回 日本神経科学学会大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 伊藤 さゆり、井口 智弘、覺正 直子、大字 亜沙美、平谷 伊智朗、正井 久雄
2. 発表標題 ヒト Rif1C 末領域はその核膜局在と複製タイミング制御に必要とされる
3. 学会等名 第 43 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 金城 智章、寺井 健太、堀田 彰一郎、野村 紀通、隅山 健太、岩田 想、 富樫かおり、松田 道行
2. 発表標題 フェルスター共鳴エネルギー移動の原理に基づくニ光子励起用光遺伝学ツールの開発
3. 学会等名 先端モデル動物支援プラットフォーム成果発表会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 扇田久和
2. 発表標題 ブルガダ症候群発症家系で見出された新たな TMEM168 遺伝子変異の作用機序
3. 学会等名 先端モデル動物支援プラットフォーム成果発表会 (招待講演)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 荒木 正健、斎藤 桂花、久場 兼裕、吉信 公美子、山根 万里子、丹羽 仁史、荒木 喜美
2. 発表標題 マウスゲノムにおいて遺伝子は無いののに遺伝子トラップクローンが集積している領域 (TCAA) の解析
3. 学会等名 日本遺伝学会第 92 回大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 岸本 泰司, 中村 裕子, 新開 崇広, 青野 仁美, 藤原 友佳, 大畑 南美, 松崎 真也, 山本 融
2. 発表標題 マウスプラセボ鎮痛条件づけを用いたプラセボ応答の分子基盤の探索
3. 学会等名 第 43 回日本神経科学大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 平松征洋、鈴木孝一朗、西田隆司、堀口安彦
2. 発表標題 マウスモデルから見た百日咳における咳発作発症機構
3. 学会等名 第 73 回日本細菌学会関西支部総会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 小林憲司、繁富英治、パラジュリビージェイ、久保田友人、齋藤光象、田中謙二、池中一裕、小泉修一
2. 発表標題 ミクログリアの自己再生によるアレキサンダー病の抑制
3. 学会等名 第 63 回日本神経化学学会大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 小泉修一
2. 発表標題 ミクログリア制御と脳機能
3. 学会等名 第 63 回日本神経化学学会大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 塚野千尋
2. 発表標題 ユニークな三次元構造を持つアルカロイドの全合成と構造活性相関
3. 学会等名 京都大学生理化学研究ユニット 第 10 回シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 田口恵子、山本雅之
2. 発表標題 ラットモデルを用いた Nrf2 活性化が引き起こす病態の解明
3. 学会等名 第 19 回分子予防環境医学研究会大会 (招待講演)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 奥村和弘、斎藤慈、若林雄一
2. 発表標題 ランゲルハンス細胞の Pak1 遺伝子
3. 学会等名 第 79 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 伝田直晃、椎名健太郎、富田俊維、関本征史
2. 発表標題 リガンド型 AhR 作動薬の作用を増強する化合物の探索
3. 学会等名 フォーラム 2020 衛生薬学・環境トキシコロジー
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 住谷昌彦, 土田陸平, 西澤大輔, 池田和隆
2. 発表標題 リゾホスファチジン酸受容体 1 遺伝子多型は化学療法誘発性ニューロパチーの発症に関与する
3. 学会等名 2019 年度先端モデル動物支援プラットフォーム成果発表会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 杉山菜奈子, 原怜, 今居讓, 服部信孝, 柴佳保里, 一瀬宏
2. 発表標題 リン酸化チロシン水酸化酵素の分解制御と凝集体形成機構の解析
3. 学会等名 第 93 回日本生化学会大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 岡田正康, 河寄麻実, 玉田篤史, 棗田学, 大石誠, 藤井幸彦, 五十嵐道弘
2. 発表標題 リン酸化プロテオーム解析から発見した新規神経成長・再生マーカー
3. 学会等名 第 30 回日本サイトメトリー学会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 安村美里、猪口徳一、谷口学、Mai Quynh Nguyen、佐藤真
2. 発表標題 リン脂質フォスファターゼを介した軸索側枝形成の分子機構
3. 学会等名 日本神経科学大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 レム睡眠の発達と生理的役割について.
3. 学会等名 自然科学研究機構 異分野融合型共同研究事業ワークショップ「運動・行動から紐解く脳神経回路発達メカニズムの異分野融合研究による解明」 (招待講演)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 川寄 祐介、小金澤 寛、武藤 雄一郎、吉越 裕介、斎藤 慎一
2. 発表標題 ロタキサンにおける回転運動の制御
3. 学会等名 日本化学会第 101 春季年会
4. 発表年 2020 年



1. 発表者名 新沢康英, 松本真司、種村篤、藤本学、菊池 章
2. 発表標題 悪性黒色腫における GREB1 isoform 4 の発現機構解析とがん治療への応用
3. 学会等名 第 93 回日本生化学会大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 中務胞、宮本純、夏目里恵、崎村建司、笹岡俊邦
2. 発表標題 遺伝子改変マーマーモセット作製にかかる基盤技術の開発
3. 学会等名 第 9 回日本マーマーモセット研究会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 中山淳, 林祐介, 仙波憲太郎
2. 発表標題 化合物スクリーニングを用いた同所性乳がん肺高転移株の増殖機構解明
3. 学会等名 「先端モデル動物支援プラットフォーム」2019 年度成果発表会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 前田彩華、久保田翔、横溝貴子、飯盛美穂子、荒木喜美、大里元美、指田吾郎
2. 発表標題 加齢ストレスによる MLL-AF9 幹細胞の転写機構障害と白血病発症抑制機序
3. 学会等名 第 82 回日本血液学会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 山口 洋一郎、関本 朝久、永井 琢哉、黒木 修司、田島 卓也、谷口 昇、今坂 舞、吉信 公美子、荒木 喜美、荒木 正健、帖佐 悦男
2. 発表標題 可変型遺伝子トラップ法で作製した Itpr1 遺伝子欠損マウスは著名な骨量減少を呈する
3. 学会等名 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 永井 琢哉、関本 朝久、山口洋一郎、黒木 修司、船元 太郎、今坂 舞、吉信 公美子、荒木 喜美、荒木 正健、帖佐 悦男
2. 発表標題 可変型遺伝子トラップ法を用いた骨軟骨代謝に影響を及ぼす新規遺伝子群の網羅的機能解析
3. 学会等名 日本遺伝学会第 92 回大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 酒寄信幸, 小林和人
2. 発表標題 快樂的摂食行動に対する脳内必須脂肪酸の役割の解析
3. 学会等名 第 5 回食欲・食嗜好の分子・神経基盤研究会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 喜田 聡
2. 発表標題 海馬生物時計による記憶想起制御
3. 学会等名 第 27 回日本時間生物学会学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 河原 康一、古川 龍彦
2. 発表標題 核小体ストレス応答により P53 経路を活性化する新たながん分子標的治療薬の創生
3. 学会等名 第 79 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 志津 怜太、吉成 浩一
2. 発表標題 核内受容体 CAR を介した肝化学発がんの機序及び種差の解析
3. 学会等名 先端モデル動物支援プラットフォーム成果発表会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 清水逸平
2. 発表標題 褐色脂肪によるアンチエイジング
3. 学会等名 抗加齢医学会（招待講演）
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 指田吾郎、横溝貴子、久保田翔、濱嶋愛、金井昭教、岩間厚志、滝澤仁、松井啓隆
2. 発表標題 感染記憶による骨髓異形成症候群の発症機序解析
3. 学会等名 第 82 回日本血液学会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 瀬田みなみ, 松本真司, 福本巧, 菊池章
2. 発表標題 肝細胞がんにおける Wnt 標的遺伝子 GREB1 の発現と細胞増殖制御
3. 学会等名 第 93 回日本生化学会大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 川瀧紗英子、久保田裕二、武川睦寛
2. 発表標題 癌遺伝子によるストレス応答シグナル伝達経路の活性化機構の解析
3. 学会等名 第 20 回東京大学生命科学シンポジウム
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 小泉修一
2. 発表標題 基礎医学研究の魅力-日本神経化学会理事長から-
3. 学会等名 第 61 回日本神経学会学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 渡邊 大介
2. 発表標題 機能的なリガンドならびにレセプター遺伝子を標的とした新たなコンディショナルレスキューマウスの作成
3. 学会等名 第43回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 河野 慎吾、Rachael A Nimmo、指田 吾郎、Jie Bai、吉信 公美子、荒木 喜美、荒木 正健
2. 発表標題 急性骨髄性白血病由来の遺伝子変異を導入したマウスの表現型解析
3. 学会等名 日本遺伝学会第92回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 李雪婷、柳田淳子、初金玲、本野芽衣、出山諭司、山中章弘、西谷直也、永安一樹、金子周司、金田勝幸
2. 発表標題 急性社会的敗北ストレス負荷によるコカイン欲求行動増強におけるノルアドレナリンおよびドパミン伝達の役割
3. 学会等名 日本薬学会第140年会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大橋愛美, 福田勉, 岡村睦美, 西谷直之, 岩尾正倫, 且慎吾
2. 発表標題 強い抗がん選択性を持つ新規合成ラメラリン類縁体 Azalam4 の抗がんメカニズム解析
3. 学会等名 第 79 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 大橋愛美, 福田勉, 岡村睦美, 西谷直之, 岩尾正倫, 且慎吾
2. 発表標題 強い抗がん特異性を示し CDK を阻害する新規ラメラリン類縁体 Azalam4 の同定
3. 学会等名 第 24 回日本がん分子標的治療学会学術集会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 佐々貴之, 磯川昌志, 服部聡子, 宮川剛, 木原章雄
2. 発表標題 極長鎖スフィンゴ脂質の短鎖化によるミエリン厚低下と協調運動障害
3. 学会等名 2019 年度 先端モデル動物支援プラットフォーム 成果発表会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 清水貴美子、前畑佳納子、Qiuyi Wang、池野知子、衛澤峰、櫻井文香、Yue Pan、高尾敏文、深田吉孝
2. 発表標題 空間記憶形成の日周リズムとニューロステロイドによる制御
3. 学会等名 第 27 回日本時間生物学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 石黒 啓一郎
2. 発表標題 減数分裂開始に必須の役割を果たす MEIOSIN および STRA8 のタンパク質ドメイン
3. 学会等名 第 43 回 日本分子生物学会年会（MBSJ2020）online（招待講演）
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 奥野浩行
2. 発表標題 古い記憶想起における海馬歯状回記憶痕跡細胞の関与
3. 学会等名 第 63 回日本神経化学学会大会（招待講演）
4. 発表年 2020 年



1. 発表者名 川村佳史 西條憲 今井源 石岡千加史
2. 発表標題 甲状腺未分化癌細胞における lenvatinib と IRAK1/4 inhibitor I の併用効果の検討
3. 学会等名 第 24 回日本がん分子標的治療学会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 濱田健太郎、篠崎陽一、行方和彦、大野伸彦、瀬川高弘、原田高幸、柏木賢治、小泉修一
2. 発表標題 高眼圧性緑内障は P2Y1 受容体の機能障害によって誘導される
3. 学会等名 第 63 回日本神経化学学会大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 佐藤信吾、橋本恭子、越智広樹、大川淳、三宅智
2. 発表標題 骨転移におけるがん細胞と骨の細胞とのコミュニケーション
3. 学会等名 第 125 回日本解剖学会総会・全国学術集会（招待講演）
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 永井 琢哉、関本 朝久、山口 洋一郎、黒木 修司、田島 卓也、谷口 昇、今坂 舞、吉信 公 美子、荒木 喜美、荒木 正健、帖佐 悦男
2. 発表標題 骨表現型スクリーニングで選別した Tmem161a 欠損トラップマウスは細胞ストレス応答に関与し骨量 増加を呈する
3. 学会等名 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 佐々木捷悟, 鮑宏亮, 石塚匠, 徐岩, 寺正行, 馬悦, 長澤和夫
2. 発表標題 鎖状型ポリオキサゾールリガンドの合成とテロメアグアニン四重鎖との相互作用解析
3. 学会等名 日本化学会 第 100 回春季年会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 横溝智雅, 井手上社子, 荒木喜美, 黒川峰夫, 小松則夫, 大里元美, 須田年生
2. 発表標題 細胞系譜追跡による造血幹細胞・前駆細胞の発生様式の解析
3. 学会等名 第 82 回日本血液学会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 安藤さえこ、深町勝巳、吉本恵里、松本晴年、酒々井眞澄.
2. 発表標題 脂肪酸をリードとする新規抗がん物質の開発
3. 学会等名 2019年度「先端モデル動物支援プラットフォーム」成果発表会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 千葉 惇, 守田 和紀, 高良 沙幸, 生塩 研一, 稲瀬 正彦
2. 発表標題 時間の知覚と生成に関わるサル前頭前野の神経細胞活動
3. 学会等名 第43回日本神経科学大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 千葉惇、守田和紀、生塩研一、稲瀬正彦
2. 発表標題 時間知覚・生成課題におけるサル前頭前野の神経細胞活動
3. 学会等名 第97回日本生理学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 土居雅夫
2. 発表標題 時計遺伝子のシス制御エレメントが個体の活動や生理リズムの維持に与える影響の範囲・限界
3. 学会等名 第 43 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 望月圭、村田哲、稲瀬正彦
2. 発表標題 自発行動がサルの時間知覚に与える影響
3. 学会等名 第 97 回日本生理学会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 河原 康一、古川 龍彦
2. 発表標題 腫瘍細胞優先的に P53 経路を活性する新たな機構の解明とがん分子標的治療薬の開発の試み
3. 学会等名 第 41 回日本臨床薬理学会学術総会（招待講演）
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 酒井宏治
2. 発表標題 宿主プロテアーゼとインフルエンザウイルス
3. 学会等名 先端モデル動物支援プラットフォーム 成果発表会、ワークショップ（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 船城桐子、村上善則、伊東剛
2. 発表標題 小細胞肺がんの悪性化における細胞接着因子 CADM1 の機能解析
3. 学会等名 第79回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 宮崎 太輔、山崎 美和子、渡辺 雅彦
2. 発表標題 小脳抑制性介在ニューロンルガロ細胞の帯状構造特異的な入出力様式
3. 学会等名 第66回東北・北海道連合支部学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 北條雄大、岸 真五、森 汐莉、谷 里奈、篠原 尚、國安弘基
2. 発表標題 小胞体-ミトコンドリア繫留分子 PDZD8 の抑制は胃癌に細胞死をもたらす
3. 学会等名 第 109 回日本病理学会総会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 大谷哲久、古瀬幹夫
2. 発表標題 上皮バリアの構築機構
3. 学会等名 第 10 回名古屋大学大学院医学系研究科一生理学研究所合同シンポジウム
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 清水逸平
2. 発表標題 心臓、骨格筋における老化促進代謝物質の病的意義の解明
3. 学会等名 第 26 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 武川 睦寛
2. 発表標題 新規酸化ストレスセンサー分子による p38/JNK シグナルとサイトカイン産生の制御
3. 学会等名 第 43 回日本分子生物学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 土本大介、古賀祐一郎、林良憲、アボルハッサニ ノナ、米嶋康臣、作見邦彦、中西博、豊國伸哉、中別府雄作
2. 発表標題 神経幹細胞特異的 Itpa ノックアウトマウスは神経細胞脱分極とてんかん様けいれん発作を示し、早期に死亡する
3. 学会等名 第 43 回日本神経科学大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 小泉修一
2. 発表標題 神経障害性疼痛アロディニア誘導のメカニズム
3. 学会等名 第 84 回日本皮膚科学会東部支部学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 高橋智聡, Paing Linn, 曾我朋義, 河野晋.
2. 発表標題 進行前立腺がんにおける RB1-SUCLA2 遺伝子欠失を標的とする新規治療.
3. 学会等名 第 58 回日本癌治療学会学術総会 2020 年 10 月 23 日 (京都市/国立京都国際会館 10/22-24 口頭)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 篠崎陽一、行方和彦、柏木賢治、大野伸彦、原田高幸、小泉修一
2. 発表標題 正常眼圧緑内障モデルマウス視神経乳頭部における早期グリア活性化
3. 学会等名 第 143 回日本薬理学会関東部会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 井口善生・深堀良二・...・小林和人
2. 発表標題 青斑核ノルアドレナリン神経細胞の活動亢進による情動記憶の想起の促進：新規神経活動活性化ツールによる検討
3. 学会等名 第 52 回東北生理談話会.
4. 発表年 2020 年



1. 発表者名 片野泰代（発表代表者、責任発表者） 阿部学 渡辺雅彦 崎村建司 伊藤誠二 小林拓哉
2. 発表標題 脊髄における BEGAIN 陽性介在ニューロンの可視化
3. 学会等名 第 43 回日本神経科学大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 久郷裕之
2. 発表標題 染色体工学技術を利用したイノベーション創出 -基礎から応用研究を通して-
3. 学会等名 第 20 回日本抗加齢医学会総会（招待講演）
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 久郷裕之
2. 発表標題 染色体工学技術を利用した革新的癌研究 -基礎から応用研究への展開
3. 学会等名 第 27 回日本がん予防学会総会（招待講演）
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 甲斐 拓篤、武田 伊世、橋本 紘一、吉信 公美子、荒木 喜美、荒木 正健
2. 発表標題 染色体特異的にクラスターを形成しているトラップ領域 (CSCT13) の解析
3. 学会等名 日本遺伝学会第 92 回大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 橋本 紘一、武田 伊世、甲斐 拓篤、吉信 公美子、荒木 喜美、荒木 正健
2. 発表標題 染色体特異的にクラスターを形成しているトラップ領域 (CSCT4) の解析
3. 学会等名 日本遺伝学会第 92 回大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 北元 優梨、増田 好美、古閑 成美、吉信 公美子、中潟 直己、鳥越 大輔、中村 直子、柳 久美子、要 匡、高岡 裕、荒木 喜美、荒木 正健
2. 発表標題 潜在 (劣性) 遺伝形式で多血症の症状を示す自然発生突然変異マウス [pocy] の解析
3. 学会等名 日本遺伝学会第 92 回大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 村上匠蔵, 小林大士, 白木 隼, 広瀬 侑, 浴 俊彦
2. 発表標題 線虫ダイサー関連ヘリカーゼ DRH-3 と DRH-3 結合タンパク質との相互作用解析
3. 学会等名 日本薬学会第 140 年会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 柘和子、加藤千賀、三谷優太、石井万由子、林康紀、村谷匡史、水野聖哉、杉山文博、高橋智、加藤秀樹、柘正幸
2. 発表標題 総腓骨神経を欠損する突然変異マウスの原因遺伝子の同定
3. 学会等名 2019 年度 先端モデル動物支援プラットフォーム 成果発表会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 上野博夫
2. 発表標題 多色細胞系譜追跡法と single cell RNAseq を基点とした成体幹細胞の同定
3. 学会等名 第 5 回細胞ダイバース公開シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 奥村和弘
2. 発表標題 多段階皮膚発がんマウスモデルを用いたがん
3. 学会等名 第 67 回日本実験動物学会総会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 末吉巽, 布田旭, 阿嘉由樹, 福田勉, 小野寺玄, 木村正成
2. 発表標題 多置換アルケンの高選択的合成を志向したオキサボロールの新規合成反応の開発
3. 学会等名 日本化学会 第 100 春季年会 (2020)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 井ノ上 雄一、三宅 崇仁、土居 雅夫
2. 発表標題 体内時計の温度同調機構：生理的な範囲の温度変化が培養マウス繊維芽細胞の分子時計に与える影響について
3. 学会等名 第 43 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 滝山貴央、世良俊博、中村匡徳、堀家慎一、西川祐司、滝山由美
2. 発表標題 胎生期過栄養誘発脂肪肝炎/肝癌:HIF-1 シグナル系の役割
3. 学会等名 第35回日本糖尿病合併症学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 滝山貴央、滝山由美、別所瞭一、橘内博哉、竹田安孝、坂上英充、西川祐司、竹内文也、世良俊博、中村匡徳
2. 発表標題 胎生期高脂肪食誘発-脂肪肝炎-肝癌モデルマウスの確立
3. 学会等名 第63回日本糖尿病学会年次学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 若林勇樹, 綿谷成恭, 齋藤良太, 寺正行, 馬悦, 長澤和夫
2. 発表標題 大環状ヘキサオキサゾール化合物の側鎖構造展開によるグアニン四重鎖に及ぼす蛍光特性の解析
3. 学会等名 日本化学会 第100回春季年会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 鷺 朋子、田中 卓、正井 久雄
2. 発表標題 大腸菌におけるゲノム上の RNA-DNA hybrid・グアニン 4 重鎖構造のプロファイルと第二の複製系での役割の解明
3. 学会等名 第 43 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 笹岡 俊邦, 齊藤 奈英, 知見 聡美, 阿部 学, 川村 名子, 鍋島 陽一, 田井中 一貴, 崎村 建司, 南部 篤
2. 発表標題 大脳基底核間接路の D2 受容体発現細胞における NMDA 受容体のマグネシウムブロックの減少により誘導される運動制御と学習記憶の変化の解析
3. 学会等名 第 43 回日本神経科学大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 小泉修一
2. 発表標題 大脳皮質グリア細胞による神経障害性疼痛の誘導
3. 学会等名 日本ペインクリニック学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 佐々木哲也、小松勇介、武井陽介、山森哲雄
2. 発表標題 大脳皮質高次連合野を特徴づける遺伝子の解析
3. 学会等名 第 125 回 日本解剖学会総会・全国学術集会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 藤田幸、山下俊英
2. 発表標題 中枢神経回路形成における染色体接着因子コヒーシンの機能
3. 学会等名 第 125 回 日本解剖学会総会・全国学術集会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 武井陽介、當銘幸貴、鮑培毅、高田拓弥、佐々木哲也
2. 発表標題 中枢神経系における I1-17 の役割の分子遺伝学的解析
3. 学会等名 第 125 回 日本解剖学会総会・全国学術集会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 住谷昌彦、西澤大輔、池田和隆
2. 発表標題 痛みの精密医療への臨床からの挑戦
3. 学会等名 日本疼痛学会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大栗博毅
2. 発表標題 天然物合成化学と生合成工学・超分子化学との融合を目指して
3. 学会等名 産総研 第82回触媒化学融合研究センター講演会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 佐伯直哉、立田咲百合、波多賢二、阿部真土
2. 発表標題 転写因子 Trps1 の発現制御機構
3. 学会等名 第38回日本骨代謝学会学術集会
4. 発表年 2020年



1. 発表者名 黒岩由佳, 中山淳, 仙波憲太郎
2. 発表標題 頭蓋内移植手法による HER2 陽性乳がんの脳組織中における増殖能の評価
3. 学会等名 第 72 回日本細胞生物学会大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 黒岩由佳, 中山淳, 山本雄介, 仙波憲太郎
2. 発表標題 頭蓋内移植手法による HER2 陽性乳がん細胞株の増殖分類 (Proliferative classification of HER2-positive breast cancer cell lines by intracranial injection.)
3. 学会等名 2020 年度文部科学省新学術領域研究 先端モデル動物支援プラットフォーム 若手支援技術講習会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 黒岩由佳, 中山淳, 仙波憲太郎
2. 発表標題 頭蓋内移植手法による HER2 陽性乳がん細胞株の脳転移能の解析
3. 学会等名 第 29 回日本がん転移学会学術集会・総会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 喜田 聡
2. 発表標題 動物モデルからみたトラウマ記憶と PTSD 治療方法の理解
3. 学会等名 第 50 回 日本神経精神薬理学会 NPBPPP2020 (招待講演)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 林 祐介, 中山 淳, 仙波 憲太郎
2. 発表標題 同所性移植手法を用いた乳がん肺転移株のシグナル解析
3. 学会等名 第 72 回日本細胞生物学会大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 林 祐介, 中山 淳, 山本 瑞生, 山本 雄介, 井上 純一郎, 仙波 憲太郎
2. 発表標題 同所性移植手法を用いた乳がん肺転移株のシグナル解析
3. 学会等名 第 79 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 末吉巽, 布田旭, 福田勉, 小野寺玄, 木村正成
2. 発表標題 銅触媒作用による三成分連結反応を介したオキサボロールの合成
3. 学会等名 第 49 回複素環化学討論会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 石川 香、山本 智、服部 聡子、西村 尚也、松本 寛和、宮川 剛、中田 和人
2. 発表標題 突然変異型 MFN2 の時期特異的発現調節による神経変性の病態比較
3. 学会等名 第 43 回日本分子生物学会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 林 祐介, 中山 淳, 仙波 憲太郎
2. 発表標題 乳がん肺高転移株における殺細胞性抗がん剤耐性機構と細胞増殖機構の解明
3. 学会等名 第 24 回日本がん分子標的治療学会学術総会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 林 祐介, 中山 淳, 仙波 憲太郎
2. 発表標題 乳がん肺高転移株における殺細胞性抗がん剤耐性機構と細胞増殖機構の解明
3. 学会等名 第 29 回日本がん転移学会学術集会・総会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 酒寄信幸, 小林和人
2. 発表標題 妊娠中の偏った必須脂肪酸摂取は子においてドーパミン依存的摂食行動を促す
3. 学会等名 日本脂質栄養学会第 29 回大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 酒寄信幸, 小林和人
2. 発表標題 妊娠中の偏った必須脂肪酸摂取は子において快楽的摂食を促す
3. 学会等名 第 53 回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 平山友里、Le Pham Ngoc Ha、小泉修一、安西尚彦
2. 発表標題 脳虚血障害におけるミクログリア VNUT の役割
3. 学会等名 第 142 回日本薬理学会関東部会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 椎名伸之
2. 発表標題 脳神経機能における 相分離 RNA 顆粒の役割
3. 学会等名 日本植物学会第 84 回大会 (招待講演)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 黒岩由佳, 中山淳, 足立ちひろ, 井上貴文, 山本雄介, 渡辺慎哉, 仙波憲太郎
2. 発表標題 脳組織中での増殖能に基づく HER2 陽性乳がん細胞株の分類 (Classification of HER2-positive breast cancer cell lines based on the proliferative activity in the brain)
3. 学会等名 第 43 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 黒岩由佳, 中山淳, 山本雄介, 渡辺慎哉, 仙波憲太郎
2. 発表標題 脳組織中における増殖能に基づく HER2 陽性乳がん細胞株の分類 (Classification of HER2-positive breast cancer cell lines based on proliferative activity in brain tissue)
3. 学会等名 第 79 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 土居雅夫
2. 発表標題 脳内サーカディアンリズム中枢を制御する時間選択的 G タンパク質シグナル伝達経路 GPR176-Gz-RGS16 の役割
3. 学会等名 第 93 回日本生化学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 豊國伸哉
2. 発表標題 発がんにおけるフェロトーシスの意義
3. 学会等名 第 31 回日本微量元素学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 川瀧 紗英子、久保田裕二、武川睦寛
2. 発表標題 発癌シグナルによる p38/JNK 経路活性化の分子機構の解明
3. 学会等名 第 71 回日本電気泳動学会総会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 徳永文稔、及川大輔、畑中尚也、鈴木貴
2. 発表標題 非定型型直鎖状ユビキチン鎖を足場とする NF- $\kappa$ B 活性化の細胞機能と数理モデル
3. 学会等名 第 93 回日本生化学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 酒寄信幸, 小林和人
2. 発表標題 必須脂肪酸は中脳ドーパミンニューロン産生を制御し将来の快樂的摂食を調節する
3. 学会等名 第 93 回日本生化学会大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 本田茉莉、船戸洋佑、三木裕明
2. 発表標題 標的既知化合物スクリーニングによる酸性環境適応における TGF- $\beta$ 経路の重要性の解明
3. 学会等名 第 43 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 繁富英治、小泉修一
2. 発表標題 腹側海馬アストロサイトにおける GqPCR シグナルがマウス行動に与える影響
3. 学会等名 第 63 回日本神経化学学会大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 伊藤尚文, Shah Adil Ishtiyag Ahmad, Mohammad Badrul Anam, 太田訓正
2. 発表標題 分泌型プロテオグリカン Tsukushi の欠損は神経幹細胞の制御不全を介して神経発達障害および水頭症を発症する
3. 学会等名 第 42 回日本分子生物学会
4. 発表年 2020 年



1. 発表者名 滝川 雅大、渡邊 祐三、岡部 篤史、金田 篤志、石川 冬木、定家 真人、大木 理恵子.
2. 発表標題 分泌性タンパク質 p53PAD7 と Hippo シグナル経路による増殖抑制機構の解明.
3. 学会等名 第 79 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 近藤 正啓、河野 慎吾、吉信 公美子、Kim Soo-Hyun、荒木 正健、荒木 喜美
2. 発表標題 変異型ヒト WDR11 遺伝子のノックインによるカルマン症候群モデルマウスの樹立と解析
3. 学会等名 日本遺伝学会第 92 回大会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 坂本 雅行
2. 発表標題 膜電位感受性プローブの開発とその応用
3. 学会等名 鹿児島大学セミナー（招待講演）
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 井口善生
2. 発表標題 味覚連合記憶の想起における青斑核ノルアドレナリン細胞の役割-ハエ嗅覚器由来のイオンチャネルを利用した新規神経活動活性化ツールによる検討-
3. 学会等名 生理研研究会 2020・行動の多様性を支える神経基盤とその動作様式の解明 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Tetsuhisa Otani, Thanh Phuong Nguyen, Mikio Furuse
2. 発表標題 密着結合の構造と機能の再考
3. 学会等名 第43回日本分子生物学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大上直秀, 山本悠司, 浅井竜一, 國安弘基, 仙谷和弘, 坂本直也, 大段秀樹, 吉田和弘, 安井弥
2. 発表標題 網羅的遺伝子発現解析による胃がんの発生・進展の理解
3. 学会等名 第109回日本病理学会総会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Koizumi S
2. 発表標題 緑内障病態におけるグリア細胞と網膜神経節細胞死
3. 学会等名 第 31 回日本緑内障学会 (招待講演)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 山縣和也
2. 発表標題 老化関連疾患の克服による健康寿命の延伸
3. 学会等名 第 70 回日本体質医学会総会 (招待講演)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 清水逸平
2. 発表標題 老化促進分子による加齢同期メカニズムの解明
3. 学会等名 第 41 回日本炎症・再生医学会 (招待講演)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 清水逸平
2. 発表標題 老化促進分子による加齢同期メカニズムの解明
3. 学会等名 第 62 回日本老年医学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 清水逸平
2. 発表標題 老化促進分子による加齢同期メカニズムの解明
3. 学会等名 日本老年医学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 清水逸平
2. 発表標題 老化促進分子を標的とした次世代の心不全治療法開発に向けた取り組み
3. 学会等名 第 257 回日本循環器学会関東甲信越地方会 (招待講演)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 山縣和也
2. 発表標題 膵 $\beta$ 細胞と低酸素ストレス
3. 学会等名 第 58 回日本糖尿病学会九州地方会 (招待講演)
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 青柳共太、山下俊一、西脇知世乃、中道洋子、神吉智丈、今泉美佳
2. 発表標題 膵 $\beta$ 細胞における代償性インスリン過剰分泌破綻の分子機構の解析
3. 学会等名 第 63 回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 出口ハンナ、鈴木佐和子、田中知明、横手幸太郎
2. 発表標題 膵 $\beta$ 細胞分化における Glutaminase 2 の役割解明
3. 学会等名 第 93 回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2020 年

1. 発表者名 Yuxuan Han, Jun Nakayama, Yusuke Hayashi, Seongmoon Jeong, Mitsuru Futakuchi, Emi Ito, Shinya Watanabe, Kentaro Semba
2. 発表標題 Characterization of Luminal High-Osteolytic Breast Cancer Cell Lines
3. 学会等名 2019年度「先端モデル動物支援」成果発表会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tarusawa E. Sanbo M, Hirabayashi T, Yagi Y, Yoshimura Y
2. 発表標題 Establishment of clustered protocadherin-regulated high reciprocal connectivity between clonal cortical neurons requires sensory experience in mouse barrel cortex.
3. 学会等名 Neuro2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Aya Ito-Ishida
2. 発表標題 Understanding Postnatal Neurodevelopmental Disorders from Multiple Perspectives
3. 学会等名 RIKEN CBS Summer Program 2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松本 大地, 大多 茂樹, 南雲 春菜, 藤田 知信, 高橋 聡, 並川 健二郎, 北野 滋久, 山崎 直也, 河上 裕
2. 発表標題 シングルセル RNA シークエンス解析によるメラノーマ患者における PD-1 抗体治療反応性と相関する末梢血 CD8+ T 細胞サブセット
3. 学会等名 第 78 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 及川大輔
2. 発表標題 “まっすぐ” なユビキチン鎖を狙った創薬アプローチ
3. 学会等名 第 9 回 CSJ 化学フェスタ 2019 (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 宮城一仁, 中野悠香, 福田勉, 小野寺玄, 木村正成
2. 発表標題 20 位を改変したアザラメラリン N 誘導体の合成
3. 学会等名 第 56 回化学関連支部合同九州大会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 室井 誠、永澤 生久子、池野 あゆみ、小川 直子、川谷 誠、長田 裕之
2. 発表標題 2次元電気泳動を用いた化合物に相互作用するたんぱく質の解析法（2DE-CETSA）の開発
3. 学会等名 日本農芸化学会 2019 年度大会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 五十嵐 道弘
2. 発表標題 3D analysis of the intracellular structures in growth cones using superresolution microscopy
3. 学会等名 EMBO Molecular neuroscience （国際学会）
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 尾張拓也、三宅牧人、田中宣道、中井 靖、穴井 智、仲川嘉紀、國安弘基、藤本清秀
2. 発表標題 5-Aminolevulinic acid は ミトコンドリア関連活性酸素種およびアポトーシスを介してヒト前立腺癌に放射線増感効果をもたらす
3. 学会等名 第 35 回前立腺シンポジウム
4. 発表年 2019 年



1. 発表者名 Motonaga Y, Ishii A, Kawano H, Onda Y, Niimi T, Miyamoto T, Setoue T, nakamura M, Ohta E, Hirose S.
2. 発表標題 A case of early myoclonic encephalopathy with an SLC27A3 gene mutation
3. 学会等名 15th Asian Oceanian Congress of Child Neurology (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ohmori Iori, Mashimo Tomoji, Ouchida Mamoru, Toyokuni Shinya
2. 発表標題 A novel model rat of chronic kidney disease
3. 学会等名 The 9th Federation of the Asian and Oceanian Physiological Societies Congress (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Dimitar P. Zankov、扇田久和
2. 発表標題 A novel TMEM168 gene mutation in familial Brugada syndrome attenuates Na <sup>+</sup> channel function by modulating Nav1.5 expression.
3. 学会等名 第83回日本循環器学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ageta H, Ageta-Ishihara N, Hitachi K, Onouchi T, Yamaguchi H, Yoshioka Y, Kosaka N, Ide T, Kinoshita M, Ochiya T, Setou M, Tsuchida K.
2. 発表標題 A novel UBL3 modification influences protein sorting to small extracellular vesicles
3. 学会等名 ISEV2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 A. Matsuda, H. Aonuma and S. Kaneko
2. 発表標題 A structural analysis based on kinetic model of trap-jaw in Odontomachus
3. 学会等名 AISM2019(The 7th Asia International Symposium on Mechatronics) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Satomi Chiken, Atsushi Nambu
2. 発表標題 Abnormal information processing through the cortico-basal ganglia pathways is responsible for parkinsonian symptoms
3. 学会等名 Neural Oscillation Conference 2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 渡邊貴樹, 井上秀太郎, 赤松翼, 鈴木穂香, 佐郡 和人, 阿部学, 崎村建司, 上阪直史, 狩野方伸
2. 発表標題 Accelerated climbing fiber synapse elimination in cerebellar Purkinje cells lacking protocadherin 10
3. 学会等名 9th FAOPS (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 小坂優介, 上田(石原)奈津実, 深澤有吾, 見学美根子, 高雄敬三, 宮川剛, 尾藤晴彦, 木下専
2. 発表標題 Activity- and septin-dependent extension of smooth ER into dendritic spines as a synaptic basis of memory consolidation
3. 学会等名 先端モデル動物支援プラットフォーム成果発表会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 上阪直史
2. 発表標題 Activity-dependent synapse elimination in the developing cerebellum
3. 学会等名 9th FAOPS (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Wada S, Yanagida J, Sasase H, Zhang T, Kami H, Domoto M, Li X, Deyama S, Hinoi E, Yamanaka A, Nishitani N, Nagayasu K, Kaneko S, Minami M, Kaneda K
2. 発表標題 Acute restraint stress augments the rewarding effect of cocaine through the activation of $\alpha 1$ adrenoceptors in the medial prefrontal cortex of mice
3. 学会等名 Neuroscience 2019-Society for neuroscience (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yamanaka A
2. 発表標題 Adeno-associated virus vector micro injection into mice brain to reveal function of neural circuitry involved in the regulation of sleep/wakefulness.
3. 学会等名 FAOPS2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Keiko Taguchi, Nanae Osanai, Eriko Naganuma, Thomas W. Kensler, Masayuki Yamamoto
2. 発表標題 Aflatoxin B1 induces fibrosis and cirrhosis in Nrf2 knockout rats
3. 学会等名 58th Annual Meeting of Society of Toxicology (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鈴木利治、後藤直也、林理沙、羽田沙緒里、山本融
2. 発表標題 Alcadein $\alpha$ 欠損マウスにおける APP のアミロイド生成的代謝の促進機構
3. 学会等名 第 38 回日本認知症学会学術集会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 李 惠子、長谷川 純崇
2. 発表標題 Alpha-particle-emitting astatine-211-labeled trastuzumab for targeted cancer cell ablation
3. 学会等名 第 11 回日米合同癌会議 (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Yoshikazu Isomura
2. 発表標題 An exception to contralateral dominance of cerebral cortex - from abstract to concrete -
3. 学会等名 Dynamic Brain Forum (DBF) 1, in The 7th International Congress on Cognitive Neurodynamics (ICCN2019) (Universita di Sassari, Alghero, Italy) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名	Nae Saito, Kazuki Tainaka, Satomi Chiken, Satoshi Hara, Manabu Abe, Meiko Kawamura, Yoko Nabeshima, Yo-ichi Nabeshima, Shun Yamaguchi, Hiroshi Ichinose, Kenji Sakimura, Atsushi Nambu, Toshikuni Sasaoka
2. 発表標題	Analysis of functions of the basal ganglia circuit using dopamine receptor and NMDA receptor mutant mice.
3. 学会等名	神経オシレーションカンファレンス 2019 「ヒューマンネイチャーの理解」
4. 発表年	2019 年

1. 発表者名	Saki Tome, Rei Nagata, Tetsuya Sasaki, Yosuke Takei.
2. 発表標題	Analysis of the effect of IL17A increase on neurodevelopment in ROR $\gamma$ t-overexpression transgenic mice.
3. 学会等名	第 42 回日本神経科学大会・第 62 回日本神経化学会大会 合同大会
4. 発表年	2019 年

1. 発表者名	Tomonaga Ichikawa, Shingo Nakahata, Mitsuru Futakuchi, Kazuhiro Morishita
2. 発表標題	Analysis of the molecular mechanism of metabolism and tumorigenesis through the loss of tumor suppressor gene NDRG2
3. 学会等名	第 78 回日本癌学会
4. 発表年	2019 年

1. 発表者名 Ohta S, Morimoto Y, Tokumitsu A, Sone T, Sakamoto A, Toda M, Kawakami Y, Okano H
2. 発表標題 Analysis of the regulatory mechanism underlying brain tumor-initiating cell proliferation by MIF
3. 学会等名 Neuro2019
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Shimizu Y, Tamada S, Kato M, Hirayama Y, Takeyama Y, Iguchi T, Sadar MD, Nakatani T.
2. 発表標題 Androgen Receptor Splice Variant 7 Drives the Growth of Castration Resistant Prostate Cancer without Being Involved in the Efficacy of Taxane Chemotherapy.
3. 学会等名 Genitourinary Cancers Symposium (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Shimizu Y, Tamada S, Kato M, Hirayama Y, Takeyama Y, Iguchi T, Sadar MD, Nakatani T.
2. 発表標題 Androgen Receptor Splice Variant 7 Drives the Growth of Castration Resistant Prostate Cancer without Being Involved in the Efficacy of Taxane Chemotherapy.
3. 学会等名 第 107 回泌尿器科学会総会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 安藤さえこ、吉本恵里、深町勝巳、松本晴年、酒々井眞澄
2. 発表標題 Anticancer property and mechanisms of action of newly synthesized drugs
3. 学会等名 第 35 回日本毒性病理学会総会及び学術集会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Htun Y, Nakamura S, Nakao Y, Mitsuie T, Morimoto A, Kato I, Koyano K, Yasuda S, Kusaka T.
2. 発表標題 Anti-oxidative potential of hydrogen ventilation in the cerebral cortex of hypoxic-ischemic piglets.
3. 学会等名 第 64 回日本新生児成育医学会・学術集会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 昆 俊亮、中井 一貴、田中 伸也、藤田 恭之
2. 発表標題 APC 遺伝子の欠損による細胞競合の機能変容
3. 学会等名 先端モデル動物支援プラットフォーム成果発表会
4. 発表年 2019 年



1. 発表者名 西川俊夫
2. 発表標題 Aplysiatoxin/oscillatoxin 類の網羅的合成研究
3. 学会等名 新学術領域研究「反応集積化が導く中分子戦略高次生物機能分子の創製」第8回公開成果報告会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 奥野 浩行
2. 発表標題 Arc deficiency causes impairment in memory precision and cognitive switching
3. 学会等名 第42回日本神経科学学会大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Haruhiko Bito, Yuichiro Ishii, Hajime Fujii, Takashi Hayashi, Michiko Okamura, Yayoi Kondo, Manabu Abe, Kenji Sakimura, Hiroyuki Okuno
2. 発表標題 Arc/Arg3.1-driven regulation of activity-dependent AMPA receptor dynamics at active and inactive synapses
3. 学会等名 Neuro2019（第42回日本神経科学大会・第62回日本神経化学会大会）（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 木村賢二, 松本真司, 福井絵里子, 狩野孝, 大瀬尚子, 舟木壮一郎, 南正人, 新谷康, 菊池章
2. 発表標題 Ar14c を標的とした Antisense oligonucleotides の In vitro での効果
3. 学会等名 第 72 回日本胸部外科学会定期学術集会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 木村賢二, 新谷康, 松本真司, 金沢豪, 大和寛幸, 久能英法, 福井絵里子, 神崎隆, 狩野孝, 大瀬尚子, 舟木壮一郎, 南正人, 菊池章
2. 発表標題 Ar14c を標的とした新規肺腺癌治療薬の開発
3. 学会等名 第 36 回日本呼吸器外科学会総会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 木村賢二, 松本真司, 新谷康, 菊池章
2. 発表標題 Ar14c を標的とした新規肺腺癌治療薬の開発
3. 学会等名 第 78 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Hiroki Oguri
2. 発表標題 Artificial assembly lines for divergent synthesis of natural products and their variants
3. 学会等名 The 27th French-Japanese Symposium on Medicinal and Fine Chemistry (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 H. Masai, Y. Kanoh, R. Fukatsu, S. Matsumoto, S. Kobayashi, H. Kato, A. Oji, S. Ito, N. Kakusho, K. Moriyama, I. Hiratani, N. Yoshizawa.
2. 発表標題 Association of Rif1 with nuclear membrane is essential for genome-wide replication timing regulation
3. 学会等名 Cold Spring Harbor Laboratory Meeting EUKARYOTIC DNA REPLICATION& GENOME MAINTENANCE (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Koizumi, S
2. 発表標題 Astrocytes-mediated synapse remodeling and neuropathic pain.
3. 学会等名 8th Asian Pain Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hajime Hirase
2. 発表標題 Astrocytic GPCR Activation in Behaving and Stroke Mice
3. 学会等名 Gordon conference: Glial Biology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 D. Wakita and H. Aonuma
2. 発表標題 Attempt to identify body structure generating a balloon-like rhythmic movement in the green brittle star
3. 学会等名 1st Symposium on Invertebrate Neuroscience (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Iguchi, Y., & Kobayashi, K.
2. 発表標題 Attempts to visualize neuronal activity by striatal cell type during various learning phases of stimulus discrimination.
3. 学会等名 新学術領域研究「人工知能と脳科学」第7回領域会議
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 脇田 大輝、浪花 啓右、早瀬 友美乃、青沼 仁志
2. 発表標題 Autonomous decentralized coordination in the disk of the green brittle Star
3. 学会等名 計測自動制御学会第31回自律分散システムシンポジウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 Autophagy regulates lipid metabolism (Bioenergetics and NAFLD)
3. 学会等名 Asia Pacific Association for Study of Liver (APASL) meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Koizumi, S.
2. 発表標題 Bi-directional network remodeling by reactive astrocytes
3. 学会等名 The 10th IBRO World Congress of Neuroscience (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Koizumi, S
2. 発表標題 Bidirectional regulation of synapse remodeling by reactive astrocytes.
3. 学会等名 FAOPS2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Fujita T, Ihara Y, Yamaguchi H, Hayashi H, Ishii A, Ideguchi H, Inoue T, Yasumoto S, Hirose S.
2. 発表標題 Brain Magnetic Resonance Imaging Abnormalities Associated with Vigabatrin: Two Cases of infantile Spasm.
3. 学会等名 The 20th annual meeting of infantile seizure society (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Dimitar P. Zankov、扇田久和
2. 発表標題 Brugada syndrome-associated novel TMEM168 gene mutation attenuates Na <sup>+</sup> channel function through Nav1.5 degradation.
3. 学会等名 平成30年度先端モデル動物支援プラットフォーム成果発表会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 伊藤 謙治
2. 発表標題 Cancer drug screening based on refractoriness of cancer cell reprogramming
3. 学会等名 Cellular Plasticity: Reprogramming, Regeneration and Metaplasia (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 伊藤謙治、山田泰広
2. 発表標題 Cancer drug screening based on refractoriness of cancer cell reprogramming
3. 学会等名 第 92 回日本生化学会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 西村建徳、Chen Xiaoxi、Lee Jin、曾我朋義、東條有伸、後藤典子
2. 発表標題 Cancer treatments targeting mitochondrial enzymes of one-carbon metabolism
3. 学会等名 第 78 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 C. Motozono, HS. Ismanto, K. Shibata, and S. Yamasaki.
2. 発表標題 Capturing and identification of MR1-binding molecules using unfolded MR1 protein.
3. 学会等名 The 48th Annual Meeting of the Japanese Society for Immunology
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高田則雄
2. 発表標題 Causal evidence of BOLD-fMRI signal generation by astrocytes without neuronal activation
3. 学会等名 The 2nd FRIS-TFC Joint Symposium: Unlocking the Brain from Engineering Approaches (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hisanori Takenobu, Miki Ohira, Ryuichi Sugino, Koji Chikaraishi, Ryu Okada, Kyosuke Mukae, Masayuki Haruta, Takehiko Kamiyo 他
2. 発表標題 CDX1 regulates stemness and proliferation of neuroblastoma by MYC pathway modulation
3. 学会等名 The 61st Annual Meeting of the Japanese Society of Pediatric Hematology/Oncology
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 服部奈緒子、木村佳那、飯田直子、今井俊夫、小泉美帆、本田浩章、牛島俊和
2. 発表標題 Cdy12 is a chromodomain protein involved in pluripotency of stem cells
3. 学会等名 Post-A3 Meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ryohei Katayama, Bo Gong, Koutaroh Okada, Makoto Nishio, Naoya Fujita
2. 発表標題 Cellular diversity by genetic and non-genetic alteration in cancer induces acquired resistance in NSCLC
3. 学会等名 11th AACR-JCA Joint Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Fuminori Tokunaga
2. 発表標題 Cellular mechanism of LUBAC-mediated NF- $\kappa$ B activation pathway
3. 学会等名 1st International Symposium on Interdisciplinary Approaches to Integrative Understanding of Biological Signaling Networks (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nakamura, K.
2. 発表標題 Central neural mechanisms to defend life from environmental stressors
3. 学会等名 Visitng Fellows Lecture of the Institute of Advanced Studies at University of Bologna (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西村建徳、曾我朋義、東條有伸、後藤典子
2. 発表標題 Changes of stem cell related phenotypes under inhibition of enzymes of One-carbon metabolism
3. 学会等名 第7回がんと代謝研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kimihiro Mori, Kae Nakamura, Shingo Hashimoto, Masanori Wakida, Kimitaka Hase
2. 発表標題 Characteristics of subjective visual vertical in patients with unilateral spatial neglect
3. 学会等名 The 42nd annual meeting of the Japan Neuroscience Society
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ryoko Komatsu, Ryo Tanifuji, Takamitsu Honda, Ryutaro Asano, Hiroki Oguri
2. 発表標題 Chemo-enzymatic Synthesis of Saframycins : Expansion of substrate tolerance
3. 学会等名 第99 日本化学会春季年会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Ryo Tanifuji
2. 発表標題 Chemo-enzymatic total synthesis of tetrahydroisoquinoline alkaloids exhibiting potent DNA alkylating ability
3. 学会等名 The 27th French-Japanese Symposium on Medicinal and Fine Chemistry (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Iguchi, Y., Kato, S., Nishizawa, K., & Kobayashi, K.
2. 発表標題 Chemogenetic inhibition of ventral tegmental area dopamine neurons reveals multidimensional roles in motivated behavior reinforced by natural reward.
3. 学会等名 The 42th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society (Neuro2019)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 石田綾
2. 発表標題 Clarification of connectivity between cerebellum and prefrontal cortex
3. 学会等名 新学術領域「脳情報動態」領域会議
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takaki Watanabe, Yurie Rai, Honoka Suzuki, Tsubasa Akamatsu, Naofumi Uesaka, Masanobu Kano
2. 発表標題 Climbing fiber synapse elimination in aldolase C-positive Purkinje cells is delayed compared to aldolase C-positive Purkinje cells and requires phospholipase C beta3 in the developmental cerebellum
3. 学会等名 NEURO2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masami Ishido
2. 発表標題 CNV in silver nanoparticle-primed hyperactive rats
3. 学会等名 Eurotox 2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masami Ishido
2. 発表標題 CNV in silver nanoparticle-primed hyperactive rats
3. 学会等名 第 42 回日本神経科学会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Masami Ishido
2. 発表標題 CNV in silver nanoparticle-primed hyperactive rats
3. 学会等名 第 92 回日本生化学会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Masaharu Yasuda, Yasumasa Ueda, Kae Nakamura
2. 発表標題 Combined representation of emotional arousal and decision signals in primate dorsal raphe nucleus.
3. 学会等名 The 42nd annual meeting of the Japan Neuroscience Society
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 M. Yasuda., Y. Ueda., K. Nakamura.
2. 発表標題 Combined representation of emotional salience and decision signals in primate dorsal raphe nucleus.
3. 学会等名 Society for Neuroscience (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Taisuke Miyazaki, Miwako Yamasaki, Kenji F. Tanaka, Masahiko Watanabe
2. 発表標題 Compartmentalized input-output organization of cerebellar Lugaro cells, as revealed using knockin-mediated yellow cameleon reporter mice
3. 学会等名 第42回日本神経科学学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤野智大
2. 発表標題 Comprehensive analysis of secondary mutation as resistance mechanism to seven MET-TKIs for MET exon 14 skipping in vitro
3. 学会等名 第20回世界肺癌学会 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroki Oguri
2. 発表標題 Concise and divergent access to alkaloidal scaffolds by integrating organic and biogenetic synthesis
3. 学会等名 The Fourth A3 Roundtable Meeting on Chemical Probe Research Hub (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hirok, Kubota
2. 発表標題 Concise and Systematic Synthesis of Skeletally Diverse Indole Alkaloidal Scaffolds Bearing a Michael Acceptor Moiety
3. 学会等名 The Third A3 Young Scientist & Young PI Meeting
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroki Kubota, Haruki Mizoguchi, Hiroki Oguri
2. 発表標題 Concise and Systematic Synthesis of Skeletally Diverse Indole Alkaloidal Scaffolds Bearing a Michael Acceptor Moiety
3. 学会等名 第99 日本化学会春季年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroki Oguri
2. 発表標題 Concise Synthesis of Natural Products and their Variants: a Chemoenzymatic and an Element Implantation Approach
3. 学会等名 The14th International Conference on Cutting-Edge Organic Chemistry in Asia (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Keiko Taguchi, Nanae Osanai, Yuri Satoh, Tomoji Mashimo, Masayuki Yamamoto
2. 発表標題 Constitutive Nrf2 Activation in Keap1 Knockout Rats Causes Jaundice and Polyurea
3. 学会等名 The Environmental Response V/ 17th JBS Biofrontier Symposium (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tetsuya Sasaki
2. 発表標題 Constructive understanding of abnormality of primate-specific synaptic reorganization in psychiatric disorders.
3. 学会等名 The 2nd Meeting of Scientific Research on Innovative Areas “Multiscale Brain” (招待講演)
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 Nanaho Fukuda, Piergiorgio Percipalle, Kevin Czaplinski, Yasumasa Ishida, Tomoyuki Fukuda, and Toshikuni Sasaoka
2. 発表標題 Control of mRNA translation by hnRNP A/B variants
3. 学会等名 第8回生理研-霊長研-脳研合同シンポジウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 平尾 敦
2. 発表標題 Critical regulation of metabolites for hematopoietic homeostasis and leukemogenesis
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会年会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 平尾 敦
2. 発表標題 Critical role of nutrient signals in hematopoietic stemness and malignancy
3. 学会等名 第92回日本生化学会大会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 平尾 敦
2. 発表標題 Critical roles of gut microbiota in self-renewal of hematopoietic stem cells and leukemogenesis
3. 学会等名 2nd Japan-German symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Seimiya H
2. 発表標題 Crossroads of telomere biology and cancer drug discovery
3. 学会等名 第78回日本癌学会学術総会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 笹岡 俊邦、齊藤 奈英、知見 聡美、佐藤 朝子、大久保 直、福田 七穂、阿部 学、川村 名子、小田 佳奈子、佐藤 俊哉、藤澤 信義、山口 瞬、田井中 一貴、崎村 建司、南部 篤
2. 発表標題 D1/D2 ドーパミン受容体コンディショナル発現マウスによる運動制御機構の解明
3. 学会等名 平成30年度先端モデル動物支援プラットフォーム 成果発表会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 齊藤 奈英, 大久保 朝子, 阿部 学, 川村 名子, 山口 瞬, 一瀬 宏, 崎村 建司, 田井中 一貴, 知見 聡美, 南部 篤, 笹岡 俊邦
2. 発表標題 D1 ドーパミン受容体コンディショナル発現マウスを用いたドーパミンによる運動制御機構の解明
3. 学会等名 第 42 回神経科学大会 第 62 回日本神経化学学会大会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Sassa T, Isokawa M, Kihara A
2. 発表標題 Decreases in chain lengths and level of myelin sphingolipids are associated with hypomyelination and deficient motor coordination in mice lacking fatty acid elongase ELOVL1
3. 学会等名 第 42 回日本神経科学大会／第 62 回日本神経化学学会大会 (NEURO2019) (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Norihiro Takahashi
2. 発表標題 Design and Modular De Novo Synthesis of 6-Aza-artemisinins
3. 学会等名 The 27th French-Japanese Symposium on Medicinal and Fine Chemistry (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Nana Tsuchiya, Yunosuke Ryu, Takahiro Muraoka, Hiroki Oguri
2. 発表標題 Design and Synthesis of C <sub>2</sub> -Symmetric Alkaloidal Chiral Amphiphiles and Configurational Effects on Self-Assembly
3. 学会等名 第99 日本化学会春季年会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Hikari Koi, Norihito Takahashi, Yasufumi; Fuchi, Satoru Karasawa, Hiroki Oguri
2. 発表標題 Design, synthesis, temperature dependent self-assembly of aza-artemisinins
3. 学会等名 第99 日本化学会春季年会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Osanai, M., Ohkawa, N., Iguchi, Y., Yokose, J., Nakayama, S., Inokuchi, K., Kobayashi, K., Haga, Y., & Mushiake, H.
2. 発表標題 Development and application of the multimodal ultra-thin endoscope for analyzing neuronal circuits in the deep brain region.
3. 学会等名 Neural Oscillation Conference 2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Ikuko Nagasawa, Makoto Muroi, Ayumi Ikeno, Naoko Ogawa, Makoto Kawatani, Hiroyuki Osada
2. 発表標題 Development of 2DE-CETSA as a novel platform by 2- dimensional electrophoresis based- proteomic analysis for target identification of small molecules
3. 学会等名 The 1st International Symposium on Chemical Communication (ISCC2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroki Oguri
2. 発表標題 Development of divergent synthetic processes to explore frontiers in natural product chemistry
3. 学会等名 Let' s Leap! Challenges in Organic Chemistry (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tamio Furuse, Ikuko Yamada, Tomoko Kushida, Ikuo Miura, Shinya Ayabe, Atsushi Yoshiki, Masaru Tamura
2. 発表標題 Development of DOHaD models using mutant mice with one carbon-metabolism related genes
3. 学会等名 2019 AMMRA & AMPC meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sakamoto M, Sudo Y
2. 発表標題 Development of innovative method for an all-optical electrophysiology to measure and manipulate neural activity
3. 学会等名 International Symposium of Brain/MINDS ISBM2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yue Ma, Yuki Wakabayashi, Ryota Saito, Kazuo Nagasawa
2. 発表標題 Development of light-up-type probes for detection of G-quadruplex
3. 学会等名 The 46th International Symposium on Nucleic Acids Chemistry (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kyosuke Mukae, Hisanori Takenobu, Junya Toguchida, Kenji Osafune, Tatsutoshi Nakahata, Takehiko Kamiyo
2. 発表標題 Development of neuroblastoma model from iPSC-based neural crest cells
3. 学会等名 第78回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kyosuke Mukae, Ryuichi Sugino1, Miki Ohira, Masayuki Haruta, Junya Toguchida, Kenji Osafune, Tatsutoshi Nakahata, Takehiko Kamiyo 他
2. 発表標題 Development of neuroblastoma model from iPSC-based neural crest cells
3. 学会等名 The 78th Annual Meetings of the Japanese Cancer Association
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Naoya Matsuoka, Hikari Koi, Norihito Takahashi, BONEPALLY, Karunakar, Reddy, Hiroki Oguri
2. 発表標題 Development of the Second Generation Synthetic Process of Aza-artemisinin
3. 学会等名 第99 日本化学会春季年会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Jinmin Li, Fumihiro Shutoh, Tetsuya Sasaki, Yosuke Takei.
2. 発表標題 Developmental defects of serotonergic neurons induced by maternal immune activation.
3. 学会等名 Tsukuba Conference (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Inagaki R, Sasagawa M, Homma N, Osanai M
2. 発表標題 Differential characteristics of D1 and D2-type medium spiny neuron via cortico-striatal stimulation
3. 学会等名 9th FAOPS Congress (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Inagaki R, Sasagawa M, Osanai M
2. 発表標題 Differential modulation of striatal medium spiny neuron via the cortico-striatal stimulation.
3. 学会等名 第 42 回日本神経科学大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 米野雅大、清水昭男、Xiaoling Pang、扇田久和
2. 発表標題 Dipeptidyl peptidase III による II 型糖尿病モデルマウスの心・腎臓機能低下抑制効果
3. 学会等名 先端モデル動物支援プラットフォーム若手支援技術講習会
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 Yoshida T, Imai-Tabata A, Yamagata A, Izumi H, Shiroshima T, Kim J, Fukata M, Takao K, Mori H, S. Fukai
2. 発表標題 Distinct roles of canonical and non-canonical synaptogenic signaling of neuroligin 3
3. 学会等名 NEURO2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sadaiwa Yorimoto; Yoshiaki Tsunekawa, Tomoya Ichino, Akira Tsubouchi, Satoshi Maeda, Hiroki Oguri
2. 発表標題 Divergent Synthesis of Skeletally Distinct Alkaloidal Scaffolds via Zn(OTf) <sub>2</sub> -mediated Alkyne Activation
3. 学会等名 第99 日本化学会春季年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 菊池章、佐田遼太、木村公一、山本英樹.
2. 発表標題 DKK1 signal-dependent cellular functions through two receptors, LRP6 and CKAP4.
3. 学会等名 第71回日本細胞生物学会大会 合同年次大会・第19回日本蛋白質科学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Akira Kikuchi.
2. 発表標題 DKK1-CKAP4 axis: A novel cancer signaling and its implications in clinical use.
3. 学会等名 The 1st OIST-OU Joint Symposium-Cell Biology and Immunology (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 谷藤 涼
2. 発表標題 DNA アルキル化能を有するテトラヒドロイソキノリンアルカロイド群の化学-酵素ハイブリッド合成
3. 学会等名 核酸化学若手フォーラム 2019 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 塩崎 ゆかり、久保田 裕二、武川 睦寛
2. 発表標題 DNA 損傷によるストレス応答 MAPK 経路活性化機構の解析
3. 学会等名 第 42 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名
2. 正井 久雄、加納 豊、田中 卓、吉沢 直子、伊藤 さゆり、森山 賢治、加藤 宏幸、井口 智弘、松本 清治、Zhiying You、深津 理乃、覺正 直子、鷺 朋子、小林 駿介、楊 基駿、堀 かりん、高沢 佳芳、富樫 育子、上野 勝、長澤 和夫、Yue Ma
2. 発表標題
DNA 複製の正と負の制御に関わるグアニン4重鎖構造 (In search of a universal mode of DNA replication)
3. 学会等名
第42回 日本分子生物学会年会 ワークショップ『染色体 DNA 複製研究のニューフロンティア』 (招待講演)
4. 発表年
2019 年

1. 発表者名
Tatsunori Nishimura, Asuka Nakata, Tomoyoshi Soga, Arinobu Tojo, Noriko Gotoh, et al.
2. 発表標題
Downregulation of MTHFD2, an enzyme of one-carbon metabolism in mitochondria, inhibits tumor growth and cancer stem-like properties.
3. 学会等名
11th AACR-JCA Joint Conference on Breakthroughs in Cancer Research: From Biology to Precision Medicine (国際学会)
4. 発表年
2019 年

1. 発表者名
Kishi S, Honoki K, Tsukamoto S, Fujii H, Kondo Y, Tanaka Y, Kuniyasu H
2. 発表標題
Dual inhibition of distinct metabolic features targets osteosarcoma stem cells
3. 学会等名
American Association for Cancer Research Annual Meeting 2019 (国際学会)
4. 発表年
2019 年

1. 発表者名 與五沢里美、吉田清嗣
2. 発表標題 DYRK2 欠損マウスは肺低形成により呼吸不全となり、出生直後致死となる
3. 学会等名 平成 30 年度 先端モデル動物支援プラットフォーム 成果発表会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Naofumi Ito, Mohammad Asrafuzzaman Riyadh, Ayako Ito, Shah Adil Ishtiyag Ahmad, Mohammad Badrul Anam, Kunimasa Ohta
2. 発表標題 Dysfunction of Tsukushi leads to hydrocephalus by altering neurogenesis in the subventricular zone.
3. 学会等名 Molecular neurodegeneration joint symposium (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 伊藤尚文, Shah Adil Ishtiyag Ahmad, Mohammad Badrul Anam, 太田訓正
2. 発表標題 Dysfunction of Tsukushi leads to hydrocephalus by altering neurogenesis in the subventricular zone.
3. 学会等名 Joint Symposium with Molecular Neurodegeneration:
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Htun Y, Nakamura S, Mitsuie T, Nakao Y, Arioka M, Morimoto A, Kato I, Kondo S, Konishi Y, Koyano K, Yasuda S, Iwase T, Kusaka T.
2. 発表標題 Effect of hydrogen ventilation on aEEG findings in neonatal hypoxia-ischemia piglets.
3. 学会等名 第 122 回日本小児科学会学術集会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Htun Y, Nakamura S, Nakao Y, Mitsuie T, Morimoto A, Kato I, Koyano K, Yasuda S, Miki T, Ueno M, Kusaka T.
2. 発表標題 Effectiveness of hydrogen ventilation in hypoxic-ischemic neonatal piglets.
3. 学会等名 第 2 回四国地区 4 大学大学院合同研究発表会,
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Tetsuo Mashima, Risa Iwasaki, Ryuhei Kawakami, Koshi Kumagai, Toshiro Migita, Takeshi Sano, Kensei Yamaguchi, HiroyukiSeimiya
2. 発表標題 EGFR inhibitors suppress drug-tolerant CD44v+ gastric cancer cell growth and enhance the antitumor effect of irinotecan
3. 学会等名 第 78 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 馬島哲夫 , 岩崎里紗, 川上隆兵, 清宮啓之
2. 発表標題 EGFR 阻害剤は胃がん薬剤抵抗性に寄与する CD44v 発現細胞の増殖を抑制し、イリノテカンの治療効果を増強する
3. 学会等名 第 23 回日本がん分子標的治療学会学術集会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Toshikuni Sasaoka, Nae Saito, Satomi Chiken, Manabu Abe, Yo-ichi Nabeshima, Kazuki Tainaka, Kenji Sakimura, Atsushi Nambu
2. 発表標題 Elucidation of motor control mechanism by the striatum using genetically modified mice harboring tetracycline-controlled expression of D1/D2 dopamine receptors and activated NMDA receptors in the striatum
3. 学会等名 第 42 回神経科学大会 第 62 回日本神経化学会大会 サテライトシンポジウム (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 齊藤奈英、知見聡美、大久保朝子、阿部学、川村名子、山口瞬、崎村建司、田井中一貴、南部篤、笹岡俊邦
2. 発表標題 Elucidation of motor control mechanism using genetically modified mice harboring tetracycline regulated expression of D1/D2 dopamine receptors
3. 学会等名 第 8 回生理研-霊長研-脳研合同シンポジウム
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 大江 星菜、久保田 裕二、武川 睦寛
2. 発表標題 Elucidation of the regulatory mechanism for transcription elongation by a novel ERK substrate
3. 学会等名 第 92 回日本生化学会大会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 大江 星菜、久保田 裕二、武川 睦寛
2. 発表標題 Elucidation of the regulatory mechanism for transcription elongation by a novel ERK substrate
3. 学会等名 令和元年医科学研究所研究成果発表会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Iguchi, Y.
2. 発表標題 Enhanced retrieval of learned emotional memory by chemogenetic activation of locus coeruleus noradrenergic neurons.
3. 学会等名 The 19th Annual Meeting of JSNP (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Toshiharu Suzuki, Naoya Goto, Haruka Saito, Saori Hata, Tohru Yamamoto
2. 発表標題 Enhanced $\beta$ - and $\beta'$ -cleavages of APP in Alcadin $\alpha$ knockout mouse brain.
3. 学会等名 Alzheimer's Association International Conference 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 南 敬
2. 発表標題 Epigenetic modifier regulates accurate transcription on the bivalent histone marked angiogenic genes in endothelium
3. 学会等名 Cell Symposia (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tetsuhisa Otani and Mikio Furuse
2. 発表標題 Epithelial barrier homeostasis by cell competition.
3. 学会等名 52nd Annual meeting of the Japanese Society of Developmental Biologists
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 清水昭男、Mohammad Khusni Bin Ahmat Amin、佐藤朗、扇田久和
2. 発表標題 Epithelial membrane protein 1 は Rac1 を活性化してがん細胞の遊走を促進させがんの浸潤・転移を促進する
3. 学会等名 日本生化学会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Satoshi Kida
2. 発表標題 Erasure of contextual fear memory by inactivation of hippocampal engram
3. 学会等名 HEBB 70 Meeting (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 川瀧 紗英子、久保田 裕二、武川 睦寛
2. 発表標題 ERK 経路とストレス応答 MAPK 経路のクロストーク機構の解明
3. 学会等名 第 42 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 高木 祐輔、久保田 裕二、高橋 宏隆、澤崎 達也、武川 睦寛
2. 発表標題 ERK 経路の異常活性化により発現誘導される新規遺伝子の同定および機能解析
3. 学会等名 新学術領域研究「数理シグナル」 第3回若手ワークショップ
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高木 祐輔、久保田 裕二、武川 睦寛
2. 発表標題 ERK 経路の異常活性化により発現誘導される新規遺伝子の同定および機能解析
3. 学会等名 新学術領域研究「数理シグナル」 領域推進会議
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高木 祐輔、久保田 裕二、高橋 宏隆、澤崎 達也、武川 睦寛
2. 発表標題 ERK 経路の異常活性化により発現誘導される新規遺伝子の同定および機能解析
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yuxuan Han, Jun Nakayama, Mitsuru Futakuchi, Emi Ito, Shinya Watanabe, Kentaro Semba
2. 発表標題 Establishment and Characterization of Luminal High-Osteolytic Breast Cancer Cell Lines Using Intra-Caudal Arterial Injection
3. 学会等名 第 78 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Misa Imai, Yasutaka Fukuda, Teppei Taguchi, Kyohei Misawa, Honglian Tong, Kimi Araki, Motomi Osato, Akimichi Ohsaka, Marito Araki, Norio Komatsu
2. 発表標題 Establishment of a mouse model for mutant CALR myeloproliferative neoplasms
3. 学会等名 第 81 回日本血液学会学術集会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Katano, T., Konno, K., Nishida, K., Watanabe, M., Sakimura, K., Ito, S. and Kobayashi, T.
2. 発表標題 Expression analysis of BEGAIN mRNA and protein in the nervous systems.
3. 学会等名 49th annual meeting of the Society for Neuroscience. (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Kohtarou Konno, Chihiro Nakamoto, Kenji Sakimura, Masanobu Kano, Masahiko Watanabe.
2. 発表標題 Expression mapping, quantification, and complex formation of GluD1 and GluD2 glutamate receptors in adult mouse brain.
3. 学会等名 IBRO2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Toyokuni S
2. 発表標題 Ferroptosis in cancer research: biological significance of ferroptosis in health and disease.
3. 学会等名 10th International Conference on Nutrition and Physical Activity in Aging, Obesity and Cancer (NAPA2019) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tomoaki Kinjo, Kenta Terai, Shoichiro Horita, Norimichi Nomura, Kenta Sumiyama, Kaori Togashi, So Iwata, Michiyuki Matsuda
2. 発表標題 Förster resonance energy transfer-assisted photoactivation of CRY2 for the optical control of protein interactions by two-photon excitation microscopy
3. 学会等名 Next Generation Protein Therapeutics & Bioconjugates Summit (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takahiro Mori, Iori Morita, Fei He, Ikuro Abe
2. 発表標題 Functional analysis of C-N bond forming P450 enzyme TleB
3. 学会等名 2nd China-Japanese Joint Symposium on the Biosynthesis of Natural Products (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田中泰圭、石川充、日暮憲道、岡野栄之、廣瀬伸一
2. 発表標題 Functional assay using microelectrode array system (MEA) for neurons derived from iPSCs from a patient with Dravet syndrome.
3. 学会等名 第53回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Naoya Itokawa, Motohiko Oshima, Yaeko Nakajima, Satoshi Yamazaki, and Atsushi Iwama
2. 発表標題 Functional defect of polycomb repressive complex 2 in hematopoietic stem cells with aging
3. 学会等名 48th Annual Scientific Meeting of International Society for Experimental Hematology (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yasushi Okamura
2. 発表標題 Functional role of VSP in mouse sperm through its regulation of phosphoinositide distribution.
3. 学会等名 The 7th International Ion Channel Conference (IICC-7) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小田亮平, 辻圭弥, 福田勉, 小野寺玄, 木村正成
2. 発表標題 F環部改変ラメラリンN誘導体合成法の開発
3. 学会等名 第56回化学関連支部合同九州大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤原和之、柿崎利和、Jiang Weiru、宮田茂雄、須藤貴史、齋藤繁、山田一夫、一谷幸男、梶田裕貴、大城朝一、虫明元、渡邊雅彦、宮坂佳樹、真下知士、安田浩樹、柳川右千夫
2. 発表標題 GAD67 ノックアウトラットの認知機能障害
3. 学会等名 第41回日本生物学的精神医学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 櫻井 瑛輝      伏見 尚晃      花岡 和則      渡辺 大介
2. 発表標題 Generation of the conditional-rescue transgenic mice that can regulate rescue-gene expression in the null mutant mice background.
3. 学会等名 日本分子生物学会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Tetsuhisa Otani, Thanh Phuong Nguyen, and Mikio Furuse
2. 発表標題 Genetic dissection of the structural and functional organization of tight junctions.
3. 学会等名 Gordon Research Conference on Cell Contact and Adhesion      (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 高祖秀登
2. 発表標題 Genome wide screen for the genes involved in brain tumor formation
3. 学会等名 先端モデル動物支援プラットフォーム成果発表会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Iwasaki S
2. 発表標題 Genome-wide survey of ribosome collision
3. 学会等名 The 42th Annual Meeting of The Molecular Biology Society of Japan (MBSJ 2019) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Koizumi, S.
2. 発表標題 Glial cells as a therapeutic target for anti-depressants.
3. 学会等名 第6回アジア神経精神薬理学会 ( (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Koizumi, S
2. 発表標題 Glial phagocytic clearance in health and disease.
3. 学会等名 ISN-ASNMeeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 Koizumi, S
2. 発表標題 Glial purinergic signals as a target for antidepressants
3. 学会等名 第 92 回日本薬理学会年会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Koizmi, S.
2. 発表標題 Heterogeneity of astrocytes in synapse remodeling
3. 学会等名 NEURO2019
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Satoshi Kida
2. 発表標題 Hippocampal clock regulates memory retrieval via Dopamine and PKA-induced GluA1 phosphorylation
3. 学会等名 AsCNP (第 6 回アジア神経精神薬理学会大会) (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Satoshi Kida
2. 発表標題 Hippocampal clock regulates memory retrieval via Dopamine and PKA-induced GluA1 phosphorylation
3. 学会等名 Inaugural meeting of Chinese Society of Learning and Memory (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 南 敬
2. 発表標題 Homeostasis in NFAT-DSCR-1 signaling is critical for initial epigenetic conversion and the following proper vessel formation
3. 学会等名 Joint Angiogenesis Meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 塩田正之、田中昌子、鰐淵英機、徳永文稔
2. 発表標題 Hsp72 によるがん細胞遊走制御
3. 学会等名 第14回日本臨床ストレス応答学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 長谷川寛雄（発表代表者・責任発表者）、斎藤益満（研究分担者）
2. 発表標題 HTLV-1 感染におけるモノクロナリティと挿入部位を同定する新しい検査法
3. 学会等名 第 78 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Kaori Ishikawa, Satoshi Yamamoto, Satoko Hattori, Naoya Nishimura, Haruna Tani, Hirokazu Matsumoto, Tsuyoshi Miyakawa, and Kazuto Nakada
2. 発表標題 Human neurodegenerative disease-like phenotypes induced by acquired expression of mutant MFN2 in mice.
3. 学会等名 The 16th Conference of Asian Society for Mitochondrial Research and Medicine [ASMRM] and The 19th Conference of Japan Society for Mitochondrial Research and Medicine [J-mit]（国際学会）
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Shuji Wakatsuki, Yuka Ujiie, Toshiyuki Araki
2. 発表標題 Hypoxia induced factor 1 $\alpha$ regulates Schwann cell differentiation in peripheral nerves.
3. 学会等名 24th Annual Meeting of Japan Glia
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Daisuke Oikawa, Ken Katsuya, Kazuya Hanada, Shinji Sakamoto, Fuminori Tokunaga
2. 発表標題 Identification and characterization of small-molecule LUBAC inhibitors, HOIPINs
3. 学会等名 1st International Symposium on Interdisciplinary Approaches to Integrative Understanding of Biological Signaling Networks (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 服部奈緒子、木村佳那、飯田直子、今井俊夫、小泉美帆、本田浩章、牛島俊和
2. 発表標題 Identification of a chromodomain protein, Cdyl2, involved in pluripotency of stem cells
3. 学会等名 Abcam Epigenetics Conference and 14th Asia Epigenome Meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 上野博夫
2. 発表標題 Identification of adult stem cells by the multicolor lineage tracing and the sc RNAseq methods
3. 学会等名 第78回日本癌学会学術総会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kazuhiro Okumura, Megumi Saito, Eriko Isogai, Yuichi Wakabayashi
2. 発表標題 Identification of responsible genes for Stmm loci conferring resistance to chemically induced skin tumors
3. 学会等名 第 78 回日本癌学会学術総会 (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 安達貴弘、渡部太郎、永石宇司、渡邊 守、烏山 一、吉川宗一郎
2. 発表標題 IgA deficiency causes spontaneous enteritis
3. 学会等名 第 48 回日本免疫学会学術集会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Takahiro Adachi, Taro Watabe, Takashi Nagaishi, Mamoru Watanabe, Hajime Karasuyama, SoichiroYoshikawa
2. 発表標題 IgA-deficiency causes spontaneous enteritis
3. 学会等名 日本免疫学会 第 48 回学術集会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Takahiro Adachi, Taro Watabe, Takashi Nagaishi, Mamoru Watanabe, Hajime Karasuyama, Soichiro Yoshikawa
2. 発表標題 IgA-deficiency causes spontaneous enteritis
3. 学会等名 第 48 回日本免疫学会学術集会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 富田俊維、稲葉一穂、遠藤治、関本征史
2. 発表標題 IGF-IR シグナル阻害を介した AhR 活性化の抑制
3. 学会等名 第 46 回日本毒性学会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Masayuki Sakamoto
2. 発表標題 Imaging voltage in dendritic spines with genetically encoded indicators.
3. 学会等名 IBRO 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 倉橋宏和、沼本真吾、奥村彰久、石井敦士、廣瀬伸一
2. 発表標題 Immunological profiles of Dravet syndrome.
3. 学会等名 第 53 回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Abe Y, Ikegawa N, Niikura T, Muramatsu K, Yamada K, Hashimoto T, Goda W, Yoshida K, Hattori S, Miyakawa T, Tanaka K, Iwatsubo T, Hata J, Yasui M et al.
2. 発表標題 Implication of water channel aquaporin-4 in Alzheimer' s disease
3. 学会等名 The 10th APRU Population Aging Conference (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 當銘幸貴、永田怜、佐々木哲也、高橋智、武井陽介
2. 発表標題 Increased level of maternal ROR $\gamma$ t enhances effect of poly(I:C) to induce fetal loss
3. 学会等名 4th Annual Anatomy Group Meeting
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Nobuyuki Sakayori, Oki Higuchi, Ryoji Fukabori, Yoshio Iguchi, Susumu Setogawa, Takahiro Eitsuka, Teruo Miyazawa, Kazuto Kobayashi
2. 発表標題 Innately induced palatable feeding by dietary imbalance of essential fatty acids.
3. 学会等名 NEURO2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sakayori, N., Higuchi, O., Fukabori, R. Iguchi, Y., Setogawa, S., Eitsuka, T., Miyazawa, T., & Kobayashi, K.
2. 発表標題 Innately induced palatable feeding by dietary imbalance of essential fatty acids.
3. 学会等名 The 42th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society (Neuro2019)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 千葉惇、守田和紀、生塩研一、稲瀬正彦
2. 発表標題 Interval timing of visual and auditory cues for duration discrimination in monkey prefrontal cortex
3. 学会等名 FAOPS2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 Hiroyuki Okuno
2. 発表標題 Inverse synaptic tagging of Arc and cognitive refinement processes
3. 学会等名 14th International Congress of the Polish Neuroscience Society (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kimura R, Yoshimura Y
2. 発表標題 Involvement of low contrast-preferring neurons in an orientation discrimination task in rat primary visual cortex.
3. 学会等名 The 9th Okazaki-Tuebingen-Beijing Joint Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kimura R, Yoshimura Y
2. 発表標題 Involvement of neurons preferring low-contrast visual stimuli in an orientation discrimination task in rat primary visual cortex.
3. 学会等名 Japan-UK Neuroscience Symposium 2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Eri Takeuchi, Daisuke Yamada, Akiyoshi Saitoh, Masayuki Itoh, Takashi Hayashi, Mitsuhiko Yamada, Keiji Wada, Masayuki Sekiguchi
2. 発表標題 Involvement of the ventral tegmental area-nucleus accumbens dopaminergic systems in antidepressant-like action of omega-3 polyunsaturated fatty acid-rich diets
3. 学会等名 Neuro2019 (第42回日本神経科学大会・第62回日本神経化学会大会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kimura R, Yoshimura Y
2. 発表標題 Involvement of V1 neurons preferring low-contrast stimuli in difficult orientation discrimination.
3. 学会等名 9th FAOPS (the 9th Federation of the Asian and Oceanian Physiological Societies Congress) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田口恵子、小山内七重、佐藤由莉、真下知士、山本雅之
2. 発表標題 Keap1 欠失ラットは Nrf2 に依存して重篤な肝障害を引き起こす
3. 学会等名 第46回日本毒性学会学術年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田口恵子、小山内七重、佐藤由莉、宮坂佳樹、真下知士、山本雅之
2. 発表標題 Keap1 欠失ラットは転写因子 Nrf2 の活性化により重篤な肝障害を引き起こす
3. 学会等名 平成 30 年度先端モデル動物支援プラットフォーム成果発表会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 立田咲百合、金井凜、鬼頭昭吉、竹内優斗、阿部真土
2. 発表標題 KLF4 によるプロテアーゼ発現制御機構の解析
3. 学会等名 第 12 回大阪大学医学系若手フォーラム
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 竹内優斗、藤川順司、立田咲百合、阿部真土
2. 発表標題 KLF4 は頭頸部正常発生に必須である
3. 学会等名 第 12 回大阪大学医学系若手フォーラム
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Akihiro Mouri, Yuko Mori, Kazuo Kunisawa, Mami Hirakawa, Hisayoshi Kubota, Moe Niijima, Yasuko Yamamoto, Toshitaka Nabeshima, Kuniaki Saito
2. 発表標題 Kynurenine 3-monooxygenase regulates expression of depression-like behavior via enhanced antagonism of $\alpha 7$ nicotinic acetylcholine receptor by kynurenic acid
3. 学会等名 AsCNP (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Ikuko Yamamoto, Michiko Sugimoto, Kimi Araki, Yu Suzuki, Takehiko Kobayashi, Shinichi Nakagawa
2. 発表標題 Lack of small-rodent specific 4.5SH cluster leads to embryonic lethality
3. 学会等名 第 21 回日本 RNA 学会年会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Shogo Sasaki, Yue Ma, Kazuo Nagasawa
2. 発表標題 Linear type hexaoxazole as a G-quadruplex ligand for selective anti-parallel topology
3. 学会等名 CISNAC2019 (Commemorative International Symposium of the Japan Society of Nucleic Acids Chemistry) (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 N Shiina
2. 発表標題 Liquid- and solid-like RNA granule formation and its implications for neuronal functions
3. 学会等名 Frontier Bioorganization Forum 2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masayasu Okada, Asami Kawasaki, Atsushi Tamada, Kitaura, Makoto Oishi, Kazunobu Sawamoto, Kosei Takeuchi, Fujii Yukihiro, Michihiro Igarashi
2. 発表標題 Localization of phosphorylated protein GAP-43
3. 学会等名 第42回日本神経科学大会 (Neuro2019)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松本 有樹修
2. 発表標題 Long non-coding RNA の解析から明らかとなった新規ポリペプチドワールド
3. 学会等名 第37回日本骨代謝学会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 及川大輔、駒倉啓大、福士雅也、入江崇、堀居拓郎、畑田出穂、坂口剛正、徳永文稔
2. 発表標題 LRBA DUF1088 ドメインの自然免疫制御における重要性
3. 学会等名 第 42 回日本分子生物学会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 及川大輔、駒倉啓大、阿部貴則、飯尾清誠、小比賀真吾、勝矢健、花田和希、坂本信二、徳永文稔
2. 発表標題 LUBAC シグナルソームによる自然免疫応答の選択的制御
3. 学会等名 第 91 回日本生化学会大会（招待講演）
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 及川 大輔，駒倉 啓大，阿部 貴則，飯尾 清誠，小比賀 真吾，勝矢 健，花田 和希，坂本 信二，徳永 文稔
2. 発表標題 LUBAC シグナルソームによる自然免疫応答の選択的制御
3. 学会等名 第 92 回日本生化学会大会（招待講演）
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 及川大輔、畑中尚也、鈴木貴、徳永文稔
2. 発表標題 LUBAC による T 細胞受容体シグナル制御に関する細胞・生化学及び数理モデル解析
3. 学会等名 第 14 回日本臨床ストレス応答学会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 及川大輔、畑中尚也、鈴木貴、徳永文稔
2. 発表標題 LUBAC による T 細胞受容体シグナル制御に関する数理モデル解析
3. 学会等名 数理腫瘍学研究会 (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 森泉 寿士、中村 貴紀、曹 永旻、鈴木 貴、武川 睦寛
2. 発表標題 Mathematical analysis of the spatio-temporal regulation of the SAPK pathway
3. 学会等名 令和元年医科学研究所研究成果発表会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Takanori Nakamura, Noriko Nishizumi-Tokai, Takashi Nakazawa, Tatsuki Mori, Takashi Suzuki, Mutsuhiro Takekawa
2. 発表標題 Mathematical modeling of the recruitment of centriole biogenesis regulators to mother centrioles in centriole duplication phase
3. 学会等名 JSPS Core-to-Core Program "Establishing International Research Network of Mathematical Oncology" in Bordeaux (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 MCH neurons impaired memories during REM sleep
3. 学会等名 第11回光操作研究会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yamanaka A
2. 発表標題 MCH neurons impaired memories during REM sleep.
3. 学会等名 2019 Chinese Sleep Research Society (CSRS) Annual Academic Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 Razib Hossain, 多田 篤史, 黒川 直弘, 長澤 研, 琢磨 和晃, 尾嶋 大喜, 高橋 弘雄, 岸本泰司, 山本 融
2. 発表標題 MDGA ファミリー分子群の欠失が引き起こす E/I バランス偏移に伴う認知・行動異常の解析
3. 学会等名 日本薬学会第 139 年会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Masayuki Sakamoto, Taekung Kwon, Darcy S. Peterka, Rafael Yuste
2. 発表標題 Measuring Voltage in Dendritic Spines with Genetically Encoded Voltage Indicators.
3. 学会等名 第 4 2 回分子生物学学会年会 (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Kimiko Shimizu
2. 発表標題 Mechanism of circadian regulation of memory in mice
3. 学会等名 9th FAOPS (Federation of Asian and oceanian physiological Societies) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 青沼仁志
2. 発表標題 Mechanism underlying generating ultra fast movement in insect
3. 学会等名 9th International Congress on Industrial and Applied Mathematics (ICIAM 2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nakamura, K.
2. 発表標題 Mechanisms of psychological impacts on thermoregulation and metabolism
3. 学会等名 The 9th Federation of the Asian and Oceanian Physiological Societies Congress (FAOPS2019)/The 96th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Naoyuki Tange, Fumihiko Hayakawa, Takahiko Yasuda, Hideyuki Yamamoto, Daiki Hirano, Shinobu Tsuzuki, Hitoshi Kiyoi.
2. 発表標題 MEF2D 融合タンパクの分解を誘導する薬剤をスクリーニングするシステムの開発.
3. 学会等名 第81回日本血液学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 磯貝恵理子、奥村和弘、斎藤慈、吉澤康博、田村優希、若林雄一
2. 発表標題 Meis1 の大脳皮質発生への関連性の検討
3. 学会等名 第 32 回モロシヌス研究会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Masaya Baba
2. 発表標題 Metabolic regulation by TFE3 in cell proliferation and differentiation
3. 学会等名 The 2nd KU-KAIST Joint Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 平尾敦
2. 発表標題 Metabolic Regulation of Stemness in Malignant Hematopoiesis
3. 学会等名 11th AACR-JCA joint conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 中西 真、城村 由和
2. 発表標題 Metabolic vulnerability in senescent cells
3. 学会等名 第 42 回日本分子生物学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 河野 慎吾、Rachael A Nimmo、吉信 公美子、荒木 喜美、荒木 正健
2. 発表標題 Mir142 遺伝子点変異マウスの表現型解析
3. 学会等名 日本遺伝学会第 91 回大会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 望月圭、中隋克己、稲瀬正彦、村田哲
2. 発表標題 Mixed representation of sensory and motor signals in primate primary somatosensory cortex.
3. 学会等名 Neuro2019 (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Saki Tome, Tetsuya Sasaki, Yosuke Takei.
2. 発表標題 Molecular genetic analysis of the role of interleukin 17A in CNS.
3. 学会等名 Tsukuba Conference. (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kimiko Shimizu
2. 発表標題 Molecular mechanism of regulation of remote spatial memory
3. 学会等名 Molecular and Cellular Cognition Society Asia (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sano, H., Nakamura, A., Yamane, M., Niwa, H., Araki, K., Takemoto, K., Ishiguro, K., Takada, Y., Nishimura, T., and Kojima, M.
2. 発表標題 Molecular mechanisms of sugar detection and sugar-dependent metabolic switch.
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 奥村和弘
2. 発表標題 MSM マウスにおける腫瘍抵抗性遺伝子の探索
3. 学会等名 第 32 回モロシヌス研究会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 奥村和弘、斎藤慈、吉澤康博、磯貝恵理子、荒木 喜美、若林雄一
2. 発表標題 MSM マウスにおける腫瘍抵抗性遺伝子座の探索
3. 学会等名 第 32 回モロシヌス研究会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Shigetomi, E., Koizumi, S
2. 発表標題 Multi-modal imaging of astrocyte-neuron communication.
3. 学会等名 2nd Mini-Symposium on The Blood-Brain Barrier from Basic to Clinical Research (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 中山淳, 二口充, 仙波憲太郎
2. 発表標題 Multi-organ metastasis 誘導遺伝子 HNF1B の同定と機能解析
3. 学会等名 第 28 回日本がん転移学会学術集会・総会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 山本育子、杉本道彦、荒木喜美、鈴木雄、小林武彦、中川真一
2. 発表標題 Myodonta 属特異的 4.5SH クラスタはマウスの発生に必須である
3. 学会等名 2019 進化学会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Koizumi, S
2. 発表標題 Network remodeling by astrocytic synaptogenesis and phagocytosis.
3. 学会等名 XIV European Meeting on Glial Cells in Health and Disease (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Koizumi, S.
2. 発表標題 Network remodeling by glial cells
3. 学会等名 2nd Mini-Symposium on The Blood-Brain Barrier from Basic to Clinical Research. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kaneda K
2. 発表標題 Neural mechanisms of acute stress-induced enhancement of cocaine craving
3. 学会等名 AsCNP2019 (6th Congress of Asian College of Neuropsychopharmacology) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 金田 勝幸
2. 発表標題 Neural mechanisms underlying stress-induced enhancement of cocaine craving
3. 学会等名 NEURO2019 (第42回日本神経科学大会・第62回日本神経化学会大会)
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 金田 勝幸
2. 発表標題 Neural mechanisms underlying stress-induced enhancement of cocaine rewarding properties
3. 学会等名 第 92 回日本薬理学会年会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 青沼仁志
2. 発表標題 Neurobiology and biomechanics of ultra fast movement in the trap-jaw ant
3. 学会等名 The 3rd International Symposium on Swarm Behavior and Bio-Inspired Robotics (SWARM 2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Ayako M. Watabe
2. 発表標題 Neuronal Circuits Underlying Regulation of Aversive Valence in Mice
3. 学会等名 FAOPS2019, 第 96 回日本生理学会 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 木村穰、阿部如子、本杉奈美、坂部貢、加藤明
2. 発表標題 Neuropathy Target Esterase と神経機能一遺伝子操作マウスを用いた解析
3. 学会等名 第28回日本臨床環境医学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 木村穰、阿部如子、本杉奈美、坂部貢、加藤明
2. 発表標題 Neuropathy Target Esterase 遺伝子操作マウスの機能解析一神経機能解析を中心に
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nobuhiro Okada, Hayato Muranaka, Chiaki Takahashi
2. 発表標題 NFYA regulates the acquisition of drug resistance in breast cancer
3. 学会等名 第78回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 辻本剛己、高橋智聡、岡田宣宏
2. 発表標題 NFYA による糖新生促進が引き起こす腫瘍抑制効果の検討
3. 学会等名 2019 年度 先端モデル動物支援プラットフォーム若手支援技術講習会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Masao Doi
2. 発表標題 Non-coding cis-regulatory element E' -box of Period2 is essential for daily maintenance of organismal behavior and physiology
3. 学会等名 第 3 回日本循環器学会基礎研究フォーラム (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Hisakazu Ogita、Dimitar P. Zankov、Akio Shimizu
2. 発表標題 Novel TMEM168 gene mutation in Brugada syndrome impairs sodium channel function via the Nav1.5 degradation.
3. 学会等名 American Heart Association (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Shuji Wakatsuki
2. 発表標題 NOX-dependent ZNRF1 activation controls neuronal polarity and axon specification.
3. 学会等名 Keystone Symposia on Molecular and Cellular Biology. (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 古瀬民生、山田郁子、串田知子、三浦郁生、尾崎藍、永瀬茜、若菜茂晴、田村勝
2. 発表標題 One carbon metabolism 関連遺伝子変異体を用いた DOHaD モデルの開発
3. 学会等名 NEURO2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 望月圭、中隋克己、稲瀬正彦、村田哲
2. 発表標題 Ongoing motor information embedded in a network dynamics of primate primary somatosensory neurons.
3. 学会等名 FAOPS2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiromu Yawo
2. 発表標題 Optical Manipulation of Intracellular Ca <sup>2+</sup> Dynamics
3. 学会等名 The 15th German-Japanese Colloquium, “Nano Lifescience” (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yamanaka A
2. 発表標題 Optogenetics as a tool to understand regulatory mechanism of sleep and memory by the hypothalamic neurons.
3. 学会等名 IBRO APRC School 2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 洪 啓栄
2. 発表標題 Orexin and MCH neurons double ablated mice showed severe sleep attack and cataplexy
3. 学会等名 先端モデル動物支援プラットフォーム 2019年度若手支援技術講習会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiromu Yawo, Toshifumi Asano, Hiroyuki Igarashi, Toru Ishizuka
2. 発表標題 Organelle-optogenetics - direct manipulation of intracellular Ca <sup>2+</sup> dynamics by light.
3. 学会等名 The 9th Federation of the Asian and Oceanian Physiological Societies Congress (FAOPS2019) from March 28-31, 2019, Kobe, Japan (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Komakura K, Goto E, Oikawa D, Abe T, Tokunaga F.
2. 発表標題 OTUD1, an OUT family deubiquitinase, involved in innate immune response
3. 学会等名 1st International symposium on Interdisciplinary Approaches to Integrative Understanding of Biological Signaling Networks. (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Keidai Komakura, Eiji Goto, Daisuke Oikawa, Takanori Abe, Fuminori Tokunaga
2. 発表標題 OTUD1, and OTU family deubiquitinase, is involved in innate immune responses
3. 学会等名 1st International Symposium on Interdisciplinary Approaches to Integrative Understanding of Biological Signaling Networks (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Toko Funaki, Takeshi Ito, Yoshinori Murakami
2. 発表標題 Overexpression of CADM1 enhances malignant features of small cell lung cancer
3. 学会等名 American Association for Cancer Research Annual Meeting 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大木 理恵子
2. 発表標題 p53 が制御する新規の神経内分泌腫瘍抑制経路の解明
3. 学会等名 第 42 回日本分子生物学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大木 理恵子
2. 発表標題 p53 が制御する新規の神経内分泌腫瘍抑制経路の解明
3. 学会等名 第 78 回日本癌学会学術総会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takayuki Fujii, Yoichi Chiba, Haruyuki Nakayama-Imahiji, Shun Onishi, Aya Tanaka, Hiroto Katami, Masaki Ueno, Tomomi Kuwahara, Tatsuru Kaji, Satoshi Ieiri, Ryuichi Shmono
2. 発表標題 Partially hydrolyzed guar gum improves small intestinal degeneration in association with modulation of intestinal microbiota after massive small bowel resection
3. 学会等名 52nd annual meeting of the pacific association of pediatric surgeons (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 清水逸平
2. 発表標題 Pathological roles of senometabolites in cardiovascular-metabolic disorders
3. 学会等名 ISHR2019 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 土居雅夫
2. 発表標題 Per2 遺伝子プロモーターシス調節配列 E' -box を欠損したマウス個体の脆弱な概日振動
3. 学会等名 第 26 回日本時間生物学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2019年



1. 発表者名	Ohta S, Matsumoto D, Nagumo H, Fujita T, Takahashi A, Namikawa K, Kitano A, Yamazaki N, Kawakami Y.
2. 発表標題	Peripheral blood CD8+T cell subsets correlated with PD-1 Ab response in melanoma patients by scRNA-seq analysis
3. 学会等名	5th CRI-CIMT-EATI-AACR International cancer immunotherapy conference (国際学会)
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	姜玮茹、柿崎利和、藤原和之、宮田茂雄、張月、須藤貴史、加藤大樹、齋藤繁、柴崎貢志、石崎泰樹、宮坂佳樹、真下知士、柳川右千夫
2. 発表標題	Phenotype characterization of GAD65/GAD67 double mutant rats
3. 学会等名	日本ゲノム編集学会第4回大会
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	陳 ヨ、大木理恵子
2. 発表標題	PHLDA3 遺伝子と MEN1 遺伝子による膵臓神経内分泌腫瘍抑制機構の解明
3. 学会等名	第78回日本癌学会学術総会
4. 発表年	2019年

1. 発表者名 塩見美喜子
2. 発表標題 piRNA biogenesis and function
3. 学会等名 EMBO Member's Meeting2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 塩見美喜子
2. 発表標題 piRNA biogenesis and function in Drosophila
3. 学会等名 The RNA Localization and Local Translation Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 塩見美喜子
2. 発表標題 piRNA Biogenesis and functions in Drosophila
3. 学会等名 Cell Symposia Regulatory RNAs (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 塩見美喜子
2. 発表標題 piRNA Biogenesis and functions in Drosophila
3. 学会等名 Keystone Symposia/Small Regulatory RNAs (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 矢口 立真, 石林 朋子, 二井谷 和平, 向井 沙和子, 江崎 博仁, 出山 諭司, 金田 勝幸
2. 発表標題 Poly(I:C)による妊娠中母体免疫の活性化方法の差による仔の行動異常の相違
3. 学会等名 日本薬学会北陸支部 第131回例会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masashi Kawami, Ryoko Yumoto, Mikihisa Takano
2. 発表標題 Potent inhibitory effect of vandetanib on methotrexate-induced epithelial-mesenchymal transition (EMT) in alveolar epithelial A549 cells
3. 学会等名 2019AAPS PharmSci360 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tetsuya Sasaki, Yusuke Komatsu, Akiya Watakabe, Tetsuo Yamamori
2. 発表標題 Prefrontal-Enriched SLIT1 Expression in Primate Cortex Established during the Postnatal Development
3. 学会等名 The 9th Federation of the Asian and Oceanian Physiological Societies Congress (FAOPS2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroki Oguri
2. 発表標題 Programmable Divergent Synthesis of Skeletally Diverse Alkaloidal Scaffolds
3. 学会等名 The 19th Tateshina Conference on Organic Chemistry (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kaori Ishikawa, Satoshi Yamamoto, Satoko Hattori, Naoya Nishimura, Takayuki Mito, Hirokazu Matsumoto, Tsuyoshi Miyakawa, Kazuto Nakada
2. 発表標題 Progressive neurodegeneration and abnormal behavior were caused by acquired expression of mutant Mitofusin 2 in neurons.
3. 学会等名 The Cold Spring Harbor Asia conference on Mitochondria and Metabolism in Health and Disease (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hashimoto Y, Hata T, Tada M, Iida M, Watari A, Okada Y, Doi T, Kuniyasu H, Yagi K, Tachibana K, Kondoh M
2. 発表標題 Proof of concept for claudin-2-directed cancer therapy by using a monoclonal antibody that recognizes the extracellular loop domain of claudin-2
3. 学会等名 2019 Controlled Release Society Annual Meeting & Exposition (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松本真春、大山ゆき、大浜剛、佐藤晃一
2. 発表標題 Protein phosphatase 2A とその阻害タンパク質 PME-1 のタンパク質間結合を制御する分子機構の解明
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Daisuke Yoshioka
2. 発表標題 Proteomic screening for SG components and their functional analysis
3. 学会等名 G2 Plus Retreat
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takaki Watanabe, Honoka Suzuki, Tsubasa Akamatsu, Kazuto Sakoori, Shutaro Inoue, Manabu Abe, Kenji Sakimura, Naofumi Uesaka, Masanobu Kano
2. 発表標題 Protocadherin 10 delays developmental climbing fiber synapse elimination in a subset of aldolase C-positive Purkinje cells in the cerebellum
3. 学会等名 次世代脳プロジェクト冬のシンポジウム 2019
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Ishii A, Goto A, Ihara Y, Hirose S, Ihara Y, Hirose S.
2. 発表標題 Regional specificity of KCNQ2 missense variants causing benign or epileptic encephalopathy phenotype.
3. 学会等名 International Epilepsy Congress (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Satoshi Kida
2. 発表標題 Regulation of fear memory and PTSD-like behaviors by hippocampus
3. 学会等名 2019 International Brain Science Summit Forum (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Satoshi Kida
2. 発表標題 Regulation of fear memory through changes of hippocampal neuron activities after retrieval
3. 学会等名 第 42 回日本神経科学会/第 62 回日本神経化学会 Neuro2019
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Satoshi Kida
2. 発表標題 Regulation of reconsolidation and extinction by fear memory engrams
3. 学会等名 The 10th IBRO World Congress of Neuroscience (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Satoshi Kida
2. 発表標題 Regulation of reconsolidation and extinction by fear memory engrams
3. 学会等名 第 42 回日本神経科学会/第 62 回日本神経化学会 Neuro2019 (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Mutsuhiro Takekawa
2. 発表標題 Regulation of stress-activated p38/JNK MAPK signaling pathways under oxidative stress conditions
3. 学会等名 Cold Spring Harbor Asia Conference “Kinase and Phosphatase Signaling” (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Mutsuhiro Takekawa
2. 発表標題 Regulation of stress-induced apoptotic cell death by stress granule formation
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会年会ワークショップ (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 N Shiina
2. 発表標題 Regulation of the dynamics of RNA granule condensates and its implications for long-term memory
3. 学会等名 NIBB-Princeton Joint Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 Yukari Shiozaki
2. 発表標題 Regulatory mechanism of the DNA-damaging agents-induced activation of the stress-activated MAPK (SAPK) pathways
3. 学会等名 G2 Plus Retreat
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yamanaka A
2. 発表標題 REM sleep active MCH neurons are involved in forgetting hippocampus-dependent memories
3. 学会等名 6th Congress of Asian College of Neuropsychopharmacology
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yamanaka A, Izawa S
2. 発表標題 REM sleep active MCH neurons are involved in forgetting hippocampus-dependent memories.
3. 学会等名 IBRO 2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroyuki Okuno, Anna Araki, Keiichiro Minatohara, Haruhiko Bito, Itaru Imayoshi
2. 発表標題 Remote memory traces in the mouse hippocampus revealed by Arc-based functional labeling
3. 学会等名 アジア・オセアニア国際生理学大会 (FAOPS2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Koji Kuraoka, Kae Nakamura
2. 発表標題 Representation of social and emotional information in primate amygdala
3. 学会等名 The 42nd annual meeting of the Japan Neuroscience Society
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takayoshi Awakawa, Haruo Ikeda, Kazuo Shinya, Wen Liu, Ikuro Abe
2. 発表標題 Reprogramming of the antimycin NRPS-PKS assembly lines inspired by gene evolution
3. 学会等名 2nd China-Japan Joint Symposium on Natural Product Biosynthesis (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Satoru Yamagishi, Fumihito Eto, Yo shinoda, Shuhei Ogawa, Ikuko Yao, Tsuyoshi Miyakawa, Keizo Takao and Kohji Sato
2. 発表標題 Repulsive guidance molecule FLRT2 regulates social behavior
3. 学会等名 Neuro2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Satoru Yamagishi, Fumihito Eto, Yo shinoda, Shuhei Ogawa, Ikuko Yao, Tsuyoshi Miyakawa, Keizo Takao and Kohji Sato
2. 発表標題 Repulsive guidance molecule FLRT2 regulates social behavior
3. 学会等名 Society for Neuroscience (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 塩見 美喜子
2. 発表標題 Requirements for multivalent Yb body assembly in piRNA-mediated transposon silencing in Drosophila
3. 学会等名 40th LORNE GENOME CONFERENCE 2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Toshikuni Sasaoka
2. 発表標題 Research on mechanism of motor control and development of genetically modified animal production technology for higher brain function research
3. 学会等名 Visit by Brain Research Institute, Niigata University, Japan Mini Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yueren Liu, Tomokazu Ohshiro, Hajime Mushiake, Toru Ishizuka, Hiromu Yawo
2. 発表標題 Response interaction among multi-afferent inputs in the barrel cortex
3. 学会等名 第11回 光操作研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroshi Onimaru, Keiko Ikeda, Hiroyuki Igarashi, Hiromu Yawo, Kazuto Kobayashi, Satoru Arata, Kiyoshi Kawakami.
2. 発表標題 Responses to hypercapnia and hypoxia of Phox2b-positive cells in the ventral medulla of newborn rats.
3. 学会等名 The 9th Federation of the Asian and Oceanian Physiological Societies Congress (FAOPS2019) from March 28-31, 2019, Kobe, Japan (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岩崎信太郎
2. 発表標題 Ribosome conformational dynamics surveyed by ribosome profiling
3. 学会等名 IARI (International Alliance of Research Internship) Symposium, 5th Workshop in Biosciences (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 椎名伸之
2. 発表標題 RNA 顆粒足場タンパク質による液相・固相 RNA 顆粒の形成及びその長期記憶との関連
3. 学会等名 第 42 回日本分子生物学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yuko Gonda, Tetsuya Sasaki, William Andrews, John Parnavelas, Alain Chédotal, Tatsunori Seki, Carina Hanashima.
2. 発表標題 Robo1 confers laminar-specific apical dendritogenesis and connectivity in the neocortex.
3. 学会等名 20th TMIMS International Symposium 「Principles of Neocortical Development and Evolution」 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 信末博行
2. 発表標題 ROCK 阻害剤は化学療法抵抗性の骨肉腫細胞において脂肪細胞への終末分化を阻害し腫瘍形成性を抑制する
3. 学会等名 第 78 回日本癌学会学術総会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Kouji Sakai, Naoya Nagata, Kimie Nomura, Takashi Irie, Kazuaki takehara, Hiroaki Kanda, Yasushi Ami
2. 発表標題 Role of an oligosaccharide in the hemagglutinin protein on protease tropism of H3N2 influenza A virus.
3. 学会等名 第 67 回日本ウイルス学会学術集会、
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Kouji Sakai, Naoya Nagata, Kimie Nomura, Takashi Irie, Kazuaki Takehara, Hiroaki Kanda, Yasushi Ami
2. 発表標題 Role of an oligosaccharide in the hemagglutinin protein on the pathogenesis of H3N2 influenza A virus
3. 学会等名 The 1st Influenza and other Infections（国際学会）
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Yoshikazu Johmura
2. 発表標題 Role of cellular senescence in aging and age-related disorders
3. 学会等名 1st International Symposium on Inflammation Cellular Sociology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Naoya Murao, Hideki Nishitoh
2. 発表標題 Role of Derlin-1 in the adult hippocampal neurogenesis
3. 学会等名 NEURO2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 村尾直哉、西頭英起
2. 発表標題 Role of Derlin-1 in the maintenance of stem cell populations in adult hippocampal neurogenesis
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Toyokuni S, Jiang L, Li Z, Ito F and Akatsuka S.
2. 発表標題 Role of ferroptosis in carcinogenesis and tumor biology.
3. 学会等名 The 9th Biennial joing meeting of the Society for Free Radical Research Australasia and Japan (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Toyokuni S
2. 発表標題 Role of ferroptosis in carcinogenesis and tumor biology. SY29: Antioxidants and redox regulation.
3. 学会等名 The 7th Interenational Conference on Food Factors (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yamanaka A
2. 発表標題 Role of MCH neurons in the regulation of metabolism, sleep/wakefulness and memory.
3. 学会等名 国際シンポジウム「Sensing food/nutrient/environment toward integrative metabolic regulation」(招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 Yamanaka A
2. 発表標題 Role of REM sleep on memory.
3. 学会等名 Cold Spring Harbor Asia Neurobiology of Behavior & Neuropsychiatric Disorders (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Satoshi Kida
2. 発表標題 Roles of hippocampus in fear memory reconsolidation and extinction
3. 学会等名 NIPS Learning & Memory meeting (自然科学研究機構 (岡崎市)) (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Satoshi Kida
2. 発表標題 Roles of hippocampus in regulation of fear memory after retrieval
3. 学会等名 14th AND Meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 姜玮茹、柿崎利和、藤原和之、宮田茂雄、張月、須藤貴史、加藤大樹、齋藤繁、柴崎貢志、石崎泰樹、宮坂佳樹、真下知士、柳川右千夫
2. 発表標題 Roles of rat glutamate decarboxylase isoforms in the perinatal period
3. 学会等名 第 42 回日本神経科学大会 第 62 回日本神経化学会大会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 姜玮茹
2. 発表標題 Roles of rat glutamate decarboxylase isoforms in the perinatal period -GABA and developing brain, implications for anesthesia
3. 学会等名 日本臨床麻酔学会 第 39 回大会 (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 當銘 幸貴、佐々木 哲也、越田 隆介、武井 陽介
2. 発表標題 RORgt 過剰発現マウスにおける poly(i:c)誘導性流産率の上昇
3. 学会等名 第 124 回 日本解剖学会総会・全国学術集会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Kazuya Nagano, Hirotaka Takahashi, Fuminori Tokunaga, Tatsuya Sawasaki
2. 発表標題 Screening and analysis of novel linear polyubiquitin chain binding proteins based on wheat cell-free 20K-HUPA
3. 学会等名 1st International Symposium on Interdisciplinary Approaches to Integrative Understanding of Biological Signaling Networks (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Oikawa, D., Katsuya, K., Hanada, K., Sugawara, K., Tsuruta, D., Sakamoto, S., Tokunaga, F.
2. 発表標題 Screening and characterization of novel LUBAC inhibitors, HOIPINs
3. 学会等名 old Spring Harbor Laboratory Meeting on Ubiquitin, Autophagy & Disease (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Oikawa D, Katsuya K, Hanada K, Sugawara K, Tsuruta D, Sakamoto S, Tokunaga F.
2. 発表標題 Screening and characterization of novel LUBAC inhibitors, HOIPINs.
3. 学会等名 Cold Spring Harbor meeting: Ubiquitins, Autophagy & Disease. (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 K. Kuraoka, K. Nakamura.
2. 発表標題 Segregated and overlapped processing of social and reward information in primate amygdala.
3. 学会等名 Society for Neuroscience (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masaaki Komatsu
2. 発表標題 Selective turnover of p62-bodies through autophagy
3. 学会等名 9th International Symposium on Autophagy (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masaaki Komatsu
2. 発表標題 Selective turnover of p62-bodies through autophagy
3. 学会等名 Seoul National University Bioscience Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masaaki Komatsu
2. 発表標題 Selective turnover of p62-liquid droplets through autophagy: The molecular mechanism and physiological significance
3. 学会等名 Asian Pacific Prion Symposium 2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ageta-Ishihara N, Takao K, Miyakawa T, Hioki H, Bito H, Inokuchi K, Kinoshita M.
2. 発表標題 Septin-dependent entry of smooth endoplasmic reticulum into dendritic spines as a synaptic basis of persistent memory
3. 学会等名 OIST Mini-Symposium: The 16th International Membrane Research Forum (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Toyokuni S
2. 発表標題 Significance of ferroptosis in cancer research. Symposium 4: Cancer and redox biology.
3. 学会等名 The 9th Biennial Meeting of Society for Free Radical Research -Asia (SFRR-Asia) - The Era for Redox Research (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tetsuya Sasaki, Yusuke Komatsu, Tetsuo Yamamori.
2. 発表標題 Slit2 is preferentially expressed in the higher-order association area of primate cortex.
3. 学会等名 Neuroscience 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tetsuya Sasaki, Yusuke Komatsu, Yosuke Takei, Tetsuo Yamaori.
2. 発表標題 SLIT2 is preferentially expressed in the the higher-order association areas in primates.
3. 学会等名 第42回日本神経科学大会・第62回日本神経化学会大会 合同大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Mutsuhiro Takekawa
2. 発表標題 Spatio-temporal dynamics of SAPKK regulates cell fate decisions under stress conditions
3. 学会等名 JSPS Core-to-Core Program “Establishing International Research Network of Mathematical Oncology” (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Mutsuhiro Takekawa
2. 発表標題 Spatio-temporal regulation of stress-activated MAPK signaling and its role in cytokine production
3. 学会等名 Symposium for “Interface between Immunology & Quantitative Biology” (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 安藤さえこ、深町勝巳、酒々井眞澄
2. 発表標題 STAT3 阻害剤による新規抗がん物質の開発
3. 学会等名 第 78 回日本癌学会学術総会；国立京都国際会館
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Naoyuki Tange, Fumihiko Hayakawa, Takahiko Yasuda, Hideyuki Yamamoto, Daiki Hirano, Shinobu Tsuzuki, Tomoki Naoe, Hitoshi Kiyoi.
2. 発表標題 Staurosporine induces caspase-dependent proteolysis of MEF2D-fusion protein and cell death selective to MEF2D-fusion-positive ALL cells.
3. 学会等名 61st American Society of Hematology Annual Meeting and Exposition (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroki Oguri
2. 発表標題 Stereochemical Diversification of Dimeric Alkaloids: Towards Integration of Natural Product Chemistry, Chemical Biology, and Supramolecular Chemistry
3. 学会等名 Asian Chemical Biology Initiative 2019 Myanmar Meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takamitsu Honda, Ryo Tanifuji, Ryoko Komatsu, Hiroki, Oguri
2. 発表標題 Stereo-controlled Synthesis of Alkaloidal Scaffolds through Assembly of Aromatic Amino Acid Components
3. 学会等名 第99 日本化学会春季年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Toshikuni Sasaoka
2. 発表標題 Studying the mechanism of motor control using mouse model for Parkinson's disease
3. 学会等名 The 8th Japan-Sino-Korea Mouse Resource Workshop "Precision Modelling of Human Diseases in Mice and Cell Resources" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 Hiroataka Takahashi, Satoshi Yamanaka, Yusuke Sato, Daisuke Oikawa, Shuya Fukai, Fuminori Tokunaga, Tatsuya Sawasaki
2. 発表標題 Subquinocin, a small molecule inhibitor for USPs, promotes NF- $\kappa$ B signal by stabilization of M1-linked polyubiquitin
3. 学会等名 1st International Symposium on Interdisciplinary Approaches to Integrative Understanding of Biological Signaling Networks (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takahashi H, Yamanaka S, Sato Y, Oikawa D, Fukai S, Tokunaga F, Sawasaki T.
2. 発表標題 Subquinocin, a small molecule inhibitor for USPs, promotes NF- $\kappa$ B signal by stabilization of M1-linked polyubiquitin
3. 学会等名 1st International symposium on Interdisciplinary Approaches to Integrative Understanding of Biological Signaling Networks. (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masashi Kawami, Ryoko Yumoto, Mikihisaka Takano
2. 発表標題 Suppressive effect of vandetanib on drug-induced epithelial-mesenchymal transition via inhibition of p53 pathway
3. 学会等名 日本薬物動態学会第34回年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Toshio Nishikawa
2. 発表標題 Synthesis and Biological activities of Aplysiatoxin/Oscillatoxin Marine Natural Products.
3. 学会等名 Marine Biotechnology Conference 2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Toshio Nishikawa
2. 発表標題 Synthesis and biological evaluation of oscillatosins marine derived natural products.
3. 学会等名 The Fourth A3 Roundtable Meeting on Chemical Probe Research Hub (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shogo Sasaki, Yue Ma, Hong-Liang Bao, Takumi Ishizuka, Yan Xu, Takatsugu Hirokawa, Kazuo Nagasawa
2. 発表標題 Synthesis and evaluation of a linear type of polyoxazole compounds for inducing anti-parallel topology against telomeric DNA
3. 学会等名 The 46th International Symposium on Nucleic Acids Chemistry (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yuta Arai, Ryo Watanabe, Soushi Fujikawa, Erina Hosono, Hiroki Oguri
2. 発表標題 Synthesis of Alkaloidal Skeletons by Regioselective Dimerizations of Dihydropyridines
3. 学会等名 第99 日本化学会春季年会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Toshio Nishikawa
2. 発表標題 Synthesis of Aplysiatoxin/Oscillatoxin Family of Marine Natural Products.
3. 学会等名 27th International Society of Heterocyclic Chemistry (ISHC) Congress (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Yue Ma, Yuki Wakabayashi, Iida Keisuke, Ryota Saito, Kazuo Nagasawa
2. 発表標題 Synthesis of light-up type G4 ligands
3. 学会等名 The 7th International Meeting on Quadruplex Nucleic Acids (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Ashida, Y., Yanagita, R. C., Kawanami, Y., Okamura, M., Dan, S., Irie, K.
2. 発表標題 Synthesis, conformation, and biological activities of a des-A-ring analog of 18-deoxy-aplog-1, a simplified analog of debromoaplysiatoxin
3. 学会等名 新学術領域研究「化学コミュニケーションのフロンティア」第1回国際シンポジウム (ISCC2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ikuko Yamamoto, Michihiko Sugimoto, Kimi Araki, Shinichi Nakagawa
2. 発表標題 Tandemly arrayed 4.5SH noncoding RNA genes are essential for early mouse development
3. 学会等名 52nd Annual Meeting of the Japanese Society of Developmental Biologists (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Seimiya H
2. 発表標題 Tankyrase and G-quadruplex as molecular targets for cancer therapy
3. 学会等名 第25回日本遺伝子細胞治療学会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Jang MK, Mashima T, Seimiya H
2. 発表標題 Tankyrase Inhibitors target colorectal cancer stem-like cells through an AXIN-dependent mechanisms
3. 学会等名 第 78 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Hiroaki Itoh
2. 発表標題 Target Identification of Anticancer Natural Product Yaku'amide B
3. 学会等名 The Third A3 Young Scientist Meeting (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Makoto Muroi, Ikuko Nagasawa, Naoko Ogawa, Harumi Aono, Yushi Futamura, Makoto Kawatani, Hiroyuki Osada
2. 発表標題 Target identification of bioactive small molecules based on proteomic analyses using 2-D DIGE
3. 学会等名 RIKEN - Max Planck Joint Research Center for System Chemical Biology 7th Symposium (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Takashi Ohama
2. 発表標題 Targeting PP2A inhibitory protein SET for cancer drug development
3. 学会等名 4th TW-JP Bilateral Phosphatase Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Seimiya, H.
2. 発表標題 Telomere as the starting point of anticancer drug discovery
3. 学会等名 11th AACR-JCA Joint Conference on Breakthroughs in Cancer Research: Biology to Precision Medicine (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Seimiya H
2. 発表標題 Telomere as the starting point of anticancer drug discovery
3. 学会等名 The 7th Symposium, RIKEN-Max Planck Joint Research Center (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 千葉惇、守田和紀、生塩研一、稲瀬正彦
2. 発表標題 Temporal information representation of different modes of sensory stimuli for duration discrimination in monkey medial premotor areas.
3. 学会等名 Neuro2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ayaka Maeda, Sho Kubota, Yuqi Sun, Kimi Araki, Motomi Osato, Goro Sashida
2. 発表標題 The age-specific induction of MLL-AF9 regulates the leukemic transformation
3. 学会等名 第81回日本血液学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Jinmin Li, Fumihiro Shutoh, Tetsuya Sasaki, Yosuke Takei.
2. 発表標題 The development defect of serotonergic neuron induced by maternal immune activation.
3. 学会等名 Inauguration Symposium for the Neuroscience Program (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Toh Miyazaki, Srikanta Chowdhury, Takayuki Yamashita, Takanori Matsubara, Hiromu Yawo, Hideya Yuasa and Akihiro Yamanaka
2. 発表標題 The development of fiberless optogenetics using up conversion luminescence
3. 学会等名 第11回 光操作研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Li jinmin, Tetsuya Sasaki, Fumihiro Shutoh, Yosuke Takei.
2. 発表標題 The developmental defect of Serotonergic neuron induced by maternal immune activation.
3. 学会等名 第42回日本神経科学大会・第62回日本神経化学会大会 合同大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Inoue T, Okuyama T, Endo F, Nakamura K, Hirose S.
2. 発表標題 The first report on newborn screening for MPS I and II in Fukuoka, Japan.
3. 学会等名 The 7th Asian Congress for Lysosomal Storage Disease Screening. (国際学会)
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 Wakabayashi T, Htun Y, Mitsuie T, Yokota T, Yasuhiro N, Koyano K, Nakamura S, Yasuda S, Kusaka T.
2. 発表標題 The histopathological effect of therapeutic hypothermia on the kidney of hypoxic-ischemic newborn piglets.
3. 学会等名 15th congress of Asian Society for Pediatric Research (ASPR) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kimura R, Yoshimura Y
2. 発表標題 The mechanism for generating low contrast-preferring neurons during orientation discrimination in rat primary visual cortex.
3. 学会等名 NEURO2019 (The 42nd Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 R. kimura and Y. Yoshimura
2. 発表標題 The mechanism for generating low contrast-preferring neurons during orientation discrimination in rat visual corex
3. 学会等名 第42回日本神経科学学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石黒 啓一郎
2. 発表標題 The MEIOSIN-STRA8 complex directs cell cycle switching from mitosis to meiosis
3. 学会等名 Gordon Research Conferences Germinal Stem Cell Biology (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石黒 啓一郎
2. 発表標題 The MEIOSIN-STRA8 complex directs cell cycle switching from mitosis to meiosis to establish the meiotic chromatin
3. 学会等名 エピジェネティクス研究会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 竹本 一政、高田 幸、杉本 道彦、荒木 喜美、石黒 啓一郎
2. 発表標題 The novel factor that process meiotic recombination intermediates
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kikuchi, A.
2. 発表標題 The Novel Target Molecule of Wnt/Beta-Catenin Signaling and Cancer.
3. 学会等名 Wnt Meeting 2019. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 平尾敦
2. 発表標題 The nutrient signals in self-renewal of hematopoietic stem cells and tumorigenesis
3. 学会等名 2019 US-Japan Symposium on Normal/Malignant Hematopoiesis and Novel Therapies for Hematologic Malignancies (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 N. Takai, M. Ogami, S. Nakamura, Y. Ohba.
2. 発表標題 The relationship between microcephaly and learning disability by fetal radiation exposure in rats
3. 学会等名 58th PTCOG, June 10 - 15, 2019, Manchester, UK (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kae Nakamura, Yasumasa Ueda, Masaharu Yasuda
2. 発表標題 The role of primate striatum for decision making under different emotional context
3. 学会等名 The 42nd Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sano, H., Nakamura, A., Yamane, M., Niwa, H., Araki, K., Takemoto, K., Ishiguro, K., Takada, Y., Nishimura, T., and Kojima, M.
2. 発表標題 The role of the polyol pathway in sugar-sensing and the Mondo/ChREBP-mediated metabolic switch.
3. 学会等名 第52回日本発生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Akihiro Mouri, Yuko Mori, Kazuo Kunisawa, Mami Hirakawa, Hisayoshi Kubota, Moe Niiijima, Yasuko Yamamoto, Toshitaka Nabeshima, Kuniaki Saito
2. 発表標題 The role of tryptophan metabolism in major depressive disorder
3. 学会等名 AsCNP (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Abe, Y., Ikegawa, N., Murakami, M., Tanaka, T., Niikura, T., Goda, W., Yoshida, K., Hattori, S., Miyakawa, T., Yasui, M.
2. 発表標題 The second neurodegenerative phase sensitive to aquaporin-4 deficiency following amyloid $\beta$ deposition and neuroinflammation in 5xFAD Alzheimer's model mice.
3. 学会等名 The 42nd Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society.
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masao Doi
2. 発表標題 Time-restricted G-protein signaling through Gpr176/Gz/Rgs16 sets the pace of the central clock
3. 学会等名 V World Congress for Chronobiology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤亮太、加藤哲久、千村崇彦、斉藤伸一郎、柴田琢磨、村上祐輔、福井竜太郎、池上恒雄、真鍋俊也、川口寧、三宅健介
2. 発表標題 TLR3-mTOR シグナルによるヘルペス脳炎の制御
3. 学会等名 東京免疫フォーラム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yuta Arai
2. 発表標題 Towards Divergent Synthesis of Manzamine-type Alkaloidal Skeletons: Regio-controlled Dimerizations of Dihydropyridines
3. 学会等名 The Third A3 Young Scientist & Young PI Meeting
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masami Ishido
2. 発表標題 Transgeneration of environmental chemicals-primed rat hyperactivity
3. 学会等名 第9回アジア・オセアニア生理学会連合大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 魏 范研
2. 発表標題 tRNA modification in translation control and human diseases.
3. 学会等名 6th Symposium Smart-Aging Research Center. (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大守伊織
2. 発表標題 Txn1 遺伝子ミスセンス変異ラットにおける脳-腎-心連関解析
3. 学会等名 第 12 回ラットリソースリサーチ研究会 (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 大守伊織, 真下知士, 大内田守, 豊國伸哉
2. 発表標題 Txn1 遺伝子ミスセンス変異をもつ新規 CKD モデルラット
3. 学会等名 第 62 回日本腎臓病学会学術総会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 大守伊織, 真下知士, 大内田守, 内藤有香, 今井宏彦, 豊國伸哉
2. 発表標題 Txn1 遺伝子変異ラットのでんかんの表現型
3. 学会等名 第 53 回 日本てんかん学会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 畑中尚也、及川大輔、徳永文稔、鈴木貴
2. 発表標題 T細胞におけるLUBACを介したNF- $\kappa$ B活性化機構の数理的解析
3. 学会等名 新学術領域研究「数理シグナル」第3回若手ワークショップ
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Keiko Taguchi, Masayuki Yamamoto
2. 発表標題 Unveiling new roles of Keap1-Nrf2 System by using rat models
3. 学会等名 The Environmental Response V/ 17th JBS Biofrontier Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hirose S
2. 発表標題 Update in Febrile Seizure management.
3. 学会等名 IPA2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 Sassa T, Isokawa M, Kihara A
2. 発表標題 Very long-chain lipids produced by the fatty acid elongase ELOVL1 are important for myelin formation and motor coordination.
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Mizuho Yasuda, Yue Ma, Sachiko Okabe, Young-Tae Chang, Hiroyuki Seimiya, Kazuo Nagasawa
2. 発表標題 Visualization of G-quadruplex in Living based on in situ Click reaction
3. 学会等名 The 46th International Symposium on Nucleic Acids Chemistry (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 久保田 裕二、藤岡 興、武川 睦寛
2. 発表標題 Warburg 効果による糖鎖修飾異常と癌増殖シグナルの活性化
3. 学会等名 第 56 回日本臨床分子医学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sakamoto M, Inoue M, Sakai K, Kobari S, Takemoto-Kimura S, Abe M, Sakimura K, Bito H
2. 発表標題 Widefield sensory-evoked calcium imaging in excitatory and inhibitory neurons using a G-CaMP9a transgenic mouse
3. 学会等名 Japan-UK Neuroscience Symposium 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masayuki Saskamoto, Masatoshi Inoue, Kazuki Sakai, Shigetaka Kobari, SayakaTakemoto-Kimura, Manabu Abe, Kenji Sakimura, Haruhiko Bito.
2. 発表標題 Widefield sensory-evoked calcium imaging in excitatory and inhibitory neurons using a G-CaMP9a transgenic mouse.
3. 学会等名 Sculpted Light in the Brain (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 新沢康英, 松本真司, 山道拓, 山道拓, 笠原勇矢, 野島聡, 小玉尚宏, 小比賀聡, 竹原徹郎, 森井英一, 奥山宏臣, 菊池章
2. 発表標題 Wnt/ $\beta$ -catenin シグナルの新規標的遺伝子 GREB1 は, TGF $\beta$ シグナルの抑制を介して肝芽種形成を促進する
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山道拓, 松本真司, 奥山宏臣, 菊池章
2. 発表標題 Wnt シグナルは TGF $\beta$ シグナルを抑制することにより肝芽腫の腫瘍形成を促進する
3. 学会等名 第 78 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 青沼 仁志
2. 発表標題 X 線マイクロイメージングから切り拓く昆虫の運動制御メカニズム
3. 学会等名 第 89 回日本動物学会シンポジウム「シンクロトン放射光 X 線は動物学どう役立つか? -Spring-8 先端利用技術ワークショップ-」 (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Tetsuhisa Otani, Shinsaku Tokuda, and Mikio Furuse
2. 発表標題 ZO family proteins regulate epithelial polarity independent of Tight Junction strand assembly
3. 学会等名 9th FAOPS Congress (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 若月修二、荒木敏之
2. 発表標題 イオン恒常性の破綻による精神疾患発症機構の解明
3. 学会等名 第 42 回日本分子生物学会年会ワークショップ「精神疾患の神経生物学」
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 當銘幸貴、佐々木哲也、武井陽介
2. 発表標題 インターロイキン 17A による大脳皮質異常形成メカニズムの解明
3. 学会等名 第 107 回日本解剖学会関東支部学術集会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 酒井宏治、永田直也、入江 崇、竹原 一明、網康至
2. 発表標題 インフルエンザウイルスの HA 開裂部位近傍の糖鎖欠損と新たなプロテアーゼ利用能の獲得
3. 学会等名 第 161 回日本獣医学会学術集会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 オートファジー欠損マウスの解析から何がわかったか？
3. 学会等名 2019年日本毒性病理学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 八尾 寛, 浅野 豪文, 五十嵐 敬幸, 石塚 徹
2. 発表標題 オルガネラ・オプトジェネティクス - 細胞内 Ca <sup>2+</sup> ダイナミクスの光操作
3. 学会等名 第57回日本生物物理学会年会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 八尾 寛
2. 発表標題 カオスから秩序へ - 細胞内 Ca <sup>2+</sup> 光操作による機能創発.
3. 学会等名 機能物性セミナー（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 家村顕自, 田中耕三
2. 発表標題 がん細胞における染色体不安定性は増殖選択圧を受けた際の増殖優位性獲得に寄与する
3. 学会等名 第36回染色体ワークショップ
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 満間百音、白木柚葉、齊藤遥、高田律子、山本融、高田慎治、羽田沙緒里、鈴木利治
2. 発表標題 キネシン-1によるFrizzledの軸索輸送が神経終末のWntシグナルを制御する
3. 学会等名 第92回日本生化学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 河野はるか, 古田忠臣, 原怜, 一瀬宏
2. 発表標題 キノノイドジヒドロプテリジン還元酵素の基質認識機構の解析
3. 学会等名 日本ビタミン学会第71回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 正井久雄
2. 発表標題 グアニン4重鎖/RNA-DNA ハイブリッド構造による DNA 複製の制御機構
3. 学会等名 第93回日本生化学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 馬悦
2. 発表標題 グアニン四重鎖を選択的に認識する大環状ヘキサオキサゾール化合物の創製
3. 学会等名 第13回バイオ関連化学シンポジウム2019 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 若林勇樹, 馬悦, 飯田圭介, 齋藤良太, 長澤和夫
2. 発表標題 グアニン四重鎖を標的とした Light-up 型蛍光リガンドの創製研究
3. 学会等名 日本化学会 第99回春季年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小泉修一
2. 発表標題 グリアによる一次体性感覚野のシナプス再編
3. 学会等名 第7回神経と免疫を語る会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 出口ハンナ、鈴木佐和子、石渡一樹、内藤久美子、山中典子、真鍋一郎、李恩瑛、三木隆司、龍野一郎、田中知明、小出尚史、横手幸太郎
2. 発表標題 グルタミン代謝の破綻による糖尿病発症とその分子メカニズム解明
3. 学会等名 第40回日本肥満学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鈴木佐和子、出口ハンナ、石渡一樹、内藤久美子、藤本真徳、李恩瑛、三木隆司、神田浩明、龍野一郎、小出尚史、田中知明、横手幸太郎
2. 発表標題 グルタミン代謝遺伝子 Glutaminase2 が癌と生活習慣病に及ぼす影響
3. 学会等名 第40回日本肥満学会総会
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 鈴木佐和子、横手幸太郎
2. 発表標題 グルタミン代謝制御遺伝子 Glutaminase2 が癌・老化関連疾患に及ぼす影響
3. 学会等名 第 19 会日本抗加齢医学会総会（招待講演）
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 服部奈緒子、木村佳那、飯田直子、今井俊夫、小泉美帆、本田浩章、牛島俊和
2. 発表標題 クロモドメインタンパク Cdy12 は幹細胞の多能性維持に重要である
3. 学会等名 第 13 回日本エピジェネティクス研究会年会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 清宮啓之
2. 発表標題 ケミカルツールを利用した四重鎖核酸の統合機能解析とその応用
3. 学会等名 化学コミュニケーションのフロンティア第 6 回公開シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 吉信 公美子、荒木 美幸、森田 彩香、国場 訓、荒木 喜美、荒木 正健
2. 発表標題 コンディショナルノックアウトを効率良く行うためのタモキシフェン投与法の検討
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 五十嵐 道弘
2. 発表標題 コンドロイチン硫酸合成酵素ノックアウトマウス解析
3. 学会等名 第3回先端モデル動物支援プラットフォーム成果発表会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 倉岡康治, 中村加枝
2. 発表標題 サル扁桃体内で異なる社会的情報処理と報酬情報処理
3. 学会等名 次世代脳プロジェクト2019年度冬のシンポジウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 森田 伊織, 星野 翔太郎, 三橋 隆章, 森 貴裕, 阿部 郁朗
2. 発表標題 シトクロム P450 酸化酵素 TleB を用いた硫黄を含む 新奇 indolactam 類縁体化合物の創出
3. 学会等名 日本薬学会第 139 年会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 森田伊織, 星野翔太郎, 三橋隆章, 森貴裕, 藤田誠, 大和田智彦, 阿部郁朗
2. 発表標題 シトクロム P450 酸化酵素 TleB を用いた硫黄を含む新奇 indolactam 類縁体化合物の創出
3. 学会等名 食品薬学シンポジウム
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 森田 伊織, 森 貴裕, 阿部 郁朗
2. 発表標題 シトクロム P450 酸化酵素 TleB を用いた硫黄を含む新奇 indolactam 類縁体化合物の創出
3. 学会等名 日本薬学会第 139 年会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 山本 融, 尾嶋 大喜, Razib Hossain, 多田 篤史, 黒川 直弘, 長澤 研, 琢磨 和晃, 中井 雄規, 高橋 弘雄, 富永 貴志, 岸本 泰司
2. 発表標題 シナプス形成抑制因子 MDGA ファミリー分子群の欠失が引き起こす E/I バランス偏移がもたらす認知・行動異常
3. 学会等名 第42回日本神経科学大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 清水昭男、Xiaoling Pang、扇田久和
2. 発表標題 ジペプチジルペプチダーゼ-3 が糖尿病での心腎機能悪化を抑制
3. 学会等名 日本血管生物医学会学術集会 (CVMW2019)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大東親生、清水昭男、Xiaoling Pang、扇田久和
2. 発表標題 ジペプチジルペプチダーゼ-3 が糖尿病での腎機能悪化を抑制
3. 学会等名 日本生化学会近畿支部例会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中村輝
2. 発表標題 ショウジョウバエ生殖質形成を促進する新規小タンパク質
3. 学会等名 2019 遺伝研研究会 有性生殖における染色体・クロマチン・核動態に関する研究会 (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 上野博夫
2. 発表標題 シングルセル RNAseq を基点とした傍口腔上皮幹細胞の同定
3. 学会等名 第 71 回日本細胞生物学会大会(第 19 回日本蛋白質科学会年会合同年次大会) (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 豊國伸哉
2. 発表標題 シンポジウム 7 : マウスモデルを用いた発がん研究を再考する 発がん実験から確立されたフェロトキシスのコンセプト
3. 学会等名 第 78 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 渡海 紀子, 中村 貴紀, 武川 睦寛
2. 発表標題 ストレス応答 MAP キナーゼによる miRNA の発現調節とアポトーシス誘導機構の解明
3. 学会等名 第 78 回 日本癌学会学術総会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 渡海 紀子, 中村 貴紀, 武川 睦寛
2. 発表標題 ストレス応答 MAP キナーゼによる miRNA の発現調節とアポトーシス誘導機構の解
3. 学会等名 第 78 回日本癌学会総会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 武川睦寛
2. 発表標題 ストレス顆粒形成によるストレス誘導神経細胞死の制御と活性酸素によるその破綻
3. 学会等名 第 38 回日本認知症学会学術集会シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 橋本 夏葉、中村 貴紀、武川 睦寛
2. 発表標題 ストレス顆粒形成を制御する分子機構の解析
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山下映, 藤井一希, 腰高由美恵, 安達真由美, 笹川恵理, 中川真一, 高雄啓三, 椎名伸之
2. 発表標題 ストレス顆粒形成促進因子 NFAR2 の天然変性領域が担う液-液相分離の生理的意義の解析
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 酒井宏治
2. 発表標題 センダイウイルスの宿主マウスでの病原性発現機序と宿主免疫系への貢献
3. 学会等名 8th Negative Strand Virus-Japan Symposium
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山本一男
2. 発表標題 ゾウからネズミのサイズ生物学
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山本一男
2. 発表標題 ダウン症トリソミー関連遺伝子と細胞のサイズ調節
3. 学会等名 ダウン症基礎研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 南 敬
2. 発表標題 ダウン症モデルマウスからがんや血管病の治療・予防法を探る
3. 学会等名 第2回日本ダウン症会議
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 張明キュ、馬島哲夫， 清宮啓之
2. 発表標題 タンキラーゼ阻害剤による大腸がん幹細胞の増殖抑制とその分子機序
3. 学会等名 第 23 回日本がん分子標的治療学会学術集会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 久保田 裕二、藤岡 興、武川 睦寛
2. 発表標題 タンパク質 O-GlcNAc 化異常による増殖シグナルの活性化
3. 学会等名 第 78 回日本癌学会総会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 笹岡 俊邦， 齊藤 奈英， 原 怜， 田井中 一貴， 阿部 学， 川村 名子， 山口 瞬， 知見 聡美， 一瀬 宏， 崎村 建司， 南部 篤
2. 発表標題 テトラサイクリン調節ドーパミン D1 受容体発現を有する遺伝子改変マウスを用いたドーパミンによる運動制御機構の解明
3. 学会等名 第 42 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 齊藤 奈英, 田井中 一貴, 知見 聡美, 原 怜, 山口 瞬, 一瀬 宏, 南部 篤, 笹岡 俊邦
2. 発表標題 テトラサイクリン調節ドーパミン D1 受容体発現を有する遺伝子改変マウスを用いたドーパミンによる記憶及び運動制御機構の解明
3. 学会等名 新学術領域研究「非線形発振現象を基盤としたヒューマンネイチャーの理解」2019 年度第 2 回領域会議
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 齊藤奈英, 原 怜, 田井中一貴, 阿部学, 川村名子, 山口瞬, 知見聡美, 一瀬宏, 崎村建司, 南部篤, 笹岡俊邦
2. 発表標題 テトラサイクリン調節ドーパミン D1 受容体発現を有する遺伝子改変マウスを用いたドーパミンによる運動制御機構の解明
3. 学会等名 第 60 回新潟生化学懇話会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 谷藤 涼
2. 発表標題 テトラヒドロイソキノリンアルカロイド群の化学-酵素ハイブリッド全合成
3. 学会等名 若手研究者のための有機化学札幌セミナー (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 森 貴裕、森田 伊織、賀 飛、星野 翔太郎、三橋 隆章、淡川 孝義、阿部 郁朗
2. 発表標題 テレオンジン類生合成中の特異な 9 員環ラクタム形成機構に関する研究
3. 学会等名 第 61 回 天然有機化合物討論会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 森 貴裕、森田 伊織、賀 飛、星野 翔太郎、三橋 隆章、淡川 孝義、阿部 郁朗
2. 発表標題 テレオンジン類生合成中の特異な 9 員環ラクタム形成機構に関する研究
3. 学会等名 第 61 回天然有機化合物討論会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 佐々木捷悟, 松田未沙子, 馬 悦, 長澤和夫
2. 発表標題 テロメアグアニン四重鎖構造をアンチパラレル型に誘起する鎖状型ヘキサオキサゾール化合物の合成および物性評価
3. 学会等名 日本化学会 第 98 回春季年会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 竹内 力、岩崎 由香、塩見 春彦
2. 発表標題 テロメア構成レトロトランスポゾンの インシュレーター因子による制御
3. 学会等名 RNA Frontier Meeting
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 藤田明子, 奥野貴哉, Siriporn Tangsdjai, 織田弥伽, 伊川正人, 加藤啓子
2. 発表標題 てんかん〜うつ・不安障害に至る分子発症メカニズムの解明
3. 学会等名 先端モデル動物支援プラットフォーム成果発表会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 廣瀬伸一
2. 発表標題 てんかんと遺伝子
3. 学会等名 第 14 回日本てんかん学会九州地方会 in OKINAWA (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 笹岡 俊邦, 齊藤 奈英, 原 怜, 田井中 一貴, 阿部 学, 川村 名子, 山口 瞬, 知見 聡美, 一瀬 宏, 崎村 建司, 南部 篤
2. 発表標題 ドーパミン受容体及び NMDA 受容体変異マウスを用いた大脳基底核回路の機能解析
3. 学会等名 新学術領域研究「非線形発振現象を基盤としたヒューマンネイチャーの理解」2019 年度第 2 回領域会議
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 西谷直之, 福田勉
2. 発表標題 トポイソメラーゼ阻害薬ラメラリンの標的指向性変換による薬剤耐性 EGFR 阻害剤の創出
3. 学会等名 第 14 回日本がん分子標的治療学会 TR ワークショップ (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 毛利彰宏、國澤和生、窪田悠力、新島萌、森優子、勅使河原知明、藤垣英嗣、山本康子、尾崎紀夫、齋藤邦明、鍋島俊隆
2. 発表標題 トリプトファン代謝経路が抑うつに与える影響-基礎研究と臨床研究のクロストーク-
3. 学会等名 次世代を担う創薬・医療薬理シンポジウム 2019
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 速水 勇貴、橋本 博、石川 吉伸
2. 発表標題 ノビレチン類似体の簡便な合成と腫瘍細胞増殖阻害活性
3. 学会等名 第8回食品薬学シンポジウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小林康毅、阿部智也、饗場翔太、足立晴彦、高島誠司
2. 発表標題 パーキンソン様病態を示す遺伝子改変マウスの雄性不妊解析
3. 学会等名 第112回日本繁殖生物学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 仲尾純弥、神路祇里歩、福田勉、小野寺玄、木村正成
2. 発表標題 パラジウム触媒とトリエチルホウ素を用いた 3-ヒドロキシ-4-ペンテン酸とアルデヒドとのカップリング反応
3. 学会等名 第66回有機金属化学討論会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 早崎匠杜, 小野寺玄, 福田勉, 木村正成
2. 発表標題 パラジウム触媒とホスフィン-ボラン配位子を用いたアルデヒドの $\alpha$ 位アリル化反応
3. 学会等名 第 56 回化学関連支部合同九州大会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 仲尾純弥, ニノ方亮, 神路祇里歩, 福田勉, 小野寺玄, 木村正成
2. 発表標題 パラジウム触媒作用による 3-ヒドロキシ-4-ペンテン酸を共役ジエン等価体として活用したアルデヒドとのカップリング反応
3. 学会等名 日本化学会 第 99 春季年会 (2019)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 高橋里奈, 原怜, 村松慎一, 一瀬宏
2. 発表標題 ビオプテリン欠乏マウスにおける表現型の解析
3. 学会等名 第 92 回日本生化学会大会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 喜田 聡
2. 発表標題 ビタミン B1 を中心とした栄養素の摂取異常が導く記憶障害のメカニズムとその改善
3. 学会等名 第 73 回日本栄養・食糧学会大会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 ファイバーレス光遺伝学の開発とその応用による神経回路機能の同定
3. 学会等名 異分野融合による次世代光生物学 研究会 (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 金城 智章、寺井 健太、堀田 彰一郎、野村 紀通、隅山 健太、岩田 想、 富樫かおり、松田 道行
2. 発表標題 フェルスター共鳴エネルギー移動の原理に基づくニ光子励起用光遺伝学ツールの開発
3. 学会等名 第 19 回日本蛋白質科学会年会/第 71 回日本細胞生物学会大会 合同年次大会
4. 発表年 2019 年



1. 発表者名 豊國伸哉、蔣 麗、岡崎泰昌
2. 発表標題 フェロトーシスの視点からみる低温プラズマの医療応用 ワークショップ 1 大気圧プラズマによる活性酸素種の生成と生物応答
3. 学会等名 第 72 回日本酸化ストレス学会学術集会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 桑原麟太郎, 小野寺玄, 福田勉, Krause Norbert, 木村正成
2. 発表標題 ホスフィン-ボラン配位子と金触媒を用いたアルキン部位を有するマロン酸エステル誘導体の Conia-Ene 反応
3. 学会等名 第 56 回化学関連支部合同九州大会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 戸上翔太郎, 早崎匠杜, 清水愛香, 福田勉, 小野寺玄, 木村正成
2. 発表標題 ホスフィン-ボラン配位子を用いたアリルアルコールによるカルボニル化合物の $\alpha$ 位アリル化反応
3. 学会等名 第 66 回有機金属化学討論会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 土本 大介、古賀 祐一郎、林 良憲、アボルハッサニ ノナ、米嶋 康臣、作見邦彦、中西 博、豊國 伸哉、中別府 雄作
2. 発表標題 マウスにおける神経幹細胞特異的 ITPA 欠損は神経細胞の脱分極を引き起こし、てんかん性発作と早期死亡の原因となる
3. 学会等名 第 42 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 青野 仁美, 藤原 友佳, 尾嶋 大喜, 山本 融, 岸本泰司
2. 発表標題 マウスモデルを用いたプラセボおよびノセボ反応条件づけの開発と評価
3. 学会等名 日本薬学会第 139 年会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 山本真理子, 岩里琢治, 吉村由美子
2. 発表標題 マウス一次視覚野における Fast spiking 抑制性細胞-錐体細胞間結合の発達.
3. 学会等名 第 42 回日本神経科学大会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 奥村和弘、齋藤慈、磯貝恵理子、荒木 喜美、若林雄一
2. 発表標題 マウス系統間の Pak1-3`UTR の SNPs は発現減少と腫瘍抑制に関連する
3. 学会等名 第 66 回日本実験動物学会総会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 奥村和弘, 齋藤 慈, 磯貝恵理子, 荒木喜美, 若林雄一
2. 発表標題 マウス系統間の Pak1-3`UTR の SNPs は PAK1 発現減少と腫瘍抑制に関連する
3. 学会等名 第 66 回実験動物学会総会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 阿部幸一郎
2. 発表標題 マウス順遺伝学、ゲノム編集、疾患ゲノム解析による慢性再発性多発性骨髄炎の分子機構解明
3. 学会等名 第 91 回日本遺伝学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 横溝智雅, 井手上社子, 黒川峰夫, 小松則夫, 大里元美, 須田年生
2. 発表標題 マウス胎生期における Hlf 陽性血液細胞クラスターの運命追跡
3. 学会等名 第 81 回日本血液学会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 鈴木康浩, 中本 千尋, 阿部 学, 笹岡 俊邦, 崎村 建司
2. 発表標題 マウス脳における NMDA 型 グルタミン酸受容体サブユニットの定量的解析
3. 学会等名 第 42 回神経科学大会 第 62 回日本神経化学会大会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 西村建徳, 中田飛鳥, Chen Xiaoxi, 西くるみ, 堀家-目黒牧子, 佐々木宗一郎, 北賢二, 堀家慎一, 齋藤香織, 加藤啓子, 五十嵐香織, 村山貴彦, 河野晋, 高橋智聡, 向田直史, 矢野聖二, 曾我朋義, 東條有伸, 後藤典子
2. 発表標題 ミトコンドリア内葉酸代謝経路酵素阻害による抗腫瘍効果の評価ならびにその機序の解明
3. 学会等名 第 29 回日本サイトメトリー学会学術集会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 西村建徳、佐々木宗一郎、村山貴彦、向田直史、矢野聖二、曾我朋義、後藤典子
2. 発表標題 ミトコンドリア内葉酸代謝酵素 MTHFD2 を分子標的とした際の抗腫瘍効果の評価
3. 学会等名 第 23 回日本がん分子標的治療学会学術集会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 川見昌史、山上洋平、湯元良子、高野幹久
2. 発表標題 メトトレキサート誘発性上皮間葉転換に及ぼす PAI-1 の影響解析
3. 学会等名 第 11 回日本 RNAi 研究会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 一瀬宏
2. 発表標題 モノアミン生合成と先天性代謝異常
3. 学会等名 ビタミン B 研究委員会平成 30 年度シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 伊藤寛晃
2. 発表標題 ヤクアミドBの標的タンパク質同定
3. 学会等名 LiHub 創薬技術革新グループ ワークショップ 創薬関連研究の最先端 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 齋藤益満 (発表代表者・責任発表者)、長谷川寛雄、佐々木大介、山内俊輔、和田 悠作、松平 崇弘
2. 発表標題 ランダムインテグレーション評価法 (RAIS2) の開発と検査・解析サービスの展開
3. 学会等名 第6回日本 HTLV-1 学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 久保田 裕二、武川 睦寛
2. 発表標題 レクチンアフィニティーゲル電気泳動法を利用した O-GlcNAc 化タンパク質の解析
3. 学会等名 日本プロテオーム学会 2019年大会/第70日本電気泳動学会総会・合同大会シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 八尾 寛
2. 発表標題 レチナルタンパク質の適材適所-オプトジェネティクスユーザーからの提言
3. 学会等名 ISSP ワークショップ「レチナルタンパク質の光機能発現の物理と化学」 (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 レム睡眠を調節する神経回路の機能と操作
3. 学会等名 日本睡眠学会第 44 回定期学術集会 睡眠科学研究講座 (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 酒見裕香、Bu-chin Yu, 濱島留梨子、森岡優子、山中大介、伯野史彦、高橋伸一郎、新藤一敏
2. 発表標題 ローズマリーの加熱処理によって生成された新規化合物の構造解析と生理活性について
3. 学会等名 2019 年度農芸化学会大会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 松田美和, 山田剛司, 菊地 崇, 田中麗子
2. 発表標題 ワカメから分離した真菌の産生する新規脂肪酸に関する研究
3. 学会等名 第 67 回 日本薬学会近畿支部総会・大会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 中務胞、宮本純、藤澤信義、夏目里恵、三浦詩織、阿部学、三輪美樹、中村克樹、崎村建司、笹岡俊邦
2. 発表標題 異種間移植マーマーセット卵巢由来卵子による受精卵作出法の検討
3. 学会等名 第 8 回生理研-霊長研-脳研合同シンポジウム
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 花岡賢人、土本彬広、高島誠司
2. 発表標題 移植部位が清掃移植の成否に及ぼす影響
3. 学会等名 第 112 回日本繁殖生物学会
4. 発表年 2019 年



1. 発表者名 坂本 雅行
2. 発表標題 遺伝子にコードされた膜電位センサーとその応用
3. 学会等名 Neuro2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 喜田 聡
2. 発表標題 栄養素・食品成分による記憶制御機構
3. 学会等名 第58回 日本栄養・食糧学会 近畿支部大会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 武政大地、正木魁人、中野愛里、角田茂、久和茂、高島誠司
2. 発表標題 炎症性サイトカインインターロイキン1の活性異常が引き起こす雌性不妊不妊の病態解明
3. 学会等名 第112回日本繁殖生物学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉本恵里、松本晴年、安藤さえこ、深町勝巳、酒々井眞澄
2. 発表標題 沖縄県自生植物糸芭蕉 ( <i>Musa balbisiana</i> var. <i>liukuensis</i> ) の抗がん効果の検証
3. 学会等名 第139年会日本薬学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 橋本浩一
2. 発表標題 下オリーブ核のオシレーションの発生機序
3. 学会等名 第34回 日本大脳基底核研究会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 谷藤 涼
2. 発表標題 化学合成と in vitro 酵素変換の融合による多環性アルカロイドの迅速合成
3. 学会等名 酵素研究助成 第45回研究発表会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉田 香, 魏 民, 藤岡 正喜, 寺本 勲
2. 発表標題 加齢マウスへの亜鉛の長期間過剰投与による学習・記憶障害について
3. 学会等名 第 30 回 日本微量元素学会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 山口 洋一朗、関本 朝久、永井 琢哉、黒木 修司、田島 卓也、谷口 昇、今坂 舞、吉信 公 美子、荒木 喜美、荒木 正健、帖佐 悦男
2. 発表標題 可変型遺伝子トラップ法で作製した Itpr1 遺伝子欠損トラップマウスは著名な骨量減少を呈する
3. 学会等名 第 34 回日本整形外科学会基礎学術集会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 山口 洋一朗、関本 朝久、永井 琢哉、黒木 修司、田島 卓也、谷口 昇、今坂 舞、吉信 公 美子、荒木 喜美、荒木 正健、帖佐 悦男
2. 発表標題 可変型遺伝子トラップ法で作製した Itpr1 遺伝子欠損トラップマウスは著名な骨量減少を呈する
3. 学会等名 第 92 回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 関本 朝久、永井 琢哉、山口洋一郎、黒木 修司、田島 卓也、谷口 昇、今坂 舞、吉信 公美子、荒木 喜美、荒木 正健、帖佐 悦男
2. 発表標題 可変型遺伝子トラップ法を用いた新規骨代謝関連遺伝子探索のための効率的なスクリーニングシステムの開発
3. 学会等名 第 92 回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 野崎瑞貴、上殿千晴、古城公佑、内田将央、土屋春樹、山崎一恭、岩本晃明、佐藤陽一
2. 発表標題 家系を対象とした次世代シーケンス解析による新規男性不妊症原因遺伝子の同定と遺伝子改変マウス作製による精子形成に関する検討
3. 学会等名 日本アンドロロジー学会 第 38 回学術大会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 河原 康一、川畑 拓斗、下川 倫子、白石 岳大、朝日 汰一
2. 発表標題 核小体による細胞分裂監視と腫瘍化進展制御
3. 学会等名 平成 30 年度文部科学省新学術領域研究 学術研究支援基盤形成 先端モデル動物支援プラットフォーム 成果発表会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 清水逸平
2. 発表標題 褐色脂肪研究を通じた肥満関連疾患の新規治療標的分子の探索
3. 学会等名 心血管内分泌代謝学会 2019 (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 鈴木友彰、扇田久和、佐藤朗、木下武、高島範之、近藤康生、宮下史寛、鉢呂康平、脇坂穂高
2. 発表標題 冠動脈周囲脂肪組織が動脈硬化に及ぼす影響
3. 学会等名 日本冠疾患学会学術集会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 服部奈緒子、木村佳那、飯田直子、今井俊夫、小泉美帆、本田浩章、牛島俊和
2. 発表標題 幹細胞の多能性維持に関与するヒストンリーダーCdy12 の同定
3. 学会等名 第 42 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 上田(石原)奈津実、木下専
2. 発表標題 環境要因により影響を受ける認知機能に対するアプローチ
3. 学会等名 資生堂女性研究者サイエンスグラント受賞者 特別講演会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 原田武志, 松本真司, 廣田傑, 木村公一, 藤井慎介, 菊池章
2. 発表標題 肝腫瘍に対する ARL4C を標的としたアンチセンス核酸を用いた新規がん治療法の開発
3. 学会等名 第 92 回日本生化学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 河原康一, 下川倫子, 川畑拓斗, 古川龍彦
2. 発表標題 癌抑制遺伝子 p53 を活性化する新たながん分子標的治療薬の創生
3. 学会等名 第 92 回日本生化学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 星野翔太郎、淡川 孝義、三橋 隆章、Wong Chin Piow、森田 洋行、阿部 郁朗
2. 発表標題 希少放線菌 <i>Streptoalloteichus tenebrarius</i> NBRC 16177 株が産生する二次代謝産物に関する研究
3. 学会等名 日本薬学会第 139 年会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Zhang Tong, 和田 進太郎, 柳田 淳子, 笹瀬 人暉, Li Xueting, 上居 寛典, 堂本 将輝, 出山 諭司, 檜井 栄一, 山中 章弘, 西谷 直也, 永安 一樹, 金子 周司, 南 雅文, 金田 勝幸
2. 発表標題 急性ストレス負荷によるコカイン欲求行動増強における内側前頭前野ノルアドレナリン神経伝達の役割
3. 学会等名 生体機能と創薬シンポジウム 2019
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 大橋愛美, 福田勉, 岡村睦美, 西谷直之, 宇野佑子, 澤匡明, 岩尾正倫, 且慎吾
2. 発表標題 強い抗がん選択性を持つ CDK4/6 を標的とした新規ラメラリン類縁体の同定
3. 学会等名 第 78 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 喜田 聡
2. 発表標題 恐怖記憶再固定化と消去に対する海馬の役割と記憶制御の分子機構
3. 学会等名 第 49 回日本神経精神薬理学会/第 29 回日本臨床精神神経薬理学会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 喜田 聡
2. 発表標題 恐怖記憶制御のメカニズムと PTSD 治療方法開発への応用
3. 学会等名 第 12 回新潟こころの発達医学セミナー (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 豊國伸哉
2. 発表標題 教育講演：アスベスト曝露による中皮腫発症機構の解明とその予防
3. 学会等名 第 1 回日本石綿・中皮腫学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2019 年



1. 発表者名 清水貴美子
2. 発表標題 空間記憶の長期維持を可能にする脳内分子メカニズム
3. 学会等名 日本生化学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 福田 七穂, Percipalle Piergiorgio, Czaplinski Kevin, 福田 智行, 笹岡 俊邦
2. 発表標題 結合タンパク質 hnRNP A/B のマウス嗅覚神経細胞における機能の解明
3. 学会等名 第 42 回神経科学大会 第 62 回日本神経化学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 市川 二郎, 安藤 隆, 波呂 浩孝
2. 発表標題 血小板による骨肉腫の転移誘導
3. 学会等名 第 92 回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石黒 啓一郎
2. 発表標題 減数分裂型の細胞周期プログラムへの切替え
3. 学会等名 第 37 回染色体ワークショップ・第 18 回核ダイナミクス研究会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 佐野浩子
2. 発表標題 個体はどのようにして糖摂取を感知するのか? : ショウジョウバエおよびマウスモデルを用いた遺伝学的解析
3. 学会等名 第 9 回 TOR 研究会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 土本彬広、刀根将晃、正木魁人、角田茂、久和茂、高島誠司
2. 発表標題 個体老化が清掃に与える影響
3. 学会等名 第 112 回日本繁殖生物学会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 宮嶋克也, 原怜, 一瀬宏
2. 発表標題 交感神経特異的チロシン水酸化酵素遺伝子破壊による末梢臓器におけるドーパミン生合成機構に関する研究
3. 学会等名 第92回日本生化学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 柴田 博史, 大橋 敏充, 西堀 丈純, 久世 文也, 宮崎 龍彦, 青木 光広
2. 発表標題 甲状腺未分化癌における多能性関連遺伝子群の発現
3. 学会等名 第43回 日本頭頸部癌学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 清水孝恒、武藤章弘、佐谷秀行
2. 発表標題 骨肉腫のインスリンシグナルによる形態変化と治療抵抗性獲得
3. 学会等名 第50回日本臨床分子形態学会総会・学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 清水孝恒、武藤章弘、佐谷秀行
2. 発表標題 骨肉腫難治例の治療抵抗性分子機構の解明と新規治療法開発にむけた基礎的検討
3. 学会等名 第 13 回日本緩和医療薬学会年会（招待講演）
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 永井 琢哉、関本 朝久、山口 洋一郎、黒木 修司、田島 卓也、谷口 昇、今坂 舞、吉信 公美子、荒木 喜美、荒木 正健、帖佐 悦男
2. 発表標題 骨表現型スクリーニングで選別した Tmem161a 欠損トラップマウスは細胞ストレス応答に関与し骨量増加を呈する
3. 学会等名 第 34 回日本整形外科学会基礎学術集会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 永井 琢哉、関本 朝久、山口洋一郎、黒木 修司、田島 卓也、谷口 昇、今坂 舞、吉信 公美子、荒木 喜美、荒木 正健、帖佐 悦男
2. 発表標題 骨表現型スクリーニングで選別した Tmem161a 欠損トラップマウスは酸化ストレスに関与し骨量増加を呈する
3. 学会等名 第 92 回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 中務胞、夏目里恵、崎村建司、笹岡俊邦、山城秀昭、阿部学
2. 発表標題 最先端発生工学技術の融合による脳神経研究に有用な遺伝子改変動物作製法確立の試み
3. 学会等名 第 60 回新潟生化学懇話会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 山本一男、宮崎利香、早田正和
2. 発表標題 細胞のサイズ調節機構と生理的意義
3. 学会等名 サイズ生物学ワークショップ 2019
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 清宮啓之
2. 発表標題 四重鎖核酸ケモプローブに対する細胞応答の解明とがん創薬への応用
3. 学会等名 第 92 回日本生化学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 安藤さえこ、吉本恵里、松本晴年、深町勝巳、酒々井眞澄.
2. 発表標題 脂肪酸をリードとする STAT3 阻害抗がん物質の cytotoxicity および作用機序の検証
3. 学会等名 第 46 回日本毒性学会学術年会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 安藤さえこ、吉本恵里、松本晴年、深町勝巳、酒々井眞澄.
2. 発表標題 脂肪酸をリードとする STAT3 阻害薬の開発
3. 学会等名 第 26 回日本がん予防学会総会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 安藤さえこ、吉本恵里、深町勝巳、松本晴年、酒々井眞澄
2. 発表標題 脂肪酸をリードとする STAT4 阻害抗がん物質の開発
3. 学会等名 第 139 年会日本薬学会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 安藤さえこ、吉本恵里、松本晴年、深町勝巳、酒々井眞澄
2. 発表標題 脂肪酸をリードとする新規 STAT3 阻害物質の探索
3. 学会等名 第 34 回発癌病理研究会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 神吉智丈
2. 発表標題 脂肪組織におけるミトコンドリアオートファジーの生理的意義
3. 学会等名 第 66 回日本実験動物学会総会 (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Tesshu Hori, Shohei Ikuta, Tomokazu Yoshida, Kenji Sakimura, Keizo Takao, Satoko Hattori, Tsutomu Miyakawa, Reiko Kobayakawa, Chieko Koike
2. 発表標題 視覚異常マウスにおける精神疾患様行動の発現機構解析
3. 学会等名 次世代脳プロジェクト 2019 年度冬のシンポジウム
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 山内 俊輔（発表代表者）、長谷川 寛雄（責任発表者）、斎藤 益満（研究分担者）、佐々木 大介、今泉 芳孝、柳原 克紀
2. 発表標題 次世代 HTLV-1 クロナリティ解析法(RAIS1)の開発とその進捗
3. 学会等名 第6回日本HTLV-1学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 駒倉啓大、及川大輔、徳永文稔
2. 発表標題 自然免疫制御に関わる新規脱ユビキチン化酵素 OTUD1 の同定と生理機能解析
3. 学会等名 第24回日本病態プロテアーゼ学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yang, C.-C, Mayumi, Shindo, Hisao Masai
2. 発表標題 種々の生体ストレス反応における、Claspin のストレス応答メディエーターとしての役割(Claspin as a general mediator molecule that responds to various cellular stress)
3. 学会等名 第42回 日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 河原康一、川畑拓斗、山本雅達、新里能成、古川龍彦
2. 発表標題 腫瘍細胞に優先的に p53 応答を引き出す新たながん分子標的治療薬の創生
3. 学会等名 第 78 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 河原 康一, 下川 倫子, 古川 龍彦
2. 発表標題 腫瘍細胞へ優先的に p53 応答を引き出す新たながん分子標的治療薬の創生
3. 学会等名 第 57 回日本癌治療学会学術集会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 河原 康一、下川 倫子、古川 龍彦
2. 発表標題 腫瘍細胞へ優先的に p53 応答を来す新たながん分子標的治療薬
3. 学会等名 第 23 回日本がん分子標的治療学会学術集会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 河原 康一、古川 龍彦
2. 発表標題 腫瘍優先的に p53 経路の活性化を起こす新たな分子標的治療薬の開発
3. 学会等名 第 42 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 奥村和弘, 齋藤 慈, 磯貝恵理子, 荒木喜美, 若林雄一
2. 発表標題 順遺伝学に基づく MSM マウスの発がん抵抗性の解明
3. 学会等名 第 34 回発癌病理研究会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 船城桐子、伊東剛、村上善則
2. 発表標題 小細胞肺がんの悪性化における細胞接着分子 CADM1 の機能解析
3. 学会等名 第 78 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 坂本修一、井上裕幸、大庭俊一、宇佐美伊保美、幸田泰子、水谷壮利、川田学
2. 発表標題 小細胞肺がんの自然転移モデルにおいて転移形成に関与する因子の探索
3. 学会等名 平成 30 年度先端モデル動物支援プラットフォーム「成果発表会」
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 廣瀬伸一
2. 発表標題 小児てんかん性脳症の革新的創薬を見据えた病態解析
3. 学会等名 令和元年度 AMED 再生医療研究交流会（招待講演）
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Taisuke Miyazaki, Miwako Yamasaki, Kenji F. Tanaka, Masahiko Watanabe
2. 発表標題 小脳ルガロ細胞の帯状構造特異的な入出力様式
3. 学会等名 第 125 回日本解剖学会総会・全国学術集会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Taisuke Miyazaki, Miwako Yamasaki, Kenji F. Tanaka, Masahiko Watanabe
2. 発表標題 小脳ルガロ細胞の帯状構造特異的な入力様式と介在ニューロンへの抑制性支配様式
3. 学会等名 Neuro2019 第42回日本神経科学大会 第62回日本神経化学大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山口憲孝, 山口直人, 高野博之.
2. 発表標題 上皮間葉転換と細胞内代謝リモデリングのクロストーク
3. 学会等名 第139回日本薬学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小竹 久仁彦, 安達 貴弘
2. 発表標題 食物アレルギー及び自己免疫疾患における IgA の影響
3. 学会等名 日本食品免疫学会第15回学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小竹久仁彦、安達貴弘
2. 発表標題 食物アレルギー及び自己免疫疾患における IgA の影響
3. 学会等名 日本食品免疫学会 設立 15 周年記念学術大会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 小竹久仁彦、安達貴弘
2. 発表標題 食物アレルギー及び自己免疫疾患における IgA の影響
3. 学会等名 日本食品免疫学会設立 15 周年記念学術大会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 正井久雄、加納豊、田中卓、伊藤さゆり、深津理乃、森山賢治、鷺朋子、覺正直子、吉沢直子、井口智成、加藤宏幸
2. 発表標題 新しいゲノムシグナチャーとしての RNA-DNA ハイブリッドとグアニン 4 重鎖
3. 学会等名 第 92 回日本生化学会大会 シンポジウム『新しいゲノムの姿とその維持機構のフレキシビリティ』（招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 三浦詩織、藤澤信義、宮本純、小田佳奈子、福田七穂、内山澄香、田中稔、山本美丘、作間赳法、阿部光寿、齊藤奈英、鈴木康浩、中務胞、夏目里恵、小林隆、三浦宏平、崎村健司、若井俊文、笹岡俊邦
2. 発表標題 新潟大学における中型実験動物の飼育管理と利用
3. 学会等名 第8回生理研-霊長研-脳研合同シンポジウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 及川大輔
2. 発表標題 新規 LUBAC 阻害剤の同定と合成展開による阻害能亢進
3. 学会等名 第2回ユビキチン研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 入江一浩
2. 発表標題 新規 PKC リガンドの開発と HIV の Shock & Kill 療法への応用
3. 学会等名 新学術領域研究（化学コミュニ）第6回公開シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松本真司, 山道拓, 山道拓, 新沢康英, 奥山宏臣, 菊池章
2. 発表標題 新規 Wnt シグナル標的遺伝子による TGF $\beta$ シグナルの抑制を介した肝芽腫形成の制御
3. 学会等名 第 92 回日本生化学会大会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 市川朝永, 二口充, 森下和広
2. 発表標題 新規がん抑制遺伝子 NDRG2 欠損マウスにおける脂質代謝異常および腫瘍形成機構の解析
3. 学会等名 先端モデル動物支援プラットフォーム「2018 年度成果発表会」
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 武川睦寛
2. 発表標題 新規ストレス・センサーによるストレス応答シグナルと炎症性サイトカイン産生の制御
3. 学会等名 第 14 回日本臨床ストレス応答学会シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 松本 有樹修
2. 発表標題 新規ポリペプチドによる恒常性維持機構
3. 学会等名 第 71 回日本細胞生物学会大会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 安藤さえこ、吉本恵里、松本晴年、深町勝巳、酒々井眞澄.
2. 発表標題 新規抗がん物質の効果および作用機序解析
3. 学会等名 第 36 回日本毒性病理学会総会及び学術集会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 中村信嗣, Yinmon Htun, 中尾泰浩, 光家努, 若林誉幸, 有岡誠, 森本絢, 小谷野耕佑, 小西行彦, 安田真之, 近藤園子, 福家典子, 日下隆.
2. 発表標題 新生仔豚モデルを用いた水素ガス吸入療法の生体への影響及び使用上の安全性の検証
3. 学会等名 第 64 回日本新生児成育医学会・学術集会
4. 発表年 2019 年



1. 発表者名 中村信嗣, Yinmon Htun, 中尾泰浩, 光家努, 若林誉幸, 有岡誠, 森本絢, 小谷野耕佑, 小西行彦, 安田真之, 近藤園子, 福家典子, 日下隆.
2. 発表標題 新生仔豚モデルを用いた水素ガス吸入療法の生体への影響及び使用上の安全性の検証.
3. 学会等名 第 64 回日本新生児成育医学会・学術集会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 中村信嗣
2. 発表標題 新生児低酸素性虚血性脳症に対する水素ガス吸入療法の脳保護効果 ～新生仔豚仮死モデルを用いた基礎研究から～.
3. 学会等名 第 47 回日本救急医学会総会・学術集会ランチョンセミナー (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 中尾泰浩, Yinmon Htun, 光家努, 橋本絢, 若林誉幸, 杉野政城, 中村信嗣, 小谷野耕佑, 近藤園子, 岩瀬孝志, 安田真之, 日下隆.
2. 発表標題 新生児豚仮死モデルにおける蘇生後 30 分間の脳血液量変化と脳障害の関係 ～出生後早期の脳循環モニタリングで予後予測が可能か?～.
3. 学会等名 第 64 回日本新生児成育医学会・学術集会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 中尾泰浩, Yinmon Htun, 光家努, 橋本絢, 若林誉幸, 杉野政城, 中村信嗣, 小谷野耕佑, 近藤園子, 岩瀬孝志, 安田真之, 日下隆.
2. 発表標題 新生児豚仮死モデルにおける蘇生後 30 分間の脳血液量変化と脳障害の関係 ～出生後早期の脳循環モニタリングで予後予測が可能か?～.
3. 学会等名 第 64 回日本新生児成育医学会・学術集会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 神経活動操作による睡眠覚醒調節神経の機能的同定
3. 学会等名 日本睡眠学会第 44 回定期学術集会 シンポジウム 33 (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 松岡利典、山崎美和子、阿部学、松田由喜子、森野豊之、川上秀史、崎村建司、渡辺雅彦、橋本浩一
2. 発表標題 神経細胞 resonance 特性における Kv11 チャネルの関与
3. 学会等名 広島神経医科学研究会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 松岡 利典, 山崎 美和子, 阿部 学, 松田 由喜子, 森野 豊之, 川上 秀史, 崎村 健司, 渡辺 雅彦, 橋本 浩一
2. 発表標題 神経細胞の resonance 特性における Kv11 チャンネルの関与
3. 学会等名 次世代脳プロジェクト冬のシンポジウム 2019
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 八尾 寛
2. 発表標題 神経細胞を近赤外光操作するバイオ・ナノデバイスシステムの開発.
3. 学会等名 戦略的国際共同研究プログラム (SICORP) 日本-シンガポール共同研究「バイオデバイス」領域平成 27 年度採択課題 国内成果報告会(2019/1/29), 東京 (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 阿部陽一郎
2. 発表標題 神経疾患とアクアポリン 4 ～アルツハイマー病を中心として～
3. 学会等名 第 13 回 In vivo 実験医学シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 中村信嗣, Yinmon Htun, 中尾泰浩, 光家努, 有岡誠, 森本絢, 小谷野耕佑, 安田真之, 近藤園子, 加藤育子, 岩瀬孝志, 日下隆.
2. 発表標題 水素ガス吸入療法は低酸素虚血後・低体温療法中の痙攣発症を軽減できるか？ -新生仔豚仮死モデルを用いた基礎的検討-
3. 学会等名 第 64 回日本新生児成育医学会・学術集会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 睡眠覚醒状態変化に関わる神経回路の機能的同定
3. 学会等名 第 42 回日本神経科学大会 (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 睡眠覚醒調節と記憶の制御に関わる神経の活動記録と操作
3. 学会等名 平成 30 年度生命融合科学教育部シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 睡眠覚醒調節神経と痛みの制御
3. 学会等名 第 13 回日本緩和医療薬学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 睡眠覚醒調節神経の機能的同定
3. 学会等名 第 92 回日本薬理学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 武川睦寛
2. 発表標題 数理科学を活用した JNK シグナルと細胞運命制御機構の解明
3. 学会等名 第 92 回日本生化学会大会シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 武川睦寛
2. 発表標題 数理解析に基づく MAPK シグナルと生命機能制御機構の解明
3. 学会等名 第 4 回新学術領域研究「数理シグナル」領域推進会議
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 中村 貴紀、渡海 紀子、中澤 嵩、森 竜樹、鈴木 貴、武川 睦寛
2. 発表標題 数理解析を活用した中心体複製開始を制御する分子機構の解明
3. 学会等名 第 78 回日本癌学会総会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 岡田正康、米岡有一郎、大石誠、藤井幸彦
2. 発表標題 成長ホルモン産生下垂体腺腫に対する術後照射 18 年後に sarcomatous transformation を来した一例
3. 学会等名 第 29 回日本間脳下垂体腫瘍学会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 青山 愛, 藤元 次郎, 仙波 憲太郎
2. 発表標題 正常-がん細胞間作用によるフォーカス形成制御機構の化学生物学的解析
3. 学会等名 In vivo イメージングフォーラム 2019
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 青山 愛, 藤元 次郎, 平野 弘之, 渡辺 信元, 長田 裕之, 仙波 憲太郎
2. 発表標題 正常-がん細胞間作用によるフォーカス形成制御機構の化学生物学的解析
3. 学会等名 第 42 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 大栗博毅
2. 発表標題 生合成拡張型合成の新展開と機能創発への挑戦
3. 学会等名 理研シンポジウム：第 14 回有機合成化学フロンティア（招待講演）
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 大栗博毅
2. 発表標題 生合成拡張型合成プロセスの開発と機能性中分子群創製
3. 学会等名 微生物ウィーク 2019 コラボシンポジウム：放線菌が生産する構造多様性に富んだ化合物とその応用への展開 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石黒 啓一郎
2. 発表標題 生殖細胞における体細胞分裂から減数分裂への切替え機構
3. 学会等名 第 125 回日本解剖学会総会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高田 幸, 小寺 千聡, 竹本 一政, 前田 亮, 坂下 陽彦, 松浦 公美, 丹羽 仁史, 立花 誠, 行川 賢, 荒木 喜美, 石黒 啓一郎
2. 発表標題 生殖細胞特異的ジंकフィンガータンパク質は減数分裂前期パキテン脱出の転写制御に働く
3. 学会等名 第 42 回日本分子生物学会
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 安達貴弘
2. 発表標題 生体イメージングによる腸管機能の可視化解析
3. 学会等名 第 104 回 日本栄養・食糧学会関東支部シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 安達貴弘
2. 発表標題 生体イメージングによる腸管機能の可視化解析
3. 学会等名 第 104 回 日本栄養・食糧学会関東支部 (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 酒井宏治、永田直也、野村起美恵、入江崇、竹原一明、神田浩明、網康至
2. 発表標題 生体における呼吸器ウイルスの膜蛋白質開裂機構の解明
3. 学会等名 第 66 回日本実験動物学会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 馬悦, 中村貴大, 岡部幸子, 新家一男, 清宮啓之, 長澤和夫
2. 発表標題 生理活性天然物をリードとするグアニン四重鎖を標的とした抗がん剤の創製研究
3. 学会等名 先端モデル動物支援プラットフォーム 成果発表会 2018
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 高島誠司
2. 発表標題 精子幹細胞制御における FGF2 と GDNF の違い
3. 学会等名 日本繁殖生物学会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 中野愛里, 高島誠司
2. 発表標題 精上皮周期に伴う精子幹細胞自己複製因子の発言変化と未分化型精原細胞の動態
3. 学会等名 第 112 回日本繁殖生物学会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 片野泰代, 今野幸太郎, 西田和彦, 渡辺雅彦, 崎村建司, 小林拓也, 伊藤誠二
2. 発表標題 脊髄後角における疼痛関連タンパク BEGAIN 陽性細胞の機能的特徴
3. 学会等名 第 42 回日本神経科学大会/第 62 回日本神経化学大会/NEURO2019 (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 橋口 俊太, 土井 宏, 國井 美紗子, 中村 行宏, 志牟田 美佐 , 鈴木 江津子, 大久保 正紀 , 笹岡 俊邦, 竹内 英之, 石川 太郎, 田中 章景
2. 発表標題 脊髄小脳失調症 42 型モデルマウスを用いた神経変性分子病態基盤の解明
3. 学会等名 第 42 回神経科学大会 第 62 回日本神経化学学会大会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 梶和子、加藤千賀、三谷優太、石井万由子、林康紀、村谷匡史、水野聖哉、杉山文博、高橋智、加藤秀樹、梶正幸
2. 発表標題 先天的腓骨神経欠損マウスの原因遺伝子の同定
3. 学会等名 先端モデル動物支援プラットフォーム 成果発表会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 野住 素広
2. 発表標題 先端端におけるアクチン束の空間分布が局所的エンドサイトーシス、受容体局在を決定付ける
3. 学会等名 2019年生体運動研究合同会議
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 永井正義、家村顕自、服部聡子、吉川貴子、萩原英雄、安澤隼人、木下賢吾、大隅典子、宮川剛、田中耕三
2. 発表標題 染色体整列因子 CAMP (CHAMP1) 欠損による知的障害発症メカニズムの解明
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 永井正義、家村顕自、吉川貴子、服部聡子、宮川剛、大隅典子、田中耕三
2. 発表標題 染色体整列関連因子 CAMP は長期記憶の維持に関与する
3. 学会等名 第36回染色体ワークショップ・第17回核ダイナミクス研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 北元 優梨、古閑 成美、林田 隆成、慶田 貴子、吉信 公美子、鳥越 大輔、中村 直子、中潟直己、高岡 裕、柳 久美子、要 匡、荒木 喜美、荒木 正健
2. 発表標題 潜性（劣性）遺伝形式で多血症の症状を示す自然発生突然変異マウス[pocy]の解析
3. 学会等名 2019年度先端モデル動物支援プラットフォーム 成果発表会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 荒木 正健、北元 優梨、林田 隆成、増田 好美、古閑 成美、慶田 貴子、吉信 公美子、鳥越大輔、中村 直子、中潟 直己、高岡 裕、柳 久美子、要 匡、荒木 喜美
2. 発表標題 潜性（劣性）遺伝形式で多血症の症状を示す自然発生突然変異マウス『pocy』の解析
3. 学会等名 第66回日本実験動物学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 笹岡俊邦、齊藤奈英、知見聡美、小田佳奈子、阿部学、鍋島曜子、鍋島陽一、田井中一貴、崎村建司、南部篤
2. 発表標題 線条体のD2ドーパミン受容体を発現する間接路ニューロンにおけるNMDA受容体のMg <sup>2+</sup> ブロックの減少により引き起こされる運動異常
3. 学会等名 新学術領域研究「非線形発振現象を基盤としたヒューマンネイチャーの理解」2019年度第1回領域会議
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 笹岡 俊邦, 齊藤 奈英, 阿部 学, 川村 名子, 鍋島 曜子, 鍋島 陽一, 田井中 一貴, 崎村 建司
2. 発表標題 線条体の D2 ドーパミン受容体発現間接路神経における NMDA 受容体のマグネシウムブロック低下による運動異常
3. 学会等名 第 42 回神経科学大会 第 62 回日本神経化学学会大会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 稲垣 良, 笹川 正人, 小山内 実
2. 発表標題 線条体直接路ニューロンと間接路ニューロンの周波数応答特性は異なる
3. 学会等名 第 34 回日本大脳基底核研究会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 稲垣 良, 笹川 正人, 小山内 実
2. 発表標題 線条体投射ニューロンの周波数応答特性は直接路と間接路で異なる.
3. 学会等名 2019 年 電気学会 電子・情報・システム部門大会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 村上匠蔵, 小林大士, 木村康誠, 広瀬 侑, 浴 俊彦
2. 発表標題 線虫ダイサー関連ヘリカーゼ DRH の生化学的機能解析
3. 学会等名 第 83 回日本生化学会中部支部例会・シンポジウム
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 選択的オートファジーによる転写制御
3. 学会等名 第 66 回日本実験動物学会 (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 選択的マクロオートファジー、分子から生理機能まで
3. 学会等名 第 92 回日本生化学会 (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 石田綾
2. 発表標題 早期ライフステージにおける神経回路成熟機構の解明
3. 学会等名 AMED-Prime「早期ライフ」研究開発領域キックオフ会議
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 上野博夫
2. 発表標題 多色細胞系譜追跡法と single cell RNAseq を基点とした成体幹細胞の同定
3. 学会等名 愛媛大学 TRC セミナー（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 上野博夫
2. 発表標題 多色細胞系譜追跡法と single cell RNAseq を基点とした成体幹細胞の同定
3. 学会等名 慶應義塾大学 JKIC セミナー（招待講演）
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 上野博夫
2. 発表標題 多色細胞系譜追跡法と single cell RNAseq を基点とした成体幹細胞の同定
3. 学会等名 昭和大学学士会後援セミナー（招待講演）
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 上野博夫
2. 発表標題 多色細胞系譜追跡法と single cell RNAseq を基点とした成体幹細胞の同定
3. 学会等名 鳥取大学染色体工学研究センターセミナー（招待講演）
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 上野博夫
2. 発表標題 多色細胞系譜追跡法による成体幹細胞の同定（AI を用いた幹細胞・発生研究）
3. 学会等名 第 18 回日本再生医療学会（招待講演）
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 中山淳, 二口充, 仙波憲太郎
2. 発表標題 多臓器転移誘導遺伝子 HNF1B の同定と機能解析
3. 学会等名 第 42 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 石黒啓一郎
2. 発表標題 体細胞分裂から減数分裂への細胞周期の切替え機構
3. 学会等名 The 36th Chromosome Workshop and the 17th Nuclear Dynamics
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 石黒 啓一郎
2. 発表標題 体細胞分裂から減数分裂への細胞周期の切替え機構
3. 学会等名 日本遺伝学会 第 91 回大会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 石黒 啓一郎
2. 発表標題 体細胞分裂から減数分裂への切替え機構
3. 学会等名 第 42 回日本分子生物学会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 古瀬民生、山田郁子、串田知子、尾崎藍、三浦郁生、上野正樹、田村勝
2. 発表標題 胎児期に母体のメチル基供与体の減少に暴露されたマウスの神経行動学的表現型解析
3. 学会等名 第 42 回分子生物学会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 若林勇樹, 馬悦, 飯田圭介, 齋藤良太, 長澤和夫
2. 発表標題 大環状ヘキサオキサゾール誘導体を用いたグアニン四重鎖を標的とする Light-up 型蛍光リガンドの創製
3. 学会等名 日本ケミカルバイオロジー学会 第 14 回年会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 阿部壮矩, 渡辺菜美, 佐京智子, 奥裕介, 福田勉, 且慎吾, 矢守隆夫, 石橋郁人, 上原至雅, 岩尾正倫, 西谷直之
2. 発表標題 第3世代 EGFR チロシンキナーゼ阻害薬耐性非小細胞肺癌に対する Lamellarin14 と Cetuximab 併用効果の検討
3. 学会等名 第58回日本薬学会東北支部大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤叔史, Sobuz Shihab U., 吉澤達也, Fazlul Karim, 小野勝彦, 澤智裕, 宮本洋一, 岡正啓, 山縣和也
2. 発表標題 脱アセチル化酵素 SIRT7 による NF- $\kappa$ B p65 の核外輸送制御メカニズムの解明
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 駒倉啓大, 及川大輔, 徳永文稔
2. 発表標題 脱ユビキチン化酵素 OTUD1 による NF- $\kappa$ B 経路とインターフェロン産生経路の相反的制御
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 駒倉啓大、及川大輔、徳永文稔
2. 発表標題 脱ユビキチン化酵素 OTUD1 による NF- $\kappa$ B 経路とインターフェロン産生経路の相反的制御
3. 学会等名 第 42 回日本分子生物学会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 藤井喬之、田中彩、形見祐人、上野正樹、千葉陽一、桑原知己、今大路治之、大西峻、加治建、家入里志、下野隆一
2. 発表標題 短腸症候群モデルにおけるグアーガムの腸管上皮保護作用と腸内細菌
3. 学会等名 第 119 回日本外科学会定期学術集会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 野崎瑞貴、上殿千晴、古城公佑、内田将央、土屋春樹、岩本晃明、佐藤陽一
2. 発表標題 男性不妊症新規原因遺伝子の同定と遺伝子改変マウス作製による精子形成機能に関する検討
3. 学会等名 平成 30 年度成果報告会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 中川直、中山啓子
2. 発表標題 知的障害・自閉症関連因子 SETD5 による rDNA のエピジェネティック制御
3. 学会等名 第 42 回日本分子生物学会 (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 Tadashi Nakagawa, Satoko Hattori, Tsuyoshi Miyakawa, Keiko Nakayama
2. 発表標題 知的障害・自閉症関連因子 SETD5 による rDNA のエピジェネティック制御
3. 学会等名 第 42 回分子生物学会 (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 中村 貴紀, 西住(渡海) 紀子, 中澤 嵩, 森 竜樹, 鈴木 貴, 武川 睦寛
2. 発表標題 中心体複製初期に起こる PLK4 の中心体輸送機構
3. 学会等名 第 19 回日本蛋白質科学年会・第 71 回日本細胞生物学会 合同年次大会 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 土居雅夫
2. 発表標題 昼寝の体温・代謝リズムを制御する脳内サーカディアンリズム中枢の分子機構
3. 学会等名 第34回日本糖尿病・肥満動物学会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大神 正次, 高井 伸彦, 二口充, 鶴澤 玲子, 平山 亮一
2. 発表標題 腸管放射線防護を目的とする末梢性 NMDA 受容体の解析
3. 学会等名 日本薬学会第139年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 上田(石原)奈津実、木下専
2. 発表標題 長期記憶保持に必要な分子・細胞基盤の解明
3. 学会等名 2019 GTR Seeds Seminar（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高橋宏隆、及川大輔、長尾和哉、岩崎誠、今井祐記、徳永文稔、澤崎達也
2. 発表標題 直鎖状ポリユビキチン鎖結合タンパク質 ZnUBP ファミリーの NF- $\kappa$ B 抑制機構の解明
3. 学会等名 第 42 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 及川大輔
2. 発表標題 直鎖状ユビキチン鎖を足場とした免疫シグナル制御に関する数理モデル解析
3. 学会等名 日本応用数理学会 (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 徳永文稔
2. 発表標題 直鎖状ユビキチン鎖生成を介した炎症シグナル発信と疾患・創薬
3. 学会等名 第 42 回日本分子生物学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2019 年



1. 発表者名 津山友徳、佐藤叔史、吉澤達也、松岡孝昭、山縣和也
2. 発表標題 低酸素ストレスは Bhlhe40-Mafa 経路を介してインスリン分泌不全を誘導する
3. 学会等名 第 42 回日本分子生物学会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 若月修二、氏家悠佳、荒木敏之
2. 発表標題 低酸素応答によるミエリン形成制御
3. 学会等名 第五回日本ミエリン研究会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 佐藤叔史、津山友徳、吉澤達也、松岡孝昭、山縣和也
2. 発表標題 低酸素誘導性 BHLHE40 による $\beta$ 細胞機能低下機序の解明
3. 学会等名 第 62 回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 赤塚慎也、蔣麗、伊藤文哉、豊國伸哉
2. 発表標題 鉄を介した酸化ストレスによる動物発がんモデルとゲノム変化
3. 学会等名 第78回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高倉勇氣, 杉野歩美, 岩澤脩斗, 平田健介, 岡田和之, 竹洞裕貴, 平井直人, 堀直人, 町田萌香, 高野博之, 山口直人, 山口憲孝.
2. 発表標題 転写共役因子 VGLL3 による上皮間葉転換の制御機構の解析.
3. 学会等名 第139回日本薬学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 布田旭, 阿嘉由樹, 福田勉, 小野寺玄, 木村正成
2. 発表標題 銅触媒による末端アルキンと有機ホウ素及びアルデヒドを用いたオキサボロールの新規合成反応の開発
3. 学会等名 第66回有機金属化学討論会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 阿部真土、竹内優斗、鬼頭昭吉、立田咲百合、金井凜
2. 発表標題 軟骨細胞における KLF4 の MMP13 発現誘導メカニズム
3. 学会等名 平成 30 年度先端モデル動物支援プラットフォーム成果発表会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 波多賢二
2. 発表標題 軟骨細胞分化のエピジェネティクス機構
3. 学会等名 第 33 回日本軟骨代謝学会（招待講演）
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 大栗博毅
2. 発表標題 二量体型アルカロイドの立体化学多様化による中分子リード創製を目指して
3. 学会等名 平成 30 年度 文部科学省新学術領域 研究学術研究支援基盤形成 「先端モデル動物支援プラットフォーム成果発表会」（招待講演）
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 奥村和弘、斎藤慈、磯貝恵理子、若林雄一
2. 発表標題 日本産野生由来近交系マウス MSM を用いた皮膚がん修飾因子の同定
3. 学会等名 第 78 回日本癌学会学術総会（招待講演）
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 岡田宣宏、辻本剛己、村中勇人、高橋智聡
2. 発表標題 乳がんの治療薬抵抗性獲得機構における NFYA の機能解明
3. 学会等名 2019 年度先端モデル動物支援プラットフォーム若手支援技術講習会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 平田健介, 山田千愛, 安斎絵里菜, 柴崎美里, 本田拓也, 森井真理子, 高野博之, 山口直人, 山口憲孝.
2. 発表標題 乳がん細胞の TGF-beta 誘導性アポトーシスへの抵抗性に寄与する転写因子の解析.
3. 学会等名 第 139 回日本薬学会年会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 酒寄信幸、樋口央紀、深堀良二、井口善生、瀬戸川将、宮澤陽夫、小林和人
2. 発表標題 妊娠中の偏った必須脂肪酸摂取は子において快樂的摂食を促す
3. 学会等名 日本食品科学工学会東北支部（令和元年大会）および日本栄養・食糧学会東北支部（第 53 回大会）合同支部大会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 酒寄信幸、樋口央紀、深堀良二、井口善生、瀬戸川将、永塚貴弘、宮澤陽夫、小林和人
2. 発表標題 妊娠中の偏った必須脂肪酸摂取は子において嗜好食品摂取を促す
3. 学会等名 日本脂質栄養学会第 28 回大会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 酒寄信幸
2. 発表標題 脳と栄養の学際領域研究—脂質栄養から脳の謎に挑む—
3. 学会等名 第 8 回東北脳科学ウィンタースクール（招待講演）
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 高井伸彦 大神正次 中村沙織 大庭義史
2. 発表標題 脳腫瘍放射線治療によって生じる脳壊死の作用機序ならびに新規防護剤の探索
3. 学会等名 平成 30 年度「先端モデル動物支援プラットフォーム成果発表会」
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 浪花 啓右、杉本 靖博、大須賀 公一、青沼 仁志
2. 発表標題 排便に伴い誘発するクロコオロギの定型的行動
3. 学会等名 計測自動制御学会第 31 回自律分散システムシンポジウム
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 山上洋平、二木空人、湯元良子、川見昌史、高野幹久
2. 発表標題 肺胞上皮細胞におけるメトトレキサート誘発性上皮間葉転換と PAI-1 の関連解析
3. 学会等名 第 13 回次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 川見昌史、妹尾俊祐、山上洋平、湯元良子、高野幹久
2. 発表標題 肺胞上皮細胞における薬物誘発性上皮間葉転換を抑制する化合物の探索とその特性解析
3. 学会等名 日本薬剤学会第34年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 川見昌史、原田梨紗子、小島崇路、湯元良子、高野幹久
2. 発表標題 肺胞上皮細胞に対するメトトレキサートの抗がん効果と上皮間葉転換誘発作用の関連解析
3. 学会等名 日本薬学会第139年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 渡邊貴樹
2. 発表標題 発達期小脳のプルキンエ細胞における登上線維シナプス刈り込みのPcdh10依存的特異性
3. 学会等名 2019年度若手支援技術講習会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石田綾
2. 発表標題 発達障害の病態理解に向けた小脳-前頭前野-領野連関の解明
3. 学会等名 新学術領域「脳情報動態」領域会議
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 犬飼駿弥, 原恰, 一瀬宏
2. 発表標題 部位特異的蛍光標識を用いたドーパミンに応答するチロシン水酸化酵素の構造変化の解析
3. 学会等名 Neuro2019 (第42回日本神経科学大会・第62回日本神経化学大会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 伊藤寛晃、喜多村佳委、櫻井香里、井上将行
2. 発表標題 複雑ペプチド系天然物ヤクアミドBの標的タンパク質同定
3. 学会等名 日本ケミカルバイオロジー学会 第14回年会
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 吉沢直子、正井久雄
2. 発表標題 複製タイミング制御因子 Rif1 の欠失が誘導する 2 細胞期胚様細胞のエンハンサー構造 (Unique enhancers structures in 2-cell zygote-like mouse ES cells induced by loss of replication timing regulator Rif1.)
3. 学会等名 第 42 回 日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 河野はるか, 原怜, 古田忠臣, 一瀬宏
2. 発表標題 分子シミュレーションによるキノノイドジヒドロプテリジン還元酵素の基質認識機構の解析
3. 学会等名 2019 年度日本生化学会関東支部例会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 酒井宏治、永田直也、野村起美恵、入江崇、竹原一明、神田浩明、網康至
2. 発表標題 変異型 H3N2 インフルエンザウイルスの生体内での膜蛋白質開裂機構の解明
3. 学会等名 第 33 回インフルエンザ研究者交流の会シンポジウム
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 甲斐龍太、 田井中一貴、 高橋邦之、 齊藤 奈英、 笹岡 俊邦、 山口 瞬、 那波 宏之、 堀井 新
2. 発表標題 片側内耳破壊の皮質神経活動への影響
3. 学会等名 第 42 回神経科学大会 第 62 回日本神経化学会大会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 酒寄信幸
2. 発表標題 母親の偏った必須脂肪酸摂取はドパミンニューロンの過剰産生を介して子の快楽的摂食を促す
3. 学会等名 第 42 回日本分子生物学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 酒寄信幸, 小林和人
2. 発表標題 母親の偏った必須脂肪酸摂取は子において嗜好食品の摂取を促す
3. 学会等名 第 4 回食欲・食嗜好の分子・神経基盤研究会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 古瀬民生、山田郁子、串田知子、三浦郁生、尾崎藍、永瀬茜、若菜茂晴、田村勝
2. 発表標題 母体の遺伝子変異がマウス野生型産仔の表現型解析結果に与える影響
3. 学会等名 第 66 回日本実験動物学会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 坂本雅行
2. 発表標題 膜電位感受性蛍光プローブを用いた神経活動イメージング
3. 学会等名 第 97 回創薬科学セミナー・GTR セミナー（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 布田旭，藤田勇輝，阿嘉由樹，福田勉，小野寺玄，木村正成
2. 発表標題 末端アルキンと有機ホウ素及びアルデヒドを用いたアルキニルボレートを紹介するオキサボロールの新規合成法の開発
3. 学会等名 日本化学会 第 99 春季年会 (2019)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 上野博夫
2. 発表標題 味蕾幹細胞の同定とそれを基点とした味覚感知機序の解明・味覚再生技術の確立
3. 学会等名 第 18 回日本再生医療学会（招待講演）
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 上野博夫
2. 発表標題 味蕾幹細胞の同定と解析
3. 学会等名 第 53 回日本味と匂学会（招待講演）
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 大谷哲久
2. 発表標題 密着結合のジオメトリー制御による傍細胞輸送効率の最適化
3. 学会等名 研究会「数理科学と生命科学の融合」（招待講演）
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 井口善生・中山義貴・加藤成樹・小林和人
2. 発表標題 目標指向行動の動機づけにおける腹側被蓋野 D2 受容体陽性ドーパミンニューロンの役割 (Role of D2 receptor-positive ventral tegmental area dopamine neurons in effort-related motivation for food-seeking).
3. 学会等名 福島県立医科大学研究連携セミナー2019 年度ポスター発表会-学内研究の連携と活性化に向けて-
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 西谷直之, 佐京智子, 奥裕介, 福田勉, 且慎吾, 矢守隆夫, 石橋郁人, 上原至雅, 岩尾正倫
2. 発表標題 薬剤耐性 EGFR T790M/C797S に対する lamellarin と cetuximab の併用効果
3. 学会等名 第 23 回日本がん分子標的治療学会学術集会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 鈴木佐和子
2. 発表標題 両側副腎皮質大結節性過形成の新たな分子病態の解明
3. 学会等名 第 20 回日本内分泌関東甲信越地方会 (招待講演)
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 佐々木哲也
2. 発表標題 霊長類の脳皮質領野形成とその破綻による精神疾患発症メカニズム
3. 学会等名 第23回予防衛生協会セミナー（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐々木 哲也、小松 勇介、渡我部 昭哉、山森 哲雄
2. 発表標題 霊長類前頭前皮質に特異的に発現する遺伝子の解析
3. 学会等名 第124回 日本解剖学会総会・全国学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 北元優梨、古閑成美、林田隆成、慶田貴子、吉信公美子、鳥越大輔、中村直子、中潟直己、高岡裕、柳久美子、要匡、荒木喜美、荒木正健
2. 発表標題 劣性（潜性）遺伝形式で多血症の症状を示す自然発生突然変異マウス『pocy』の解析
3. 学会等名 先端モデル動物支援プラットフォーム 成果発表会 2018
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岡香織
2. 発表標題 老化・がん化耐性齧歯類ハダカデバネズミにおけるエネルギー代謝の比較解析
3. 学会等名 第3回がんと代謝研究会・若手の会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 清水逸平
2. 発表標題 老化促進代謝物質による加齢同期メカニズムの解明
3. 学会等名 日本抗加齢協会第四回学術フォーラム（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 清水逸平
2. 発表標題 老化促進代謝物質を介した加齢同期メカニズムの解明
3. 学会等名 日本体力医学会大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 福田七穂, 川市正史, 石田靖雅, 福田智行, 笹岡俊邦
2. 発表標題 嗅神経細胞における mRNA 局在化機構の解明
3. 学会等名 第 60 回新潟生化学懇話会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 原田昭和, 松本真司, 菊池章
2. 発表標題 膵癌細胞の腫瘍浸潤における Arl14c-IQGAP1 の相互作用
3. 学会等名 第 79 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2019 年

1. 発表者名 南 敬
2. 発表標題 ポスト VEGF 抗体を見据えた血管・リンパ管新生シグナル研究の最前線
3. 学会等名 日本薬学会 第 138 年会
4. 発表年 2018 年



1. 発表者名 Wang J., Shibayama Y., Nishiyama A.
2. 発表標題 (PRO)RENIN RECEPTOR PROMOTES COLORECTAL CANCER THROUGH THE WNT/BETA-CATENIN SIGNALING PATHWAY DESPITE CONSTITUTIVE PATHWAY COMPONENT MUTATIONS
3. 学会等名 Joint Hypertension 2018 Scientific Sessions (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 竹下 純平、辰野 健二、松本 大地、栗林 康造、近藤 展行、 長谷川 誠紀、佐藤 鮎子、辻村 亨、大多 茂樹、河上 裕、 中野 孝司、油谷 浩幸
2. 発表標題 255 症例の悪性胸膜中皮腫の網 羅的遺伝子解析
3. 学会等名 第 77 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小牟禮稔、福田勉、小野寺玄、木村正成
2. 発表標題 3-アルキニル 1H-ピロール-2-カルボキシラートのヨウ素を用いた環化を経由するピラノ [3, 4-b]ピロール-7(1H)-オンの合成
3. 学会等名 第 21 回ヨウ素学会シンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高橋紀人、Bonapally Karunakar Reddy、松岡直弥、岩月正人、石山亜紀、穂苅玲、乙黒一彦、大村智、大栗博毅
2. 発表標題 6-アザ-アルテミシニン群の設計とモジュラー式迅速合成プロセスの開発
3. 学会等名 第60回天然有機化合物討論会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松岡 直弥・高橋 紀人・Bonapally Karunakar Reddy・大栗博毅
2. 発表標題 6-アザ-アルテミシニン類の合成法改良と構造活性相関研究
3. 学会等名 日本化学会 98回春季年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kanetake T, Sassa T, Nojiri K, Kihara A
2. 発表標題 A decrease in 2-hydroxygalactosylceramide in the brain of the Sjögren-Larsson syndrome gene knockout mice.
3. 学会等名 59th International Conference on the Bioscience of Lipids (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Sakamoto M, Inoue M, Sakai K, Kobari S, Takemoto-Kimura S, Abe M, Sakimura K, Bito H
2. 発表標題 A Flp-dependent G-CaMP9a transgenic mouse for neuronal and glial imaging in vivo.
3. 学会等名 グリアアセンブリ第5回公開シンポジウム(国際シンポジウム)・班会議 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Sakamoto M, Inoue M, Sakai K, Kobari S, Takemoto-Kimura S, Abe M, Sakimura K, Bito H
2. 発表標題 A Flp-dependent G-CaMP9a transgenic mouse for neuronal imaging in vivo.
3. 学会等名 先端モデル動物支援プラットフォーム 成果発表会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Sakamoto M, Inoue M, Sakai K, Kobari S, Takemoto-Kimura S, Abe M, Sakimura K, Bito H
2. 発表標題 A Flp-dependent G-CaMP9a transgenic mouse for neuronal imaging in vivo.
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Koizumi, S., Morizawa, Y
2. 発表標題 A new role of astrocytes in regulation of brain function by ABCA1.
3. 学会等名 第 91 回日本生化学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Kei-ichiro Ishiguro
2. 発表標題 A novel germ cell-specific factor, MEIOSIN, recruits STRA8 to direct initiation of meiosis in mammals
3. 学会等名 CSHL Meeting: Germ Cell (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Kei-ichiro Ishiguro
2. 発表標題 A novel germ cell-specific factor, MEIOSIN, recruits STRA8 to direct initiation of meiosis in mammals
3. 学会等名 第 13 回生命医科学研究所ネットワーク国際シンポジウム (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Ishiguro, K.
2. 発表標題 A novel germ-cell specific factor responsible for initiation of meiosis
3. 学会等名 KEY FORUM 2018 Stem Cell Traits and Developmental System (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ishiguro, K.
2. 発表標題 A novel nuclear factor plays a crucial role in initiation of meiosis
3. 学会等名 CDB Symposium 2018 Dynamic Homeostasis: from Development to Aging (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kei-ichiro Ishiguro
2. 発表標題 A novel nuclear factor plays a crucial role in initiation of meiosis
3. 学会等名 九大生体防御医学セミナー (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kei-ichiro Ishiguro
2. 発表標題 A novel STRA8 interacting factor, MEIOSIN1, directs initiation of meiosis in mammals
3. 学会等名 Joint Annual Meeting of 51st JSDB and 70th JSCB
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 李 惠子, 神田 浩明, 長山 聡, 片桐 豊雅, 中村 祐輔, 長谷川 純崇
2. 発表標題 A novel therapeutic option for synovial sarcoma using alpha-radiolabeled FZD10 antibody
3. 学会等名 第77回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kei-ichiro Ishiguro
2. 発表標題 A novel transcription factor, MEIOSIN, recruits STRA8 to direct initiation of meiosis in mammals
3. 学会等名 2018 Meiosis Conference GRC meiosis (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大里元美
2. 発表標題 A novel treatment and preventive method for Down syndrome-related acute megakaryoblastic leukemia
3. 学会等名 第40回日本分子生物学会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ageta-Ishihara N, Fukazawa Y, Takao K, Miyakawa T, Bito H, Inokuchi K, Kinoshita M.
2. 発表標題 A postsynaptic dysregulation in hippocampal granule cells that underlies spatial discrimination defect.
3. 学会等名 The Joint Congress of the 40th Annual Meeting of Japanese Society of Biological Psychiatry and the 61st Annual Meeting of the Japanese Society for Neurochemistry
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ageta-Ishihara N, Kinoshita M
2. 発表標題 A septin-dependent synaptic regulation required for spatial discrimination
3. 学会等名 第95回日本生理学会大会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岩崎信太郎
2. 発表標題 A translation inhibitor targets a bimolecular cavity between eIF4A and polypurine RNA
3. 学会等名 International Symposium on “Proteins; from the Cradle to the Grave”
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Saito K, Shigetomi E, Yasuda R, Sato R, Tanaka KF, Mikoshiba K, Mizuta I, Yoshida T, Mizuno T, Koizumi S.
2. 発表標題 Aberrant astrocyte Ca <sup>2+</sup> signals ‘AxCa signals’ exacerbate pathological alterations in an Alexander disease model.
3. 学会等名 WCP2018 (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Naofumi Ito, M. Asrafuzzaman Riyadh, Ayako Ito, Shah Adil Ishtiyag, Mohamad Badrul Anam, Yonehiro Kanemura Yohei Shinmyo, Athary Felemban, Jun Hatakeyama, Hiroshi Kiyonari, Kenji Shimamura, Yoshiko Takahashi, Kazunobu. Sawamoto and Kunimasa Ohta
2. 発表標題 Aberration of the Soluble protein Tsukushi leads altera-(P3-071) tion of adult neurogenesis resulting lateral ventriculexpansion with neuronal disease.
3. 学会等名 第 70 回日本細胞生物学会・第 51 回日本発生生物学会合同大会学会
4. 発表年 2018 年



1. 発表者名 吉岡 望、玉田 篤史、北川 裕之、高雄 啓三、宮川 剛、五十嵐 道弘
2. 発表標題 Abnormalities in perineuronal nets and behavior in mice lacking CSGalNacT1, a key enzyme in chondroitin sulfate synthesis
3. 学会等名 先端動物支援報告会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Takayuki Nemoto, Hikmawan Wahyu Sulistomo, Ryu Takeya
2. 発表標題 Action polymerization factor Fhod3 formin protein in the mouse cerebrocortical neurons
3. 学会等名 第 18 回国際薬理学会 (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 田俊維、遠藤治、出川雅邦、関本征史
2. 発表標題 AhR 活性化に関与する細胞内シグナル分子の探索
3. 学会等名 フォーラム 2018 衛生薬学・環境トキシコロジー
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 富田俊維、遠藤治、出川雅邦、関本征史
2. 発表標題 AhR 活性化に関与する細胞内シグナル分子の網羅的探索
3. 学会等名 第4回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 富田俊維、遠藤治、出川雅邦、関本征史
2. 発表標題 AhR 活性化を制御する細胞内シグナル分子の網羅的探索
3. 学会等名 第4回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンス
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 富田俊維、遠藤治、出川雅邦、関本征史
2. 発表標題 AhR 活性化に関与する細胞内シグナル分子の探索
3. 学会等名 フォーラム2018：衛生薬学・環境トキシコロジー
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中野裕貴 小野葵 小林守 高砂縁 村山千明 尾嶋大喜 山本融 廣岡一行
2. 発表標題 Alcadein $\alpha$ ノックアウトマウスは加齢で網膜神経節細胞が脱落する
3. 学会等名 日本眼科学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 片山 量平
2. 発表標題 ALK 陽性肺がん獲得耐性から考えるキナーゼ進化
3. 学会等名 第41回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ageta-Ishihara N, Fukazawa Y, Takao K, Miyakawa T, Bito H, Inokuchi K, Kinoshita M.
2. 発表標題 An activity-regulated septin subunit SEPT3 is required for the entry of sER into dendritic spines and spatial discrimination.
3. 学会等名 Gordon Research Conference “Cell Biology of the Neuron” (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shimizu Y, Tamada S, Kato M, Hirayama Y, Takeyama Y, Iguchi T, Sadar MD, Nakatani T.
2. 発表標題 Androgen Receptor Splice Variant 7 Drives the Growth of Castration Resistant Prostate Cancer without Being Involved in the Efficacy of Taxane Chemotherapy.
3. 学会等名 第 28 回泌尿器科分子細胞研究会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 片山 量平
2. 発表標題 Anticancer drug resistance caused by cancer cell evolution and diversity
3. 学会等名 第 41 回 日本分子生物学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 新木悠介、野倉吉彦、中崎敦夫、西川俊夫
2. 発表標題 Aplysiatoxin 類の統一的合成法の開発
3. 学会等名 第 113 回有機合成シンポジウム 2018 年
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Hirose S
2. 発表標題 Application of Genetics to Epilepsy after Gene-Hunting
3. 学会等名 ANZCNS 7th Annual Scientific Meeting
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Haruka Sato, Jun Hatakeyama, Takuji Iwasato, Nobuhiko Yamamoto, Kenji Shimamura
2. 発表標題 Area-specific laminar organization is regulated by thalamocortical axons through axon-derived NRN1 and VGF in developing neocortex
3. 学会等名 22nd Biennial Meeting of the International Society of Developmental Neuroscience (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 赤間俊之, 松本真司, 原田昭和, 庄嶋健作, 菊池章
2. 発表標題 Ar14c と IQGAP1 の相互作用による膵がん細胞の増殖制御機構
3. 学会等名 第 91 回日本生化学会大会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Kozumi, S
2. 発表標題 Astrocyte-dependent brain remodeling
3. 学会等名 第 41 回日本神経科学大会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Koizumi S
2. 発表標題 Astrocyte-mediated network remodeling.
3. 学会等名 第 61 回日本神経化学会大会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Koizumi, S
2. 発表標題 Astrocyte-synapse interaction in health and diseases
3. 学会等名 WCP2018 (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 藤野尅至、合山進、北村俊雄
2. 発表標題 ASXL1 変異は造血幹・前駆細胞におけるミトコンドリアの機能亢進と DNA 損傷を惹起する
3. 学会等名 新学術領域「幹細胞老化と疾患」若手の会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 藤野尅至、合山進、北村俊雄
2. 発表標題 ASXL1 変異は造血幹・前駆細胞におけるミトコンドリアの機能亢進と DNA 損傷を惹起する
3. 学会等名 第 22 回造血器腫瘍研究会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 永瀬玲奈、井上大地、Alessandro Pastore、藤野尅至、Hsin-An Hou、山崎憲政、合山進、斎賀真言、金井昭教、世良康如、Hwei-Fang Tien、本田浩章、Omar Abdel-Wahab、北村俊雄
2. 発表標題 Asxl1-MT ノックインマウスの解析
3. 学会等名 第 22 回造血器腫瘍研究会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Sakamoto M, Kwon T, Peterka DS, Yuste R
2. 発表標題 Attenuation of Synaptic Potentials in Dendritic Spines
3. 学会等名 Research PlaNet 2018 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Sakamoto M, Kwon T, Peterka DS, Yuste R
2. 発表標題 Attenuation of Synaptic Potentials in Dendritic Spines
3. 学会等名 第10回光操作研究会・第2回脳情報動態合同国際シンポジウム (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 玉田 篤史、五十嵐 道弘
2. 発表標題 Automated multidimensional image analysis for structures and functions of the nervous systems
3. 学会等名 第8回新潟大学脳研究所共同研究拠点国際シンポジウム
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 五十嵐 道弘
2. 発表標題 Axon Growth and Regeneration Regulated by Extracellular and Intracellular Signals
3. 学会等名 第8回新潟大学脳研究所共同研究拠点国際シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高雄 啓三
2. 発表標題 Behavioral physiological approach to the pathology and treatment of psychiatric disorders
3. 学会等名 第8回新潟大学脳研究所共同研究拠点国際シンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ryosuke Jikuya, Mitsuko Furuya, Masaya Baba, Hiroyuki Aburatani, Adam R Metwalli, Laura S Schmidt, W Marston Linehan, Masahiro Yao, Hisashi Hasumi
2. 発表標題 BHD-associated kidney cancer exhibits unique molecular characteristics and a wide variety of mutations in chromatin remodeling genes
3. 学会等名 AACR Annual Meeting 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 津山友徳、佐藤叔史、吉澤達也、松岡孝昭、山縣和也
2. 発表標題 Bhlhe40-Mafa 経路を介した低酸素ストレスによるインスリン分泌抑制
3. 学会等名 第 41 回日本分子生物学会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 片浦哲志, 斉木臣二, 服部信孝, 井本正哉
2. 発表標題 Biomarker-based screening identified BET inhibitor JQ1 as a neuroprotective compound for Parkinson' s disease
3. 学会等名 The 9th Japan-Korea Chemical Biology Symposium (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Hirose S
2. 発表標題 Bridging the gap in child health services: Japan experience
3. 学会等名 18th Myanmar Pediatric and Allied Medical Specialties Conference
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 大栗博毅
2. 発表標題 C2 対称型中分子アルカロイド骨格を活用する機能性分子の創製
3. 学会等名 新学術領域研究「反応集積化が導く中分子戦略：高次生物機能分子の創製」第6回公開成果報告会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Toyokuni S.
2. 発表標題 Cancer as iron addiction with ferroptosis-resistance.
3. 学会等名 Gordon Research Conference: Oxygen Radicals（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 伊藤謙治、山田泰広
2. 発表標題 Cancer drug screening based on refractoriness of cancer cell reprogramming
3. 学会等名 第92回日本癌学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shingo Sato, Kyoko Hashimoto, Hiroki Ochi, Satoko Sunamura, Atsushi Okawa, Mitsuru Futakuchi, Shu Takeda
2. 発表標題 Cancer-secreted Hsa-miR-940 Induces Osteoblastic Phenotype in the Bone Metastatic Microenvironment
3. 学会等名 Orthopaedic Research Society Annual Meeting 2014 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 扇田久和、Xiaoling Pang、清水昭男
2. 発表標題 Cardio- and reno-protective effect of dipeptidyl peptidase III.
3. 学会等名 American Heart Association Scientific Sessions 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 片野泰代、高雄啓三、阿部学、山崎真弥、渡辺雅彦、宮川剛、崎村建司、伊藤誠二
2. 発表標題 CASK-interacting protein 1 (Caskin1)の中樞神経系における機能的特徴の解析
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上野博夫
2. 発表標題 Cell Community for The Generation of Multifunctional Body-surface
3. 学会等名 第70回日本細胞生物学会・日本発生生物学会合同大会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nakamura, K.
2. 発表標題 Central thermoregulatory circuits to defend homeostasis from environmental stressors
3. 学会等名 Mini-Symposium on Temperature and Metabolism（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Satomi Chiken, Hiromi Sano, Kenta Kobayashi, Atsushi Nambu
2. 発表標題 Cerebellar control of thalamocortical activity
3. 学会等名 FENS FORUM 2018（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hirose S
2. 発表標題 Challenges and Opportunities in Pediatric Neurological Disease in Low Income Countries like Nepal
3. 学会等名 XIXth Nepalese Congress of Paediatrics, NEPCON 2018 & 37th Anniversary NEPAS (Nepal Paediatric Society)Nepcon-2018
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 D. Owaki, Y. Sugimoto, A. Ishiguro and H. Aonuma
2. 発表標題 Change in Electromyographic Patterns After Leg Amputation in the Cricket
3. 学会等名 International Congress for Neuroethology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Oikawa D, Hanada K, Terawaki S, Sakamoto S, Tokunaga F.
2. 発表標題 Characterization of a novel LUBAC inhibitor, HOIPIN-1
3. 学会等名 Keystone Symposium; Ubiquitin Signaling. (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名	Takanobu Motoshima, Yorifumi Satou, Paola Miyazato, Hisashi Hasumi, Ying Huang, Tsuyoshi Kadomatsu, Masahiro Yao, Yoji Nagashima, Mitsuko Furuya, Yuchi Oike, Laura S Schmidt, Tomomi Kamba, W Marston Linehan, Masaya Baba
2. 発表標題	Characterization of chimeric TFE3 transcription factors found in Xp11.2 translocation renal cell carcinoma
3. 学会等名	American Urological Association's 2018 Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	片浦哲志, 井本正哉
2. 発表標題	Chemical genomic analysis on autophagic regulation mechanism in human lung cancer A549 cells
3. 学会等名	30th EORTC-NCI-AACR Symposium (国際学会)
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	Ryo Tanifuji, Ryoko Komatsu, Takamitsu Honda, Ryutaro Asano, Atsushi Minami, Hideaki Oikawa, Hiroki Oguri
2. 発表標題	Chemo-enzymatic rapid syntheses of tetrahydroisoquinoline alkaloids
3. 学会等名	The 98th CSJ Annual Meeting
4. 発表年	2018年

1. 発表者名 Hiroki Oguri
2. 発表標題 Chemo-enzymatic Total Syntheses of Saframycins and Jorunnamycins
3. 学会等名 The 18th Tateshina Conference on organic Chemistry (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ryo Tanifuji
2. 発表標題 Chemo-enzymatic Total Syntheses of Tetrahydroisoquinoline Alkaloids
3. 学会等名 Otsu Conference 2018
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiroki Oguri
2. 発表標題 Chemo-enzymatic Total Syntheses of Tetrahydroisoquinoline Alkaloids
3. 学会等名 The 3rd A3 Roundtable Meeting on Chemical Probe Research Hub (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年



1. 発表者名	Mitsuko Furuya, Masaya Baba, Ikuma Kato, Tsunenori Kondo, Yoji Nagashima, Takao Kamai, Toshinari Yamasaki, Osamu Ogawa, Koushiro Nishimoto, Masafumi Koyama, Tomomi Kamba, Takanobu Motoshima, Masatoshi Eto
2. 発表標題	Clinicopathological Analyses of 17 Cases of Xp11Translocation Renal Cell Carcinomas
3. 学会等名	第 77 回日本癌学会学術総会
4. 発表年	2018 年

1. 発表者名	Tarusawa E, Sanbo M, Hirabayashi M, Yagi T, Yoshimura Y
2. 発表標題	Clustered protocadherins-regulated high reciprocal connectivity between clonal cortical neurons are selectively modified by short sensory deprivation in mouse barrel cortex.
3. 学会等名	Neuro2018 (国際学会)
4. 発表年	2018 年

1. 発表者名	Ryota Sato, Akihisa Kato, Takahiko Chimura, Shin-Ichiroh Saitoh, Takuma Shibata, Yusuke Murakami, Ryutaro Fukui, Kaiwen Liu, Yun Zhang, Jun Aarii, Ge-Hong Sun-Wada, Yoh Wada, Tsuneo Ikenoue, Glen N Barber, Toshiya Manabe, Yasushi Kawaguchi, Kensuke Miyake
2. 発表標題	Combating herpesvirus encephalitis by potentiating a TLR3-mTORC2 axis.
3. 学会等名	日本免疫学会
4. 発表年	2018 年

1. 発表者名 森亮一
2. 発表標題 Comprehensive identification of wound healing and inflammation miRNAs reveals a key role for miR-223 in neutrophilic clearance of S.aureus at wound sites
3. 学会等名 EMBL Symposia The Complex Life of RNA (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takeshita J, Yamamoto S , Tatsuno K, Shiraishi Y, Kuribayashi K, Kondo N, Hasegawa S, Sato A, Tsujimura T, Matsumoto D, Ohta S, Kawakami Y, Nakano T, Sekido Y, Aburatani H.
2. 発表標題 Comprehensive molecular characterization of malignant pleural mesothelioma
3. 学会等名 第16回日本臨床腫瘍学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 2. Lin, Z., Nishikawa, H., Iguchi, Y. Iwanami, A. Minabe, Y., & Toda, S.
2. 発表標題 Continuous attentional demand may prevent habit formation in rats.
3. 学会等名 The 41th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大竹慶祐、室井誠、丹羽祐貴、宮寄奏、笹澤有紀子、長田裕之、清水史郎
2. 発表標題 Cytosporolide 類の細胞増殖抑制活性における責任分子標的の同定
3. 学会等名 第 22 回日本がん分子標的治療学会学術集会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 笹岡 俊邦、齊藤 奈英、知見 聡美、佐藤 朝子、大久保 直、福田 七穂、阿部 学、川村 名子、小田佳奈子、佐藤 俊哉、藤澤 信義、山口 瞬、田井中 一貴、崎村 建司、南部 篤
2. 発表標題 D1/D2 ドーパミン受容体コンディショナル発現マウスによる運動制御機構の解明
3. 学会等名 科学研究費補助金「新学術領域研究(研究領域提案型)」非線形発振現象を基盤としたヒューマンネイチャーの理解「オシロロジー」2018 年度第 2 回領域会議
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 笹岡 俊邦、佐藤 朝子、知見 聡美、大久保 直、阿部 学、川村 名子、齊藤 奈英、小田 佳奈子、作間 赳法、内山 澄香、阿部 光寿、田中 稔、山本 美丘、神保 幸弘、佐藤 俊哉、藤澤 信義、崎村 建司、南部 篤
2. 発表標題 D 1 / D 2 ドーパミン受容体コンディショナル発現マウスによる運動制御機構の解明
3. 学会等名 第 4 1 回日本神経科学大会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 笹岡 俊邦、佐藤 朝子、知見 聡美、大久保 直、齊藤 奈英、福田 七穂、阿部 学、川村 名子、小田佳奈子、佐藤 俊哉、藤澤 信義、山口 瞬、田井中 一貴、崎村 建司、南部 篤
2. 発表標題 D1/D2 ドーパミン受容体コンディショナル発現マウスによる運動制御機構の解明
3. 学会等名 第41回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 笹岡俊邦, 佐藤朝子, 知見聡美, 大久保直, 阿部学, 川村名子, 中尾聡宏, 小田佳奈子, 齊藤奈英, 酒井清子, 神保幸弘, 佐藤俊哉, 藤澤信義, 崎村建司, 南部篤
2. 発表標題 D1/D2 ドーパミン受容体コンディショナル発現マウスによる運動制御機構の解明
3. 学会等名 平成29年度先端モデル動物支援プラットフォーム 成果発表会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Daisuke Tatsuda, Isao Momose, Masahide Amemiya, Kengo Sumiyoshi, Takumi Watanabe, Manabu Kawada, Masakatsu Shibasaki
2. 発表標題 Daisuke Tatsuda, Isao Momose, Masahide Amemiya, Kengo Sumiyoshi, Takumi Watanabe, Manabu Kawada, Masakatsu Shibasaki
3. 学会等名 30th EORTC-NCI-AACR Molecular Targets and Cancer Therapeutics Symposium (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Daisuke Tatsuda, Junjiro Yoshida, Manabu Kawada
2. 発表標題 Daisuke Tatsuda, Junjiro Yoshida, Manabu Kawada
3. 学会等名 第 77 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Masami Ishido
2. 発表標題 De novo inheritance of environmental chemicals-primed rat hyperactivity
3. 学会等名 第 41 回日本神経科学会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 C. Motozono, T. Shimane, S. Torigoe, N. Nishimura, and S. Yamasaki.
2. 発表標題 Dectin-1 intracellular domain determines species-specific ligand spectrum by modulating receptor sensitivity.
3. 学会等名 The 91th Annual Meeting of the Japanese Biochemical Society (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Masayuki Itoh, Mariko Yamashita, Masaki Kaneko, Hiroyuki Okuno, Manabu Abe, Maya Yamazaki, Rie Natsume, Daisuke Yamada, Toshie Kaizuka, Reiko Suwa, Kenji Sakimura, Masayuki Sekiguchi, Keiji Wada, Mikio Hoshino, Masayoshi Mishina, Takashi Hayashi
2. 発表標題 Deficiency of AMPA receptor-palmitoylation aggravates the seizure susceptibility
3. 学会等名 第 41 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Pham, M. V., Nguyen H. T., Katano, T., Matsumura, S. and Ito, S.
2. 発表標題 Delayed nerve regeneration in type-2 diabetic mice.
3. 学会等名 7th International Conference in Vietnam on the Development of Biomedical Engineering (BME7). (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 五十嵐 道弘
2. 発表標題 Department of Neurochemistry and Molecular Cell Biology
3. 学会等名 第 61 回日本神経化学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 高橋紀人
2. 発表標題 Design and Modular De Novo Synthesis of 6-Aza-artemisinins
3. 学会等名 JSPS 日中韓フォーサイト事業「A3 アジア化学プローブ研究拠点事業若手研究者ミーティング」
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Norihito Takahashi, Bonepally Karunakar Reddy, Naoya Matsuoka, Hiroki Oguri
2. 発表標題 Design and Modular De Novo Synthesis of 6-Aza-artemisinins
3. 学会等名 The Third A3 Roundtable Meeting on Chemical Probe Research Hub (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Hiroki Oguri
2. 発表標題 Design and Synthesis of DNA Alkylating Natural Products: A Chemo-enzymatic Approach
3. 学会等名 International Symposium on Biosensing for Next Generation; Design and Development of Molecular Recognition Element, TUAT GIR International Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 片山 量平、内堀 健、有安 亮、柳谷 典子、西尾 誠人
2. 発表標題 Detection, prediction, and investigation of the resistance mechanisms to EGFR-TKIs in EGFR mutated NSCLC
3. 学会等名 第 59 回 日本肺癌学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Shogo Sasaki, Yue Ma, Kazuo Nagasawa
2. 発表標題 Development of linear hexaoxazoles as topology-selective G-quadruplex stabilizing ligandsv
3. 学会等名 BIONIC 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Yi-Chung Shen, ..., Toru Ishizuka, Hiromu Yawo, Yasushi Imamoto
2. 発表標題 Development of Red-Shifted Channelrhodopsin Variants Using Long-Conjugated Retinal Analogues.
3. 学会等名 18th International Conference on Retinal Proteins (国際学会)
4. 発表年 2018 年



1. 発表者名 Yi-Chung Shen, ..., Toru Ishizuka, Hiromu Yawo, Yasushi Imamoto
2. 発表標題 Development of Red-Shifted Channelrhodopsin Variants Using Long-Conjugated Retinal Analogues.
3. 学会等名 生物物理学会第 56 回年会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Masayasu Okada, Asami Kawasaki, Atsushi Tamada, Yutaka Yoshida, Takeuchi Kosei, Yukihiro Fujii, Michihiro Igarashi,
2. 発表標題 Development of the neuronal growth and regeneration marker in Primates
3. 学会等名 第 7 回新潟脳研-霊長研-生理研合同シンポジウム
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 稲垣 良, 笹川 正人, 本間 経康, 小山内 実
2. 発表標題 Differential properties of dopamine D1 and D2-type medium spiny neuron via cortico-striatal stimulation in the beta frequency range.
3. 学会等名 次世代脳プロジェクト冬のシンポジウム
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Ueda Y, Yasuda M, Nakamura K
2. 発表標題 Differential roles of dopamine D1 and D2 receptor function in the primate caudate for decision making under aversive context
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hirose S
2. 発表標題 Disease Modeling of Refractory Epilepsy using iPSCs
3. 学会等名 The 40th Annual Meeting of Japanese Society of Biological Psychiatry/The 61st Annual Meeting of the Japanese Society for Neurochemistry
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shinozaki Y, Kashiwagi K, Namekata K, Ohno N, Takeda A., Harada T, Iwata T, Koizumi S.
2. 発表標題 Disordered P2Y6 receptor signaling causes age-dependent pathogenesis of glaucoma.
3. 学会等名 WCP2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 清水 逸平
2. 発表標題 Disoriented choline metabolism promotes pathologies in the failing heart.
3. 学会等名 The 62nd Annual Scientific Meeting of The Korean Society of Cardiology
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Yamanaka A
2. 発表標題 Dissociating orexin-dependent and -independent functions of orexin neurons using novel orexin-Flp knock-in mice
3. 学会等名 7th International Symposium on Narcolepsy (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Akiko Uyeda, Kohei Onishi, Teruyoshi Hirayama, Satoko Hattori, Tsuyoshi Miyakawa, Takeshi Yagi, Nobuhiko Yamamoto and Noriyuki Sugo
2. 発表標題 DNA polymerase $\beta$ is required for postnatal hippocampal development and function.
3. 学会等名 Cold Spring Harbor Asia meeting on Latest Advance in Development & Function of Neuronal Circuit (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Ryohei Katayama, Bo Gong, Koutaroh Okada, Ken Uchibori, Makoto Nishio, Naoya Fujita
2. 発表標題 Drug repurposing: overcoming the acquired resistance with other target inhibitors
3. 学会等名 The 6th JCA-AACR Special Joint Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 村松昌、南敬
2. 発表標題 DSCR-1 とがん転移について
3. 学会等名 第77回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 南 敬
2. 発表標題 DSCR-1 と血管病
3. 学会等名 Kyushu Vascular Biology & Medicine
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shigetomi, E., Hirayama, Y., Ikenaka, K., Tanaka, FK, Bito, H., Koizumi, S.
2. 発表標題 Dual color Ca <sup>2+</sup> imaging of neuron-astrocyte interaction.
3. 学会等名 WCP2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 南 敬
2. 発表標題 Dynamically and Epigenetically Coordinated Erg and Flil Transcription Factor Expression is Indispensable for Endothelial Cell Differentiation and Maintenance
3. 学会等名 AHA Scientific Sessions 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 M. YUN, T. KAWAI, M. NEJIME, H. YAMADA, M. MATSUMOTO
2. 発表標題 Dynamics of neuronal signals in primate midbrain dopamine neurons and orbitofrontal cortex neurons during value-to-decision transformation
3. 学会等名 2018年度北米神経科学大会 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Mori T, Miyagawa Y, Kawahara I, Goto K, Mori S, Kishi S, Fujiwara-Tani R, Kuniyasu H
2. 発表標題 Effect of combination intake of glucose and lauric acid on tumor growth and skeletal muscle atrophy in CT26 mouse model
3. 学会等名 77th Annual Meeting of Japanese Association for Cancer
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Htun Y, Nakamura S, Kusaka T, et al.
2. 発表標題 Effectiveness of Hydrogen Inhalation in Neonatal Hypoxic-ischemic Piglet Model
3. 学会等名 Pediatric Academic Societies Meeting in Toronto 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Htun Y, Nakamura S, Kusaka T, et al.
2. 発表標題 Effectiveness of Hydrogen Inhalation in neonatal hypoxic-ischemic piglet model.
3. 学会等名 The 43th Annual Meeting of Japanese Society for Microcirculation (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 福田勉、石橋郁人、奥裕介、西谷直之、上原至雅、岩尾正倫
2. 発表標題 EGFR チロシンキナーゼを標的とするラメラリンN誘導体の設計・合成・活性評価
3. 学会等名 第48回複素環化学討論会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Mohammad Khusni Bin Ahmat Amin、清水昭男、Dimitar P. Zankov、佐藤朗、扇田久和
2. 発表標題 EMPI signaling promotes cancer invasiveness and metastasis.
3. 学会等名 第77回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大里元美
2. 発表標題 Enhancer for Runx1, eR1: a powerful tool in stem cell and cancer biology
3. 学会等名 平成29年度「先端モデル動物支援プラットフォーム成果発表会」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大川 宜昭、井ノ口 馨
2. 発表標題 Ensemble representation of contextual memory in hippocampal engram cells
3. 学会等名 第 41 回日本神経科学大会・シンポジウム：最先端光イメージングによる深部脳観察へのアプローチ (Seeing the invisible: the art of deep brain imaging) (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 南 敬
2. 発表標題 Epigenetics of endothelial cell identity and the activation
3. 学会等名 The 2nd KU-KAIST Joint Symposium
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 大口裕人、南 敬
2. 発表標題 epigenetics of multiple myeloma
3. 学会等名 Research Planet 2018
4. 発表年 2018 年



1. 発表者名 山口憲孝, 山口直人.
2. 発表標題 ER 陽性乳癌細胞における FOXA1 による TGF-beta 誘導性細胞死の抑制機構の解析.
3. 学会等名 第 77 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Dimitar P. Zankov、扇田久和
2. 発表標題 Essential role of myocardial afadin in cardiac protecting during chronic pressure overload.
3. 学会等名 第 1 回日本循環器学会基礎研究フォーラム
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Baba M, Endoh M, Ma W, Wilankrisna LA, Irie N, Suda T
2. 発表標題 Essential role of tumor suppressor Flcn in the regulation of cell proliferation and differentiation through metabolism
3. 学会等名 JSPS & NUS Joint 2nd Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Takashi Hayashi
2. 発表標題 Evolution of palmitoylation sites of 5-HT (serotonin) receptors in vertebrates
3. 学会等名 11th FENS Forum of Neuroscience (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nakamura S, Jinnai W, Kusaka T, et al
2. 発表標題 Excessive decrease in cerebral blood volume during hypothermia can indicate adverse neurological outcome in asphyxiated piglet
3. 学会等名 Pediatric Academic Societies Meeting in Toronto 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Dimitar P. Zankov、扇田久和
2. 発表標題 Exome-wide analysis links nuclear membrane protein TMEM168 to the arrhythmogenesis in a family with inherited Brugada syndrome.
3. 学会等名 平成 29 年度先端モデル動物支援プラットフォーム成果発表会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Owari T, Kishi S, Fujiwara-Tani R, Mori S, Miyake M, Nakai Y, Kondou M, Fujimoto H, Kuniyasu H
2. 発表標題 Expression of claudin 1 and 4 in renal cell carcinoma
3. 学会等名 77th Annual Meeting of Japanese Association for Cancer
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nakashima C, Yamamoto K, Tani R, Bhawal UK, Sasahira T, Kirita T, Kuniyasu H
2. 発表標題 Expression of cytosolic malic enzyme (ME1) is associated with disease progression in human oral squamous cell carcinoma
3. 学会等名 77th Annual Meeting of Japanese Association for Cancer
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kohtarou Konno, Kenji Sakimura, Miwako Yamasaki, Masahiko Watanabe.
2. 発表標題 Extracerebellar localization of glutamate receptor GluD2 in rodents and primates.
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Toyokuni S.
2. 発表標題 Ferroptosis in cancer research.
3. 学会等名 Cold Spring Harbor Conferences Asia: Iron, Reactive Oxygen Species & Ferroptosis. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Toyokuni S.
2. 発表標題 Ferroptosis in cancer research.
3. 学会等名 The 10th Internaitonal Coference on Heme Oxygenase 2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Toyokuni S.
2. 発表標題 Ferroptosis in carcinogenesis and tumor biology.
3. 学会等名 19th Biennial meeting of the Society for Free Radical Research International. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高祖 秀登
2. 発表標題 Foxr2 promotes formation of CNS-embryonal tumors in a Trp53-deficient background
3. 学会等名 19th International Congress of Neuropathology (ICN 2018)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Hiromu Yawo, Toru Ishizuka
2. 発表標題 From molecule to mind - disentangling the brain with light.
3. 学会等名 第 4 1 回日本神経科学大会 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Harako S, Hayasi H, Tanzawa M, Fujita C, Iida S, Tanaka A, Hirose Y, Ohkuma Y
2. 発表標題 Functional analysis of the kinase module of human Mediator complex using a baculovirus-insect cell expression system
3. 学会等名 The Third International Symposium on Toyama-Asia-Africa Pharmaceutical Network (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 昆 俊亮、中井 一貴、田中 伸也、藤田 恭之
2. 発表標題 Functional Relevance of cell competition in intestinal neoplasms
3. 学会等名 第41回日本分子生物学会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nagai Y, Nishitani S, Yasuda M, Ueda Y, Shirakawa H, Nagayasu K, Nakamura K, Kaneko S
2. 発表標題 Functional validation of macaque promoter in mouse brain
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kazuyuki Fujihara, Yuchio Yanagawa
2. 発表標題 GAD knockout rats for a model of psychiatric disorders
3. 学会等名 第40回日本生物学的精神医学会、第61回日本神経化学会大会 合同年会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 姜玮茹、柿崎利和、藤原和之、宮田茂雄、張月、須藤貴史、加藤大樹、齋藤繁、宮坂佳樹、真下知士、柳川右千夫
2. 発表標題 GAD65/67 二重変異ラットの作製と解析
3. 学会等名 第 41 回日本神経科学大会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 姜玮茹、柿崎利和、藤原和之、宮田茂雄、張月、須藤貴史、加藤大樹、齋藤繁、宮坂佳樹、真下知士、柳川右千夫
2. 発表標題 GAD65/67 二重変異ラットの作製と解析
3. 学会等名 第 41 回日本神経科学大会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Hirose S
2. 発表標題 Genes in Focal Epilepsy
3. 学会等名 ANZCNS 7th Annual Scientific Meeting
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Hirose S
2. 発表標題 Genetic background of developmental and epileptic encephalopathies
3. 学会等名 KEC2018 23th Korean Epilepsy Congress
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Yuki Noguchi, Natsuki Wariishi, Shiina Iwai, Gengo Kashiwazaki, Junichi Taniguchi, Toshikazu Bando, Masaya Baba, Souichi Adachi, Hiroshi Sugiyama, Yasuhiko Kamikubo
2. 発表標題 Genetic regulation of RUNX2 induce apoptotic cell death through regulating the expression of SOX2 in CRPC-NE cells
3. 学会等名 AACR Annual Meeting 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Yasuhiro Iribe, Masahiro Yao, Yoji Nagashima, Masaya Baba, Yukio Nakatani, Mitsuko Furuya
2. 発表標題 Genetic, epidemiologic and clinicopathologic studies of Japanese patients with Birt-Hogg-Dube syndrome, 2018 update
3. 学会等名 第 77 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2018 年



1. 発表者名 菅生紀之
2. 発表標題 Genome Stability by DNA polymerase $\beta$ in Cortical Development
3. 学会等名 第 41 回日本神経科学大会 シンポジウム「大脳皮質の形成と機能発現を担う遺伝子制御システムの新展開」 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Seimiya, H.
2. 発表標題 G-quadruplex as a molecular target for cancer therapy
3. 学会等名 The 14th Japan-Korea Joint Symposium on Cancer and Ageing Research (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Seimiya, H.
2. 発表標題 G-quadruplex as a molecular target for cancer therapy
3. 学会等名 The 41st Annual Meeting of the Molecular Biology Society of Japan (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Seimiya, H.
2. 発表標題 G-quadruplex nucleic acid as a molecular target for cancer therapy
3. 学会等名 The 77th Annual Meeting of Japanese Cancer Association (JCA), Symposium (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 河寄 麻実
2. 発表標題 Growth cone phosphoproteomics reveals that JNK-dependent phosphorylation of GAP-43 is specific to the growing axon
3. 学会等名 ワールドスプリングハーバーアジアミーティング (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shuji Wakatsuki
2. 発表標題 GSK3B-mediated phosphorylation of MCL1 regulates axonal autophagy to promote axonal degeneration.
3. 学会等名 The Cold Spring Harbor Asia conference on Latest Advances in Development & Function of Neuronal Circuits. (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shuji Wakatsuki, Toshiyuki Araki
2. 発表標題 GSK3B-mediated phosphorylation of MCL1 regulates axonal autophagy to promote Wallerian degeneration.
3. 学会等名 22nd Biennial Meeting of the International Society for Developmental Neuroscience. (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 塩見 美喜子
2. 発表標題 Hierarchical roles of mitochondrial PAPI and Zucchini in Bombyx germline piRNA biogenesis
3. 学会等名 CSHA/Chromatin, Epigenetics & Transcription (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Bai J, Yokomizo-Nakano T, Kubota S, Iwama A, Harada H, Sashida G
2. 発表標題 Hmga2 promotes the development of MDS/MPN in the absence of Tet2
3. 学会等名 第80回日本血液学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 福田 七穂、石田 靖雅、福田 智行、笹岡 俊邦
2. 発表標題 hnRNP A/B バリエントによる mRNA 局在化の制御
3. 学会等名 第 41 回日本分子生物学会年会 ワークショップ 新たな機能が明らかになる RNA 結合タンパク質の生物学-原 子・分子レベルの解析から神経機能と臨床応用まで-
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Teppeï Kanaya, Ryo Egawa , Hiromu Yawo.
2. 発表標題 How does neurotransmission contribute to axon reorganization? - Intervention in axonal competition by sparse gene knockout.
3. 学会等名 Cold Spring Harbor meeting: Neuronal Circuits (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Osanai M, Matsumura A, Fujiwara T, Kikuta S, Yagi T, Akagawa K
2. 発表標題 HPC-1/syntaxin 1A regulates the cortical signal propagation by affecting the GABAergic transmission.
3. 学会等名 11th FENS Forum of Neuroscience (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 塩田正之、田中昌子、鰐淵英機、徳永文稔
2. 発表標題 HSP72 複合体の単離による血中微量タンパク質の同定
3. 学会等名 第13回臨床ストレス応答学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Htun Y, Nakamura S, Kusaka T et al.
2. 発表標題 Hydrogen Inhalation improved Motor Function in Neonatal Hypoxic Ischemic Piglet Model.
3. 学会等名 第54回日本周産期・新生児医学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 氏家悠佳、若月修二、荒木敏之
2. 発表標題 Hypoxia induced factor-1 $\alpha$ (HIF-1 $\alpha$ ) participates in Schwann cell differentiation in peripheral nerves.
3. 学会等名 第91回日本薬理学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 氏家悠佳、若月修二、荒木敏之
2. 発表標題 Hypoxia-induced factor 1 $\alpha$ promotes myelination during development of the peripheral nervous system.
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Dimitar P. Zankov、扇田久和
2. 発表標題 Identification and arrhythmogenic significance of a novel TMEM168 mutation in Brugada syndrome.
3. 学会等名 第2回日本循環器学会基礎研究フォーラム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kei-ichiro Ishiguro
2. 発表標題 Identification of a novel nuclear factor for initiation of meiosis
3. 学会等名 8th International Symposium on the Biology of Vertebrate Sex Determination (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上野博夫
2. 発表標題 Identification of cancer stem cells by the multicolor lineage tracing method
3. 学会等名 第 77 回日本癌学会学術総会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Nonomura, S., Kato, S., Iguchi, Y., Nishizawa, K., Sakai, Y., Kawaguchi, Y., Nambu, A., Watanabe, M., Kobayashi, K., Isomura, Y., & Kimura, M.
2. 発表標題 Identification of indirect pathway neurons and dopaminergic innervation in the rat dorsomedial striatum.
3. 学会等名 The 41th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Sassa T, Kanetake T, Nojiri K, Kihara A
2. 発表標題 Impaired fatty aldehyde oxidation in a gene knockout mouse model of Sjögren-Larsson syndrome is associated with behavioral abnormalities and reduced myelin 2-hydroxygalactosylceramide levels.
3. 学会等名 第 40 回日本生物学的精神医学会・第 61 回日本神経化学会大会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 安田瑞穂, 馬悦, 岡部幸子, 清宮啓之, Young-Tae Chang, 長澤和夫
2. 発表標題 In situ Click 反応を基盤とする生細胞中での G4 の可視化
3. 学会等名 第 36 回 メディシナルケミストリーシンポジウム
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Masam Ishido
2. 発表標題 Inheritance of environmental chemicals-primed rat hyperactivity
3. 学会等名 第 91 回日本生化学会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Yusuke Suenaga, Masato Shingyoji, Sotaro Kanematsu, Toshihiko Iizasa, Mamoru Kato, Sana Yokoi
2. 発表標題 Inhibitors of pituitary differentiation reduce cell proliferation of small cell lung carcinomas
3. 学会等名 第 77 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2018 年



1. 発表者名 Ghandour K, Ohkawa N, Fung CCA, Asai H, Saitoh Y, Takekawa T, Okubo-Suzuki R, Soya S, Nishizono H, Matsuo M, Sato M, Ohkura M, Nakai J, Hayashi Y, Sakurai T, Osanai M, Kitamura T, Fukai T, Inokuchi K
2. 発表標題 Integarting neuronal ensembles constitute and replay hippocampal engram.
3. 学会等名 第 41 回日本神経科学大会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Dimitar P. Zankov、扇田久和
2. 発表標題 Intercalated disk protein afadin prevents pressure overload-induced cardiac dysfunction in a stimulus-dependent manner.
3. 学会等名 第 82 回日本循環器学会学術集会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Yamaguchi, N, Takakura, Y., Hirata, K., Takano, H., and Yamaguchi, N.
2. 発表標題 Involvement of FOXA1 in resistance to TGF-beta-induced apoptosis in estrogen receptor-positive breast cancer cells.
3. 学会等名 The 2018 ASCB/EMBO Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Akiko Uyeda, Kohei Onishi, Teruyoshi Hirayama, Satoko Hattori, Tsuyoshi Miyakawa, Takeshi Yagi, Nobuhiko Yamamoto and Noriyuki Sugo
2. 発表標題 Involvement of Pol $\beta$ in postnatal neuronal development and function via active DNA demethylation
3. 学会等名 国立遺伝学研究所研究会「哺乳類脳の機能的神経回路の構築メカニズム」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yamaguchi, N., Takakura, Y., Sugino, A., Yamaguchi, N., and Takano, H.
2. 発表標題 Involvement of VGLL3 in TGF-beta-induced epithelial-to-mesenchymal transition.
3. 学会等名 第2回日本循環器学会基礎研究フォーラム (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中澤敬信、橋本亮太、田熊一敏、橋本均
2. 発表標題 iPS細胞関連技術とヒト型疾患モデルマウスを用いた精神疾患の分子病態解析
3. 学会等名 第28回日本臨床精神神経薬理学会 第48回日本神経精神薬理学会 合同年会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Koizumi, S.
2. 発表標題 Ischemic tolerance and glial purinergic signaling.
3. 学会等名 Purines2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 土本 大介、古賀 祐一郎、林 良憲、アボルハッサニ ノナ、米嶋 康臣、中西 博、豊國 伸哉、 中別府 雄作
2. 発表標題 ITPA 欠損によるヒトてんかん性脳症のモデルとしての神経幹細胞特異的 Itpa ノックアウトマウス
3. 学会等名 平成 28 年度先端モデル動物支援プラットフォーム成果発表会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 河寄 麻実
2. 発表標題 JNK-dependent phosphorylation sites of GAP-43 is a marker of axon growth/regeneration, revealed by growth cone phosphoproteomics
3. 学会等名 Society for neuroscience (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Abe M
2. 発表標題 KLF4 in skeletal development and disease
3. 学会等名 Yonsei Biomedical Dialogue (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鬼頭昭吉、阿部真土
2. 発表標題 KLF4による骨芽細胞分化の抑制はヘッジホッグシグナルの活性化でレスキューできる
3. 学会等名 第11回大阪大学医学系若手フォーラム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 竹内優斗、鬼頭昭吉、阿部真土、脇坂聡
2. 発表標題 KLF4はヘッジホッグシグナルの減弱を介して骨芽細胞分化を抑制する
3. 学会等名 第126回大阪大学歯学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 竹内優斗、鬼頭昭吉、阿部真土
2. 発表標題 KLF4 は一次繊毛におけるヘッジホッグシグナルを介して骨芽細胞の分化を抑制する
3. 学会等名 第 36 回日本骨代謝学会学術集会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 鬼頭昭吉、竹内優斗、阿部真土
2. 発表標題 KLF4 は軟骨細胞において HDAC3 を介して MMP13 の発現を制御する
3. 学会等名 第 36 回日本骨代謝学会学術集会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 阿部 真土
2. 発表標題 Kruppel-Like Factor 4 in skeletal development and disease
3. 学会等名 Yonsei Biomedical Dialogue 2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 H. Aonuma, K. Naniwa, K. Kagaya and K. Osuka
2. 発表標題 Latching mechanisms to generate ultrafast movement of the trap jaw in the ant <i>Odontomachus kuroiwae</i>
3. 学会等名 International Congress for Neuroethology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kubota S, Tokunaga K, Umezu T, Yokomizo T, Oshima M, Iwanaga E, Asou N, Iwama A, Ohyashiki K, Osato M, Sashida G.
2. 発表標題 Lineage-specific RUNX2 super-enhancer activates MYC via translocation (6;8) to promote the development of blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm
3. 学会等名 60th ASH Annual Meeting-American Society of Hematology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akiko Uyeda, Kohei Onishi, Teruyoshi Hirayama, Takeshi Yagi, Nobuhiko Yamamoto and Noriyuki Sugo
2. 発表標題 Maintenance of genome stability by DNA polymerase $\beta$ is necessary for postnatal development in cortical and hippocampal neurons
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 阿部 真土
2. 発表標題 Many faces of KLF4 during skeletal development
3. 学会等名 Seoul National University (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 古瀬民生、幸田尚、串田知子、山田郁子、三浦郁生、小林喜美男、石野史敏、若菜茂晴
2. 発表標題 Maternal deficit of one carbon metabolism alters behavioral traits and gene expression in brain of the progenies
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山本 融 Steven A. Connor 岸本 泰司 Ina Ammendrup-Johnsen 原田 岳 尾嶋 大喜 Razib Hossain Ann Marie Craig
2. 発表標題 MDGA1 は抑制性シナプス形成抑制因子であり、その欠損は興奮性の抑制と学習・記憶能力の障害をもたらす
3. 学会等名 日本薬学会第138年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kimiko Shimizu
2. 発表標題 Mechanism of circadian regulation of long-term recognition memory.
3. 学会等名 International Conference on Genetics & Medicine (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Aya Ito-Ishida
2. 発表標題 MeCP2 Induces Structural Changes in Heterochromatin Independent of Linker Histone H1.0 Distribution
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石田綾
2. 発表標題 MeCP2 levels regulate neuronal chromatin structure in vivo
3. 学会等名 第53回TOKYOニューロサイエンス研究会
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 石黒啓一郎
2. 発表標題 MEIOSIN-STRA8 複合体は体細胞分裂型から減数分裂型の cell cycle への切り替えを制御する
3. 学会等名 成果取りまとめ公開シンポジウム
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 平尾敦
2. 発表標題 Metabolic Control of Cancer Stemness
3. 学会等名 The 2nd NanoLSI Symposium in London Towards Establishment of New Research Field: Nanoprobe Life Science- (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 平尾敦
2. 発表標題 Metabolic Regulation of Stemness in Malignant Hematopoiesis
3. 学会等名 International symposium on drug discovery (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 森亮一
2. 発表標題 miR-223 発現抑制は皮膚創傷部位の感染予防に効果的である
3. 学会等名 第8回臨床ゲノム医療学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松本 大地, 田中 敬祐, 新井 恵吏, 金井 弥栄, 大多 茂樹, 河上 裕
2. 発表標題 miR-27b に制御される CSF1 による腎癌組織マクロファージの浸潤
3. 学会等名 第77回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nobuhiro Okada
2. 発表標題 Models of cancer stem cells to understand the tumor population dynamics and develop novel therapy
3. 学会等名 国立六大学とタイの大学等とのジョイントシンポジウム (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 柘和子, 加藤千賀, 三谷優太, 林康紀, 村谷匡史, 水野聖哉, 高橋智, 加藤秀樹, 柘正幸
2. 発表標題 Molecular analysis of the mutant gene for the peroneal muscular atrophy mouse 先天的腓骨 神経欠損マウスの原因遺伝子の同定
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kimiko Shimizu, Jun Nakano, Yoshitaka Fukada
2. 発表標題 Molecular approach of circadian regulation of mouse anxiety-like behavior
3. 学会等名 Molecular and Cellular Cognition Society 17th Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kimiko Shimizu, Jun Nakano, Yoshitaka Fukada
2. 発表標題 Molecular approach of circadian regulation of mouse anxiety-like behavior
3. 学会等名 Neuroscience 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Mitsuko Furuya, Hasumi Hisashi, Ikuma Kato, Masaya Baba, Yoji Nagashima, Yasuhiro Iribe, Yukio Nakatani, Masahiro Yao
2. 発表標題 Molecular Characteristics of Renal Cell Carcinomas in Patients with Birt-Hogg-Dube Syndrome
3. 学会等名 第 77 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 一瀬宏, 黒崎宏貴, 山口健太郎, 萬好晃平, 原怜
2. 発表標題 MPTP による in vivo ドーパミン生合成の低下はビオプテリン添加により回復する
3. 学会等名 第 22 回活性アミンに関するワークショップ
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Yamanaka A
2. 発表標題 Neural activity manipulation and behavior control by using fiber-less optogenetics
3. 学会等名 National University of Singapore, Department of Chemistry, Research Seminar (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Yoshikazu Isomura
2. 発表標題 Neural representation for right and left limb movements in rodent cerebral cortex
3. 学会等名 The 8th CIN-NIPS Joint Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ayako M. Watabe
2. 発表標題 Neuronal circuits underlying emotional memories
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ayako M. Watabe
2. 発表標題 Neuronal circuits underlying the regulation of aversive valence.
3. 学会等名 第10回光操作研究会・第2回脳情報動態合同国際シンポジウム (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Manabu Natsumeda
2. 発表標題 Neuronal differentiation is induced by Gli3 in WNT- and SHH- activated medulloblastoma
3. 学会等名 23rd Annual Meeting for the Society of Neuro-Oncology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 野住 素広
2. 発表標題 New relationships between F-actin organization and memberance in the growth cone revealed by SIM
3. 学会等名 Society for neuroscience (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 南 敬
2. 発表標題 NFAT activation and vessel sprouting
3. 学会等名 The 16th Korea-Japan Joint Symposium on Vascular Biology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yoshikane Y, Koga M, Bhatnagar R, Cho T, Haraoka S, Hashimoto J, Miyamoto T, Hirose S, Ogawa A
2. 発表標題 NFkB inhibitors as a novel therapeutic agent in the acute phase of Kawasaki disease
3. 学会等名 American Heart Association Scientific Sessions 2018
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nobuhiro Okada, Chiaki Takahashi
2. 発表標題 NFYAによる癌の不均一性形成過程多段階制御機構
3. 学会等名 細胞競合・ステムセルエイジング若手合同ワークショップ
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大里元美
2. 発表標題 NOTCH mutation in AML M7
3. 学会等名 Singapore Society of Haematology and Targeted Therapy for Blood Cancer (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Xiaoling Pang、清水昭男、Dimitar P. Zankov、佐藤朗、石田哲夫、扇田久和
2. 発表標題 Novel therapeutic role for dipeptidyl peptidase III in the treatment of diabetic nephropathy.
3. 学会等名 第 91 回日本生化学会大会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Ryoma Kurahashi, Tsuyoshi Kadomatsu, Masaya Baba, Chiaki Hara, Motoyoshi Endo, Yuichi Oike, Tomomi Kamba
2. 発表標題 Novel urinary biomarker for Xp11. 2 translocation renal cell carcinoma
3. 学会等名 第 77 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 淡川孝義、藤岡拓真、張驪騏、星野翔太郎、胡志娟、橋本絢子、小曾根郁子、池田治生、新家一男、劉文、阿部郁朗
2. 発表標題 NRPS-PKS モジュール酵素リプログラミングによる新規デプシペプチド生産
3. 学会等名 第 22 回 天然薬物の開発と応用シンポジウム(熊本)
4. 発表年 2018 年



1. 発表者名 淡川孝義、藤岡拓真、張驪驛、星野翔太郎、胡志娟、橋本絢子、小曾根郁子、池田治生、新家一男、劉文、阿部郁朗
2. 発表標題 NRPS-PKS モジュール酵素リプログラミングによる新規デブシペプチド生産
3. 学会等名 第 60 回天然有機化合物討論会(久留米)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 大栗博毅
2. 発表標題 NRPS を活用した化学-酵素ハイブリッド合成を目指して
3. 学会等名 新学術領域研究「生合成リデザイン」第 2 回若手シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Yamanaka A
2. 発表標題 Orexin and MCH neurons double ablation mice. Isolation of effect of orexin using orexin-Flippase mice.
3. 学会等名 7th International Symposium on Narcolepsy (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 新木悠介、野倉吉彦、花木祐輔、中崎敦夫、北 将樹、入江一浩、西川俊夫
2. 発表標題 Oscillatoxin D の合成研究
3. 学会等名 第 60 回天然有機化合物討論会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 駒倉啓大、後藤栄治、及川大輔、阿部貴則、徳永文稔
2. 発表標題 OTUD1 は自然免疫制御に関わる脱ユビキチン化酵素である
3. 学会等名 第 41 回日本分子生物学会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Toko Funaki, Takeshi Ito, Yoshinori Murakami
2. 発表標題 Overexpression of CADM1 enhances malignant features of small cell lung cancer
3. 学会等名 The 25th East Asia Joint Symposium on Biomedical Research (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 齋藤 慈、奥村 和弘、磯貝恵理子、荒木 喜美、若林 雄一
2. 発表標題 p19Arf に存在する非同義置換多型は腫瘍悪性を制御する
3. 学会等名 第 77 回日本癌学会総会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 齋藤慈、奥村和弘、磯貝恵理子、荒木喜美、若林雄一
2. 発表標題 p19Arf に存在する非同義置換多型は腫瘍悪性を制御する
3. 学会等名 第 77 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Hirose S
2. 発表標題 Pathogenesis and genetic substrate
3. 学会等名 19th International symposium on severe infantile epilepsies: old and new treatments
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Mitsuko Furuya, Ikuma Kato, Yoji Nagashima, Naoto Kuroda, Hisashi Hasumi, Masaya Baba, Masahiro Yao, Yukio Nakatani
2. 発表標題 Pathologic Characteristics of the Hereditary Renal Cell Carcinomas Associated with Birt-Hogg-Dube Syndrome
3. 学会等名 United States and Canadian Academy of Pathology (USCAP) 107th Annual Meetings (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Atsushi Nambu
2. 発表標題 Pathophysiology of dystonia
3. 学会等名 Stockholm-Okazaki Workshop on "Multi-scale dynamics of basal ganglia in brain function and dysfunction" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Masayuki Itoh, Hiroyuki Okuno, Daisuke Yamada, Mariko Yamashita, Manabu Abe, Rie Natsume, Toshie Kaizuka, Kenji Sakimura, Mikio Hoshino, Masayoshi Mishina, Keiji Wada, Masayuki Sekiguchi, Takashi Hayashi
2. 発表標題 Perturbed expression pattern of the immediate early gene Arc in the dentate gyrus of GluA1 C-terminal palmitoylation deficient mice
3. 学会等名 「次世代脳」プロジェクト 冬のシンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shidara H, Hommaru N, Ogawa H
2. 発表標題 Phonotactic behaviors in freely-moving female crickets
3. 学会等名 48th Annual Meeting of Society for Neuroscience (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 渡邊貴樹, 頼友梨恵, 狩野方伸
2. 発表標題 Phospholipase C $\beta$ 3 mediates climbing fiber synapse elimination in aldolase C-positive compartments of the developing mouse cerebellum
3. 学会等名 The 75th Fujihara Seminar
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 渡邊貴樹, 頼友梨恵, 狩野方伸
2. 発表標題 Phospholipase C $\beta$ 3 mediates climbing fiber synapse elimination in aldolase C-positive compartments of the developing mouse cerebellum
3. 学会等名 次世代脳プロジェクト冬のシンポジウム2018
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 五十嵐 道弘
2. 発表標題 Phosphoproteomics of the mammalian growth cone reveals that phosphorylation of GAP-43 by JNK is specific to the growing/regenerating axon
3. 学会等名 ASCB/EMBO2018 meeting (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 五十嵐 道弘
2. 発表標題 Phosphorylation profiles of neuronal growth cones revealed by phosphoproteomics
3. 学会等名 Gordon Research Conference
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Masayasu Okada, Asami Kawasaki, Atsushi Tamada, Yutaka Yoshida, Takeuchi Kosei, Yukihiro Fujii, Michihiro Igarashi,
2. 発表標題 Phosphorylation-dependent molecular marker for axon growth/regeneration in rodents and primates
3. 学会等名 第 41 回日本神経科学大会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 中津 史
2. 発表標題 PI4P 駆動型脂質対向輸送システムの分子機構とその生理機能の解明
3. 学会等名 平成 29 年度 AMED 「画期的医薬品等の創出をめざす脂質の生理活性と機能の解明」 PRIME 会議
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 塩見 美喜子
2. 発表標題 piRNA biogenesis and function
3. 学会等名 CSHL/Regulatory & Non-coding RNA (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 塩見 美喜子
2. 発表標題 PIWI-Interacting RNA : Its Biogenesis and Functions
3. 学会等名 2018 Keystone Symposia (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Hirose S
2. 発表標題 Precision medicine though stem cells
3. 学会等名 12th Asian and Oceanian epilepsy congress
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Yoshikane Y, Hashimoto J, Miyamaoto T, Hirose S, Ogawa A
2. 発表標題 Predicting non-responders to the steroid combination therapy in very severe Kawasaki disease
3. 学会等名 12th Internrnational Kawasaki Disease Symposium
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Nobuhiko Takai
2. 発表標題 Prenatal radiation-induced brain damage related to cognitive impairment in animal models
3. 学会等名 The 8th Annual Meeting of the International Society of Radiation Neurobiology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018 年



1. 発表者名 Ishikawa K, Yamamoto S, Hattori S, Nishimura N, Mito T, Matsumoto H, Miyakawa T, Nakada K.
2. 発表標題 Progressive neurodegeneration and abnormal behavior were caused by acquired expression of mutant Mitofusin 2 in neurons
3. 学会等名 第41回日本分子生物学会年会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 扇田久和
2. 発表標題 Protective role of intercalated disk protein afadin in the pressure-overloaded heart.
3. 学会等名 第2回日本循環器学会基礎研究フォーラム（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Katano, T., Takao, K., Abe, M., Yamazaki, M., Watanabe, M., Miyakawa, T., Sakimura, K. and Ito, S.
2. 発表標題 Protein Distribution and functional characterization of CASK-interacting protein 1 (Caskin1) in mice.
3. 学会等名 48th annual meeting of the Society for Neuroscience（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Mori S, Kishi S, Fujiwara-Tani R, Kondo Y, Honoki K, Kuniyasu H
2. 発表標題 Pterostilbene inhibits cancer stem cells by increase of oxidative stress
3. 学会等名 77th Annual Meeting of Japanese Association for Cancer
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Kenta Abe, Hiromu Yawo
2. 発表標題 Quantitative study of cross-modal plasticity in the rat somatosensory perception using optogenetics.
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Koizumi, S.
2. 発表標題 Reactive astrocyte-mediated synapse remodeling
3. 学会等名 2018 Cold Spring Harbor Asia Conference. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Koizumi, S
2. 発表標題 Reactive astrocyte-mediated synapse remodeling.
3. 学会等名 2018 Cold Spring Harbor Asia Conference. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 C. Motozono, T. Shimane, S. Torigoe, N. Nishimura, and S. Yamasaki.
2. 発表標題 Recognition of phospholipids on dead cells via inhibitory C-type lectin receptor.
3. 学会等名 The 47th Annual Meeting of the Japanese Society for Immunology
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Wenjuan Ma, Takanobu Motoshima, Yorifumi Satou, Hisashi Hasumi, Tsuyoshi Kadomatsu, Ryoma Kurahashi, Mitsuko Furuya, Masahiro Yao, Laura S Schmidt, W Marston Linehan, Yuichi Oike, Tomomi Kamba, Masaya Baba
2. 発表標題 Regulation of hypoxia response pathway by chimeric TFE3s in Xp11. 2 translocation renal cell carcinoma
3. 学会等名 第77回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Toshiyuki Araki, Shuji Wakatsuki
2. 発表標題 Regulation of neuronal apoptosis and axonal degeneration by ZNRF1 ubiquitin ligase.
3. 学会等名 8th Asia Pacific International Congress of Anatomists (APICA) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 Regulation of sleep and memory
3. 学会等名 Joint symposium of 10th Optogenetics Research Conference and Second International Symposium on Brain Information Dynamics 2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 平尾敦
2. 発表標題 REGULATION OF STEM CELL PROPERTIES BY METABOLIC SIGNALS IN HEMATOPOIETIC NEOPLASM
3. 学会等名 JSPS-NUS 2nd Joint symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yamanaka A
2. 発表標題 Regulatory mechanism of sleep/wakefulness and memory
3. 学会等名 The BRI International Symposium 2018 "The innovative progress of neuroscientific research through the use of advanced animal models" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 Regulatory mechanism of sleep/wakefulness and memory by the hypothalamic neurons
3. 学会等名 島根大学セミナー (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Satoru Yamagishi, Yo shinoda, Syuhei Ogawa, Tsuyoshi Miyakawa, Keizo Takao and Kohji Sato
2. 発表標題 Repulsive guidance molecule FLRT2 regulates neuronal migration and social behavior.
3. 学会等名 日本神経科学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ryohei Katayama, Koutaroh Okada, Bo Gong, Ken Uchibori, Makoto Nishio, and Naoya Fujita
2. 発表標題 Resistance mechanisms of ALK/EGFR-TKIs or immune checkpoint inhibitors in lung cancer, and the potential therapeutic strategies to overcome the resistance.
3. 学会等名 The 23rdTaiwan Joint Cancer Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yuki Nakano, Aoi Ono, Mamoru Kobayashi, Yukari Takasago, Chiaki Murakami, Daiki Ozima, Tohru Yamamoto, Kazuyuki Hirooka
2. 発表標題 Retinal Ganglion Cell Loss in Alcadein $\alpha$ Knockout Mice
3. 学会等名 ARVO 2018: The Association for Research in Vision and Ophthalmology Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岩崎信太郎
2. 発表標題 Ribosome conformational dynamics surveyed by ribosome profiling
3. 学会等名 2nd JAJ (Joint Australia-Japan/Japan-Australia Joint) RNA Meeting
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Naofumi Ito, Shah Adil Ishtiyag Ahmad, Mohammad Badrul Anam, Kunimasa Ohta.
2. 発表標題 Ribosome incorporation into somatic cells promotes lineage transdifferentiation towards multipotency
3. 学会等名 JSPS-NUS Joint Symposium (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Naofumi Ito, Shah Adil Ishtiyag Ahmad, Mohammad Badrul Anam, Kunimasa Ohta.
2. 発表標題 Ribosome incorporation into somatic cells promotes lineage transdifferentiation towards multipotency
3. 学会等名 KEY Forum 2018 Stem Cell Traits and Developmental Systems
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Naofumi Ito, Shah Adil Ishtiyag Ahmad, Mohammad Badrul Anam, Kunimasa Ohta.
2. 発表標題 Ribosome incorporation into somatic cells promotes lineage transdifferentiation towards multipotency、
3. 学会等名 第4回 包括的神経グリア研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 森亮一
2. 発表標題 Role of C/EBP $\alpha$ -miR-223-Interleukin-6 secretion pathway at Staphylococcus aureus-infected wound sites
3. 学会等名 第41回日本基礎老化学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 Role of cholinergic neurons in the septum on the regulation of sleep and memory
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会 シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ueda Y, Yasuda M, Nakamura K
2. 発表標題 Role of dopamine in the primate caudate for the decision making under different emotional context.
3. 学会等名 Neuroscience 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 Naoya Murao, Hideki Nishitoh
2. 発表標題 Role of endoplasmic reticulum quality control in the adult hippocampal neurogenesis
3. 学会等名 The society for neuroscience (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hikmawan W Sulistomo, Yohko Kage, Takayuki Nemoto, Ryu Takeya
2. 発表標題 Role of Mammalian Formin Fhod3 in Neural Tube Closure
3. 学会等名 第18回国際薬理学会 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 本多 敦子
2. 発表標題 RUN-domain タンパク質 Ruffy3 の役割
3. 学会等名 第59回新潟生化学懇話会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 Selective Autophagy Regulates Lipid Metabolism
3. 学会等名 Keystone Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 Selective Autophagy Regulates Lipid-oxidation
3. 学会等名 24th IUBMB-15th FAOBMB Congress (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 Selective autophagy regulates lipid-oxidation through NCoR1-PPAR $\alpha$ -axis
3. 学会等名 Cold Spring Harbor Asia meeting on Ubiquitin Family, Autophagy & Disease (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山崎大輔、中野大介、小西啓夫、西山 成
2. 発表標題 SGLT2 阻害薬は腎貧血モデルラットの血中エリスロポエチン濃度に影響を与えない
3. 学会等名 第 41 回日本高血圧学会総会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Hung CJ, Ono D, Yamanaka A
2. 発表標題 Sleep/wakefulness analysis of orexin and MCH neurons double ablated mice
3. 学会等名 7th International Symposium on Narcolepsy (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Ageta-Ishihara N, Takao K, Miyakawa T, Hioki H, Bito H, Inokuchi K, Kinoshita M.
2. 発表標題 Spatial discrimination defects caused by chronic, systemic loss of a septin subunit is recapitulated by its acute, local depletion in the hippocampal dentate gyrus
3. 学会等名 第 1 回国際シンポジウム “Towards Understanding INDIVIDUALITY” (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 高祖 秀登
2. 発表標題 Spontaneous development of intratumoral heterogeneity in a transposon-induced mouse model of glioma
3. 学会等名 第 77 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Ogawa H, Tanaka K, Someya M, Shidara H
2. 発表標題 Stimulus-intensity impacts on direction encoding and its temporal dynamics in insect mechanosensory projection neurons
3. 学会等名 48th Annual Meeting of Society for Neuroscience (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 松木亨、飯尾明生、上田昌史、戸谷明恵、中山敦雄
2. 発表標題 Stk25 and MST3 act on neuronal polarization, migration, and cardiovascular development with compensation manner.
3. 学会等名 平成 29 年度「先端モデル動物支援」成果発表会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Shintaro Iwasaki
2. 発表標題 Structure and resistance of an mRNA-selective natural translation inhibitor from Aglaia plant
3. 学会等名 日本植物生理学会年会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Masaya Baba, Wenjaun Ma, Takanobu Motoshima, Yorifumi Satou, Hisashi Hasumi, Tsuyoshi Kadomatsu, Mitsuko Furuya, Yoji Nagashima, Masahiro Yao, Masatoshi Eto, W Marston Linehan, Yuichi Oike, Tomomi Kamba
2. 発表標題 Studies to uncover the molecular mechanism for cancer development in Xp11. 2 translocation renal cell carcinoma
3. 学会等名 第77回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 Study of regulatory mechanism of sleep/wakefulness and memory by optogenetical neural activity manipulation
3. 学会等名 第91回日本生化学会大会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Chowdhury S, Hung CJ, Izawa S, Inutsuka A, Abe M, Sakimura K, Yamanaka A.
2. 発表標題 Subtraction analysis using new orexin-Flp knock-in mice reveals physiological importance of orexin peptide.
3. 学会等名 第 95 回日本生理学会大会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Chowdhury S
2. 発表標題 Subtraction analysis using new orexin-Flp knock-in mice reveals the physiological importance of orexin peptides.
3. 学会等名 11th FENS Forum of Neuroscience (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Steven Connor, Ina Ammendrup-Johnsen, Yasushi Kishimoto, Parisa Karimi Tari, Vedrana Cvetkovska, Takashi Harada, Daiki Ojima, Tohru Yamamoto, Yu Tian Wang, Ann Marie Craig
2. 発表標題 Synaptopathies associated with loss of MDGAs
3. 学会等名 17th Annual Molecular and Cellular Cognition Society Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Yusuke Hanaki, Yusuke Araki, Yoshihiko Nokura, Atsuo Nakazaki, Masaki Kita, Kazuhiro Irie, Toshio Nishikawa
2. 発表標題 Synthetic studies on oscillatoxin D and its analogs.
3. 学会等名 The 4th International Kyoto Conference on New Aspect of Organic Chemistry (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 森亮一
2. 発表標題 Targeting miR-223 in neutrophils enhances the clearance of S. aureus in infected wounds
3. 学会等名 東京理科大学トランスレーショナルリサーチセンター・ハワイ大学 合同シンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 魏 范研
2. 発表標題 Taurine-modification of mitochondrial tRNA regulates proteostatic network and contribute to the quality of embryonic stem cells.
3. 学会等名 1st International Mitochondria Meeting for Young Scientists (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 後藤栄治、浜田大輔、及川大輔、鈴木貴、徳永文稔
2. 発表標題 TCR シグナルにおける直鎖状ユビキチン化の数理モデル解析
3. 学会等名 第41回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岡田和之, 高倉勇氣, 竹洞裕貴, 堀 直人, 平井直人, 高野博之, 山口直人, 山口憲孝.
2. 発表標題 TEAD の転写共役因子による Hippo 経路活性化メカニズム解析.
3. 学会等名 第17回 次世代を担う若手ファーマ・バイオフィォーラム 2018
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山口憲孝.
2. 発表標題 TGF-beta により発現誘導される転写共役因子 VGLL3 による EMT 制御機構の解析.
3. 学会等名 第91回日本生化学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 Ishikawa K, Yamamoto S, Hattori S, Nishimura N, Mito T, Matsumoto H, Miyakawa T, Nakada K
2. 発表標題 The D210V mutation of Mfn2 in neurons induces different pathologies in severity depends on its expression timing
3. 学会等名 Mitochondrial Biology (Z1), Ketstone Symposia (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akira Kikuchi
2. 発表標題 The Dickkopf1-CKAP4 pathway, a novel cancer signaling, represents a therapeutic target for cancer therapy.
3. 学会等名 IUBMB Congress 2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akira Kikuchi
2. 発表標題 The Dickkopf1-CKAP4 pathway, a novel cancer signaling, represents molecular targets for cancer therapy.
3. 学会等名 第77回日本癌学会学術総会 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 野住 素広、五十嵐 道弘
2. 発表標題 The endocytosis coordinated with filopodial formation in the growth cone, revealed by superresolution microscopy
3. 学会等名 第8回新潟大学脳研究所共同研究拠点国際シンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Masayasu Okada, Asami Kawasaki, Atsushi Tamada, Yutaka Yoshida, Takeuchi Kosei, Yukihiro Fujii, Michihiro Igarashi,
2. 発表標題 The Growth Cone phosphoproteomics reveals an Axonal Regeneration Marker
3. 学会等名 Cold Spring Harbor Asia Conference in Awaji (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yueren Liu, Shigeo Sakuragi, Kyo Koizumi, Tomokazu Ohshiro, Keiko Ikeda, Kiyoshi Kawakami, Hajime Mushiake, Hiromu Yawo
2. 発表標題 The immediate early reception of optogenetic inputs in the layer 2/3 of the rat barrel cortex
3. 学会等名 第95回日本生理学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ishikawa K, Yamamoto S, Hattori S, Nishimura N, Mito T, Matsumoto H, Miyakawa T, Nakada K
2. 発表標題 The importance of Mfn2 in neuronal function from juvenile to adult phase
3. 学会等名 The 1st International Mitochondria Meeting for Young Scientists (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shadi Sedghi Masoud, Yudai Yamaoki, Yue Ma, Adrian Marchand, Fernaldo Richtia Winnerdy, Valerie Gabelica, Anh Tuan Phan, Masato Katahira, Kazuo Nagasawa
2. 発表標題 The interaction analysis of a cyclic tetraoxazole with telomeric i-motif DNA
3. 学会等名 The 45rd International Symposium on Nucleic Acids Chemistry (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Noritaka Yamaguchi and Naoto Yamaguchi
2. 発表標題 The molecular mechanisms underlying resistance to TGF-beta-induced apoptosis in breast cancer cells.
3. 学会等名 The 2nd International Conference on Genomic Medicine 2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akira Kikuchi
2. 発表標題 The novel Dickkopfs-CKAP4 signaling pathway represents diagnostic and therapeutic targets for cancer.
3. 学会等名 European Wnt Meeting2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 清水 逸平
2. 発表標題 The pathologicacl role of brown adipose tissue dysfunction in cardio-metabolic disorders.
3. 学会等名 23rd Annual Scientific Meeting of the International Society of Cardiovascular Pharmacotherapy (ISCP) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ippei Shimizu
2. 発表標題 The pathologicacl role of brown adipose tissue dysfunction in cardio-metabolic disorders.
3. 学会等名 Symposium, 23rd Annual Scientific Meeting of the International Society of Cardiovascular Pharmacotherapy (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Toko Funaki, Takeshi Ito, Yoshinori Murakami
2. 発表標題 The role of CADM1 in enhancement of malignant features of small cell lung cancer
3. 学会等名 The 6th JCA-AACR Special Joint Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 魏 范研
2. 発表標題 The role of Cdk11-mediated tRNA modification in peripheral neuropathy
3. 学会等名 19th Servier-IGIS Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ohama T
2. 発表標題 The role of SET in Gastric Cancer
3. 学会等名 Workshop on Frontiers in Phosphatase Research and Drug Discovery (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yoshimura Y
2. 発表標題 The roles of visual experience in the maturation of neural responses in the visual cortex.
3. 学会等名 Cold Spring Harbor Asia “Latest Advances in Development & Function of Neuronal Circuits” (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Yoshimura Y
2. 発表標題 The roles of visual experience in the maturation of secondary visual cortex.
3. 学会等名 The 95th Annual Meeting of the Physiological Society Meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Kouji Sakai, Takashi Irie, Naoya Nagata, Yuriko Suzaki, Kazuaki Takehara, Yasushi Ami
2. 発表標題 The serine protease TMPRSS2 plays a major role for in vivo replication of mouse parainfluenza viruses in a natural host.
3. 学会等名 第 66 回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Kouji Sakai, Takashi Irie, Naoya Nagata, Kazuaki Takehara, Yasushi Ami
2. 発表標題 The serine protease TMPRSS2 plays a major role for in vivo replication of sendai virus in a natural host.
3. 学会等名 The 17th Awaji International Forum on Infection and Immunity (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nakamura, K.
2. 発表標題 Thermosensory afferent neural pathways for autonomous and behavioral thermoregulation
3. 学会等名 7th International Meeting of the Physiology and Pharmacology of Temperature Regulation (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 村上祐輔、布川寛樹、三宅健介、山下直美
2. 発表標題 TLR9 is a promising target for the neutralizing antibody in allergic airway inflammation
3. 学会等名 第47回日本免疫学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Toshio Nishikawa
2. 発表標題 Towards a Unified Synthesis of Aplysiatoxin and oscillatoxin Famile.
3. 学会等名 The 4th International Symposium on Middle Molecular Strategy (ISMMS-4) (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Sato N, Shidara H, Ogawa H
2. 発表標題 Trade-off between speed, directional accuracy and behavioral flexibility in action selection of the escape behavior in the cricket
3. 学会等名 48th Annual Meeting of Society for Neuroscience (国際学会)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 岩崎信太郎
2. 発表標題 Translational buffering upon splicing inhibition
3. 学会等名 第 41 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018 年



1. 発表者名 魏 范研
2. 発表標題 tRNA modification in mitochondria disease
3. 学会等名 15th Conference of the Asian Society of Mitochondrial Research and Medicine (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shingo Sato
2. 発表標題 Tumor-stromal interaction during bone metastasis
3. 学会等名 8th Seoul Breast Cancer 2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 後藤栄治、濱田大輔、及川大輔、鈴木貴、徳永文稔
2. 発表標題 T細胞受容体を介したNF- $\kappa$ Bシグナル制御の数理シミュレーション
3. 学会等名 第91回日本生化学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Aya Ito-Ishida
2. 発表標題 Understanding the pathogenesis of Rett syndrome using multiple approaches
3. 学会等名 第10回光操作研究会・第2回脳情報動態 合同国際シンポジウム (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Sakakibara K, Fukumasu N, Ageta-Ishihara N, Fukazawa Y, Takao K, Miyakawa T, Bito H, Kinoshita M.
2. 発表標題 Unexpected motor and histopathological phenotype found in mice that lack SEPT7 in the cerebellum
3. 学会等名 The 6th Neural Circuits Joint Workshop
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 馬場理也、元島崇信、馬 文娟、蓮見壽史、黄 榮、佐藤賢文、宮里パオラ、長嶋洋治、古屋充子、矢尾正祐、神波大己
2. 発表標題 Xp11.2 転座型腎細胞癌で認めるキメラ TFE3 転写因子の機能解析
3. 学会等名 第106回日本泌尿器科学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 稲岡大悟, 大平崇人, 押村光雄, 中山祐二, 久郷裕之
2. 発表標題 X染色体不活化機構解明に向けた人工染色体の活用
3. 学会等名 第41回日本分子生物学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tetsuhisa Otani, Shinsaku Tokuda, and Mikio Furuse
2. 発表標題 ZO family proteins regulate epithelial polarity independent of Tight Junction strand assembly
3. 学会等名 ASCB EMBO 2018 meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tetsuhisa Otani, Shinsaku Tokuda, and Mikio Furuse
2. 発表標題 ZO family proteins regulate epithelial polarity independent of Tight Junction strand assembly
3. 学会等名 第70回日本細胞生物学会大会・第51回日本発生生物学会大会合同大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 竹内絵理、山田大輔、斎藤顕宜、伊藤政之、林崇、山田光彦、和田圭司、関口正幸
2. 発表標題 ω3 多価不飽和脂肪酸高含有餌摂取マウスにおける強制水泳試験無動時間の減少：腹側被蓋野-側坐核ドパミン神経系の関与
3. 学会等名 日本脂質栄養学会第 27 回大会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 根本隆行、Hikmawan Wahyu Sulistomo、武谷 立
2. 発表標題 アクチン細胞骨格による樹状突起スパインの形態制御
3. 学会等名 第 71 回日本薬理学会西南部会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 中野悠香、安在瑞穂、中原茜、山下健太郎、高翔、松倉一晃、福田勉、小野寺玄、木村正成、石橋郁人、岩尾正倫
2. 発表標題 アザラメラリン N 誘導体のモジュール合成法の開発
3. 学会等名 第 48 回複素環化学討論会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 宮崎 杜夫, Srikanta Chowdhury, 山下 貴之, 八尾 寛 湯浅 英哉, 山中 章弘
2. 発表標題 アップコンバージョンを用いたファイバーレス光遺伝学の開発
3. 学会等名 生物物理学会第 56 回年会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 松田未沙子, 馬悦, 小林美月, 岡部幸子, 広川貴次, 清宮啓之, 長澤和夫
2. 発表標題 アニリン型側鎖を有する大環状ヘキサオキサゾール化合物の合成とグアニン四重鎖の安定可能
3. 学会等名 第 62 回 日本薬学会 関東支部大会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 小野由美子、池ノ内順一
2. 発表標題 アピカル膜へのスフィンゴリエリン輸送を制御する分子機構の解明
3. 学会等名 平成 30 年度日本生化学会九州支部例会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 早川皓太郎、花木祐輔、徳田春邦、柳田 亮、中川 優、入江一浩
2. 発表標題 アプリシアトキシン単純化アナログ・10-Me-Aplog-1 の3位アセタール型アナログの合成
3. 学会等名 2018年度日本農芸化学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 入江一浩
2. 発表標題 アプリシアトキシン単純化アナログ・10-Me-Aplog-1 の構造最適化とがん細胞増殖抑制に関わる PKC アイソザイムの同定
3. 学会等名 新学術領域研究「化学コミュニケーションのフロンティア」第2回公開シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高田晃児、花木祐輔、菊森将之、徳田春邦、柳田 亮、入江一浩
2. 発表標題 アプリシアトキシン単純化アナログ・10-Me-aplog-1 の側鎖誘導体の合成と活性
3. 学会等名 2018年度日本農芸化学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 谷口 友章・坪内 彰・湯浅 順平・大栗 博毅
2. 発表標題 アルカロイド骨格を活用した蛍光性希土類錯体の合成
3. 学会等名 日本化学会 98 回春季年会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 藤田勇輝、阿嘉由樹、布田旭、福田勉、小野寺玄、木村正成
2. 発表標題 アルキニルボレートを紹介した $\alpha, \beta$ -不飽和エノンの新規合成法の開発
3. 学会等名 第 65 回有機金属化学討論会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 塚本 亮, 菱本 明豊, 青山 慎介, 朴 秀賢, 田宮 裕子, 大塚 郁夫, 松山 賢一, 木村 敦, 蓬萊 政, 曾良 一郎
2. 発表標題 アルコール依存症にアルコール性心筋症が合併し、断酒により心機能が改善した症例
3. 学会等名 第 122 回近畿精神神経学会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 井口善生・深堀良二・加藤成樹・西澤佳代・小林和人
2. 発表標題 イオンチャネル型化学遺伝学技術と Drd2-Cre ラットの併用による VTA ドパミンニューロンの活動操作と natural reward に対するモチベーションへの影響
3. 学会等名 平成 30 年第 1 回大脳基底核機能研究会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 中津 史
2. 発表標題 イノシトールリン脂質・PI(4)P の新しい生理機能：膜接触部位形成と脂質交換輸送制御
3. 学会等名 2018 年 生理学研究所研究会「オルガネラ膜ナノドメインの機能と動態」 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 中津 史
2. 発表標題 イノシトールリン脂質によるメンブレンコンタクト形成と脂質交換輸送制御
3. 学会等名 日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018 年



1. 発表者名 久保田大貴・大栗博毅
2. 発表標題 イボガ骨格の環開裂反応によるインドールアルカロイド群の合成研究
3. 学会等名 日本化学会 98 回春季年会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 今野雅允, 浅井歩, 小関準, 石井秀始
2. 発表標題 エピトランスクリプトームによる消化器癌の進展、転移メカニズムの解明
3. 学会等名 第 41 回日本分子生物学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 オートファジー -分子機構と疾患との関わり-
3. 学会等名 第 40 回 獣医学学术交流基金群講演会 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 及川大輔、駒倉啓大、徳永文稔
2. 発表標題 オートファジーアダプターNDP52による新規NF- $\kappa$ B・細胞死制御機構
3. 学会等名 第91回日本生化学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 オートファジーシステムの作動原理と多様性
3. 学会等名 第91回日本生化学会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 オートファジーと疾患「選択的オートファジーによる転写制御」
3. 学会等名 千里ライフサイエンスセミナー（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 オートファジーの生理機能
3. 学会等名 第 91 回日本整形外科学会学術総会（招待講演）
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 オートファジー欠損マウスからわかったこと
3. 学会等名 第 5 回 JCVP 学術集会（招待講演）
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 佐々木 哲也
2. 発表標題 オーバーシュート型シナプス形成異常による自閉症発現機構の解明
3. 学会等名 第 2 回 先進医薬研究報告会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 藤田勇輝、阿嘉由樹、布田旭、福田勉、小野寺玄、木村正成
2. 発表標題 オキサボロールを介した $\alpha, \beta$ -不飽和エノンの新規合成法の開発
3. 学会等名 第 48 回複素環化学討論会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 西川俊夫
2. 発表標題 オシラトキシシン D、アプリシアトキシシンの統一的合成法の開発
3. 学会等名 新学術領域 「反 応集積化が導く中分子戦略：高次生物機能分子の創製」 平成 30 年度第 6 回成果報告会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 井口善生
2. 発表標題 オペラント行動の制御における線条体ニューロンの役割-意思決定の変調としての依存症理解への示唆-
3. 学会等名 平成 30 年度 アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 八尾 寛
2. 発表標題 オルガネラ Ca <sup>2+</sup> ダイナミクスの光操作
3. 学会等名 生理学研究所研究会「神経回路の構築から機能発現に至る統合的理解」
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 八尾 寛
2. 発表標題 オルガネラ光操作
3. 学会等名 第3回ルミノジェネティクス研究会（招待講演）
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 オレキシンとは？睡眠覚醒調節における役割について
3. 学会等名 第70回九州精神神経学会 第63回九州精神医療学会（招待講演）
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 山田剛司, 新井貴順, 藤井彩乃, 菊地 崇, 田中 麗子
2. 発表標題 カイメン由来真菌の産生する 6-5-6-6 複合環を有する 新規ジテルペン
3. 学会等名 日本薬学会第 138 年会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 がんとオートファジー
3. 学会等名 第 77 回日本癌学会学術総会 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 國安弘基、森汐莉、谷里奈、岸真吾、西口由希子、森拓也、宮川良博、後藤桂、川原勲、大森斉
2. 発表標題 がんのエネルギー代謝-がん悪性形質との関連
3. 学会等名 第 29 回日本消化器癌発生学会、シンポジウム：がんメタボローム-マルチオミクスによる複雑性の統一 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 佐藤信吾
2. 発表標題 がんの骨転移
3. 学会等名 Juntendo Orthopedic Oncology Collaboration (J00C) (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 豊國 伸哉
2. 発表標題 がん研究におけるフェロトーシスの意義；シンポジウム 1：がん細胞と正常細胞の代謝機構
3. 学会等名 第 77 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 佐藤信吾
2. 発表標題 がん細胞が分泌するマイクロ RNA が造骨型/溶骨型骨転移を誘導する
3. 学会等名 第 265 回関東骨軟部腫瘍研究会 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 橋本恭子、越智広樹、砂村聡子、小坂展慶、馬淵洋、福田亨、八尾健太、神田浩明、阿江啓介、大川淳、赤澤智宏、落谷孝広、二口充、竹田秀、佐藤信吾
2. 発表標題 がん細胞由来分泌型マイクロ RNA が造骨型骨転移を惹起する
3. 学会等名 第3回日本骨免疫学会ウインターセミナー
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐藤信吾、橋本恭子、越智広樹、砂村聡子、小坂展慶、馬淵洋、神田浩明、阿江啓介、小柳広高、赤澤智宏、落谷孝広、二口充、竹田秀、大川淳
2. 発表標題 がん細胞由来分泌型マイクロ RNA による骨転移微小環境制御機構
3. 学会等名 第1回日本サルコーマ治療研究学会 (JSTAR) 学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐藤信吾
2. 発表標題 がん細胞由来分泌型マイクロ RNA による骨転移微小環境制御機構
3. 学会等名 平成29年度新学術領域研究学術研究支援基盤形成【先端モデル動物支援プラットフォーム】成果発表会 (招待講演)
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 齋藤 慈
2. 発表標題 がん抑制遺伝子 p19Arf に存在する非同義置換多型の腫瘍悪性化における役割
3. 学会等名 第 31 回モロシヌス研究会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 齋藤慈、奥村和弘、磯貝恵理子、若林雄一
2. 発表標題 がん抑制遺伝子 p19Arf に存在する非同義置換多型における機能解析
3. 学会等名 第 27 回日本癌病態治療研究会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 齋藤慈、奥村和弘、磯貝恵理子、若林雄一
2. 発表標題 がん抑制遺伝子 p19Arf に存在する非同義置換多型の機能解析
3. 学会等名 第 65 回実験動物学会総会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 齋藤慈
2. 発表標題 がん抑制遺伝子 p19Arf に存在する非同義置換多型の腫瘍悪性化における役割
3. 学会等名 第 31 回モロシヌス研究会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 大木理恵子
2. 発表標題 がん抑制遺伝子 p53 機能喪失とがん微小環境は協調的に胃がん悪性化を促進する
3. 学会等名 第 77 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 越川直彦
2. 発表標題 がん抑制因子から促進因子に変換する EphA2 プロセッシングの解明
3. 学会等名 がん抑制因子から促進因子に変換する EphA2 プロセッシングの解明 シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 河野はるか, 古田忠臣, 原怜, 一瀬宏
2. 発表標題 キノノイドジヒドロプテリジン還元酵素のリガンド認識機構の in silico 解析
3. 学会等名 第 91 回日本生化学会大会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 馬悦, 飯田圭介, 長澤和夫
2. 発表標題 グアニン四重鎖と相互作用する大環状オキサゾール型蛍光リガンドの創製
3. 学会等名 日本化学会 第 98 回春季年会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 安田瑞穂, 馬悦, 佐々木捷悟, 清宮啓之, Young-Tae Chang, 長澤和夫
2. 発表標題 グアニン四重鎖構造の可視化を志向した大環状ヘキサオキサゾール化合物の合成
3. 学会等名 日本化学会 第 98 回春季年会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 佐々木捷悟, 馬悦, Hanbin Mao, 長澤和夫
2. 発表標題 グアニン四重鎖構造を安定化するマルチバレント型大環状ヘキサオキサゾール化合物の合成および物性評価
3. 学会等名 日本化学会 第98回春季年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 馬悦, 飯田圭介, 齋藤良太, 長澤和夫
2. 発表標題 グアニン四重鎖選択的に蛍光特性の変化するリガンドの創製
3. 学会等名 日本ケミカルバイオロジー学会 第13回年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 藤原和之, 柿崎利和, 宮田茂雄, 渡辺雅彦, 大城朝一, 虫明元, 宮坂佳樹, 真下知士, 柳川右千夫
2. 発表標題 グルタミン酸脱炭酸酵素ノックアウトラットの作製と解析
3. 学会等名 第95回日本生理学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鈴木佐和子
2. 発表標題 グルタミン代謝の生活習慣病と癌における役割とその分子病態
3. 学会等名 第18回TCカンファランス
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 柳川右千夫、藤原和之、柿崎利和、宮田茂雄、渡辺雅彦、大城朝一、虫明元、宮坂佳樹、真下知士
2. 発表標題 ゲノム編集で作製したグルタミン酸脱炭酸酵素ノックアウトラットの表現型
3. 学会等名 日本ゲノム編集学会第3回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 片浦哲志、井本正哉
2. 発表標題 ケミカルゲノミクスによるオートファジー制御機構の解析
3. 学会等名 先端モデル動物支援プラットフォーム成果発表会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 片浦哲志
2. 発表標題 ケミカルゲノミクスによるオートファジー制御機構の解析
3. 学会等名 第 29 回新薬創製談話会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 設樂久志, 本丸尚人, 小川宏人
2. 発表標題 コオロギ音源定位行動におけるナビゲーション戦略
3. 学会等名 第 41 回日本神経科学大会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 染谷真琴, 小川宏人
2. 発表標題 コオロギ感覚系介在ニューロンの多感覚統合における線形性は活動レベルに依存する
3. 学会等名 第 41 回日本神経科学大会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 田中寿希, 染谷真琴, 設樂久志, 小川宏人
2. 発表標題 コオロギ気流応答性投射ニューロンにおける刺激速度依存的な方向選択性修飾の解析
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 金田 勝幸
2. 発表標題 コカイン依存形成に関わる神経回路とストレスによるその変容
3. 学会等名 第28回日本臨床精神神経薬理学会 第48回日本神経精神薬理学会 合同年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高橋宏隆, 山中聡士, 栗田翔平, 後藤栄治, 今井賢一郎, 富井健太郎, 佐藤裕介, 深井周也, 徳永文稔, 澤崎達也
2. 発表標題 コムギ無細胞系を用いて作製した脱ユビキチン化酵素(DUB)プロテインアレイによるポリユビキチン鎖基質特異性とDUB阻害剤の選択性評価
3. 学会等名 第41回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉信公美子、荒木美幸、森田彩花、国場訓、荒木喜美、荒木正健
2. 発表標題 コンディショナルノックアウトを効率良く行うためのタモキシフェン投与法の検討
3. 学会等名 日本遺伝学会第90回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 清水貴美子
2. 発表標題 サーカディアン制御により維持されるマウス高次脳機能の神経機構
3. 学会等名 第41回日本神経科学学会大会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 木村聖美、杉原英志、信末博行、山口さやか、武藤章弘、佐谷秀行、清水孝恒
2. 発表標題 サイバイン阻害薬は小胞体ストレスを誘導し、骨肉腫に対し <i>in vitro</i> 、 <i>in vivo</i> で抗腫瘍効果を示す
3. 学会等名 第77回日本癌学会学術総会（国際学会）
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 千葉惇、生塩研一、稲瀬正彦
2. 発表標題 サル内側運動前野における時間3分類課題の神経細胞活動
3. 学会等名 第95回日本生理学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 千葉惇、生塩研一、稲瀬正彦
2. 発表標題 サル背内側前頭皮質の神経細胞における時間認知機構
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中村 加枝, 安田 正治, 上田 康雅
2. 発表標題 サル尾状核における報酬獲得と罰回避情報処理
3. 学会等名 第95回日本生理学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 加藤啓子, 藤田明子, 伊川正人
2. 発表標題 シアル酸就職に起因する精神神経疾患の発症
3. 学会等名 先端モデル動物支援プラットフォーム成果発表会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 奥野貴哉, 藤田明子, 織田弥伽, Paitoon Srimontri, 加藤啓子
2. 発表標題 シアル酸転移酵素 ST3Gal4 欠損・オスマウスにおける生殖行動と代謝産物の関連性
3. 学会等名 第 65 回日本実験動物学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 奥野貴哉, 藤田明子, Siriporn Tangsdjai, 織田弥伽, 加藤啓子
2. 発表標題 シアル酸転移酵素 ST3Gal4 欠損オスマウスにおける生殖行動と代謝変化について
3. 学会等名 第 140 回関西実験動物研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 加藤啓子, 太田知沙, 廣田暖奈, 藤田明子
2. 発表標題 シアル酸転移酵素 ST3GalIV 欠損マウスの統合失調症陰性症状について
3. 学会等名 第 161 回獣医学会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 佐々貴之, 金武司, 野尻光希, 澤井恵, 北村拓也, 木原章雄
2. 発表標題 シェーグレン・ラルソン症候群モデルマウスの神経症状とミエリンにおける 2-水酸化ガラクトシルセラミドの減少
3. 学会等名 第 11 回セラミド研究会学術集会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 山本 融 Steven A. Connor Ina Ammendrup-Johnsen 岸本 泰司 原田 岳 尾嶋 大喜 Razib Hossain Ann Marie Craig
2. 発表標題 シナプス形成抑制因子 MDG A 1 の欠損は興奮/抑制バランスの抑制側へのシフトによる学習・記憶障害をもたらす
3. 学会等名 第 41 回日本神経科学大会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 渡海 紀子, 中村 貴紀, 武川 睦寛
2. 発表標題 ストレス応答 MAP キナーゼ p38, JNK によるアポトーシス関連 miRNA の発現抑制
3. 学会等名 第 77 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 渡海 紀子, 中村 貴紀, 武川 睦寛
2. 発表標題 ストレス応答 MAP キナーゼによるアポトーシス抑制性 miRNA の発現制御
3. 学会等名 第 41 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 山下映、藤井一希、腰高由美恵、安達真由美、笹川恵理、中川真一、高雄啓三、椎名伸之
2. 発表標題 ストレス応答性翻訳制御因子 NFAR2 の天然変性領域欠損マウスの網羅的行動解析
3. 学会等名 第 41 回日本分子生物学会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 田口 真梨, 中村 貴紀, 武川 睦寛
2. 発表標題 ストレス顆粒を構成する新規因子の同定とその機能解析
3. 学会等名 第 41 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 藤川 大地, 中村 貴紀, 武川 睦寛
2. 発表標題 ストレス顆粒形成によるアポトーシス抑制機構の解明
3. 学会等名 第 41 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 佐藤敦志, 田中美歩, 笠井慎也, 萩野洋子, 古田島浩子, 柏井洋文, 西藤泰昌, 稲垣真澄, 曾良一郎, 水口雅, 池田和隆
2. 発表標題 セロトニントランスポーター欠損マウスの自閉症様行動はトリプトファン欠乏食によって改善する
3. 学会等名 第 60 回日本小児神経学会学術集会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 笹岡 俊邦, 佐藤 朝子, 知見 聡美, 大久保 直, 齊藤 奈英, 福田七穂, 内山 澄香, 作間 赳法, 阿部 光寿, 田中 稔, 山本 美丘, 三浦詩織, 阿部 学, 川村 名子, 小田 佳奈子, 佐藤 俊哉, 岡本浩嗣, 藤澤 信義, 田井中一貴, 崎村 建司, 南部 篤
2. 発表標題 ドーパミン受容体及びNMDA受容体変異マウスを用いた大脳基底核回路の機能解析
3. 学会等名 科学研究費補助金「新学術領域研究(研究領域提案型)」非線形発振現象を基盤としたヒューマンネイチャーの理解「オシロロジー」2018年度第1回領域会議
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西谷直之、奥裕介、福田勉、且慎吾、石橋郁人、矢守隆夫、上原至雅、岩尾正倫
2. 発表標題 トポイソメラーゼ阻害薬 lamellarin の化学修飾による耐性 EGFR T790M/C797S 阻害薬の創製
3. 学会等名 第22回日本がん分子標的治療学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高祖 秀登
2. 発表標題 トランスポゾン・ミュータジェネシスで誘導した腫瘍における、挿入変異のゲノム解析
3. 学会等名 新学術領域「先進ゲノム支援」拡大班会議
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山本一男、浅井将
2. 発表標題 トリソミー関連遺伝子による細胞サイズの調節
3. 学会等名 第41回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 和田俊一
2. 発表標題 トレハロースと類縁体化合物の神経変性疾患治療薬としての可能性
3. 学会等名 第22回トレハロースシンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 片浦哲志, 井本正哉
2. 発表標題 パーキンソン病バイオマーカーを指標とする新規治療薬シードの探索
3. 学会等名 第9回スクリーニング学研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 片浦哲志, 斉木臣二, 服部信孝, 井本正哉
2. 発表標題 バイオマーカーを指標とするパーキンソン病治療薬の探索と BET 阻害剤 JQ1 による神経保護活性
3. 学会等名 日本ケミカルバイオロジー学会第 13 年会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 神路祇里歩, ニノ方亮, 小野寺玄, 福田勉, 木村正成
2. 発表標題 パラジウム触媒による 3-ヒドロキシ-4-ペンテン酸を共役ジエン等価体として用いたアルデヒドとのカップリング反応の開発
3. 学会等名 日本化学会第 98 春季年会(2018)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 ニノ方亮, 神路祇里歩, 仲尾純弥, ラ エイ, 福田勉, 小野寺玄, 木村正成
2. 発表標題 パラジウム触媒作用を活用した 3-ヒドロキシ-4-ペンテン酸を共役ジエン等価体として用いるアルデヒドとの新形式炭素-炭素結合形成反応
3. 学会等名 第 67 回有機金属化学討論会
4. 発表年 2018 年



1. 発表者名 安藤さえこ、松本晴年、深町勝巳、二口充、酒々井眞澄
2. 発表標題 パルミトイルピペリジノピペリジンの抗がん効果発現機序
3. 学会等名 第 25 回日本がん予防学会総会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 安藤さえこ、松本晴年、深町勝巳、二口充、吉見直紀、酒々井眞澄
2. 発表標題 パルミトイルピペリジノピペリジンの毒性影響および抗がん効果発現機序
3. 学会等名 第 34 回日本毒性病理学会総会及び学術集会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 伊藤政之、金子雅規、阿部学、山崎真弥、夏目里恵、山田大輔、崎村建司、関口正幸、和田圭司、三品昌美、林 崇
2. 発表標題 パルミトイル化による AMPA 受容体制御の異常は発作感受性を上昇させる
3. 学会等名 第 139 回日本薬理学会関東部会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 竹下直輝, 川出野絵, 鈴木若菜, 原怜, 堀尾文彦, 一瀬宏
2. 発表標題 ビタミンC 欠乏 ODS ラット脳におけるビオプテリン代謝の変化
3. 学会等名 日本ビタミン学会第70回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 南 敬
2. 発表標題 ヒト21トリソミー関連遺伝子(ERG、DSCR-1)による内皮恒常性維持と抗がん作用
3. 学会等名 第41回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 坂本修一、川田学
2. 発表標題 ヒト小細胞肺癌の自然転移モデルを活用した転移関与因子の同定
3. 学会等名 第27回日本がん転移学会学術集会・総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 ファイバーレス光遺伝学を用いた神経活動操作と行動制御
3. 学会等名 第 123 回日本解剖学会総会・全国学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 ファイバーレス光遺伝学を用いた睡眠覚醒と記憶制御のメカニズム解明
3. 学会等名 第三回ルミノジェネティクス研究会 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 山下健太郎、福田勉、小野寺玄、木村正成、岩尾正倫
2. 発表標題 プロモアザラメラリン N 誘導体の合成と光学分割
3. 学会等名 日本化学会第 98 春季年会(2018)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 松添哲、阿野山恵多、小野寺玄、福田勉、木村正成
2. 発表標題 ホスフィン-ボラン配位子を用いたイリジウム触媒による 2-アリールピリジン類のオルト位シリル化反応
3. 学会等名 第 66 回有機金属化学討論会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 阿部真土、竹内優斗、鬼頭昭吉、アーメドノミル
2. 発表標題 マウス Trps1 遺伝子上流配列の組織特異的遺伝子発現への寄与
3. 学会等名 平成 29 年度先端モデル動物支援プラットフォーム成果発表会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 加藤啓子
2. 発表標題 マウスうつによる環境, 医薬, 食品のスクリーニング
3. 学会等名 イノベーション・ジャパン
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 齋藤桂花、堤成美、原田実穂、吉信公美子、荒木喜美、荒木正健
2. 発表標題 マウスゲノムにおける遺伝子および転写産物の存在しない領域に集積するトラップクローンの探索
3. 学会等名 第41回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石黒啓一郎
2. 発表標題 マウスにおける減数分裂の開始機構
3. 学会等名 2018 日本分子生物学会年会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石黒啓一郎
2. 発表標題 マウスにおける減数分裂の開始機構
3. 学会等名 エピジェネティクス研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石黒啓一郎
2. 発表標題 マウスにおける減数分裂の開始機構
3. 学会等名 モロシヌス研究会 2018
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 石黒啓一郎
2. 発表標題 マウスにおける減数分裂の開始機構
3. 学会等名 基礎生物学研究所セミナー（招待講演）
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 石黒啓一郎
2. 発表標題 マウスにおける減数分裂の開始機構
3. 学会等名 先端モデル動物支援プラットフォーム   平成 29 年度成果発表会（招待講演）
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 永井正義、家村顕自、吉川貴子、大隅典子、田中耕三
2. 発表標題 マウス胎児脳における染色体整列因子 CAMP の発現部位の同定
3. 学会等名 第7回東北脳科学ウィンタースクール
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高井 伸彦、大神 正次
2. 発表標題 マウス胎児被曝による脳の組織障害と認知機能への影響
3. 学会等名 第55回放射線影響懇話会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上野 浩司, 高雄 啓三, 藤井 一希, 末光 俊介, 岡本 基, 石原 武士
2. 発表標題 マウス大脳皮質におけるアグリカン陽性ペリニューロナルネットの発現
3. 学会等名 第95回日本生理学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 八尾寛, 小泉協
2. 発表標題 マウス大脳皮質体性感覚野 5 層における機能構築の創発
3. 学会等名 平成 29 年度先端モデル動物支援プラットフォーム成果発表会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 永井正義、家村顕自、吉川貴子、大隅典子、田中耕三
2. 発表標題 マウス脳における染色体整列因子 CAMP の発現局在の解析
3. 学会等名 第 11 回リトリート大学院生研究発表会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 神吉智丈
2. 発表標題 ミトコンドリアオートファジー：分子機構と生理的意義
3. 学会等名 Advans 研究会 2018 （招待講演）
4. 発表年 2018 年



1. 発表者名 魏 范研
2. 発表標題 ミトコンドリア機能制御と健康長寿への応用について
3. 学会等名 ライフエンジニアリング部門シンポジウム 2018 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 岸 真五、朴木寛也、城戸顕、辻内俊文、田中康仁、國安弘基
2. 発表標題 ミトコンドリア代謝を標的とした肉腫治療の可能性
3. 学会等名 第 3 回日本整形外科学会基礎学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 安井 浩太郎、菊池 和気、加納 剛史、黒田 茂、青沼 仁志、石黒 章夫
2. 発表標題 ムカゲが足並みの疎密波の向きを変えるメカニズム
3. 学会等名 計測自動制御学会第 30 回自律分散システムシンポジウム
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 中津 史
2. 発表標題 メンブレンコンタクトにおける脂質交換輸送とその生理機能
3. 学会等名 第 91 回日本生化学大会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 加藤ありさ, 和仁翔太郎, 加納未由希, 石黒尋保, 杉田愛, 田淵圭章, 大熊芳明, 廣瀬豊
2. 発表標題 ユビキチン様ドメインを有する Po1 II-CTD 脱リン酸化酵素による遺伝子発現制御
3. 学会等名 第 41 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 廣瀬豊, 和仁翔太郎, 加藤ありさ, 加納未由希, 石黒尋保, 杉田愛, 田淵圭章, 大熊芳明
2. 発表標題 ユビキチン様ドメインを有する Po1 II-CTD 脱リン酸化酵素による遺伝子発現制御
3. 学会等名 日本薬学会第 138 年会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 伊藤志帆, 杉田愛, 石黒尋保, 田淵圭章, 大熊芳明, 廣瀬豊
2. 発表標題 リン酸化 CTD 結合因子 PCIF1 による遺伝子発現調節
3. 学会等名 第 20 回日本 RNA 学会年会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 伊藤志帆, 杉田愛, 柳澤奈月, 石黒尋保, 佐藤崇之, 田淵圭章, 大熊芳明, 廣瀬豊
2. 発表標題 リン酸化 CTD 結合因子 PCIF1 による遺伝子発現調節
3. 学会等名 第 41 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 杉田愛, 伊藤志帆, 柳澤奈月, 石黒尋保, 佐藤崇之, 田淵圭章, 大熊芳明, 廣瀬豊
2. 発表標題 リン酸化 CTD 結合因子 PCIF1 による遺伝子発現調節機構の解明
3. 学会等名 日本薬学会第 138 年会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 頼元 貞巖 ・ 恒川 佳諒 ・ 市野 智也 ・ 坪内 彰 ・ 前田 理 ・ 大栗博毅
2. 発表標題 亜鉛(II)トリフラートによるアルキン活性化を基盤とした含窒素スキャフォールド <sup>®</sup> 群の骨格多様化合成
3. 学会等名 第 114 回有機合成シンポジウム
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 頼元 貞巖 ・ 恒川 佳諒 ・ 市野 智也 ・ 坪内 彰 ・ 前田 理 ・ 大栗博毅
2. 発表標題 亜鉛(II)トリフラートによるアルキン活性化を鍵とするアルカロイド <sup>®</sup> 骨格群の構築
3. 学会等名 日本化学会 98 回春季年会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 越川直彦
2. 発表標題 悪性がんのバイオマーカーとしてのラミニン $\gamma$ 2 単鎖
3. 学会等名 第 27 回日本がん転移学会学術集会会長講演 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 惲夢曦、川合隆嗣、禰占雅史、山田洋、松本正幸
2. 発表標題 意思決定時におけるサル中脳ドーパミンニューロンと前頭眼窩ニューロンの報酬価値と選択行動の表現形式
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西口由希子、谷里奈、笹平智則、庄雅之、國安弘基
2. 発表標題 胃癌における RegIV 及び MCOLN3 の化学療法治療効果予測因子としての有用性
3. 学会等名 第118回日本外科学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西口由希子、谷里奈、笹平智則、庄雅之、國安弘基
2. 発表標題 胃癌における化学療法治療効果予測因子の検討
3. 学会等名 第90回日本胃癌学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鈴木佐和子
2. 発表標題 遺伝子異常からコルチゾール産生副腎腫瘍の病態に迫る
3. 学会等名 第 28 回臨床内分泌代謝 update (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 西山 成
2. 発表標題 塩の摂り過ぎで生じる全身の異常
3. 学会等名 第 39 回日本妊娠高血圧学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 森亮一
2. 発表標題 黄色ブドウ球菌感染創における C/EBP $\alpha$ -miR-223-IL6 分泌経路の機能解析
3. 学会等名 第 107 回日本病理学会総会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 富永 航平、山口 陽子、永田 喜三郎、大木 理恵子
2. 発表標題 下垂体神経内分泌腫瘍で同定されたがん抑制遺伝子 PHLDA3 変異の機能解析
3. 学会等名 第 41 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 牧野航己, 安藤規泰, 設樂久志, 本丸尚人, 神崎亮平, 小川宏人
2. 発表標題 仮想現実環境を用いた昆虫の定位行動における複数感覚の役割の解析
3. 学会等名 日本動物学会第 70 回関東支部大会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 清水逸平
2. 発表標題 加齢性疾患における褐色脂肪不全の意義
3. 学会等名 糖尿病学会 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 福田勉、石橋郁人、奥裕介、西谷直之、且慎吾、矢守隆夫、上原至雅、岩尾正倫
2. 発表標題 海洋天然物ラメラリンNの構造改変による T790M/C797S 耐性変異 EGFR に有効な可逆型チロシンキナーゼ阻害剤の開発
3. 学会等名 第 36 回メディシナルケミストリーシンポジウム
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 谷藤 涼・浅野 竜太郎・南 篤志・及川英秋・大栗博毅
2. 発表標題 核酸アルキル化能を有する天然物群の化学 - 酵素ハイブリッド合成
3. 学会等名 日本化学会 生体機能関連化学部会若手の会 第 30 回サマースクール
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 河原康一、川畑拓斗、古川龍彦
2. 発表標題 核小体ストレス応答による分裂期監視と癌治療戦略
3. 学会等名 第 77 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2018 年



1. 発表者名 河原 康一、川畑拓斗、下川倫子、朝日汰一、古川龍彦
2. 発表標題 核小体による細胞分裂制御
3. 学会等名 第 36 回 染色体ワークショップ、第 17 回 核ダイナミクス研究会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 河原康一、古川龍彦
2. 発表標題 核小体を標的とした p53 活性化機構による新たな癌治療
3. 学会等名 第 22 回日本がん分子標的治療学会学術集会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 河原 康一，古川 龍彦
2. 発表標題 核小体再編成により細胞分裂を監視する新たなオルガネラストレス応答
3. 学会等名 第 91 回日本生化学会大会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 神吉智丈
2. 発表標題 環境温度変化に応答した脂肪組織におけるミトコンドリア分解
3. 学会等名 BIOTHERMOLOGY WORKSHOP (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 河原康一
2. 発表標題 癌抑制因子 p53 を制御する機構の解明と新たな癌治療戦略
3. 学会等名 JSBi 九州地域部会セミナー (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田中亜紀, 山田佑里香, 小林聡子, 廣瀬豊, 大熊芳明
2. 発表標題 基本転写因子 TFIIE とクロマチン構造変換複合体による転写制御機構
3. 学会等名 日本薬学会第 138 年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 平山翼, 田中亜紀, 福岡瑞希, 廣瀬豊, 大熊芳明
2. 発表標題 基本転写因子による転写開始から伸長への移行の制御機構解析
3. 学会等名 日本薬学会第 138 年会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 福富又三郎, 設樂久志, 尾原和也, 西和弥, 佐久間拓人, 前川卓也, 竹内一郎, 小川宏人
2. 発表標題 機械学習による生体ナビゲーションの軌跡分析: コオロギ逃避行動における時系列データ解析
3. 学会等名 第 41 回日本神経科学大会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 岡田正康
2. 発表標題 機能性下垂体腺腫の手術について
3. 学会等名 第 72 回新潟脳神経外科懇話会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 起きるべきか?、寝るべきか?、それば問題だ
3. 学会等名 第二回名古屋リズム研究会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 林 崇
2. 発表標題 興奮性シナプスにおける神経伝達物質受容体のパルミトイル化による膜局在制御
3. 学会等名 第40回日本生物学的精神医学会・第61回日本神経化学会大会 合同年会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上田(石原)奈津実
2. 発表標題 空間弁別の分子・細胞学的基盤 -個性の階層的理解を目指して-
3. 学会等名 次世代脳冬のシンポジウム4領域合同若手シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 犬飼駿弥, 原怜, 一瀬宏
2. 発表標題 蛍光標識を用いたドーパミン結合に応答するチロシン水酸化酵素の構造変化の解析
3. 学会等名 第 91 回日本生化学会大会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 南 敬
2. 発表標題 血管内皮多様性と活性化の動的制御～ダウン症因子 DSCR-1 の働き～
3. 学会等名 第 40 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 市川 二郎(山梨大学 大学院整形), 安藤 隆, 齋藤 正憲, 波呂 浩孝
2. 発表標題 血小板由来 TGF- $\beta$ による骨肉腫細胞の凝固系の調節
3. 学会等名 第 51 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 齋藤 正憲, 市川 二郎, 安藤 隆, 波呂 浩孝
2. 発表標題 血小板由来 TGF- $\beta$ は smad3 を介して骨肉腫細胞の組織因子発現を誘導する
3. 学会等名 第 34 回日本整形外科学会基礎学術集会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 大栗博毅
2. 発表標題 元素置換戦略による抗感染症リード化合物群の創製
3. 学会等名 第 62 回日本薬学会関東支部大会 シンポジウム S1 創薬を支える有機合成化学 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 石黒啓一郎
2. 発表標題 減数分裂の開始機構と染色体構築
3. 学会等名 第 63 回日本生殖医学会学術講演会 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 八尾 寛
2. 発表標題 光による脳・神経系の時空間パターンニング
3. 学会等名 第19回山形ニューロサイエンス・医工学研究会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 光遺伝学、薬理遺伝学による特定神経活動操作を用いた睡眠覚醒、リズム研究
3. 学会等名 時間学特別セミナー（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 森亮一
2. 発表標題 好中球由来 miR-223 の発現抑制は皮膚感染創における黄色ブドウ球菌排除を促進する
3. 学会等名 第41回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 國安弘基、西口由希子、谷 里奈、岸 真五、近藤昌夫
2. 発表標題 抗 claudin-4 抗体のがん治療への応用
3. 学会等名 第 107 回日本病理学会総会、ワークショップ：多機能な細胞接着分子が関わるがんの理解 - 診断・治療への応用をめざして（招待講演）
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 伊藤寛晃、喜多村佳委、櫻井香里、井上将行
2. 発表標題 抗がん活性天然物ヤクアミド B の標的タンパク質同定
3. 学会等名 第 60 回天然有機化合物討論会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 早川皓太郎、花木祐輔、徳田春邦、柳田 亮、中川 優、入江一浩
2. 発表標題 抗腫瘍性 Aplysiatoxin 単純化アナログ・10-Me-Aplog-1 のアセタール型アナログの合成と生物活性
3. 学会等名 第 60 回天然有機化合物討論会
4. 発表年 2018 年



1. 発表者名 野住 素広
2. 発表標題 構造化照明による超解像顕微鏡 (SIM) で明らかになった神経突起先端の3次元構造
3. 学会等名 日本分子生物学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 竹内 絵理、山田 大輔、斎藤 顕宜、伊藤 政之、林 崇、山田 光彦、和田 圭司、関口 正幸
2. 発表標題 高 $\omega$ 3多価不飽和脂肪酸食摂取の抗うつ様効果には側坐核のドーパミン神経系が関与する
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 伊藤 泰行
2. 発表標題 高頻度チロシリン酸化MAP1Bの神経発生過程における機能解析
3. 学会等名 次世代脳プロジェクト 冬のシンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Naofumi Ito, Shah Adil Ishtiyag Ahmad, Mohammad Badrul Anam, Kunimasa Ohta.
2. 発表標題 細菌によるヒト細胞分化の乗っ取り
3. 学会等名 くまだい研究フェア（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 伊藤尚文、Shah Adil Ishtiyag Ahmad、Mohammad Badrul Anam、太田訓正
2. 発表標題 細菌感染による細胞分化可塑性の誘導
3. 学会等名 第39回日本分子生物学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 若月修二、荒木敏之
2. 発表標題 細胞内 pH 調節系のシナプス形成への寄与
3. 学会等名 第41回日本分子生物学会年会「ワークショップ：精神・神経疾患の基礎研究～プロテオスタシスの視点から」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 本園 千尋、高野 智嗣、今井 崇史、園田 康平、山崎 晶
2. 発表標題 細胞内領域による Dectin-1 の種特異的リガンドスペクトラム調節機構
3. 学会等名 第 91 回日本生化学学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 山本雄介
2. 発表標題 細胞培養技術を応用したがんの起源の探索
3. 学会等名 若手カンファレンス：がん研究とデータサイエンスのコミュニケーション (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 高井伸彦
2. 発表標題 子どもの病気と薬「放射線ひばくと子供への影響」
3. 学会等名 H30 教員免許状更新講習会 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 高田則雄、夏堀晃世、三村將、田中謙二
2. 発表標題 視床を抑制する視床網様核の集合 Ca <sup>2+</sup> 活動は新規発振現象を示す
3. 学会等名 第 41 回日本神経科学会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 原子空, 林裕人, 藤田智陽, 飯田智, 廣瀬豊, 大熊芳明
2. 発表標題 試験管内再構成系を用いたヒトメディエーター複合体 Kinase モジュールの機能解析
3. 学会等名 日本薬学会第 138 年会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 齋藤益満、山内俊輔、佐々木大介、長谷川寛雄
2. 発表標題 次世代 HTLV-1 クロナリティ解析法の開発とその応用に向けて
3. 学会等名 第 5 回日本 HTLV-1 学会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 岡田正康、米岡有一郎、温城太郎、本橋邦夫、菊池文平、長谷川仁、大石誠、藤井幸彦
2. 発表標題 治療に難渋している ACTH 産生下垂体腺腫の 1 例
3. 学会等名 第 108 回新潟内分泌代謝同好会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 阿部貴則、及川大輔、寺脇正剛、後藤栄治、高橋宏隆、大竹史明、川原裕之、堀居拓郎、畑田出穂、佐伯泰、田中啓二、澤崎達也、徳永文稔
2. 発表標題 自然免疫制御に関わる新規 RING 型 E3 (RNF126) の同定と機能解析
3. 学会等名 第 41 回日本分子生物学会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 阿部貴則、及川大輔、寺脇正剛、後藤栄治、高橋宏隆、大竹史明、川原裕之、堀居拓郎、畑田出穂、佐伯泰、田中啓二、澤崎達也、徳永文稔
2. 発表標題 自然免疫制御に関わる新規 RING 型 E3 (RNF126) の同定と機能解析
3. 学会等名 第 41 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 駒倉啓大、後藤栄治、及川大輔、阿部貴則、徳永文稔
2. 発表標題 自然免疫制御に関わる新規脱ユビキチン化酵素（OTUD1）の同定と生理機能解析
3. 学会等名 第13回臨床ストレス応答学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 望月圭、中隋克己、稲瀬正彦、村田哲
2. 発表標題 自発運動にともなうサル一次体性感覚野の運動関連皮質脳波
3. 学会等名 第95回日本生理学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 望月圭、中隋克己、稲瀬正彦、村田哲
2. 発表標題 自発運動の感覚フィードバック処理における運動野-体性感覚野相互作用
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小野大輔, Hung CJ, Chowdhury S, 山中章弘.
2. 発表標題 室傍核コルチコトロピン放出因子神経は覚醒を誘導する.
3. 学会等名 第 25 回日本時間生物学会学術大会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 越川直彦
2. 発表標題 受容体チロシンキナーゼのプロセッシング断片によるがん悪性化進展制御の解明とその特異抗体の医療応用
3. 学会等名 受容体チロシンキナーゼのプロセッシング断片によるがん悪性化進展制御の解明とその特異抗体の医療応用 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 奥村和弘
2. 発表標題 順遺伝学に基づく MSM マウスのがん耐性に関与する遺伝子の同定
3. 学会等名 第 31 回モロシヌス研究会 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 奥村和弘、斎藤慈、磯貝恵理子、三浦 郁夫、若菜茂晴、山口碧、設楽浩志、多屋長治、木南凌、若林雄一
2. 発表標題 順遺伝学的手法より明らかとなったマウス副甲状腺ホルモンの腫瘍抑制効果
3. 学会等名 第 65 回実験動物学会総会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 船城桐子、伊東剛、村上善則
2. 発表標題 小細胞肺癌の悪性化における細胞接着分子 CADM1 の機能解析
3. 学会等名 第 77 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 坂本修一、川田学
2. 発表標題 小細胞肺癌の同所移植モデルの転移巣において高発現する遺伝子の探索
3. 学会等名 第 77 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2018 年



1. 発表者名 大谷哲久、古瀬幹夫
2. 発表標題 上皮バリアと上皮極性形成における密着結合の役割
3. 学会等名 生理学研究所研究会「体内環境の維持機構における上皮膜輸送の多角的・統合的理解」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大谷哲久、徳田深作、古瀬幹夫
2. 発表標題 上皮バリアと上皮極性形成における密着結合の役割
3. 学会等名 第8回生理研・名古屋大学医学部合同シンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 竹洞裕貴，高倉勇氣，岡田和之，杉野歩美，堀直人，町田萌香，高野博之，山口直人，山口憲孝.
2. 発表標題 上皮間葉転換誘導因子の細胞内代謝における機能解析.
3. 学会等名 第62回日本薬学会関東支部大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 竹洞裕貴, 高倉勇氣, 岡田和之, 杉野歩美, 堀 直人, 町田萌香, 尾間萌歌, 高野博之, 山口直人, 山口憲孝.
2. 発表標題 上皮間葉転換誘導因子の細胞内代謝における役割.
3. 学会等名 第 41 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 渡部文子
2. 発表標題 情動行動を制御する扁桃神経回路基盤
3. 学会等名 第 95 回日本生理学会大会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 清水 逸平
2. 発表標題 心不全、肥満における褐色脂肪不全の意義
3. 学会等名 第 23 回アディポサイエンスシンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 清水 逸平
2. 発表標題 心不全、肥満における褐色脂肪不全の意義
3. 学会等名 第 91 回日本生化学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 清水 逸平
2. 発表標題 心不全における過剰なインスリンシグナルの意義
3. 学会等名 心臓病学会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 玉田 篤史
2. 発表標題 新学術領域「共鳴誘導で革新するバイオイメージング」
3. 学会等名 多次元輝度情報に基づいた形状認識・物体追跡技術の開発
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 森田伊織、星野翔太郎、森貴裕、阿部郁朗
2. 発表標題 新奇な C-N 結合形成反応を触媒するシトクロム P450 酸化酵素 TleB に関する研究
3. 学会等名 第 22 回 天然薬物の開発と応用シンポジウム(熊本)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 及川大輔
2. 発表標題 新規 LUBAC 阻害剤、HOIPIN-1 の機能評価と病態抑制効果
3. 学会等名 第 1 回ユビキチン研究会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 及川大輔、花田和希、菅原弘二、寺脇正剛、水上裕加里、鶴田大輔、坂本信二、徳永文稔
2. 発表標題 新規 LUBAC 阻害剤、HOIPIN-1 の作用機序と病態抑制効果
3. 学会等名 第 65 回日本生化学会近畿支部会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 及川大輔、花田和希、勝矢健、菅原弘二、水上裕加里、鶴田大輔、坂本信二、徳永文稔
2. 発表標題 新規 LUBAC 阻害剤の探索と機能評価
3. 学会等名 第 41 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 大守伊織, 真下知士, 大内田守, 山下享子, 豊國伸哉
2. 発表標題 新規 Txnl 遺伝子ミスセンス変異による多臓器障害
3. 学会等名 第 71 回 日本酸化ストレス学会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 神田侑季、森下英晃、濱祐太郎、阿部学、崎村建司、水島昇
2. 発表標題 新規オートファジー活性計測プローブ発現マウスを用いた生体での活性測定
3. 学会等名 新学術領域研究「学術研究支援基盤形成」先端モデル動物支援プラットフォーム 若手支援技術講習会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 神田侑季、森下英晃、濱祐太郎、阿部学、崎村建司、水島昇
2. 発表標題 新規オートファジー活性計測プローブ発現マウスを用いた生体での活性測定
3. 学会等名 第 18 回東京大学生命科学シンポジウム
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Akira Kikuchi
2. 発表標題 新規がんシグナル Dickkopf1-CKAP4 経路は、がん治療および診断のための分子標的となる。
3. 学会等名 第 41 回日本分子生物学会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 西上真由、小野寺玄、福田勉、作田絵里、馬越啓介、木村正成
2. 発表標題 新規ビスビピリジン配位子を有するルテニウム錯体の合成と構造
3. 学会等名 日本化学会第 98 春季年会(2018)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 安藤さえこ、松本晴年、深町勝巳、酒々井眞澄
2. 発表標題 新規抗がん物質パルミトイルピペリジノピペリジンの In vitro および vivo 抗がん効果
3. 学会等名 日本薬学会第 138 年会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 中村信嗣、インモン トウン、日下隆他
2. 発表標題 新生仔豚仮死モデルにおける水素ガス吸入療法による神経学的予後改善効果について.
3. 学会等名 第 8 回日本分子状水素医学生物学会大会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 光家努、日下隆他
2. 発表標題 新生児出生直後・蘇生時の脳循環酸素代謝モニタリング ～新生仔豚仮死モデルでの基礎的検討～
3. 学会等名 第 20 回新生児呼吸療法モニタリングフォーラム
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 光家努、日下隆他
2. 発表標題 新生児蘇生中の脳循環モニタリングによる脳障害重症度判定法 ～時間分解分光装置を用いた新生仔豚仮死モデル実験～.
3. 学会等名 第 21 回日本光機能イメージング学会学術集会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 伊藤尚文, M. Asrafuzzaman Riyadh, 伊藤綾子, Shah Adil Ishtiyah, 新明洋平 , Athary Felemban, , 嶋村健児, , 澤本和延 金村米博 and 太田訓正
2. 発表標題 神経幹細胞制御因子 Tsukushi 欠損は水頭症を生じる
3. 学会等名 先端モデル動物支援プラットフォーム
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 大坪琴美、山崎美和子、今野幸太郎、渡辺雅彦
2. 発表標題 神経型ニコチン性アセチルコリン受容体の分子シャペロン TMEM35 の マウス脳における局在
3. 学会等名 日本解剖学会 第 64 回東北・北海道連合支部学術集会
4. 発表年 2018 年



1. 発表者名 五十嵐 道弘
2. 発表標題 神経成長における超解像度レベルの脂質ドメイン可視化とその構成脂質特性の解析
3. 学会等名 第4回リポクオリティ班会議
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石川 裕也、五十嵐 道弘
2. 発表標題 神経特異的蛋白質GAP-43のリン酸化に着目した、新規相互作用分子の探索的研究
3. 学会等名 第23回グリアクラブ
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 睡眠と記憶を制御する神経活動の操作と記録
3. 学会等名 星薬科大学セミナー（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 睡眠と記憶を制御する神経活動の操作と記録
3. 学会等名 第8回生理学研究所・名古屋大学医学系研究科合同シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 睡眠覚醒調節、痛み調節におけるオレキシンの役割
3. 学会等名 第12回日本緩和医療薬学会年会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 睡眠覚醒調節におけるオレキシンの役割
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会 ランチョンセミナー（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 若月修二、氏家悠佳、荒木敏之
2. 発表標題 髄鞘形成における低酸素誘導因子 HIF の機能解析
3. 学会等名 酵素研究助成第 44 回 研究発表会 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 森泉 寿士, 中村 貴紀, 曹 永旻, 鈴木 貴, 武川 睦寛
2. 発表標題 数理解析を活用した SAPK シグナル時空間制御機構の解明
3. 学会等名 第 41 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 中村 貴紀, 西住 紀子, 中澤 嵩, 森 竜樹, 鈴木 貴, 武川 睦寛
2. 発表標題 数理解析を駆使した中心体複製開始を制御する分子機構の解明
3. 学会等名 第 41 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 中村 貴紀, 西住 紀子, 中澤 嵩, 森 竜樹, 鈴木 貴, 武川 睦寛
2. 発表標題 数理解析を用いた中心体複製の開始制御機構の解明
3. 学会等名 日本応用数理学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 西村 渉, 安田 和基, 松本征仁, 岡崎康司, 野田泰子
2. 発表標題 成熟膵島で抑制されている遺伝子の解析
3. 学会等名 第 61 回日本糖尿病学会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 河寄 麻実
2. 発表標題 成長円錐リン酸化プロテオミクスにより神経成長のシグナル伝達
3. 学会等名 第 91 回日本生化学大会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 植木正明
2. 発表標題 成年マウスの低酸素症後の100%酸素による再酸素化は肝障害を引き起こす
3. 学会等名 日本麻酔科学会第65回学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 生活習慣病と睡眠覚醒とのただならぬ関係
3. 学会等名 第3回Cortin Conference (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 塚田健人, 金子秋穂, 新木翔之, 河治久実, 児玉栄一, 倉石貴透, 村上一馬, 入江一浩, 平田尚也, 諫田泰成, 浅井禎吾
2. 発表標題 生合成経路の再構築と再設計による糸状菌ジテルペノイドピロンライブラリーの構築と生物活性評価
3. 学会等名 第18回メディシナルケミストリーシンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 新井雄太・渡辺諒・藤川宗志・金子信人・大栗博毅
2. 発表標題 生合成経路を模倣してジヒドロピリジンの位置選択的二量化反応の開発
3. 学会等名 日本化学会 98 回春季年会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 石黒啓一郎
2. 発表標題 生殖細胞の減数分裂開始を決定する新規因子
3. 学会等名 湯島性分化勉強会 2018 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 大栗博毅
2. 発表標題 生理活性天然物の迅速合成・骨格改変の新戦略
3. 学会等名 第 29 回万有仙台シンポジウム 未来を指向した有機合成化学 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 上野博夫
2. 発表標題 舌・食道上皮幹細胞由来正常・異常オルガノイドの単一細胞 4D 動態・遺伝子発見解析
3. 学会等名 第2回細胞ダイバース公開シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 北元優梨、古閑成美、林田隆成、慶田貴子、吉信公美子、柳久美子、要匡、荒木喜美、荒木正健
2. 発表標題 潜性遺伝形式を示す自然発生突然変異多血症モデルマウス『pocy』の解析
3. 学会等名 第31回モロシヌス研究家
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 笹川 正人, 本間 経康, 菊田里美, 小林 和人, 小山内 実
2. 発表標題 線条体直接路、間接路ニューロンにおけるベータ波帯域での応答特性の違い
3. 学会等名 医用・生体工学研究会「神経工学&バイオサイバネティクス」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小林大士, 木村康誠, 白木 隼, 広瀬 侑, 浴 俊彦
2. 発表標題 線虫ダイサー関連ヘリカーゼ DRH-1 および DRH-3 の生化学的解析
3. 学会等名 第 82 回日本生化学会中部支部例会・シンポジウム
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 小林大士、村上匠蔵、木村康誠、白木 隼、広瀬 侑、浴 俊彦
2. 発表標題 線虫のダイサー関連ヘリカーゼ DRH-1 と DRH-3 の生化学的研究
3. 学会等名 第 41 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 選択的オートファジー、その異常と疾患
3. 学会等名 ユビキチン研究会 (招待講演)
4. 発表年 2018 年



1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 選択的オートファジー：創薬ターゲットとなるか？
3. 学会等名 日本分析化学会第 67 年会（招待講演）
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 選択的オートファジーによるエピジェネティクス制御
3. 学会等名 第 11 回オートファジー研究会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 選択的オートファジーによる脂肪酸酸化制御
3. 学会等名 第 6 回がんと代謝研究会（招待講演）
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 選択的オートファジーによる転写制御：ストレス応答と脂肪酸酸化
3. 学会等名 第1回オルガネラゾーン研究会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鬼頭昭吉、竹内優斗、阿部真土
2. 発表標題 阻害剤ライブラリーを用いた KLF4 による MMP13 発現誘導メカニズムの解析
3. 学会等名 第11回大阪大学医学系若手フォーラム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 太田 真菜美, 藤田明子, 加藤啓子
2. 発表標題 側頭葉てんかんモデルマウスにおける代謝変化
3. 学会等名 第140回関西実験動物研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大栗博毅
2. 発表標題 多環式アルカロイド群のアセンブリーライン合成を目指して
3. 学会等名 日本化学会 98 回春季年会 特別企画：有機合成化学を起点とするものづくり戦略（招待講演）
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 上野博夫
2. 発表標題 多色細胞系譜追跡法によるがん幹細胞の同定
3. 学会等名 第 77 回日本癌学会学術総会（招待講演）
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 上野博夫
2. 発表標題 多色細胞系譜追跡法による成体幹細胞・がん幹細胞研究
3. 学会等名 昭和大学学士会後援セミナー（招待講演）
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 奥村和弘、斎藤慈、吉澤康博、宗形春花、磯貝恵理子、若林雄一
2. 発表標題 多段階皮膚発がんモデルにおける早期良性腫瘍抵抗性遺伝子座 <i>Stm1a</i> の原因遺伝子の探索
3. 学会等名 平成 29 年度先端モデル動物支援プラットフォーム成果発表会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 松本真司, 廣田傑, 廣田傑, 菊池章
2. 発表標題 唾液腺における Wnt シグナル依存的新規前駆細胞の同定と機能解析
3. 学会等名 第 91 回日本生化学会大会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 安田瑞穂, 馬悦, 岡部幸子, 清宮啓之, Young-Tae Chang, 長澤和夫
2. 発表標題 大環状ヘキサオキサゾール誘導体を用いた生細胞内でのグアニン四重鎖構造の可視化
3. 学会等名 第 13 回 化学生態学研究会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 安田瑞穂, 馬悦, 岡部幸子, 清宮啓之, Young-Tae Chang, 長澤和夫
2. 発表標題 大環状ヘキサオキサゾール誘導体を用いた生細胞内でのグアニン四重鎖構造の可視化
3. 学会等名 日本ケミカルバイオロジー学会 第13回年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 根本隆行, Hikmawan Wahyu Sulistomo, 武谷 立
2. 発表標題 大脳皮質神経細胞におけるアクチン細胞骨格制御因子 Fhod3 の機能解析
3. 学会等名 平成30年度先端モデル動物支援プラットフォーム若手支援技術講習会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 日下部大樹, 村上雄一, 渡公佑, 山田健一, 小野真弓
2. 発表標題 第三世代 EGFR-TKI オシメルチニブ耐性肺癌細胞は代替経路として SFK/Akt 経路を活性化する
3. 学会等名 日本薬学会第138年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大神正次, 高井伸彦, 鶴澤玲子, 平山亮一
2. 発表標題 炭素線腹部照射マウスに誘発される腸管障害に対する NMDA 受容体阻害剤の放射線防護効果
3. 学会等名 第 56 回放射線影響懇話会 2019 年 7 月 27 日 (熊本: 熊本大学)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 杉山崇史, 村尾直哉, 西頭英起
2. 発表標題 中枢神経における小胞体品質管理機構の破綻に起因する運動障害
3. 学会等名 第 13 回臨床ストレス応答学会大会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 杉山崇史, 村尾直哉, 西頭英起
2. 発表標題 中枢神経における小胞体品質管理機構の破綻に起因する運動障害
3. 学会等名 第 41 回日本分子生物学会大会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 安達貴弘
2. 発表標題 腸管センシングの可視化解析
3. 学会等名 第8回オルソオルガノジェネシス検討会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 野住 素広
2. 発表標題 超解像度顕微鏡による成長円錐の3次元細胞内構造解析
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 勝島啓佑、夏目敦至、大岡史治、新城恵子、柴田龍弘、宮田完二郎、片岡一則、近藤豊
2. 発表標題 長鎖非翻訳 RNA を標的としたがん治療薬の開発
3. 学会等名 第77回日本癌学会学術総会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 及川大輔、花田和希、勝矢健、菅原弘二、水上裕加里、鶴田大輔、坂本信二、徳永文稔
2. 発表標題 直鎖状ユビキチン鎖生成酵素(LUBAC)に対する新規阻害剤の開発と炎症病態抑制
3. 学会等名 第13回臨床ストレス応答学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐藤叔史、山縣和也
2. 発表標題 低酸素応答因子 HIF-1/AMPK による膵 $\beta$ 細胞障害の分子機構
3. 学会等名 第91回日本生化学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中津海 洋一、 松本 雅記、 中山 敬
2. 発表標題 定量的大規模リン酸化プロテオミクスによる mTOR 下流の新規シグナル解析
3. 学会等名 生命科学セミナー (招待講演)
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 安藤さえこ、松本晴年、深町勝巳、酒々井眞澄
2. 発表標題 天然脂肪酸を由来とする新規抗がん物質の作用機序解析
3. 学会等名 第 45 回日本毒性学会学術年会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 安藤さえこ、深町勝巳、松本晴年、酒々井眞澄
2. 発表標題 天然脂肪酸を由来とする新規抗がん物質の作用機序解析
3. 学会等名 第 77 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 大栗博毅
2. 発表標題 天然物の迅速合成・構造多様化・新機能創出を目指して
3. 学会等名 昭和薬科大学講演会（招待講演）
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 大栗博毅
2. 発表標題 天然物の迅速合成・骨格改変による創薬候補分子群創製を目指して
3. 学会等名 創薬談話会 2018 次世代を担う若手のためのメディシナルケミストリーフォーラム (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 中山 敬一
2. 発表標題 転移巣に TAM を呼び寄せるメカニズムとそれを阻害する既存薬
3. 学会等名 第 16 回がんとハイポキシア研究会 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 竹田深雪, 京角啓太, 寺田公介, 畑山光, 大熊芳明, 廣瀬豊
2. 発表標題 転写と共役した選択的ポリ(A)付加調節の分子機構
3. 学会等名 第 20 回日本 RNA 学会年会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 廣瀬豊, 竹田深雪, 京角啓太, 寺田公介, 畑山光, 大熊芳明
2. 発表標題 転写と共役した選択的ポリ(A)付加調節機構
3. 学会等名 第41回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 堀直人, 高倉勇氣, 岡田和之, 竹洞裕貴, 高野博之, 山口直人, 山口憲孝.
2. 発表標題 転写共役因子 Vestigial-like family 3 の Hippo pathway における機能.
3. 学会等名 第62回日本薬学会関東支部大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 町田萌香, 高倉勇氣, 岡田和之, 竹洞裕貴, 尾間萌歌, 高野博之, 山口直人, 山口憲孝.
2. 発表標題 転写共役因子 VGLL3 によるオートファジーの機能解明.
3. 学会等名 第62回日本薬学会関東支部大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岡田和之, 高倉勇氣, 竹洞裕貴, 堀 直人, 平井直人, 高野博之, 山口直人, 山口憲孝.
2. 発表標題 転写共役因子 YAP/TAZ を分解する新規シグナル伝達解析.
3. 学会等名 第 41 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 内側中核アセチルコリン作動性神経による睡眠と記憶の制御
3. 学会等名 記憶研究会 2018 記憶・学習の基盤機構と回路研究の新展開へのアプローチ (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 南 敬
2. 発表標題 内皮エピゲノム転写制御
3. 学会等名 第 42 回 蛋白質と酵素の構造と機能に関する 九州シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 山口憲孝, 山口直人.
2. 発表標題 乳癌細胞における TGF-beta 誘導性細胞死の抑制機構の解析.
3. 学会等名 第 138 回日本薬学会年会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 根本隆行、Hikmawan Wahyu Sulistomo、武谷 立
2. 発表標題 脳・神経細胞におけるアクチン細胞骨格制御因子 Fhod3 の機能解析
3. 学会等名 第 13 回トランスポーター研究会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 柳川右千夫
2. 発表標題 脳におけるグルタミン酸脱炭酸酵素アイソフォームの役割：ノックアウトマウスとノックアウトラットの表現型の比較研究
3. 学会等名 第 41 回日本分子生物学会年会（招待講演）
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 高祖秀登
2. 発表標題 脳腫瘍形成におけるミクログリアの役割の解析
3. 学会等名 次世代脳プロジェクト 冬のシンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田淵 明子, 伊原 大輔, 福地 守, 津田 正明
2. 発表標題 脳神経系における SRF 転写コファクターMKL の役割：創薬標的としての可能性を探る
3. 学会等名 日本薬学会第 138 年会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 今野幸太郎、崎村建司、渡辺雅彦.
2. 発表標題 脳梁膨大後皮質におけるグルタミン酸受容体 GluD2 の発現および局在解析
3. 学会等名 第 123 回日本解剖学会総会全国学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 片山 量平、藤田 直也
2. 発表標題 肺がんにおける分子標的薬耐性機構解析と耐性克服法予測の可能性
3. 学会等名 第 77 回 日本癌学会学術総会 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 片山 量平、岡田 康太郎、藤田 直也
2. 発表標題 肺がん分子標的薬耐性メカニズムの探索と耐性機構予測への挑戦
3. 学会等名 第 22 回 日本がん分子標的治療学会学術総会 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 末永 雄介、新行内 雅斗、兼松 宗太郎、飯笹 俊彦、加藤 護、横井 左奈
2. 発表標題 肺癌の神経内分泌性格を制御する分子機構の解析
3. 学会等名 第 27 回日本癌病態治療研究会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 木村 賢二, 松本 真司, 新谷 康, 菊池 章
2. 発表標題 肺癌発癌過程における Ar14c の機能解析
3. 学会等名 第 77 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 奥村和弘、斎藤慈、磯貝恵理子、荒木喜美、若林雄一
2. 発表標題 皮膚早期腫瘍抵抗性遺伝子座 Stmm1a の原因遺伝子の同定
3. 学会等名 第 77 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Yuxuan Han、中山淳、二口充、仙波憲太郎
2. 発表標題 尾動脈注射手法を用いた Luminal 乳がん骨高転移株とその遺伝子発現解析
3. 学会等名 第 27 回日本がん転移学会学術集会・総会
4. 発表年 2018 年



1. 発表者名 淡川孝義
2. 発表標題 微生物アルカロイド生合成経路の開拓と物質生産への応用
3. 学会等名 高磁場・高感度 NMR 利活用促進のための天然物分野シンポジウム 2018 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 奥村和弘、斎藤慈、磯貝恵理子、若林雄一
2. 発表標題 副甲状腺ホルモン PTH の腫瘍増殖抑制効果
3. 学会等名 第 27 回日本癌病態治療研究会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 腹側被蓋野 (VTA) の GABA 作動性神経はノンレム睡眠を調節する
3. 学会等名 平成 30 年度脳研究所共同利用共同研究合同セミナー (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 滝川 雅大、石川 冬木、大木 理恵子
2. 発表標題 分泌性 p53 標的遺伝子 p53PAD7 の新規受容体の同定と細胞増殖停止機能の解明
3. 学会等名 第 77 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 河原康一、川畑拓斗、朝日汰一、古川龍彦
2. 発表標題 分裂期核小体の再編成によって制御される分裂期監視機構と腫瘍化制御
3. 学会等名 第 41 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 酒井宏治、永田直也、須崎百合子、竹原一明、網康至、
2. 発表標題 変異型インフルエンザウイルス H3N2 の HA 開裂における TMPRSS2 利用能と病原性解析
3. 学会等名 第 161 回日本獣医学会学術集会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 古瀬民生、幸田尚、串田知子、山田郁子、三浦郁生、小林喜美男、石野史敏、若菜茂晴
2. 発表標題 母体のメチオニン代謝異常が仔の行動表現型と遺伝子発現に与える影響
3. 学会等名 第 65 回日本実験動物学会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 井口善生
2. 発表標題 報酬学習の履歴とストレス反応性-行動と結果の随伴性の学習によるレジリエンス生起-
3. 学会等名 次世代脳プロジェクト冬のシンポジウム
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 本多 孝充・谷藤 涼・小松 玲子・大栗 博毅
2. 発表標題 芳香族アミノ酸を活用したアルカロイド骨格の 立体選択的合成法の開発
3. 学会等名 日本化学会 98 回春季年会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 坂本雅行
2. 発表標題 膜電位感受性蛍光プローブを用いた神経活動イメージング
3. 学会等名 生命科学セミナー（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Sakamoto Masayuki
2. 発表標題 膜電位感受性蛍光プローブを用いた神経活動イメージング
3. 学会等名 第1回 三融会・武田生命科学シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上野博夫
2. 発表標題 味蕾幹細胞を用いた味覚再生技術開発の可能性
3. 学会等名 BioJapan2018（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 柴田 博史, 大橋 敏充, 林 寿光, 西堀 丈純, 久世 文也, 青木 光広, 山田 泰広, 伊藤 八次
2. 発表標題 未分化がんにおける 多能性関連遺伝子の発現
3. 学会等名 第 174 回 日本耳鼻咽喉科学会 東海地方部会連合講演会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 岩下由佳, 宗実悠佳, 原怜, 村松慎一, 一瀬宏
2. 発表標題 野生型 TH および S40E 変異型 TH の過剰発現による線条体ドーパミン量の変化
3. 学会等名 第 33 回日本大脳基底核研究会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 高井伸彦
2. 発表標題 薬学生に対する放射線健康リスク科学教育の現状と問題点
3. 学会等名 第 61 回日本放射線影響学会 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 立田大輔、吉田潤次郎、川田 学
2. 発表標題 立田大輔、吉田潤次郎、川田 学
3. 学会等名 第 22 回がん分子標的治療学会学術集会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 寫井美幸、神田祐樹、黒川和樹、木下貴明 2 高雄啓三、宮川剛、西原祥子
2. 発表標題 硫酸化修飾を制御する PAPS 輸送体 1 の脳における機能解析
3. 学会等名 平成 29 年度新学術領域研究学術研究支援基盤形成【先端モデル動物支援プラットフォーム】成果発表会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 荒木正健、古閑成美、林田隆成、北元優梨、慶田貴子、吉信公美子、鳥越大輔、中村直子、柳久美子、要匡、荒木喜美
2. 発表標題 劣性（潜性）遺伝形式で多血症の症状を示す自然発生突然変異マウス『pocy』の解析
3. 学会等名 日本遺伝学会第 90 回大会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 北元優梨、古閑成美、林田隆成、慶田貴子、吉信公美子、柳久美子、要匡、荒木喜美、荒木正健
2. 発表標題 劣性（潜性）遺伝形式を示す自然発生 t 血症モデルマウス 『pocy』 の解析
3. 学会等名 第 41 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 古閑成美、林田隆成、北元優梨、慶田貴子、柳久美子、要匡、吉信公美子、荒木喜美、荒木正健
2. 発表標題 劣性（潜性）遺伝形式を示す自然発生多血症モデルマウス 『pocy』 の解析
3. 学会等名 先端モデル動物支援プラットフォーム 成果発表会 2017
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 荒木正健、古閑成美、林田隆成、北元優梨、慶田貴子、吉信公美子、柳久美子、要匡、荒木喜美
2. 発表標題 劣性（潜性）遺伝形式を示す自然発生多血症モデルマウス 『pocy』 の解析
3. 学会等名 第 65 回日本実験動物学会総会
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 近藤祥司
2. 発表標題 老化・癌化におけるメタボライトと解糖系代謝研究
3. 学会等名 第 60 回日本老年医学会 (招待講演)
4. 発表年 2018 年

1. 発表者名 Kohichi KAWAHARA, Takuto KAWAHATA, Michiko SHIMOKAWA, Takehiro SHIRAIISHI, Taichi ASAHI, Tatsuhiko FURUKAWA
2. 発表標題 A Novel Reporter System of Nucleolar Stress Response for Developing a New Class Cancer Therapy
3. 学会等名 17th International p53 Workshop (国際学会)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 石黒啓一郎
2. 発表標題 新規の減数分裂誘導因子の同定
3. 学会等名 2017 年度生命科学系学会合同年次大会
4. 発表年 2017 年



1. 発表者名 Nambu A, Ozaki M, Sano H, Sato S, Ogura M, Mushiake H, Chiken S, Nakao N
2. 発表標題 "Inhibitory center-excitatory surround" inputs from the motor cortex to the globus pallidus revealed by optogenetic stimulation
3. 学会等名 12th International Basal Ganglia Society Meeting (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Wang Juan, Shibayama Y, Nishiyama A.
2. 発表標題 (Pro)renin Receptor Promotes Colorectal Cancer through Wnt/beta-catenin Pathway Despite of Constructive Mutations.
3. 学会等名 第40回日本高血圧学会総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 ：肝特異的オートファジー欠損マウスからわかったこと：オートファジーの異常と肝がん
3. 学会等名 第13回酸化ストレスと肝研究会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高雄啓三
2. 発表標題 「こころ」の物質的基盤を探る行動生理学的アプローチ
3. 学会等名 第9回 光操作研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 吉田知之、山形敦史、田端彩子、和泉宏謙、城島知子、金主賢、深田優子、深田正紀、高雄啓三、森寿、深井周也
2. 発表標題 「シプナスオーガナイザー遺伝子点変異導入マウスを用いた神経発達障害発症機構の解明」
3. 学会等名 第39回日本生物学的精神医学会, 第47回日本神経精神薬理学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Sakamoto Masayuki
2. 発表標題 「個性」創発メカニズム解明のためのイメージング法の開発と応用
3. 学会等名 新学術「個性創発脳」 第2回領域会議
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Motohiro Mozumi, Michihiro Igarashi
2. 発表標題 198.04/B15-coordinated membrane retrieval with actin bundling in the growth cone revealed by superresolution microscopy.
3. 学会等名 Society for Neuroscience Annual meeting (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 玉田 篤史、五十嵐 道弘
2. 発表標題 3次元イメージングと画像解析により明らかになったキラルな細胞運動様式
3. 学会等名 第39回神経組織培養研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高橋紀人、Bonepally Karunakar Reddy、松岡直弥、大栗博毅
2. 発表標題 6-アザアルテミシニン群の設計とモジュラー式迅速合成プロセスの開発
3. 学会等名 第35回メディシナルケミストリーシンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Iguchi, Y., Nishizawa, K., Kato, K., & Kobayashi, K.
2. 発表標題 A chemogenetic approach to elucidate the role of the striatopallidal neurons in the performance of operant auditory discrimination
3. 学会等名 The 40th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society,
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 Ishii A, Hirose S
2. 発表標題 A de novo missense mutation of GABRB2 causes early myoclonic encephalopathy
3. 学会等名 14th Asian and Oceanian Congress of Child Neurology
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 Sakamoto M, Inoue M, Sakai K, Kobari S, Takemoto-Kimura S, Abe M, Sakimura K, Bito H
2. 発表標題 A Flp-dependent G-CaMP9a transgenic mouse for neuronal imaging in vivo.
3. 学会等名 Society of Neuroscience Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 Sakamoto M, Inoue M, Sakai K, Kobari S, Takemoto-Kimura S, Abe M, Sakimura K, Bito H
2. 発表標題 A Flp-dependent G-CaMP9a transgenic mouse for neuronal imaging in vivo.
3. 学会等名 新学術「グリアアセンブリ」 第4回夏のワークショップ
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Sakamoto M, Inoue M, Sakai K, Kobari S, Takemoto-Kimura S, Abe M, Sakimura K, Bito H
2. 発表標題 A Flp-dependent G-CaMP9a transgenic mouse for neuronal imaging in vivo.
3. 学会等名 新学術「脳情報動態」 第1回領域会議
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Sakamoto M, Inoue M, Sakai K, Kobari S, Takemoto-Kimura S, Abe M, Sakimura K, Bito H
2. 発表標題 A Flp-dependent G-CaMP9a transgenic mouse for neuronal imaging in vivo.
3. 学会等名 第60回日本神経化学大会 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ishiguro, K.
2. 発表標題 A novel germ cell-specific factor responsible for initiation of mammalian meiosis.
3. 学会等名 The International Research Symposium on Regulation of Germ Cell Development in vivo and in vitro (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 任月、近藤悦子、柴田理沙、渡会浩志
2. 発表標題 A Novel Mouse Model of iNKT Cell-deficiency Generated by CRISPR/Cas9 Technology Reveals a Pathogenic Role of iNKT Cells in Metabolic Disease.
3. 学会等名 第10回セラミド研究会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yue Ren, Etsuko Sekine-Kondo, Risa Shibata, Hiroshi Watarai.
2. 発表標題 A Novel Mouse Model of iNKT Cell-deficiency Generated by CRISPR/Cas9 Technology Reveals a Pathogenic Role of iNKT Cells in Metabolic Disease.
3. 学会等名 第46回日本免疫学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ishiguro, K.
2. 発表標題 A novel STRA8 interacting factor plays a crucial role in initiation of meiosis
3. 学会等名 The International Research Symposium on Regulation of Germ Cell Development in vivo and in vitro (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shotaro Yamano, Yoshinori Asano, Tatsuya Kawase, Rieko Ohki
2. 発表標題 A p53 target gene IER5 generates a novel hypo-phosphorylated active form of HSF1 and contributes to tumor progression
3. 学会等名 p53 international workshop (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kuniyasu H, Fujiwara-Tani R, Yi Luo, Nishiguchi Y, Kishi S, Kondo M, Sasaki T
2. 発表標題 A role of mesenchymal stem cells of acquisition of EMT phenotype in colon cancer cells
3. 学会等名 76th Annual Meeting of Japanese Association for Cancer
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ageta-Ishihara N, Fukazawa Y, Suzuki Y, Masuda K, Takao K, Miyakawa T, Bito H, Inokuchi K, Kinoshita M
2. 発表標題 A septin-mediated synaptic regulation required for spatial discrimination
3. 学会等名 Gordon Research Conferences on Excitatory Synapses & Brain Function
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 本多 敦子
2. 発表標題 A signal transduction pathway for neuronal polarity via lipid rafts
3. 学会等名 第 40 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 石堂正美
2. 発表標題 A temporal turning point of two behavioral phenotypes
3. 学会等名 第 40 回日本神経科学会
4. 発表年 2017 年



1. 発表者名 Sone T, Yoshimatsu S, Shiozawa S, Okochi R, Ishikawa M, Kinoshita M, Fujimori K1, Kawashima S, Ohta S, Kanegae Y, Miyoshi H, Okano H
2. 発表標題 A versatile human iPSC genome editing toolbox stands on multisite Gateway system
3. 学会等名 ゲノム編集学会第2回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 五十嵐 道弘、吉岡 望、武内 恒成、玉田 篤史
2. 発表標題 Abnormalities in perineuronal nets(PNN)and behavior inCSGalNAcT1 knockout mice which lacks s key enzyme in chondroitin sulfata synthesis.
3. 学会等名 IBNS 26th Annual Meeting
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Fujita T, Ideguchi H, Watanabe E, Tomonoh Y, Ihara Y, Inoue T, Hirose S, Yasumoto S
2. 発表標題 ACTH induced nonconvulsive status epilepticus in an infant with West Syndrome
3. 学会等名 14th Asian and Oceanian Congress of Child Neurology
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Sato N., Ogawa H.
2. 発表標題 Action selection between running and jump in the wind-elicited escape behaviors of the cricket
3. 学会等名 日本比較生理生化学会第 39 回大会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 Sato, N. and Ogawa, H.
2. 発表標題 Action selection between walking and jump in the wind-elicited escape behavior of the cricket
3. 学会等名 47th Annual Meeting of Society for Neuroscience (国際学会)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 Ogawa, H., Sato, N., and Fukutomi, M.
2. 発表標題 Action selection for escape behavior in the cricket
3. 学会等名 The 44th Naito Conference on Decision Making in the Brain-Motivation, Prediction, and Learning (国際学会)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 倉岡 康治, 稲瀬 正彦
2. 発表標題 Activity in response to preferred visual information in monkey amygdala neurons
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 S. Kuroda, H. Aonuma, K. Yasui and A. Ishiguro
2. 発表標題 Adaptive locomotion in centipede : the role of body stiffness and morphology
3. 学会等名 The 8th International Symposium on Adaptive Motion of Animals and Machines (AMAM2017) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 石堂正美
2. 発表標題 Adult ADHD by Exposure of Rat Pups to Environmental Neurotoxins
3. 学会等名 DOHaD 2017
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kyo Koizumi, Hiromu Yawo
2. 発表標題 All-optical analysis of mesoscopic circuit function in the primary somatosensory cortex of mice
3. 学会等名 第94回日本生理学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yamashita-Sugahara Y, Matsumoto M, Ohtaka M, Nishimura K, Nakanishi M, Mitani K, Okazaki Y
2. 発表標題 An inhibitor of fibroblast growth factor receptor-1 (FGFR1) promotes late-stage terminal differentiation from NGN3+ pancreatic endocrine progenitors
3. 学会等名 50th Miami Winter Symposium 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Masayasu Okada, Asami Kawasaki, Yasuyuki Ito, Atsushi Tamada, Yutaka Yoshida, Takeuchi Kosei, Yukihiro Fujii, Michihiro Igarashi,
2. 発表標題 Analysis of Axon Growth and phospho-GAP-43 in Rodents and Primates
3. 学会等名 第8回新潟大学脳研究所共同研究拠点国際シンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hirose S
2. 発表標題 Application of induced pluripotent stem (iPS) cells in intractable childhood disorders
3. 学会等名 10th Annual World Congress on Pediatrics, Pediatric Gastroenterology and Nutrition
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 玉田 篤史、五十嵐 道弘
2. 発表標題 Automated multidimensional image analysis reveals chiral motility of neurons.
3. 学会等名 第 40 回日本神経科学大会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 Autophagy-specific substrates, p62 and NBR1 serve as driver gene products on hepatocellular carcinoma
3. 学会等名 The 8th International Symposium on Autophagy (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 J. Borovac, T. Luyben, K. Takao, K. Okamoto
2. 発表標題 Bidirectional role of postsynaptic cAMP and cGMP in synaptic plasticity and memory
3. 学会等名 47th Annual meeting of Society for Neuroscience (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Miyajima K, Sanechika S, Hara Y, Inoue K-i, Takada M, Hara S, Ichinose H
2. 発表標題 Biotpterin-recycling enzyme, quinonoid dihydropteridine reductase, is expressed in oligodendrocyte, but undetectable in monoaminergic neurons.
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kyoko Hashimoto, Satoko Sunamura, Hiroki Ochi, Toru Fukuda, Atsushi Okawa, Mitsuru Futakuchi, Shu Takeda, Shingo Sato
2. 発表標題 Cancer cell-derived microRNA induces osteoblastic phenotype in bone metastasis microenvironment
3. 学会等名 14th meeting of Bone Biology Forum
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kyoko Hashimoto, Satoko Sunamura, Hiroki Ochi, Toru Fukuda, Atsushi Okawa, Mitsuru Futakuchi, Shu Takeda, Shingo Sato
2. 発表標題 Cancer cell-derived microRNA induces osteoblastic phenotype in bone metastasis microenvironment
3. 学会等名 American Society of Bone and Mineral Research 2017 Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高祖 秀登
2. 発表標題 Cancer Gene Discovery Using Transposon-based Insertional Mutagenesis
3. 学会等名 新学術領域「先進ゲノム支援」国際シンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kyoko Hashimoto, Hiroki Ochi, Satoko Sunamura, Toru Fukuda, Kenta Yao, Yo Mabuchi, Atsushi Okawa, Chihiro Akazawa, Mitsuru Futakuchi, Shu Takeda, Shingo Sato
2. 発表標題 Cancer-secreted hsa-miR-940 induces osteoblastic phenotype in the bone metastatic microenvironment via targeting ARHGAP1 and FAM134A
3. 学会等名 ERATO/AMED-CREST/PRESTO Joint International Symposium (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 T. Tanaka , K. Okuda , S. Kobayashi , M. Fukaya , K. Takao , A. Watanabe , T. Murakami , M. Hagiwara , S. Komano- Inoue , H. Manabe , M. Yamaguchi , H. Sakagami , T. MiyakawaI , M. Mizuguchi , T. Manabe
2. 発表標題 CDKL5 controls postsynaptic localization of GluN2B-containing NMDA receptors in the hippocampus, and regulates seizure susceptibility, as well as emotional behaviors and memory
3. 学会等名 47th Annual meeting of Society for Neuroscience (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 昆 俊亮、石橋 公二郎、藤田 恭之
2. 発表標題 Cell competition with normal epithelial cells promotes apical extrusion of transformed cells through metabolic changes
3. 学会等名 2017年度日本癌学会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nakamura, K.
2. 発表標題 Central Neural Mechanisms to Defend Life from Environmental Stressors
3. 学会等名 Thermal Biology 2017 International Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 元島崇信、馬場理也、蓮見壽史、黄瑩、佐藤賢文、宮里パオラ、門松 毅、矢尾正祐、長嶋洋治、古屋充子、尾池雄一、神波大己、Laura S Schmidt、W Marston Linehan
2. 発表標題 Characterization of chimeric TFE3 transcription factors found in Xp11.2 translocation renal cell carcinoma
3. 学会等名 第76回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yuichi Shichino, Mari Mito, Shintaro Iwasaki
2. 発表標題 Chasing translation along the time by novel ribosome profiling
3. 学会等名 International Symposium on Protein Quality Control
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 谷藤 涼・瀨瀬健人・高倉美智子・浅野竜太郎・南 篤志・及川英秋・大栗博毅
2. 発表標題 Chemo-enzymatic Total Synthesis of Jorunnamycin A: Streamlined Integration of Chemical Synthesis and In Vitro Biosynthesis
3. 学会等名 JSPS 日中韓フォーサイト事業「A3 アジア化学プローブ研究拠点事業若手研究者ミーティング」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ryo Tanifuji
2. 発表標題 Chemo-enzymatic Total Synthesis of Jorunnamycin A: Streamlined Integration of Chemical Synthesis and In Vitro Biosynthesis
3. 学会等名 The Second A3 Roundtable Meeting on Chemical Probe Research Hub (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kimiko Shimizu, Jun Nakano, Yoshitaka Fukada
2. 発表標題 Circadian regulation of mouse anxiety-like behavior
3. 学会等名 Molecular and Cellular Cognition Society 16th Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Akira Kikuchi, Hirokazu Kimura, Katsumi Fumoto
2. 発表標題 CKAP4 as a novel Dickkopf1 receptor, may represent a therapeutic target for cancer
3. 学会等名 第76回日本癌学会学術総会 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名	Masaya Baba, Ying Huang, Takanobu Motoshima, Hisashi Hasumi, Mitsuko Furuya, Yukiko Hasumi, Masahiro Yao, Yuichi Oike, Tomomi Kamba, Laura S. Schmidt, W. Marston Linehan
2. 発表標題	Clarification of the molecular mechanism for cancer development in Xp11.2 translocation renal cell carcinoma
3. 学会等名	AACR Annual Meeting 2017 (国際学会)
4. 発表年	2017年

1. 発表者名	Michihiro Igarashi, Motohiro Mozumi
2. 発表標題	Clathrin-independent endocytosis coordinated with filopodial formation in the growth cone, revealed by superresolution microscopy.
3. 学会等名	2017ASCB/EMBO Meeting (国際学会)
4. 発表年	2017年

1. 発表者名	Shintaro Iwasaki
2. 発表標題	Co-evolution of translation initiation factor 4A and its natural inhibitor rocaglates in Aglaia
3. 学会等名	Summer School Dynamics of Translation (招待講演) (国際学会)
4. 発表年	2017年

1. 発表者名 Someya, M. and Ogawa, H.
2. 発表標題 Coincident multisensory inputs enhance bursting activity via large and long-lasting EPSPs in insect auditory neuron
3. 学会等名 47th Annual Meeting of Society for Neuroscience (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 森亮一
2. 発表標題 Comprehensive Identification of Wound Healing and Inflammation miRNAs Reveals a Key Role for miR-223 in Neutrophilic Clearance of S. aureus at Wound Sites.
3. 学会等名 Gordon Research Conferences, Tissue Repair & Regeneration (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 森亮一
2. 発表標題 Comprehensive identification of wound healing and inflammation miRNAs reveals a key role for miR-223 in neutrophilic clearance of Staphylococcus aureus at wound sites
3. 学会等名 33rd Ernst Klenk Symposium in Molecular Medicine- Tissue regeneration, wound healing and fibrosis: Translating basic concepts into regenerative therapy (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yoshikazu Isomura
2. 発表標題 Cortical and striatal mechanism to control forelimb movements in rodents
3. 学会等名 The 7th NIPS-CIN Joint Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Fukutomi, M. and Ogawa, H.
2. 発表標題 Crickets modulate wind-elicited escape behavior depending on auditory context with sound carrier frequency
3. 学会等名 47th Annual Meeting of Society for Neuroscience (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 金谷哲平, 江川遼, 八尾寛
2. 発表標題 CRIPR/Cas9 を用いた標識細胞特異的ノックアウト法 - ニワトリ胚への応用と発達期ニューロンの分枝パターン形態解析
3. 学会等名 第2回日本ゲノム編集学会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山田裕貴、長谷耕二、渡会浩志
2. 発表標題 CRISPR/Cas9 技術を用いたモノ及びジカルボン酸トランスポーター欠損マウスの作製とその疫学的・生化学的解析
3. 学会等名 ConBio2017
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 Dimitar P. Zankov、清水昭男、佐藤朗、扇田久和
2. 発表標題 Critical role of myocardial afadin in cardiac protection during chronic mechanical overload.
3. 学会等名 第 64 回日本生化学会近畿支部例会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 Abe K, Yawo H
2. 発表標題 Cross-modal reorganization of the whisker-barrel conditioning - optogenetic analysis
3. 学会等名 The 48th NIPS International Symposium "Neural circuitry and plasticity underlying brain function" (国際学会)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 塩見 美喜子
2. 発表標題 Crystal Structure of Silkworm PIWI-Clade Argonaute Siwi Bound to piRNA
3. 学会等名 2017 TSB Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 笹岡俊邦, 佐藤朝子, 知見聡美, 大久保直, 阿部学, 川村名子, 中尾聡宏, 小田佳奈子, 齊藤奈英, 酒井清子, 神保幸弘, 佐藤俊哉, 岡本浩嗣, 藤澤信義, 崎村建司, 南部篤
2. 発表標題 D1/D2ドーパミン受容体コンディショナル発現マウスによる運動制御機構の解明
3. 学会等名 新学術領域研究(研究領域提案型) 非線形発振現象を基盤としたヒューマンネイチャーの理解 略称名:「オンロロジー」 2017年度第2回領域会議
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 笹岡 俊邦, 佐藤 朝子, 知見 聡美, 大久保 直, 阿部 学, 川村 名子, 中尾 聡宏, 小田 佳奈子, 酒井 清子, 前田 宜俊, 神保 幸弘, 佐藤 俊哉, 藤澤 信義, 崎村 建司, 南部 篤
2. 発表標題 D1/D2ドーパミン受容体コンディショナル発現マウスによる運動制御機構の解明
3. 学会等名 第32回 日本大脳基底核研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 笹岡 俊邦, 佐藤 朝子, 知見 聡美, 大久保 直, 阿部学, 川村名子, 中尾 聡宏, 小田 佳奈子, 酒井 清子, 前田 宜俊, 神保 幸弘, 田中稔, 山本美丘, 佐藤 俊哉, 藤澤 信義, 崎村建司, 南部 篤
2. 発表標題 D1/D2 ドーパミン受容体コンディショナル発現マウスによる運動制御機構の解明
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 笹岡 俊邦, 佐藤 朝子, 知見 聡美, 大久保 直, 阿部 学, 川村 名子, 中尾 聡宏, 小田 佳奈子, 酒井 清子, 前田 宜俊, 神保 幸弘, 佐藤 俊哉, 藤澤 信義, 崎村 建司, 南部 篤
2. 発表標題 D1/D2 ドーパミン受容体コンディショナル発現マウスによる運動制御機構の解明
3. 学会等名 平成28年度先端モデル動物支援プラットフォーム 成果発表会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 笹岡 俊邦, 佐藤 朝子, 知見 聡美, 大久保 直, 前島 純, 新井 慧, 砂山 智子, 小田 佳奈子, 酒井 清子, 前田 宜俊, 神保 幸弘, 中尾 聡宏, 佐藤 俊哉, 藤澤 信義, 南部 篤
2. 発表標題 D1 ドーパミン受容体を介する神経伝達は運動情報の伝達と運動の発現に不可欠である
3. 学会等名 第94回日本生理学会大会 シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 Daisuke Tatsuda, Isao Momose, Takao Kunisada, Takumi Watanabe, Manabu Kawada, Masakatsu Shibasaki
2. 発表標題 Daisuke Tatsuda, Isao Momose, Takao Kunisada, Takumi Watanabe, Manabu Kawada, Masakatsu Shibasaki
3. 学会等名 AACR-NCI-EORTC Molecular Targets and Cancer Therapeutics (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Daisuke Tatsuda, Junjiro Yoshida, Tomokazu Ohishi, Manabu Kawada
2. 発表標題 Daisuke Tatsuda, Junjiro Yoshida, Tomokazu Ohishi, Manabu Kawada
3. 学会等名 第76回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 K. Yasui, K. Kikuchi, T. Kano, Y. Hayase, S. Kuroda, H. Aonuma, R. Kobayashi and A. Ishiguro
2. 発表標題 Decentralized Control Mechanism Underlying Interlimb Coordination of Centipedes
3. 学会等名 The 8th International Symposium on Adaptive Motion of Animals and Machines (AMAM2017) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Norihito Takahashi, Bonepally Karunakar Reddy, Naoya Matsuoka, Hiroki Oguri
2. 発表標題 Design and concise modular de novo synthesis of 6-aza-artemisinins
3. 学会等名 The 11th International Symposium on Integrated Synthesis (ISONIS-11) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 REDDY, Bonepally Karunakar; TAKAHASHI, Norihito; OGURI, Hiroki
2. 発表標題 Design and de novo synthesis of anti-malarial 6-aza-artemisinins
3. 学会等名 第97日本化学会春季年会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hiroki Oguri
2. 発表標題 Design and de novo synthesis of Natural Products and Their Viriants
3. 学会等名 Asian Chemical Biology Initiative 2017 Ho Chi Ming Meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hiroki Oguri
2. 発表標題 Development of artificial assembly lines for natural products and their variants
3. 学会等名 The Second A3 Roundtable Meeting on Chemical Probe Research Hub (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hiroki Oguri
2. 発表標題 Development of Chemical Assembly Lines for Skeletally Diverse Natural Products and Their Variants
3. 学会等名 7th CCS-CSJ Young Chemists Forum 2017 - Frontier in Organic Synthesis toward Middle Molecular Strategy - (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Toh Miyazaki, Akihiro Yamanaka, Hideya Yuasa, Hiromu Yawo
2. 発表標題 Development of fibreless optogenetics using up-conversion
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nakamura, K.
2. 発表標題 Difference in central circuit mechanisms of infection-induced and psychogenic fever
3. 学会等名 International Society for Autonomic Neuroscience 2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hiroshi Watarai
2. 発表標題 Differential role of CD1d in the development and functional acquisition of invariant natural killer T cell subtypes.
3. 学会等名 7th International Workshop of Kyoto T Cell Conference. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Masayasu Okada, Kawasaki Asami, Yukihiro Fujii, Igarashi Michihiro
2. 発表標題 Discovery of Molecular Marker for Neuronal Growing Axons
3. 学会等名 Japanese science seminar in Baltimore (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Masayuki Itoh, Mariko Yamashita, Daisuke Yamada, Masayoshi Mishina, Takashi Hayashi, et al.
2. 発表標題 Disruption of AMPA receptor-palmitoylation leads excitatory/inhibitory imbalance and elevated seizure susceptibility
3. 学会等名 「次世代脳」プロジェクト 冬のシンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Masayuki Itoh, Mariko Yamashita, Masayoshi Mishina, Takashi Hayashi, et al.
2. 発表標題 Disruption of AMPA receptor-palmitoylation leads excitatory/inhibitory imbalance and elevated seizure susceptibility
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Toshio Kitamura
2. 発表標題 Disruption of EZH2 Induces Myelodysplastic Syndromes (MDS) in Mice via Derepression of ABC-G2
3. 学会等名 Keystone Symposia: Hematopoiesis (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Naofumi Ito, Kunimasa Ohta
2. 発表標題 Disruption of Tsukushi leads to the hydrocephalus by aberrant neurogenesis
3. 学会等名 Joint Meeting of the German and Japanese Societies of Developmental Biologists (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nobuhiko Takai, Masatsugu Ohgami, Koichi Ando, Akiko Uzawa, Ryoichi Hirayama, Saori Nakamura, Yoshihito Ohba
2. 発表標題 Dose dependent accumulation of 2-14C-thymidine in the small intestine after irradiation with carbon-ion beams
3. 学会等名 17th International Symposium on Microdosimetry (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 M Yasuda, M Ueda, K Nakamura
2. 発表標題 Dual Processing in the Primate Dorsal Raphe Nucleus for Choice Behavior under different Mood
3. 学会等名 Society for Neuroscience meeting 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 M. Ohgami, N. Takai, Y. Aikawa, S. Maeda, S. Nakamura, Y. Ohba
2. 発表標題 Effect of N-methyl-D-aspartate receptor antagonist on radiation-induced gut injuries in mice
3. 学会等名 5th Radiation and Applications in Various Fields of Research (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Watanabe E, Ihara Y, tomonoh Y, Fujita T, Ideguchi H, Inoue T, Takahashi Y, Yasumoto S, Hirose S
2. 発表標題 Effects of steroid pulse therapy in refractory epilepsy with anti-glutamate receptor antibodies
3. 学会等名 14th Asian and Oceanian Congress of Child Neurology
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ideguchi H, Ihara Y, Fujita T, Inoue T, Hirose S
2. 発表標題 Efficacy of Levetiracetam monotherapy in epilepsy
3. 学会等名 14th Asian and Oceanian Congress of Child Neurology
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Sakamoto M, Kwon T, Peterka D, Yuste R
2. 発表標題 Electrical functions of dendritic spines investigated by genetically encoded voltage indicator.
3. 学会等名 「次世代脳」プロジェクト 冬のシンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Toshikuni Sasaoka, Asako Sato, Kenji Sakimura, Atsushi Nambu, et al.
2. 発表標題 Elucidation of motor control mechanism using genetically mice harboring tetracycline-regulated expression of D1/D2 dopamine receptors
3. 学会等名 Elucidation of motor control mechanism using genetically mice harboring tetracycline-regulated expression of D1/D2 dopamine receptors
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Toshikuni Sasaoka, Asako Sato, Nobuyoshi Fujisawa, Kenji Sakimura, Atsushi Nambu, et al.
2. 発表標題 Elucidation of motor control mechanism using genetically modified mice harboring tetracycline-regulated expression of D1/D2 dopamine receptors
3. 学会等名 2017年度 生命科学系学会合同年次大会 第40回日本分子生物学会 第90回日本生化学会大会
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 安田正治, 上田康雅, 中村加枝
2. 発表標題 Emotion signals in primate dorsal raphe nucleus are modulated under choice.
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 南 敬
2. 発表標題 Endothelial cell heterogeneity
3. 学会等名 Korea-Japan Joint symposium for Vascular Medicine (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大里元美
2. 発表標題 Enhancer for Runx1, eR1: a powerful tool in stem cell and cancer biology
3. 学会等名 21st Int Runx conference (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 毛利彰宏、古屋敷智之、成宮周、國澤和生、勅使河原知明、平川茉実、森優子、Qiaohui Lu、Yang Yang、山本康子、鍋島俊隆、齋藤邦明
2. 発表標題 EP1 遺伝子欠損マウスの注意欠陥・多動性障害モデル動物としての行動学的・神経化学的有用性
3. 学会等名 第14回「若手の力」フォーラム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tetsuhisa Otani and Mikio Furuse
2. 発表標題 Epithelial barrier homeostasis by cell competition
3. 学会等名 第50回日本発生生物学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tetsuhisa Otani and Mikio Furuse
2. 発表標題 Epithelial barrier homeostasis by cell competition.
3. 学会等名 The 3rd International Symposium on Cell Competition (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Sakamoto A, Ohta S, Kawakami Y
2. 発表標題 Estrogen contributes to the PD-L1 expression in human ovarian cells
3. 学会等名 第 76 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 菅原泉, 松本征仁, 中西真人, 三谷幸之助, 岡崎康司
2. 発表標題 FGFR1 阻害剤は膵内分泌前駆細胞 (NGN3+) から内分泌細胞への分化を促進する
3. 学会等名 第 16 回再生医療学会総会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 Ohta S, Kawakami Y, Okano H
2. 発表標題 Functional analyses of TPT1 in neural stem/progenitor cells and glioma initiating cells
3. 学会等名 ISN-ESN meeting (国際学会)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 Ohta S, Okano H, Kawakami Y
2. 発表標題 Functional analyses of TPT1 in neural stem/progenitor cells and glioma initiating cells
3. 学会等名 第76回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Jane Weng, Takanori Nakamura, Mutsuhiro Takekawa
2. 発表標題 Functional analysis of a novel ERK substrate, MCRIP1
3. 学会等名 24th East Asia Joint Symposium on Biomedical Research (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hisashi Moriizumi, Takanori Nakamura, Mutsuhiro Takekawa
2. 発表標題 Functional analysis of feedback-phosphorylation of MKK4 by MAPKs
3. 学会等名 AACR Annual Meeting 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kenji Ono, Hiromi Suzuki, Ayumu Konno, Toru Ishizuka, Hirokazu Hirai, Hiromu Yawo, Makoto Sawada
2. 発表標題 Functional control of clonal microglia by photo-activated channelrhodopsin-green receiver (ChRGR)
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 劉越人, 櫻木繁雄, 八尾寛
2. 発表標題 Functional mapping of rat barrel cortex for spatiotemporal optogenetic patterns to whiskers
3. 学会等名 先端モデル動物支援プラットフォーム平成28年度成果発表会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yamanaka A
2. 発表標題 Generation of sleep disorder model mice by ablation of specific types of neurons.
3. 学会等名 World Sleep (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shintaro Iwasaki
2. 発表標題 Genomic and structural basis of self-resistance to natural translation inhibitor in Aglaia
3. 学会等名 Cutting Edge Developments in RNA Biology for the Control of Gene Expression (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Manabu Natsumeda
2. 発表標題 Gli3 induces neuronal differentiation in WNT- and SHH- activated medulloblastoma
3. 学会等名 22nd Annual Meeting for Society of Neuro-oncology (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 棗田 学
2. 発表標題 Gli3 induces neuronal differentiation in WNT- and SHH- activated medulloblastoma
3. 学会等名 The 14th Meeting of the Asian Society for Neuro-oncology (ASN02017) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 五十嵐 道弘、本多 敦子、伊藤 泰行、野住 素広
2. 発表標題 Glycoprotein M6a and its associated signaling proteins are clustered in the lipid-rafts for determination of neuronal polarity
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Michihiro Igarashi, Atsuko Honda, Yasuyuki Ito, Natsuki Matsushita, Kosei Takeuchi
2. 発表標題 GLYCOPROTEIN M6A CLUSTERING OF LIPID-RAFTS AND ASSOCIATED SIGNALING PROTEINS FOR NEURONAL POLARITY
3. 学会等名 2017 ISN-ESN Meeting (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takuma Shibata
2. 発表標題 Guanosine sensing by TLR7 and its implication in inflammatory disease
3. 学会等名 第46回日本免疫学会学術集会 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 平尾敦
2. 発表標題 Hematopoietic stem cell homeostasis under diet-induced systemic stress.
3. 学会等名 The joint symposium on tumor microenvironment and precision medicine. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 南 敬
2. 発表標題 Homeostasis in NFAT-Down syndrome critical region-1 signaling is critical for regulation of proper vessel formation and vascular integrity.
3. 学会等名 2017 2nd Trisomy 21 International Symposium (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tepei Kanaya, Ryo Egawa , Hiromu Yawo
2. 発表標題 How does neurotransmission contribute to axon reorganization? - Intervention in axonal competition by sparse gene knockout
3. 学会等名 9th Optogenetics Research Society Japan International Symposium (国際学会)
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 Yamanaka A
2. 発表標題 Hypothalamic neurons erase memory during sleep
3. 学会等名 New York University Seminar (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yamanaka A
2. 発表標題 Hypothalamic neurons regulate sleep/wakefulness and memory
3. 学会等名 Mount Sainai Seminar (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 坂本修一、川田学
2. 発表標題 Identification of a metastasis-associated gene using a novel orthotopic metastatic model of SCLC metastasis
3. 学会等名 第76回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Rieko Ohki
2. 発表標題 Identification of a novel p53 downstream tumor promotion pathway, p53-IER5-HSF1 pathway, that contributes to tumor progression
3. 学会等名 2017年度生命科学系学会合同年次大会 (ConBio2017) (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Fukamachi, H., Nishikawaji, T., Shimada, S., Akiyama, Y., Yuasa, Y., Tsuchiya, Kim, W. H., K., Tanaka, S.
2. 発表標題 Identification of a signal transduction pathway working in the genesis and progression of diffuse type gastric cancers.
3. 学会等名 Post-A3 Meeting 2017 Epigenetic Signature of Carcinogenesis (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Fukamachi, H., Nishikawaji, T., Shimada, S., Akiyama, Y., Yuasa, Y., Tsuchiya, K., Tanaka, S.
2. 発表標題 Identification of signal transduction pathway in PDX-derived diffuse-type gastric tumor-initiating cells.
3. 学会等名 The 76th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association.
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 森亮一
2. 発表標題 Inflammation-related miR-142 family is associated with longevity and metabolism in vivo
3. 学会等名 第40回日本基礎老化学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takehiko Sasaki, Hiroki Nakanishi, Satoshi Eguchi, and Junko Sasaki
2. 発表標題 INPP4B is a tumor suppressor in the context of PTEN insufficiency by modulating the levels of PI3K lipid products
3. 学会等名 International Symposium on Imaging Frontier 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Sasaki T, Kusuoka O, Kawahara I, Mori T, Goto K, Miyagawa Y, Kishi S, Fujiwara-Tani R, Kuniyasu H
2. 発表標題 Intermittent calorie restriction enhances EMT through alteration of energy metabolism
3. 学会等名 76th Annual Meeting of Japanese Association for Cancer
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kikuta S, Yanagawa Y, Homma N, Takada M, Osanai M.
2. 発表標題 Involvement of the store operated calcium entry in the long-lasting calcium transient in the striatal GABAergic neuron.
3. 学会等名 NEUROSCIENCE 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takahiro Takahashi, Hiromu Yawo
2. 発表標題 Is the pre-post ratio of motor projection dependent on the number of competitors? - a quantitative connectomics study
3. 学会等名 The 2017 Japan-NIH joint Symposium (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 河寄 麻実、岡田 正康、玉田 篤史、五十嵐 道弘
2. 発表標題 JNK substrates involved in axonal growth, indentified by phosphoproteomics of the growth cone
3. 学会等名 第60回日本神経化学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 鬼頭昭吉、竹内優斗、阿部真土
2. 発表標題 KLF4 は HDAC3 の活性を制御することで MMP13 の発現を誘導する
3. 学会等名 第 40 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 福田勉、石橋郁人、岩尾正倫、奥裕介、西谷直之、上原至雅、且慎吾、矢守隆夫
2. 発表標題 L858R/T790M/C797S 変異に有効な EGFR チロシンキナーゼ阻害剤
3. 学会等名 第 21 回日本がん分子標的治療学会学術集会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 本多 敦子, 伊藤 泰行, 五十嵐 道弘
2. 発表標題 M6a regulates the signals for neuronal polarity determination on lipid raft.
3. 学会等名 第 40 回 日本分子生物学会年会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 山本 融 Steven A. Connor 岸本 泰司 Ina Ammendrup-Johnsen 栗原 直和 村山 千明 尾嶋 大喜 Razib Hossain 鈴木 利治 Ann Marie Craig
2. 発表標題 MDGA2 は興奮性シナプス形成抑制因子であり、そのヘミ欠損は興奮性の亢進と ASD 様の行動異常をもたらす
3. 学会等名 日本薬学会第 137 年会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 岩崎信太郎
2. 発表標題 Mechanism of self-resistance to natural translation inhibitor in Aglaia
3. 学会等名 ConBio2017 (招待講演)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 Nakamura, Y., Yanagawa, Y., Morrison S.F., Nakamura, K.
2. 発表標題 Medullary reticular GABAergic neurons that mediate hunger responses induced by hypothalamic neuropeptide Y
3. 学会等名 Experimental Biology 2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 Chowdhury S, Izawa S, Yamanaka A.
2. 発表標題 Melanin-concentrating hormone neurons negatively regulate hippocampal pyramidal cells and memory.
3. 学会等名 9th Optogenetics Research Society Japan International Symposium (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 森亮一
2. 発表標題 microRNA-223 発現制御は黄色ブドウ球菌感染創の改善に有効である
3. 学会等名 第47回日本創傷治癒学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小根山千歳
2. 発表標題 MicroRNA-mediated Src oncogenic signaling promotes cancer progression
3. 学会等名 第26回日本がん転移学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 森亮一
2. 発表標題 MiR-142 Is Required for Staphylococcus aureus Clearance at Skin Wound Sites via Small GTPase-Mediated Regulation of the Neutrophil actin Cytoskeleton.
3. 学会等名 第9回日本 RNAi 研究会・第4回日本細胞外小胞学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 森亮一
2. 発表標題 MiR-142 は small GTPase 介した好中球細胞骨格制御による黄色ブドウ球菌感染創の改善に必須である
3. 学会等名 第40回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山下俊一、神吉智丈
2. 発表標題 Mitochondrial division concurrently with autophagosome formation during mitophagy
3. 学会等名 ConBio2017(2017年度生命科学系学会合同年次大会)
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 神吉智丈
2. 発表標題 Mitophagy の分子機構と生理的意義
3. 学会等名 第 6 回 AAA (招待講演)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 清水貴美子、中野純、深田吉孝
2. 発表標題 Molecular mechanism of circadian expression of mouse anxiety-like behavior
3. 学会等名 第 40 回日本神経科学会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 Kimiko Shimizu, Jun Nakano, Yoshitaka Fukada
2. 発表標題 Molecular mechanism of circadian regulation of mouse anxiety-like behavior
3. 学会等名 Neuroscience 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 清水貴美子
2. 発表標題 Molecular mechanism of circadian regulation of recognition memory
3. 学会等名 第 94 回日本生理学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 塩見 美喜子
2. 発表標題 Molecular mechanism of piRNA biogenesis
3. 学会等名 EMBO / EMBL Symposia (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 中村信嗣、日下隆他
2. 発表標題 Monitoring impaired cerebral autoregulation and suppressed neural activity during hypoxia - ischemia and resuscitation in newborn piglet
3. 学会等名 第 44 回国際胎児・新生児生理学学会 (国際学会)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 Sugimura T, Kim R, Bito H, Yoshimura Y, Komatsu Y
2. 発表標題 Monocular deprivation-induced changes in excitatory synaptic transmission in layer 2/3 pyramidal neurons of rat visual cortex.
3. 学会等名 The 40th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 S. Hattori, H. Shoji, K. Takao, T. Miyakawa
2. 発表標題 Mouse behavioral phenotype database. Advances in Neuroinformatics
3. 学会等名 Advances in Neuroinformatics
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 中山淳、藤元次郎、仙波憲太郎
2. 発表標題 Multi-organ metastasis 誘導遺伝子 HNF1B の同定と機能解析
3. 学会等名 第 21 回日本がん分子標的治療学会学術集会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 中山淳、松井貴香、藤元次郎、二口充、仙波憲太郎
2. 発表標題 Multi-organ metastasis 誘導遺伝子 HNF1B の同定と機能解析
3. 学会等名 第 76 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 浅田修平、合山進、井上大地、竹田玲奈、河津正人、間野博行、北村俊雄
2. 発表標題 Mutant ASXL1 Cooperates with BAP1 to Promote Myeloid Leukemogenesis
3. 学会等名 The 59th American Society of Hematology annual meeting
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 扇田久和、Dimitar P. Zankov
2. 発表標題 Myocardial afadin is essential for maintaining cardiac function against mechanical stress-induced, but not pharmacological stimulation-mediated, pressure overload.
3. 学会等名 American Heart Association Scientific Sessions 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 葛谷早喜子、及川大輔、徳永文稔
2. 発表標題 NDP52 のユビキチン結合性は NF- $\kappa$ B と細胞死制御に関与する
3. 学会等名 ConBio2017 (国際学会)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 井口善生
2. 発表標題 New chemogenetic systems to investigate the role of neural circuit for adaptive behaviors
3. 学会等名 次世代脳プロジェクト冬のシンポジウム
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 Nobuhiro Okada, Chiaki Takahashi
2. 発表標題 NFYA regulates multistep process of cancer heterogeneity formation
3. 学会等名 新学術領域研究「細胞競合-細胞社会を支える適者生存システム-」 第3回国際シンポジウム
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 勝島啓佑、夏目敦至、大岡史治、出口彰一、新城恵子、柴田龍弘、宮田完二郎、片岡一則、近藤豊
2. 発表標題 Notch シグナルにより誘導される長鎖非翻訳 RNA TUG1 を標的とした膠芽腫に対する治療薬の開発に関する研究
3. 学会等名 平成 28 年度 先端モデル動物支援プラットフォーム 成果発表会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 Masahito Matsumoto
2. 発表標題 Novel approaches for making beta cells towards beta cell replacement therap
3. 学会等名 Kyoto Diabetes Mini-symposium beta cell replacement strategies (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 近藤祥司
2. 発表標題 Novel regulation for glycolysis
3. 学会等名 日本癌学会 (招待講演)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 Yue Ren, Hiroshi Watarai.
2. 発表標題 Obesity Study by Using a Novel Mouse Model of Invariant Natural Killer T Cell-deficiency Generated by CRISPR/Cas9.
3. 学会等名 11th International Symposium of the Institute Network (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kaichi Sugihara, Hiroyuki Igarashi, Toru Ishizuka, Hiromu Yawo, "", , 浜松, 2017/3/28-30.
2. 発表標題 Optical manipulation of intracellular Ca <sup>2+</sup> dynamics in Neuron
3. 学会等名 第94回日本生理学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yamanaka A
2. 発表標題 Optogenetics and pharmacogenetics reveals regulatory mechanism of sleep/wakefulness and memory.
3. 学会等名 Cell biology and systems biology course meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名	HIROSHI ONIMARU, KEIKO IKEDA, HIROYUKI IGARASHI, HIROMU YAWO, MASAACKI OGAWA, KAN-ICHIRO IHARA, KAZUTO KOBAYASHI, SATORU ARATA, KIYOSHI KAWAKAMI
2. 発表標題	OPTOGENETIC ANALYSIS OF MEDULLARY RESPIRATORY CENTER BY MODULATING ACTIVITY OF PHOX2B EXPRESSING CELLS
3. 学会等名	38th World Congress of the international Union of Physiological Sciences (国際学会)
4. 発表年	2017年

1. 発表者名	Onimaru H, Ikeda K, Igarashi H, Yawo H, Kobayashi K, Kawakami K.
2. 発表標題	Optogenetic analysis of neuronal network of medullary respiratory center in transgenic rats expressing channelrhodopsin in Phox2b expressing cells
3. 学会等名	第40回日本神経科学大会
4. 発表年	2017年

1. 発表者名	Hiroyuki Igarashi, Toshifumi Asano, Toru Ishizuka, Hiromu Yawo
2. 発表標題	Organelle optogenetics - direct manipulation of intracellular Ca <sup>2+</sup> dynamics
3. 学会等名	Optogen 2017 (4th International Workshop on Technologies for Optogenetics and Neurophotonics) (国際学会)
4. 発表年	2017年



1. 発表者名 Hiroyuki Igarashi, Ayaka Yoshikawa, Toshifumi Asano, Ayumu Konno, Toru Ishizuka, Hiromu Yawo
2. 発表標題 Organelle-optogenetics -Intervention of the intracellular Ca <sup>2+</sup> dynamics by light-
3. 学会等名 第94回日本生理学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 33. Yoshiyuki Kasahara, Sachie Suzuki, Yuji Onouchi, Ayaka Yoshida, Chiaki Ono, Yoshie Kikuchi, Zhiqian Yu, Hiroaki Tomita
2. 発表標題 Oxytocin exposure in pregnant mice influences future emotional and social behavior of the offspring.
3. 学会等名 The 2017 Japan-NIH joint Symposium (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 p62/Sqstm1, friend or foe?
3. 学会等名 2nd EMBO Conference "Autophagy: From molecular principles to human diseases" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kawasaki Asami, Masayasu Okada, Atsushi Tamada, Daiki Kobayashi, Motohiro Mozumi, Michihiro Igarashi
2. 発表標題 Phosphoproteomics reveals that phosphorylation of GAP-43 by JNK regulates axonal growth
3. 学会等名 EMBO Workshop "Cell Biology of the Neuron (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 河寄 麻実
2. 発表標題 Phosphorylation of GAP-43 by JNK regulates axonal growth
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 塩見 美喜子
2. 発表標題 piRNA biogenesis in Drosophila and Bombyx germlines
3. 学会等名 Microsymposium2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yoshikazu Isomura
2. 発表標題 Plenary Lecture: Cortical, hippocampal and striatal activations during reward-seeking behaviors
3. 学会等名 The 6th International Conference on Cognitive Neurodynamics (ICCN-2017) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shunsuke Takasuga, Takehiko Sasaki
2. 発表標題 Proportional dwarfism caused by altered hepatic lipoquality in mice
3. 学会等名 International Conference on Lipoquality (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nakashima C, Kurihara M, Yamamoto K, Bhawal UK, Sasahira T, Kirita T, Kuniyasu H
2. 発表標題 Pro-tumoral mechanism of malic enzyme 1 in oral squamous cell carcinoma
3. 学会等名 76th Annual Meeting of Japanese Association for Cancer
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kishi S, Honoki K, Fujii H, Kondo Y, Tsukamoto S, Kido A, Tsujiuchi T, Tanaka Y, Kuniyasu H
2. 発表標題 Pterostilbene (3',5'-dimethoxyresveratrol) inhibits cell growth and augments the efficacy of doxorubicin through stem cell phenotype suppression in osteosarcoma cells in vitro
3. 学会等名 AACR Advances in Sarcomas: From Basic Science to Clinical Translation (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kishi S, Kuniyasu H, Honoki K, Fujiwara-Tani R, Mori S, Luo Y, Nishiguchi Y, Tsujiuchi T, Tanaka Y
2. 発表標題 Pterostilbene inhibits cell growth through suppression of stemness in osteosarcoma cells
3. 学会等名 76th Annual Meeting of Japanese Association for Cancer
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岸 真五、朴木寛也、塚本、城戸颯、辻内俊文、田中康仁、國安弘基
2. 発表標題 Pterostilbene は骨肉腫の増殖能およびスフェア形成能を抑制しドキシソルビシンの効果を増強する
3. 学会等名 第50回日本整形外科学会骨軟部腫瘍学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小山内実、菊田里美、谷平大樹、本間経康、中尾聡宏、小田佳奈子、笹岡俊邦、南部篤
2. 発表標題 qAIM-MRI による D1 ドーパミン受容体コンディショナルノックダウンマウスの全脳活動解析
3. 学会等名 第 32 回 日本大脳基底核研究会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 Hiromu Yawo
2. 発表標題 Receptive field of a neuron in the rat barrel cortex - optogenetic whisker stimulation with a spatiotemporal pattern
3. 学会等名 Shedding light on the brain: merging neuroscience and photonics (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 Tabuchi A, Fukuchi M, Kikuchi K, Kubo Y, Shoji S, Hakamata T, Tanaka T, Satou N, Ishibashi Y, Kaneda K, Sakagami H, Bito H, Okuno H, Ohtsuka T, Tsuda M.
2. 発表標題 Regulation of gene expression and morphological alteration by SRF cofactor MKL in neuronal cells.
3. 学会等名 第 40 回日本分子生物学会年会第 90 回日本生化学会大会合同大会 (招待講演)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 Regulation of transcription factors through selective autophagy
3. 学会等名 The First International Conference on Autophagy and Liver Diseases (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yamanaka A
2. 発表標題 Regulatory mechanism of sleep/wakefulness by the hypothalamic neuropeptide-producing neurons
3. 学会等名 120th WPI-IIIIS Seminar (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yamanaka A
2. 発表標題 Regulatory mechanisms of sleep and memory by hypothalamic neurons
3. 学会等名 World Sleep (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中村信嗣、日下隆他
2. 発表標題 Relationship between prolonged neural suppression and cerebral hemodynamic dysfunction during hypothermia in asphyxiated piglets
3. 学会等名 第44回国際胎児・新生児生理学学会（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中村加枝, 上田康雅, 安田正治
2. 発表標題 Reward seeking and punishment avoiding by primate single caudate neurons.
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 阿部貴則、後藤栄治、及川大輔、高橋宏隆、寺脇正剛、澤崎達也、徳永文稔
2. 発表標題 RING型ユビキチンリガーゼのクロストークによる新規炎症・免疫制御機構の解明
3. 学会等名 新学術領域「数理シグナル」若手ワークショップ
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 魏 范研
2. 発表標題 RNA 修飾の生理学
3. 学会等名 第5回 和光ライフサイエンスフォーラム (招待講演)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 Naofumi Uesaka, Masanobu Kano
2. 発表標題 Roles of retrograde signaling in climbing fiber to Purkinje cell synapse elimination during postnatal cerebellar development
3. 学会等名 The 8th International Symposium of the Society for Research on the Cerebellum and Ataxias (国際学会)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 Tetsuhisa Otani
2. 発表標題 Roles of Tight Junctions in epithelial polarity
3. 学会等名 第6回生理研 - 霊長研 - 新潟脳研合同シンポ
4. 発表年 2017 年



1. 発表者名 Abe M
2. 発表標題 Roles of TRPS1 in craniofacial developmentI
3. 学会等名 International Symposium 2017 Oral and Craniofacial Development and Diseases (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Sashida G, Kubota S, Tokunaga K, Oshima M, Umezu T, Kanai A, Tan KT, Yang H, Iwanaga E, Asou N, Maeda T, Iwama A, Ohyashiki K, Osato M.
2. 発表標題 RUNX2 super enhancer promotes the development of blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm
3. 学会等名 21st International RUNX Conference (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kubota S, Tokunaga K, Oshima M, Umezu T, Kanai A, Tan KT, Yang H, Iwanaga E, Asou N, Maeda T, Iwama A, Ohyashiki K, Osato M, Sashida G.
2. 発表標題 RUNX2 super enhancer promotes the development of blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm
3. 学会等名 第79回日本血液学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yokomizo T, Tanaka D, Kubota S, Oshima M, Harada Y, Kanai A, Iwama A, Harada H, Osato M, Sashida G.
2. 発表標題 RUNX3 promotes the development of MDS/MPN overlap syndrome via enhancing expression of Myc in the absence of Tet2
3. 学会等名 59th ASH Annual Meeting-American Society of Hematology (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Trevor Sharp, Minmin Luo , Francesc Aartigas, Kae Nakamura, Yousheng Shu, Katsuhiko Miyazaki, Xuechu Zhen , Giuseppe Di Giovanni, Albert Compte.
2. 発表標題 Same monoamines, but different neurotransmitters; dopamine and serotonin.
3. 学会等名 Frontiers in Serotonin Research: Crossing Scales and Boundaries (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 片浦哲志、井本正哉
2. 発表標題 Screening of the compounds that modulate cellular bilirubin level in hepatocellular carcinoma HepG2 cells
3. 学会等名 The AACR-NCI-EORTC International Conference on "Molecular Targets and Cancer Therapeutics: Discovery, Biology, and Clinical Applications 2017" (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shintaro Iwasaki, Wakana Iwasaki <sup>4</sup> , Mari Takahashi, Stephen N. Floor <sup>1</sup> , Mari Mito, Takuhiro Ito, and Nicholas T. Ingolia
2. 発表標題 Self-resistance of translation initiation factor 4A to its natural inhibitor in Aglaia plant
3. 学会等名 EMBO Conference (国際学会)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 岩崎信太郎
2. 発表標題 Self-resistance of translation initiation factor 4A to its natural inhibitor in Aglaia plant
3. 学会等名 日本 RNA 学会年会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 Sumi-Ichinose C, Suganuma Y, Kano T, Ihira N, Nomura H, Ikemoto K, Hata T, Katoh S, Ichinose H, Kondo K
2. 発表標題 Sepiapterin reductase gene disrupted mice suffered from hypertension with fluctuation and bradycardia
3. 学会等名 第 90 回日本薬理学会年会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 佐々木雄彦
2. 発表標題 SHIPI と PI リン酸化・脱リン酸化を介する炎症制御
3. 学会等名 第 36 回日本認知症学会学術集会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 Hisakazu Ogita
2. 発表標題 Significance of dipeptidyl peptidase III as a novel anti-hypertensive therapeutics.
3. 学会等名 日本循環器学会 (招待講演)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 馬場理也、元島宗信、入江信子、江角千晴、羽野博之、中潟直己、神波大己
2. 発表標題 Sleeping Beauty transposon mutagenesis によるマウス腎癌関連ゲノム変異の解析
3. 学会等名 第 48 回腎癌研究会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名	Kyo Koizumi, Masatoshi Inoue, Srikanta Chowdhury, Haruhiko Bito, Akihiro Yamanaka, Hiromu Yawo
2. 発表標題	Spatial encoding of signal sequence in the cerebral cortex of mice - all-optical approach to the statistical neurodynamics
3. 学会等名	第40回日本神経科学大会
4. 発表年	2017年

1. 発表者名	田邊 広樹, 田中 拓郎, 石橋 悠太, 庄司 しずく, 久保 友喜美, 袴田 知之, 阪上 洋行, 福地 守, 奥野 浩行, 尾藤 晴彦, 津田 正明, 田渕 明子
2. 発表標題	SRF 転写活性化因子 MKL2 の機能解析：新規アイソフォーム SOLOIST を中心として
3. 学会等名	第40回日本神経科学大会
4. 発表年	2017年

1. 発表者名	Ishii A, Hirose S
2. 発表標題	Status epilepticus in genetic epilepsies
3. 学会等名	CNSP-PLAE Symposium on Status Epilepticus & 9th National Epilepsy Congress
4. 発表年	2017年

1. 発表者名 Hiroki Oguri
2. 発表標題 Streamlined Integration of Chemical Synthesis and In Vitro Biosynthesis: Expeditious Synthesis of Jornnamycin A
3. 学会等名 Asian Chemical Biology Initiative 2017 Ulaanbaatar Meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岩崎信太郎
2. 発表標題 Structural and molecular basis for mRNA-selective translation inhibitor Rocaglamide A
3. 学会等名 第11回日本ゲノム微生物学会若手の会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yokomizo T, Tanaka D, Harada Y, Oshima M, Kanai A, Iwama A, Osato M, Harada H, Sashida G.
2. 発表標題 Super enhancer mediated-RUNX3 overexpression promotes myeloid malignancies
3. 学会等名 第79回日本血液学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 野住 素広、五十嵐 道弘
2. 発表標題 Superresolution imageing reveals that nerve growth is regulated by the coordinated interaction between endophilin-mediated endocytosis and F-actin
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shogo SASAKI, Yue Ma, Kazuo Nagasawa
2. 発表標題 Synthesis and evaluation of a linear hexaoxazole as G-quadruplex stabilizing ligands
3. 学会等名 G4thering (6th International Meeting on Quadruplex Nucleic Acids: G4thering in Prague) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yue Ma, Shogo Sasaki, Kazuo Nagasawa
2. 発表標題 Synthesis and evaluation of ligand for selective induction of topologies in telomeric G-quadruplex
3. 学会等名 G4thering (6th International Meeting on Quadruplex Nucleic Acids: G4thering in Prague) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 H. Aonuma
2. 発表標題 Synthetic approach to understand neuronal mechanism of social adaptability in animals
3. 学会等名 Symposium on Challenges in Neuroscience (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 魏 范研
2. 発表標題 Taurine modification of mitochondrial tRNA is essential for mitochondrial translation and cellular proteostatic networks
3. 学会等名 第19回日本RNA学会年会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岡田和之, 岩澤脩斗, 竹洞裕貴, 本田拓也, 森井真理子, 山口直人, 山口憲孝.
2. 発表標題 TEA domain transcription factor の転写共役因子の解析.
3. 学会等名 第137回日本薬学会年会
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 元島宗信、馬場理也、蓮見壽史、加藤生真、長嶋洋治、黒田直人、高橋 渡、河野吉昭、矢尾正祐、江藤正俊、神波大己、古屋充子
2. 発表標題 TFE3 活性化腎細胞癌の診断補助マーカーの探索と評価
3. 学会等名 第 105 回日本泌尿器科学会総会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 岩澤脩斗, 岡田和之, 竹洞裕貴, 鈴木 亘, 帯刀 隆, 山口直人, 山口憲孝.
2. 発表標題 TGF-beta シグナル下流遺伝子の上皮間葉転換における役割.
3. 学会等名 第 137 回日本薬学会年会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 Akira Kikuchi
2. 発表標題 The Dickkopf1-CKAP4 Axis Creates a Novel Cancer Cell Proliferation Pathway and May Represent a Therapeutic Target for Cancer
3. 学会等名 Wnt meeting 2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 Akira Kikuchi
2. 発表標題 The Dickkopf1-CKAP4 axis creates a novel cancer cell proliferation pathway and may represent a therapeutic target for cancer
3. 学会等名 KSBMB international Conference2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nishiguchi Y, Luo Y, Fujiwara-Tani R, Sasahira T, Kondo M, Sho M, Kuniyasu H
2. 発表標題 The effect of anti-claudin-4 antibody on chemotherapeutic sensitivity in gastric cancer
3. 学会等名 12th International Gastric Cancer Congress (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yinmon Htun、日下隆他
2. 発表標題 The Effectiveness of Hydrogen Gas Inhalation as an Adjuvant Therapy of Hypothermia in Neonatal Hypoxic-ischemic Piglet Model
3. 学会等名 第44回国際胎児・新生児生理学学会 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yinmon Htun、日下隆他
2. 発表標題 The effectiveness of intravenous Edaravone in Hypoxic-Ischemic (HI) piglet model
3. 学会等名 第13回アジア小児科学会 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yinmon Htun、日下隆他
2. 発表標題 The effectiveness of intravenous Edaravone in Hypoxic-Ischemic (HI) piglet model
3. 学会等名 第53回日本周産期新生児医学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ihara Y, Tomonoh Y, Fujita T, Ideguchi H, Inoue T, Takahashi Y, Yasumoto S, Hirose S
2. 発表標題 The effectiveness of steroid pulse therapy and prognosis in frontal lobe epilepsy with anti-glutamate receptor antibodies:a case report
3. 学会等名 14th Asian and Oceanian Congress of Child Neurology
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Moriya Y, Kasahara Y, Hall FS, Uhl GR, Ikeda K, Sora I
2. 発表標題 The effects of chronic stress on alcohol consumption in mu-opioid receptor knockout mice.
3. 学会等名 International Narcotics Research Conference 2017 (INRC2017)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Moriya Y, Kasahara Y, Scott H F, Hagino Y, Uhl GR, Ikeda K, Sora I*
2. 発表標題 The effects of chronic stress on alcohol consumption in $\mu$ -opioid receptor knockout mice.
3. 学会等名 International Narcotics Research Conference (INRC) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Motohiro Mozumi, Michihiro Igarashi
2. 発表標題 The endocytosis coordinated with filopodial formation in the growth cone, revealed by superresolution microscopy
3. 学会等名 EMBO Workshop "Cell Biology of the Neuron" (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 N. Takai, M. Ohgami, S. Maeda, S. Nakamura, Y. Ohba, K. Ando
2. 発表標題 The focal brain proton beam irradiation insult in rats - induced memory disturbance related change in acetylcholine receptor binding
3. 学会等名 5th Radiation and Applications in Various Fields of Research (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takanori Nakamura, Mutsuhiro Takekawa
2. 発表標題 The molecular mechanisms that maintain the numerical integrity of centrosomes under stress
3. 学会等名 EMBO Conference: Centrosomes and Spindle Pole Bodies (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hirokazu Nakatsumi, Masaki Matsumoto, Keiichi I. Nakayama
2. 発表標題 The mTORC1-FOXK1 Axis Directly Links Nutrient Signaling to Chronic Inflammation
3. 学会等名 第19回 武田科学振興財団生命科学シンポジウム 慢性炎症：機序と制御 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Keiko Taguchi, Misaki Takaku, Patricia A. Egner, Thomas W. Kensler, Masayuki Yamamoto.
2. 発表標題 The Nrf2 knockout rat as a toxicological tool
3. 学会等名 56th Annual Meeting of Society of Toxicology (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hirose S
2. 発表標題 The potential of stem cells in precision medicine
3. 学会等名 32nd International Epilepsy Congress
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岡田正康、河寄麻実、伊藤泰行、武内恒成、吉田豊、藤井幸彦、五十嵐道弘
2. 発表標題 The quantitative phosphoproteomics detects the novel phosphorylation site of GAP-43 at the Peripheral Nerve Regeneration
3. 学会等名 第42回日本医用マススペクトル学会年会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岡田正康、河寄麻実、伊藤泰行、武内恒成、吉田豊、藤井幸彦、五十嵐道弘
2. 発表標題 The quantitative phosphoproteomics reveals the increased phosphorylation of GAP-43 at the Peripheral Nerve Regeneration
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Toko Funaki, Zen-ichi Tanei, Takeshi Ito, Yoshinori Murakami
2. 発表標題 The role of CADM1 in enhancement of malignant features of small cell lung cancer
3. 学会等名 第12回研究所ネットワーク国際シンポジウム (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 K. Nakamura
2. 発表標題 The role of dorsal raphe neurons for integration of reward information with emotional context.
3. 学会等名 第60回日本神経化学大会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Akihiro Mouri, Masashi Ikeda, Takenao Koseki, Kuniaki Saito, Nakao Iwata, Toshitaka Nabeshima
2. 発表標題 The ubiquitination of serotonin transporter in lymphoblasts derived from fluvoxamine-resistant depression patients
3. 学会等名 5th Asian College of Neuropsychopharmacology (AsCNP) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Igarashi H, Ikeda K, Onimaru H, Kaneko R, Koizumi K, Beppu K, Nishizawa K, Matsui K, Kobayashi K, Yanagawa Y, Muramats S, Ishizuka T, Yawo H.
2. 発表標題 Three transgenic reporter rat strains for connectomics and optogenetics studies of the brain.
3. 学会等名 The 48th NIPS International Symposium "Neural circuitry and plasticity underlying brain function (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yueren Liu, Shigeo Sakuragi, Tomokazu Ohshiro, Hajime Mushiake, Hiromu Yawo.
2. 発表標題 Time-dependent sensitivity of layer 2/3 neurons in the rat barrel cortex - spatiotemporally randomized optogenetic stimulation of whisker follicles
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 Ohta S, Tokumitsu A, Sone T, Sakamoto A, Kawakami Y, Okano H
2. 発表標題 TPT1 regulates the proliferation and/or survival of neural stem/progenitor cells and glioma stem cells
3. 学会等名 第 60 回日本神経化学会大会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 伊藤尚文、太田訓正
2. 発表標題 Tsukushi dysfunction leads to hydrocephalus by altering neurogenesis in the subventricular zone.
3. 学会等名 第 50 回 日本発生生物学会年会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 Osanai M, Ohkawa N, Kamiya A, Inami C, Sato M, Ohkura M, Kojima T, Kohmura Y, Hayashi Y, Yanagawa Y, Ohsawa M, Nakai J, Inokuchi K, Homma N, Mushiake H
2. 発表標題 Ultra-thin fluorescence endoscope imaging system for functional biological imaging.
3. 学会等名 SICE Symposium on Systems and Information 2017 システム・情報部門学術講演会 2017
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 Osanai M, Ohkawa N, Sakamoto K, Miwa H, Kikuta S, Tamura A, Sato M, Ohkura M, Kojima T, Kohmura Y, Nakai J, Hayashi Y, Yanagawa Y, Inokuchi K, Homma N, Mushiake H
2. 発表標題 Ultra-thin fluorescence endoscope imaging system for functional brain imaging.
3. 学会等名 第 40 回日本神経科学大会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 Ghandour K, Ohkawa N, Fung C, Saitoh Y, Takekawa T, Asai H, Okubo-Suzuki R, Nomoto M, Soya S, Tsujimura S, Nishizono H, Matsuo M, Sato M, Ohkura M, Nakai J, Hayashi Y, Sakurai T, Osanai M, Fukai T, Inokuchi K.
2. 発表標題 Unraveling the dynamism of engram cells during contextual memory processing.
3. 学会等名 NEUROSCIENCE 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 Hiromu Yawo, Shoko Hososhima, Hideya Yuasa, Takayuki Yamashita, Akihiro Yamanaka, Toru Ishizuka
2. 発表標題 Upconversion-rhodopsin hybrid system for near-infrared manipulation of neural network
3. 学会等名 第 94 回日本生理学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 Ando N., Shidara, H., Honmaru N., Kanzaki R., Ogawa H.
2. 発表標題 Virtual auditory navigation in crickets
3. 学会等名 日本比較生理生化学会第 39 回大会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 田中輝幸, 奥田耕助, 小林静香, 村上拓冬, 深谷昌弘, 高雄啓三, 渡邊 紀, 萩原 舞, 阪上洋行, 水口 雅, 宮川 剛, 真鍋俊也
2. 発表標題 West 症候群・Rett 症候群の原因遺伝子 CDKL5 の相互作用蛋白探索と loss-of -function 解析による統合的機能解明
3. 学会等名 第 40 回日本神経科学大会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 棗田 学
2. 発表標題 WNT 群、SHH 群 medulloblastoma における Gli3 高発現と神経細胞分化
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第 76 回学術総回
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 棗田学
2. 発表標題 WNT 群、SHH 群髄芽腫における Gli3 高発現と神経細胞分化
3. 学会等名 第 35 回日本脳腫瘍病理学会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 馬場理也、元島崇信、蓮見壽史、黄瑩、Laura S. Schmidt、矢尾正祐、長嶋洋治、古屋充子、尾池雄一、江藤正俊、神波大己、W. Marston Linehan
2. 発表標題 Xp11.2 転座腎細胞癌における発癌分子機構の解明
3. 学会等名 第 105 回日本泌尿器科学会総会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 Tetsuhisa Otani, Shinsaku Tokuda, and Mikio Furuse
2. 発表標題 ZO-1 and ZO-2 regulate Tight Junction assembly and epithelial polarity.
3. 学会等名 第 69 回日本細胞生物学会大会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 高橋紀人・BONEPALLY Karunakar Reddy・大栗博毅
2. 発表標題 アザ-アルテミシニン群の触媒的不斉合成とプローブ分子の創製
3. 学会等名 第97日本化学会春季年会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 アップコンバージョンを用いたファイバーレス光遺伝学の開発と応用
3. 学会等名 第二回ルミノジェネティクス研究会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 一瀬宏
2. 発表標題 アミノ酸代謝におけるビオプテリンの生理的重要性について
3. 学会等名 日本ビタミン学会第69回大会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大栗博毅
2. 発表標題 アルテミシニンの骨格改変による抗マラリア剤の創製
3. 学会等名 新学術領域研究「反応集積化が導く中分子戦略：高次生物機能分子の創製」第三回成果報告会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 若月修二、荒木敏之
2. 発表標題 イオン恒常性の破綻による精神疾患発病機構の解明
3. 学会等名 2017年度生命科学系学会合同年次大会(第40回日本分子生物学会年会・第90回日本生化学会大会「ワークショップ：精神疾患の神経生物学」)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中津 史
2. 発表標題 イノシトールリン脂質・PI4Pによる細胞機能制御
3. 学会等名 第59回日本脂質生化学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 佐々木純子、中西広樹、刈屋佑美、江口賢史、佐々木雄彦
2. 発表標題 イノシトールリン脂質クオリティとシグナル伝達
3. 学会等名 第 69 回日本細胞生物学会大会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 佐々木雄彦
2. 発表標題 イノシトールリン脂質のリポクオリティ解析
3. 学会等名 第 42 回日本医用マススペクトル学会年会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 阿部健太
2. 発表標題 ウイスキーバーレル条件付けの cross-modal reorganization—光遺伝学を用いた解析
3. 学会等名 生理学研究所研究会「シナプス・神経回路機能の時空間制御」
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 Sakamoto Masayuki
2. 発表標題 ウィルスベクターの開発・最適化と製作
3. 学会等名 脳プロ「意思決定」2017年度進捗報告会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 加藤啓子
2. 発表標題 うつ，不安症，統合失調症モデルマウスを用いた診断薬開発の提案
3. 学会等名 JST オープンイノベーションフェア WEST2017（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 青山 慎介*、古野 和歌子、曾良 一郎*
2. 発表標題 うつ病の治療経過中に強迫症状や幻覚妄想状態を呈し、前頭側頭型認知症と診断した1症例
3. 学会等名 第37回日本精神科診断学会
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 山口憲孝, 中山祐治, 山口直人.
2. 発表標題 エストロゲン依存性乳癌細胞のタモキシフェン耐性獲得における NF- $\kappa$ B 経路の役割.
3. 学会等名 第 137 回日本薬学会年会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 北村俊雄
2. 発表標題 エピジェネティクス異常と造血器腫瘍発祥の関係性
3. 学会等名 第 27 回日本サイトメトリー学会学術集会シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 五十嵐 道弘 (オーガナイザー)
2. 発表標題 エンドサイトーシス生物学の新展開
3. 学会等名 第 40 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 オートファジーとがん代謝解析：メタボローム解析からわかったこと
3. 学会等名 第33回 Wako ワークショップ（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 オートファジーのメカニズムから考えるがん治療
3. 学会等名 日経バイオテクプロフェッショナルセミナー オートファジーを標的とする創薬 化粧品開発の可能性（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 オートファジー関連タンパク質修飾システム：その異常と病態
3. 学会等名 国際高等研究所セミナー（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 オートファジー欠損マウスからわかったこと
3. 学会等名 第 33 回高峰カンファレンス (招待講演)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 オートファジー欠損マウスからわかったこと
3. 学会等名 第 57 回日本臨床化学会年次学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 オートファジー欠損マウスからわかったこと
3. 学会等名 日本外科代謝栄養学会第 54 回学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 オートファジー欠損マウスから分かったこと
3. 学会等名 第17回 Niigata Bone Research Conference (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 陳以珊, 山本友美, 周麗, 夏目里恵, 今野幸太郎, 上杉志成, 渡辺雅彦, 高雄啓三, 宮川剛, 崎村健司, 久保義弘
2. 発表標題 オーファン代謝型受容体 Prrt 3 の大脳特異的ノックアウトマウスの行動解析、およびそのリガンド同定に向けた小分子ライブラリーのスクリーニング
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会;
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 八尾寛
2. 発表標題 オプトジェネティクスによる光と生命の融合
3. 学会等名 第9回 BioOpto Japan カンファレンス (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中津 史
2. 発表標題 オルガネラ間脂質輸送を介した細胞内脂質クオリティ・ホメオスタシス機構の解明。
3. 学会等名 新学術領域「脂質クオリティが解き明かす生命現象」第3回領域会議
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 オレキシンとは？睡眠覚醒調節における役割について
3. 学会等名 Tochigi Insomnia 研究会 2017 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 オレキシンとは？睡眠覚醒調節における役割について
3. 学会等名 SLEEP SYMPOSIUM 2017 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 オレキシンとは？睡眠覚醒調節における役割について
3. 学会等名 香川県睡眠治療セミナー（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 オレキシンとは？睡眠覚醒調節における役割について
3. 学会等名 第6回世田谷クリニカルフォーラム（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山中章弘、向井康敬
2. 発表標題 オレキシン神経に対するドーパミンの長期的作用の解析
3. 学会等名 第52回日本アルコール・アディクション医学会学術総会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 オレキシン神経活動の操作と記録～摂食行動-睡眠覚醒調節における役割の解明～
3. 学会等名 第15回桜山睡眠研究会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 玉田 篤史、松野 健治
2. 発表標題 かいま見えた細胞キラリティの機能と形成機構 Catching a glimpse of cell chirality: its roles and origin
3. 学会等名 第69回日本細胞生物学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 清水孝恒、山口さやか、武藤章弘、佐谷秀行
2. 発表標題 カルシトリオールは小胞体ストレス反応を誘導することにより骨肉腫に抗腫瘍効果を示す
3. 学会等名 第76回日本癌学会学術総会（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 佐藤信吾, 橋本恭子, 砂村聡子, 越智広樹, 小柳広高, 二口充, 大川淳
2. 発表標題 がん細胞が分泌するマイクロ RNA が骨転移のタイプを規定する ～造骨型骨転移を惹起する分泌型マイクロ RNA の同定～
3. 学会等名 第 50 回日本整形外科学会骨軟部腫瘍学術集会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 橋本恭子, 砂村聡子, 越智広樹, 大川淳, 二口充, 竹田秀, 佐藤信吾
2. 発表標題 がん細胞由来分泌型マイクロ RNA が造骨型骨転移を惹起する
3. 学会等名 第 17 回東京骨関節フォーラム
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 橋本恭子, 砂村聡子, 越智広樹, 大川淳, 二口充, 竹田秀, 佐藤信吾
2. 発表標題 がん細胞由来分泌型マイクロ RNA が造骨型骨転移を惹起する
3. 学会等名 第 32 回日本整形外科学会基礎学術集会
4. 発表年 2017 年



1. 発表者名 中村貴大, 馬悦, 岡部幸子, 吉田喜香, 矢守隆夫, 新家一男, 中野伊知郎, 清宮啓之, 長澤和夫
2. 発表標題 グアニン四重鎖を安定化する低分子化合物の創製及び神経膠腫幹細胞に対する選択的増殖抑制効果
3. 学会等名 第 35 回 メディシナルケミストリーシンポジウム
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 新井貴順, 山田 剛司, 菊地 崇, 田中 麗子
2. 発表標題 クロイツカイメン由来真菌の産生する新規セスキテルペンの絶対構造
3. 学会等名 第 67 回 日本薬学会近畿支部総会・大会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 北村俊雄
2. 発表標題 クローナル造血から造血器腫瘍発症に到る分子機構の解析
3. 学会等名 第 76 回日本癌学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 福富又三郎, 小川宏人
2. 発表標題 コロナは聴覚状況に応じて気流逃避行動を変化させる
3. 学会等名 日本動物学会第 88 回大会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 佐藤和, 小川宏人
2. 発表標題 コロナ気流誘発性逃避行動における行動選択
3. 学会等名 第 40 回日本神経科学大会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 佐藤和, 小川宏人
2. 発表標題 コロナ気流誘発性逃避行動における刺激パラメータ依存的行動選択
3. 学会等名 日本動物学会第 88 回大会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 染谷真琴, 小川宏人
2. 発表標題 コオロギ同定投射ニューロンにおける聴覚及び機械感覚入力の多感覚統合
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 千葉惇, 生塩研一, 稲瀬正彦
2. 発表標題 サル前頭前野と内側運動前野で共有される時間計測関連活動
3. 学会等名 第94回日本生理学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 千葉惇, 生塩研一, 稲瀬正彦
2. 発表標題 サル前頭前野と内側運動前野における特徴的な時間計測関連活動
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 望月圭、中隋克己、稲瀬正彦、村田哲
2. 発表標題 サル体性感覚野ニューロンにおける運動に伴う感覚フィードバック情報の表象
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 加藤啓子, 藤田明子, 太田知沙, 古川潤一
2. 発表標題 シアル酸修飾と代謝負荷に起因する精神神経疾患の発症
3. 学会等名 ConBio2017 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 太田 知沙, 廣田 暖奈, 藤田 明子, 加藤 啓子
2. 発表標題 シアル酸転移酵素 ST3Gal IV 欠損マウスの統合失調症陰性症状について
3. 学会等名 ConBio2017
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 藤田明子, 奥野貴也, 織田美伽, Paitoon Srimontri, 加藤啓子
2. 発表標題 シアル酸転移酵素 ST3Gal4 欠損マウスにおける情動行動と代謝産物の関連
3. 学会等名 ConBio2017
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 野尻光希, 金武司, 佐々貴之, 木原章雄
2. 発表標題 シェーグレン・ラルソン症候群モデルマウスにおけるミエリン脂質 2-ヒドロキシガラクトシルセラミドの低下
3. 学会等名 第 16 回次世代を担うファーマ・バイオフォーラム
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 山本 融 Steven A. Connor 岸本 泰司 Ina Ammendrup-Johnsen 栗原 直和 村山 千明 尾嶋大喜 Razib Hossain 鈴木 利治 Ann Marie Craig
2. 発表標題 シナプス形成抑制因子MDGA2のヘミ欠損は興奮/抑制バランスの興奮側へのシフトによるASD様の社会性行動異常をもたらす
3. 学会等名 第 40 回日本神経科学大会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 渡辺 諒・藤川宗志・及川英秋・大栗博毅
2. 発表標題 ジヒドロピリジン二量化反応によるアルカロイド骨格の合成”
3. 学会等名 第97日本化学会春季年会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 谷藤 涼・瀬瀬健人・高倉美智子・浅野竜太郎・南 篤志・及川英秋・大栗博毅
2. 発表標題 ジオルナマイシンAの化学-酵素ハイブリッド全合成
3. 学会等名 第59回天然有機化合物討論会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 谷藤 涼・瀬瀬健人・高倉美智子・浅野竜太郎・南 篤志・及川英秋・大栗博毅
2. 発表標題 ジオルナマイシンAの化学-酵素ハイブリッド全合成
3. 学会等名 第97日本化学会春季年会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 シングルセル解析による本能行動に関わる視床下部神経回路の機能解明
3. 学会等名 2017年度生命科学系学会合同年次大会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 立田大輔、吉田潤次郎、大石智一、川田 学
2. 発表標題 すい臓がん細胞の薬剤感受性に与える間質細胞の影響
3. 学会等名 第21回がん分子標的治療学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 渡海 紀子, 中村 貴紀, 武川 睦寛
2. 発表標題 ストレス応答 MAPK 経路によって制御される miRNA の機能解析
3. 学会等名 2017年度生命科学系学会合同年次大会（第40回日本分子生物学会・第90回日本生化学会）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松下萌恵, 中村 貴紀, 武川 睦寛
2. 発表標題 ストレス応答キナーゼ MTK1 による新たなストレス感知・応答機構
3. 学会等名 2017 年度生命科学系学会合同年次大会 (第 40 回日本分子生物学会・第 90 回日本生化学会) (国際学会)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 一瀬 (鷺見) 千穂, 菅沼由唯, 狩野泰輝, 井平典子, 野村裕子, 池本和久, 畑忠善, 加藤節子, 一瀬宏, 近藤一直
2. 発表標題 セピアプテリン還元酵素遺伝子ノックアウトマウスの血圧変動の機序
3. 学会等名 第 131 回日本薬理学会近畿部会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 下畑充志, 石原慶一, 服部聡子, 宮本浩行, 森下泰全, Guy Ornthanalai, Matthieu Raveau, Abdul Shukkur Ebrahim, 天野賢治, 山田一之, 左合治彦, 秋葉聡, 俣賀宣子, Niall P Marphy, 宮川剛, 山川和弘
2. 発表標題 ダウン症モデルマウスはドーパミン、セロトニンの増加及びそれらの代謝亢進を示し、環境刺激誘発による活動量と社会性の増加を示す
3. 学会等名 第 62 回日本人類遺伝学会
4. 発表年 2017 年



1. 発表者名 南 敬
2. 発表標題 ダウン症関連因子 DSCR-1 の血管機能- 両刃の剣-
3. 学会等名 第 90 回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 馬悦, 佐々木捷悟, 長澤和夫
2. 発表標題 テロメアグアニン四重鎖のトポロジー制御を志向したリガンドの創製と機能評価
3. 学会等名 日本ケミカルバイオロジー学会 第 12 回年会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 笹岡俊邦, 佐藤 朝子, 知見 聡美, 大久保 直, 阿部学, 川村名子, 中尾 聡宏, 小田 佳奈子, 酒井 清子, 前田 宜俊, 神保 幸弘, 田中稔, 山本美丘, 佐藤 俊哉, 藤澤 信義, 崎村建司, 南部 篤
2. 発表標題 ドーパミン受容体及びNMDA受容体変異マウスを用いた大脳基底核回路の機能解析
3. 学会等名 科学研究費補助金「新学術領域研究(研究領域提案型)」非線形発振現象を基盤としたヒューマンネイチャーの理解「オンロロジー」2017 年度第 1 回領域会議
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 毛利彰宏、渡辺研、園澤和生、勅使河原知明、平川茉実、森優子、藤垣英嗣、村上由希、山本康子、齋藤邦明、鍋島俊隆
2. 発表標題 トリプトファンセロトニン代謝経路に注目したうつ病モデル動物
3. 学会等名 第 38 回 日本トリプトファン研究会学術集会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 北野翔平, 金子真也, 高雄啓三, 相澤康則
2. 発表標題 ノンコードゲノム領域の機能理解への Genome Architecture の試み
3. 学会等名 2017 年度生命科学系学会合同年次大会 ConBio2017
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 伊藤政之、山下真梨子、奥野浩行、阿部学、山崎真弥、夏目里恵、貝塚利恵、崎村建司、星野幹雄、三品昌美、林崇
2. 発表標題 パルミトイル化による AMPA 型グルタミン受容体の制御とその異常に伴うてんかん発作
3. 学会等名 第 90 回日本薬理学会年会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 齋藤益満
2. 発表標題 ヒト T 細胞白血病ウイルス 1 型変異を介した非ホジキンリンパ腫発症リスク評価・判定法の開発
3. 学会等名 TOBIRA 第 6 回研究交流フォーラム (招待講演)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 藤田智陽, 安倍光姫, 山崎愛実, 深澤力也, 廣瀬豊, 大熊芳明
2. 発表標題 ヒト転写メディエーター複合体 kinase モジュール構成サブユニット CDK8/19 の新規結合因子の同定
3. 学会等名 2017 年度生命科学系学会合同年次大会 (ConBio2017)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 藤田智陽, 安倍光姫, 山崎愛実, 深澤力也, 廣瀬豊, 大熊芳明
2. 発表標題 ヒト転写メディエーター複合体 kinase モジュール構成サブユニット CDK8/19 の新規結合因子の同定
3. 学会等名 第 19 回日本 RNA 学会年会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 原怜, 安岡達矢, 一瀬宏
2. 発表標題 ピルボイルテトラヒドロプテリン合成酵素のレドックス制御機構の解析
3. 学会等名 日本ビタミン学会第 69 回大会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 福村宗一郎, 原怜, 安岡達矢, 一瀬宏
2. 発表標題 ピルボイルテトラヒドロプテリン合成酵素の可逆的な酸化還元制御の解析
3. 学会等名 第 31 回日本プテリジン研究会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 ファイバーレス光遺伝学の開発
3. 学会等名 第 4 回包括的緩和医療科学学術研究会・第 5 回 Tokyo 疼痛緩和次世代研究会 合同研究会 (招待講演)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 ファイバーレス光遺伝学を用いた神経活動操作と行動制御
3. 学会等名 光量子工学研究領域セミナー（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 扇田久和
2. 発表標題 ペプチド分解酵素 DPP III の降圧作用と新規高血圧治療としての有用性
3. 学会等名 臨床高血圧フォーラム（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高須賀俊輔, 中西広樹, 木村洋貴, 佐々木純子, 佐々木雄彦
2. 発表標題 ホスファチジルグリセロールリン酸 (PGP) ホスファターゼの生理機能
3. 学会等名 第 69 回日本細胞生物学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 佐々木雄彦
2. 発表標題 ホスホイノシタイトの質と病態
3. 学会等名 2017年度 生命科学系学会合同年次大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山本一男
2. 発表標題 ほ乳細胞の大きさを規定する分子基盤
3. 学会等名 JSBi 九州地域部会研究セミナー
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 及川大輔、徳永文稔
2. 発表標題 マイトファジーアダプター(NDP52)のユビキチン結合性はNF- $\kappa$ B と細胞死制御に關与する
3. 学会等名 第64回日本生化学会 近畿支部例会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 葛谷早喜子、及川大輔、徳永文稔
2. 発表標題 マイトファジー受容体のユビキチン結合性は NF- $\kappa$ B と細胞死制御に關与する
3. 学会等名 バイオインターフェース先端マテリアルの創生 第7回シンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 古瀬民生、幸田尚、串田知子 1、山田郁子、三浦郁生、金田秀貴、小林喜美男、石野史敏、若菜茂晴
2. 発表標題 マウスにおける母体の Mat2a 遺伝子変異による仔の遺伝子発現・行動表現型の修飾
3. 学会等名 ConBio2017
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 清水貴美子
2. 発表標題 マウス高次脳機能の概日時計による制御
3. 学会等名 第24回時間生物学会学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高祖 秀登
2. 発表標題 マウス神経系における細胞競合の検討
3. 学会等名 細胞競合・ダイニングコード
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 石黒啓一郎
2. 発表標題 マウス生殖細胞における減数分裂の開始機構
3. 学会等名 第 2 回性と生殖の懇談会 (招待講演)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 永井正義、家村顕自、吉川貴子、大隅典子、田中耕三
2. 発表標題 マウス胎児脳における染色体整列因子 CAMP の発現部位の同定
3. 学会等名 2017 年度生命科学系合同年次大会(第 40 回日本分子生物学会年会)
4. 発表年 2017 年



1. 発表者名 小泉協, 八尾寛
2. 発表標題 マウス大脳の in vivo オール光機能解析
3. 学会等名 生理研研究会「脳の階層的理解を目指して」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 上野浩司, 高雄啓三, 末光俊介, 岡本 基, 石原武士
2. 発表標題 マウス大脳皮質におけるパルプアルブミンニューロンと神経細胞周囲網の年齢に関連した変化
3. 学会等名 2017年度生命科学系学会合同年次大会 ConBio2017
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 根本隆行, Hikmawan Wahyu Sulistomo, 武谷 立
2. 発表標題 マウス脳におけるアクチン重合因子 Fhod3 の発現
3. 学会等名 第90回日本薬理学会年会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 永井正義、家村顕自、吉川貴子、大隅典子、田中耕三
2. 発表標題 マウス脳における染色体整列因子 CAMP の発現解析
3. 学会等名 第 35 回染色体ワークショップ・第 16 回核ダイナミクス研究会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 河合喬文, 高雄啓三, 崎村健司, 宮川 剛, 岡村康司
2. 発表標題 ミクログリアに発現する電位依存性プロトンチャンネルの脳内における発現差異とその機能
3. 学会等名 第 40 回日本神経科学大会;
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 横山 超一、坂田 一生、五十嵐 敬幸、石塚 徹、八尾 寛
2. 発表標題 ミトコンドリア機能の光操作
3. 学会等名 第 49 回東北生理談話会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 荒木敏之、若月修二
2. 発表標題 ユビキチンリガーゼ ZNRF1 が制御する神経変性の分子メカニズム
3. 学会等名 2017年度生命科学系学会合同年次大会(第40回日本分子生物学会年会・第90回日本生化学会大会)「ワークショップ：シナプス、軸索の変調から神経変性疾患を理解する」 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 荒木敏之、若月修二
2. 発表標題 ユビキチンリガーゼ ZNRF1 を介した神経細胞死と軸索変性の制御機序
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 和仁翔太郎, 杉田愛, 加藤ありさ, 加納未由希, 石黒尋保, 田渕圭章, 大熊芳明, 廣瀬豊
2. 発表標題 ユビキチン様ドメインを有する Po1 II-CTD 脱リン酸化酵素による遺伝子発現制御
3. 学会等名 2017年度生命科学系学会合同年次大会 (ConBio2017)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 和仁翔太郎, 加藤ありさ, 加納未由希, 石黒尋保, 杉田愛, 田淵圭章, 佐藤崇之, 甲斐田大輔, 大熊芳明、廣瀬豊
2. 発表標題 ユビキチン様ドメインを有する Pol II-CTD 脱リン酸化酵素による遺伝子発現制御
3. 学会等名 第 19 回日本 RNA 学会年会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 中津 史
2. 発表標題 リポクオリティの細胞内局在と細胞機能
3. 学会等名 第 69 回日本細胞生物学会大会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 伊藤尚文、Shah Adil Ishtiyag Ahmad、Mohammad Badrul Anam、太田訓正
2. 発表標題 リボソーム取り込みによるヒト細胞の多能性獲得
3. 学会等名 第 90 回日本分子生物学会、
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 杉田愛, 伊藤志帆, 柳澤奈月, 石黒尋保, 佐藤崇之, 田淵圭章, 大熊芳明, 廣瀬豊
2. 発表標題 リン酸化CTD結合因子PCIF1による遺伝子発現調節機構の解明
3. 学会等名 2017年度生命科学系学会合同年次大会 (ConBio2017)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 杉田愛, 伊藤志穂, 柳澤奈月, 石黒尋保, 佐藤崇之, 田淵圭章, 大熊芳明, 廣瀬豊
2. 発表標題 リン酸化CTD結合因子PCIF1による遺伝子発現調節機構の解明
3. 学会等名 第19回日本RNA学会年会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岡田正康
2. 発表標題 リン酸化プロテオームによる神経成長・再生マーカーの探索
3. 学会等名 2017年度次世代脳プロジェクト冬のシンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 河寄 麻実、玉田 篤史、岡田 正康、五十嵐 道弘
2. 発表標題 リン酸化プロテオミクスにより同定した神経成長を制御するシグナル伝達経路
3. 学会等名 第 39 回神経組織培養研究会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 佐々木雄彦
2. 発表標題 リン脂質のバイオロジー・疾患と質量分析
3. 学会等名 第 44 回日本マススクリーニング学会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 沈 宜中、佐々木 寿算、山下 高廣、七田 芳則、沖津 貴志、山野 由美子、和田 昭盛、石塚 徹、八尾 寛、今元 泰
2. 発表標題 レチナールアナログを使用した深赤色光受容チャネルロドプシンの開発
3. 学会等名 2017 年度生命科学系学会合同年次大会 (ConBio2017)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 頼元貞巖・坪内 彰・大栗博毅
2. 発表標題 亜鉛(II)によるアルキン活性化を活用したアルカロイド骨格群の構築
3. 学会等名 第97日本化学会春季年会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 井口善生
2. 発表標題 意思決定スタイルの個性創発と適応破たんとしての精神疾患発症脆弱性の統合的理解
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金新学術領域研究 多様な「個性」を創発する脳システムの統合的理解 第2回領域会議
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中村 加枝
2. 発表標題 意思決定行動の神経メカニズムの解明における情動の計測の試み
3. 学会等名 平成29年度生理学研究所研究会『情動研究会』（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高祖 秀登
2. 発表標題 異常細胞クラスターの大きさが神経系における腫瘍形成に影響する
3. 学会等名 第76回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高雄 啓三
2. 発表標題 遺伝子改変マウスの行動解析を起点とした精神疾患研究
3. 学会等名 2017年度 生命科学系学会合同年次大会 ConBio2017
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 馬場理也
2. 発表標題 遺伝性腎癌症候群～その歴史と医学への貢献～
3. 学会等名 日本生理人類学会第76回大会（招待講演）
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 岡田正康、米岡有一郎、大石誠、藤井幸彦
2. 発表標題 下垂体腺腫に対する放射線治療
3. 学会等名 第 105 回 新潟内分泌代謝同好会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 吉澤康博、奥村和弘、斎藤慈、宗形春花、青戸良賢、磯貝恵理子、榊原康文、若林雄一
2. 発表標題 化学発がんにより誘発した皮膚腫瘍における Meis1 の転写制御
3. 学会等名 第 30 回モロシヌス研究会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 荒木正健、吉信公美子、中原舞、山村研一、荒木喜美
2. 発表標題 可変型遺伝子トラップクローンデータベース「EGTC」の開発及び解析
3. 学会等名 トーゴの日 2017
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 下川 倫子、河原 康一、川畑 拓斗、古川 龍彦、
2. 発表標題 核小体により p53 を制御するストレス応答を利用したがん治療薬の創生
3. 学会等名 先端モデル動物支援プラットフォーム 若手支援技術講習会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 河原 康一、川畑 拓斗、下川 倫子、古川 龍彦
2. 発表標題 核小体による細胞分裂制御と癌治療戦略
3. 学会等名 ConBio2017
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 石堂正美
2. 発表標題 環境化学物質による多動性障害の継承毒性
3. 学会等名 第 6 回日本 DOHaD 研究会学術集会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 肝特異的オートファジー欠損マウスからわかったこと
3. 学会等名 第 17 回肝疾患フォーラム (招待講演)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 森泉 寿士, 中村 貴紀, 武川 睦寛
2. 発表標題 癌抑制遺伝子 MKK4 のフィードバック・リン酸化を介したアポトーシス制御
3. 学会等名 第 76 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 田中亜紀, 福岡瑞希, 平山翼, 廣瀬豊, 大熊芳明
2. 発表標題 基本転写因子 TFIIE の転写開始から伸長への移行段階における役割の解析.
3. 学会等名 2017 年度生命科学系学会合同年次大会 (ConBio2017)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 福岡瑞希, 田中亜紀, 平山翼, 廣瀬豊, 大熊芳明
2. 発表標題 基本転写因子による転写開始から伸長への移行の制御機構解析
3. 学会等名 第 19 回日本 RNA 学会年会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 技術革新が切り拓く最新神経科学研究
3. 学会等名 星薬科大学薬理学教室 平成 29 年度同門会学術セミナー (招待講演)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 伊藤政之、山下真梨子、山田大輔、奥野浩行、阿部学、山崎真弥、夏目里恵、金子雅規、貝塚利恵、崎村建司、関口正幸、和田圭司、星野幹雄、三品昌美、林崇
2. 発表標題 興奮性/抑制性バランスの維持におけるパルミトイル化による AMPA 型グルタミン酸受容体制御の役割
3. 学会等名 第 137 回日本薬理学会関東部会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 小山内 実, 坂本 一寛, 三輪 秀樹, 大川 宜昭, 神谷 厚範, 菊田 里美, 小島 太郎, 幸村 裕治, 柳川 右千夫, 中井 淳一, 井ノ口 馨, 虫明 元
2. 発表標題 極微細蛍光内視鏡イメージングシステム (U-FEIS) による生体組織の深部イメージング
3. 学会等名 平成 28 年度文部科学省新学術領域研究 学術研究支援基盤形成 先端モデル動物支援プラットフォーム 成果発表会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 小山内 実
2. 発表標題 極微細蛍光内視鏡による脳深部機能イメージング
3. 学会等名 次世代脳プロジェクト冬のシンポジウム
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 石堂正美
2. 発表標題 銀ナノ粒子の神経毒性とその継承毒性
3. 学会等名 メタルバイオサイエンス研究会 2017
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 上田（石原）奈津実, 深澤有吾, 鈴木悠大, 増田啓吾, 高雄啓三, 宮川 剛, 尾藤晴彦, 木下 専
2. 発表標題 空間弁別に必要なセプチン依存的シナプス制御
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 上田(石原)奈津実, 深澤有吾, 鈴木悠大, 増田啓吾, 高雄啓三, 宮川剛, 尾藤晴彦, 木下専
2. 発表標題 空間弁別に必要なセプチン依存的シナプス制御
3. 学会等名 第40回神経科学学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大栗博毅
2. 発表標題 元素を変えて活路をひらく：モジュラー式迅速合成プロセスの開発
3. 学会等名 第7回CSJ化学フェスタ2017 文科省科研費新学術領域研究「中分子戦略」特別企画（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Sakamoto Masayuki
2. 発表標題 個性創発研究のための神経活動イメージング
3. 学会等名 新学術「個性創発脳」技術講習会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 光遺伝学・光生理による睡眠覚醒と記憶の制御メカニズム解明
3. 学会等名 日本比較生理生化学会 第39回福岡大会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 光遺伝学・薬理遺伝学を用いた神経活動操作による睡眠覚醒制御と記憶制御
3. 学会等名 新潟脳神経研究会特別例会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 光遺伝学・薬理遺伝学を用いた睡眠覚醒と記憶の制御
3. 学会等名 島根大学大学院セミナー（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 光遺伝学・薬理遺伝学を用いた睡眠覚醒と記憶の制御：メカニズム解明
3. 学会等名 第64回日本実験動物学会総会 学術集会委員会企画シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 光遺伝学・薬理遺伝学を用いた睡眠覚醒調節メカニズムの解明
3. 学会等名 第47回日本小児神経学会小児神経学セミナー（招待講演）
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 八尾 寛
2. 発表標題 光遺伝学のインパクト
3. 学会等名 日本実験動物学会 (招待講演)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 福田勉
2. 発表標題 光学活性ヨードラメラリン N 誘導体の合成
3. 学会等名 第 20 回ヨウ素学会シンポジウム
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 高雄啓三
2. 発表標題 恒常性維持機構の破綻としての精神疾患
3. 学会等名 第 7 回オルソオルガノジェネシス検討会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 金 世賢、青山 慎介*、大塚 郁夫*、宋 慎平、朴 秀賢*、菱本 明豊*、曾良 一郎*
2. 発表標題 抗 NMDA 受容体脳炎回復期の精神症状に対して修正型電気痙攣療法を施行した一例
3. 学会等名 第 113 回日本精神神経学会学術総会 (国際学会)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 喜多村佳委、伊藤寛晃、櫻井香里、井上将行
2. 発表標題 抗がん活性天然物ヤクアミド B の作用機構解明
3. 学会等名 第 43 回反応と合成の進歩シンポジウム
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 大栗博毅
2. 発表標題 骨格・立体化学を多様化する分子技術:骨格多様化合成による創薬リード創製
3. 学会等名 PPI 創薬研究会 (招待講演)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 北村俊雄
2. 発表標題 骨髄異形性症候群の分子生物学
3. 学会等名 日本癌学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 指田吾郎
2. 発表標題 骨髄異形成症候群における エピジェネティック制御の破綻
3. 学会等名 第79回日本血液学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 立田大輔、大庭俊一、川田 学、百瀬 功
2. 発表標題 骨肉腫に対するゲラニインの抗腫瘍効果
3. 学会等名 第1回シーズ・ニーズ (SN) ワークショップ
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山本一男
2. 発表標題 細胞サイズを規定するエレメントを探して
3. 学会等名 2017年度生命科学系学会合同年次大会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 玉田 篤史
2. 発表標題 細胞の立体構造と運動様式の定量的解析技術
3. 学会等名 2017年度次世代脳プロジェクト冬のシンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 片浦哲志、芥木臣二、井本正哉
2. 発表標題 細胞内ビリルビン量を指標とするパーキンソン病治療薬の探索
3. 学会等名 先端モデル動物支援プラットフォーム若手支援技術講習会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 川畑 拓斗、河原 康一、下川 倫子、上條 陽平、白石 岳大、朝日 汰一、山本 雅達、新里 能成、南謙太郎、武井 孝行、吉田 昌弘、有馬 一成、濱田 季之、古川 龍彦
2. 発表標題 細胞分裂の異常を監視する核小体の新たな役割
3. 学会等名 ConBio2017
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 野尻光希, 金武司, 佐々貴之, 木原章雄
2. 発表標題 脂肪酸 2 位水酸化酵素 FA2H 機能低下によるシェーグレン・ラルソン症候群の神経症状発症
3. 学会等名 日本薬学会北海道支部 144 回例会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 野尻光希, 金武司, 佐々貴之, 木原章雄
2. 発表標題 脂肪酸 2 位水酸化酵素 FA2H 機能低下によるシェーグレン・ラルソン症候群の神経症状発症
3. 学会等名 2017 年度生命科学系学会合同年次大会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 視床下部神経による睡眠と記憶の制御
3. 学会等名 神戸大学医学研究科薬理学分野講演会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 視床下部神経による睡眠と記憶の制御
3. 学会等名 第47回日本神経精神薬理学会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 視床下部神経による睡眠覚醒・記憶・代謝内分泌調節
3. 学会等名 第42回日本比較内分泌学会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 視床下部神経による睡眠覚醒と記憶の制御
3. 学会等名 都医学研セミナー（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 視床下部神経による睡眠覚醒調節と記憶の制御
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 視床下部神経による睡眠覚醒調節のメカニズム
3. 学会等名 第78回原研研究集会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 視床下部神経による摂食代謝・睡眠覚醒・記憶の制御
3. 学会等名 第 27 回日本行動神経内分泌研究会（招待講演）
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 視床下部神経活動の記録と操作による睡眠覚醒と記憶の制御機構の解明
3. 学会等名 第 94 回日本生理学会大会（招待講演）
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 視床下部神経細胞の活動記録と活動操作
3. 学会等名 第 90 回日本薬理学会年会（招待講演）
4. 発表年 2017 年



1. 発表者名 原子空, 林裕人, 藤田智陽, 飯田智, 廣瀬豊, 大熊芳明, 丹澤円香
2. 発表標題 試験管内再構成系を用いたヒトメディエーター複合体 Kinase モジュールの機能解析
3. 学会等名 2017 年度生命科学系学会合同年次大会 (ConBio2017)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 原子空, 林裕人, 藤田智陽, 飯田智, 廣瀬豊, 大熊芳明
2. 発表標題 試験管内再構成系を用いたヒトメディエーター複合体 Kinase モジュールの機能解析
3. 学会等名 第 19 回日本 RNA 学会年会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 大塚 郁夫*, 菱本 明豊*, 泉 剛, 朴 秀賢*, 木村 敦*, 張 園*, 毛利 健太郎*, 岡崎 賢志*, 高橋 玄倫*, 上野 易弘*, 白川 治, 曾良 一郎*
2. 発表標題 自殺既遂者におけるテロメア異常短縮
3. 学会等名 第 39 回日本生物学的精神医学会第 47 回日本神経精神薬理学会合同年会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 坂本修一、川田学
2. 発表標題 自然転移モデルを用いた小細胞肺癌の転移関連因子の探索
3. 学会等名 第26回日本がん転移学会学術集会・総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岡田正康
2. 発表標題 質量分析を用いた末梢神経再生時のGAP-43のリン酸化解析
3. 学会等名 第22回グリアクラブ
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 望月圭、中階克己、稲瀬正彦、村田哲
2. 発表標題 手指自己刺激課題中のサル体性感覚野ニューロンの活動
3. 学会等名 第94回日本生理学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 船城桐子、伊東剛、村上善則
2. 発表標題 小細胞肺がんの悪性化における細胞接着分子 CADM1 の機能解析
3. 学会等名 先端モデル動物支援プラットフォーム 若手技術者講習会 2017
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 船城桐子、伊東剛、村上善則
2. 発表標題 小細胞肺がんの悪性化における細胞接着分子 CADM1 の機能解析
3. 学会等名 第 76 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 渡部文子
2. 発表標題 情動の神経回路基盤
3. 学会等名 第 40 回日本神経科学大会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 Jane S. Weng, 中村 貴紀, 武川 睦寛
2. 発表標題 新規 ERK 基質分子 MCRIP1 の生理機能解析
3. 学会等名 2017 年度生命科学系学会合同年次大会 (第 40 回日本分子生物学会・第 90 回日本生化学会) (国際学会)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 阿部貴則、後藤栄治、及川大輔、寺脇正剛、高橋宏隆、澤崎達也、徳永文稔
2. 発表標題 新規 LUBAC 機能制御因子の同定とその生理機能解析
3. 学会等名 新学術領域「数理シグナル」領域推進会議
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 五十嵐敬幸, 小泉協, 金子涼輔, 池田啓子, 江川遼, 柳川右千夫, 村松慎一, 鬼丸洋, 石塚徹, 八尾寛
2. 発表標題 新規トランスジェニックラット 3 系統の開発- tdTomato レポーターラット, Flame ラット, ChRFR(C167A) レポーターラット
3. 学会等名 先端モデル動物支援プラットフォーム平成 28 年度成果発表会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 石黒啓一郎
2. 発表標題 新規の減数分裂開始因子の同定
3. 学会等名 モロシヌス研究会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 石黒啓一郎
2. 発表標題 新規の減数分裂開始因子の同定
3. 学会等名 第 35 回染色体ワークショップ・第 16 回核ダイナミクス研究会合同
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 中村信嗣、日下隆他
2. 発表標題 新生仔豚仮死モデルにおける負荷中の脳波・脳循環酸素代謝変化と脳障害～分娩前子宮内で起こる低酸素虚血イベントをシュミレーションする～
3. 学会等名 第 62 回日本新生児生育医学会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 中尾泰浩、日下隆他
2. 発表標題 新生児低酸素虚血性脳症に対する水素吸入療法の基礎的検討 -新生仔豚を用いた水素吸入の生体への影響-
3. 学会等名 第53回日本周産期新生児医学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 石川 香、山本 智、服部 聡子、西村 尚也、三藤 崇行、松本 寛和、宮川 剛、中田 和人
2. 発表標題 神経における Mfn2 の D210V 突然変異は発現時期によって重症度の異なる病態を引き起こす
3. 学会等名 第17回日本ミトコンドリア学会年会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 金谷 哲平、江川 遼、八尾 寛
2. 発表標題 神経活動は軸索投射再編にどのように寄与しているのか？CRISPR/Cas9による軸索間競合への介入
3. 学会等名 第49回東北生理談話会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Sakamoto Masayuki
2. 発表標題 神経活動計測・操作を実現する革新的な全光型電気生理学的手法の開発
3. 学会等名 AMED 脳と心の研究課 平成 29 年度研究交流会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 Sakamoto Masayuki
2. 発表標題 神経活動計測・操作を実現する革新的な全光型電気生理学的手法の開発
3. 学会等名 革新脳キックオフミーティング
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 伊藤尚文、太田訓正
2. 発表標題 神経幹細胞制御因子 Tsukushi 欠損は水頭症を生じる
3. 学会等名 先端モデル動物支援プラットフォーム.7 (国際学会)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 根本隆行、Hikmawan Wahyu Sulistomo、武谷 立
2. 発表標題 神経細胞におけるアクチン細胞骨格制御 因子 Fhood3 の機能解析
3. 学会等名 第69回日本薬理学会西南部会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 伊藤 泰行
2. 発表標題 神経細胞の極性決定を促進する GPM6a と脂質ラフトシグナリング
3. 学会等名 2017年度次世代脳プロジェクト冬のシンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 永井正義、家村顕自、池田真教、田中耕三
2. 発表標題 神経細胞の発生及び分化における染色体整列因子 CAMP の機能解析
3. 学会等名 第69回日本細胞生物学会大会
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 永井正義、家村顕自、池田真教、田中耕三
2. 発表標題 神経細胞の発生及び分化における染色体整列因子 CAMP の機能解析
3. 学会等名 第6回東北脳科学ウィンタースクール
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 荒木敏之、若月修二
2. 発表標題 神経軸索傷害後のミトコンドリア MCL1 リン酸化の下流シグナル
3. 学会等名 第17回日本ミトコンドリア学会年会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田宮 裕子*、大内 淳*、岩本 直子*、曾良 一郎*
2. 発表標題 神経性やせ症における認知機能障害-下位分類による重症度の違い
3. 学会等名 第113回日本精神神経学会学術総会 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 野住 素広、五十嵐 道弘
2. 発表標題 神経成長におけるエンドサトーシスとアクチン再編の関係
3. 学会等名 第40回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山下健太郎、中原茜、石橋郁人、福田勉、岩尾正倫
2. 発表標題 水溶性アザメラリンN誘導体の合成
3. 学会等名 第54回化学関連支部合同九州大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 睡眠障害モデルマウス作成と機能解析
3. 学会等名 都医学研プロジェクトセミナー（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 越川直彦
2. 発表標題 数理学解析を用いた MT1-MMP のプロテオリシスによる細胞機能制御の解明
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金 新学術領域「細胞ダイバース」第1回 公開シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松橋一彦、斎藤益満、山岸誠、内丸薫、渡邊俊樹
2. 発表標題 成人 T 細胞白血病・リンパ腫における HBZ 活性化 - miR-324-3P による HBZ 発現抑制の崩壊 -
3. 学会等名 第4回日本 HTLV-1 学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 斎藤益満、伊波英克、長谷川寛雄
2. 発表標題 成人 T 細胞白血病・リンパ腫患者における HTLV-1/EBV 共感染 B 細胞の存在意義
3. 学会等名 第4回日本 HTLV-1 学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 植木正明, 森下 淳
2. 発表標題 成人マウスの低酸素症に対する 100%酸素蘇生は腎障害を引き起こす
3. 学会等名 日本麻酔科学会第 64 回学術総会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 野住 素広
2. 発表標題 成長円錐の進行方向先端で生じるアクチン依存性エンドサイトーシス
3. 学会等名 2017 年度次世代脳プロジェクト冬のシンポジウム
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 野住 素広、五十嵐 道弘
2. 発表標題 成長円錐構造の 3 次元超解像解析
3. 学会等名 第 58 回 新潟生化学懇話会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 昆 俊亮、石橋 公二郎、藤田 恭之
2. 発表標題 正常上皮細胞はワールブルグ効果様代謝変化をがん変異細胞に引き起こし、組織より排除する
3. 学会等名 2017年度日本細胞生物学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中尾泰浩、日下隆他
2. 発表標題 生後6時間以内の脳循環パターンを用いたHIE児重症度判定の試み～新生仔豚仮死モデルを用いた基礎的検討～
3. 学会等名 第62回日本新生児生育医学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中本賀寿夫、徳山尚吾
2. 発表標題 精神行動制御における長鎖脂肪酸受容体 GPR40/FFAR1 の役割と創薬への可能性
3. 学会等名 第39回日本生物学的精神医学会, 第47回日本神経精神薬理学会 合同年会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 笠原好之、久保有美子、有銘預世布
2. 発表標題 精神疾患動物モデルとしてのドーパミン神経伝達変異マウス
3. 学会等名 第 60 回日本神経化学会 (招待講演)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 久郷裕之, 宇野愛海, 大平崇人, 平塚正治, 香月康宏, 押村光雄
2. 発表標題 染色体医工学技術を用いた疾患の原因究明、治療法の開発
3. 学会等名 第 40 回日本分子生物学会 (招待講演)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 大平崇人, 稲岡大悟, 春日健人, 押村光雄, 門田満隆, 久郷裕之
2. 発表標題 染色体工学技術を用いた口腔がん細胞における TERT 抑制因子の探索
3. 学会等名 先端モデル動物支援 若手技術講習会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 荒木正健、武田伊世、大賀俊範、江藤聡、中原舞、吉信公美子、荒木喜美
2. 発表標題 染色体特異的にクラスターを形成しているトラップ領域（CSCT）の解析
3. 学会等名 第 64 回日本実験動物学会総会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 荒木正健、武田伊世、山口友輔、高田幸基、中原舞、吉信公美子、荒木喜美
2. 発表標題 染色体特異的にクラスターを形成しているトラップ領域：CSCT13 は、マウス初期発生過程において重要な役割を演じていることが示唆された。
3. 学会等名 2017 年度生命科学系合同年次大会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 荒木正健、武田伊世、中原舞、吉信公美子、荒木喜美
2. 発表標題 染色体特異的にクラスターを形成しているトラップ領域：CSCT13 は、マウス初期発生過程において重要な役割を演じていることが示唆された。
3. 学会等名 日本遺伝学会第 89 回大会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 笹川 正人, 菊田 里美, 本間 経康, 小林 和人, 小山内 実
2. 発表標題 線条体ニューロンの入出力特性のイメージング解析
3. 学会等名 平成 29 年 電気学会 電子・情報・システム部門大会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 塚本 亮*, 松山 賢一*, 菱本 明豊*, 青山 慎介*, 朴 秀賢*, 田宮 裕子*, 大塚 郁夫*, 木村 敦*, 蓬萊 政*, 曾良 一郎*
2. 発表標題 全身性エリテマトーデス加療中に急性精神病状態を呈し診断に難渋した症例
3. 学会等名 第 121 回近畿精神神経学会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 光家努、日下隆他
2. 発表標題 蘇生超早期の虚血後再灌流変化からみた脳障害重症度～新生仔豚仮死モデルにおける時間分解分光装置による測定～
3. 学会等名 第 62 回日本新生児生育医学会
4. 発表年 2017 年



1. 発表者名 太田 真菜美 , 藤田 明子 , 加藤 啓子
2. 発表標題 側頭葉てんかん発症と末梢における脂質代謝について
3. 学会等名 ConBio2017
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 上田(石原)奈津実, 福耕直人, 増田啓吾, 榊原広大, 鈴木悠大, 石井雄一郎, 宮川剛, 井ノ口馨, 尾藤晴彦, 深澤有吾, 高雄啓三, 木下 専
2. 発表標題 他個体認知・社会性および空間認知の基盤となるシナプス分子セプチンの解析
3. 学会等名 次世代脳冬のシンポジウム
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 大栗博毅
2. 発表標題 多環式アルカロイド群の化学・酵素ハイブリッド合成
3. 学会等名 新学術領域研究「生物合成系の再設計による複雑骨格機能分子の革新的創成科学」第二回公開シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 玉田 篤史
2. 発表標題 多次元輝度情報に基づいた形状認識・物体追跡技術の開発
3. 学会等名 新学術領域「共鳴誘導で革新するバイオイメージング」班会議
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 上野博夫
2. 発表標題 多色細胞系譜解析法と Barcoding の融合による多次元細胞追跡
3. 学会等名 "4次元生体リモデリング"俯瞰ワークショップ（招待講演）
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 上野博夫
2. 発表標題 多色細胞系譜追跡法とシングル・セル RNAseq の融合による成体幹細胞同定
3. 学会等名 第 17 回日本再生医療学会総会（招待講演）
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 上野博夫
2. 発表標題 多色細胞系譜追跡法による幹細胞、癌研究
3. 学会等名 第 33 回日本毒性病理学会総会および学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 上野博夫
2. 発表標題 多色細胞系譜追跡法を用いた成体幹細胞同定-耳鼻咽喉科領域の成体幹細胞とそのがん化について
3. 学会等名 第 35 回耳鼻咽喉科ニューロサイエンス研究会 (招待講演)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 國安弘基、谷 里奈、羅 奕、岸 真五、佐々木隆光、大森 斉
2. 発表標題 大腸癌細胞の EMT 形質獲得における間葉系幹細胞の役割
3. 学会等名 第 106 回日本病理学会総会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 國安弘基、谷 里奈、羅 奕、大森 斉、佐々木隆光
2. 発表標題 大腸癌細胞の EMT 形質獲得における間葉系幹細胞の役割
3. 学会等名 第 26 回日本癌転移学会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 金子雅規、伊藤政之、山下真梨子、奥野浩行、阿部学、山崎真弥、夏目里恵、貝塚利恵、崎村建司、星野幹雄、三品昌美、林 崇
2. 発表標題 大脳異常興奮の抑制に関わる AMPA 受容体パルミトイル化依存的なシナプス機能制御
3. 学会等名 第 39 回日本生物学的精神医学会・第 47 回日本神経精神薬理学会合同年会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 八尾寛
2. 発表標題 大脳皮質演算論理を読み解く ～ 時空間パターンのオプトジェネティクス
3. 学会等名 第 2 回ルミノジェネティクス研究会 (招待講演)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 日下部 大樹、渡 公佑、村上 雄一、桑野 信彦、小野 眞弓
2. 発表標題 第三世代 EGFR チロシンキナーゼ阻害剤オシメルチニブ耐性細胞は代替経路として AXL/SFK/AKT 経路を活性化する
3. 学会等名 第 21 回日本がん分子標的治療学会学術総会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 高井伸彦、大神正次
2. 発表標題 炭素線誘発脳機能障害の特徴
3. 学会等名 第 54 回放射線影響懇話会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 中村貴紀, 西住(渡海)紀子, 中澤嵩, 鈴木貴, 武川睦寛
2. 発表標題 中心体複製開始を司る PLK4 中心体局在機構の解明
3. 学会等名 2017 年度生命科学系学会合同年次大会 (第 40 回日本分子生物学会・第 90 回日本生化学会) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 大神 正次, 高井 伸彦, 渡邊 雅彦, 安藤 興一, 鶴澤 玲子, 平山 亮一
2. 発表標題 腸管放射線障害に対する末梢性 NMDA 受容体阻害剤による防護効果
3. 学会等名 第 34 回日本薬学会九州支部大会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 勝島啓佑、夏目敦至、大岡史治、出口彰一、新城恵子、柴田龍弘、宮田完二郎、片岡一則、近藤豊
2. 発表標題 長鎖非翻訳 RNA TUG1 を標的としたがん治療薬の開発に関する研究
3. 学会等名 第 76 回日本癌学会学術総会 (招待講演)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 及川大輔、花田和希、寺脇正剛、葛谷早喜子、菅原弘二、鶴田大輔、坂本信二、徳永文稔
2. 発表標題 直鎖状ユビキチン鎖生成酵素(LUBAC)に対する新規阻害剤による NF-κB 制御と疾患応用を目指した基礎解析
3. 学会等名 第 12 回臨床ストレス応答学会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 及川大輔、葛谷早喜子、花田和希、寺脇正剛、鶴田大輔、坂本信二、徳永文稔
2. 発表標題 直鎖状ユビキチン鎖生成酵素(LUBAC)に対する新規阻害剤の細胞・生化学機構と疾患治療への応用
3. 学会等名 ConBio2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岡田正康、米岡有一郎、村井志乃、斎藤祥二、渡邊潤、大石誠、藤井幸彦
2. 発表標題 摘出に難渋した GH・TSH 産生下垂体腺腫の一例
3. 学会等名 第 106 回新潟内分泌代謝同好会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大栗博毅
2. 発表標題 天然物の骨格を多様化する迅速合成プロセスの開発と創薬リード創製
3. 学会等名 日本薬学会東海支部特別講演会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大栗博毅
2. 発表標題 天然物の骨格多様化合成
3. 学会等名 有機合成化学講習会（招待講演）
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 大栗博毅
2. 発表標題 天然物群の迅速合成・骨格多様化の新戦略
3. 学会等名 大塚有機合成シンポジウム 2017（招待講演）
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 大栗博毅
2. 発表標題 天然物群の迅速合成・骨格多様化の新展開
3. 学会等名 平成 29 年度 富山大学生命融合科学教育部シンポジウム ライフサイエンスを開拓先導する分子科学（招待講演）
4. 発表年 2017 年



1. 発表者名 梅村真理子, 小倉多恵, 金子泰之, 中野春男, 高橋 滋, 高雄啓三, 宮川 剛, 高橋勇二
2. 発表標題 転写因子 ATF5 の欠損は行動異常を引き起こす
3. 学会等名 第 40 回日本神経科学大会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 中津海 洋一、 松本 雅記、 中山 敬一
2. 発表標題 転写因子 FOXK1 の mTORC1 依存的な脱リン酸化メカニズムの解析
3. 学会等名 ConBio2017
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 寺田公介, 畑山光, 西村和也, 竹田深雪, 大熊芳明, 廣瀬豊
2. 発表標題 転写活性と共役した選択的ポリ (A) 付加調節の分子機構
3. 学会等名 第 19 回日本 RNA 学会年会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 中尾章人, 高雄啓三, 大平耕司, 宮崎直幸, 村田和義, 宮川 剛
2. 発表標題 統合失調症モデル Schnurri-2 ノックアウトマウスの歯状回顆粒細胞における三次元電子顕微鏡解析
3. 学会等名 第 40 回日本神経科学大会;
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 中山淳、伊藤恵美、藤元次郎、渡邊慎哉、仙波憲太郎
2. 発表標題 同所性移植手法を用いた乳がん高転移株の作製とその Transcriptome 解析
3. 学会等名 第 26 回日本がん転移学会学術集会・総会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 特定神経活動操作で迫る
3. 学会等名 代謝疾患フォーラム 2017 (招待講演)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 田口恵子、山本雅之
2. 発表標題 毒性学における Nrf2 欠失ラットの貢献
3. 学会等名 第 10 回ラットリソースリサーチ研究会 (招待講演)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 新名 尚史*、菱本 明豊*、大塚 郁夫*、岡崎 賢志*、朴 秀賢*、毛利 健太郎*、蓬萊 政*、江口 典臣*、木村 敦*、山木 愛久*、平田 尚士*、高橋 玄倫、上野 易弘、白川 治、曾良 一郎*
2. 発表標題 日本人自殺既遂者における MIF 遺伝子プロモーター領域機能的多型の関連解析.
3. 学会等名 第 39 回日本生物学的精神医学会第 47 回日本神経精神薬理学会合同年会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 平田健介, 山田千愛, 安齋絵里菜, 柴崎美里, 本田拓也, 森井真理子, 山口直人, 山口憲孝.
2. 発表標題 乳がん細胞における TGF-beta シグナルの阻害因子による細胞死抑制機構の解析.
3. 学会等名 第 61 回日本薬学会関東支部大会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 平田健介, 山田千愛, 安齋絵里菜, 柴崎美里, 本田拓也, 森井真理子, 山口直人, 山口憲孝.
2. 発表標題 乳がん細胞における TGF-beta シグナルの阻害機構の解析.
3. 学会等名 2017 年度 生命科学系学会合同年次大会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 平田健介, 山田千愛, 安齋絵里菜, 柴崎美里, 本田拓也, 森井真理子, 山口直人, 山口憲孝.
2. 発表標題 乳がん細胞における TGF-beta シグナル伝達の阻害因子の解析.
3. 学会等名 平成 29 年度日本生化学会関東支部例会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 平田健介, 山田千愛, 柴崎美里, 本田拓也, 森井真理子, 山口直人, 山口憲孝.
2. 発表標題 乳がん細胞における TGF-beta により誘導される細胞死に対する抵抗性獲得機構の解析.
3. 学会等名 第 137 回日本薬学会年会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 長谷耕二
2. 発表標題 粘膜面のバリア機能と免疫恒常性の維持に果たす M 細胞の役割
3. 学会等名 第 66 回 日本アレルギー学会学術大会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 小山内 実
2. 発表標題 脳の機能イメージングを可能にする内視鏡システム
3. 学会等名 JST フェア 2017 (招待講演)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 小山内 実
2. 発表標題 脳の機能イメージングを可能にする内視鏡システム
3. 学会等名 第 4 回メディカルメッセ (招待講演)
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 小山内 実, 菊田 里美, 本間 経康
2. 発表標題 脳機能解明を目指したマルチスケールイメージング
3. 学会等名 医用・生体工学研究会「神経工学&バイオサイバネティクス」
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 石川冬木、八尾良司、若林雄一
2. 発表標題 発がん過程におけるストレス獲得耐性
3. 学会等名 第 76 回日本癌学会学術総会・
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 斎藤慈、奥村和弘、吉澤康博、宗形春花、磯貝恵理子、若林雄一
2. 発表標題 発がん抵抗性遺伝子座 <i>Stmm3</i> の原因遺伝子の同定と機能解析
3. 学会等名 第 30 回モロシヌス研究会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 齋藤慈、奥村和弘、吉澤康博、宗形春花、磯貝恵理子、若林雄一
2. 発表標題 発がん抵抗性遺伝子座 Stmm3 の原因遺伝子の同定と機能解析
3. 学会等名 第76回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 南 敬
2. 発表標題 発生・老化における NFAT/DSCR-1 の制御機構
3. 学会等名 2017年度生命科学系学会合同年次大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 南 敬
2. 発表標題 発生学を基盤に腎臓を創る
3. 学会等名 Research PlaNet 2017
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 萬好晃平, 服部弘毅, 黒田はる香, 村松慎一, 原怜, 一瀬宏
2. 発表標題 発達に伴う脳内ドーパミン代謝の変化
3. 学会等名 日本ビタミン学会第 69 回大会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 上阪 直史、狩野 方伸
2. 発表標題 発達期小脳の登上線維シナプスの選択的強化・除去を制御する逆行性シグナル
3. 学会等名 第 40 回日本神経科学大会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 森亮一
2. 発表標題 皮膚創傷治癒過程における miR-223 の機能解析
3. 学会等名 第 106 回日本病理学会総会
4. 発表年 2017 年



1. 発表者名 岡田正康、米岡有一郎、大石誠、藤井幸彦
2. 発表標題 非機能性下垂体腺腫に対する術後放射線治療成績
3. 学会等名 第 28 回間脳下垂体腫瘍学会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 ジョンソンムン、中山淳、二口充、仙波憲太郎
2. 発表標題 尾動脈注射手法を用いた Luminal 乳がん骨高転移株の作製
3. 学会等名 第 26 回日本がん転移学会学術集会・総会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 伊藤 尚文、太田訓正
2. 発表標題 微生物由来多能性誘導因子による細胞運命の転換
3. 学会等名 第 7 回オルソオルガノジェネシス検討会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 奥村和弘、斎藤慈、吉澤康博、宗形春花、磯貝恵理子、三浦 郁夫、若菜茂晴、島貫碧、設楽浩志、多屋長治、木南凌、若林雄一
2. 発表標題 副甲状腺ホルモンはマウス皮膚腫瘍形成を制御する
3. 学会等名 第 32 回発癌病理研究会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 奥村和弘、斎藤慈、吉澤康博、宗形春花、磯貝恵理子、三浦 郁夫、若菜茂晴、島貫碧、設楽浩志、多屋長治、木南凌、若林雄一
2. 発表標題 副甲状腺ホルモンは皮膚腫瘍形成を制御する
3. 学会等名 第 30 回モロシヌス研究会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 奥村和弘、斎藤慈、吉澤康博、宗形春花、磯貝恵理子、木南凌、若林雄一
2. 発表標題 副甲状腺ホルモンは表皮細胞内カルシウムを制御し皮膚腫瘍形成を抑制する
3. 学会等名 第 76 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 川畑 拓斗、河原 康一、下川 倫子、上條 陽平、白石 岳大、朝日 汰一、山本 雅達、新里 能成、南謙太郎、武井 孝行、吉田 昌弘、有馬 一成、濱田 季之、古川 龍彦
2. 発表標題 分裂異常監視機構としての核小体の新たな役割
3. 学会等名 先端モデル動物支援プラットフォーム 若手支援技術講習会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 藤野 赴至
2. 発表標題 変異型 ASXL1 ノックインマウスの解析
3. 学会等名 新学術領域研究 3 領域合同若手勉強会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 古瀬民生、幸田尚、串田知子、山田郁子、三浦郁生、金田秀貴、小林喜美男、石野史敏、若菜茂晴
2. 発表標題 母体の one carbon metabolism 関連遺伝子変異が仔の行動表現型に与える影響
3. 学会等名 第 47 回神経精神薬理学会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 大神正次、高井伸彦
2. 発表標題 放射線誘発腸管障害に関与する末梢性 NMDA 受容体の活性化
3. 学会等名 第 54 回放射線影響懇話会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 岡田正康
2. 発表標題 末梢神経再生に関わる GAP-43 のリン酸化プロテオーム解析
3. 学会等名 第 6 回生理研-霊長研-脳研合同シンポジウム
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 氏家悠佳、若月修二、荒木敏之
2. 発表標題 末梢神経髄鞘化における低酸素応答系の関与
3. 学会等名 第 137 回日本薬理学会関東部会
4. 発表年 2017 年

1. 発表者名 渡部文子
2. 発表標題 味覚による快・不快情動の制御機構
3. 学会等名 うま味研究会公開シンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高祖 秀登
2. 発表標題 網膜変性疾患における、マイクログリアと単球由来マクロファージの解析
3. 学会等名 第40回生命科学系学会合同年次大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中本賀寿夫 1, 相澤風花 1, 山下琢矢 2, 平澤 明 3, 栗原 崇 4, 糟谷史代 2, 宮田篤郎 4, 徳山尚吾
2. 発表標題 疼痛時における脳内遊離脂肪酸の変化
3. 学会等名 第39回日本疼痛学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 川畑 拓斗、河原 康一、下川 倫子、白石 岳大、山本 雅達、新里 能成、南 謙太郎、有馬 一成、濱田 季之、古川 龍彦、
2. 発表標題 、核小体ストレス応答の分裂期チェックポイント機構としての役割の解明とこの応答を標的とした新たな抗がん剤の開発
3. 学会等名 先端モデル動物支援プラットフォーム 若手支援技術講習会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 吉岡美妃子、白川千尋、福田勉、岩尾正倫
2. 発表標題 12-および 16-クロロメラリン N 誘導体の合成研究
3. 学会等名 第 53 回化学関連支部合同九州大会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 Sokoda T, Nishizawa Y, Matsui J, Nishikura N, Takano T, Takeuchi Y, Ishii A, Hirose S
2. 発表標題 A case of Dravet syndrome affected an acute encephalopathy.
3. 学会等名 The 18th annual meeting of infantile seizure society International Symposium on Acute Encephalopathy in Infancy and Its Related Disorders (ISAE2016)
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 Yamamoto K
2. 発表標題 A mechanism of cell size regulation and its readout governed by Lagen
3. 学会等名 EMBO Workshop on Cell Size Regulation (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Takehiko Sasaki, Hiroki Nakanishi, Satoshi Eguchi, Masaki Ishikawa, Akira Suzuki, Junko Sasaki
2. 発表標題 A method for studying quality of phosphoinositides
3. 学会等名 第39回日本分子生物学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 川畑公人
2. 発表標題 ABCG2 高発現はMDS症例に特異的でマウスモデルにおいてMDSを発症させる
3. 学会等名 第75回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Fukutomi, M. and Ogawa, H.
2. 発表標題 Acoustic stimulus impacts on directional variability of wind-elicited walking behavior in the cricket.
3. 学会等名 46th Annual Meeting of Society for Neuroscience (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 塩見 美喜子
2. 発表標題 Activation of the ping-pong cycle in Drosophila ovarian somatic cells
3. 学会等名 EMBO Workshop (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kyo Koizumi, . Masaaki Sato, Junichi Nakai, Masamichi Ohkura, Yasunori Hayashi, Hiromu Yawo
2. 発表標題 All-optical approach to study mesoscopic circuitry in the primary somatosensory cortex of mouse
3. 学会等名 第39回日本神経科学大会
4. 発表年 2016年



1. 発表者名 上野浩司, 横内美保子, 石原武士, 末光俊介, 高雄啓三, 宮川剛, 岡本基
2. 発表標題 Altered Perineuronal net expression in autistic-like behavior in Fc $\gamma$ RIIB knockout mice
3. 学会等名 第 39 回日本神経科学大会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 伊藤政之、山下真梨子、奥野浩行、阿部学、山崎真弥、夏目里恵、崎村建司、星野幹雄、三品昌美、林 崇
2. 発表標題 AMPA 受容体パルミトイル化による興奮性シナプスの機能維持とその異常に伴うてんかん発作
3. 学会等名 第 39 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 永瀬玲奈
2. 発表標題 Analysis of Asx11-MT conditional knock-in mice
3. 学会等名 第 78 会日本血液学会学術総会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 Nagase R, Inoue D, Saika M, Hou HA, Chou WC, Kawabata KC, Harada H, Kanai A, Goyama S, Honda H, Tien HF, Kitamura T
2. 発表標題 Analysis of MDS mice model induced by ASXL1 and RUNX1 mutants
3. 学会等名 45th Annual Scientific Meeting of ISEH (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Tetsuhisa Otani, Shinsaku Tokuda, Mika Watanabe, and Mikio Furuse
2. 発表標題 Are Tight Junctions required for epithelial polarity?
3. 学会等名 第6回生理研-名大医学部合同シンポ
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kagawa T, Yamaguchi Y, Sudo G, Kokubu Y, Hattori S, Takao K, Miyakawa T, Inazawa J, and Taga T
2. 発表標題 Astroglial development is regulated by DNA and histone methylation: from molecular basis to behavioral abnormalities in gene-manipulated mice.
3. 学会等名 Cold Spring Harbor Asia meeting on Novel Insights into Glia Function & Dysfunction (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 Autophagy defect and tumor development in mouse livers
3. 学会等名 Asian Pacific Association for the Study of Liver (APASL) Single Topic Conference (STC) 2016 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 Autophagy defect and tumor development in mouse livers
3. 学会等名 Cold Spring Harbor Asia Ubiquitin Family, Autophagy and Disease (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 Autophagy-adaptors regulate cellular metabolism through multiple transcription-factor pathways
3. 学会等名 KEYSTONE SYMPOSIA Autophagy: Molecular and Physiological Mechanisms (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 伊藤 尚文、太田訓正
2. 発表標題 Bacterial ribosome incorporation into somatic cells promotes reprogramming towards multipotency without activating cell proliferation
3. 学会等名 第6回オルソオルガノジェネシス検討会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 塩見 美喜子
2. 発表標題 Biogenesis of PIWI-interacting RNA
3. 学会等名 Regulatory & non-Coding RNAs (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 吉岡直樹、松岡冬樹、福田勉、岩尾正倫
2. 発表標題 BIQ 骨格を持つ新規トポイソメラーゼ I 阻害剤の設計と合成
3. 学会等名 第53回化学関連支部合同九州大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 吉岡直樹、松尾祐理、松岡冬樹、福田勉、岩尾正倫
2. 発表標題 BIQ 骨格を持つ新規トポイソメラーゼ I 阻害剤の設計・合成・活性評価
3. 学会等名 第 34 回メディシナルケミストリーシンポジウム
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 村上拓冬, 奥田耕助, 小林静香, 深谷昌弘, 高雄啓三, 渡邊紀, 萩原舞, 阪上洋行, 水口雅, 宮川剛, 真鍋俊也, 田中輝幸
2. 発表標題 CDKL5 controls postsynaptic NMDA receptor localization and regulates memory, emotion and seizure susceptibility
3. 学会等名 第 39 回日本神経科学大会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 Nakamura, K.
2. 発表標題 Central pathways for cold-induced thermogenesis
3. 学会等名 The Wenner-Gren Foundations International Symposium "Brown adipose tissue and eutheria", (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 Fukamachi, H., Nishikawaji, T., Shimada, S., Akiyama, Y., Yuasa, Y., Tsuchiya, K., Tanaka, S.
2. 発表標題 Characteristics of diffuse-type gastric cancer stem cells.
3. 学会等名 26th Seoul Int. Cancer Symp. -Epigenetic Signature of Carcinogenesis (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ishii A, Watkins J, Chen D, Hirose S, Hammer M
2. 発表標題 Characteristics of SCN1A Mutation locations in a Cohort of 285 Japanese Dravet Syndrome Patients
3. 学会等名 AES Annual Meeting
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 菊池章
2. 発表標題 CKAP4 functions as a novel receptor for Dickkopf1 and might represent a therapeutic target for cancers
3. 学会等名 2nd KI-OU Joint Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 大橋りえ, 高雄啓三, 宮川剛, 椎名伸之
2. 発表標題 Comprehensive behavioral analysis of RNG105 heterozygous mice: reduced social interaction and attenuated response to novelty
3. 学会等名 第 39 回日本神経科学大会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 森亮一、田中克弥
2. 発表標題 Comprehensively identification of inflammation-related microRNA in skin wound healing using next generation sequencing
3. 学会等名 Annual Meeting for Society for Plastics and Regenerative Science
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 Kikuta S, Nakamura Y, Yamamura Y, Homma N, Yanagawa Y, Tamura H, Kasahara J, Osanai M
2. 発表標題 Correlation between the neuronal activity and the severity of Parkinson's disease in mouse model.
3. 学会等名 第 39 回日本神経科学大会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 柴田理沙、任月、渡会浩志
2. 発表標題 CRISPR/hCas9 による iNKT 細胞欠損マウスの創出と生体機能評価
3. 学会等名 第 39 回日本分子生物学会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 笹岡 俊邦, 佐藤 朝子, 知見 聡美, 大久保 直, 前島 純, 新井 慧, 砂山 智子, 小田 佳奈子, 酒井 清子, 前田 宜俊, 神保 幸弘, 中尾 聡宏, 佐藤 俊哉, 藤澤 信義, 横山 峯介, 南部 篤
2. 発表標題 D1 ドーパミン受容体を介する神経伝達は運動情報の伝達と運動の発現に不可欠である
3. 学会等名 第 39 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 笹岡 俊邦, 佐藤 朝子, 知見 聡美, 大久保 直, 前島 純, 新井 慧, 砂山 智子, 小田 佳奈子, 酒井 清子, 前田 宜俊, 神保 幸弘, 馬川 恵梨子, 佐藤 俊哉, 藤澤 信義, 横山 峯介, 南部 篤
2. 発表標題 D1 ドーパミン受容体を介する神経伝達は運動情報の伝達と運動の発現に不可欠である
3. 学会等名 第 57 回 新潟生化学懇話会
4. 発表年 2016 年



1. 発表者名 Hiroki Oguri
2. 発表標題 Development of Artificial Assembly Lines of Natural Products and its Variants
3. 学会等名 Asian 3 Roundtable on Nucleic Acids and Chemical Probe Research Hab Fukuoka (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Y. UEDA; K. NAKAMURA
2. 発表標題 Different population of primate caudate neurons is involved in decision making under different emotional context.
3. 学会等名 Society for neuroscience meeting 2016
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 清水昭男、Xiaoling Pang、栗田宗一、竹内圭介、石田哲夫、扇田久和
2. 発表標題 Dipeptidyl peptidase III によるアンジオテンシン II 分解の生化学的解析と高血圧マウスモデルにおける降圧作用の検討
3. 学会等名 日本生化学会近畿支部例会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Matsumoto M, Yatsuka Y, Suzuki S, Sugahara-Yamashita Y, Nikaido I, Ssagawa Y, Momma N, Igata J, Ikeo K, Bando M, Shirahige K, Vale WW, Okazaki Y
2. 発表標題 Direct conversion of somatic cells into pancreatic islet-like cells towards regenerative medicine of diabetes
3. 学会等名 14th RCGM International Academic Frontier (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kunimasa Ohta
2. 発表標題 Disruption of Tsukushi leads to hydrocephalus by aberrant neurogenesis
3. 学会等名 第14回 幹細胞シンポジウム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ogawa, H. and Mitani, R
2. 発表標題 Diversity of GABAergic inhibitory impacts on dendritic integration for directional tuning in insect mechanosensory projection neurons
3. 学会等名 46th Annual Meeting of Society for Neuroscience (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 齋賀真言
2. 発表標題 Down regulation of TGFb pathway is the crux of leukemogenesis by SETBP1 mutation in ASXL1-mutated MDS
3. 学会等名 第 78 会日本血液学会学術総会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 Ohkuma Y, Nakamura T, Akimoto Y, Fukuoka M, Hirose Y, Tanaka A.
2. 発表標題 Dynamic Switch Mechanism of RNA polymerase II by General Transcription Factor TFIIE from Transcription Initiation to the Transition Step from Intiation to Elongation
3. 学会等名 第 39 回日本分子生物学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 大里元美
2. 発表標題 Enhancer for Runx1, eR1: a powerful tool in stem cell and cancer biology
3. 学会等名 第 14 回 幹細胞シンポジウム
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 大里元美
2. 発表標題 Enhancer for Runx1, eR1: a powerful tool in stem cell and cancer biology
3. 学会等名 第39回日本分子生物学会 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 菊池章
2. 発表標題 Epithelial morphogenesis regulated by Wnt signaling and implication in tumorigenesis due to its abnormality
3. 学会等名 The 3rd Diabetes Research Innovation Symposium 2016. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Akira Kikuchi
2. 発表標題 Epithelial morphogenesis regulated by Wnt signaling and implications in tumorigenesis due to its abnormality
3. 学会等名 Wnt Meeting 2016 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Nishio N, Ishikawa AW, Yoshimura Y
2. 発表標題 Experience dependent maturation of spatial frequency tunings in excitatory and inhibitory neurons in mouse primary visual cortex.
3. 学会等名 The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 Yoshimura Y
2. 発表標題 Experience-dependent development of fine-scale networks and feature-selective synchronization in the visual cortex.
3. 学会等名 International Symposium 2016 ‘Circuit Construction in the Mammalian Brain’ (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 Yoshimura Y
2. 発表標題 Experience-dependent maturation of neural circuits and functions in the secondary visual cortex of rats.
3. 学会等名 The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 北村俊雄
2. 発表標題 Expression of ABCG2 is regulated in EZH2-related MDS and associated with its pathogenesis
3. 学会等名 第 78 会日本血液学会学術総会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 Sashida G, Wang C, Sato D, Oshima M, Matsui H, Nakajima-Takagi Y, Kashio-Mochizuki M, Iwama A.
2. 発表標題 Ezh2 loss promotes the transformation of ETP-ALL via suppressing T-cell differentiation regulators
3. 学会等名 第 78 回日本血液学会学術集会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 菊池章、松本真司、藤井慎介
2. 発表標題 Fine-tuning regulation of salivary gland morphogenesis and differentiation by Wnt Signaling.
3. 学会等名 第 39 回日本分子生物学会年会 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 Nakamura T, Nomura N, Mitsumizu H, Hirose Y, Tanaka A, Ohkuma Y.
2. 発表標題 Functional analysis of archaeal DNA-binding protein Sso7d
3. 学会等名 The First International Symposium on Toyama-Asia-Africa Pharmaceutical Network (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ohta S, Ishikawa M, Kawakami Y, Okano H
2. 発表標題 Functional analysis of MIF in human iPSCs
3. 学会等名 第39回日本分子生物学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yueren Liu, Tomokazu Ohshiro, Hiromu Yawo
2. 発表標題 Functional mapping of rat barrel cortex for spatiotemporal optogenetic patterns to whisker
3. 学会等名 第39回日本神経科学大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Saitoh M, Hoshino A, Ishii A, Ihara Y, Hirose S, Mizuguchi M
2. 発表標題 Genetic predisposition to acute encephalopathy with status epilepticus.
3. 学会等名 The 18th annual meeting of infantile seizure society International Symposium on Acute Encephalopathy in Infancy and Its Related Disorders (ISAE2016)
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 Hirose S
2. 発表標題 Genetics of epileptic encephalopathy
3. 学会等名 4th National Conference of Society for Indian Academy of Medical Genetics
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 高雄 啓三
2. 発表標題 Genomic responses in mouse models greatly mimic human inflammatory diseases. 「マウスはやはりヒト炎症性疾患のモデルになる -バイオインフォマティクス的手法によるマウスモデルの再評価-」
3. 学会等名 第 54 回日本生物物理学会年会,
4. 発表年 2016 年



1. 発表者名 Kohtarou Konno, Koji Nishikawa, Shinji Yamada, Kenji Sakimura, Michisuke Yuzaki, Masahiko Watanabe.
2. 発表標題 GluD1 and Cbln1 interaction plays an important role in synapse formation between particular neurochemical neurons in the parabigeminal nucleus and dorsolateral geniculate nucleus.
3. 学会等名 第 39 回日本神経科学大会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 Yamanaka A
2. 発表標題 Good Sleep: Relief from Sleep Disorders
3. 学会等名 Fifteenth Japanese-American Kavli Frontiers of Science Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 馬場理也
2. 発表標題 GPNMB は TFE3 活性化腎細胞癌の診断マーカーとして有用である
3. 学会等名 第 47 回腎癌研究会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 馬場理也、古屋充子、蓮見壽史、加藤生真、長嶋洋治、黒田直人、高橋 渡、河野吉昭、元島宗信、矢尾正祐、江藤正俊
2. 発表標題 GPNMB は TFE3 活性化腎細胞癌の診断マーカーとして有用である
3. 学会等名 第 68 回西日本泌尿器科学会総会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 Steven A. Connor, Ina Ammendrup-Johnsen, Tohru Yamamoto, Ann Marie Craig, et al.
2. 発表標題 Haploinsufficiency of the neuronal surface protein MDGA2 enhances excitatory synapse development, alters cortical circuit dynamics and yields behavioral phenotypes consistent with autism in mice
3. 学会等名 Society for Neuroscience annual meeting (国際学会)
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 Tarusawa E, Sanbo M, Okayama A, Miyashita T, Kitsukawa T, Hirayama T, Hirabayashi T, Hasegawa S, Hirabayashi M, Yagi T, Yoshimura Y
2. 発表標題 High reciprocal connectivity between clonal cortical neurons is established under the guidance of epigenetic regulation.
3. 学会等名 Neuro2016
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 Ryo Egawa, Hiromu Yawo
2. 発表標題 How do axons scramble for targets? - Activity-dependent axonal reorganization in developing chick ciliary ganglion
3. 学会等名 第 39 回日本神経科学大会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 Hirose S
2. 発表標題 How to interpret the results of a genetic test for epilepsy
3. 学会等名 11th Asian & Oceanian epilepsy congress (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 家村顕自、永井正義、谷俊幸、吉川貴子、大隅典子、 田中耕三
2. 発表標題 HP1 結合分子 CAMP の個体における機能解析
3. 学会等名 クロマチン動構造ワークショップ
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 Yamanaka A
2. 発表標題 Hypothalamic melanin concentrating hormone (MCH) neurons inhibiting memory formation during sleep
3. 学会等名 Neuroscience 2016 Sattelite Meeting "Wiring and Functional Principles of Neural Circuits" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yamanaka A
2. 発表標題 Hypothalamic neurons regulate sleep/wakefulness and memory
3. 学会等名 CNS Collaborators Day 2016 "Emerging Techniques" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yamanaka A
2. 発表標題 Hypothalamic neurons regulate sleep/wakefulness and memory
3. 学会等名 The 5th Annual IIIS Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Fukamachi, H., Nishikawaji, T., Shimada, S., Akiyama, Y., Yuasa, Y., Tsuchiya, K., Tanaka, S.
2. 発表標題 Identification of MTDs that suppress the growth of PDX-derived diffuse-type gastric tumor-initiating cells.
3. 学会等名 The 75th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Fujita C, Abe M, Yamasaki M, Fukasawa R, Hirose Y, Ohkuma Y.
2. 発表標題 Identification of novel factors interacting with kinase module subunits CDK8/19 of human Mediator complex
3. 学会等名 The First International Symposium on Toyama-Asia-Africa Pharmaceutical Network (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 森亮一
2. 発表標題 Identification of wound inflammation-related miRNAs: miR-223-deficient neutrophil improve Staphylococcus aureus-infected skin wound sites
3. 学会等名 EMBO conferences: The molecular and cellular basis of regeneration and tissue repair (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Daisuke Tatsuda, Isao Momose, Shun-ichi Ohba, Yoji Umezawa, Manabu Kawada, Masakatsu Shibasaki
2. 発表標題 Inhibition of osteosarcoma cell growth by geraniin in vivo
3. 学会等名 28th EORTC-NCI-AACR Molecular Targets and Cancer Therapeutics Symposium (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Junko Sasaki, Satoshi Kofuji, Hirotaka Kimura, Hiroki Nakanishi, Shunsuke Takasuga, Takehiko Sasaki
2. 発表標題 INPP4B suppresses thyroid tumorigenesis by dephosphorylating PI(3,4,5)P3
3. 学会等名 Colloquium on emerging metabolomics (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hiroyuki Igarashi, Ayaka Yoshikawa, Toshifumi Asano, Ayumu Konno, Toru Ishizuka, Hiromu Yawo
2. 発表標題 Intervention of the intracellular Ca <sup>2+</sup> dynamics by light - light-sensitive myoblasts as in vitro model of sarcomere assembly -
3. 学会等名 17th International Conference on Retinal Proteins (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hidetaka Katow, Toru Ishizuka, Hiromu Yawo
2. 発表標題 Involvement of caspase system in the regulation of axon arborization during early developmental stages of chick ciliary ganglion
3. 学会等名 第 39 回日本神経科学大会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 井原由紀子、友納優子、石井敦士、廣瀬伸一
2. 発表標題 Kcnq2 変異マウスの薬剤誘発てんかん発作に対する K <sup>+</sup> チャンネル開講薬の有効性
3. 学会等名 第 119 回日本小児科学会学術集会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 Takayuki Yamashita, Hideya Yuasa, Hiromu Yawo, Akihiro Yamanaka
2. 発表標題 Low-invasive optogenetical stimulation of neurons using near infra-red light
3. 学会等名 第 39 回日本神経科学大会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 Ohta S, Fukaya R, Yaguchi T, Matsuzaki Y, Sugihara E, Saya H, Kawakami Y, Kawase, T, Yoshida, Toda M, Okano H
2. 発表標題 Macrophage migration inhibitory factor (MIF) supports the cell proliferation in brain tumor-initiating cells
3. 学会等名 STEM CELLS & GENE THERAPY (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ohta S, Fukaya R, Yaguchi T, Matsuzaki Y, Sugihara E, Saya H, Kawakami Y, Kawase, T, Yoshida, Toda M, Okano H
2. 発表標題 Macrophage migration inhibitory factor (MIF) supports the cell proliferation in brain tumor-initiating cells
3. 学会等名 第42回内藤コンファレンス
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ohta S, Fukaya R, Yaguchi T, Matsuzaki Y, Sugihara E, Saya H, Okano H, Kawase, T, Yoshida, Toda M, Kawakami Y
2. 発表標題 Macrophage migration inhibitory factor (MIF) supports the cell proliferation in brain tumor-initiating cells
3. 学会等名 第75回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2016年



1. 発表者名 Mariko Yamashita, Hiroyuki Okuno, Manabu Abe, Maya Yamazaki, Rie Natsume, Kenji Sakimura, Mikio Hoshino, Masayoshi Mishina, Takashi Hayashi
2. 発表標題 Maintenance of excitatory-inhibitory balance in brain by AMPA receptor palmitoylation
3. 学会等名 第39回日本神経科学大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ryu Takeya, Tomoki Ushijima, Noriko Fujimoto, Meikun Kan-o, Yohko Kage, Hideki Sumimoto
2. 発表標題 Mammalian formin Fhod3 plays pivotal role in the brain development
3. 学会等名 第9回トランスポーター研究会九州部会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Takehiko Sasaki, Hiroki Nakanishi, Satoshi Eguchi, Masaki Ishikawa, Junko Sasaki
2. 発表標題 Measuring phosphoinositide molecular species using LC/MS/MS
3. 学会等名 Colloquium on emerging metabolomics (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Manabu Kawada, Hiroyuki Inouea, Masunori Kajikawa, Masahito Sugiura, Shuichi Sakamoto, Sakiko Urano, Chigusa Karasawa, Ihomi Usami, Mitsuru Futakuchi
2. 発表標題 Mechanism of action of a novel anti-tumor antibody, anti-CXADR 6G10A
3. 学会等名 28th EORTC-NCI-AACR Molecular Targets and Cancer Therapeutics Symposium (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Masaya Baba
2. 発表標題 Metabolic regulation of cell proliferation and differentiation by Flcn-Pgc1 $\alpha$ -axis
3. 学会等名 2nd Kumamoto IRCMS International Symposium and 17th Kumamoto AIDS seminar (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 近藤祥司
2. 発表標題 Metabolites in ageing and glycolysis in senescence
3. 学会等名 第一回日仏老化ワークショップ (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 小根山千歳
2. 発表標題 MicroRNA controls Src-induced tumor progression by regulating the focal adhesion-mediated signaling pathway
3. 学会等名 第 25 回日本がん転移学会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 小根山千歳、二宮悠一
2. 発表標題 MicrRNA-mediated up-regulation of c-Src-related signaling pathways promotes cancer progression.
3. 学会等名 第 75 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 Ohta S, Tokumitsu A, Sone T, SakamotoA, Kawakami Y, Okano H
2. 発表標題 MIF modulates the proliferation of neural stem/progenitor cells and glioma initiating cells
3. 学会等名 第 41 回日本分子生物学会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 森亮一
2. 発表標題 MiR-142 は皮膚創部における黄色ブドウ球菌感染防御に必須である
3. 学会等名 第 62 回日本病理学会秋期特別総会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 大平崇人, 砂村直洋, 稲岡大悟, 中山祐二, 押村光雄, 岡田太, 尾崎充彦, 久郷裕之
2. 発表標題 miR-19b up-regulates hTERT expression by inhibition of PITX1 in melanoma cells.
3. 学会等名 第 13 回 国際人類遺伝学会 (国際学会)
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 大平崇人, 砂村直洋, 押村光雄, 岡田太, 尾崎充彦, 久郷裕之
2. 発表標題 miR-19b は, メラノーマにおいて PITX1 を標的としてテロメラーゼ活性を制御する
3. 学会等名 第 10 回日本エピジェネティクス研究会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 平尾敦
2. 発表標題 Molecular mechanism linking hematopoietic stem cell aging and leukemogenesis.
3. 学会等名 Fifth JCA-AACR Special Joint Conference on the Latest Advances in Hematological Cancer Research (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 平尾敦
2. 発表標題 Molecular mechanism regulating stem cell properties mediated by nutrient signals.
3. 学会等名 46th International Symposium of the Princess Takamatsu Cancer Research Fund (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 塩見 美喜子
2. 発表標題 Molecular Mechanism Underlying piRNA Biogenesis
3. 学会等名 第39回日本分子生物学会年会 (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 S Hattori, H Shoji, K Takao, T Miyakawa
2. 発表標題 Mouse Behavioral Phenotype Database.
3. 学会等名 INCF Japan International Workshop: Advances in Neuroinformatics,
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hisakazu Ogita, Dimitar P. Zankov
2. 発表標題 Myocardial afadin attenuates chronic pressure overload-induced cardiac damage via transforming growth factor $\beta$ receptor-mediated signaling
3. 学会等名 American Heart Association (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Dimitar P. Zankov, Akio Shimizu, Hisakazu Ogita
2. 発表標題 Myocardial afadin critically oppose myocardial injury during chronic pressure overload in mice.
3. 学会等名 日本生化学会大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Keiko Umeda, Shoko Hososhima, Toru Ishizuka, Hiromu Yawo, Wataru Shoji
2. 発表標題 Near-infrared (NIR) controlled optogenetics in zebrafish larva
3. 学会等名 発生物学会第 49 回大会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 Nobuhiro Okada, Masahiro Shimazaki, Kiyotsugu Yoshikawa
2. 発表標題 NFYA is required for cancer heterogeneity formation
3. 学会等名 第 41 回内藤コンファレンス
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 Nobuhiro Okada, Chiaki Takahashi
2. 発表標題 NFYA regulates multistep process of cancer heterogeneity formation
3. 学会等名 第 75 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 勝島啓佑、新城恵子、大岡史治、市村典久、畑中彬良、夏目敦至、柴田龍弘、近藤豊
2. 発表標題 Notch シグナルにより誘導される long non-coding RNA による脳腫瘍幹細胞の未分化性維持に関する研究
3. 学会等名 平成 27 年度「個体レベルでのがん研究支援活動」ワークショップ
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 勝島啓佑、夏目敦至、大岡史治、新城恵子、市村典久、畑中彬良、柴田龍弘、宮田完二郎、片岡一則、近藤豊
2. 発表標題 Notch シグナルにより誘導される長鎖非翻訳 RNA TUG1 を標的としたグリオーマ治療薬の開発に関する研究
3. 学会等名 第 75 回日本癌学会学術総会（招待講演）
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 Takuma Shibata
2. 発表標題 Nucleosides are endogenous ligands for TLR7 and TLR8
3. 学会等名 Keystone symposium (Viral immunity)（国際学会）
4. 発表年 2016 年



1. 発表者名 Yue Ren, Risa Shibata, Etsuko Sekine-Kondo, Hiroshi Watarai.
2. 発表標題 Obesity Study by Using a Novel Mouse Model of Invariant Natural Killer T Cell-deficiency Generated by CRISPR/hCas9.
3. 学会等名 第 45 回日本免疫学会学術集会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 古瀬民生、三宅邦夫、幸田尚、三浦郁生、串田知子、山田郁子、柏村実生、金田秀貴、小林喜美男、石野史敏、若菜茂晴
2. 発表標題 One carbon metabolism 連遺伝子欠損マウスを親に持つ野生型マウスの行動表現型解析
3. 学会等名 39 回日本神経科学大会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 及川大輔、中澤世識、石井亮平、綾木孝、石谷隆一郎、伊東秀文、濡木理、徳永文稔
2. 発表標題 Optineurin 遺伝子変異に伴う ALS 発症における直鎖状ポリユビキチン鎖の寄与
3. 学会等名 第 494 回大阪市医学会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 Kenta Abe, Hiromu Yawo
2. 発表標題 Optogenetic conditioning of paradigms discrimination in the rat whisker-barrel system
3. 学会等名 第 39 回日本神経科学大会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 Mohammad Hoque, Toru Ishizuka, Hiromu Yawo
2. 発表標題 Optogenetic silencing of neural activity using a chimeric light-driven Na <sup>+</sup> -transporter rhodopsin
3. 学会等名 第 39 回日本神経科学大会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 Kenta Takashima, Naoji Matsuhisa, Akira Shimada, Peter Zalar, Tomoyuki Yokota, Masaki Sekino, Hiromu Yawo, Takao Someya, Hiroshi Onodera
2. 発表標題 Optogenetics therapy for restoring locomotion after severe spinal cord injury
3. 学会等名 第 39 回日本神経科学大会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 上野博夫
2. 発表標題 Organoids of tongue and esophagus
3. 学会等名 EMBO   EMBL Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Daisuke Tatsuda Manabu Kawada Isao Momose
2. 発表標題 p53-dependent growth suppression of cancer cells by coccoquinones
3. 学会等名 第75回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 立田大輔 百瀬 功 川田 学 柴崎正勝
2. 発表標題 p53 依存的な細胞増殖を阻害する新規アンスラキノン化合物
3. 学会等名 第20回がん分子標的治療学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 大木理恵子
2. 発表標題 p53 標的遺伝子 IER5 は新規の低リン酸化型の活性化 HSF1 を作り出し、がん化を促進する
3. 学会等名 第 11 回 臨床ストレス応答学会大会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 p62/Sqstm1 promotes malignancy of HCV-positive hepatocellular carcinoma through Nrf2-dependent metabolic reprogramming
3. 学会等名 第 4 回がんと代謝研究会 in 鹿児島
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 p62/Sqstm1 promotes malignancy of hepatocellular carcinoma through Nrf2-dependent metabolic reprogramming
3. 学会等名 2016 Minisymposium on Autophagy at IBC Taiwan meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 Pathophysiological roles of autophagy in mice
3. 学会等名 International Symposium of the Center for Animal Diseases Models (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 日暮憲道、廣瀬伸一
2. 発表標題 PCDH19 関連てんかんの最新事情
3. 学会等名 第58回日本小児神経学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 大平 崇人, 小島 裕正, 黒田 悠子, 稲岡 大悟, 森脇 鏡后, 春日 健人, 片岡 美喜, 押村 光雄, 井上 敏昭, 久郷裕之
2. 発表標題 PITX1 タンパク質は hTERT 発現を制御するために ZCCHC10 と相互作用する
3. 学会等名 第39回日本分子生物学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 塩見 美喜子
2. 発表標題 PIWI-interacting RNAs in animals
3. 学会等名 CNAF 2016 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ishii A, Watkins J C, Chen D, Hirose S, Hammer M F, the Japanese Febrile Seizures and Epilepsy Working Group.
2. 発表標題 Predictions of regression of intellectual disability and measuring efficacy of medication in 286 Japanese cohort of Dravet syndrome with SCN1A missense and truncation mutations
3. 学会等名 11th Asian & Oceanian epilepsy congress (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yoshiyuki Kasahara, Sachie Suzuki, Yuji Onouchi, Ayaka Yoshida, Chiaki Ono, Yoshie Kikuchi, Zhiqian Yu, Hiroaki Tomita
2. 発表標題 Pregnant mice exposure to extreme level of oxytocin influences emotional and social behaviors of the offsprings after growing up.
3. 学会等名 30th CINP WORLD CONGRESS OF NEUROPSYCHOPHARMACOLOGY (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Sugita A, Yanagisawa N, Ishiguro H, Wani S, Tabuchi Y, Ohkuma Y, Hirose Y.
2. 発表標題 Regulation of gene expression by the phosphorylated CTD interacting factor PCIF1
3. 学会等名 RNA2016 The 21th Annual Meeting of the RNA Society (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Naganuma T, Takagi S, Kanetake T, Kitamura T, Sassa T, Kihara A
2. 発表標題 Retarded skin barrier recovery and an increased keratinocyte growth in Sjögren-Larsson syndrome gene ALDH3A2 knockout mice.
3. 学会等名 1st Korea-Japan Bioactive Lipid Joint Symposium (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Tetsuhisa Otani, Shinsaku Tokuda, Mika Watanabe, and Mikio Furuse
2. 発表標題 Revisiting the roles of Tight Junctions in epithelial polarity
3. 学会等名 第68回日本細胞生物学会大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 伊藤尚文、Adil Ishtiyaq、西津綾香、太田訓正
2. 発表標題 Ribosome Incorporation into Somatic Cells Promotes Reprogramming towards Multipotency without Activating Cell Proliferation .
3. 学会等名 The 4th Ribosome Meeting.
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 Midori Tateyama, Etsuko Sekine-Kondo, Kazuya Iwabuchi, Hiroshi Watarai.
2. 発表標題 Role of CD1d in the development of invariant natural killer T cells.
3. 学会等名 第 45 回日本免疫学会学術集会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 Bhandari P, Parajuli LK, Takao K, Miyakawa T, Kobayashi Y, Tanaka KF, Shigemoto R
2. 発表標題 Role of R-type calcium channel (Cav2.3) in medial habenula to interpeduncular nucleus pathway
3. 学会等名 46th Annual meeting of Society for Neuroscience (招待講演)
4. 発表年 2016 年



1. 発表者名 Yamashita-Sugahara Y, Matsumura R, Sato T, Matsutani T, Nakachi Y, Aizawa E, Iwanaga Y, Matsumoto M, Mitani K, Okazaki Y
2. 発表標題 Screening of chemical promoting $\beta$ cell differentiation using double fluorescence-labeled human iPS cells (hIveNry)
3. 学会等名 14th RCGM International Academic Frontier (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Sasagawa M, Ota H, Kikuta S, Homma N, Kobayashi K, Osanai M
2. 発表標題 Short-term synaptic plasticity in the striatal projection neurons.
3. 学会等名 計測自動制御学会ライフエンジニアリング部門シンポジウム 2016
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Alemeh Zamani, Toru Ishizuka, Hiromu Yawo
2. 発表標題 Spectral characteristics of chimeric channelrhodopsins implicate the molecular identity involved in desensitization
3. 学会等名 第54回日本生物物理学会年会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Karaki T, Kim R, Bito H, Yoshimura Y
2. 発表標題 Synaptic connections are preferentially formed between cortical pyramidal neurons with similar orientation preference in both layers 2/3 and 5.
3. 学会等名 The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 上田康雅, 中村加枝
2. 発表標題 The aversive stimulus affect decision making, modulate autonomic response and neuronal activity in the primate caudate
3. 学会等名 第39回日本神経科学大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Fujita T, Ideguchi H, Watanabe E, Tomonoh Y, Ihara Y, Inoue T, Takahashi Y, Hirose S
2. 発表標題 The effect of steroid pulse therapy on a case of Dravet
3. 学会等名 The 18th annual meeting of infantile seizure society International Symposium on Acute Encephalopathy in Infancy and Its Related Disorders (ISAE2016)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Sashida G, Wang C, Tomioka T, Oshima M, Aoyama K, Kanai A, Mochizuki-Kashio M, Harada H, Shimoda K, Iwama A.
2. 発表標題 The loss of Ezh2 cooperates with an active JAK2 mutant in the pathogenesis of myelofibrosis and sensitizes tumor-initiating cells to bromodomain inhibition
3. 学会等名 2016 Annual Meeting-International Society for Experimental Hematology (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Takanori Nakamura, Mutsuhiro Takekawa
2. 発表標題 The molecular mechanisms that maintain the numerical integrity of centrosomes
3. 学会等名 American Society of Cell Biology (ASCB) annual meeting (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 安田正治, 中村加枝
2. 発表標題 The physiological analysis of emotion-cognition interaction in reversal learning in macaque monkey
3. 学会等名 第39回日本神経科学大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yamanaka A
2. 発表標題 The physiological role of orexinergic neurons in the regulation of sleep wakefulness, pain and metabolism
3. 学会等名 International Conference of Sleep Medicine and Research (ISSR 2017) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ippei Shimizu
2. 発表標題 The role of adipose dysfunction in heart failure and obesity.
3. 学会等名 Annual Spring Scientific Conference of the Korean Society of Cardiology in conjunction with KSIC, KSE, and KSLA & The 8th Asian Pacific Congress of Heart failure (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yamanaka A
2. 発表標題 The role of hypothalamic peptidergic neurons in the regulation of brain states.
3. 学会等名 10th FENS Forum of Neuroscience 2016 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Nakao A, Takao K, Ohira K, Miyazaki N, Murata K, Miyakawa T
2. 発表標題 Three-dimensional analysis of dendritic spines and mitochondria in dentate gyrus granule cells in Schnurri-2 knockout mice, an animal model for schizophrenia
3. 学会等名 46th Annual meeting of Society for Neuroscience (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 山本誠司, 萩原衆子, 堀内祥行, 奥井文, 吉田徳幸, 井上貴雄, 田中亜紀, 松久明生, 廣瀬豊, 大熊芳明
2. 発表標題 TLR9 活性化の際のメディエーターキナーゼによる転写制御の解析
3. 学会等名 第 39 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ohta S, Kawakami Y, Okano H
2. 発表標題 TPT1 regulates the proliferation and/or survival of Neural stem/progenitor cells
3. 学会等名 第 59 回日本神経化学学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yamaguchi Y, Hattori S, Takao K, Okumura Y, Suenaga S, Ishii I, Honda A, Ogawa M, Usui S, Miyakawa T
2. 発表標題 Tutorial contents on neuroinformatics platforms
3. 学会等名 46th Annual meeting of Society for Neuroscience (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hiromu Yawo, Shoko Hososhima, Mohammad Razuanul Hoque, Hideya Yuasa, Takayuki Yamashita, Akihiro Yamanaka, Toru Ishizuka
2. 発表標題 Up-conversion optogenetic system using near-infrared (NIR) light
3. 学会等名 第39回日本神経科学大会 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Shoko Hososhima, Hideya Yuasa, Toru Ishizuka, Hiromu Yawo
2. 発表標題 Upconversion-rhodopsin hybrid system for near-infrared optogenetics
3. 学会等名 17th International Conference on Retinal Proteins, (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Motozono, C., Tsuji-Kawahara, S., Takamura, S. and Miyazawa, M.
2. 発表標題 Vaccine-elicited preferential induction of polyfunctional Th cells is associated with protection against acute retroviral infection.
3. 学会等名 International congress of Immunolgy (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ishikawa AW, Komatsu Y, Yoshimura Y
2. 発表標題 Visual experience-dependent and independent development of visually-evoked synchronized firing in rat visual cortex.
3. 学会等名 The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 村上 拓冬、奥田 耕助、小林 静香、深谷 昌弘、高雄 啓三、近江 信次、渡邊 紀、萩原 舞、阪上 洋行、水口 雅、宮川 剛、真鍋 俊也、田中 輝幸
2. 発表標題 West 症候群・Rett 症候群の原因遺伝子 CDKL5 は後シナプス NMDA 受容体局在を制御し、記憶・学習、情動、易痙攣性を調節する
3. 学会等名 第 39 回日本分子生物学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 佐藤朗、前原奈都美、扇田久和、菊池章
2. 発表標題 Wnt5a シグナルは炎症を背景とした大腸がん形成に促進的に作用する
3. 学会等名 日本分子生物学会年会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 菊池章、佐藤朗
2. 発表標題 Wnt シグナルの異常によるがん転移
3. 学会等名 第 75 回日本癌学会学術総会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 中原茜、吉田昇太、安在瑞穂、福田勉、石橋郁人、岩尾正倫
2. 発表標題 アザラメラリン N 誘導体の効率的合成
3. 学会等名 第 53 回化学関連支部合同九州大会
4. 発表年 2016 年



1. 発表者名 中原茜、吉田昇太、安在瑞穂、福田勉、石橋郁人、岩尾正倫
2. 発表標題 アザラメラリン N 誘導体の効率的合成
3. 学会等名 第 53 回化学関連支部合同九州大会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 平畑美緒、津毛美乃里、尾崎充彦、岡田 太
2. 発表標題 イヌ骨肉腫細胞を用いた miR-143 による肺転移抑制効果の検討～前臨床に向けた取り組み～
3. 学会等名 第 25 回日本がん転移学会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 佐々木雄彦
2. 発表標題 イノシトールリン脂質代謝と病態
3. 学会等名 第 25 回大会日本脂質栄養学会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 山口憲孝, 中山祐治, 山口直人.
2. 発表標題 エストロゲン依存性乳癌細胞のタモキシフェン耐性獲得機構の解析.
3. 学会等名 第 39 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 オートファジーの異常と肝腫瘍：オートファジー欠損マウスからわかったこと
3. 学会等名 宮城県立がんセンター研究所セミナー（招待講演）
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 オートファジーの異常と疾患
3. 学会等名 第 35 回分子病理学研究会（招待講演）
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 オートファジーの高次機能と多様性
3. 学会等名 第10回オートファジー研究会・第4回新学術「オートファジー」班会議
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 オートファジー選択的基質 p62/SQSTM1 によるがん代謝再編成
3. 学会等名 第89回日本生化学会大会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 八尾寛
2. 発表標題 オール光の in vivo メゾスコピック脳機能解析
3. 学会等名 第39回日本神経科学大会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 八尾寛
2. 発表標題 オプトジェネティクス革命
3. 学会等名 第54回日本生物物理学会年会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 八尾寛
2. 発表標題 オルガネラ光操作
3. 学会等名 第1回ルミノジェネティクス研究会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 オレキシンとは？ 睡眠覚醒調節における役割について
3. 学会等名 長岡不眠症フォーラム（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 オレキシン受容体拮抗薬とベンゾ系・非ベンゾ系薬との作用メカニズムの違いについて
3. 学会等名 高齢者不眠症セミナー（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 犬束 歩、山下 哲、スリカント チョドリ、田口 徹、山中章弘
2. 発表標題 オレキシン神経による鎮痛作用
3. 学会等名 第 36 回鎮痛薬・オピオイドペプチシンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 高祖 秀登
2. 発表標題 グリオーマにおける新規がん抑制遺伝子 LARP4B の同定
3. 学会等名 第 75 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 林 崇、山下真梨子、奥野浩行、阿部学、山崎真弥、夏目里恵、崎村建司、星野幹雄、三品昌美
2. 発表標題 グルタミン酸受容体パルミトイル化による興奮性/抑制性神経活動のバランス制御と抗てんかん薬の作用
3. 学会等名 第 46 回日本神経精神薬理学会年会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 染谷真琴, 小川宏人
2. 発表標題 コオロギの初期感覚情報処理における多感覚統合
3. 学会等名 第 39 回日本神経科学大会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 福富又三郎, 小川宏人
2. 発表標題 コオロギ気流誘導性歩行運動と下行性神経活動は先行する聴覚刺激によって修飾される
3. 学会等名 第 39 回日本神経科学大会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 佐藤和, 小川宏人
2. 発表標題 コオロギ気流誘発性逃避行動における成虫脱皮後の経時的变化
3. 学会等名 第 39 回日本神経科学大会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 千葉惇、生塩研一、稲瀬正彦
2. 発表標題 サル内側運動前野における時間分類に関わる神経細胞応答
3. 学会等名 第 39 回日本神経科学大会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 山本 融 Steven A. Connor 岸本 泰司 Ina Ammendrup-Johnsen 栗原 直和 村山 千明 鈴木 利治 Ann Marie Craig
2. 発表標題 シナプス形成抑制因子 MDGA2 のヘミ欠失マウスは興奮性入力の亢進によりもたらされる自閉症スペクトラム障害のモデルとなる
3. 学会等名 第 39 回分子生物学会年会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 西住(渡海)紀子, 中村貴紀, 武川睦寛
2. 発表標題 ストレス応答 MAPK 経路依存的に発現調節される miRNA の同定
3. 学会等名 第 39 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 谷藤 涼、大栗博毅、額額健人、高倉美智子、浅野竜太郎、早出広司、南 篤志、及川英秋
2. 発表標題 テトラヒドロイソキノリンアルカロイドの化学-酵素ハイブリッド合成
3. 学会等名 第 33 回有機合成化学セミナー
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 笹岡俊邦
2. 発表標題 ドーパミン受容体及びNMDA受容体変異マウスを用いた大脳基底核回路の機能解析
3. 学会等名 「非線形発振現象を基盤としたヒューマンネイチャーの理解」 第 2 回領域会議 (主催: オシロロジー総括班・国際活動支援班)
4. 発表年 2016 年



1. 発表者名 谷口友章、坪内 彰、大栗博毅
2. 発表標題 ビスピロリジノインドリン骨格を活用した発光性希土類錯体の骨格多様化合成
3. 学会等名 第 37 回光化学若手の会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 藤田智陽, 安倍光姫, 山崎愛実, 深澤力也, 廣瀬豊, 大熊芳明
2. 発表標題 ヒトメディエーター複合体 kinase モジュール構成サブユニット CDK8/19 の新規結合因子の同定
3. 学会等名 第 39 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 山中章弘、犬東 歩、山下 哲、田口 徹
2. 発表標題 ファイバーフォトメトリを用いた視床下部オレキシン神経活動の記録
3. 学会等名 第 39 回日本神経科学大会 (招待講演)
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 ファイバーレス光遺伝学開発と睡眠覚醒・記憶操作への応用
3. 学会等名 ルミノジェネティクス研究会 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Naofumi Ito, Adil Ishtiyag, Ayaka Nishidzu., Kunimasa Ohta.
2. 発表標題 ボゾーム取り込みによるヒト細胞の多能性獲得
3. 学会等名 第39回日本分子生物学
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 尾崎充彦
2. 発表標題 マイクロRNA発現異常から紐解く骨肉腫の肺転移機構
3. 学会等名 第25回日本がん転移学会 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 古瀬民生、三宅邦夫、幸田尚、三浦郁生、串田知子、山田郁子、柏村実生、金田秀貴、小林喜美男、石野史敏、久保田健夫、若菜茂晴
2. 発表標題 マウスモデルを用いた DOHaD 仮説の実証 5: 遺伝子欠損マウスを用いた母体低栄養モデルマウスの開発
3. 学会等名 第 63 回日本実験動物学会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 昆 俊亮、松本 朋大、江上 陸、渡邊 裕貴、石橋 公二郎、藤田 恭之
2. 発表標題 マウスモデルを用いた多段階発がんにおける細胞競合の意義の解明
3. 学会等名 2016年度個体レベルでのがん研究支援活動ワークショップ
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 高雄啓三
2. 発表標題 マウスモデルを用いた統合失調症研究の可能性
3. 学会等名 第 39 回日本神経科学大会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 古瀬民生、三宅邦夫、幸田尚、三浦郁生、串田知子、山田郁子、柏村実生、金田秀貴、小林喜美男、石野史敏、若菜茂晴
2. 発表標題 メチオニン関連遺伝子欠損マウスを母体とした仔の行動表現型解析
3. 学会等名 第5回日本DOHaD研究会 学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 杉田愛, 柳澤奈月, 石黒尋保, 田淵圭章, 大熊芳明, 廣瀬豊
2. 発表標題 リン酸化CTD結合因子PCIF1による遺伝子発現調節機構
3. 学会等名 RNAフロンティアミーティング2016
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 杉田愛, 柳澤奈月, 石黒尋保, 田淵圭章, 大熊芳明, 廣瀬豊
2. 発表標題 リン酸化CTD結合因子PCIF1による遺伝子発現調節機構
3. 学会等名 第39回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 井手口博、井原由紀子、藤田貴子、井上貴仁、安元佐和、廣瀬伸一
2. 発表標題 レベチラセタム単剤投与の有効性
3. 学会等名 第11回日本てんかん学会九州地方会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 渡邊利雄、菌部なな子、生田優希、小河穂波、宮本可南子、丹賀直美、鈴木麻衣、西川紗織、新谷隆史、島礼
2. 発表標題 遺伝子改変マウスを用いた Arf1 の胚発生での機能と神経系での機能の解析の試み。
3. 学会等名 第89回日本生化学会大会 シンポジウム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 中津海 洋一、 松本 雅記、 中山 敬一
2. 発表標題 栄養シグナルは転写因子 FOXK1 を活性化して慢性炎症を惹起する
3. 学会等名 第39回日本分子生物学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Gao Xiang、吉田祐樹、福田勉、岩尾正倫
2. 発表標題 海洋天然物ラメラリン N の 20 位および 21 位改変アナログの合成研究
3. 学会等名 第 53 回化学関連支部合同九州大会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 河原康一、川畑拓斗、下川倫子、上條陽平、白石岳大、山本雅達、新里能成、南 謙太郎、有馬一成、濱田季之、古川龍彦、
2. 発表標題 核小体ストレス応答による細胞分裂監視機構とこれを利用した抗がん剤の開発
3. 学会等名 日本ケミカルバイオロジー学会 第 11 回年会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 河原 康一、川畑 拓斗、下川 倫子、上條 陽平、新里 能成、南 謙太郎、有馬 一成、濱田 季之、古川 龍彦
2. 発表標題 核小体ストレス応答による細胞分裂監視機構と抗癌剤の開発
3. 学会等名 第 20 回日本がん分子標的治療学会 学術集会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 小松雅明
2. 発表標題 肝特異的オートファジー欠損マウスからわかったこと
3. 学会等名 第 25 回日本肝臓医生物学研究会 (招待講演)
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 中村考秀, 田中亜紀, 福岡瑞希, 廣瀬豊, 大熊芳明
2. 発表標題 基本転写因子 TFIIE による転写開始から伸長への移行の制御機構解析
3. 学会等名 第 39 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 樋口隆弘, 石崎優子, 則武厚, 柳本嘉時, 小林穂高, 金子一成
2. 発表標題 教室場面の動画を用いた視線解析による自閉症スペクトラム児のスクリーニングの有用性
3. 学会等名 第 119 回日本小児科学会学術集会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 大栗博毅
2. 発表標題 金属配位部位を有する多環性天然物類似化合物群の骨格多様化合成
3. 学会等名 第37回光化学若手の会 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 八尾寛
2. 発表標題 光と生命の融合
3. 学会等名 最先端計測とライフサイエンスの近未来 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 大栗博毅
2. 発表標題 骨格多様化合成による医薬リード創製
3. 学会等名 アステラス病態代謝研究会 第47回研究報告会 (招待講演)
4. 発表年 2016年



1. 発表者名 小川宏人, 三谷瑠里子
2. 発表標題 昆虫の機械感覚性投射ニューロンにおける樹状突起カルシウムシグナルから予測される活動電位の空間動態
3. 学会等名 第 39 回日本神経科学大会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 唐木智充, 金亮, 尾藤晴彦, 吉村由美子
2. 発表標題 最適方位が類似した視覚野錐体細胞における選択的な神経結合.
3. 学会等名 第 63 回中部生理学会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 本多 敦子, 伊藤 泰行, 五十嵐 道弘
2. 発表標題 脂質ラフトにおける M6a タンパク質による神経極性決定シグナルの制御
3. 学会等名 第 39 回 日本分子生物学会年会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 視床下部神経による睡眠覚醒と記憶の制御メカニズム
3. 学会等名 広島大学インキュベーション研究拠点 「本能行動の発現メカニズムに関する総合科学研究推進拠点-大学生の生活習慣及び科学リテラシーの確立へ向けて-」 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 視床下部神経細胞による睡眠覚醒、睡眠関連機能の調節メカニズム
3. 学会等名 第23回日本時間生物学会学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 吉岡美妃子、白川千尋、福田勉、岩尾正倫
2. 発表標題 軸不斉構造を持つ12-および16-クロロメラリンN誘導体の合成と分割
3. 学会等名 第46回複素環化学討論会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 社会性に関わる神経への入力経路同定と回路機能解析
3. 学会等名 平成 28 年度生理研研究会・第 6 回社会神経科学研究会「社会の成り立ちを支える内分泌学」 (招待講演)
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 五十嵐敬幸, 吉川彩香, 浅野豪文, 石塚徹, 八尾寛
2. 発表標題 小胞体 Ca <sup>2+</sup> ダイナミクスの光操作 - 光感受性 C2C12 を用いた Sarcomere assembly 研究モデル
3. 学会等名 第 2 回日本筋学会学術集会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 川田 学、梶川益紀
2. 発表標題 新規抗がん抗 CXADR 抗体 6G10A の作用機構の解析
3. 学会等名 第 20 回日本がん分子標的治療学会学術集会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 川田 学、坂本修一、梶川益紀
2. 発表標題 新規抗がん抗体抗 CXADR 6G10A の作用機構の解析
3. 学会等名 第 75 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 神経ペプチドによる睡眠と記憶の制御
3. 学会等名 第 3 回 名古屋大学-ラクオリア創薬 創薬シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 菌部なな子、早川夏姫、増田成美、小河穂波、早川夏姫、住吉麻実、生田優希、丹賀直美、鈴木麻衣、二口充、新谷隆史文、渡邊利雄
2. 発表標題 神経幹細胞特異的に Arf1 を欠損させたマウスに見られた、誕生後の異常の解析。
3. 学会等名 第 39 回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 伊藤 泰行, 本多 敦子, 五十嵐 道弘
2. 発表標題 神経極性形成における4回膜貫通タンパク質 Glycoprotein M6a の in vivo 機能解析
3. 学会等名 第39回 日本分子生物学会年会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 杉原嘉一, 五十嵐敬幸, 石塚徹, 八尾寛
2. 発表標題 神経細胞における小胞体 Ca <sup>2+</sup> ダイナミクスの光操作
3. 学会等名 第48回東北生理談話会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 永井正義, 家村顕自, 池田真教, 田中耕三
2. 発表標題 神経細胞の発生及び分化における染色体整列因子 CAMP の機能解析
3. 学会等名 第56回生命科学夏の学校
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 久郷裕之
2. 発表標題 人工染色体工学を利用した長鎖ノンコーディング RNA の機能解析技術の開発
3. 学会等名 第3回バイオ創薬研究会 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 鈴木佐和子、中山哲俊、李 恩瑛、三木隆司、田中知明、横手幸太郎
2. 発表標題 生活習慣病と癌の共通の分子基盤としての GLS2 の役割の解明
3. 学会等名 第89回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 大平崇人、稲岡大悟、井上敏昭、尾崎充彦、押村光雄、久郷裕之
2. 発表標題 染色体工学技術を応用した hTERT 抑制遺伝子の単離
3. 学会等名 第3回バイオ創薬研究会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 久郷裕之
2. 発表標題 染色体工学技術を用いた発がん機構の解明
3. 学会等名 電子情報通信学会医用画像研究会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 森亮一
2. 発表標題 創傷治癒における microRNA の新機能
3. 学会等名 第46回日本創傷治癒学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 菊池章、松本真司、藤井慎介
2. 発表標題 増殖因子シグナルによる上皮形態形成の 分子機構とその破綻による腫瘍形成
3. 学会等名 第68回日本細胞生物学会大会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hiroki Oguri
2. 発表標題 多官能性三次元骨格群の構築と生体融合型物質生産システムの創製
3. 学会等名 JST 特別企画：分子技術が創り出す新しい世界と材料 ～ さきがけ若手研究者たちの挑戦 ～ （招待講演）
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 大栗博毅
2. 発表標題 多官能性天然物群の骨格多様化合物合成
3. 学会等名 第 28 回万有札幌シンポジウム フロンティアを超えて：有機化学その先 （招待講演）
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 上野博夫
2. 発表標題 多色系譜追跡法による成体幹細胞の同定と解析
3. 学会等名 第 25 回日本形成外科学会 基礎学術集会 （招待講演）
4. 発表年 2016 年



1. 発表者名 上野博夫
2. 発表標題 多色細胞系譜追跡法による幹細胞・発生研究
3. 学会等名 第 75 回日本癌学会学術総会（招待講演）
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 鈴木祥恵, 尾之内勇治, 笠原好之, 小野千晶, 菊地淑恵, 兪志前, 富田博秋
2. 発表標題 胎児期オキシトシン投与時の胎児脳および成体脳における遺伝子発現変化の解析.
3. 学会等名 第 46 回日本神経精神薬理学会年会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 尾之内勇治, 鈴木祥恵, 笠原好之, 小野千晶, 菊地淑恵, 兪志前, 富田博秋
2. 発表標題 胎児期のオキシトシン曝露による成育後の不安行動、社会行動への影響.
3. 学会等名 第 46 回日本神経精神薬理学会年会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 古瀬民生
2. 発表標題 胎児期栄養は発達障害の環境要因となりうるのか-胎児期低栄養暴露マウスの網羅的行動表現型解析から得られた知見
3. 学会等名 日本衛生学会 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 根本隆行、Hikmawan Wahyu Sulistomo、武谷 立
2. 発表標題 大脳皮質におけるフォルミン蛋白質 Fhod3 の発現解析
3. 学会等名 第69回日本薬理学会西南部会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 小泉協, 八尾寛
2. 発表標題 大脳皮質局所回路の in vivo オール光機能解析
3. 学会等名 生理学研究所研究会「シナプス伝達の細胞分子調節機構」
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 石川理子, 吉村由美子
2. 発表標題 大脳皮質領野間結合の経験依存的な発達.
3. 学会等名 第 63 回中部生理学会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 渡部文子
2. 発表標題 痛み情動回路による恐怖記憶の制御
3. 学会等名 第 39 回日本神経科学大会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 菊田 里美, 中村 幸代, 山村 行生, 本間 経康, 柳川 右千夫, 田村 元, 笠原 二郎, 小山内 実
2. 発表標題 定量的マンガン造影 MRI を用いた大脳皮質-基底核-視床ループにおけるパーキンソン病責任領野の可視化.
3. 学会等名 平成 28 年度文部科学省新学術領域研究 学術研究支援基盤形成 先端モデル動物支援プラットフォーム 若手支援技術講習会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 大栗博毅
2. 発表標題 天然物アナログ群のアセンブリーライン合成を目指して ～元素置換戦略による迅速合成～
3. 学会等名 第六回有機分子構築法夏の勉強会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 大栗博毅
2. 発表標題 天然物の骨格を多様化する迅速合成プロセスの開発
3. 学会等名 有機合成夏期セミナー 明日の有機合成化学（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 大栗博毅
2. 発表標題 天然物の骨格を多様化する迅速合成プロセスの開発と創薬リード創製”
3. 学会等名 日本薬学会医薬化学部会主催 第34回メディシナルケミストリーシンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 大栗博毅
2. 発表標題 天然物合成の新しい展開を目指して
3. 学会等名 慶應義塾大学薬学研究科 有機薬化学主催 講演会 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 畑山光, 西村和也, 寺田公介, 竹田深雪, 大熊芳明, 廣瀬豊
2. 発表標題 転写活性と共役した選択的ポリ(A)付加調節の分子機構
3. 学会等名 第39回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 永井正義、家村顕自、田中耕三
2. 発表標題 脳における染色体整列因子 CAMP の機能解析
3. 学会等名 第39回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 合山進
2. 発表標題 白血病幹細胞の本態
3. 学会等名 第 79 会日本血液学会学術総会（招待講演）
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 森亮一
2. 発表標題 皮膚癬痕形成の分子メカニズム解明および核酸医薬開発への応用
3. 学会等名 第 105 回日本病理学会総会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 鈴木佐和子、中山哲俊、藤本真徳、田村愛、駒井絵里、 志賀明菜、河野貴史、佐久間一基、永野秀和、小出尚史、田中知明、横手幸太郎
2. 発表標題 肥満と癌の共通の分子基盤としての Phosphate Activated Glutaminase (GLS2) の役割の解明
3. 学会等名 第 37 回日本肥満学会
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 山中章弘、犬東 歩、山下 哲、田口 徹
2. 発表標題 本能行動調節を目指す創薬・医療薬理
3. 学会等名 次世代を担う創薬・医療薬理シンポジウム 2016 （招待講演）
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 山中章弘
2. 発表標題 様々な神経活動操作法による生理機能の解明
3. 学会等名 第 10 回骨・軟骨フロンティア （招待講演）
4. 発表年 2016 年

1. 発表者名 近藤祥司
2. 発表標題 老化の多様性を規定する代謝・液性因子
3. 学会等名 第 58 回日本老年医学会 （招待講演）
4. 発表年 2016 年

[図書] 計 99 件

1. 著者名 岩崎信太郎	4. 発行年 2022 年
2. 出版社 生化学	5. 総ページ数 149
3. 書名 ダイソームプロファイリング法によるリボソーム衝突の網羅探索	

1. 著者名 石黒啓一郎	4. 発行年 2022 年
2. 出版社 メディカルレビュー社	5. 総ページ数 75
3. 書名 減数分裂開始の分子機構 Hormone Frontier in Gynecology メディカルレビュー社	

1. 著者名 Hiroki Oguri	4. 発行年 2021 年
2. 出版社 Springer.	5. 総ページ数 367
3. 書名 “Design, Concise Synthesis and Self-Assembly of the Mid-Sized Molecules Exploiting Bispyrrolidinoindoline Alkaloidal Scaffolds” In Middle Molecular Strategy: Flow Synthesis to Functional Molecules	



1. 著者名 丹野修宏, 竹本一政, 高田幸, 石黒啓一郎	4. 発行年 2021年
2. 出版社 北隆館	5. 総ページ数 120
3. 書名 BIO Clinica 5月号 疾患ゲノム研究の最前線 36(5) ゲノムデータベースに眠る生殖細胞関連遺伝子の同定とその疾患モデル動物の解析	

1. 著者名 Osanai M, Miwa H, Tamura A, Kikuta S, Iguchi Y, Yanagawa Y, Kobayashi K, Katayama N, Tanaka T, Mushiake H	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 -
3. 書名 Multimodal Functional Analysis Platform: 1. Ultrathin Fluorescence Endoscope Imaging System Enables Flexible Functional Brain Imaging. In: Yawo, H., Kandori, H., Koizumi, A., Kageyama, R. (eds) Optogenetics. Advances in Experimental Medicine and Biology, vol 1293.	

1. 著者名 Yawo, H., Kandori, H., Koizumi, A., Kageyama, R. (Eds.)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Springer Nature	5. 総ページ数 663
3. 書名 Optogenetics - Light-Sensing Proteins and Their Applications in Neuroscience and Beyond	

1. 著者名 Osanai, M., Miwa, H., Tamura, A., Kikuta, S., Iguchi, Y., Yanagawa, Y., Kobayashi, K., Katayama, N., Tanaka, T., & Mushiake, H.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Springer Nature Singapore Pte Ltd.	5. 総ページ数 648
3. 書名 Optogenetics. Advances in Experimental Medicine and Biology	

1. 著者名 石黒啓一郎, 高田幸, 島田龍輝, 竹本一政, 小寺千郷, 丹野修宏, 江寄綾乃, 荒木喜美	4. 発行年 2021年
2. 出版社 北隆館	5. 総ページ数 104
3. 書名 Precision Medicine 7月臨時増刊号 4(8)「シングルセル解析の新たな可能性」 精巢の減数第一分裂でエピゲノムの解消に働く ZFP541-KCTD19 転写抑制複合体	

1. 著者名 室井誠、馬島哲夫、牛嶋大、松浦正明	4. 発行年 2021年
2. 出版社 羊土社	5. 総ページ数 320
3. 書名 オミックス解析：表現型・薬物活性とリンクする分子経路の探索（「マウス・ラットモデル作成・解析プロフェッショナル」）	

1. 著者名 馬島哲夫， 清宮啓之	4. 発行年 2021 年
2. 出版社 医歯薬出版株式会社	5. 総ページ数 132
3. 書名 がん幹細胞と薬剤耐性（「治療標的としてのがん幹細胞」（別冊・医学のあゆみ）	

1. 著者名 清水孝恒、信末博行、佐谷秀行（分担執筆）	4. 発行年 2021 年
2. 出版社 羊土社	5. 総ページ数 320
3. 書名 マウス・ラットモデル作成・解析プロフェッショナル	

1. 著者名 豊國伸哉、伊藤文哉、本岡大社、蔣 麗	4. 発行年 2021 年
2. 出版社 羊土社	5. 総ページ数 320
3. 書名 使いたくなる病理解析新技術 第2章 病理形態の解析 マウス・ラットモデル作製・ 解析プロフェッショナル 編集：先端モデル動物支援プラットフォーム (AdAMS)	

1. 著者名 土居雅夫	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Medical Science Digest	5. 総ページ数 52
3. 書名 時間生物学と医療の融合-現状と将来-	

1. 著者名 吉岡 大介、中村 貴紀、武川 睦寛	4. 発行年 2021年
2. 出版社 羊土社	5. 総ページ数 223
3. 書名 実験医学 増刊 「相分離~メカニズムと疾患~」 ストレス顆粒形成による生命機能制御と疾患	

1. 著者名 虫明元, 田中徹, 片山統裕, 小山内実	4. 発行年 2021年
2. 出版社 羊土社	5. 総ページ数 320
3. 書名 第3章 生理機能の解析 4 多機能生理計測プラットフォーム, マウス&ラットモデル作製・解析プロフェッショナル, 先端モデル動物支援プラットフォーム (AdAMS) 編	

1. 著者名 石渡一樹, 鈴木佐和子, 横手幸太郎	4. 発行年 2021 年
2. 出版社 日本内分泌学会雑誌	5. 総ページ数 -
3. 書名 第 30 回臨床内分泌代謝 Update Proceeding	

1. 著者名 馬島哲夫, 清宮啓之	4. 発行年 2021 年
2. 出版社 羊土社	5. 総ページ数 220
3. 書名 薬剤耐性胃がん細胞のがん幹細胞性とその生存分子経路(がん微小環境に 1 細胞レベルで挑む)	

1. 著者名 濱田悠貴, 山口賀章, 土居雅夫	4. 発行年 2021 年
2. 出版社 Geriatric Medicine (老年医学)	5. 総ページ数 100
3. 書名 老化と体内時計：加齢による脳内中枢時計の機能低下を中心に	

1. 著者名 松本征仁	4. 発行年 2020 年
2. 出版社 (株)NTS	5. 総ページ数 270
3. 書名 「ダイレクトリプログラミングによる膵 $\beta$ 細胞作出と 1 型糖尿病に対する機能再建」 (第 10 章, p93-108 担当) ダイレクトリプログラミング	

1. 著者名 大神 正次・高井 伸彦	4. 発行年 2020 年
2. 出版社 (株)北隆館	5. 総ページ数 100
3. 書名 がん診療の副作用マネジメント Management of adverse effects of cancer therapy 研究者の最新動向・重粒子線治療に伴う副作用の予測と軽減技術	

1. 著者名 齊藤奈英, 笹岡俊邦	4. 発行年 2020 年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 196
3. 書名 ドーパミンおよび NMDA 受容体と大脳基底核回路の機能解析	

1. 著者名 室井 誠、小川直子、長田裕之	4. 発行年 2020 年
2. 出版社 情報機構	5. 総ページ数 170
3. 書名 医薬品開発におけるオミクス解析技術 ～ゲノム・トランスクリプトーム・プロテオーム・メタボローム～ 第3章 第2節 薬剤標的分子同定を目的としたプロテオーム解析の手法	

1. 著者名 石黒啓一郎	4. 発行年 2020 年
2. 出版社 ニューサイエンス社	5. 総ページ数 62
3. 書名 月刊「細胞」8月号: 52(9) 体細胞分裂から減数分裂へのスイッチ機構	

1. 著者名 石黒啓一郎	4. 発行年 2020 年
2. 出版社 北隆館	5. 総ページ数 94
3. 書名 減数分裂開始因子 MEIOSIN とその標的遺伝子の変異による不妊 BIO Clinica	

1. 著者名 Nguyen Pham Khanh Tien、土居雅夫	4. 発行年 2020年
2. 出版社 生化学	5. 総ページ数 752
3. 書名 時計遺伝子の転写のシス制御エレメントに点変異を入れると体内時計はどうなるのか	

1. 著者名 石黒啓一郎	4. 発行年 2020年
2. 出版社 羊土社	5. 総ページ数 139
3. 書名 生殖細胞の運命決定 ー体細胞分裂から減数分裂への細胞周期の切替え 実験医学5月号 カレントトピックス, 38(8)1369-1373	

1. 著者名 七野悠一、岩崎信太郎	4. 発行年 2020年
2. 出版社 東京化学同人	5. 総ページ数 416
3. 書名 相分離生物学の全貌 「RNP 顆粒研究を加速するトランスクリプトーム解析技術」	



1. 著者名 石黒啓一郎	4. 発行年 2020 年
2. 出版社 ニューサイエンス社	5. 総ページ数 60
3. 書名 体細胞分裂と減数分裂における染色体・クロマチン構造の違い 月刊「細胞」5月増刊号 Topics from special edition : 52(4), 32-37	

1. 著者名 嶋谷 寛之、土居 雅夫	4. 発行年 2020 年
2. 出版社 エヌ・ティー・エス出版	5. 総ページ数 624
3. 書名 体内時計の中枢を調節する G 蛋白質共役型受容体	

1. 著者名 石黒啓一郎	4. 発行年 2020 年
2. 出版社 医歯薬出版	5. 総ページ数 70
3. 書名 不妊の原因に関わる新規遺伝子 MEIOSIN 週刊医学のあゆみ vol. 275, No. 7, 824-825	

1. 著者名 大森 徳貴、城村 由和	4. 発行年 2020 年
2. 出版社 先端医学社	5. 総ページ数 91
3. 書名 分子呼吸器病	

1. 著者名 伊藤謙治、山田泰広	4. 発行年 2019 年
2. 出版社 医歯薬出版株式会社	5. 総ページ数 272
3. 書名 「異分野先端技術融合による薬剤抵抗性を標的とした革新的複合治療戦略の開発」、医学のあゆみ 第 271 巻 9 号	

1. 著者名 大多茂樹、河上裕	4. 発行年 2019 年
2. 出版社 医歯薬出版株式会社	5. 総ページ数 70
3. 書名 医学のあゆみ 271 巻 2 号、腫瘍免疫研究の最近の進歩. 「シングルセル解析による抗腫瘍免疫応答の解明」	

1. 著者名 大内田守, 真下知士, 豊國伸哉, 大守伊織	4. 発行年 2019年
2. 出版社 公益財団法人 てんかん治療研究振興財団	5. 総ページ数 149
3. 書名 研究年報 第30集 2019 Annual Report of the Japan Epilepsy Research Foundation	

1. 著者名 城村 由和、大森 徳貴、中西 真	4. 発行年 2019年
2. 出版社 羊土社	5. 総ページ数 145
3. 書名 実験医学 Vol. 37 No. 11、「細胞老化維持機構と創薬」	

1. 著者名 木村悠介、岩崎信太郎	4. 発行年 2019年
2. 出版社 羊土社	5. 総ページ数 147
3. 書名 実験医学 リボソームプロファイリングによる網羅的翻訳解析の最前線	

1. 著者名 清宮啓之（編）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 化学同人	5. 総ページ数 368
3. 書名 進化するがん創薬	

1. 著者名 高梨琢磨、松尾行雄、力丸裕、宋文杰（他5名）編集	4. 発行年 2019年
2. 出版社 朝倉書店	5. 総ページ数 464
3. 書名 生き物と音の事典	

1. 著者名 鈴木佐和子、龍野一郎、横手幸太郎	4. 発行年 2019年
2. 出版社 診断と治療社	5. 総ページ数 105
3. 書名 内分泌機能検査実施マニュアル 改訂第3版	

1. 著者名 中村加枝	4. 発行年 2019年
2. 出版社 脳科学辞典編集委員会	5. 総ページ数
3. 書名 脳科学辞典	

1. 著者名 鈴木佐和子, 横手幸太郎	4. 発行年 2019年
2. 出版社 南江堂	5. 総ページ数 170
3. 書名 臨床雑誌内科 124 巻 6 号、「神経内分泌腫瘍」内分泌 Up To Date	

1. 著者名 八尾寛	4. 発行年 2018年
2. 出版社 羊土社	5. 総ページ数 236
3. 書名 アップコンバージョンプローブ-生体深部のイメージングや光操作に向けて. 実験医学増刊 Vol. 36 No. 20「生きてるものは全部観る! イメージングの選び方・使い方 100+」, 原田慶恵, 永井健治/編,	

1. 著者名 八尾寛	4. 発行年 2018年
2. 出版社 化学同人	5. 総ページ数 356
3. 書名 オプトジェネティクス（光遺伝学）．脳神経科学-脳はいま化学の言葉でどこまで語れるか（編：森泰生，尾藤晴彦）	

1. 著者名 Naofumi Ito and Kunimasa Ohta	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 -
3. 書名 Applied RNA Bioscience : Cell reprogramming by Lactic Acid Bacteria	

1. 著者名 Iwasaki S., and Tomari Y.	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Methods Mol Biol., Springer	5. 総ページ数 1680
3. 書名 Argonaute Proteins	

1. 著者名 Hiroki Oguri	4. 発行年 2018 年
2. 出版社 WILEY-VCH Verlag GmbH & Co. KGaA	5. 総ページ数 370
3. 書名 Chemical Assembly Lines for Skeletally Diverse Indole Alkaloids” Molecular Technology: Live Innovation, Volume 2	

1. 著者名 Nakamura, K.	4. 発行年 2018 年
2. 出版社 Elsevier	5. 総ページ数 463
3. 書名 Handbook of Clinical Neurology (Thermoregulation: From Basic Neuroscience to Clinical Neurology Part I)	

1. 著者名 Toyokuni S, Ikehara Y, Kikkawa F, Hori M	4. 発行年 2018 年
2. 出版社 Academic Press	5. 総ページ数 438
3. 書名 Plasma Medical Science	

1. 著者名 井口善生 (分担執筆)	4. 発行年 2018 年
2. 出版社 ポラーノ出版	5. 総ページ数 224
3. 書名 あの人はどうしてそうしてしまうの？ 身近な7つの扉から入る心理学の世界	

1. 著者名 八尾寛	4. 発行年 2018 年
2. 出版社 朝倉書店	5. 総ページ数 344
3. 書名 オプトジェネティクス操作法. 顕微鏡学ハンドブック (編：山科正平, 高田邦昭)	

1. 著者名 Trudy McKee, James R. McKee 著 市川厚 監修 福岡伸一 監訳	4. 発行年 2018 年
2. 出版社 化学同人	5. 総ページ数 772
3. 書名 マッキー生化学 第6版	



1. 著者名 Rang HP, Rittter JM, Flower RJ, Hnederson G 原著 渡邊直樹 監訳	4. 発行年 2018年
2. 出版社 エルゼビア・丸善出版	5. 総ページ数 878
3. 書名 ラング・デール薬理学 原書8版	

1. 著者名 魏 范研、富澤 一仁	4. 発行年 2018年
2. 出版社 羊土社	5. 総ページ数 276
3. 書名 レドックス疾患学	

1. 著者名 森 亮一、朴 盛浚、下川 功	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ジェフコーポレーション	5. 総ページ数 46
3. 書名 栄養	

1. 著者名 Naofumi Ito and Kunimasa Ohta	4. 発行年 2018 年
2. 出版社 CMC 出版	5. 総ページ数 264
3. 書名 酵母菌・麹菌・乳酸菌の産業応用展開:乳酸菌による細胞リプログラミング	

1. 著者名 本園 千尋	4. 発行年 2018 年
2. 出版社 羊土社	5. 総ページ数 242
3. 書名 実験医学	

1. 著者名 昆 俊亮	4. 発行年 2018 年
2. 出版社 日本生化学会	5. 総ページ数 733
3. 書名 生化学	

1. 著者名 岩崎信太郎	4. 発行年 2018年
2. 出版社 公益社団法人日本生化学会	5. 総ページ数 243
3. 書名 生化学	

1. 著者名 難波康祐、楠見武徳、井上将行、山口潤一郎、石川勇人、占部大介、横島聡、平井剛、菅敏幸、中田雅久、石川勇、西川俊夫、谷野圭持、長友優典、大森建、竜田邦明、徳山英利、田上克也、不破春彦、廣瀬友靖、大栗博毅	4. 発行年 2018年
2. 出版社 化学同人	5. 総ページ数 208
3. 書名 天然有機化合物の全合成：独創的なものづくりの反応と戦略（日本化学会 CSJ カレントレビュー）	

1. 著者名 氏家悠佳、若月修二、荒木敏之	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本応用酵素協会	5. 総ページ数 135
3. 書名 日本応用酵素協会誌	

1. 著者名 笹岡俊邦 藤澤信義	4. 発行年 2018年
2. 出版社 南山堂	5. 総ページ数 354
3. 書名 脳卒中病態学のススメ 第3部 各論 「動物実験の基本と倫理」	

1. 著者名 富永 航平, チン ヨ、大木 理恵子.	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本メディカルセンター	5. 総ページ数 120
3. 書名 臨床消化器内科 (8月号: 特集 膵神経内分泌腫瘍 update) Vol. 33 No. 9,	

1. 著者名 (翻訳) 渡部文子	4. 発行年 2018年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 530
3. 書名 イラストレイテッド統合臨床基礎医学	

1. 著者名 馬場理也、江藤正俊	4. 発行年 2017年
2. 出版社 メディカルビュー社	5. 総ページ数 145
3. 書名 『Year Book of RCC 2016』	

1. 著者名 Miyake K, Shibata T, Ohto U, Shimizu T	4. 発行年 2017年
2. 出版社 J. Leukocyte Biol	5. 総ページ数 101
3. 書名 Emerging roles of the processing of nucleic acids and Toll-like receptors in innate immune responses to nucleic acids	

1. 著者名 Atsushi Ishii, Shinichi Hirose	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Elsevier	5. 総ページ数 244
3. 書名 Genetic Background of Encephalopathy	

1. 著者名 Miyake K, Shibata T, Ohto U, Shimizu T, Saitoh SI, Fukui R, Murakami Y	4. 発行年 2017 年
2. 出版社 Int Immunol	5. 総ページ数 -
3. 書名 Mechanisms controlling nucleic acid-sensing Toll-like receptors	

1. 著者名 Baba M, Schmidt LS, Linehan WM	4. 発行年 2017 年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 381
3. 書名 Renal Cell Carcinoma - Molecular Features and Treatment Updates	

1. 著者名 Naka K., Hirao A	4. 発行年 2017 年
2. 出版社 Cold Spring Harb Perspect Biol.	5. 総ページ数 1163
3. 書名 The Biology of the TGF- $\beta$ Family	

1. 著者名 鳥越祥太、本園千尋、山崎晶	4. 発行年 2017年
2. 出版社 メディカルレビュー社	5. 総ページ数 116
3. 書名 THE LUNG perspectives	

1. 著者名 (翻訳) 渡部文子	4. 発行年 2017年
2. 出版社 メディカルサイエンスインターナショナル	5. 総ページ数 732
3. 書名 スタンフォード神経生物学	

1. 著者名 酒々井眞澄, 他著	4. 発行年 2017年
2. 出版社 羊土社出版	5. 総ページ数 279
3. 書名 はじめの一步のイラスト病理学	

1. 著者名 平野義明, 新留琢郎, 大高章, 重永章・・・松本征仁・・・, ほか 64 人	4. 発行年 2017 年
2. 出版社 (株)シーエムシー出版	5. 総ページ数 315
3. 書名 ペプチドを利用した糖尿病・骨代謝疾患の機能再建と再生, 医療・診断をささえるペプチド科学-再生医療・DDS・診断への応用, 平野義明監修	

1. 著者名 山中章弘	4. 発行年 2017 年
2. 出版社 南江堂	5. 総ページ数 328
3. 書名 やさしい生理学 改訂第 7 版	

1. 著者名 石井敦士、廣瀬伸一	4. 発行年 2017 年
2. 出版社 メディカルドゥ社	5. 総ページ数 308
3. 書名 遺伝医学 MOOK 別冊 最新精神・神経遺伝医学研究と遺伝カウンセリング	



1. 著者名 西村直矢、土師正二郎、本園千尋	4. 発行年 2017年
2. 出版社 医歯薬出版	5. 総ページ数 70
3. 書名 医学のあゆみ「結核菌を認識するあらたなC型レクチン受容体」	

1. 著者名 石井敦士、廣瀬伸一	4. 発行年 2017年
2. 出版社 診断と治療社	5. 総ページ数 276
3. 書名 稀少てんかんの診療指標	

1. 著者名 中山哲俊、鈴木佐和子、田中知明	4. 発行年 2017年
2. 出版社 ニューサイエンス社	5. 総ページ数
3. 書名 細胞 2017年6月号「がん細胞における特異的細胞内代謝と治療抵抗性」	

1. 著者名 上地貴音、本園千尋	4. 発行年 2017年
2. 出版社 シーエムシー出版	5. 総ページ数 355
3. 書名 次世代アジュバント開発のためのメカニズム解明と安全性評価	

1. 著者名 上地貴音、本園千尋	4. 発行年 2017年
2. 出版社 シーエムシー出版	5. 総ページ数 355
3. 書名 次世代アジュバント開発のためのメカニズム解明と安全性評価	

1. 著者名 昆 俊亮, 藤田 恭之	4. 発行年 2017年
2. 出版社 羊土社	5. 総ページ数 231
3. 書名 実験医学「細胞競合とがんの代謝」	

1. 著者名 七野 悠一、岩崎信太郎	4. 発行年 2017 年
2. 出版社 羊土社	5. 総ページ数 141
3. 書名 実験医学 リボソームプロファイリングが切り拓く翻訳研究の未来	

1. 著者名 滝川雅大, 大木理恵子	4. 発行年 2017 年
2. 出版社 羊土社	5. 総ページ数 137
3. 書名 実験医学, 35 「野生型・変異型 p53 を標的とした抗がん剤の現状」	

1. 著者名 川瀬竜也, 大木理恵子	4. 発行年 2017 年
2. 出版社 羊土社	5. 総ページ数 137
3. 書名 実験医学, 35 「p53 の新たな細胞保護・がん化促進経路一腫瘍にとって有益な新規 p53 標的遺伝子 IER5 の同定と機能解析」	

1. 著者名 大木理恵子	4. 発行年 2017年
2. 出版社 羊土社	5. 総ページ数 137
3. 書名 実験医学, 35「概論—古くても, まだまだ新しい, 最も有名ながん抑制遺伝子 p53」	

1. 著者名 稲垣 暢也, 長船 健二, 松本 征仁, 山口 智之	4. 発行年 2017年
2. 出版社 メディカルビュー社	5. 総ページ数 32
3. 書名 糖尿病における再生医療の最新知見	

1. 著者名 鈴木佐和子、横手幸太郎	4. 発行年 2017年
2. 出版社 診断と治療社	5. 総ページ数 197
3. 書名 内分泌性高血圧疾患診療マニュアル 改訂第二版	

1. 著者名 曾良一郎, 蓬萊政, 木村敦, 松山賢一	4. 発行年 2017 年
2. 出版社 Depression Strategy	5. 総ページ数
3. 書名 脳機能からみたベンゾジアゼピン系薬剤のリスクとベネフィット-依存・耐性および認知機能への影響	

1. 著者名 Watarai H	4. 発行年 2016 年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 702
3. 書名 Chronic Inflammation	

1. 著者名 鳥越祥太, 本園千尋, 山崎晶	4. 発行年 2016 年
2. 出版社 メディカルレビュー社	5. 総ページ数 116
3. 書名 THE LUNG perspectives	

1. 著者名 山中章弘、田淵紗和子	4. 発行年 2016年
2. 出版社 理工図書	5. 総ページ数 400
3. 書名 コメディカル専門基礎科目シリーズ 生理学	

1. 著者名 石井敦士、廣瀬伸一	4. 発行年 2016年
2. 出版社 南江堂	5. 総ページ数 197
3. 書名 てんかん白書 てんかん医療・研究のアクションプラン	

1. 著者名 廣瀬伸一	4. 発行年 2016年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 2192
3. 書名 今日の治療指針	

1. 著者名 浅野良則, 大木理恵子	4. 発行年 2016年
2. 出版社 羊土社	5. 総ページ数 141
3. 書名 実験医学, 34「IER5 は新規の低リン酸化型の活性化 HSF1 を誘導し, がん化を促進する」	

1. 著者名 廣瀬伸一、小川厚、鶴澤礼実、中村公紀、太田栄治、瀬戸上貴資、井手口博、伊東和俊、井手康二、児玉隆志、寺町昌史、吉兼由佳子、宮本辰樹、野村優子、吉村和子、佐々木聡子、井上貴仁、藤田貴子、井原由紀子、橋口千鶴	4. 発行年 2016年
2. 出版社 海馬書房	5. 総ページ数 322
3. 書名 小児科研修ハンドブック第2版（監修：廣瀬伸一）	

1. 著者名 石井敦士、廣瀬伸一	4. 発行年 2016年
2. 出版社 メジカルビュー社	5. 総ページ数 232
3. 書名 神経内科外来シリーズ4 てんかん外来	

1. 著者名 馬場理也	4. 発行年 2016年
2. 出版社 羊土社	5. 総ページ数 141
3. 書名 腎がん発生の分子メカニズム - 実験医学	

1. 著者名 山中章弘	4. 発行年 2016年
2. 出版社 化学同人	5. 総ページ数 324
3. 書名 睡眠科学 最新の基礎研究から医療・社会への応用まで	

1. 著者名 今井崇史、高野智嗣、本園千尋、山崎晶	4. 発行年 2016年
2. 出版社 科学評論社	5. 総ページ数 108-114
3. 書名 臨床免疫・アレルギー科	



〔産業財産権〕

○出願状況（計 34 件）

産業財産権の名称 抗がん剤をスクリーニングする方法及び膵がんの治療のための のキナーゼ阻害剤の組み合わせ医薬	発明者 園下将大、関谷翔、平野聡	権利者 同左
産業財産権の種類、番号 特許権 PCT/JP2021/7651	出願年 2021 年	国内・外国の別 外国

産業財産権の名称 小児白血病に対する薬剤の有効性の判定を補助する方法、小児 白血病に対する薬剤投与後の予後の判定を補助する方法及び キット	発明者 中川俊輔、河原康一、岡本 康裕、古川龍彦	権利者 鹿児島大学
産業財産権の種類、番号 特許権 特願 2021-070943	出願年 2021 年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 がんの治療又は予防剤、及びがんの治療又は予防のための RF 経路阻害剤と MEK 阻害剤との組み合わせ	発明者 大塩貴子、園下将大、市川 聡、佐藤悠介、藤井清永	権利者 同左
産業財産権の種類、番号 特許権 特願 2021-29585	出願年 2021 年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 マクロ環含有新規テトラヒドロイソキノリンアルカロイド化 合物	発明者 大栗博毅、谷藤 涼	権利者 同左
産業財産権の種類、番号 特許権 特願 2021-33773	出願年 2021 年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 がんを治療するための組み合わせ物及び医薬組成物	発明者 長澤和夫、松田未沙子、馬 悦、清宮啓之	権利者 国立大学法 人東京農工大 学、公益財団法 人がん研究会
産業財産権の種類、番号 特許権 特願 2020-008592	出願年 2020 年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 グアニン四重鎖結合性リガンド	発明者 長澤和夫、馬悦	権利者 東京農工大学
産業財産権の種類、番号 特許権 特願 2020-021316	出願年 2020 年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 テトラヒドロイソキノリン環含有化合物の製造方法	発明者 大栗博毅(東京農工大)、谷藤涼(東京農工大)、及川英秋(北海道大)	権利者 同左
産業財産権の種類、番号 特許権 PCT/JP2019/009128	出願年 2019 年	国内・外国の別 外国

産業財産権の名称 抗がん剤	発明者 長澤和夫、松田未沙子、馬悦、清宮啓之	権利者 国立大学法人東京農工大学、公益財団法人がん研究会
産業財産権の種類、番号 特許権 PCT/JP2019/028398	出願年 2019 年	国内・外国の別 外国

産業財産権の名称 マウスMAIT様細胞及びMAIT細胞豊富なマウス	発明者 若尾 宏 杉本 智恵	権利者 学校法人獨協学園
産業財産権の種類、番号 特許権 PCT/JP2020/040361	出願年 2019 年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 パーキンソン病の診断指標	発明者 山本 融、正木 勉、出口一志、鎌田正紀、高田忠幸、國土曜平、野中和香子、青江真吾、土居智和、濱田康宏、伴 沙緒里、鈴木利治	権利者 香川大学・北海道大学
産業財産権の種類、番号 特許権 特願 2019-033661	出願年 2019 年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 新規ジヒドロイソキノリノン系化合物又はその薬理的に許容される塩	発明者 吉田稔、八代田陽子、白井文幸、風見純一、清宮啓之	権利者 国立研究開発法人 理化学研究所、公益財団法人 がん研究会
産業財産権の種類、番号 特許権 特願 2019-118938	出願年 2019 年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 心不全非ヒト霊長類モデル動物の製造方法	発明者 扇田久和、佐藤朗	権利者 同左
産業財産権の種類、番号 特許権 特願 2019-125286	出願年 2019 年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 DNA配列の増幅方法及び配列決定方法	発明者 斎藤益満、百瀬暖佳、松平崇弘、和田悠作	権利者 日本国、株式会社ファスマック
産業財産権の種類、番号 特許権 特願 2019-150535	出願年 2019 年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 マウス MAIT 様細胞及び MAIT 細胞豊富なマウス	発明者 若尾 宏 杉本 智恵	権利者 獨協医科大学
産業財産権の種類、番号 特許権 特願 2019-196603	出願年 2019 年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 抗がん剤	発明者 酒々井真澄、飯沼宗和、森田彰	権利者 同左
産業財産権の種類、番号 特許権 特許第 6532730	出願年 2019 年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 第四世代 EGFR チロシンキナーゼ阻害剤	発明者 岩尾正倫、福田勉、石橋郁人、上原至雅、西谷直之、奥裕介、且慎吾、矢守隆夫	権利者 長崎大学、岩手医科大学、公益財団法人がん研究会
産業財産権の種類、番号 特許権 PCT/JP2018/13370	出願年 2018 年	国内・外国の別 外国

産業財産権の名称 がんの予後判定および診断方法	発明者 中川将利、吉村 徹、吉田栄作、清木元治、越川直彦	権利者 東京大学、アポットジャパン
産業財産権の種類、番号 特許権 特願 2017-648**	出願年 2018 年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 HTLV-1 挿入部位同定方法	発明者 斎藤益満、長谷川寛雄	権利者 ヒューマンサイエンス財団、長崎大学
産業財産権の種類、番号 特許権 特願 2018-128683	出願年 2018 年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 抗腫がん剤	発明者 長澤和夫、松田未沙子、馬悦、清宮啓之	権利者 国立大学法人東京農工大学、公益財団法人がん研究会
産業財産権の種類、番号 特許権 特願 2018-136579	出願年 2018 年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 テトラヒドロイソキノリン環含有化合物の製造方法	発明者 大栗博毅(東京農工大)、谷藤涼(東京農工大)、及川英秋(北海道大)	権利者 同左
産業財産権の種類、番号 特許権 特願 2018-144906	出願年 2018 年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 S P Rをコードするポリヌクレオチドを含む組換えベクター、及びそれを含む組成物	発明者 一瀬宏、原怜、吉田勇輝、 村松慎一、加藤節子	権利者 東京工業大 学、自治医科大 学、加藤節子
産業財産権の種類、番号 特許権 特願 2018-206643	出願年 2018 年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 アルカロイド骨格を有する両親媒性化合物	発明者 大栗博毅(東京農工大)、村 岡貴博(東京農工大)、土屋菜 奈(東京農工大)、笠勇之介(東 京農工大)	権利者 同左
産業財産権の種類、番号 特許権 特願 2018-206817	出願年 2018 年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 マウスのてんかんバイオマーカー	発明者 加藤啓子、藤田明子	権利者 京都産業大 学
産業財産権の種類、番号 特許権 特願 2018-233113	出願年 2018 年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 CXCR7 INHIBITORS FOR THE TREATMENT WITH CANCER	発明者 後 藤 典 子 、 James Campbell	権利者 ChemoCentri x, Inc.
産業財産権の種類、番号 特許権 米国 62/778,605	出願年 2018 年	国内・外国の別 外国

産業財産権の名称 プロレニン受容体に対する抗体またはその抗原結合断片、およ びその用途	発明者 西山 成、海老原章郎、松 山 誠	権利者 同左
産業財産権の種類、番号 特許権 PCT/JP2017/039702	出願年 2017 年	国内・外国の別 外国

産業財産権の名称 光学イメージング装置	発明者 小山内 実, 虫明 元	権利者 東北大学
産業財産権の種類、番号 特許権 PCT/JP2017/12850	出願年 2017 年	国内・外国の別 外国

産業財産権の名称 Gene modified nonhuman animal model	発明者 OHMORI Iori, OUCHIDA Mamoru, MASHIMO Tomoji	権利者 同左
産業財産権の種類、番号 特許権 PCT/JP2018/0450008	出願年 2017 年	国内・外国の別 外国

産業財産権の名称 強心薬および強心薬のスクリーニング方法	発明者 武谷 立, 松山 翔	権利者 宮崎大学
産業財産権の種類、番号 特許権 特願 2017-097531	出願年 2017 年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 ヒト尿中におけるうつ, 不安症バイオマーカー	発明者 加藤啓子, 藤田明子, 田中雅嗣, 河合恒, 大淵修一, 井原一成, 端詰勝敬	権利者 京都産業大学
産業財産権の種類、番号 特許権 特願 2017-209262	出願年 2017 年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 SLC28 又は 29 遺伝子異常症の治療剤又は予防剤	発明者 三宅 健介, 柴田 琢磨	権利者 同左
産業財産権の種類、番号 特許権 特願 2017-215043	出願年 2017 年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 マウスのうつ及び／又は不安症バイオマーカー	発明者 加藤啓子, 藤田明子	権利者 京都産業大学
産業財産権の種類、番号 特許権 特願 2017-226220	出願年 2017年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 第四世代 EGFR チロシンキナーゼ阻害剤	発明者 岩尾正倫、福田勉、石橋郁人、上原至雅、西谷直之、奥裕介、且慎吾、矢守隆夫	権利者 国立大学法人 長崎大学、学校法人 岩手医科大学、公益財団法人がん研究会
産業財産権の種類、番号 特許権 特願 2017-64866	出願年 2017年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 膵内分泌細胞の製造方法、及び分化転換剤	発明者 松本征仁、岡崎康司、菅原泉	権利者 埼玉医科大学
産業財産権の種類、番号 特許権 特願 2014-137719	出願年 2016年	国内・外国の別 外国

産業財産権の名称 EphA2 N 末端フラグメント抗体	発明者 越川直彦、清木元治	権利者 東京大学、神奈川県立病院機構
産業財産権の種類、番号 特許権 特願 2018-534429	出願年 2016年	国内・外国の別 国内

## ○取得状況 (計 16 件)

産業財産権の名称 炎症レポーターシステム	発明者 山村研一、岩脇隆夫、及 川大輔、石川智夫	権利者 株式会社ト ランスジェニ ック
産業財産権の種類、番号 特許権 ZL201480080906.7	取得年 2021 年	国内・外国の別 外国

産業財産権の名称 光学イメージング装置	発明者 小山内 実, 虫明 元	権利者 東北大学
産業財産権の種類、番号 特許権 CN 201780019699.8	取得年 2021 年	国内・外国の別 外国

産業財産権の名称 炎症レポーターシステム	発明者 山村研一、岩脇隆夫、及 川大輔、石川智夫	権利者 株式会社ト ランスジェニ ック
産業財産権の種類、番号 特許権 EP3196303	取得年 2020 年	国内・外国の別 外国

産業財産権の名称 炎症レポーターシステム	発明者 山村研一、岩脇隆夫、及 川大輔、石川智夫	権利者 株式会社ト ランスジェニ ック
産業財産権の種類、番号 特許権 US10765094	取得年 2020 年	国内・外国の別 外国

産業財産権の名称 光学イメージング装置	発明者 小山内 実, 虫明 元	権利者 東北大学
産業財産権の種類、番号 特許権 US 10,959,608	取得年 2020 年	国内・外国の別 外国



産業財産権の名称 抗がん剤	発明者 下野洋平、後藤秀彰、南博信	権利者 学校法人藤田学園 国立大学法人神戸大学
産業財産権の種類、番号 特許権 特許第 6664685 号	取得年 2020 年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 抗がん剤の感受性及び癌の予後に対する診断マーカー	発明者 河原康一、古川龍彦、下川倫子、川畑拓斗、白石岳大、浜崎研吾	権利者 鹿児島大学
産業財産権の種類、番号 特許権 第 6779517 号	取得年 2020 年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 遺伝子改変非ヒトモデル動物	発明者 大守伊織, 大内田守, 真下知士	権利者 大守伊織, 大内田守, 真下知士
産業財産権の種類、番号 特許権 特願 2019-514326	取得年 2019 年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 炎症レポーターシステム	発明者 山村研一、岩脇隆夫、及川大輔、石川智夫	権利者 株式会社トランスジェニック
産業財産権の種類、番号 特許権 6472448	取得年 2019 年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 高血圧症の予防又は治療用医薬	発明者 扇田久和、栗田宗一、逢暁玲	権利者 同左
産業財産権の種類、番号 特許権 第 6615504 号	取得年 2019 年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 Hopx 陽性舌上皮幹細胞及び前記舌上皮幹細胞に由来する細胞塊	発明者 上野博夫	権利者 学校法人関西医科大学
産業財産権の種類、番号 特許権 特願 2018-055301 、 特開 2019-165654	取得年 2018 年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 核小体ストレス応答を誘導する薬剤の探索のためのポリペプチドの組み合わせ及びスクリーニング方法	発明者 河原康一、古川龍彦、有馬一成、上條陽平、堀口史人	権利者 鹿児島大学
産業財産権の種類、番号 特許権 特許第 63323868	取得年 2018 年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 創傷または線維症の治療剤	発明者 森 亮一、下川 功	権利者 長崎大学
産業財産権の種類、番号 特許権 特許 6238319	取得年 2017 年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 抗マラリア活性を有するアザアルテミシニン誘導體及びその製造方法	発明者 大栗博毅(東京農工大)、比留間貴久(東京農工大)、大村智(北里大)、乙黒一彦(北里大)、岩月正人(北里大)	権利者 同左
産業財産権の種類、番号 特許権 特願 2012-194910 特許第 5994059 号	取得年 2016 年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 酸化ストレスインジケータ発現用核酸構築物とその使用	発明者 岩脇隆夫、及川大輔	権利者 国立研究開発法人理化学研究所
産業財産権の種類、番号 特許権 12736230.9	取得年 2016 年	国内・外国の別 外国

産業財産権の名称 酸化ストレスインジケータ発現用核酸構築物とその使用	発明者 岩脇隆夫、及川大輔	権利者 国立研究開発法人理化学研究所
産業財産権の種類、番号 特許権 2012-553799	取得年 2016年	国内・外国の別 国内

## その他

先端モデル動物支援プラットフォーム (AdAMS) ホームページ

<http://model.umin.jp/>

北海道大学遺伝子病制御研究所分子腫瘍分野ホームページ

<http://www.igm.hokudai.ac.jp/oncology/>

北海道大学大学院薬学研究院生化学研究室ホームページ

<http://www.pharm.hokudai.ac.jp/seika/index.html>

東北大学医化学分野ホームページ

<http://www.dmbc.med.tohoku.ac.jp/official/index.html>

東北大学 大学院医学系研究科 医化学分野ホームページ

<http://www.dmbc.med.tohoku.ac.jp/official/index.html>

東北大学大学院薬学系研究科薬理学分野ホームページ

[http://www.pharm.tohoku.ac.jp/~yakuri/yakuri\\_top.html](http://www.pharm.tohoku.ac.jp/~yakuri/yakuri_top.html)

プレスリリース (2019年1月23日) 「光ファイバーを用いない「ファイバーレス神経活動操作」の開発とその応用による長期間のマウス行動制御の達成」

<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/2019/01/press-20190122-02-hikari.html>

プレスリリース (2019年3月12日) 「触覚パターンを瞬時かつ鋭敏に把握するメカニズムの解明-光を用いて脳の多変量計算論理を理解する」

<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/2019/03/press-20190312-02-syokkaku.html>

福島県立医科大学研究成果情報ページ

<https://www.fmu.ac.jp/univ/kenkyuseika/research/1709.html>

筑波大学 医学医療系 生命医科学域 解剖学・神経科学研究室

<http://www.kansei.tsukuba.ac.jp/~takeilab/>

医療 NEWS ホームページ 筑波大学 「血中 IL-17A の恒常的過剰が中枢神経系に与える影響をマウスで解析」

<http://www.qlifepro.com/news/20210216/serum-il17a.html>

筑波大学 Research News Mimicking a Chronic Immune Response Changes the Brain

<https://www.tsukuba.ac.jp/en/research-news/20210212140000.html>

筑波大学プレスリリース 「血液中のインターロイキン 17A 過剰は脳のミクログリア活性を低下させる～ASDなど精神・神経系疾患治療への道標～」

<https://research-er.jp/articles/view/96508>

筑波大学ホームページ TSUKUBA JOURNAL

<https://www.tsukuba.ac.jp/journal/index.html>

筑波大学 生命環境系 中田・石川研 HP

[http://www.biol.tsukuba.ac.jp/nakada\\_ishikawa/index.html](http://www.biol.tsukuba.ac.jp/nakada_ishikawa/index.html)

2019年5月27日付 日本経済新聞朝刊 9面 において、「神経疾患の進行 マウスで再現」のタイトルで研究成果が紹介された。

理化学研究所 RNA システム生化学研究室 岩崎研究室ホームページ

<http://iwasakirna.com/>

[http://www.riken.jp/research/labs/chief/rna\\_sys\\_biochem/](http://www.riken.jp/research/labs/chief/rna_sys_biochem/)

学術変革領域B パラメトリク翻訳ホームページ

<http://parametric-translation.pharm.kyoto-u.ac.jp>

千葉大学大学院医学研究院 内分泌代謝・血液・老年内科学ホームページ  
[https://www.m.chiba-u.ac.jp/dept/clin-cellbiol/research/diabetic/study\\_05/](https://www.m.chiba-u.ac.jp/dept/clin-cellbiol/research/diabetic/study_05/)  
[https://www.m.chiba-u.ac.jp/dept/clin-cellbiol/research/diabetic/study\\_04/](https://www.m.chiba-u.ac.jp/dept/clin-cellbiol/research/diabetic/study_04/)

日本糖尿病学会ホームページ きらり女性医師  
[http://www.jds.or.jp/modules/education/index.php?content\\_id=19](http://www.jds.or.jp/modules/education/index.php?content_id=19)

公益財団法人微生物化学研究所  
<https://www.bikaken.or.jp>

慶應義塾大学薬学部生化学講座ホームページ  
<http://square.umin.ac.jp/keio-dbc/research.html>

東京工業大学生命理工学院 一瀬研究室ホームページ  
<http://www.bh4.bio.titech.ac.jp/index.html>

東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター渡部研究部ホームページ  
<http://watabe-lab.jp/>

東京農工大学大学院工学研究院応用化学分野 大栗研究室ホームページ  
[http://web.tuat.ac.jp/~h\\_oguri/index.html](http://web.tuat.ac.jp/~h_oguri/index.html)

東京大学大学院薬学系研究科 井上研究室ホームページ  
<http://www.f.u-tokyo.ac.jp/~inoue/>

東京理科大学 生命医科学研究所 昆 俊亮 研究室 ホームページ  
<https://konshunsukelab.wixsite.com/rs-tus>

順天堂大学 医学部 小松雅明研究室ホームページ  
[https://www.juntendo.ac.jp/graduate/laboratory/labo/kikan\\_saibou/](https://www.juntendo.ac.jp/graduate/laboratory/labo/kikan_saibou/)

新学術領域研究マルチモードオートファジーホームページ  
[http://proteolysis.jp/multimode\\_autophagy/](http://proteolysis.jp/multimode_autophagy/)

東京大学 大学院農学生命科学研究科 獣医外科学研究室ホームページ  
<http://www.vm.a.u-tokyo.ac.jp/geka/>

東京医科歯科大学ホームページ (プレスリリース)  
[http://www.tmd.ac.jp/press-release/20180213\\_1/index.html](http://www.tmd.ac.jp/press-release/20180213_1/index.html)  
[http://www.tmd.ac.jp/english/press-release/20180319\\_1/index.html](http://www.tmd.ac.jp/english/press-release/20180319_1/index.html)

東京理科大学 生命医科学研究所 昆 俊亮 研究室 ホームページ  
<https://konshunsukelab.wixsite.com/rs-tus>

北海道大学遺伝子病制御研究所分子腫瘍分野ホームページ  
<http://www.igm.hokudai.ac.jp/oncology/>

東京都医学総合研究所、ゲノム動態プロジェクト ホームページ  
[http://www.igakuken.or.jp/genome/?new\\_publication=e-life](http://www.igakuken.or.jp/genome/?new_publication=e-life) 誌に新しい論文が accept されました%E3%80%82

新潟大学大学院医歯学総合研究科機能制御学分野のホームページ  
<https://www.med.niigata-u.ac.jp/mit/>

新潟大学医歯学系神経生化学 (生化学第二) ホームページ  
<https://www.med.niigata-u.ac.jp/bc2/index.html>

新潟大学脳研究所 研究業績ホームページ  
<http://www.bri.niigata-u.ac.jp/result/surgery/001033.html>

新潟大学脳研究所 動物資源開発研究分野 ホームページ  
[http://www.bri.niigata-u.ac.jp/field/lab\\_animal/index.html](http://www.bri.niigata-u.ac.jp/field/lab_animal/index.html)

新潟大学脳研究所 脳研コラム ホームページ  
[http://www.bri.niigata-u.ac.jp/result/lab\\_animal/000126.html](http://www.bri.niigata-u.ac.jp/result/lab_animal/000126.html)

新潟大学脳研究所 研究成果・実績 ホームページ  
[http://www.bri.niigata-u.ac.jp/result/lab\\_animal/000833.html](http://www.bri.niigata-u.ac.jp/result/lab_animal/000833.html)

新潟大学脳研究所ホームページ  
<https://www.bri.niigata-u.ac.jp/research/result/surgery/001521.html>

新潟大学脳研究所 研究成果ホームページ「D1 ドーパミン受容体を介する神経情報伝達が文脈的恐怖条件付けの遠隔記憶の形成に重要な働きをすることを解明」  
[https://www.bri.niigata-u.ac.jp/research/result/lab\\_animal/001664.html](https://www.bri.niigata-u.ac.jp/research/result/lab_animal/001664.html)

新潟大学脳研究所 動物資源開発研究分野ホームページ  
[https://www.bri.niigata-u.ac.jp/field/lab\\_animal/index.html](https://www.bri.niigata-u.ac.jp/field/lab_animal/index.html)

研究成果、実績「慢性心不全患者で認められる突然死の原因を解明」  
[https://www.bri.niigata-u.ac.jp/result/lab\\_animal/001415.html](https://www.bri.niigata-u.ac.jp/result/lab_animal/001415.html)

富山大学薬学部分子神経生物学研究室ホームページ  
<http://www.pha.u-toyama.ac.jp/biochel/index-j.html>

金沢大学がん進展制御研究室腫瘍分子生物学研究分野ホームページ  
<http://omb.w3.kanazawa-u.ac.jp/index.html>

金沢大学広報ホームページ  
<https://www.kanazawa-u.ac.jp/latest-research/64909>

金沢大学がん進展制御研究室腫瘍分子生物学研究分野ホームページ  
<http://omb.w3.kanazawa-u.ac.jp/index.html>

愛知県がんセンター研究所腫瘍制御学分野ホームページ  
[http://www.pref.aichi.jp/cancer-center/ri/01bumon/06shuyo\\_uirusu/](http://www.pref.aichi.jp/cancer-center/ri/01bumon/06shuyo_uirusu/)

自然科学研究機構 生理学研究所 細胞構造研究部門古瀬研究室ホームページ  
<http://www.nips.ac.jp/dcs/>

基礎生物学研究所神経細胞生物学研究室ホームページ  
<http://www.nibb.ac.jp/neurocel/index.html>

名古屋市立大学分子毒性学分野ホームページ  
<http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/moltox.dir/>

名古屋大学 環境医学研究所 神経系分野ホームページ  
<http://www.riem.nagoya-u.ac.jp/4/neuroscience2/nr/>

名古屋大学大学院医学系研究科統合生理学ホームページ  
<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/physiol2/>

藤田医科大学医学部生化学講座ホームページ  
<http://www.fujita-hu.ac.jp/~biochem1/index.html>

滋賀医科大学分子病態生化学ホームページ  
<http://www.shiga-med.ac.jp/~hqbioch2/>

京都産業大学教員紹介  
<http://www.kyoto-su.ac.jp/faculty/professors/nls/kato-keiko.html>

生命有機化学研究室ホームページ  
<http://www.orgchem.kais.kyoto-u.ac.jp/>

京都大学医学研究科 小川正晃研究室ホームページ  
<https://sites.google.com/view/ogawagroup/>

老化とアンチエイジング研究室ホームページ  
<http://www.anti-aging.jpn.com/>

京都大学上杉志成研究室  
<https://www.scl.kyoto-u.ac.jp/~uesugi/ja/index.php>

新学術領域研究 温度生物学ハンドブック  
<http://www.nips.ac.jp/thermalbio/handbook.html>

関西医科大学  
<http://www.kmu.ac.jp/faculty/medical/category2/unit4.html>

大阪市立大学大学院医学研究科分子病態学研究室ホームページ  
<http://osaka-cu-lseika.umin.jp/>

大阪市立大学大学院医学研究科分子病態学 研究室ホームページ  
<http://osaka-cu-lseika.umin.jp/link>

大阪大学医学系研究科 分子病態生化学研究室ホームページ  
<http://www.med.osaka-u.ac.jp/pub/molbiobc/index.html>

大阪大学大学院医学系研究科疾患データサイエンス学共同研究講座ホームページ  
<https://www2.med.osaka-u.ac.jp/mds/>

大阪大学微生物病研究所分子免疫制御分野 山崎研究室ホームページ  
<http://molimm.biken.osaka-u.ac.jp>

大阪大学微生物病研究所分子免疫制御分野 山崎研究室ホームページ  
<http://molimm.biken.osaka-u.ac.jp>

大阪大学大学院医学系研究科 分子病態生化学ホームページ  
<https://www.med.osaka-u.ac.jp/pub/molbiobc/>

2019 日本再生医療学会賞 受賞  
「味蕾幹細胞の同定とそれを基点とした味覚感知機序の解明・味覚再生技術の確立」

プレスリリース「筋萎縮性側索硬化症(ALS)発症の仕組みの一端を解明」  
<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/news/2016/160824>

第 62 回大阪市医学会長賞を受賞「Optineurin 遺伝子変異に伴う ALS 発症における直鎖状ポリユビキチン鎖の寄与」2017/3/21 及川大輔 (大阪市立大学)

鳥取大学 細胞ゲノム機能学分野 研究室ホームページ  
<https://www.google.co.jp/#spf=1601451705886>

岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科ナノバイオシステム分子設計学ホームページ  
<http://www.cyber.biotech.okayama-u.ac.jp/senolab/>

広島大学 神経生理学ホームページ  
<https://home.hiroshima-u.ac.jp/physiol2/index.html>

香川大学医学部薬理学研究室ホームページ  
<http://www.kms.ac.jp/~yakuri/>

九州大学生体防御医学研究所 分子医科学分野 ホームページ  
<http://www.bioreg.kyushu-u.ac.jp/saibou/index.html>

九州大学大学院薬学研究院 創薬腫瘍科学講座ホームページ  
<http://shuyo.phar.kyushu-u.ac.jp/>

福岡大学てんかん分子病態研究所ホームページ  
<http://www.med.fukuoka-u.ac.jp/epilepsy/index.html>

長崎国際大学薬学部 高井伸彦教授紹介ページ  
<https://www1.niu.ac.jp/about/teacher/detail.html?tid=188>

森 亮一 (長崎大学)  
2016年5月 第33回角尾学術賞 (皮膚創傷治癒における炎症及び組織修復制御の解明と分子標的薬剤開発に関する研究)

森 亮一 (長崎大学)  
2016年5月 平成27年度日本病理学会学術奨励賞 (皮膚癒痕形成の分子メカニズム解明および核酸医薬開発への応用)

森 亮一 (長崎大学)  
2017年11月 第47回日本創傷治癒学会研究奨励賞 (miR-223 機能解析とその応用 : miR-223 発現制御は黄色ブドウ球菌感染創の改善に有効である)

森 亮一 (長崎大学)  
2017年10月 33rd Ernst Klenk Symposium in Molecular Medicine- Tissue regeneration, wound healing and fibrosis: Translating basic concepts into regenerative therapy, Poster Award (Comprehensive identification of wound healing and inflammation miRNAs reveals a key role for miR-223 in neutrophilic clearance of Staphylococcus aureus at wound sites)

長崎国際大学 学術研究トピックス  
【学術研究】 Precision Medicine2020年4月号に、大神正次助教と高井伸彦教授の研究内容が掲載されました。  
<https://www1.niu.ac.jp/topics/study/2020/3429.html>

熊本大学国際先端医学研究所ホームページ publication 欄  
<http://ircms.kumamoto-u.ac.jp/publications/2017/01/identification-of-stem-cells-in-the-epithelium-of-the-stomach-corpus-and-antrum-of-mice.html>

可変型遺伝子トラップクローンデータベース (EGTC)  
<http://egtc.jp>

熊本大学発生医学研究所脳発生分野ホームページ  
[http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/bunya\\_top/brain\\_morphogenesis/](http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/bunya_top/brain_morphogenesis/)

熊本大学発生医学研究所ホームページ  
<http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/en/np91/>

熊本大学発生医学研究所ホームページ  
<http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/np104/>

石黒啓一郎 (熊本大学) 研究紹介動画  
<https://www.youtube.com/watch?v=47NhxgLD0mQ&t=5s>  
<https://www.youtube.com/watch?v=1zAnyBYHLK0>

熊本大学発生医学研究所 染色体制御分野ホームページ  
[http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/bunya\\_top/chromosome-biology/ronbun/](http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/bunya_top/chromosome-biology/ronbun/)

熊本大学発生医学研究所 染色体制御分野研究室ホームページ  
[http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/bunya\\_top/chromosome-biology/](http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/bunya_top/chromosome-biology/)



石黒 啓一郎 (熊本大学精子)  
熊本日日新聞 科学面 2020年5月29日 形成に関与 新遺伝子 不妊治療進展に期待

西日本新聞 2020/2/7 妊娠左右する遺伝子発見 熊本大など、不妊治療への応用期待  
<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/582155/>

石黒 啓一郎 (熊本大学)  
熊本日日新聞 2020/2/7 不妊防ぐ遺伝子特定 治療進展に期待 熊本大・石黒准教授ら  
<https://kumanichi.com/kumacole/interest/1348652/>

石黒 啓一郎 (熊本大学)  
テレビ朝日 ANN news 2020/2/7  
[https://news.tv-asahi.co.jp/news\\_society/articles/000175676.html](https://news.tv-asahi.co.jp/news_society/articles/000175676.html)

石黒 啓一郎 (熊本大学)  
KKT 医療番組 医療ナビ Dr. テレビたん 原因の半分は男性にも！男性不妊の現状  
<https://www.dr-tvtan.jp/program/24738/>

石黒 啓一郎 (熊本大学)  
日刊工業新聞 2020/2/7 熊本大、生殖細胞の形成遺伝子発見 不妊治療など応用期待  
<https://www.nikkan.co.jp/spaces/view/0051656>

石黒 啓一郎 (熊本大学)  
FNN PRIME 2020/2/7 不妊原因に関わる新しい遺伝子を発見 熊本大学発生医学研究所が世界初の快挙！  
[https://www.fnn.jp/posts/2363TKU/202002071931\\_TKU\\_TKU](https://www.fnn.jp/posts/2363TKU/202002071931_TKU_TKU)

大学ジャーナルオンライン  
卵子・精子を作る減数分裂をコントロールする遺伝子の発見 熊本大学  
<https://univ-journal.jp/30557/>

石黒 啓一郎 (熊本大学)  
日本テレビ 日テレ NEWS24 2020年5月27日 男性の不妊原因を解明

石黒 啓一郎 (熊本大学)  
時事通信 (JIJI.COM) 2020/2/7 精子、卵子形成に必須遺伝子 減数分裂のスイッチ-熊本大など  
<https://www.jiji.com/jc/article?k=2020020700066&g=soc>

石黒 啓一郎 (熊本大学)  
テレビ朝日 ANN news 2020/2/7  
[https://news.tv-asahi.co.jp/news\\_society/articles/000175676.html](https://news.tv-asahi.co.jp/news_society/articles/000175676.html)

熊本日日新聞 2020/2/7 不妊防ぐ遺伝子特定 治療進展に期待 熊本大・石黒准教授ら  
<https://kumanichi.com/kumacole/interest/1348652/>

時事通信 (JIJI.COM) 2020/2/7  
精子、卵子形成に必須遺伝子 減数分裂のスイッチ-熊本大など  
<https://www.jiji.com/jc/article?k=2020020700066&g=soc>

FNN PRIME 2020/2/7 不妊原因に関わる新しい遺伝子を発見 熊本大学発生医学研究所が世界初の快挙！  
[https://www.fnn.jp/posts/2363TKU/202002071931\\_TKU\\_TKU](https://www.fnn.jp/posts/2363TKU/202002071931_TKU_TKU)

熊本大学 HP プレスリリース  
<https://www.kumamoto-u.ac.jp/whatsnew/seimei/20200206>

朝日新聞 2020/2/19 不妊に関わる遺伝子を発見 熊本大など、マウス実験で  
<https://www.asahi.com/articles/DA3S14370621.html>

石黒 啓一郎（熊本大学）

生命科学連携推進協議会 支援利用者インタビュー AdAMS の支援を受けた研究から  
「減数分裂の謎に挑む」

<http://platform.umin.jp/interviews/ishiguro.html?v=e6VJNm4s7tE>

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科分子腫瘍学分野ホームページ

<http://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~molonc12/>

## 6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究支援代表者	今井 浩三  (IMAI Kohzoh)  (60117603)	東京大学・医科学研究所・客員教授  (12601)	令和元年2月末日まで 研究支援代表者
研究支援分担者	武川 睦寛  (TAKEKAWA Mutsuhiro)  (30322332)	東京大学・医科学研究所・教授  (12601)	令和2年度から研究支援 分担者
研究支援分担者	中村 卓郎  (NAKAMURA Takuro)  (00180373)	公益財団法人がん研究会・がん研究所・副所長  (72602)	
研究支援分担者	高田 昌彦  (TAKADA Masahiko)  (00236233)	京都大学・霊長類研究所・教授  (14301)	
研究支援分担者	吉田 進昭  (YOSHIDA Nobuaki)  (10250341)	東京大学・医科学研究所・教授  (12601)	平成29年度まで研究 支援分担者
研究支援分担者	山田 泰広  (YAMADA Yasuhiro)  (70313872)	東京大学・医科学研究所・教授  (12601)	平成30年度から研究 支援分担者
研究支援分担者	高橋 智  (TAKAHASHI Satoru)  (50271896)	筑波大学・医学医療系・教授  (12102)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究支援分担者	伊川 正人  (IKAWA Masahito)  (20304066)	大阪大学・微生物病研究所・教授  (14401)	
研究支援分担者	崎村 建司  (SAKIMURA Kenji)  (40162325)	新潟大学・脳研究所・フェロー  (13101)	
研究支援分担者	荒木 喜美  (ARAKI Kimi)  (90211705)	熊本大学・生命資源研究・支援センター・教授  (17401)	
研究支援分担者	八尾 良司  (YAO Ryoji)  (80291095)	公益財団法人がん研究会・がん研究所・細胞生物部・ 部長  (72602)	
研究支援分担者	真下 知士  (MASHIMO Tomoji)  (80397554)	東京大学・医科学研究所・教授  (12601)	
研究支援分担者	小林 和人  (KOBAYASHI Kazuto)  (90211903)	福島県立医科大学・医学部・教授  (21601)	
研究支援分担者	豊國 伸哉  (TOYOKUNI Shinya)  (90252460)	名古屋大学・大学院医学系研究科・教授  (13901)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究支援分担者	鰐渕 英機  (WANIBUCHI Hideki)  (90220970)	大阪市立大学・大学院医学研究科・教授  (24402)	
研究支援分担者	今井田 克己  (IMAIDA Katsumi)  (90160043)	香川大学・医学部・教授  (16201)	平成30年度まで研究支援分担者
研究支援分担者	西川 祐司  (NISHIKAWA Yuji)  (90208166)	旭川医科大学・医学部・教授  (10107)	令和元年度から研究支援分担者
研究支援分担者	二口 充  (FUTAKUCHI Mitsuru)  (60275120)	山形大学・医学部・教授  (11501)	
研究支援分担者	上野 正樹  (UENO Masaki)  (30322267)	香川大学・医学部・教授  (16201)	
研究支援分担者	宮崎 龍彦  (MIYAZAKI Tatsuhiko)  (80239384)	岐阜大学・医学部附属病院・准教授  (13701)	
研究支援分担者	神田 浩明  (KANDA Hiroaki)  (90260067)	埼玉県立がんセンター・病理診断科・部長  (82402)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究支援分担者	池田 和隆  (IKEDA Kazutaka)  (60281656)	公益財団法人東京都医学総合研究所・精神行動医学 研究分野・分野長  (82609)	
研究支援分担者	尾藤 晴彦  (BITO Haruhiko)  (00291964)	東京大学・大学院医学系研究科・教授  (12601)	
研究支援分担者	宮川 剛  (MIYAKAWA Tsuyoshi)  (10301780)	藤田医科大学・総合医科学研究所・教授  (33916)	
研究支援分担者	高雄 啓三  (TAKAO Keizo)  (80420397)	富山大学・学術研究部医学系・教授  (13201)	
研究支援分担者	虫明 元  (MUSHIAKE Hajime)  (80219849)	東北大学・大学院医学系研究科・教授  (11301)	
研究支援分担者	清宮 啓之  (SEIMIYA Hiroyuki)  (50280623)	公益財団法人がん研究会・がん化学療法センター・分 子生物治療研究部・部長  (72602)	
研究支援分担者	長田 裕之  (OSADA Hiroyuki)  (80160836)	国立研究開発法人理化学研究所・環境資源科学研究 センター・グループディレクター  (82401)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究支援分担者	旦 慎吾  (DAN Shingo)  (70332202)	公益財団法人がん研究会・がん化学療法センター・分子薬理部・部長  (72602)	
研究支援分担者	井本 正哉  (IMOTO Masaya)  (60213253)	順天堂大学・大学院医学研究科・特任教授  (32620)	
研究支援分担者	田代 悦  (TASHIRO Etsu)  (00365446)	昭和薬科大学・薬学部・准教授  (32624)	令和2年度から研究支援分担者
研究支援分担者	川田 学  (KAWADA Manabu)  (20300808)	公益財団法人微生物化学研究会・微生物化学研究所・第1生物活性研究部・部長  (72801)	
研究支援分担者	田原 栄俊  (TAHARA Hidetoshi)  (00271065)	広島大学・大学院医系科学研究科・教授  (15401)	
研究支援分担者	吉田 稔  (YOSHIDA Minoru)  (80191617)	国立研究開発法人理化学研究所・環境資源科学研究センター・グループディレクター  (82401)	
研究支援分担者	松浦 正明  (MATSUURA Masaaki)  (40173794)	帝京大学・大学院公衆衛生学研究科・教授  (32643)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究支援分担者	牛嶋 大  (USHIJIMA Masaru)  (60328565)	公益財団法人がん研究会・有明病院・臨床研究・開発 センター・研究員  (72602)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究支援協力者	大島 正伸  (OSHIMA Masanobu)		
研究支援協力者	小沢 学  (OZAWA Manabu)		
研究支援協力者	笹岡 俊邦  (SASAOKA Toshikuni)		
研究支援協力者	竹田 直樹  (TAKEDA Naoki)		
研究支援協力者	野田 大地  (NODA Taichi)		



	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究支援協力者	高野 洋志  (TAKANO Hiroshi)		
研究支援協力者	杉山 文博  (SUGIYAMA Fumihiro)		
研究支援協力者	水野 聖哉  (MIZUNO Seiya)		
研究支援協力者	阿部 学  (ABE Manabu)		
研究支援協力者	松崎 政紀  (MATSUZAKI Masanori)		
研究支援協力者	小清水 久嗣  (KOSHIMIZU Hisatsugu)		
研究支援協力者	萩原 英雄  (HAGIHARA Hideo)		

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究支援協力者	中尾 章人  (NAKAO Akito)	( )	
研究支援協力者	服部 聡子  (HATTORI Satoko)		
研究支援協力者	昌子 浩孝  (SHOJI Hirotaka)		
研究支援協力者	藤井 一希  (FUJII Kazuki)		
研究支援協力者	井手 聡一郎  (IDE Soichiro)		
研究支援協力者	藤井 哉  (FUJII Hajime)		
研究支援協力者	田中 徹  (TANAKA Tetsu)		

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究支援協力者	片山 統裕  (KATAYAMA Norihiro)	( )	
研究支援協力者	小山内 実  (OSANAI Makoto)		
研究支援協力者	森屋 由紀  (MORIYA Yuki)		
研究支援協力者	西園 啓文  (NISHIZONO Hirofumi)		
研究支援協力者	西澤 大輔  (NISHIZAWA Daisuke)		
研究支援協力者	矢守 隆夫  (YAMORI Takao)		
研究支援協力者	富田 章弘  (TOMIDA Akihiro)		

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究支援協力者	室井 誠  (MURUI Makoto)	( )	
研究支援協力者	谷口 博昭  (TANIGUCHI Hiroaki)		

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会  
〔国際研究集会〕 計0件

国際研究集会	開催年
なし	

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
アメリカ	University of Iowa	Stanford University	California Institute of Technology	他23機関
フランス	Université Claude Bernard Lyon1	Bordeaux University	Université Grenoble Alpes	他3機関
カナダ	University of Ottawa	University of Toronto	British Columbia University	他3機関
中国	Jiangsu Universitit	Nantong University	Beijing University of Technology	他1機関
韓国	Seoul national University	Hannam University	Institute for Basic Science	他1機関
ドイツ	Helmholtz Zentrum Muenchen	Technische Universitaet Muenchen		
スペイン	CNIC	CINAC-HM Hospital Puerta del Sur		
シンガポール	National University of Singapore	Pohang University of Science and Technology		
イギリス	University of Cambridge			
フィンランド	University of Turku			
ポーランド	Nencki Institute of Experimental			
イタリア	University of Cagliari			
デンマーク	Aarhus University DANDRITE研究所			
スウェーデン	Lund University			
台湾	National Taiwan University Hospital			